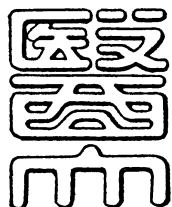


日本医科大学研究業績年報

第 38 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 38



平成 3 (1991) 年度

April 1991 ~ March 1992

日本医科大学研究業績年報

第 38 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 38

平成 3 (1991) 年度

April 1991 ~ March 1992

ま え が き

学長 庄 司 佑

ここに日本医科大学の平成3年度研究業績年報が刊行される。個々の研究者として、また各の教室として、年度の業績を整理しまとめ、その成果を顧みて今後の発展の基礎としたい。

また、それと共に学内でどのような研究が行われているかを知って、自らの研究の参考とし、さらに可能ならば共同研究の道を探ることに意義があろう。

今度も各方面、各分野において充実した業績が得られていることを喜び合いたい、決して現在の水準に満足することなく、志を高く次年度にさらに先の将来に向い、新しい意欲をもって業績を積み重ね発展させることを期待する。

医科大学であるので、業績の多くは医学の領域、すなわち基礎と臨床との医学に関連するものであることは当然であるが、医学生としての教養を高め視野を広げる使命を持つ基礎科学の分野での、教育に関する業績もまた貴重であり、学問の府である大学としての幅を広くするのに貢献している。

今回の年報を含め、過去に発刊された業績集を通覧しているといろいろ考えさせられることがある。

業績の数の多さ、研究の範囲の広さも重要ではあるが、それぞれの論文あるいは発表の内容を充実させ、質を向上させることに特別な配慮をお願いしたい。

また、最近数十年の近代医学の目覚ましい進歩を考えると、新しい展開が期待出来る分野はあまり残されていないような悲観的印象を受けることもないわけではないが、一方新たな技術や知識の導入により、今後研究すべき対象は増加し、その奥行も深まることを痛感させられる。

すべての大学に対し、自らの教育、研究における水準を高めるため、内外から自己点検、自己評価の重要性が説かれており、本学でもこの点に関する委員会を作る準備をすすめているが、学問上の業績は点検評価の最大の重点が置かれる所であり、この年報もその資料として大いに役立つであろう。

本年報の編集に当られた研究委員会委員長南 正康教授および委員の方々、さらに実務を担当した研究課の職員の方々に敬意と感謝の意を表する。

目 次

〔1〕基礎科学

1. 人文科学・社会科学	1
[国文学]	1
[哲学・倫理学]	1
[心理学]	2
[歴史学]	3
[社会学]	5
[経済学]	5
[法 学]	5
2. 自然科学	7
[数 学]	7
[物理学]	8
[化 学]	9
[生物学]	10
3. 外国語	12
[英 語]	12
[ドイツ語]	15
[フランス語]	16
4. 保健体育	17
[保健体育]	17

〔2〕基礎医学

1. 解剖学第一講座	21
2. 解剖学第二講座	23
3. 生理学第一講座	25
4. 生理学第二講座	29
5. 生化学第一講座	30
6. 生化学第二講座	32
7. 薬理学講座	35
[薬理学]	35
[臨床薬理センター]	36
8. 病理学第一講座	38
9. 病理学第二講座	44
10. 微生物学・免疫学講座	50
11. 衛生学・公衆衛生学講座	54
12. 法医学講座	56
13. 医療管理学講座	58

14. 基礎医学共同研究利用施設	60
[実験動物管理室]	60
[中央電子顕微鏡研究施設]	62
[基礎医学情報処理室]	64

〔3〕 臨床医学

1. 内科学第一講座	69
[付属病院第1内科]	69
[付属病院老人科]	91
[第二病院内科]	95
[多摩永山病院内科]	97
2. 内科学第二講座	101
[第一病院内科]	101
[第一病院リウマチ科]	114
3. 内科学第三講座	117
[付属病院第3内科]	117
4. 精神医学講座	129
[付属病院神経科・第一病院神経科]	129
5. 小児科学講座	134
[付属病院小児科]	134
[第一病院小児科]	139
[第二病院小児科]	142
[多摩永山病院小児科]	144
6. 放射線医学講座	147
[付属病院放射線科]	147
[第一病院放射線科]	156
[第二病院放射線科]	158
[多摩永山病院放射線科]	161
7. 皮膚科学講座	163
[付属病院皮膚科]	163
[第一病院皮膚科]	167
[第二病院皮膚科]	170
8. 臨床病理学講座	172
[付属病院呼吸器科]	172
9. 外科学第一講座	179
[付属病院第1外科]	179
[多摩永山病院外科]	195
[多摩永山病院消化器科]	197
10. 外科学第二講座	198
[第一病院外科・付属病院胸部外科]	198
[第一病院内視鏡科]	219

	[第二病院外科]	221
11.	脳神経外科学講座	225
	[付属病院脳神経外科]	225
	[多摩永山病院脳神経外科]	233
12.	整形外科学講座	236
	[付属病院整形外科・第一病院整形外科・第二病院整形外科・多摩永山病院整形外科]	236
13.	産婦人科学講座	241
	[付属病院産婦人科]	241
	[第一病院産婦人科]	248
	[第二病院産婦人科]	253
	[多摩永山病院産婦人科]	256
14.	耳鼻咽喉科学講座	259
	[付属病院耳鼻咽喉科]	259
	[第一病院耳鼻咽喉科]	264
	[第二病院耳鼻咽喉科]	265
	[多摩永山病院耳鼻咽喉科]	267
15.	泌尿器科学講座	268
	[付属病院泌尿器科]	268
	[第一病院泌尿器科]	273
	[第二病院泌尿器科]	275
	[多摩永山病院泌尿器科]	276
16.	眼科学講座	279
	[付属病院眼科・第一病院眼科・第二病院眼科・多摩永山病院眼科]	279
17.	麻酔科学講座	282
	[付属病院麻酔科]	282
	[第一病院麻酔科]	285
	[第二病院麻酔科]	288
	[多摩永山病院麻酔科]	289
18.	救急医学講座	290
	[付属病院救命救急センター]	290
	[多摩永山病院救命救急センター]	300
19.	形成外科学講座	304
	[付属病院形成外科]	304
20.	付属病院付置施設等	310
	[付属病院集中治療室]	310
	[付属病院病理部]	316
	[付属病院中央検査部]	317
	[付属病院薬剤部]	320
	[付属病院生理機能センター]	321

21.	第一病院付置施設等	322
	[第一病院人工透析室]	322
	[第一病院病理部]	323
	[第一病院中央検査室]	326
22.	第二病院付置施設等	327
	[第二病院消化器センター]	327
	[第二病院リハビリテーションセンター]	329
	[第二病院病理部]	330
	[第二病院中央検査室]	332
	[第二病院薬剤科]	333
23.	多摩永山病院付置施設等	335
	[多摩永山病院病理部]	335
	[多摩永山病院中央検査室]	337
	[多摩永山病院薬剤科]	338
	[多摩永山病院看護部]	339
〔4〕付置研究施設		
1.	老人病研究所	343
2.	ワクチン療法研究施設	349

〔1〕 基 礎 科 学

1. 人文科学・社会科学

[国文学]

研究概要

ここ数年来、文学・伝承の中に日本人の精神文化の基層を探ることが研究の中心となっている。それは、たとい現象面に具体的にあらわれずとも、古代から現代に至るまでの日本人の思考の奥深くに水脈を保ち、その行動を規定してきたと思われるからである。

その1. 前年度に引き続きコノハナノサクヤビメを中心に研究を進めた。コノハナノサクヤビメの「コノハナ」は、「サクラ（山桜）」の花と思われてきた。但しはじめから「桜」を指したのではなく、穀霊の宿る木、稲の豊穰を占う木、農事の始めを告げる木の総称として使われたのが、次第に山桜に限定されて行ったのである。コノハナノサクヤビメは聖木「サクラ」の神格化である。『田植草紙』や『俚謡集』、諸国の民俗などに徴してみる時、農事始めの春の山入りを花見と称し、花の下で共飲共食、歌舞を楽しみあるいは花の枝を持ち帰る風習が全国各地に伝わっていたことが指摘できる。聖樹の下で祭の酒宴を催すのは『古事記』の昔からである。呪木の信仰が忘れ去られた今もって、桜の花の下で賑やかな酒宴が張られるのもむべなるかなと言える。加えて、サクヤビメにおける一夜孕みの穀母的性格、穀霊の再生・復活の象徴という点について考究した。その2. 「御法」の巻を中心に『源氏物語』のもつ伝承と創造の問題に光を当てた。「御法」は光源氏の終生の伴侶、紫の上の死を語る哀傷に満ちた巻である。紫の上は桜咲く北山で見出された小さな水の聖女であったが、「御法」では、はっきり「かぐや姫」との重なりが指摘できる。しかも、紫の上は、かぐや姫の伝承の型を超えて光源氏との愛に生き、作者紫式部の来世救済への絶望という苦悩まで負わされて逝った。死後の紫の上の落飾の有無、この時代の日本人の死生観などについて、学生達と活発な意見交換ができた。その3. 古典芸能を現代の目で捉えてゆく作業を続けている。

研究業績

論文

- 1) 福島千賀子：〔原著〕「御法」巻試論；伝承と創造の一側面。日本医科大学基礎科学紀要，No. 12，23～36，1992。

学会発表

- 1) 福島千賀子：〔一般講演〕コノハナノサクヤビメ；豊穰の女神。第43回日本民俗学会年会，1991。

[哲学・倫理学]

研究概要

1) 自然哲学研究を一つの成果として結実させる目途が立ちつつある。今年度はとりわけ、①一方で自然哲学研究の理論的基礎を解明する仕事を行い、今年度から来年度にかけての成果として現われる予定である。他方で、②研究の現状・課題を解明する仕事が今年度の仕事の中心であった。そのため、今年度は、③資料的・科学史的研究が相対的に減少した。

しかし、③の仕事は現在の自然哲学のバック・ボーンとして核にすわるべき仕事であり、収集・整理は続行している。特に最近、現在の研究にとって不可欠な資料の広がりがかつてははかりしてきており、その資料収集の目途とそれを具体化する研究の方向が鮮明になってきている。そのため、今後は私個人の研究として、著書、共編、共著など著作が増えることになる。

なお、本教室は「自然哲学研究会」の事務局を担当していることもあり、会の今後数年の企画とその具体化が任さ

れており、数冊の論集の企画、編集を行っている。その内の一冊は現在具体化し、2年後には成果として現われるはずである。

2) 「国際シェリング協会」と連携した「日本シェリング協会」が来年度(1992. 7)に創立される。それに伴い、本教室では、シェリングの文献学的研究を系統立てて行うことが、「協会」の準備会から要請されている。現在、研究計画の中にどう組み込むか、考慮中である。なお、社会理論に関しても、シェリング、ヘーゲルの自由論から現代にかけてフォローしつつあるが、現在のところは、研究発表という形式で公にしており、いずれ論文化の計画を立てるつもりである。

3) 「生命倫理」に関しても、他大学の研究者と共同にすすめている。研究の方向は、1) バイオエニックスの理論基礎、とりわけ功利主義と規範倫理からのそれ、2) バイオエニックスと環境倫理の矛盾と倫理学基礎論の再構築。成果としては、来年度(1992. 5)これまで取り組んできた翻訳が出る予定であるが、各論的なものであり、全体論としての論集も具体化を図る予定

—なお、1992年9月から一年間、担当者の長島は留学する予定

研究業績

論文

- 1) 長島 隆：〔原著〕個性の形而上学(2)―ヘーゲル自然哲学の基本性格。日本医科大学基礎科学紀要, No. 12, 1~20, 1992.
- 2) 長島 隆：〔紹介〕自然哲学研究会―最近の自然哲学研究と自然哲学研究会。理想, 648, 1992.

著書

- 1) 長島 隆：〔共編著〕物象化と近代主体(執筆部分), 第4章近代的自我と絶対者, p. 123~154, 創風社, 1991.
- 2) 長島 隆：〔分担〕ヘーゲル事典(極性, 元素, ボラント等23項目), 弘文堂, 1991.
- 3) 長島 隆：〔分担〕人間とは何か, p. 69~81, 北樹出版, 1991.

学会発表

- 1) 長島 隆, 西川富雄¹⁾, 神林恒道²⁾ (¹⁾立命館大学文学部, ²⁾大阪大学文学部): 〔シンポジウム〕シェリングと現代[長島報告: シェリング自然哲学の射程―近代自我論の一つの帰結], シェリング研究会第1回シンポジウム, 1991.
- 2) 長島 隆: 〔個人研究発表〕シェリングの自由論―個体的自由と基礎的人間把握, 宗教学会第50回学術大会研究報告, 1991.
- 3) 長島 隆: 〔個人研究発表〕ヘーゲル自然哲学研究の現状と課題, ヘーゲル研究会第18回例会, 1991.
- 4) 長島 隆: 〔一般報告〕ヘーゲル『エンツェクロペディ・自然哲学』「凝集」の章の分析(2), 自然哲学研究会第7回例会, 1991.

[心理学]

研究概要

本年度はコラージュ療法の臨床研究および基礎的研究に加え、啓蒙的活動が多かった。

- 1) この療法の普及につれてセミナーの要請が増え、足立区教育センター相談員研修会、神奈川県行動問題児研究専門講座、日本教育相談研究会など6カ所でコラージュ療法セミナーを行った。
- 2) 6月よりオープンスタディールームと称し週1回研究室を学生に開放した。学生の希望により心理療事例研究会を開催し事例検討を行った。

3) 基礎的研究は昨年行った一般人のコラージュ表現特徴の発達的研究のデータ不足を補うため、老年期の作品を収集し基礎データを充実させた。また1992年秋に出版予定の「コラージュ療法入門」「体験コラージュ療法」の共著二冊の準備を進めている。

もう一つの研究として、文化・文明の変容原理を究明した。今回は、豊かでありながらも多くの地球規模の問題を抱えている現代社会から、素朴さと豊かさが混在した未来社会への変容の方向性と可能性について考察している。また、色彩選択テスト(CCT)の継続的研究として、本テストの地域理解における効用と限界について文化人類学的な視点から考察した。

研究業績

論文

- 1) 杉浦京子：〔原著〕コラージュ療法の治療的要因と特徴について。日本医科大学基礎科学紀要，No. 12，21～28，1991。
- 2) 杉浦京子：〔事例報告〕コンピュータストレスの大学院生のケース。心理臨床事例集（発行所：日本教育臨床研究会），2，52～64，1991。
- 3) 伊藤末博：〔原著〕豊かさの果て；素朴な生活への回帰。日本医科大学基礎科学紀要，No. 12，29～38，1992。
- 4) 伊藤末博，丸山芳也¹⁾（¹⁾秩父中央病院）：〔報告〕地域理解における CCT の効用と限界。色彩象徴過程と人格構造に関する精神医学・交叉文化心理学的研究，52～72，1992。
- 5) 伊藤末博：〔報告〕Lotus 1-2-3を利用した CCT データの簡易処理法について。色彩象徴過程と人格構造に関する精神医学・交叉文化心理学的研究，121～134，1992。

学会発表

- 1) 中村延江¹⁾，杉浦京子，多賀谷篤子²⁾，新田泰生³⁾（¹⁾日大板橋病院，²⁾都立教育研究所，³⁾宝仙短大）：〔シンポジウム〕今，臨床現場では。第16回早稲田大学心理学会，1991。
- 2) 森谷寛¹⁾，杉浦京子，入江 茂²⁾，服部令子³⁾，近喰ふじ子⁴⁾，斎藤 真⁵⁾，大場 登⁶⁾，木村晴子⁷⁾，黒木賢一⁸⁾（¹⁾愛知医大，²⁾入江クリニック，³⁾早大学生相談センター，⁴⁾佼成病院，⁵⁾京都大学，⁶⁾上野学園短大，⁷⁾南山短大，⁸⁾芦谷診療オフィス）：〔シンポジウム〕心理療法におけるコラージュ技法の利用—コラージュ療法の可能性—。第10回日本心理臨床学会，1991。
- 3) 服部令子¹⁾，杉浦京子（¹⁾早大学生相談センター）：〔一般演題〕対人恐怖症の大学生に試行したコラージュ療法：第23回日本芸術療法学会，1991。
- 4) 橋口英俊¹⁾，杉浦京子（¹⁾東京家政大学）：〔セミナー〕論理療法を使った学生相談のあり方。第29回全国学生相談研修会（学生相談学会主催文部省後援），1991。
- 5) 伊藤末博，丸山芳也¹⁾（¹⁾秩父中央病院）：〔一般講演〕色彩象徴過程と人格構造に関する精神医学・交叉文化心理学的研究第5報；離島(対馬)と都市部高校生との自己・社会イメージの比較。第55回日本心理学会総会，1991。

〔歴史学〕

研究概要

日本中世史と日本医学史との2ジャンルを専攻してきたが、本年は前者に偏したきらいがある。それも、とくに相模三浦一族に重点が置かれてしまった。本学および他の二大学の研究紀要に、逐次、発表してきたが、刊行時期が区々したので、まとまりが悪くなったかも知れない。全稿刊行後、訂正増補の加筆を行った上で、著書として発行する予定である。

鎌倉幕府の半公的記録でありながら、従来から“謎の書”とされてきた『吾妻鏡』に平成元年より3年間、文部省

より研究補助金を与えられて科学のメスが初めて入れられたが、調査団の一人に加えられて、それなりの活動をしたことは、我れながら嬉しかった。該調査の成果の上に立たなければ、今後の日本中世の研究は、あり得ぬものと自負している。

研究、教育、啓蒙の三本柱のうちの啓蒙では、朝日カルチャー新宿校・同横浜校、東急カルチャースクールなどのほか、江東区、小田原市、横須賀市などでも講演した。それなりの成果があったものと、自負している。

辞典の編纂執筆が三種も重なったのも、本年の特徴かも知れない。なお、角川書房による『神奈川県歴史人物・人名辞典』の編纂委員となり、目下、業務を行ないつつある。

研究業績

論文

- 1) 奥富敬之：〔原著〕相模三浦一族の成立。湘南短期大学紀要，2，42～51，1991。
- 2) 奥富敬之：〔原著〕源平合戦期の相模三浦一族。日本医大基礎科学紀要，No. 11，1～22，1991。
- 3) 奥富敬之：〔原著〕江戸時代の疫病と対策。歴史読本，36，316～319，1991。
- 4) 奥富敬之：〔原著〕上洛の先駆者・木曾義仲。歴史読本，36，146～153，1991。
- 5) 奥富敬之：〔原著〕新田義貞一清和源氏の嫡流一。歴史読本，36，11，110～115，1991。
- 6) 奥富敬之：〔原著〕鎌倉武士と苗字。歴史読本事典シリーズ，11，164～167，1991。
- 7) 奥富敬之：〔原著〕護良親王・宗良親王・恒良親王。歴史と旅，18，11，66～75，1991。
- 8) 奥富敬之：〔原著〕源頼朝の謎。歴史読本，36，14，157～180，1991。
- 9) 奥富敬之：〔原著〕三浦半島の歴史（一）一半島の原始遺跡一。湘南文学，2，196～202，1991。
- 10) 奥富敬之：〔原著〕源平合戦直前の相模三浦一族。神奈川歯科大学基礎科学論集，9，1～11，1991。
- 11) 奥富敬之：〔原著〕応仁ノ大乱の経済的背景。歴史読本，37，2，284～285，1992。
- 12) 奥富敬之：〔原著〕鎌倉初期の相模三浦一族。湘南短期大学紀要，3，18～26，1992。

著書

- 1) 奥富敬之：〔分担〕『吾妻鏡』総合的研究（平成元～三年度。科学研究費補助金研究成果報告書）。『吾妻鏡』の総合的研究会，47～52，1991。
- 2) 奥富敬之：〔分担〕歴史教育と歴史学（第二章，歴史教育と人物学習）。（安田元久編），p. 45～54，山川出版，1991。
- 3) 奥富敬之：〔分担〕大逆転の日本史（源氏・平家・奥州藤原氏）。（会田雄次編），p. 47～58，三笠書房，1991。
- 4) 奥富敬之：〔共編著〕安房白浜町近代史料集II。新人物往来社（千葉県白浜町），1991。
- 5) 奥富敬之：〔分担〕人間と文化52（日本医師史の概略）。三愛新書，1991。
- 6) 奥富敬之：〔編集〕清和源氏の全家系（第6巻）。新人物往来社，1991。
- 7) 奥富敬之：〔分担〕江戸時代の生活・文化総覧。新人物往来社，1992
- 8) 奥富敬之：〔分担〕日本歴史伝記総覧。新人物往来社，1992。
- 9) 奥富敬之：〔分担〕新潮日本人名辞典（鎌倉北条氏関係数項目）。新潮社，1991。
- 10) 奥富敬之：〔分担〕国史大辞典（第12巻）（鎌倉北条氏関係約20項目）。吉川弘文館，1991。
- 11) 奥富敬之：〔分担〕日本史大事典（鎌倉時代関係約30項目）。平凡社，1992。

学会発表

- 1) 奥富敬之：〔教育講演〕日本における医学の歴史について。三愛会第161回例会，1991。
- 2) 奥富敬之：〔記念講演〕氏名・地名・苗字・家名の史的概観。藤沢地名研究会第7回大会，1991。
- 3) 奥富敬之：〔教育講演〕南北朝内乱の歴史的意義。日本工業倶楽部，1991。

- 4) 奥富敬之：〔教育講演〕鎌倉中末期の社会変動，日本工業倶楽部，1991.

[社会学]

研究概要

長年にわたって本教室の教育と研究の柱である“Introduction to International Medical Sociology”（国際保健，医療，福祉サーヴス社会学要論：日，西欧，米，カナダ諸国を中心とする）の従来の講義のまとめに専念し健康と人間と社会のコミュニケーション研究に務めた。

3 デケートに及ぶ論集をまとめ『国際港湾社会文化概説』と題して関係諸機関の協力を基に刊行する運びとなった。社会文化論（本学の）の講義内容にも直接関連することを目標においた“国際コミュニケーション論”である。

昨年度の主な社会的研究活動は次の2点である。①第30回全国大会。「日本港湾経済学会」（横浜市役所協賛）の総会にて次年度の理事及び国際交流委員長に選出承認された。②財団法人港湾労働経済研究所（労働省認可）の新理事に本年2月，理事会および合同会議にて選出，承認された。

研究業績

著書

- 1) 荒木智種：〔著書〕国際港湾社会文化概説一人と人，国と国，すべての交流一。p.1～161，（財）港湾労働経済研究所，1992.
- 2) 荒木智種：〔書評〕「港湾経済研究」No. 29（年報）『国際物流の経済学』柴田悦子編著（大阪市大教授）（日本港湾経済学会編）。p. 265～267，成山堂書店刊行，1991.

[経済学]

研究概要

民営化・規制緩和に関する研究を，理論，実証の両面において進めた。

理論面においては，この問題にかかわる著書・論文等を発表した。

実証面においては，国内公企業や政府規制の実証研究を進めるとともに，91年8月，ドイツにおいて公企業研究を行った。

研究業績

論文

- 1) 松原 聡：〔総説〕JR 株売却論の欠落部分を衝く。エコノミスト，96～99，1991.
- 2) 松原 聡：〔総説〕労組がはじめたメセナ・ふれあい郵便。エコノミスト，112～115，1991.
- 3) 松原 聡：〔原著〕民営化・規則緩和とビジネス・ルール。計画行政，30，42～49，1992.

著書

- 1) 松原 聡：〔原著〕民営化と規制緩和。p.1～208，日本評論社，1991.

[法学]

研究概要

近時，医事紛争が多発し，これとともに医事裁判が増加する傾向をたどり，示談や調停によってこれが解決される

例はさらに多きにのぼっている。

医師は医業を行うにあたって個人開業医や勤務医として医療に従事し、また病院や診療所の開設者として人的物的設備の管理者となり、あるいは、医療法人の役員に就任することもある。そして、その中において、医師は、多数の患者をはじめ医療従事者やその他の関係者さらには医療機器をはじめとする病院等の施設との関係を拒むことはできない。

このような立場にある医師が日常、遭遇しうる法律問題、たとえば、医療過誤による損害賠償や刑事責任等に関連する諸問題等を具体的事例に則し法律相談形式にまとめて検討する。そして、これに関する法律や判例を踏まえながら、単に抽象的な法律理論に偏することなく、法律実務上の妥当な解決方法を研究しようとするものである。(遠藤寛)

研究業績

論文

- 1) 遠藤 寛：〔連載〕医療法律相談 第54回；杉花粉症の患者を減感作療法によって治療する場合の法律上の注意義務。新医療，5，144～145，1991.
- 2) 遠藤 寛：〔連載〕医療法律相談 第55回；買ったマンションで、縊首自殺のあったことが判明した場合、契約を解消できるか。新医療，7，142～143，1991.
- 3) 遠藤 寛：〔連載〕医療法律相談 第56回；分娩の際、胎児が死亡した場合の医師の賠償義務の範囲。新医療，8，156～157，1991.
- 4) 遠藤 寛：〔連載〕医療法律相談 第57回；ベット満床による診断拒否と医師の応招義務違反。新医療，10，146～147，1991.
- 5) 遠藤 寛：〔連載〕医療法律相談 第58回；往診の帰途、駐車場で盗まれた車と車内の高価品に対する賠償について。新医療，11，134～135，1991.
- 6) 遠藤 寛：〔連載〕医療法律相談 第59回；調剤業務による身体障害と病院の安全配慮義務について。新医療，12，138～139，1991.
- 7) 遠藤 寛：〔連載〕医療法律相談 第60回；未返済の貸付金がある職員に対し雇用者は退職金で相殺できるか。新医療，1，142～143，1992.
- 8) 遠藤 寛：〔連載〕医療法律相談 第61回；喘息患者にボルタレン（鎮痛剤）を投与する際の医師の問診義務。新医療，3，144～145，1992.

2. 自然科学

[数 学]

研究概要

三宅：数学教育学会の統計、情報教育研究グループの世話役として、統計学会の統計教育委員会委員として研究活動をしている。

活発な研究活動を行っている早大の山下教授を中心とした Fussy 研究会に参画する事となった。

数学教育に文化史的な要素を注入すべきという思潮に添い、和算の調査を始めた。

伊藤：中枢神経受容体マッピングトレーサーのポジトロン核種による標識合成の進展とポジトロン CT の発展により、生理的狀態下における中枢神経活動をトレーサー法で計測することが可能となった。研究は計測の定量化における諸問題の解決および定量法の確立に在り、とりわけ、生理的狀態特有の非線形問題の解決方法を大きなテーマとしている。

儀我：リブシット境界をもつ領域でのラプラス作用素について昨年うまくいかなかった所を考えた。それで作用素の定義を少し弱めることにより一応の修正はできたと思う。後半は雑誌「数学」の論文の英訳 (AMS の仕事) をした。

飯田：コンピュータと深くかかわりのあるアルゴリズムについて、グラフ論的問題を中心に据え、アルゴリズムの発見、改良、P-NP 問題等を研究。

渡辺：重力相互作用下でのカイラル異常に関する厳密計算を完成した。一方、フラクタルと呼ばれる自己相似図形の上での拡散現象について繰り込み群による分析を続けている。安定固定点を利用する従来の手法が適用できないフラクタルを考察し、不安定固定点を利用して連続極限を構成する方法を開発した。

研究業績

論 文

- 1) Watanabe, H. and Yoshioka, A.: Chiral anomaly on a spin manifold. Proceedings of the Japan Academy, 67A, 101~103, 1991.
- 2) Inoue O.¹⁾, Kobayashi K.¹⁾, Tsukada, H.¹⁾, Itoh, T. and Langstrom, B.²⁾ (¹⁾N.I.R.S, ²⁾Uppsala Univ.): [原著] Difference in inreceptor binding between [3H]-N-methylspiperone. J. Neural Trausm., 85, 1~10, 1991.
- 3) Miyake, A.: [原著] Education of mathematics in Japanese Medical Institutes. Proceeding of ICMI-China Regional Conference on Mathematical Education, 3, 122~126, 1991.
- 4) Inoue, O.¹⁾, Tsukada, H.¹⁾, Kobayashi, K.¹⁾, Suhara, T.¹⁾ and Itoh, T. (¹⁾N.I.R.S): [原著] Swime stress alters in vivo binding of [3H]-N-methlspiperone. Neuropharmacology, 30, 1101~1106, 1991.
- 5) 三宅章彦: [原著] 森鷗外の統計論争について. 数学教育学会研究紀要, 91年度特別号, 28~33, 1991.
- 6) Ito, T., Tsukada, H.¹⁾, Hashimoto, H.¹⁾, Inoue, O.¹⁾ and Yamazaki, T.¹⁾ (¹⁾N.I.R.S): [原著] Quantitive analysis of the dynamic change of ligand-receptor building. Acta Radiologica, 376, 123~124, 1992.
- 7) Inoue, O.¹⁾, Tsukada, H.¹⁾, Suhara, T.¹⁾, Yonezawa, H.¹⁾, Itoh, T. and Yamazaki, T.¹⁾ (¹⁾N.I.R.S): [原著] Effect of lithium and anesthetics on in vivo building of dopamine receptor. Acta Radiologica, 376, 123~124, 1992.
- 8) Tsukada, H.¹⁾, Inoue, O.¹⁾, Yonezawa, H.¹⁾, Suhara, T.¹⁾, Itoh, T., Yamazaki T.¹⁾ and Langstrom, B.²⁾ (¹⁾N. I.R.S, ²⁾Uppsala Univ.): [原著] Difference of distribution between RO 15-1788 and RO 15-4513. Acta Radiologica, 376, 157~158, 1992.
- 9) Yonezawa, H.¹⁾, Inoue O.¹⁾, Tsukada, H.¹⁾, Suhara, T.¹⁾, Itoh, T., Togi, H.¹⁾, Yamazaki, T.¹⁾ and Langstrom,

B.²⁾ (¹N.I.R.S., ²Uppsala Univ.): [原著] Effect of L-Dopa and reserpine on in vivo binding in (3H)-SCH23390 and (3H)-N-methylspiperone. Acta Radiologica, 376, 167~168, 1992.

著 書

- 1) 伊藤高司: [分担] ポジトロン核医学の将来展望 (館野之男, 山崎統四郎, 福田 寛編). p. 61~67, 実業公報社, 1992.

学会発表

- 1) 飯田博和: [一般講演] 看護学院での統計教育. 1991年度数学教育学会春季年会, 1991.
- 2) 渡辺 浩: [シンポジウム] Sierpinski gasket 上の漸近的に一次元的な連続マルコフ過程の構成. Martingale に関連する諸問題 (京都大学数理解析研究所), 1991.
- 3) 三宅章彦: [報告] 日本の大学に於ける数学教育. 日豪数学教育会議 (日医大), 1991.
- 4) 渡辺 浩: [シンポジウム] Lattice fermions on manifolds and the index theorem. 第38回幾何学シンポジウム, 1991.
- 5) Miyake, A.: [一般講演] Education of Mathematics in Japanese Medical Institutes, ICMI-CHINA (International Conference of Mathematics Instruction Regional Conference. China) (北京), 1991.
- 6) 儀我真理子: [セミナー] Laplace operator in Lipschitz domain. 偏微分方程式セミナー (名古屋大学), 1991.
- 7) 三宅章彦: [シンポジウム] 大学の一般教育・基礎教育での数学のあり方. 1991年度数学教育学会秋季例会, 1991.
- 8) 三宅章彦: [一般講演] 医科大学に於ける統計教育. 1991年度数学教育学会秋季例会, 1991.
- 9) 飯田博和: [一般講演] 大学での統計教育について. 1991年度数学教育学会秋季例会, 1991.
- 10) 儀我真理子: [一般講演] リプシッツ境界をもつ領域でのラプラス作用素. 日本数学会 (北海道大学), 1991.
- 11) 三宅章彦: [一般講演] 森鷗外の統計論争について. 日中数学教育学会 (日医大), 1991.
- 12) 三宅章彦, 飯田博和: [一般講演] 統計授業へのパソコンの導入. 1991年度日本計算機統計学会, 1991.
- 13) 渡辺 浩: [シンポジウム] abc-gasket 上の漸近的に一次元な拡散過程の構成. フラクタルとその周辺 (統計数理研究所), 1991.

[物理学]

研究概要

三浦: s波のボトム重粒子の質量を準相対論的クォーク模型で議論した. ただし, クォーク間の距離は我々が提案した規則のもとに変化させて計算している. その結果, 未発見の粒子 Σ_b は, はっきりしていないがアレントンたちの発見したと思われる Ξ_b (中性の場合, u, s, bクォークが含まれており, uとsが反対称のもの) よりも20数 MeV 重いと結論した.

香川: 筋肉収縮の分子機構を解明するには, ミオシンとアクチンの分子間の力の性質を研究する必要がある. そのための分子間力の測定装置を開発している. また, 電場が存在するときの溶液中のイオンの動的性質を研究するために, 外部電場をかけて電位分布の時間変化の測定をした.

須田: カオスの統計力学. 前年度の間欠的挙動についての検討の継続. また, ノイズ誘起カオス-カオス転移時のスペクトルの構造について検討中. さらに, 神経系の動力学および巨大分子内でのゆらぎ動力学についてカオスの観点から引き続き検討中.

菊地: 現在の実験技術ではまだ検証されていないような短い時間スケールで起こっている, 光励起された視物質発色団の動的構造変化の機構を理論的に研究している. 発色団の電子状態の計算から得られる知見を解析するに留まらず, この状態とその伸縮・ねじれ振動との相互作用をも明らかにして, 視物質発色団の光異性化に対する動力学的理

論の確立を目指している。

研究業績

論文

- 1) Kagawa, H. and Sugita, T.¹⁾ (1)駒短大) : [原著] Measurement of concentration of calcium-45 in aqueous solutions with a silicon photodiode as a beta-ray detector. J. Radioanal. Nucl. Chem., Letters, 154, 185~196, 1991.
- 2) 永井喜則¹⁾, 香川 浩 (1)麻布大) : [研究ノート] ミオシン-アクチン相互作用の古典電気力学的記述. 麻布大学教養部研究紀要, 25, 147~155, 1992.
- 3) Itoh, C.¹⁾, Minamikawa T.²⁾, Miura, K. and Watanabe, T.³⁾ (1)明学大, 2)商船大, 3)亜大) : [原著] Where is the Σ_6 ? Prog. Theor. Phys., 87, 781~784, 1992.

学会発表

- 1) 菊地浩人, 鈴木英雄¹⁾ (1)早大理工) : [一般講演] 視物質発色団の光異性化機構. 日本生物物理学会第29回年会, 1991.

[化 学]

研究概要

ジルコニウム (IV) とハフニウム (IV) は電子配置だけでなくイオン半径も類似しているため、両者の分離は極めて困難である。プロトンに対し特異的吸着を示すシリカゲルについて、両イオンのペルオキ錯体の吸着挙動を調べ、TLC 分離を試みた。また、希土類元素のシリカゲルへの吸着挙動をリチウム塩水溶液系について調べ、重希土類元素の隣接多成分分離を達成した。[石田]

①質量分析計を用いた研究：金属錯体、生体内微量物質の同定および定量、中毒原因物質の同定等。②原子炉を用いた研究：中性子放射化分析による生体内微量金属の同定および定量、中性子オートラジオグラフィと X 線写真の組合せによるそれぞれの透過能の違いを用いた胆石内部構造の研究。[田中]

アルカリ金属-ナフタレン錯体を用いたテルペン系化合物の合成および、不飽和酸とジクロロカルベンの反応による、ジクロロシクロプロパンカルボン酸の合成。[菅原]

アミノ酸と塩基(2,2'-ビピリジン)を配位子とするルテニウム錯体の研究。①錯体の合成。②高速液体クロマトグラフィによる錯体異性体の分離及びその機構。③水溶液中での錯体異性体の安定度。錯体構造と溶媒和の関係。④光化学反応。[永井]

アミン処理したシリカゲルについて、高濃度塩水溶液系におけるスカンジウム、イットリウムとゴビランタノイドの吸着挙動を調べ、イットリウムの特異的分離の可能性を検討している。また、pH 緩衝水溶液系についても調査している。[武田]

研究業績

論文

- 1) Ishida, K., Ninomiya, S.¹⁾, Uchida, Y.¹⁾ and Osawa, M.¹⁾ (1)Tokyo Gakugei Univ.) : [原著] Thin-layer chromatographic behaviour and separation of zirconium (IV) and hafnium (IV) on silica gel in mineral acid-hydrogen peroxide media. J. Chromatogr., 539, 169~175, 1991.
- 2) Miki, E.¹⁾, Harada, K.¹⁾, Kamata, Y.¹⁾, Umehara, M.¹⁾, Mizumachi, K.¹⁾, Ishimori, T.¹⁾, Nakahara, M.¹⁾, Tanaka, M. and Nagai, T. (1)Rikkyo Univ.) : [原著] Trans-Influence of a Coordinating Nitrosyl Group :

Preparation and Structure of cis-Trihalogeno (8-quinolinolato or its derivative) nitrosylruthenate (1-), Polyhedron, 10, 583~589, 1991.

- 3) 三樹 勝¹⁾, 田中幹夫, 永井 俊, 田崎達也¹⁾, 内藤英二¹⁾, 渡邊日章¹⁾ (第二病院外科, ²⁾法医学): [報告] タイ人および日本人の胆石中の微量元素の定量. 立教大学原子炉共同利用研究成果報告書, 20, 62~64, 1991.
- 4) 菅原理二, 渡辺昭次¹⁾, 藤田 力¹⁾, 坂本昌己¹⁾, 杉本憲一¹⁾ (千葉大学工学部): [原著] シクロプロパン環を有するアルカン酸の選択的ラクトン化反応. 日本化学会誌, 1526~1533, 1991.

学会発表

- 1) 内藤英二¹⁾, 田崎達也¹⁾, 三樹 勝¹⁾, 永井 俊, 田中幹夫 (第二病院外科): [展示] 日本人およびタイ人の胆石中, 胆汁中の微量元素の定量—特にヨウ素含有量について—. 第91回日本外科学会総会, 1991.
- 2) 田中幹夫, 永井 俊, 三木英一¹⁾, 石森達二郎¹⁾ (立教大学理学部): [一般講演] 重水素化マトリックスを用いた [RuCl₂(bpy)₂] および [Ru(CN)₂(bpy)₂] 錯体の Liquid SIMS スペクトル. 1991年度質量分析連合討論会, 1991.
- 3) 二宮修治¹⁾, 石田宏二, 大沢眞澄¹⁾ (東京学芸大学): [一般講演] シリカゲル—リチウム塩水溶液系における希土類元素の TLC 挙動と相互分離. 日本化学会第62秋季大会, 1991.
- 4) 森田知成¹⁾, 松塚雅博¹⁾, 浜田 武¹⁾, 石田宏二 (杏林大): [一般講演] TLC—デメントメトリーによる貴金属回収工場廃液中の微量パラジウムの定量. 日本分析化学会第40年会, 1991.
- 5) 生澤英典¹⁾, 岩崎正幸¹⁾, 長田祥子¹⁾, 三木英一¹⁾, 水町邦彦¹⁾, 石森達二郎¹⁾, 永井 俊, 田中幹夫 (立教大学理学部): [展示] 8-キノリノラート類を配位子とするニトロシルルテニウム (III) 錯体の合成と性質. 第41回錯体化学討論会, 1991.
- 6) 田中幹夫, 永井 俊, 三木英一¹⁾, 石森達二郎¹⁾ (立教大学理学部): [一般講演] 酸化性, 還元性マトリックスを用いた Liquid SIMS スペクトル中で観測された [RuCl₂(bpy)₂] と [RuCl₂(bpy)₂] Cl 錯体のプロトン親和性. 第41回錯体化学討論会, 1991.

[生物学]

研究概要

1) 両生類初期胚の中胚葉誘導において, 細胞成長因子によって引き起こされる細胞分化の過程では, 多くの新しい遺伝子の発現が認められる. その中で, 体軸決定に関するホメオボックス遺伝子群の動向に注目している. 誘導因子の濃度勾配に応じて異なった組織形成が起こる際に, これらの遺伝子による調節が行われていることが示唆された.

(木下)

2) ウニを中心とした棘皮動物の未受精卵には, 特異的な UDP-糖化合物が含まれていることが明らかにされてきたが, 初期発生におけるこの物質の役割を調べるため, ウニの16細胞胚の大・中・小割球をそれぞれ単離して, それらの中の UDP-糖化合物の含量や種類の分析を進めている. (関)

3) カロテノイド色素は, 酸素存在下で生息するすべての生物において, 有害な活性酸素の除去という生体防衛機能を有し, さらに光合成系では光捕集色素としての機能も併せもつ. それらの解析のためには, 色素の同定や定量をすることも一つの重要な基礎的研究課題であるので, 放線菌, 光合成細菌, 藻類, その他の植物などについて分析してきた. これらの研究を通して, 色素の粗抽出液を逆相系カラムとフォトダイオード検出器を接続した高速液体クロマトグラフィーで分析し, 保持時間と吸収スペクトルから, カロテノイドおよびクロロフィルを推定あるいは同定し, さらに個々の色素を分離精製して種々の機器分析から同定する方法を確立した. これらの方法に関して, Methods in Enzymology (Carotenoids) から執筆依頼があり, 2報の論文にまとめた. 1992年に出版される予定である. また, 反応機構を解析するためには, 機能を保持したタンパク質の分離精製, タンパク質化学的・物理化学的手法が必要な

ので、高市は1991年7月から、イギリス・グラスゴー大学植物学教室 R.J. Cogdell 教授のもとで研修を続けている。
(高市・石津)

研究業績

論文

- 1) Asashima, M.¹⁾, Nakano, H.¹⁾, Uchiyama, H.¹⁾, Sugino, H.²⁾, Nakamura, T.²⁾, Eto, Y.³⁾, Ejima, D.³⁾, Davids, M.⁴⁾, Plessow, S.⁴⁾, Cichočka, I.⁴⁾ and Kinoshita, K. (¹⁾Yokohama City Univ., ²⁾Inst. Physical and Chemical Res. (Riken), ³⁾Ajinomoto Co., ⁴⁾Freien Univ., Berlin) : [原著] Follistatin inhibits the mesoderm-inducing activity of activin A and the vegetalizing factor from chicken embryo. Roux's Arch. Dev. Biol., 200, 4~7, 1991.
- 2) Takaichi, S., Furihata, K.¹⁾ and Harashima, K.²⁾ (¹⁾Inst. Appl. Microbiol., Univ. Tokyo, ²⁾Yachiyo Internatl. Univ.) : [原著] Light-induced changes of carotenoid pigments in anaerobic cells of the aerobic photosynthetic bacterium, *Reseobacter denitrificans* (*Erythrobacter* species OCh 114) : reduction of spheroidenone to 3,4-dihydrospheroidenone. Arch. Microbiol., 155, 473~476, 1991.
- 3) 浅島 誠¹⁾, 木下 圭 (¹⁾横浜市大・生物) : [原著] 中胚葉誘導の分子生物学的アプローチ. 実験医学, 9 (増刊), 705~711, 1991.
- 4) Asashima, M.¹⁾, Nakano, H.¹⁾, Uchiyama, H.¹⁾, Sugino, H.²⁾, Nakamura, T.²⁾, Eto, Y.³⁾, Ejima, D.³⁾, Nishimatsu, S.⁴⁾, Ueno, N.⁴⁾ and Kinoshita, K. (¹⁾Yokohama City Univ., ²⁾Inst. Physical and Chemical Res. (Riken), ³⁾Ajinomoto Co., ⁴⁾Tsukuba Univ.) : [原著] Presence of activin in unfertilized eggs and blastulae of *Xenopus laevis*. Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 88, 6511~6514, 1991.
- 5) Takaichi, S., Furihata, K.¹⁾, Ishidzu, J. and Shimada, K.²⁾ (¹⁾Inst. Appl. Microbiol., Univ. Tokyo, ²⁾Tokyo Metropolitan Univ.) : [原著] Carotenoid sulphates from the aerobic photosynthetic bacterium, *Erythrobacter longus*. Phytochemistry, 30, 3411~3415, 1991.
- 6) Mimuro, M.¹⁾, Nagashima, U.²⁾, Takaichi, S., Nishimura, Y.³⁾, Yamazaki, I.³⁾ and Katoh, T.⁴⁾ (¹⁾Natl. Inst. Basic Biol., ²⁾Inst. Molec. Sci., ³⁾Hokkaido Univ., ⁴⁾Kyoto Univ.) : [原著] Molecular structure and optical properties of carotenoids for the *in vivo* energy transfer function in algal photosynthetic pigment system. Biochim. Biophys. Acta, 1098, 271~274, 1992.
- 7) Noguchi, T.¹⁾, Hayashi, H.¹⁾, Shimada, K.²⁾, Takaichi, S. and Tasumi, M.¹⁾ (¹⁾Univ. Tokyo, ²⁾Tokyo Metropolitan Univ.) : [原著] In vivo states and functions of carotenoids in an aerobic photosynthetic bacterium, *Erythrobacter longus*. Photosynth. Res., 31, 21~30, 1992.
- 8) Mimuro, M.¹⁾, Nagashima, U.²⁾, Nagaoka, S.³⁾, Nishimura, Y.⁴⁾, Takaichi, S., Katoh, T.⁵⁾ and Yamazaki, I.⁴⁾ (¹⁾Natl. Inst. Basic Biol., ²⁾Inst. Molec. Sci., ³⁾Ehime Univ., ⁴⁾Hokkaido Univ., ⁵⁾Kyoto Univ.) : [原著] Quantitative analysis of the solvent effect on the relaxation processes of carotenoids showing dual emissive characteristics. Chem. Phys. Lett., 191, 219~224, 1992.

著書

- 1) Seki, T. and Yanagisawa, T.¹⁾ (¹⁾Saitama Med. Sch. Jr. College) : [分担] Chromatographic studies on acid-soluble nucleotides in unfertilized eggs of echinoderms. "Biology of Echinodermata (Proceedings of the 7th Internatl. Echinoderm Conference)" (Yanagisawa, T., Yasumasu, I., Oguro, C., Suzuki, N. and Motokawa, T. eds.). p. 273~276, A.A. Balkema (Rotterdam), 1991.

学会発表

- 1) 齊藤 智¹⁾, 高市真一, 西村行正¹⁾ (1)東京理科大・応用生物): [一般講演] *Pseudomonas radiora* の光合成色素蛋白複合体のカロテノイドと遊離型カロテノイドについて. 1991年度日本農芸化学会大会, 1991.
- 2) 高市真一: [シンポジウム] 好気性光合成細菌のカロテノイド. 大阪大学蛋白質研究所セミナー「光合成細菌の分子生物学」, 1991.
- 3) Mimuro, M.¹⁾, Nagashima, U.²⁾, Takaichi, S., Nishimura, Y.³⁾, Yamazaki, I.³⁾ and Katoh, T.⁴⁾ (1)Natl. Inst. Basic Biol., 2)Inst. Molec. Sci., 3)Hokkaido Univ., 4)Kyoto Univ.): [シンポジウム] A keto functional group in carotenoids provides a higher transfer efficiency in algal photosynthetic pigment systems, Gordon Conference on Biophysical Aspect of Photosynthesis (Gordon), 1991.
- 4) Hatakeyama, N.¹⁾, Sasa, T.²⁾, Watanabe, M.M.²⁾ and Takaichi, S. (1)Nippon Roche Res. Center, 2)Natl. Inst. Environmental Studies): [展示] Structure and pigment composition of *Chlorarachnion* sp. IVth Internatl. Phycological Congress (Durham), 1991.
- 5) Sasa, T.¹⁾, Suda, S.²⁾, Watanabe, M.M.¹⁾, Inouye, I.³⁾ and Takaichi, S. (1)Natl. Inst. Environmental Studies, 2)Nippon Roche Res. Center, 3)Univ. Tsukuba): [展示] Unusual pigment pattern of *Chlamydomonas parkeae*. IVth Internatl. Phycological Congress (Durham), 1991.
- 6) Watanabe, M.M.¹⁾, Sasa, T.¹⁾, Suda, S.²⁾, Inouye, I.³⁾ and Takaichi, S. (1)Natl. Inst. Environmental Studies, 2)Nippon Roche Res. Center, 3)Univ. Tsukuba): [展示] Major carotenoid composition of an endosymbiont in a green dinoflagellate, *Lepidodinium viride*. IVth Internatl. Phycological Congress (Durham), 1991.
- 7) 嶋田敬三¹⁾, 高市真一 (1)都立大・生物): [一般講演] 好気性光合成細菌 *Erythrobacter longus* の色素タンパク複合体におけるシスおよびトランス型カロテノイドの結合様式. 日本植物学会第56回大会, 1991.
- 8) 三室 守¹⁾, 高市真一, 長嶋雲兵²⁾, 西村賢宣³⁾, 山崎 巖³⁾, 加藤哲也⁴⁾ (1)基生研, 2)分子研, 3)北大・工, 4)京大・理): [一般講演] カロテノイドの蛍光特性II. 日本植物学会第56回大会, 1991.
- 9) 三室 守¹⁾, 長嶋雲兵²⁾, 高市真一, 加藤哲也³⁾, 山崎 巖⁴⁾, 西村賢宣⁴⁾, 緒方武比古⁵⁾, 横濱康継⁶⁾ (1)基生研, 2)分子研, 3)京大・理, 4)北大・工, 5)北里大・水産, 6)筑波大・下田臨海センター): [一般講演] 光合成系のカロテノイドの分子構造と蛍光特性. 日本生物物理学会第29回年会, 1991.
- 10) 木下 圭, 浅島 誠¹⁾ (1)横浜市大・生物): [一般講演] 中胚葉分化誘導因子によるツメガエル予定外胚葉細胞での分化マーカー遺伝子の発現. 日本動物学会第62回大会, 1991.
- 11) 西村賢宣¹⁾, 山崎 巖¹⁾, 三室 守²⁾, 高市真一, 長嶋雲兵³⁾ (1)北大・工, 2)基生研, 3)分子研): [一般講演] 藻類光合成系カロテノイドの蛍光特性. 日本化学会光化学討論会, 1991.
- 12) 立沢秀高¹⁾, 佐々木次郎²⁾, 高市真一, 山本谔子²⁾ (1)荏原総研, 2)明大・農化): [一般講演] 諏訪湖から分離した粘液細菌のカロテノイド. 日本陸水学会第56回大会, 1991.
- 13) 三室 守¹⁾, 長嶋雲兵²⁾, 高市真一, 長岡伸一³⁾, 西村賢宣⁴⁾, 山崎巖⁴⁾, 加藤哲也⁵⁾ (1)基生研, 2)分子研, 3)愛媛大・理, 4)北大・工, 5)京大・理): [一般講演] 藻類の光合成色素系で機能するカロテノイドの分光特性. 第5回カロテノイド研究談話会, 1991.

3. 外国語

[英語]

研究概要

The installation of a modern language laboratory at Shin Maruko has aided us in our efforts to improve the

teaching of communicative skills. The halving of the numbers of students in the language classes has also contributed much towards this goal. Practical work was carried out on methodology related to the communicative approach to language teaching, leading to the publication of a textbook on spoken English.

Our comparative study of the English proficiency of Japanese and Thai medical students and their attitudes towards English language learning, begun in 1990, was continued with further field work at Chiang Mai University in northern Thailand.

Literary research has been carried out into the reception of Chaucer's *Canterbury Tales* in eighteenth-century England with regard to contemporary publications of Chaucer's works and the publishing climate of the period. Papers on this topic were read at conferences, and these will be revised for publication in the near future. Research was also carried out into English drama in the sixteenth century with a view to publishing a reference work on Tudor interludes; part of this research appeared as an article on the Wit Plays published in the *Bulletin of Liberal Arts and Sciences, Nippon Medical School*.

研究業績

論文

- 1) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (13) No Place Like Home. Timescope アルク, 7, 31, 40, 1991.
- 2) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析37: "those+関係調節"の構文. Timescope アルク, 7, 31, 39, 1991.
- 3) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析38: who/whose/whom と that. Timescope アルク, 7, 32, 39, 1991.
- 4) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析39: who の制限・非制限用法. Timescope アルク, 7, 33, 39, 1991.
- 5) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (14) Why Quitting Means Gaining. Timescope アルク, 7, 36, 40, 1991.
- 6) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析40: 関係代名詞 whose の用法. Timescope アルク, 7, 36, 39, 1991.
- 7) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析41: whose か of which か. Timescope アルク, 7, 37, 39, 1991.
- 8) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析42: 連鎖関係調節とは. Timescope アルク, 7, 38, 39, 1991.
- 9) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (15) Sayonara, Rio. Bom Dia, Tokyo. Timescope アルク, 7, 40, 40, 1991.
- 10) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析43: 連鎖関係調節の実例. Timescope アルク, 7, 40, 39, 1991.
- 11) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析44: 連鎖関係調節と省略. Timescope アルク, 7, 41, 39, 1991.
- 12) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析45: which が指すものは何か. Timescope アルク, 7, 42, 59, 1991.
- 13) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (16) Why Not the Best? Timescope アルク, 7, 44, 36, 1991.
- 14) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析46: which...による挿入的説明. Timescope アルク, 7, 44, 35, 1991.
- 15) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析47: which...による付加的説明. Timescope アルク, 7, 45, 35, 1991.
- 16) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析48: 関係代名詞と前置詞との関係. Timescope アルク, 7, 46, 35, 1991.
- 17) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (17) The Ultimate Horror Show. Timescope アルク, 7, 49, 36, 1991.
- 18) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析49: "前置詞+which..."の構文. Timescope アルク, 7, 49, 35,

- 1991.
- 19) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析50；「前置詞＋関係代名詞」の節を読み下す。Timescope アルク，7，50，35，1991.
 - 20) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析51；both of whom…など。Timescope アルク，7，51，35，1991.
 - 21) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (18) Pushing Back the Tide. Timescope アルク，7，53，36，1991.
 - 22) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析52；both of which…など。Timescope マスク，7，53，35，1991.
 - 23) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析53；関係詞構文を概観すると。Timescope アルク，8，2，35，1991.
 - 24) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析54；関係代名詞 what の構文。Timescope アルク，8，3，35，1991.
 - 25) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (18) The Russian Revolution. Timescope アルク，8，6，36，1991.
 - 26) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析55；“前置詞＋what…”の構文。Timescope アルク，8，6，35，1991.
 - 27) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析56；疑問詞か関係代名詞か。Timescope アルク，8，7，35，1991.
 - 28) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析57；“what he is now”の類型。Timescope アルク，8，8，35，1991.
 - 29) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (20) Time to Say Goodbye. Timescope アルク，8，10，36，1991.
 - 30) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析58；“what A is to B”など。Timescope アルク，8，10，35，1991.
 - 31) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析59；what…の盲点は何か。Timescope アルク，8，11，35，1991.
 - 32) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析60；as…の挿入的用法。Timescope アルク，8，12，35，1991.
 - 33) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (21) Office Crimes. Timescope アルク，8，14，36，1991.
 - 34) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析61；挿入節の前後の内容を指す as. Timescope アルク，8，14，35，1991.
 - 35) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析62；as は接続詞か関係詞か。Timescope アルク，8，15，35，1991.
 - 36) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析63；whatever, however など。Timescope アルク，8，16，35，1991.
 - 37) Minton, T.：〔その他〕‘The Misadventures of Brave Travelers’. 三省堂英語教育高校編，1，4，14～15，1991.
 - 38) Minton, T.：〔その他〕‘A Gourmet’s Paradise’. 三省堂英語教育高校編，1，6，14～15，1991.
 - 39) Minton, T.：〔その他〕‘Simple Misunderstandings’. 三省堂英語教育高校編，1，8，12～13，1991.
 - 40) Minton, T.：〔その他〕‘Irritation’. 三省堂英語教育高校編，1，10，14～15，1991.
 - 41) Minton, T.：〔その他〕‘Nudity Ignored’. 三省堂英語教育高校編，1，12，14～18，1991.
 - 42) Minton, T., Nakamura, T. and Nishikawa, S.：〔報告〕‘A Follow-up Study of the English Proficiency of Chiang-Mai University Students and Nippon Medical School Students’. The Bulletin of Liberal Arts & Sciences Nippon Medical School, No. 12, 57～67, 1991.
 - 43) Minton, T.：〔その他〕Dialogues on Topics from TIME (22) How Safe Is Sex? Timescope アルク，8，19，36，1992.
 - 44) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析64；関係代名詞から関係副詞へ。Timescope アルク，8，19，35，1992.
 - 45) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析65；関係副詞 where の用法。Timescope アルク，8，20，35，1992.
 - 46) 山口俊治：〔その他〕TIME 頻出構文の分析66；where…による補足説明の付加。Timescope アルク，8，21，35，1992.

- 47) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (23) Trial by Television & The Case That was Not Heard. Timescope アルク, 8, 23, 36, 1992.
- 48) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析67; 場所を説明する where のまとめ. Timescope アルク, 8, 23, 35, 1992.
- 49) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析68; 「時」を説明する関係詞節. Timescope アルク, 8, 24, 35, 1992.
- 50) 山口俊治: [その他] TIME 頻出構文の分析69; 関係副詞 when の実例. Timescope アルク, 8, 25, 35, 1992.
- 51) Minton, T.: [その他] Dialogues on Topics from TIME (24) Blame It on Japan. Timescope アルク, 8, 27, 36, 1992.
- 52) Minton, T.: [その他] 数字は語る. Timescope アルク, 8, 27, 35, 1992.
- 53) Minton, T.: [その他] 日・タイ学生英語力比べ. Timescope アルク, 8, 28, 36, 1992.
- 54) Minton, T.: [その他] 'Chocolates or Cards?' 三省堂英語教育高校編, 1, 14, 10~11, 1992.
- 55) 中村哲子: [原著] 'vice'から'Vice'へー「知恵の劇」に関する一考察. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 12, 47~55, 1992.

著 書

- 1) 山口俊治: [著書] 基本からやってみるか英会話; 基本技術編. p. 1~350, 語学春秋社, 1991.
- 2) 山口俊治, Minton, T.: [共著] Writing Conversational English. p. 1~123, 成美堂, 1992.
- 3) 山口俊治, Minton, T.: [監修] Writing Conversational English カセット・テープ全2巻, C90×2, 成美堂, 1992.
- 4) 山口俊治: [著書] Effective Steps to English Grammar. p. 1~159, 桐原書店, 1992.
- 5) 山口俊治: [著書] Teacher's Manual for Effective Steps to English Grammar. p. 1~143, 桐原書店, 1992.
- 6) 山口俊治: [監修] 基本からやってみるか英会話; 基本技術編カセットテープ全4巻, C90×4, 語学春秋社, 1992.
- 7) 山口俊治: [著書] Workbook for Effective Steps to English Grammar. p. 1~56, 桐原書店, 1992.
- 8) 山口俊治, Minton, T.: [共著] Teacher's Manual for Writing Conversational English. p. 1~88, 成美堂, 1992.

学会発表

- 1) 山口俊治: [招待講座] 教授者側の基本的認識事項あれこれ. 山梨県高等学校教育研究会英語部会, 1991.
- 2) Minton, T.: [シンポジウム] A Comparative Study of the English Proficiency of Chiang-Mai University Students and Nippon Medical School Students. Joint Symposium to Commemorate 25 Years of Academic Exchange between Nippon Medical School and Chiang-Mai University Faculty of Medicine, 1991.
- 3) 中村哲子: [研究発表] *The Canterbury Tales* の18世紀における系譜. 第63回日本英文学会, 全国大会, 1991.
- 4) Nakamura, T.: [研究発表] The Development of Modernized *Canterbury Tales* in the Eighteenth Century. The British Council Japan, English Literature Seminar 1991, 1991.
- 5) Nakamura, T.: [研究発表] Chaucerian Publications and Their Publishers in the Eighteenth Century. Keio Seminar on English Literature and Medievalism, 1992.

[ドイツ語]

研究概要

ドイツ語教室ではドイツ語教授法研究の一環として, 教材(主として初級用文法教科書)作成とその教材による比

比較テストをほぼ毎年行っており、平成3年度には教職員および幾つかの大学の協力により、比較テストを実施することができた。ドイツ語教室では従来学生にドイツ文法を教えるにはどのような方法がより効果的であるかという問題について検討してきており、同時に、学生側からよく聞かれる「文法をより系統的、かつ能率的に覚える方法はないか」という要求を考慮しつつ、従来の固定化された教育方法に柔軟性を持たせながら、「教えやすく、習いやすい」教材の作成を目指している。

現在、各大学におけるドイツ語の教授方法には、大きく分けて2つのタイプがあると考えられる。一つは伝統的タイプとも言うべき「文法・講読分離型」、もう一つは外国語の能力は「話す、聞く、読む、書く」という4つの能力の総合であるという判断から、教授法においてもこれを分離することを否定する「総合型」である。後者のタイプにおいてはドイツ各州の教育センターやゲーテ・インスティトゥートを始め、国内の大学でも次々と新しい試みがなされている。特に数年前からは、発話者の意思や思想、感情などの伝達および交換に重点を置く“Kommunikativer Sprachunterricht”が盛んに研究されるようになってきており、この面での教材も開発され、授業で実際に成果を挙げているところもある。しかし、新しい方法をドイツ語教室として取り入れようとすると、幾つかの困難な問題にぶつからざるをえない。中でも、教育する側とされる側の学習目標の違い、さらにその違いによる学習意識、学習態度の差、それに、より根本的な問題として、既成の教授法による受容能力はあっても、それを（新しい教授法において特に重要視されている）表現能力に変えることを極めて不得意とする学習者（この場合教える側の能力にも大いに関係がある）が相手であることなど、新しい方法を取り入れるのに戻込みする要因は決して少なくない。この方法で成功しているところは、上述した両者の目的が一致し、しかも両者の能力が優れているいわば模範的なクラスである。当教室ではドイツ語教育に「総合型」を取り入れるか否かは将来の課題として残しておくこととし、当面は「効率の良い」文法教材の作成を検討していくことを目標としたい。平成3年度においてもその線で教材研究、比較テストによる現状分析を行った。

研究業績

論文

- 1) 横内一実, 安藤 勉, 国信浩洋: [報告] ドイツ語比較テスト(8); 本学および他大学との学力比較に関する報告. 日本医科大学基礎科学紀要, 第12号, 69~76, 1992.

著書

- 1) 安藤 勉: [翻訳] シュタイニッツァーW. 著: 日本山岳紀行; ドイツ人が見た明治末の信州. 信濃毎日新聞社, 1992.
- 2) 国信浩洋, 安藤 勉: [共編] この作家を知っている? 白水社, 1992.

学会発表

- 1) 国信浩洋: [一般講演] 平田禿木とヴィンケルマン. 1991年度日本独学史学会研究発表会, 1991.

[フランス語]

研究概要

当教室では、フランス語学、フランス文学、フランス思想史、そしてフランス語教授方法について、様々な研究、実行をすすめている。まず、フランス語学については、フランスのモンペリエ大学と連絡を取りつつ、最新の語学研究を知ることができるようにしている。最近ではロベール辞典の改定の協力もしている。フランス文学・思想については、当教室発足以来続けている17, 18世紀のフランス文学・思想についての研究をより深めるように努めている。具体的には、デカルト、パスカル、ルソー、マブリー、ラオンタン等について、資料を集め、学会や紀要に論文を発

表するという形をとっている。特に、ルソーについては、世界でも研究がほとんどなされていない晩年の大作について、その内容および思想的意義について研究を進行中である。先年、文部省の協力によって、ルソーの時代の地下文書をかなりの数、集めることができたので、ルソーの思想的影響力をかなり具体的に知ることができた。勿論ルソーの初期・中期作品についても研究中で、毎年本学の紀要に「ルソー研究」と題してその成果を報告している。

フランス語教授方法については、やはりモンペリエ大学と連絡を取り合って、最新の教授方法を考案するように努めている。講義への具体的なあらわれとしては、集中的記憶と段階的表現というモンペリエ大学独自の方法を採用し、ビデオやテープの利用も加えて、できるだけ短期間で、「読解」と「表現」について、学生が進歩できるようにしている。今後の課題は、研究面では、18世紀フランスの地文書読解の継続と、講義において学生にフランス語で作文ができるまでに応用力をつけさせる点に力をかたむけることがあげられる。

研究業績

論文

- 1) 小林 浩：〔原著〕ルソー研究 (Etude sur Rousseau)。日本医科大学基礎科学紀要，第12号，39～45，1991。

学会発表

- 1) 小林 浩：〔論文発表〕ルソー研究（「ポーランド統治考察」について）。日本フランス語フランス文学会（秋期大会），1991。
- 2) 小林 浩：〔論考発表〕Lahontan 研究（Lahontan と未開人）。日本18世紀研究会，1991。

4. 保健体育

〔保健体育〕

研究概要

当教室では高齢者の体力についての研究，運動性貧血の発症要因についての生化学的研究，および幼児から大学生までを対象とした行動体力と防衛体力についての縦断的研究を行っている。

その概要は下記のごとくであった。

- 1) 高齢者の健康と体力の維持・増進を目的とした望ましい歩行運動強度について，心拍数および血圧の測定を基に検討している（酒巻）。
- 2) 身体トレーニング時の運動性貧血の発症要因について，腸管からの鉄吸収，赤血球の溶血，赤血球寿命，肝臓内の鉄貯蔵量，鉄関連タンパク質（フェリチン，トランスフェリン，トランスフェリンレセプター，ヘモグロビン，ハプトグロビン等）の代謝の面から，ラットを用いた動物実験により研究を行っている。本年度は特に，腸管からの鉄吸収と運動性貧血の関係を検討中である（三上）。
- 3) 低・中学年児童の体格と体力について，誕生期の遅早の影響，さらに教科外活動の運動経験との関係を準縦断的に検討した。農村地域S町の低・中学年児童を4誕生期に分け，体格と運動能力テスト成績を比較したところ，男子では各年次に誕生期の影響がみられたが，女子では概してみられなかった。運動能力テストの各種目の年次間の相関関係は，基礎的運動能力の走，跳，投では2年次から高いが，調整力系の種目では4年次で高くなり，種目による発育発達差がみられた。さらに，町内の社会体育クラブに2年以上所属している児童と無所属の児童で運動能力テストの成績を比較したところ，前者は後者に比して伸び率が高く，相関も高いことから，教科外活動の運動経験が運動能力テストの成績向上に関与していると思われた（森本）。

研究業績

論文

- 1) 三上俊夫：〔原著〕ラット hepatocyte による ferritin の取り込みとその細胞内代謝. 日医大誌, 58, 317~328, 1991.
- 2) Linpisarn, S.¹⁾, Satoh, K.¹⁾, Mikami, T., Orimo, H.¹⁾, Shinjo, S.¹⁾ and Yoshino, Y.¹⁾ (¹⁾Department of 2nd Biochemistry) : 〔原著〕Effects of iron on lipid peroxidation. International J. Hematology, 54, 181~188, 1991.
- 3) 森本三千代, 三上俊夫, 酒巻敏夫：〔原著〕教科外活動における運動経験と体力テストの関係—小学校低・中学年生—. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 12, 77~83, 1992.
- 4) 森本三千代, 三上俊夫, 酒巻敏夫：〔原著〕小学校低・中学年生の4誕生期における体格と体力テストについて. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 12, 85~93, 1992.

学会発表

- 1) 酒巻敏夫：〔特別講演〕青少年期における体格・体力テストの縦断的一考察. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 2) Mikami, T., Kanda, S.¹⁾, Hirai, Y.¹⁾ and Yoshino, Y.¹⁾ (¹⁾Department of 2nd Biochemistry) : 〔一般演題〕Uptake and intracellular metabolism of ferritin in rat hepatocytes. 3rd International Congress of Comparative Physiology and Biochemistry (Tokyo), 1991.
- 3) 神田節子¹⁾, 三上俊夫, 平井幸彦¹⁾, 吉野芳夫¹⁾ (¹⁾生化学第2) : 〔一般講演〕Fe-dextran 1-回静注ラット肝細胞間鉄輸送の経時的動態について. 第15回鉄代謝研究会, 1991.
- 4) 森本三千代, 酒巻敏夫, 三上俊夫, 高橋修和¹⁾ (¹⁾老研) : 〔一般講演〕農村地域における小学校低・中学年児童の体格と体力テストについて. 第46回日本体力医学会大会, 1991.
- 5) 森本三千代, 酒巻敏夫, 三上俊夫：〔一般講演〕小学校低・中学年児童の体格と体力テストについて. 日本体育学会第42回大会, 1991.
- 6) 平井幸彦¹⁾, 西 昌臣¹⁾, 神田節子¹⁾, 三上俊夫, 吉野芳夫¹⁾ (¹⁾生化学第2) : 〔一般講演〕ヒト肝臓及び脾臓 ferritin に於ける不均一性. 第64回日本生化学会, 1991.

〔2〕基 礎 医 学

1. 解剖学第一講座

研究概要

細胞骨格, 中枢神経伝導路および内分泌器官の形態学などの研究を行っている。

今年度も引き続き機械的張力に対する中皮細胞および内皮細胞のアクチンフィラメントの応答変化について研究が行われた。明らかになった知見はつぎの通りである。

1) 機械的張力による離解中皮細胞におけるストレスファイバー形成

ラット小腸間膜に強い張力を与えるとその中皮細胞間が広く離解する。その際、細胞辺縁域に形成されるアクチン輪状束による収縮力が基底膜を介した接着力と最も強く反作用する細胞周辺に短いストレスファイバーが多数形成された。この研究において各種の細胞外基質成分の分布を en face 標本によって観察する方法が開発された。

2) 妊娠に伴うラット子宮静脈内皮細胞の対応変化

妊娠経過に伴い子宮静脈内皮細胞は非常に細長くなり多数のストレスファイバーを形成した。出産後、これらの細胞は速やかにストレスファイバーを失い、細胞の形も非妊娠時の状態に戻った。こうした変化の主たる原因として子宮増大に起因する本静脈への機械的牽引張力の関与が考えられた。

中枢神経伝導路に関する研究では、これまでにいわれている痛覚伝導路に加え、新たに脊髄結合腕傍核線維系があることを明らかにした。このことをより明瞭にさせるため、免疫組織化学法を用いた順行性標識法で追及をしている。

特異で、示唆にとんだスunks膵臓ランゲルハンス島における内分泌細胞の分布について、さらに発生学的に追及し、インスリン分泌細胞、グルカゴン分泌細胞がこの順に膵臓導管細胞から分化し、右葉(腹側葉)では次いでPP細胞が現れ、導管に近い膵島の部分に集塊状に位置することを明らかにした。また、成体においても膵島は導管と密接な位置関係にあることを立体構築法を用いて明らかにした。下垂体前葉の各種分泌細胞の三次元の分布を明らかにする方法を確実なものにすることができた。

研究業績

論文

- 1) Kamegai, J.¹⁾, Wakabayashi, I.¹⁾, Sugihara, H.¹⁾, Minami, S.¹⁾, Kitamura, T. and Yamada, J. (¹⁾内科学第3): [原著] Growth hormone secretion in stalk-sectioned rats. *Acta Endocrinol*, 124, 700~706, 1991.
- 2) 山田仁三, 北村泰子: [原著] 新たな痛覚伝導路としての脊髄結合腕傍核線維系. *日本疼痛学会誌*, 6, 87~93, 1991.
- 3) Sugimoto, K., Fujii, S. and Yamashita, K.: [原著] Expression of stress fibers in bullfrog mesothelial cells in response to tension. *Exp. Cell Res.*, 196, 353~361, 1991.

学会発表

- 1) 市川安昭, 石川朋子, 鬼頭純三¹⁾, 山下和雄 (¹⁾名古屋大・医): [一般講演] スunks膵島の pp 細胞の微細構造. 第96回日本解剖学会総会, 1991.
- 2) 北村泰子, 山田仁三, 山下和雄: [一般講演] 脊髄から上行する軸索の脳幹における分枝. 第96回日本解剖学会総会, 1991.
- 3) 杉本啓治, 藤井幸子, 山下和雄: [一般講演] 中皮細胞における細胞収縮に伴うストレスファイバー形成. 第44回日本細胞生物学会総会, 1991.
- 4) 左合治彦¹⁾²⁾, 杉本啓治, 藤井幸子, 山下和雄, 飯沼和三²⁾, 北川道弘¹⁾, 寺島芳輝¹⁾ (¹⁾慈恵医大・産婦, ²⁾国立小児病センター): [一般講演] 妊娠ラットの子宮静脈血管内皮細胞に発現するストレスファイバーについて. 第44回日本細胞生物学会総会, 1991.

- 5) 山田仁三, 北村泰子: [一般講演] ラット視床下部および終脳に終止する脊髄線維. 日本神経科学学会第15回大会, 1991.
- 6) 北村泰子, 山田仁三: [一般講演] ラット脊髄結合腕傍核の起始細胞, 終止および終止. 第13回日本疼痛学会, 1991.

2. 解剖学第二講座

研究概要

解剖学第二講座の研究は比較神経学と肉眼解剖学の二つの分野からなっている。

比較神経学の分野は、従来の系統樹の本幹に添った（特殊化していない）動物種のみを扱う古典的な比較神経学と異なり、むしろ特殊化した動物種を積極的に対象とする。すなわち、共通の祖先から同一時期に出来るだけ多くの種に分かれて適応放散に成功し、現在しているものを対象とする方法である。種が獲得した生態的地位を解析することによって脳の構造を理解しようとするもので、中枢神経系の成立機構の解明を目指している。またこのような比較神経学的な考え方を基盤として、脳内の情報の処理機構の解明にも力を入れている。特に二つ以上の異なる種類の情報（特に視覚と一般体性感覚）がどの様に相関しているかその機構を形態学的に解明することを目的としている。これは、硬骨魚類と爬虫類の視蓋を対象にして光学顕微鏡および電子顕微鏡のレベルで実験が行われている。もう一つの重要な課題は、感覚系において中枢から末梢、また高次のセンターから低次のセンターへ向かういわゆる遠心性の線維はどのような機能をもつかの解明で、鳥類の視覚系に焦点をあてて実験を進めている。

肉眼解剖学の分野では、臨床上役立つものを一義的に考え、ヒトを中心として研究を進めている。成人に見られる異常構造（variation）や正常構造のパターンの成立機序を説明するためにヒトの胎児を用いて発生学的な検索を行い、同時に、真猿類に含まれる各種のサルやその他の哺乳類も合わせて用いて比較解剖学的な検索も行っている。これらの対象となる範囲は、各部の動脈系と静脈系、肝臓の門脈系、泌尿器系（特に腎臓）、運動器系（筋肉と骨格）、末梢神経系、などである。これまでややもすると顕微解剖学領域への踏み込みを避けていた分野であるが、最近研究機器の整備も終わり積極的に研究領域を広げ、概念を拡大することが可能となった。

研究業績

論文

- 1) Miguel-Hidalgo, J.J., Ito, H. and Lara, J.: [原著] Distribution of calbindinlike immunoreactive structures in the optic tectum of normal and eye-enucleated cyprinid fish. *Cell Tissue Res.*, 265, 511~516, 1991.
- 2) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座. 手術のための解剖4; 肩関節周辺と上腕骨周辺の解剖. 骨・関節・靭帯, 4, 413~421, 1991.
- 3) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座. 手術のための解剖5; 肘関節周辺の解剖. 骨・関節・靭帯, 4, 929~935, 1991.
- 4) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座. 手術のための解剖6; 橈骨と尺骨周辺の解剖. 骨・関節・靭帯, 4, 1073~1081, 1991.
- 5) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座. 手術のための解剖7; 手の関節周辺の解剖. 骨・関節・靭帯, 4, 1257~1265, 1991.
- 6) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座. 手術のための解剖8; 中手と指および舟状骨周辺の解剖. 骨・関節・靭帯, 4, 1417~1426, 1991.
- 7) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座. 手術のための解剖9; 股関節周辺の解剖. 骨・関節・靭帯, 4, 1541~1549, 1991.
- 8) 宮木孝昌, 伊藤博信: [総説] 入門講座. 手術のための解剖10; 大腿骨周辺の解剖. 骨・関節・靭帯, 4, 1693~1700, 1991.

著書

- 1) 伊藤博信, 吉本正美: [分担] 神経系. “魚類生理学” (板沢靖男・羽生 功編). P. 363~402, 恒星社厚生閣,

1991.

学会発表

- 1) 宗宮弘明¹⁾, 吉本正美, 伊藤博信 (¹⁾麻布大学): [一般講演] ウマズラハギの遠近調節系; その脳内回路. 平成3年度日本魚類学会年会, 1991.
- 2) 宮木孝昌, 伊藤博信: [一般講演] 肝臓の血管系, 輸入・輸出静脈とその分布型. 第96回日本解剖学会総会, 1991.
- 3) 内山博之, 伊藤博信: [展示] 脊椎動物の遠心性視覚系の形態的多様性について. 第96回日本解剖学会総会, 1991.
- 4) 吉本正美, 伊藤博信: [一般講演] コイの Nucleus pretectalis superficialis pars magnocellularis (PSm) に投射する視蓋ニューロン. 第96回日本解剖学会総会, 1991.
- 4) 宗宮弘明¹⁾, 吉本正美, 伊藤博信 (¹⁾麻布大学): [一般講演] 硬骨魚類 Edinger-Westphal 核の線維連絡. 第96回日本解剖学会総会, 1991.
- 5) 上野則之¹⁾, 須藤 光¹⁾, 頼 徳成¹⁾, 弓削庫太¹⁾, 宮木孝昌, 伊藤博信 (¹⁾耳鼻咽喉科): [一般講演] 外耳へ分布する神経一ヒトおよびスunksについて一. 第92回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1991.
- 6) 内山博之: [セミナー] 脳は網膜に何を告げるか. 平成3年度生理研(視覚)研究会, 1991.
- 7) 吉本正美, 伊藤博信: [セミナー] Nucleus pretectalis superficialis pars magnocellularis (PSm) を經由する視覚情報のゆくえ. 平成3年度生理研(視覚)研究会, 1991.
- 8) Uchiyama, H.: [シンポジウム] What does bird brain tell the bird eye? Structure and function of the isthmo-optic system in the Japanese quail. The 2nd International Symposium on Bird Vision and Audition (Tokyo), 1991.
- 9) Uchiyama, H. and Barlow, R.B.¹⁾ (¹⁾Syracuse Univ., USA): [展示] Centrifugal inputs enhance visual responses of retinal ganglion cells without changing their spatial coding properties in the Japanese quail. Society for Neuroscience 21st Annual Meeting, (New Orleans, LA, USA), 1991.
- 10) Uchiyama, H. and Ito, H.: [一般講演] Target cells for the isthmo-optic projection in the Japanese quail. Neuroscience Res. (日本神経科学学会第15回大会), Suppl. 16, 124, 1991.
- 11) Ito, H., Yoshimoto, M. and Uchiyama, H.: [一般講演] Synaptic distribution upon neurons of the nucleus corticalis. Neuroscience Res. (日本神経科学学会第15回大会), Suppl. 16, 124, 1991.
- 12) Kobayashi, S.¹⁾, Kishida, R.²⁾, Goris, R.C.¹⁾, Yoshimoto, M. and Ito, H. (¹⁾横浜市大, ²⁾山口大): [一般講演] Distribution of visual and infrared fibers in the tectum opticum of a python, Python requis; An HRP study. Neuroscience Res. (日本神経科学学会第15回大会), Suppl. 16, 124, 1991.
- 13) Tonegawa, H.¹⁾, Hyakusoku, H.¹⁾, Yamamoto, T.¹⁾, Fumiiri, M.¹⁾, Tanuma, K. and Ito, H. (¹⁾形成外科): [一般講演] Island fasciocutaneous flaps in the lower leg. The 1st International Congress of Japanese and Korean Plastic and Reconstructive Surgery (Tokyo), 1991.

3. 生理学第一講座

研究概要

NIH を中心とする米国の研究者との協同研究が進み、業績発表も国際化している。

1. 鎌状赤血球症の hydroxyurea 治療、とくに治療効果について米国と協同研究が進展している。
2. 従来の5 μ m メッシュに加えて3 μ m メッシュを用いた、赤血球の微小孔（ニッケルメッシュ）通過能の研究がまとまってきている。
3. 造影剤の赤血球変形能に及ぼす影響等、臨床医学各教室との協同研究が継続して行われている。
4. 基礎医学情報処理室と協同してフラクタル次元解析法を開発。フラクタル次元マップを用いて精神活動時の脳波変化を解析している。
小児科との協同研究で、てんかん児に特異なフラクタル次元が見つかった。平成4年度に報告する。
5. 内科と協同してフラクタル次元解析の心電図への応用が始まった。

研究業績

論文

- 1) Shinagawa, Y., Kawano, K.¹⁾, Matsuda, H.²⁾, Seno, H.¹⁾ and Koito, H. (¹⁾Information Processing Center of Medical Sciences, ²⁾National Research Institute of Fisheries Science, Marine Bioecology Division): [原著] Fractal dimensionality of brain wave. Forma, 6, 205~214, 1991.
- 2) 上坂伸宏, 長谷川節雄¹⁾, 塩 栄夫²⁾ (¹⁾内科学第3, ²⁾京大・神経内科): [総説] 赤血球のレオロジー; 赤血球の変形と膜骨格を考慮して。(特集: 血液細胞の細胞膜の研究における最近の進歩) 膜, 16, 141~150, 1991.
- 3) 品川嘉也, 河野貴美子¹⁾, 段 立葉¹⁾ (¹⁾基礎医学情報処理室): [原著] 気功養生学と脳波学; 陰陽論と大脳生理学の結合. 気功養生学論文選, 27~38, 1991.
- 4) 井川輝美: [解説] レーザーと昆虫学. 化学と生物, 29, 613~618, 1991.
- 5) 品川嘉也: [解説] ストレス社会の音楽療法; 心豊かな生活を演出する音楽活用法. 看, 10, 34~37, 1991.
- 6) 品川嘉也: [総説] 医療用インテリジェント材料. 金属, 61, 78~82, 1991.
- 7) 品川嘉也, 瀬野裕美¹⁾ (¹⁾基礎医学情報処理室): [解説] 脳波とフラクタル. 生物物理, 31, 324~328, 1991.
- 8) Noguchi, C.T.¹⁾, Bae, K.S.¹⁾, Chin, K.¹⁾, Wada, Y., Schechter, A.N.¹⁾ and Hankins, W.D.²⁾ (¹⁾LCB/NIDDK/NIH, ²⁾George Mason University): [原著] Cloning of the human erythropoietin receptor gene. Blood, 78, 2548~2556, 1991.
- 9) 上坂伸宏: [解説] 新しい微小孔フィルター (nickel mesh) を用いて調べた赤血球の変形能. 日バイオレオロジー会誌, 5, 172~181, 1991.
- 10) 品川嘉也: [総説] 分子素子と神経細胞. 数理科学, 344, 40~45, 1992.
- 11) 品川嘉也, 河野貴美子¹⁾ (¹⁾基礎医学情報処理室): [原著] 集中力と脳波. 臨床脳波, 34, 168~173, 1992.
- 12) Osaka, M.¹⁾, Saito, H.¹⁾, Sasabe, N.¹⁾, Miyauchi, Y.¹⁾, Atarashi, H.¹⁾, Katoh, T.¹⁾, Hayakawa, H.¹⁾ and Shinagawa, Y. (¹⁾First Dept. of Internal Medicine): [原著] Personal adjustment of low and high frequency bands in heart rate variability spectral analysis. Therapeutic Research, 13, 719~727, 1992.
- 13) 品川嘉也, 五島雄一郎¹⁾ (¹⁾東海大第1内科): [解説] クラシック音楽の効用. 日医師会誌, 107, 164~168, 1992.

著書

- 1) 品川嘉也, 池田和子¹⁾ (¹⁾東横学園女子短大英語英文学科): [共著] 英語は右脳ですぐ話せる. 青春出版社, 1991.
- 2) 品川嘉也: 「奥の細道」の知恵. 講談社文庫, 1991.

- 3) 品川嘉也：右脳俳句入門；楽しく遊んで脳を活性化。史輝出版，1991.
- 4) Rodgers, G.P.¹⁾, Uyesaka, N., Dover, G.J.²⁾, Noguchi, C.T.¹⁾, Nienhuis, A.W.³⁾ and Schechter, A.N.¹⁾ (¹LCB/NIDDK/NIH, ²Dept. of Pediatrics, Johns Hopkins Univ., ³CHB/NHLBI/NIH)：〔分担〕Further studies of the hematologic and rheologic effects of fetal hemoglobin induction in sickle cell patients by hydroxyurea. "The Regulation of Hemoglobin Switching" (Stamatoyannopoulos, G. and Nienhuis, A.W. eds.) P. 377~393, The Johns Hopkins University Press, (Baltimore and London), 1991.
- 5) Iino, M. and Uyesaka, N.：〔分担〕Water proton NMR study on RBC properties. "Relaxation mechanism of intra-and extracellular sodium.". (Seo, Y., Murakami, M. and Ichikawa, O. eds.) P. 105~108, National Institute for Physiological Sciences Press, 1991.
- 6) 品川嘉也：右脳教授のおもしろ読本。同文書院，1991.
- 7) 品川嘉也，松田裕之¹⁾ (¹中央水産研究所)：〔共著〕死の科学。光文社，1991.
- 8) 品川嘉也：〔監訳〕(松田裕之，瀬野裕美，訳) B.O. キュッパース著 遺伝子は遊戯する；生命の起源と情報科学。マグロウヒル出版，1991.
- 9) 品川嘉也：右脳を生かす技術。ごま書房，1991.

学会発表

- 1) 井川輝美，岡部秀彦¹⁾ (¹織高研・高分子物性)：〔一般講演〕野外の雄蚊の群飛の構造について。第43回日本衛生動物学会大会，1991.
- 2) 長谷川範雄¹⁾，塩 栄夫²⁾，上坂伸宏 (¹内科学第3，²京大・神経内科)：〔ポスター〕活性酸素とヘモグロビン変性の赤血球変形能及び膜構造に及ぼす作用。第53回日本血液学会総会，1991.
- 3) 上坂伸宏，Rodgers, G.P.¹⁾，Noguchi, C.T.¹⁾ and Schechter, A.N.¹⁾ (¹LCB/NIDDK/NIH)：〔ポスター〕鎌状赤血球変形能の Hydroxyurea 治療による顕著な改善。第53回日本血液学会総会，1991.
- 4) 品川嘉也：〔シンポジウム〕匂いと脳波 (テーマ：においの人間に対する影響)。第9回高砂香料シンポジウム，1991.
- 5) 中村 孝，井川輝美，塩 栄夫¹⁾，上坂伸宏 (¹京大・神経内科)：〔一般講演〕新しい3 μ -filter (nickel mesh) による赤血球微小孔通過能の定量。第14回日本バイオレオロジー学会年会，1991.
- 6) 飯野正昭，新井弘一¹⁾，塩 栄夫²⁾，上坂伸宏 (¹内科学第2，²京大・神経内科)：〔一般講演〕赤血球微小孔通過能規定因子の理論的解析；膜粘度とその相転移。第14回日本バイオレオロジー学会年会，1991.
- 7) 今井博彦，比留間博之¹⁾，隈崎達夫²⁾，上坂伸宏 (¹内科学第3，²放射線科)：〔一般講演〕水溶性ヨード造影剤の赤血球変形能に作用を及ぼす因子。第14回日本バイオレオロジー学会年会，1991.
- 8) 長谷川節雄¹⁾，吉川玲子，塩 栄夫²⁾，上坂伸宏 (¹内科学第3，²京大・神経内科)：〔一般講演〕赤血球変形能を規定する変性ヘモグロビンと膜骨格蛋白質の相互作用。第14回日本バイオレオロジー学会年会，1991.
- 9) 上坂伸宏，Rodgers, G.P.¹⁾，Noguchi, C.T.¹⁾ and Schechter, A.N.¹⁾ (¹LCB/NIDDK/NIH)：〔一般講演〕鎌状赤血球微小孔通過能の Hydroxyurea 治療による著明な改善。(テーマ：赤血球の集合と変形をめぐる)第14回日本バイオレオロジー学会年会，1991.
- 10) 上坂伸宏：〔シンポジウム〕新しい微小孔フィルター (nickel mesh) を用いて調べた赤血球の変形能。第14回日本バイオレオロジー学会年会，1991.
- 11) 大坂元久，早川弘一¹⁾，奥村英正¹⁾，品川嘉也 (¹内科学第1)：〔一般講演〕心房粗動 (AF) において奇数の伝導比が稀なのは何か；確率論的モデルによる検討。第6回日本心臓ペースング学会学術大会，1991.
- 12) 河野貴美子¹⁾，遠藤幸彦²⁾，小糸秀美¹⁾，加藤隆吉³⁾，品川嘉也 (¹基礎医学情報処理室，²精神医学，³東京催眠心理研究所)：〔シンポジウム〕催眠における術者と被催眠者の脳波学的関連性；脳波からみた催眠と気功の差異。第7回日本催眠学会総会，1991.

- 13) 品川嘉也：〔シンポジウム〕変性意識と極値意識の脳半球モデル。第7回日本催眠学会総会，1991。
- 14) 品川嘉也：〔シンポジウム〕気功養生学と脳波学。国際気功養生学シンポジウム，1991。
- 15) Kawano, K.¹⁾, Seno, H.¹⁾, Koito, H. and Shinagawa, Y. (¹Information Processing Center of Medical Sciences)：〔ポスター〕Topographical mapping of EEG fractal dimensions during olfactory stimulation. The Second International Congress on Brain Electromagnetic Topography, (Tronto, Canada), 1991.
- 16) Kawano, K.¹⁾, Seno, H.¹⁾, Koito, H.¹⁾ and Shinagawa, Y. (¹Information Processing Center of Medical Sciences,)：〔ポスター〕EEG fractal dimensional maps during thinking. Third IBRO World Congress of Neuroscience, (Montréal, Canada), 1991.
- 17) 上坂伸宏：〔海外留学者講演〕Hydroxyurea 治療による鎌状赤血球変形能の顕著な改善。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 18) 木山裕子：〔一般講演〕ヒト ϵ グロビン遺伝子サイレンサーとその特異的結合タンパク質因子分画の試み。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 19) 品川嘉也，瀬野裕美¹⁾ (¹基礎医学情報処理室)：〔シンポジウム〕脳波のフラクタル次元解析(テーマ：生物にみられるフラクタル)。日本生物物理学会第29回年会，1991。
- 20) 中村 孝，井川輝美，塩 栄夫¹⁾，上坂伸宏(¹京大・神経内科)：〔一般講演〕赤血球変形能の新しい 3μ -filter(nickel mesh)による解析。日本生物物理学会第29回年会，1991。
- 21) 上坂伸宏，Rodgers, G.P.¹⁾, Noguchi, C.T.¹⁾ and Schechter, A.N.¹⁾ (¹LCB/NIDDK/NIH)：〔一般講演〕赤血球変形能とヘモグロビンの状態変化；Hydroxyurea 治療による鎌状赤血球変形能の改善。日本生物物理学会第29回年会，1991。
- 22) 長谷川節雄¹⁾，石岡玲子，塩 栄夫²⁾，上坂伸宏 (¹内科学第3，²⁾京大・神経内科)：〔一般講演〕Heinz 小体形成赤血球におけるヘモグロビンと膜骨格蛋白質の相互作用。日本生物物理学会第29回年会，1991。
- 23) 飯野正昭，上坂伸宏：〔一般講演〕赤血球における水の膜透過率の変化。日本生物物理学会第29回年会，1991。
- 24) 大坂元久，斎藤寛和¹⁾，佐々部典子¹⁾，宮内靖史¹⁾，新 博次¹⁾，加藤貴雄¹⁾，早川弘一¹⁾，品川嘉也(¹内科学第1)：〔一般講演〕心拍変動の周波数解析における低周波・高周波帯域と個々人において決定する方法。第2回時間循環器研究会，1991。
- 25) 河野貴美子¹⁾，瀬野裕美¹⁾，小糸秀美¹⁾，品川嘉也(¹基礎医学情報処理室)：〔一般講演〕脳波フラクタル次元マップの試み。第9回二次元脳電図研究会，1991。
- 26) 品川嘉也，河野貴美子¹⁾，瀬野裕美¹⁾，小糸秀美¹⁾ (¹基礎医学情報処理室)：〔一般講演〕脳波のフラクタル次元マップと嗅覚への応用。第21回日本脳波・筋電図学会学術大会，1991。
- 27) 河野貴美子¹⁾，小糸秀美¹⁾，品川嘉也(¹基礎医学情報処理室)：〔一般講演〕珠算有段者およびプロ棋士の思考過程における脳波的考察。第21回日本脳波・筋電図学会学術大会，1991。
- 28) Iino, M. and Uyesaka, N.：Water proton NMR study on RBC properties. Relaxation Mechanism of Intra- and Extracellular Sodium International Workshop on MRI & S, 1991.
- 29) Uyesaka, N., Hasegawa, S.¹⁾, Ishioka, N.²⁾, Ishioka, R., Shio, H.³⁾ and Schechter, A.N.⁴⁾ (¹3rd Dept. of Internal Medicine, ²⁾Division of Biochemistry, Jikei Univ., ³⁾Dept. of Neurology Kyoto Univ. Scogl of Medicine ⁴⁾LCB/NIDDK/NIH)：〔ポスター〕Effects of superoxide anions on red cell deformability and membrane proteins. American Society of Hematology 33rd Annual Meeting, (Denver, USA), 1991.
- 30) 品川嘉也：〔シンポジウム〕脳波からみた言語と脳(テーマ；言葉と脳とイメージ)。現代語・現代文化学系第3回筑波大学公開シンポジウム，1991。
- 31) Shinagawa, Y.：〔シンポジウム〕Fractal dimension map of brain wave. The 18th Japan-USSR Electronics Symposium, 1991.
- 32) 品川嘉也：〔特別講演〕右脳教育のすすめ。第31回愛媛県高等学校教育研究大会，1991。

- 33) 大坂元久, 斎藤寛和¹⁾, 佐々部典子¹⁾, 宮内靖史¹⁾, 新 博次¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 品川嘉也(¹⁾内科学第1):
〔一般講演〕心拍変動のフラクタル次元. 第3回時間循環器研究会, 1992.
- 34) 大坂元久, 斎藤寛和¹⁾, 佐々部典子¹⁾, 宮内靖史¹⁾, 新 博次¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 品川嘉也(¹⁾内科学第1):
〔一般講演〕体位変換による心拍変動スペクトル分析(HRVs)上の低周波帯(LF-b)と高周波帯(HF-b)決定の試み. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.

4. 生理学第二講座

研究概要

Ramón y Cajal が psychic cell と呼んだ錐体細胞の樹状突起の発達は大脳皮質で最高度に達する。J. Physiol. に発表した論文で Fujita はこの細胞の樹状突起の電気生理学的性質を特定すると共に、新しい記憶学説を提唱した。すなわち、①樹状突起の単位の電気現象を発見しこれを unitary D-spike と名づけた。②樹状突起の機能、従って錐体細胞の機能は、加算する unitary D-spikes の数と加算のパタンによって決まる。此れが樹状突起活動の原理であり、過去に樹状突起の活動として発表された現象はすべて此れで説明できる。正常のパタンと異った unitary D-spike の活動が発作波である。③学習によって unitary D-spike の加算が容易になる可能性がある。此れが新しい記憶学説である。

Maru は慢性電流源密度解析法を用いて海馬の慢性電気刺激によるテンカン焦点の形成を研究し、焦点形成に伴って尖端樹状突起起始部にスパイクが頻発するようになる事を明らかにした。Ramón y Cajal の予見したとおり神経細胞間の継ぎ目は化学伝達物質によって情報の伝達が行われている。Harada, Y. は研究の容易さから研究者の圧倒的人気を博している脊髄運動細胞の Ia シナプスを用いて此のシナプスの伝達物質グルタミン酸の伝達機構の解明を行った。その結果従来判明している non-NMDA 受容体のほかに NMDA 受容体が存在する事を明らかにした。しかし此の受容体は幼若動物に特異的であり、此れと発達との関係は今後の問題である。Suzuki は慢性電流源密度解析法を用いて海馬 θ 波の発生源が錐体細胞樹状突起層に複数存在する事を明らかにした。Takei は海馬の慢性電気刺激によるテンカン発生の本態を物質面から解明する事を試みた。その結果ある種の蛋白質群が此の現象の本態と連関がある可能性の存在に気がついた。又一方末梢神経を包んでいるミエリンの特異蛋白質ある P₀蛋白質が神経再生に関与する可能性がある事を見出した。

研究業績

論文

- 1) Fujita, Y.: [原著] Impulse conduction in CA1 apical dendrites of rabbit hippocampus: Its possible implication in normal and abnormal activities. J. Physiol. (Lond), 443, 335~353, 1991.
- 2) Aoki, T. and Fujita, Y.: [原著] Long-lasting changes in motoneuron discharges following 50Hz tetanization of afferent nerves in cats. J. Nippon Med. Sch., 58, 329~341, 1991.
- 3) Maru, E.: [原著] Is synaptic potentiation necessary for the development of kindling? Jpn. J. Psychiatr Neurol., 45, 291~296, 1991.
- 4) 丸 栄一: [総説] キンドリングてんかんモデルの神経機構. 日医大誌, 58, 4~10, 1991.
- 5) 鈴木慎也: [総説] 海馬ニューロンの可塑性と記憶. 脳と精神の医学, 2, 671~675, 1991.
- 6) 竹居光太郎, 高坂新一: [総説] 新皮質の異種間移植と血管新生. 生体の科学, 42, 92~97, 1991.

学会発表

- 1) 藤田安一郎: [一般講演] 海馬錐体細胞と運動細胞における樹状突起活動の原理. 第15回日本神経科学学会学術集会, 1991.
- 2) Harada, Y.: [一般講演] Spantied-sensitive facilitatory effect of thin fiber stimulations on NMDA receptor-mediated monosynaptic reflex in the newborn rat spinal cord. 第15回日本神経科学学会学術集会, 1991.

5. 生化学第一講座

研究概要

1. 前年度までに決定したラット β グロビン遺伝子群上の合計11個のグロビン遺伝子について、その発現調節機構を明らかにする目的から、各種遺伝子間領域の DNA クローニングとそのプロモーター活性の解析に着手した。また、蛋白質レベルでは、Hb VIII および IX 成分より従来詳細が不明であった β グロビンを単離し、その全一次構造を決定した。その結果、本グロビンが III β a および III β a' の遺伝子座によってコードされること、その発現量がラット成育の全過程を通じて低い (~5%) ことを明らかにした。(岩原, 阿部, 猪口, 奥村, 渡辺)

2. 先に単離したラット cytochrome c oxidase subunit Vb 遺伝子の5'-上流領域について、主として CAT assay を用いた解析により、プロモーター活性領域の構造を明らかにした。(星長, 山田)

3. 藤井らは先にヒト細胞より DNA ミスマッチ修復に関与すると思われる遺伝子を単離したが、本遺伝子の翻訳産物が核に局在する蛋白質であることを、HeLa 細胞内での発現系を用いて明らかにすると共に、本蛋白質分子中の核移行シグナルの位置およびアミノ酸構成を明らかにした。また、本遺伝子の antisense RNA を作成して、これを NIH 3T3細胞に導入し、DNA 修復の障害と発がん機構との関連について諸種の知見を得た。(藤井, 伊藤)

4. 全身型甲状腺ホルモン不応症を呈する家系について、発端者および家族白血球よりゲノム DNA を抽出、T₃受容体遺伝子の各 exon 領域を PCR 法で増幅し、構造解析を行った。その結果、T₃結合領域に一塩基の置換を認め、さらに in vitro 発現系により産生した変異受容体の T₃結合定数が正常受容体の約1/2に低下していることを明らかにした。(周東)

研究業績

論文

- 1) Inokuchi, K.¹⁾, Amuro, N., Futaki, M.¹⁾, Dan, K.¹⁾, Shinohara, T.²⁾, Kuriya, S.³⁾, Okazaki, T. and Nomura, T.¹⁾ (1)内科学第3, 2)日赤医療センター, 3)岩手医大): [原著] Transforming genes and chromosome aberrations in therapy-related leukemia and myelodysplastic syndrome. *Ann. Hematol.*, 62, 211~216, 1991.
- 2) Okabe, Y.¹⁾, Katayama, N.¹⁾, Iwama, M.¹⁾, Watanabe, H.¹⁾, Ohgi, K.¹⁾, Irie, M.¹⁾, Nitta, K.²⁾, Kawachi, H.²⁾, Takayanagi, Y.²⁾, Oyama, F.³⁾, Titani, K.³⁾, Abe, Y., Okazaki, T., Inokuchi, N.⁴⁾ and Koyama, T.⁴⁾ (1)星薬大, 2)東北薬大, 3)藤田保健衛生大, 4)日大・薬): [原著] Comparative base specificity, stability, and lectin activity of two lectins from eggs of *Rana catesbeiana* and *R. japonica* and liver ribonuclease from *R. catesbeiana*. *J. Biochem.*, 109, 786~790, 1991.
- 3) Kono, M.¹⁾²⁾, Satoh, H., Okabe, Y.¹⁾, Abe, Y., Nakayama, K.¹⁾ and Okada, M.¹⁾ (1)東邦大・理, 2)慈恵医大): [原著] Nucleotide sequence of the large subunit of ribulose-1,5-bisphosphate carboxylase/oxygenase from the green alga *Bryopsis maxima*. *Plant Mol. Biol.*, 17, 505~508, 1991.

学会発表

- 1) 周東祐仁, 若林一二¹⁾, 安室尚樹, 岡崎太郎 (1)内科学第3): [一般講演] 全身型甲状腺ホルモン不応症の一家系におけるトリヨードサイロニン受容体の分子生物学的解析. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 2) 藤井裕之, 岡崎太郎: [一般講演] ヒト DNA ミスマッチ修復遺伝子のクローニング. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 3) 藤井裕之, 島田 隆¹⁾ (1)生化学第2): [一般講演] パキキュロウイルスによるヒト DNA ミスマッチ修復遺伝子 MRP1の大量発現. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 4) 長江安洋, Ursula Muller-Eberhard¹⁾ (1)コーネル大・医): [一般講演] ラット・ヘモベキシン遺伝子のインター

- ロイキン-6反応領域の同定. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 5) 岩原信一郎, 阿部靖子, 猪口直美, 岡崎太郎: [一般講演] ラット微量グロビン鎖 ($^0\beta$) の単離と構造解析. 第64回日本生化学会大会, 1991.
 - 6) 長江安洋, Ursula Muller-Eberhard¹⁾, 岡崎太郎 (¹⁾コーネル大・医): [一般講演] ラット・ヘモベキシン遺伝子のインターロイキン-6反応領域の同定. 第64回日本生化学会大会, 1991.
 - 7) 藤井裕之, 伊藤明子, 島田 隆¹⁾, 岡崎太郎(¹⁾生化学第2): [一般講演] ヒト DNA ミスマッチ修復遺伝子 MRP1 の nuclear trans-location signal の同定. 第64回日本生化学会大会, 1991.
 - 8) 松田範子¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 金徳 栄¹⁾, 小林 匡¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 西久保秀紀¹⁾, 阿部靖子 (¹⁾外科学第一): [一般講演] 広範切除肝に対する高圧酸素療法の影響: II報. 第26回日本高気圧環境医学会総会, 1991.
 - 9) 藤井裕之, 新谷英治¹⁾, 島田 隆²⁾ (¹⁾NIH, ²⁾生化学第2): [一般講演] ヒト DHFR/MRP1遺伝子の両方向性プロモーターの initiator element. 第14回日本分子生物学会年会, 1991.

6. 生化学第二講座

研究概要

生化学第二講座は、これまで主に栄養学的研究を行ってきたが、平成3年に島田が就任してからは、分子遺伝学の研究室として再出発することとなった。今後は、分子生物学手法を用いた遺伝子診断法の確立と、将来の遺伝子治療に向けての基礎研究を進めていきたいと考えている。

遺伝子診断は最近の組み換えDNA技術の進歩、特にPCR (Polymerase Chain Reaction) 法の開発により急速に進歩し、臨床医学における不可欠の診断技術となりつつある。しかし、日本ではこれまで、倫理的問題もあって系統的な研究はほとんど行われていなかった。我々は文部省に新たに作られた遺伝子病研究班の班員として、他大学の研究室とも協力して新しい診断技術の開発、診断基準の作成等を行ってきたい。

遺伝子治療は、先天性代謝異常やがん、AIDS等に対する治療法として、最近全世界で注目を集めている。米国では2年前から治療実験が開始されており、その成果には大きな期待がかけられている。しかし、現在の遺伝子治療はまだ完成されたものではなく、今後遺伝子治療を実用化させていくためには、まだ多くの技術の開発を行っていかなくてはならない。特に、日本では遺伝子治療に関する基礎研究は大幅に遅れており、その社会的コンセンサスを得る努力もほとんど行われていなかった。厚生省では昨年、遺伝子治療に関する専門委員会を発足させ、遅れ馳せながら、日本での遺伝子治療実現に向けての活動を開始している。島田はこの専門委員として日本全体の遺伝子治療研究の統括を行うことになっている。我々のプロジェクトとしては、新しいウイルスベクターの開発、遺伝子導入法によるがんやAIDSの治療法の開発、トランスジェニックマウスを使った遺伝子治療の疾患モデルの作成等を進めていく予定である。

研究業績

論文

- 1) Linpisarn, S., Satoh, K., Mikami, T.¹⁾, Orimo, H., Shinjo, S. and Yoshino, Y. (¹⁾保健体育) : [原著] Effect of iron on lipid peroxidation. *International J. Hematology*, 54, 181~188, 1991.
- 2) Hisayasu, S., Mugitani, K., Orimo, H., Ikeda, Y., Satoh, K., Hirai, Y. and Yoshino, Y. : [原著] The role of diferric transferrin in iron absorption and transferrin concentration in rat pancreatic juice and milk. *International J. Hematology*, 54, 201~208, 1991.
- 3) Berliner, L.J.¹⁾, Meinholtz, D.C.¹⁾, Musci, G.¹⁾ and Hirai, Y. and Thompson, M.P.¹⁾ (¹⁾OSU, USA) : [原著] Function implications resulting from disruption of the Calcium-binding loop in bovine α -lactalbumin. *J. Dairy. Sci.*, 74, 2394~2402, 1991.
- 4) 田口正男 : [原著] トランスフェリンの新しい精製法とその生化学的性質. *日医大誌*, 58, 187~197, 1991.
- 5) 丸山寿晴 : [原著] 急性心筋梗塞 eicosanoids の動態と病態への関与. *日医大誌*, 58, 219~235, 1991.
- 6) 古井民一郎, 久安早苗 : [原著] ラット小腸サイトゾルアミノペプチダーゼの精製とその性質. *日医大誌*, 58, 296~305, 1991.
- 7) 三上俊夫 : [原著] ラット hepaticyte による ferritin の取り込みとその細胞内代謝. *日医大誌*, 58, 317~328, 1991.
- 8) 佐藤久美子 : [原著] 受胎可能年齢女子における鉄栄養状態と栄養摂取量との関連性. *日医大誌*, 58, 306~316, 1991.
- 9) Shimada, T., Fujii, H.²⁾, Maier, B.Y.¹⁾, Mitsuya, H.¹⁾, Broder, S.¹⁾ and Nienhuis, A.W.¹⁾ (¹⁾NIH, USA, ²⁾生化学第一) : [原著] Trial of antisense RNA inhibition of HIV replication and gene expression. *Antiviral Chemistry & Chemotherapy*, 2, 133~142, 1991.

- 10) Liu, J.M.¹⁾, Fujii, H.²⁾, Green, S.W.¹⁾, Komatsu, N.¹⁾, Young, N.S.¹⁾ and Shimada, T. (¹⁾NIH, USA, ²⁾生化学第一): [原著] Indiscriminate activity from the B19 parvovirus P6 promoter in nonpermissive cells. *Virology*, 182, 361~364, 1991.
- 11) Kajigaya, S.¹⁾, Fujii, H.²⁾, Field, A.¹⁾, Anderson, S.¹⁾, Rosenfeld, S.¹⁾, Anderson L.J.¹⁾, Shimada, T. and Young, N.S.¹⁾(¹⁾NIH, USA, ²⁾生化学第一): [原著] Self-assembled B19 parvovirus capsids, produced in a baculovirus system, are antigenically and immunogenically similar to native virions. *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*, 88, 4646~4650, 1991.
- 12) Shimada, T., Fujii, H.²⁾, Mitsuya, H.¹⁾ and Nienhuis, A.W.¹⁾ (¹⁾NIH, USA, ²⁾生化学第一): [原著] Targeted and highly efficient gene transfer into CD4⁺ cells by a recombinant human immunodeficiency virus retroviral vector. *J. Clin. Invest.*, 88, 1043~1047, 1991.
- 13) Liu, J.M.¹⁾, Yu-Shu, H.¹⁾, McDonagh, K.T.¹⁾, Rosenfeld, S.J.¹⁾ and Shimada, T. (¹⁾NIH, USA): [原著] Upstream Sequences within the terminal hairpin positively regulate the P6 promoter of B19 parvo virus. *Virology*, 185, 39~46, 1991.
- 14) 島田 隆: [総説] 組み換え HIV ベクターを使った組織特異的遺伝子導入; 安全で効率の高い T 細胞特異的遺伝子導入ベクターの開発. *Mebio*, 9, 18~25, 1992.
- 15) 島田 隆: [総説] AIDS の遺伝子治療. *細胞工学*, 11, 191~197, 1992.
- 16) 島田 隆: [総説] 遺伝子治療の現状. *免疫 Immunology Frontire*, 2, 137~143, 1992.

学会発表

- 1) 池田由紀, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] ラット小腸刷子縁膜における二価鉄結合タンパク質. 第45回日本栄養食糧学会総会, 1991.
- 2) 折茂英生, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] 鉄吸収時におけるラット小腸刷子縁膜鉄結合蛋白質について. 第45回日本栄養食糧学会総会, 1991.
- 3) 神田佳和, 三上俊夫, 久安早苗, 吉野芳夫, 長谷川栄子¹⁾, 皆川 彰¹⁾ (¹⁾中央検査室): [一般講演] 血小板の動態に対するビタミン A の作用. 第45回日本栄養食糧学会総会, 1991.
- 4) 島田 隆: [特別講演] ヒト遺伝子治療をめざして. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 5) 神田節子, 三上俊夫¹⁾, 平井幸彦, 吉野芳夫 (¹⁾保健体育): [一般講演] Fe-dextran 1 回静注ラット肝細胞間鉄輸送の経時的動態について. 第15回鉄代謝研究会, 1991.
- 6) 佐藤久美子, 平井幸彦, 折茂英生, 吉野芳夫: [一般講演] 思春期から閉経期までの女子の鉄栄養状態と鉄摂取量との関連性. 第15回鉄代謝研究会, 1991.
- 7) 平井幸彦, 西 昌臣, 神田節子, 三上俊夫¹⁾, 吉野芳夫 (¹⁾保健体育): [一般講演] ヒト肝臓及び脾臓 ferritin における不均一性. 第64回日本生化学会総会, 1991.
- 8) 神田佳和, 桂研一郎¹⁾, 三浦瑠美, 高橋宏至, 江口儀太²⁾, 吉野芳夫 (¹⁾内科学第2, ²⁾北村山市民病院): [一般講演] ラット脳組織中のビタミン A の分布とその存在意義. 第64回日本生化学会総会, 1991.
- 9) 池田由紀, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] ラット小腸刷子縁膜における二価鉄結合タンパク質. 第64回日本生化学会総会, 1991.
- 10) 久安早苗, 島田 隆: [一般講演] ラット消化液中のトランスフェリンの起源と蛋白質特性. 第64回日本生化学会総会, 1991.
- 11) 藤井裕之¹⁾, 伊藤明子¹⁾, 島田 隆, 岡崎太郎¹⁾ (¹⁾生化学第一): [一般講演] ヒト DNA ミスマッチ修復遺伝子 MRP1 の nuclear translocation signal の同定. 第64回日本生化学会総会, 1991.
- 12) 新谷英治, 藤井裕之¹⁾, 島田 隆 (¹⁾生化学第一): [一般講演] ヒト DHFR/MRP1 遺伝子の両方向性プロモーターの initiator element. 第14回日本分子生物学会, 1991.

- 13) Shimada, T. and Nienhuis, A.W.¹⁾ (¹NIH, USA) : [一般講演] Targeted gene transfer into CD4⁺ T lymphocytes by a recombinant HIV retrovirus Vector. AFCR (Seattle), 1991.
- 14) Shinya, E., Fujii, H.¹⁾ and Shimada, T. (¹生化学第1) : [一般講演] Identification of two initiator elements in the bidirectional promoter of the human dihydrofolate reductase and mismatch repair protein 1 genes. ASBMB (Atlanta), 1991.
- 15) Shinya, E., McDonagh, K.T.¹⁾, Ney, P.¹⁾ and Shimada, T. (¹NIH, USA) : [一般講演] A common nuclear factor binds to the initiator elements of the human dihydrofolate reductase (DHFR) and mismatch repair protein 1 (MRP-1) genes. FASEB (Anaheim), 1991.
- 16) Shinjo S., Mikami, T.¹⁾, Hirai, Y. and Yoshino, Y. (¹保健体育). The fate in rat hepatocytes (HEP) and nonparenchymal cells (NP) of intravenously injected ⁵⁵Fe iron dextran. 10th International Conference on Iron and Iron Protein (Oxford, UK), 1991.
- 17) Mikami, T.¹⁾, Kanda, S., Hirai, Y. and Yoshino, Y. (¹保健体育) : [一般講演] Uptake and intracellular metabolism of ferritin rat hepatocytes. International Union of Biological Sciences, 3rd International Congress of Comparative Physiology and Biochemistry (Tokyo), 1991.

7. 薬理学講座

[薬理学]

研究概要

当教室では、本年度は以下のような研究を行った。

①運動ニューロンの生存，神経突起伸展を担う物質の同定と精製とを目指し現在ニワトリ胚後肢筋から活性因子を分離精製中である。②運動ニューロン死の機構を電気生理学的手法を用いて検索している。③中枢神経系は構造も複雑であり，個々の神経細胞の性質や機能を解明することは難しい。そこで単純化したモデル系としてショウジョウバエの正常な中枢神経系から細胞株を樹立した。これらクローン株の伝達物質の検索を行った。その結果，アセチルコリン，L-DOPA を含有する細胞株が見いだされた。④新生ラット摘出脊髄標本を用いて電気生理学的に神経伝達物質を検索し，特にL-DOPAの運動ニューロンへの作用を検討した。L-DOPAは運動ニューロンを脱分極することが明らかとなった。⑤気管支喘息の発現機序解明と治療薬開発の目的で，モルモット単離気道平滑筋細胞を用い，抗原による平滑筋収縮時の細胞内情報伝達系ならびにイオンチャンネルに関わる薬物について検討している。⑥膵臓からのホルモン分泌は，体液性および神経性に調節されている。しかしながら，例えば採食等による血糖上昇に伴うホルモン分泌，特にインスリン分泌に中枢神経系が関与しているか否か判然としない。この点を検討している。

研究業績

論文

- 1) Nemoto, K. and Okamura, T.: [原著] Intracellular signals in IgG-mediated anaphylactic contraction of single smooth muscle cells. *Jpn. J. Allergol.*, 41, 45~54, 1992.
- 2) Hirano, S.¹⁾, Ui, K., Miyake, T.²⁾, Uemura, T.¹⁾ and Takeichi, T.¹⁾ (¹⁾京大・理, ²⁾三菱化成生命研): [原著] *Drosophila* PS integrins recognize vertebrate vitronectin and function as cell-substratum adhesion receptors *in vitro*. *Development*, 113, 1007~1016, 1991.
- 3) Sakuma, M., Yoshioka, K.¹⁾, Suzuki, H.¹⁾, Yanagisawa, M.¹⁾, Onishi, Y.¹⁾, Kobayashi, N.²⁾ and Otsuka, M.¹⁾ (¹⁾東京医科歯科大・医・薬理, ²⁾九大・医・心療内科): [原著] Substance P-evoked release of GABA from isolated spinal cord of the newborn rat. *Neuroscience*, 45, 331~337, 1991.
- 4) Kobayashi, N.¹⁾, Sakuma, M., Yoshioka, K.²⁾, Onishi, Y.²⁾, Yanagisawa, M.²⁾, Kawashima, K.³⁾ and Otsuka, M.²⁾ (¹⁾九大・医・心療内科, ²⁾東京医科歯科大・医・薬理, ³⁾共立薬科大薬理): [原著] Substance P-evoked release of acetylcholine from isolated spinal cord of newborn rat. *Neuroscience*, 45, 323~330, 1991.

著書

- 1) Otsuka, M.¹⁾, Sakuma, M., Kobayashi, N.²⁾, Onishi, Y.¹⁾, Yanagisawa, M.¹⁾, Suzuki, H.¹⁾ and Yoshioka, K.¹⁾ (¹⁾東京医科歯科大・医・薬理, ²⁾九大・医・心療内科): [分担] Tachykinin-evoked neurotransmitters from isolated spinal cord of the newborn rat. "Substance P and related peptides" (S.E. Leeman, J.E. Krause and F. Lembeck eds), 632, P. 212~219, The New York Academy of Sciences (New York), 1991.

学会発表

- 1) 宮田雄平, 佐久間雅文, 宇井久美子: [シンポジウム] ショウジョウバエ中枢神経系由来培養細胞株におけるL-DOPAの意義と新生ラット脊髄での作用. 第65回日本薬理学会総会, 1991.
- 2) Nemoto, K., Takeuchi, Y. and Okamura, T.: [展示] Preparation of airway single smooth muscle cell

from guinea pig trachea and lungs. The 14th International Congress of Allergology and Immunology (Kyoto), 1991.

- 3) 西原祥子¹⁾, 宇井久美子, 富樫 伸²⁾, 上田 龍²⁾, 三宅 端²⁾ (1)創価大学・生命研, 2)三菱化成生命研): [一般講演] *Drosophila* 幼虫中枢神経系由来培養細胞株; エクダイソン投与により神経細胞の性質を発現する細胞株のクローニングとその性質. 日本遺伝学会第63回大会, 1991.
- 4) 宇井久美子, 西原祥子¹⁾, 富樫 伸²⁾, 三宅 端²⁾, 宮田雄平 (1)創価大学・生命研, 2)三菱化成生命研): [一般講演] キイロシヨウジョウバエ中枢神経系由来クローン細胞株における細胞増殖調節因子. 日本遺伝学会第63回大会, 1991.
- 5) 荻原尚志, 宮田雄平: [一般講演] 運動ニューロンの標的依存性の生後変化. 日本神経科学学会第15回大会, 1991.
- 6) 佐久間雅文, 宇井久美子, 宮田雄平: [一般講演] L-DOPA は新生ラットの脊髄運動ニューロンを脱分極させるか? 日本神経科学学会第15回大会, 1991.
- 7) 佐久間雅文, 宮田雄平: [一般講演] 新生ラット摘出脊髄標本において L-DOPA とノルアドレナリンは異なった作用をあらわす. 第65回日本薬理学会総会, 1992.
- 8) 根本香代, 岡村忠夫: [一般講演] モルモット単離気道平滑筋細胞のアナフィラキシー性収縮に対する benzopyran 化合物の抑制作用. 第65回日本薬理学会総会, 1992.

[臨床薬理センター]

研究概要

臨床薬理センターでは臨床薬理学的立場から次のような研究を行っている。

① 抗不整脈薬の光学異性体の薬物動態に関する研究: disopyramide はラセミ体で投与されるが, 効果の指標となるのは光学異性体 (d-体) の血中濃度である。一方, NONMEM (Non Linear Mixed Effect Model) は患者一人当たりの採血点が1~2点でも解析が可能な population pharmacokinetics 理論を応用した薬物動態解析プログラムで臨床的有用性が期待される。第一内科と共同で腎障害時の不整脈患者における disopyramide 光学異性体の薬物動態解析を NONMEM を用いて試みている。

② 自然発症慢性膵炎モデル WBN/Kob ラットの臨床薬理学的利用: 膵炎治療薬の薬効判定は, 膵管結紮やエオチニン投与による人為的膵炎モデルが用いられてきた。我々は自然発症慢性膵炎モデルの WBN/Kob ラットを用いて新しい経口トリプシンインヒビターの抗慢性膵炎効果の評価法に関する研究を行っている。また膵炎治療薬の治療効果を Brd-U の細胞内取り込みを指標として細胞増殖面からの検討を加えている。

③ 薬物の臨床試験に関する方法論の研究: 新しい薬物開発における臨床試験のあり方, 評価方法, 薬物治験審査委員会のあり方などを委員会事務局としての業務経験を生かして研究している。臨床試験の試験計画書の記載が GCP, 厚生省ガイドラインに合っているか, 非臨床試験データが反映されているかなどを薬剤群別に検討している。

研究業績

論文

- 1) 高橋文恵, 阿曾亮子, 大橋和史, 後藤百合子: [原著] 日本医科大学薬物治験審査委員会における審議状況と今後の問題点. 日医大誌, 58, 459~463, 1991.
- 2) 大橋和史, 小林正文¹⁾ (1)内科学第3): [原著] Ranitidine 注射液の1日100mg 点滴静注時および1日300mg 点滴静注時における安全性ならびに薬物動態の研究. 臨床薬理, 22, 601~609, 1991.
- 3) 大橋和史, 阿曾亮子: [原著] 慢性膵炎モデルとしての臨床薬理学的利用. WBN/Kob ラットにおける胃・膵・眼疾患および糖尿病の病態解明 [平成3年度科研費補助金総合研究 (A) 研究成果報告], P. 43~56, 1992.

学会発表

- 1) 阿曾亮子, 大橋和史: [一般講演] 今後の臨床薬理「治験審査委員会」②日本医科大学. 第6回富士五湖カンファレンス, 1991.
- 2) 阿曾亮子, 高橋文恵, 後藤百合子, 大橋和史: [展示] 日本医科大学薬物治験審査委員会年間報告(平成2年度), 第59回日本医科大学学会総会, 1991.
- 3) 大橋和史, 高山映子, 阿曾亮子, 高橋文恵, 仲間一雅¹⁾, 秋元敏雄¹⁾(¹⁾実験動物管理室): [一般講演] WBN/Kobラットを用いた慢性膵炎治療薬の薬効評価—FUT-187の抗慢性膵炎効果—. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 4) 大橋和史, 高橋文恵, 阿曾亮子, 後藤百合子: [展示] 抗悪性腫瘍薬臨床第I相試験の治験計画書の分析と同意の取得状況. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 5) 阿曾亮子, 大橋和史, 亀井真一郎¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 高橋晴美²⁾, 緒方宏泰²⁾ (¹⁾内科学第1, ²⁾明治薬科大学薬剤学教室): [一般講演] 少数例血中濃度測定点からのNONMEMによる薬物動態解析の試み—d, l-disopyramide測定値を用いた検討—. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.

8. 病理学第一講座

研究概要

現在当教室では、腎臓、肺臓、心臓についての研究が主体となっているが、発癌や癌の進展についての研究も発展しつつある。研究の方法論は、免疫組織学的、超微形態学的手法を中心とするが、本年度は、当教室の管理のもとに、微細構造総合解析システム装置が導入されたため、これを利用した新しい研究方法が取り入れられ始めている。

腎臓に関しては、これまで日本においてのみ報告されていた糸球体に膠原線維が多量に蓄積する症例を蒐めたワークショップを、新潟大内科荒川教授と共に主催したが、その成果をモノグラフとして英文で刊行し、Collagenofibrotic glomerulonephropathy と命名し、新しい腎疾患として提唱した。また、当教室の石崎により開発された抗胸腺抗体による実験腎炎モデルについての解析、マウスへの抗IV型コラーゲン血清投与によるメサンギウム基質の動態、虚血性腎障害における尿管管の変化、新しい免疫抑制剤である FK506 の腎への影響、イヌの移植腎の免疫抑制、糖尿病自然発症ラットによる糸球体病変、糖尿病性腎症の糸球体血管構築の画像解析などの研究により、多くの新知見が得られた。肺臓に関しては、Kohn 孔の形成機序、気管損傷後の上皮再生過程における細胞外糖蛋白との関連、とくにテネインやフィブロネクチンの役割などが検討された。また特発性間質性肺炎・肺線維症における線維化機序のヒト生検肺についての解析は、この分野の研究に新しい観点をもたらすものとして注目されてきている。心臓に関しては、心筋梗塞における僧帽弁腱索断裂の機序、冠動脈バイパス術グラフト動脈の病理組織学的検討、イヌの肺移植に伴う左心房拒絶反応についての研究が行われた。癌に関しては、胃癌における EGF や EGF receptor の動態、c-erbB-2 の発現についての検討、ヌードマウスによる癌悪液質モデル、ハムスターを用いた膀胱の実験的発癌過程における細胞動態などの研究がなされた。

研究業績

論文

- 1) 山中宣昭：〔総説〕傍糸球体装置の発生。腎と透析，31，689～694，1991。
- 2) 山中宣昭：〔総説〕腎疾患の電顕診断。日本電子顕微鏡学会第36回シンポジウム論文集，113～116，1991。
- 3) 山中宣昭，温 敏：〔総説〕コンピュータによる腎糸球体構築の三次元的解析。腎と透析，32，214～222，1992。
- 4) Haseba, T.¹⁾, Sato, S.²⁾, Ishizaki, M., Yamamoto, I.¹⁾, Kurosu, M.¹⁾ and Watanabe, T.¹⁾ (1)法医学, 2)中央電顕研究施設)：〔原著〕Intralobular and intracellular of alcohol dehydrogenase (ADH) isozymes in mouse liver; Basic ADH (Class I) and acidic ADH (Class III). Biomed. Res., 12, 199～209, 1991。
- 5) Masuda, Y., Ishizaki, M., Sugisaki, Y., Yamanaka, N. and Masugi, Y.：〔原著〕Effect of dextran of various molecular weights on mesangial transport in ddY mice pretreated with sheep anti-type IV collagen serum. Acta Pathol. Jpn., 41, 590～596, 1991。
- 6) 松島伸治¹⁾, 田村浩一, 庄司 佑, Montefusco, C.²⁾, Veith, F.²⁾ (1)外科学第2, 2)Albert Einstein 医科大学外科)：〔原著〕イヌ同種左肺移植後の左房拒絶反応の影響。胸部外科, 44, 1006～1009, 1991。
- 7) 雨宮 浩¹⁾, 鈴木盛一¹⁾, 新谷 聡¹⁾, 林 良輔¹⁾, 深尾 立²⁾, 山中宣昭, 伊藤潤平³⁾(1)国立循環器病センター研究所, 2)筑波大学外科, 3)日本化薬(株)研究所)：〔原著〕犬同種移植において Deoxyspergualin (NKT-01) の術後連日投与は急性拒絶反応の発現を有意に抑制する。基礎と臨床, 25, 2219～2224, 1991。
- 8) Yamada, K.¹⁾, Sugisaki, Y., Akimoto, M.¹⁾ and Yamanaka, N. (1)泌尿器科)：〔原著〕Short-term FK506-induced morphological changes in rat kidney. Transplant. Proc., 23, 3130～3132, 1991。
- 9) 山本 彰, 福田 悠：〔原著〕ウサギ新生仔肺における Kohn 孔(中隔孔)の形成機序。日医大誌, 59, 41～50, 1992。
- 10) 青木見佳子¹⁾, 佐藤元泰¹⁾, 服部怜美¹⁾, 本田光芳¹⁾, 服部康夫²⁾, 浅野 健³⁾, 山本正生³⁾, 植田 穰³⁾, 福田 悠

- (¹皮膚科, ²第一病院耳鼻咽喉科, ³小児科) : [報告] 鼻部腫瘍で発症した先天性白血病の1例. *Skin Cancer*, 6, 145~148, 1991.
- 11) Yoshimura, A.¹, Ideura, T.¹, Nakao, K.², Oniki, H.², Sugisaki, Y. and Koshikawa, S.¹ (¹昭和大学藤が丘病院内科, ²同電顕室) : [短報] Recovery of anionic site of the glomerular basement membrane after their disappearance by the cationic probe molecule. *Nephron*, 59, 500~501, 1991.
- 12) 山田和彦¹, 杉崎祐一, 秋本成太¹, 山中宣昭 (¹泌尿器科) : [速報] FK506投与による腎の形態学的変化. 今日の移植, 4, 353~354, 1991.
- 13) 服部元史¹, 伊藤克己¹, 杉崎祐一 (¹東京女子医大腎臓病総合医療センター小児科) : [図解講座] 巣状分節状メサンギウム細胞増殖と低補体で始まった小児腎炎症例. 腎と透析, 30, 490~494, 1991.
- 14) 矢崎恒忠¹, 伊藤 聡¹, 杉崎祐一 (¹帝京大学泌尿器科) : [図解講座] 前検査で腎盂癌が疑われた症例. 腎と透析, 30, 830~833, 1991.
- 15) 宇田 晋¹, 杉崎祐一 (¹昭和大学藤が丘病院内科) : [図解講座] 3年間の経過でUCTDよりSLEに移行した1症例. 腎と透析, 31, 666~669, 1991.

(前年度追加分)

- 1) Shichinohe, K.¹, Shimizu, M.¹, Asakawa, M.² and Ishizaki, M. (¹実験動物管理室, ²解剖学第2) : [原著] Effect of rearing conditions on encephalomyocarditis (EMC) virus induced diabetes in mice. *Exp. Anim.*, 39, 377~381, 1990.
- 2) Milanga, M.¹, Yamada, H.¹, Ishiharajima, S.¹, Yamanaka, N., Asano, G.¹, Fukuda, Y., Suzuki, T., Hoshinaga, H.², Taguchi, K.², Kuroda, H.² and Kobayashi, M.² (¹病理学第2, ²内科学第3) : [報告] Caroli's disease associated with liver cirrhosis an autopsy case. *日医大誌*, 57, 486~492, 1990.

著 書

- 1) Arakawa, M.¹ and Yamanaka, N. (¹新潟大学第2内科) : [編集] Collagenofibrotic Glomerulonephropathy. Nishimura Co. (Niigata), 1991.
- 2) Arakawa, M.¹ and Yamanaka, N. (¹新潟大学第2内科) : [分担] A new type of primary glomerulonephropathy revealing massive collagen deposition in the renal glomerulus. "Collagenofibrotic Glomerulonephropathy" (Arakawa, M. and Yamanaka, N. eds.). p. 3~8, Nishimura Co. (Niigata), 1991.
- 3) Yamanaka, N., Sugisaki, Y., Wakamatsu, R.¹, Ono, K.¹ and Naruse, T.¹ (¹群馬大学第3内科) : [分担] A glomerular disease with a large amount of collagen deposition in the mesangium and the subendothelial space. "Collagenofibrotic Glomerulonephropathy" (Arakawa, M. and Yamanaka, N. eds.). p. 69~81, Nishimura Co. (Niigata), 1991.
- 4) Yamanaka, N. and Ishizaki, M. : [分担] Anti-thymocyte antibody induced mesangiolytic nephritis. "Nephrology" (Hatano, M. eds.). p. 1004~1013, Springer-Verlag (Tokyo), 1991.
- 5) 田村浩一 : [分担] 血液リンパ系疾患患者の看護ケア. "看護過程にそった看護実践マニュアル" (庄司 佑, 小島操子, 田中茂夫監訳). p. 111~139, 医学書院, 1991.
- 6) 馬杉洋三 : [分担] 総論 実験的糸球体腎炎モデルについて. "腎疾患モデル". p. 11~15, 東京医学社, 1991.
- 7) 清水 章, 杉崎祐一, 山中宣昭 : [分担] メサンギウム増殖性腎炎モデル. (腎疾患作成モデル) "腎疾患モデル". p. 337~342, 東京医学社, 1991.
- 8) 水谷 崇¹, 恩田昌彦¹, 徳永 昭¹, 藤田逸郎¹, 奥田武志¹, 木山輝郎¹, 清水康仁¹, 吉行俊郎¹, 西 恵吾¹, 松倉則夫¹, 笹島耕二¹, 田中宣威¹, 山下精彦¹, 山中宣昭 (¹外科学第1) : [分担] ヒト胃癌およびヌードマウス可移植性胃癌におけるEGFR (epidermal growth factor receptor) の意義—他臓器癌との対比—, "消化器

癌の発生と進展”（日本消化器発癌研究会編）。p. 49～52, 東京医学社, 1991.

- 9) Vogt, A.¹⁾, Batsford, S.¹⁾, Rohrbach, R.¹⁾, Schmiedeke, T.¹⁾, Stöckl, F.¹⁾ and Sugisaki, Y. (¹⁾Freiburg 大学医学免疫並びに衛生学研究室)：〔分担〕Macromolecular basis of filtration and immune complex formation in the glomerulus. “Structural basis for glomerular dysfunction” (Oiete, T. ed.), p. 3～10, Nishimura Co, (Niigata) 1991.
- 10) 杉崎祐一：〔分担〕研究報告一腎病変について“WBN/Kob ラットにおける胃・膵・眼疾患および糖尿病の病態解明”。p. 71～86, 1992.

学会発表

- 1) 菅野重人, 村上裕亜, 福田 悠¹⁾, 日下部守昭²⁾, 坂倉照好²⁾, 山中宣昭(¹⁾付属病院病理部, ²⁾理化学研究所真核生物研究室)：〔一般講演〕気管損傷後の上皮再生過程におけるテネイシン及びフィブロネクチンの分布と細胞増生。第80回日本病理学会総会, 1991.
- 2) 清水 章, 益田幸成, 杉崎祐一, 山中宣昭：〔一般講演〕尿管管上皮障害後の一過性尿管拡張現象。第80回日本病理学会総会, 1991.
- 3) 田村浩一, 福田 悠¹⁾, 益田幸成, 山中宣昭(¹⁾付属病院病理部)：〔展示〕心筋梗塞に伴う僧帽弁腱索断裂に関する病理組織学的研究。第80回日本病理学会総会, 1991.
- 4) 小川真紀, 田中浩一, 山中宣昭, 福田 悠¹⁾, 鈴木恒道¹⁾(¹⁾付属病院病理部)：〔展示〕心臓原発悪性線維性組織球腫の1手術例。第80回日本病理学会総会, 1991.
- 5) 山本 彰, 福田 悠¹⁾, 山中宣昭(¹⁾付属病院病理部)：〔展示〕家兎新生児肺 Kohn 孔の形成におけるII型肺胞上皮細胞の役割。第80回日本病理学会総会, 1991.
- 6) 福田 悠¹⁾, 山本 彰, 山中宣昭(¹⁾付属病院病理部)：〔展示〕肺線維症に認められる cytoplasmic hyaline 陽性上皮細胞の意義。第80回日本病理学会総会, 1991.
- 7) 温 敏, 清水 章, 益田幸成, 杉崎祐一, 山中宣昭：〔展示〕糖尿病性腎症結節性病変の形成機序。第80回日本病理学会総会, 1991.
- 8) 益田幸成, 杉崎祐一, 山中宣昭：〔展示〕IgA 腎症モデル ddY マウスの mesangium 転送能と mesangium 基質。第80回日本病理学会総会, 1991.
- 9) 福田 悠¹⁾, 原口秀司, 山本 彰, 山中宣昭(¹⁾付属病院病理部)：〔展示〕特発性間質性肺炎・肺線維症 (UIP) の生検肺に認められる早期肺胞内線維化巣。第31回日本胸部疾患学会総会, 1991.
- 10) Fukuda, Y.¹⁾, Basset, F.²⁾ and Yamanaka, Y.⁽¹⁾付属病院病理部, ²⁾INSERM, U82, France)：〔展示〕Significance of early intraalveolar fibrotic lesions in lung biopsies in idiopathic pulmonary fibrosis. Intern. Conf. Am. Thoracic Society (Lon Angels), 1991.
- 11) 山本 彰¹⁾, 林 宏光¹⁾, 赤沼弘勝¹⁾, 玉井 仁¹⁾, 水村 直¹⁾, 高橋修司¹⁾, 本多一義¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 福田 悠²⁾, 山中宣昭(¹⁾放射線科, ²⁾付属病院病理部)：〔展示〕肺の画像一病理相関へのアプローチ。第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 12) 小林 匡¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 会田邦晴¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 笹嶋耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 江上 格¹⁾, 田村浩一, 山中宣昭(¹⁾外科学第1)：〔展示〕ハムスター膵発癌過程および同種継代移植系における細胞動態の検討。第22回日本膵臓学会総会, 1991.
- 13) 奥田武志¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 水谷 崇¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 山下精彦¹⁾, 杉崎祐一, 山中宣昭(¹⁾外科学第1)：〔展示〕ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対する EGF (Epidermal growth factor) の効果。第50回日本癌学会総会, 1991.
- 14) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 飯田信也¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 山中宣昭(¹⁾外科学第1)：〔展示〕ヒト胃癌における c-erbB-

2の発現. 第50回日本癌学会総会, 1991.

- 15) 山田和彦¹⁾, 杉崎祐一, 秋本成太¹⁾, 山中宣昭⁽¹⁾泌尿器科): [一般講演] FK506による腎障害一経時的形態学的検討. 第27回日本移植学会総会, 1991.
- 16) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 奥田武志¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 山中宣昭⁽¹⁾外科学第1): [一般講演] ヒト胃癌における c-erbB-2の発現. 第91回日本外科学会総会, 1991.
- 17) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 京野昭二¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 山下精彦¹⁾, 山中宣昭, 杉崎祐一⁽¹⁾外科学第1): [一般講演] 胃低分化腺癌の生物学的特性の検討. 第57回胃癌研究会, 1991.
- 18) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 山中宣昭⁽¹⁾外科学第1): [一般講演] ヒト胃癌およびヌードマウス可移植性胃癌における EGFR (Epidermal Growth Factor Receptor) の意義一他臓器癌との対比. 第3回日本消化器癌発生研究会, 1991.
- 19) 奥田武志¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 水谷 崇¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 山下精彦¹⁾, 杉崎祐一, 山中宣昭⁽¹⁾外科学第1): [展示] ヌードマウス移植ヒト胃癌による癌悪液質モデルの研究. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 20) 山田和彦¹⁾, 杉崎祐一, 秋本成太¹⁾, 山中宣昭⁽¹⁾泌尿器科): [一般講演] FK506による腎障害一形態学並びに生化学的検討. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 21) 山中宣昭: [特別講演] 腎糸球体障害と修復. 九州腎懇話会, 1991.
- 22) 山中宣昭: [特別講演] メサンジウムとメサンジオリシス. 第6回千葉県腎セミナー, 1991.
- 23) Yamada, K.¹⁾, Sugisaki, Y., Akimoto, M.¹⁾ and Yamanaka, N. (¹⁾泌尿器科): [展示] Short-term FK506-induced morphological changes in rat kidney. The 1st International Congress on FK506 (Pittsburgh), 1991.
- 24) 奥田武志¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 水谷 崇¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 山下精彦¹⁾, 杉崎祐一, 山中宣昭⁽¹⁾外科学第1): [展示] ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対する EGF (Epidermal growth factor) の効果. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 25) 小林 匡¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 会田邦晴¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 江上 格¹⁾, 田村浩一, 山中宣昭⁽¹⁾外科学第1): [展示] ハムスター膵発癌過程および同種継代移植系における細胞動態の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 26) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 飯田信也¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 杉崎祐一, 山中宣昭⁽¹⁾外科学第1): [展示] ヒト胃癌における c-erbB-2の発現. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 27) 菅野重人, 福田 悠, 山中宣昭, 庄司 佑¹⁾ (¹⁾外科学第2): [一般講演] 気管損傷後の上皮再生過程における細胞外糖蛋白の免疫組織化学的検索. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 28) Yamada, K.¹⁾, Sugisaki, Y., Akimoto, M.¹⁾ and Yamanaka, N. (¹⁾泌尿器科): [展示] New morphological changes induced by FK506 in short period in rat kidney and the effect of S.O.D. and OKY-046 on them. The 5th European Society of Organ Transplantation (Marstricht), 1991.
- 29) 片岡光枝, 田村浩一¹⁾, 松並平晋, 新井孝司, 若松恭子, 小松三恵, 山中宣昭⁽¹⁾付属病院病理部): [一般講演] 梗塞部心筋の各種特殊染色による検討. 第38回日本臨床病理学会総会, 1991.
- 30) 松並平晋, 片岡光枝, 新井孝司, 若松恭子, 小林三恵, 益田幸成, 田村浩一¹⁾, 杉崎祐一, 山中宣昭⁽¹⁾付属病院病理部): [一般講演] 電子顕微鏡用 PAM 染色の検討 (第2報). 第38回日本臨床病理学会総会, 1991.
- 31) 山中宣昭: [シンポジウム] 電子顕微鏡による細胞診断学: 現状と展望「腎疾患の電顕診断」. 日本電子顕微鏡

学会第36回シンポジウム, 1991.

- 32) 山中宣昭: [教育講演] 腎のリンパ路について. 第480回泌尿器学会東京地方会, 1991.
- 33) Kanno, S., Osaka, S.¹⁾, Tamura, K., Oka, M., Shoji, T.¹⁾ (外科学第2): [一般講演] Histopathological evaluation of arterial graft materials for coronary artery bypass grafting. 10th Biennial Asian Congress on Thoracic and Cardiovascular Surgery (Indonesia), 1991.
- 34) Yamada, K.¹⁾, Sugisaki, Y., Akimoto, M.¹⁾ and Yamanaka, N.: [一般講演] FK506 induced JG hyperplasia and tubular damage in rat kidney-morphological and biochemical analysis depending on the duration of its administration. The 2nd Congress of Asian Society of Transplantation (Taipei), 1991.
- 35) Kobayashi, K.¹⁾, Onda, M.¹⁾, Uchida, E.¹⁾, Naito, Z.¹⁾, Aida, K.¹⁾, Yamashita, Y.¹⁾, Aimoto, T.¹⁾, Yokoyama, T.¹⁾, Sasajima, K.¹⁾, Tajiri, T.¹⁾, Egami, K.¹⁾, Tamura, K. and Yamanaka, N. (外科学第1): [展示] Cell kinetics of precancerous and cancerous lesions and transplantable carcinoma of the pancreas in hamsters induced by N-Nitrosobis (2-Oxopropyl) Amine (BOP). American Pancreatic Association, Inc. (Chicago), 1991.
- 36) 杉崎祐一, 益田幸成, 山中宣昭, 仲間一雅¹⁾ (実験動物管理室): [一般講演] 糖尿病自然発症ラット (WBN/Kob) の腎変化について. I. 病初期を中心に. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 37) 岡田 要¹⁾, Yousif, Y.²⁾, Batsford, S.²⁾, Vogt, A.²⁾, 杉崎祐一 (徳島大学小児科, ²⁾Freiburg 大学医学免疫並びに衛生学研究室): [一般講演] 黄色ブドウ球菌 Phosphatase による実験腎炎. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 38) 益田幸成, 杉崎祐一, 山中宣昭: [一般講演] 抗IV型コラーゲン羊血清投与による msangium 基質の変化について. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 39) 山田和彦¹⁾, 杉崎祐一, 秋元成太¹⁾, 山中宣昭 (泌尿器科): [一般講演] FK506による腎障害—prostaglandin の関与について. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 40) 清水 章, 益田幸成, 杉崎祐一, 山中宣昭: [展示] 虚血性腎障害の尿細管拡張現象. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 41) 温 敏, 杉崎祐一, 山中宣昭: [展示] 糖尿病性腎症の糸球体血管極に出現する糸球体外吻合血管群について. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 42) 菅野重人, 村上裕亜, 福田 悠, 庄司 佑¹⁾ (外科学第2): [一般講演] 気管創傷治癒の実験的研究—細胞増生と細胞外蛋白. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 43) 奥田武志¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 水谷 崇¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 岡崎滋樹¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 山下精彦¹⁾, 山中宣昭 (外科学第1): [展示] UFT 投与後血中 CEA の急激な下降および転移巢の縮小が認められた再発胃癌の1例. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 44) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 飯田信也¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 杉崎祐一, 山中宣昭 (外科学第1): [展示] ヒト胃癌における c-erbB-2 の発現とリンパ節転移. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.

(前年度追加分)

- 1) 村上睦美¹⁾, 宗像恵美子¹⁾, 安保和俊¹⁾, 土屋正己¹⁾, 芦田光則¹⁾, 山本博章¹⁾, 植田 稔¹⁾, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 (小児科): [展示] Small kidney を有する症例の臨床並びに病理形態学的検討. 第92回日本小児科学会総会, 1989.
- 2) 安保和俊¹⁾, 土屋正己¹⁾, 宗像恵美子¹⁾, 芦田光則¹⁾, 村上睦美¹⁾, 山本博章¹⁾, 植田 稔¹⁾, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 (小児科): [一般講演] IgA 腎症における年齢因子の検討. 第24回日本小児腎臓病学会, 1989.
- 3) Murakami, M.¹⁾, Anbo, K.¹⁾, Tsuchiya, M.¹⁾, Ueda, Y.¹⁾ and Masugi, Y. (小児科): [一般講演] Clinicopathological study of the 12 cases with small kidney. VIII Congress of the International Pediatric Nephrology

Association, 1989.

- 4) 安保和俊¹⁾, 土屋正己¹⁾, 宗像恵美子¹⁾, 芦田光則¹⁾, 村上睦美¹⁾, 山本博章¹⁾, 植田 稔¹⁾, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 (小児科): [一般演題] 小児期 IgA 腎症の生検時年齢による検討. 第32回日本腎臓学会総会, 1989.
- 5) 山本隆章¹⁾, 右田 真¹⁾, 継 仁¹⁾, 伊藤加寿子¹⁾, 土屋正己¹⁾, 宗像恵美子¹⁾, 村上睦美¹⁾, 植田 稔¹⁾, 安保和俊¹⁾, 山中宣昭, 馬杉洋三 (小児科): [一般演題] 腎の組織学的検索を行い得た先天性 Clq 欠損症の 1 例. 第25回日本小児腎臓病学会, 1990.
- 6) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 田中宣威¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 山下精彦¹⁾, 馬杉洋三, 浅野伍朗²⁾ (外科学第 1, 病理学第 2): [一般講演] ヒト胃癌およびヌードマウス移植性胃癌における EGFR (epidermal growth factor receptor) の定量的検索および他臓器癌との比較. 第90回日本外科学会総会, 1990.
- 7) 小林 匡¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 江上 格¹⁾, 浅野伍朗²⁾, 馬杉洋三 (外科学第 1, 病理学第 2): [一般講演] ファーター乳頭癌における CEA, CA19-9, CA-50, Le^x, Le^y, Sialyl¹Le^x-i に関する免疫組織化学的検討. 第90回日本外科学会総会, 1990.
- 8) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 山中宣昭, 浅野伍朗²⁾ (外科学第 1, 病理学第 2): [展示] ヒト胃癌における c-erbB-2 の発現. 第49回日本癌学会総会, 1990.
- 9) 小林 匡¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 江上 格¹⁾, 浅野伍朗²⁾, 馬杉洋三 (外科学第 1, 病理学第 2): [展示] 膈頭部領域癌における CEA, CA19-9, CA50, SLX, Le^x, Le^y に関する免疫組織化学的検討. 第49回日本癌学会総会, 1990.
- 10) 福田 悠: [特別講演] ひまん性肺疾患における肺胞構造改築の機序. 第58回日本医科大学医学会総会, 1990.
- 11) 水谷 崇¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則史¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 山中宣昭, 浅野伍朗²⁾ (外科学第 1, 病理学第 2): [展示] ヒト胃癌における c-erbB-2 の発現. 第58回日本医科大学医学会総会, 1990.
- 12) 渡辺 仁¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 中尾 充²⁾, 恩田昌彦²⁾, 北原東一³⁾, 本田光芳³⁾ (病理学第 2, 外科学第 1, 皮膚科学): [展示] 悪性血管性腫瘍の 2 症例. 第58回日本医科大学医学会総会, 1990.
- 13) 松並平晋, 片岡光枝, 新井孝司, 若松恭子, 小松三恵, 杉崎祐一, 山中宣昭: [展示] 電子顕微鏡用 PAM 染色の検討—チオセミカルバジドおよびクロム酸の応用について—. 第37回日本臨床病理学会総会, 1990.

9. 病理学第二講座

研究概要

1) 腫瘍細胞の増殖, 分化には間質の血管や細胞外基質の動態が関与している. すなわち, 腫瘍細胞と間葉系細胞は相互に細胞外基質を生合成し受容体を介してその増殖制御に関与していると思われる. 教室では癌細胞, 肝細胞, 骨芽細胞内皮細胞内のフィブロネクチン, グリコサアミノグリカン, ラミニン, III型, IV型コラーゲンの合成や各々の受容体の局在を観察すると共にコラーゲンやフィブロネクチンの mRNA の発現を *in situ hybridization* 法で確認している. 一方上皮細胞や癌細胞には細胞外基質の生合成と併せ FGF, EGF など増殖因子が局在し病態進展に関与している. このような細胞外基質の作用機構については, さらに細胞骨格や細胞内シグナル伝達系との関連性の上から細胞内における遺伝情報発現の調節機構の解明も試みている.

2) 動脈硬化症の発生の基盤には高脂血症, 高血圧など諸因子の関与が注目されるが, 特に barrier としての血管内皮細胞障害が重要と思われる. 高脂血症や内膜擦過動物モデルを用いて内膜の障害や修復の過程において内皮細胞の ATPase の局在や再生過程における細胞外基質や増殖因子の産生動態を解明し, 内皮細胞と平滑筋細胞の相互作用の観点から動脈硬化の発症機序の解明を試みている. また, ヒト心筋梗塞症の発生病因として注目される冠動脈硬化病変の特異性につき超音波顕微鏡などを用いて形態計測的に解明している.

3) 敗血症や虚血性病変の発生病序の解明を目的として肝細胞, 心筋細胞, 血管内皮細胞などの細胞障害を free radical の発生関与との関連に注目し検討している.

研究業績

論文

- 1) 松倉則夫¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 水谷 崇¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 吉行俊郎¹⁾, 清水康仁¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 田中宣威¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第1) : [原著] ヒト胃癌, 非胃癌部胃粘膜およびヌードマウス可移植性ヒト胃癌における EGFR (epidermal growth factor receptor) の定量的検索. 消化器癌の発生と進展, 2, 97~100, 1990.
- 2) 喬 炎, 横山宗伯, 亀山孝二, 浅野伍朗: [総説]血管内皮細胞形態と機能特性. J. Shenyang Medical College, 5, 49~54, 1991.
- 3) Yamada, H., Aida, T., Taguchi, K. and Asano, G. : [原著] Localization of type III procollagen and prolyl 4-hydroxylase mRNA in fibrotic human liver. Acta Histochem. Cytochem., 24, 191~200, 1991.
- 4) Fukuo, Y.¹⁾, Nagashima, M.¹⁾, Saitoh, A.¹⁾, Kobayashi, Y.¹⁾, Terashi, A.¹⁾, Nakama, K.²⁾, Kameyama, K., Asano, G., (¹⁾内科学第2, ²⁾実験的動物管理室) : [原著] Effects of simvastatin on serum lipids and atherosclerosis in WHHL rabbits. Clin. Therapeutics, 13, 417~424, 1991.
- 5) 山田裕之, 間 武雄, 田口克司, 浅野伍朗: [原著] ヒト障害肝組織におけるプロリン水酸化酵素プロコラーゲン mRNA の発現. 肝臓, 32, 358~365, 1991.
- 6) 森田隆匡, 平野敏一, 浅野伍朗, 弓削庫太¹⁾ (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科) : [原著] 唾液腺多形腺腫, 腺様嚢胞癌における間質成分と Ca⁺⁺-ATPase の役割. 日耳鼻, 94, 823~828, 1991.
- 7) Sakamoto, T.¹⁾, Mabuchi, A.¹⁾, Kuriya, S.²⁾, Sudo, T.³⁾, Aida, T., Asano, G., Shouji, T.³⁾ and Yokomuro, K.¹⁾ (¹⁾Department of Microbiology, ²⁾Third Department of Internal Medicine, ³⁾Second Department of Surgery) : [原著] Production of granulocyte-macrophage colony-stimulating factor by adult murine parenchymal liver cells (hepatocytes). Regional Immunology, 3, 260~267, 1991.
- 8) 天野康雄¹⁾, 山本 彰¹⁾, 山形健治²⁾, 高橋修司¹⁾, 隅崎達夫¹⁾, 秋元成太²⁾, 浅野伍朗, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾放射線科, ²⁾泌尿器科) : [原著] 線維化の著明であった腎細胞癌の一例. Jap. J. Clin. Radiol., 36, 745~748, 1991.

- 9) 松本光司：〔原著〕閉塞性黄疸の発生とその遷延機序：胆汁流路の変化に関する病理学的検討。日外会誌，92，681～688，1991.
- 10) 小林 匡¹⁾，恩田昌彦¹⁾，内田英二¹⁾，山中洋一郎¹⁾，相本隆幸¹⁾，笹島耕二¹⁾，田尻 孝¹⁾，江上 格¹⁾，浅野伍朗，馬杉洋三²⁾ (¹⁾外科学第1，²⁾病理学第1)：〔原著〕ファター乳頭部腫瘍における carcinoembryonic antigen および癌関連抗原の免疫組織化学的検討：特に癌と腺腫との比較。日消外会誌，24，1947～1958，1991.
- 11) Matsumoto, K., Hara, T., Miki, M.¹⁾ and Asano, G. (¹⁾外科学第1)：〔原著〕Membrane integrity of hepatocytes in experimental obstructive jaundice. J. Clin. Electron Microscopy, 23, 149～156，1991.
- 12) 花牟礼康生²⁾，児玉朱音¹⁾，大島 博²⁾，山田宣孝 (¹⁾第一病院内視鏡科)：〔報告〕下行結腸に発生したいわゆる reactive lymphoreticular hyperplasia の1例。消化器内視鏡の進歩，38，370～373，1991.
- 13) Akutsu, Y. Aida, T. Nakazawa, S. and Asano, G.：〔原著〕Localization of acidic and basic fibroblast growth factor mRNA in human brain tumors. Jap. J. Cancer Res., 82，1022～1027，1991.
- 14) 木山輝郎：〔原著〕ヌードマウス可移植性ヒト胃癌の増殖と血清および組織 carcinoembryonic antigen の変動。日外会誌，92，1436～1443，1991.
- 15) 山中洋一郎¹⁾，恩田昌彦¹⁾，岡崎滋樹¹⁾，中尾 充¹⁾，内田英二¹⁾，小林 匡¹⁾，笹島耕二¹⁾，山下精彦¹⁾，江上 格¹⁾，松倉則夫¹⁾，相本隆幸¹⁾，渡辺 仁¹⁾，吉田 寛¹⁾，真々田裕宏¹⁾，白井康正²⁾，浅野伍朗 (¹⁾外科学第1，²⁾整形外科)：〔原著〕集学的治療が有効であった後腹膜 malignant hemangiopericytoma の1例。日消外会誌，24，2819～2823，1991.
- 16) 横山宗伯¹⁾，鈴木恒道²⁾，五味潤誠²⁾，前田昭太郎³⁾，山本 鼎⁴⁾，鈴木仁子⁵⁾，長沢紘一⁵⁾，浅野伍朗 (¹⁾付属病院病理部，²⁾胸部外科，³⁾多摩永山病院病理部，⁴⁾同放射線科，⁵⁾同内科)：〔原著〕診断に難渋した肺3重癌の1例。日臨細胞誌，30，1204～1205，1991.
- 17) 平野敏一，弓削康太¹⁾，浅野伍朗 (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科)：〔原著〕 α -Vascular smooth muscle actin (α -VSMA) の唾液腺腫瘍における局在の検討。日唾液腺会誌，32，85～86，1991.
- 18) 松本光司¹⁾，佐藤春明¹⁾，山田宣孝¹⁾，浅野伍朗，今野 肇¹⁾ (¹⁾第一病院病理部)：〔原著〕R:BASE PRO を使用したパソコンによる病理診断のデータ処理について。医療とコンピュータ，14，745～750，1991.
- 19) 植松和嗣²⁾，忍滑谷直孝¹⁾，山野義光¹⁾，小林国彦¹⁾，村田 朗¹⁾，吉村明修¹⁾，山中洋一郎，横山宗伯，浅野伍朗，林原賢治¹⁾，久勝章司¹⁾，吉森浩三¹⁾，弦間昭彦¹⁾，仁井谷久暢¹⁾，小野良祐³⁾，池田茂人³⁾ (¹⁾呼吸器科，²⁾国立がんセンター)：〔原著〕下顎癌の肺縦隔転移に伴った多発気管支瘻の1例。気管支学，14，49～53，1992.
- 20) 松本光司¹⁾，佐藤春明¹⁾，大塚俊司¹⁾，山田宣孝¹⁾，浅野伍朗 (¹⁾第一病院病理部)：〔原著〕パソコンによる病理診断のデータ処理について。日医大誌，59，75～80，1992.
- 21) Yamanaka, Y.：〔原著〕The immunohistochemical expressions of epidermal growth factors, epidermal growth factor receptors and C-erbB-2 oncoprotein in human pancreatic cancer. 日医大誌，59，51～61，1992.
- 22) 浦田伸一，間 武雄，小黒辰夫¹⁾，浅野伍朗 (¹⁾中央電子顕微鏡施設)：〔原著〕ヒト骨膜由来細胞の増殖分化過程における細胞骨格と細胞外基質の形態的变化。結合組織，23，29～38，1992.
- 23) 田口克司¹⁾，山田裕之¹⁾，間 武雄，工藤光洋，浅野伍朗，黒田 肇¹⁾，小林正文¹⁾，野村武夫¹⁾ (¹⁾内科学第3)：〔原著〕肝類洞血管形成時における細胞外基質の動態：肝類洞壁細胞研究の進歩，4，136～148，1992.
- 24) 上畑昭美¹⁾，栗田 明¹⁾，浅野伍朗 (¹⁾防衛医大内科)：〔原著〕虚血性心筋病変の発生進展における冠動脈閉塞時間および側副血行路の発達の意義。脈管学，14，161～171，1992.
- 25) Kimura, G.¹⁾，Sugisaki, Y.¹⁾，Masugi, Y.¹⁾ and Nakazawa, N. (¹⁾病理学第1)：〔原著〕Calcification in human osteoblasts cultured in medium conditioned by the prostatic cancer cell line PC-3 and prostatic acid phosphatase. Urol. Int., 48，25～30，1992.
- 26) Katakami, C.¹⁾，Fujisawa, K.¹⁾，Sahori, A.¹⁾，Kazusa, R.¹⁾，Sakai, J.¹⁾，Yamamoto, M.¹⁾，Aida, T. (¹⁾Department

of Ophthalmology, School of Medicine, Kobe University.): [原著] Localization of collagen (I) and collagenase mRNA by in situ hybridization during corneal wound healing after epikeratophakia or alkali-burn. Jap. J. Ophthalmol., 36, 12~22, 1992.

著 書

- 1) Win, T., Uchiyama, Y., Shimizu, Y., Nakama, K. and Akimoto, T.: [分担] Lesions from animal diabetes. : Ocular and other complications in the new spontaneously diabetic WBN-Kob rat, p. 129~134, Smith-Gordon (London), 1991.
- 2) Tsuchiya, A. and Asano, G.: [分担] The significance of follicular dendritic cells (FDCs) in lymphoid hyperplasias associated with B-cell type gastric lymphomas. p. 265~269, Elsevier Science Publishing Co Inc. (Amsterdam), 1991.
- 3) 浅野伍朗: [編集分担] ドーランド医学用語辞典, 広川書店, 1991.
- 4) 浅野伍朗: [監修] 研究・診断のための病理学技術詳解 3 ; 免疫組織化学, 藤田企画出版, 1992.
- 5) 浅野伍朗: [監修] 研究・診断のための病理学技術詳解 1 ; 標本の採取から固定まで, 藤田企画出版, 1992.
- 6) 川原清子: [分担] 研究・診断のための病理学技術詳解 3 ; 免疫組織化学, p. 85~104, 藤田企画出版, 1992.
- 7) 清水秀樹, 喜村久美子: [分担] 研究・診断のための病理学技術詳解 1 ; 標本の採取から固定まで, p. 1~90, 藤田企画出版, 1992.

学会発表

- 1) 上畑昭美¹⁾, 浅野伍朗, 栗田 明¹⁾ (¹⁾防衛医大内科): [一般講演] 冠動脈閉塞時間, 心筋血流量と心筋病変発生との関連性. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 2) 北川泰之, 小口直彦, 今泉孝敬¹⁾, 稲福睦美¹⁾, 浅野伍朗, 塚原佳代子²⁾, 前田昭太郎²⁾ (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾病理部): [展示] 5重複癌の1剖検例. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 3) 松本光司¹⁾, 竹田数章, 山本英希, 山田宣孝, 浅野伍朗 (¹⁾第一病院病理部): [一般講演] 組織診および細胞診の情報処理; 特に病理診断のデータ取扱いについて. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 4) 小口直彦, 北川泰之, 吉田光弘¹⁾, 中川敬夫¹⁾, 前田昭太郎¹⁾, 佐藤知枝²⁾, 柴田明佳²⁾, 佐藤直美²⁾, 酒井艶枝²⁾, 浅野伍朗 (¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾同中央検査室): [展示] 剖検例の細菌学的検索 第3報; 呼吸器感染症. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 5) 渋谷純一, 中沢南堂, 浅野伍朗: [一般講演] 細胞と細胞外マトリックスとの相互作用; 特に線維芽細胞のコラーゲン基質収縮について. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 6) 安久津靖彦, 間 武雄, 山田裕之, 浅野伍朗: [一般講演] ヒト脳腫瘍組織における fibroblast growth factor (EGF) mRNA の局在. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 7) 竹田数章, 山本英希, 山田宣孝, 前田昭太郎, 浅野伍朗: [展示] 神経原発が疑われる後腹膜腫瘍の1剖検例. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 8) 平野敏一, 竹田数章, 小口直彦, 浅野伍朗: [展示] 頭頸部腫瘍の病理学的検討; 特に keratin MAbs の局在性と ras gene と点突然変異について. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 9) 渡辺昌則, 平野敏一, 浅野伍朗, 三樹 勝 (第二病院外科): [展示] 胃癌間質における筋線維芽細胞増殖の意義. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 10) 北 俊典, 平野敏一, 山田宣孝, 浅野伍朗: [展示] 胃癌の間質における血管の増生とその役割. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 11) 平野敏一, 竹田数章, 小口直彦, 弓削庫太¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科): [一般講演] 頭頸部扁平上皮癌の臨床病理学的検討. 第92回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1991.

- 12) 新井克志¹⁾, 伊藤嘉恭¹⁾, 石川浩一¹⁾, 堀 直博¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾防衛医大形成外科): [一般講演] ケロイド・正常皮膚境界部についての病理組織学的研究. 第34回日本形成外科学会総会, 1991.
- 13) 浅野伍朗: [シンポジウム] 再灌流心筋障害と Ca⁺⁺拮抗薬. 日医大医学会第1回公開シンポジウム, 1991.
- 14) 陳 大志, 恩田昌彦¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 林久太郎, 沖浜裕司¹⁾, 京野昭二¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第1): [一般講演] 虚血腸管における Vasoactive intestinal peptide (VIP) の変動に関する免疫組織化学的研究—特に Prostaglandin E₁ (PGE₁) との関連について—. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 15) 早田孝敬, 岩崎孝一¹⁾, 俵末喜栄¹⁾, 久保田繁¹⁾, 武田弘子²⁾, 浅野伍朗 (¹⁾久保田病院, ²⁾日大小児科): [一般講演] 著明な羊水過多症を伴った胎盤血管腫の1例. 第82回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
- 16) Asano, G., Tanaka, M., Seya, T. and Watanabe, M.: [シンポジウム] Precancerous lesions in large intestine: With special reference to the relationship between extracellular matrix and lesions. 第23回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1991.
- 17) Kimura, K., Tanaka, T., Seya, T., Watanabe, M. and Asano, G.: [一般講演] Ultrastructural change in stroma of colon carcinoma.: With special reference to localization of collagen fibrils. 第23回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1991.
- 18) Qiao, Y., Yokoyama, S., Sakurai, S., Kameyama, K. and Asano, G.: [一般講演] Effects of vitamin E on atherogenesis in cholesterol-fed guinea pigs. 70th. International Symposium on Vitamin E. 1991.
- 19) 相本隆幸¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 合田邦晴¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 小林 匡¹⁾, 横山 正¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第1): [一般講演] ヒト肝癌における Ag-NORs 染色からみた腫瘍増殖能の解析と c-myc 蛋白の発現. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 20) 田中昌彦¹⁾, 山本英希, 渡辺昌則, 瀬谷知子, 山田宣孝, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第1): [一般講演] ヒト大腸癌における細胞外基質の免疫組織化学的検討. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 21) 木山輝郎¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 水谷 崇¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 古川清憲¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下精彦¹⁾, 浅野伍朗, 留目優子²⁾, 大國寿士²⁾ (¹⁾外科学第1, ²⁾老人病研究所): [一般講演] 消化器癌悪液質患者における血清中 CEA, IAP および抗 TNF 抗体の測定意義. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 22) 北 俊典, 平野敏一, 竹田裕之, 庄司 佑¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第2): [一般講演] ヒト胃癌における細胞外基質の免疫組織化学的検討. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 23) Shibuya, J., Aida K., Watanabe, M., Shoji T., Asano, G. and Nakazawa, N.: [一般講演] Influence of tumor cells on collagen gel contraction in vitro. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 24) 渡辺昌則, 平野敏一, 浅野伍朗: [一般講演] 胃癌間質における筋線維芽細胞のコラーゲン産生能. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 25) ムワンタンブエ ミランガ, 外山和秀, 会田邦晴, 中沢南堂, 浅野伍朗: [一般講演] コラーゲン (IV) 非接着性・HeLa 細胞亜系細胞の分離とその形質について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 26) 竹田数章, 大塚俊司¹⁾, 佐藤春明¹⁾, 松本光司¹⁾, 山田孝宣¹⁾, 浅野伍朗, 中村一 (¹⁾第一病院病理部): [一般講演] 甲状腺濾胞性病変の病理組織学的診断に関する研究; 第2報 抗 PCNA 抗体を用いた濾胞性病変の鑑別. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 27) 北川泰之, 百田光弘¹⁾, 東 敬子¹⁾, 加藤圭子¹⁾, 中川敬夫¹⁾, 前田昭太郎¹⁾, 浅野伍朗, 白井康正²⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾整形外科): [一般講演] Primitive neuroectodermal tumor (PNET) の病理組織学的検討; 第1報 ユーイング肉腫と神経芽細胞腫の鑑別上の問題点. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 28) 横山宗伯, 浅野伍朗, 鈴木恒道¹⁾, 五味潤誠²⁾, 前田昭太郎³⁾, 山本 鼎⁴⁾, 鈴木仁子⁵⁾, 長沢紘一⁵⁾ (¹⁾付属病院病理部, ²⁾同胸部外科, ³⁾多摩永山病院病理部, ⁴⁾同放射線科, ⁵⁾同内科): [展示] 診断に難渋した肺3重癌の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 29) 矢島幹久¹⁾, 成田 稔¹⁾, 川津邦雄²⁾, 山田宣孝³⁾, 浅野伍朗 (¹⁾国立療養所多摩全生園, ²⁾国立多摩研究所, ³⁾第一

- 病院病理部)：〔展示〕ハンセン病治療後に癌腫の発現をみた7剖検例。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 30) 相本隆幸¹⁾，恩田昌彦¹⁾，内田英二¹⁾，内藤善哉¹⁾，会田邦晴²⁾，山中洋一郎¹⁾，小林 匡¹⁾，横山 正¹⁾，笹島耕二¹⁾，田尻 孝¹⁾，江上 格¹⁾，浅野伍朗^(¹⁾外科学第1)：〔展示〕ヒト膵癌におけるAg-NORs染色からみた腫瘍増殖能の解析とc-myc蛋白の発現。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 31) 山田宣孝¹⁾，佐藤春明¹⁾，大塚俊司¹⁾，松本光司¹⁾，清水一雄²⁾，庄司 佑²⁾，竹田数章，山本英希，浅野伍朗^(¹⁾第一病院病理部，²⁾外科学第2)：〔展示〕甲状腺濾胞性病変の病理組織学的診断に関する研究；第1報 異型腺腫，濾胞癌の血管侵襲像について。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 32) 山本英希，浅野伍朗，大塚俊司¹⁾，松本光司¹⁾，山田宣孝¹⁾，庄司 佑²⁾^(¹⁾第一病院病理部，²⁾外科学第2)：〔展示〕大腸早期癌の病理組織学的診断に関する研究；第1報生検グループ分類・核DNA量・PCNAの発現の相関について。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 33) 藤田逸郎¹⁾，恩田昌彦¹⁾，徳永 昭¹⁾，奥田武志¹⁾，水谷 崇¹⁾，木山輝郎¹⁾，西 恵吾¹⁾，松倉則夫¹⁾，古川清憲¹⁾，田中宣威¹⁾，山下精彦¹⁾，浅野伍朗，留目優子²⁾，大国寿士²⁾^(¹⁾外科学第1，²⁾老人病研究所)：〔展示〕消化器癌悪液質患者における血清中CEA IPA，TNFおよび細胞性免疫能の検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 34) 渡辺 仁，源河敦史¹⁾，喜村久美子，浅野伍朗，恩田昌彦^(¹⁾外科学第一)：〔一般講演〕肝臓における虚血一再灌注障害とCa⁺⁺-ATPaseの活性局在についての検討。第32回日本組織細胞化学学会総会，1991。
- 35) 間 武雄，浦田伸一，浅野伍朗，小黑辰夫¹⁾^(¹⁾中央電子顕微鏡施設)：〔一般講演〕培養骨膜細胞の分化と細胞外基質の関連性。第32回日本組織細胞化学学会総会，1991。
- 36) 福井 誠，喜村久美子，喬 炎，村田順造，浅野伍朗：〔一般講演〕エンドトキシン投与ラットにおける心筋細胞のCa⁺⁺-ATPaseの局在。第32回日本組織細胞化学学会総会，1991。
- 37) 石渡俊行，間 武雄，横山宗伯，浅野伍朗：〔一般講演〕血管損傷後の血管内皮細胞増殖動態；特に細胞外基質の役割について。第32回日本脈管学会総会，1991。
- 38) 上畑昭美¹⁾，西岡利彦¹⁾，栗田 明¹⁾，中村治雄¹⁾，浅野伍朗^(¹⁾防衛医大内科)：〔一般講演〕急性冠動脈閉塞後の側副血行路の発達とその意義；とくに心筋血流量と血管形態との関連。第32回日本脈管学会総会，1991。
- 39) 亀山孝二，横山宗伯，石渡俊行，浅野伍朗：〔一般講演〕冠動脈硬化病巣における内膜構造の改変過程と血栓形成との関連性。第32回日本脈管学会総会，1991。
- 40) Tuchiya, S.¹⁾ and Asano, G. (⁽¹⁾Department of Pathology, Nagano Cancer Detection Center)：〔シンポジウム〕Intracytoplasmic lumina of human breast cancer. : A microscopic study and practical application in diagnosis. Second Symposium of Japan-China Pathology. 1991.
- 41) Tokunaga, A.¹⁾, Onda, M.¹⁾, Mizutani, T.¹⁾, Nishi, K.¹⁾, Kiyama, T.¹⁾, Okuda, T.¹⁾, Fujita, I.¹⁾, Yosiyuki, T.¹⁾, Shimizu, Y.¹⁾, Matsukura, N.¹⁾, Yamashita, K.¹⁾, Asano, G., Sugisaki, Y.²⁾ and Yamanaka, N.²⁾^(¹⁾外科学第1，²⁾病理学第1)：〔シンポジウム〕Epidermal growth factor (EGF), EGF Receptor (EGFR) and c-erbB-2 as biological markers of invasion and metastasis in human gastric cancer. Second Symposium of Japan-China Pathology, 1991.
- 42) Sachira¹⁾, Onda, M.¹⁾, Tokunaga, A.¹⁾, Kimura, T.¹⁾, Fujita, I.¹⁾, Okuda, T.¹⁾, Mizutani, T.¹⁾, Nishi, K.¹⁾, Matsukura, N.¹⁾, Yamashita, K.¹⁾ and Asano, G. (⁽¹⁾外科学第1)：〔シンポジウム〕Immunohistochemistry of CEA-positive cells, B cells and S-100-positive cells and Tumor-Host relationship in gastric cancer. Second Symposium of Japan-China Pathology, 1991.
- 43) 喬 炎，平野敏一，浅野伍朗：〔一般演題〕高脂血症モルモットに見られた内耳平衡斑及びその支配血管の微細構造変化。第1回日本台湾耳鼻咽喉科学会，1992。
- 44) 柏戸 泉¹⁾，鈴木栄一¹⁾，中村兼一¹⁾，弓削庫太¹⁾，服部康夫¹⁾，喬 炎，平野敏一，浅野伍朗^(¹⁾第一病院耳鼻咽喉科)：〔一般講演〕高脂血症モルモットの内耳の微細構造変化(第2報) Vit. E投与の影響について。第1回日本耳科学会基礎学会，1992。

- 45) 陳 大志¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 京野昭二¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第 1) : [一般講演] 阻血による腸管癒着の発生に関する実験的研究: 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 46) 渡辺昌則, 平野敏一, 浅野伍朗: [一般講演] 胃癌における筋線維芽細胞の増殖の臨床的意義について. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 47) 相本隆幸¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 合田邦晴¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 小林 匡¹⁾, 横山 正¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 江尻 格¹⁾, 浅野伍朗 (¹⁾外科学第 1) : [一般講演] ヒト臍臓癌における Ag-NORs 染色からみた腫瘍細胞増殖能の解析; 他の消化器癌と比較して. 第92回日本外科学会総会, 1992.

10. 微生物学・免疫学講座

研究概要

免疫学：肝実質細胞のみならず肝非実質細胞も多彩なサイトカインを産生すること、肝再生の過程で、肝臓内に常在する造血幹細胞が肝臓以外の hematolymphoid system として運動して変動すること、等を見出し、hematolymphoid organ として働く肝臓の実態を明らかにしつつある。感染免疫学の分野では、human immunodeficiency virus (HIV)の主たる抗原決定基が HIV-1 gp160の超可変部分に存在することを明らかにしてきたが、この gp160の特定領域に限って、由来の異なる HIV と広範に交叉反応をすることを見出した。このことは、容易に変異する HIV に有効なワクチン開発の手掛りとなるものと思われる。一方、セムリキ森林ウイルスをモデルとするウイルスの免疫原性獲得の機序の研究では、その機序の一つとして、ウイルスを貪食した食胞におこる PH の変化が、ウイルス分子の酵素感受性を変えることによることを解明した。

薬剤アレルギー及び細菌学：抗生物質によるアレルギーの発症に、血小板がはたす役割を明らかにする目的で、アレルギーの進展に伴っておこる血小板の動態を観察している。また、多剤耐性ブドウ球菌の病院内汚染を防御するために、疫学調査を実施している。

研究業績

論文

- 1) 横室公三：〔総説〕肝再生の機構 [4], 肝再生と Hematolymphoid System, 肝臓病学の進歩, 17, 47~55, 1991.
- 2) 坂本俊樹, 横室公三：〔総説〕肝再生における Hematolymphoid System の動態, 医学の歩み, 158, 347~350, 1991.
- 3) Mabuchi, A., Komuro, T., Saizawa, T., Sakamoto, T., Watari, E. and Yokomuro, K., : 〔原著〕 The liver and the hamatolymphoid system; I. The regulation of nylon passed spleen cell proliferation by active factors released from syngeneic nonparenchymal liver cells. J. Leukocyte Biol., 50, 402~411, 1991.
- 4) Sakamoto, T., Mabuchi, A., Kuriya, S.¹⁾, Sudo, T.²⁾, Aida, T.³⁾, Asano, G.³⁾, Shoji, T.⁴⁾ and Yokomuro, K. : (¹⁾日医大内科第3, ²⁾バイオマテリアル研, ³⁾日医大病理第2, ⁴⁾同外科第2): 〔原著〕Production of granulocyte-macrophage colony-stimulating factor by adult murine parenchymal liver cells (Hepatocyte). Regio. Immunol., 3, 260~267, 1991.
- 5) 坂本俊樹, 庄司 佑¹⁾, 横室公三 (¹⁾日医大外科第2): 〔原著〕肝臓の Hematolymphoid system ; 再生肝における造血活性出現の機序. 日外会誌, 92, 428~440, 1991.
- 6) 山下浩二, 坂本俊樹, 庄司 佑¹⁾, 横室公三 (¹⁾日医大外科第2): 〔原著〕肥満細胞による培養肝実質細胞の増殖の制御. アレルギー, 41, 56~64, 1992.
- 7) 南 和文¹⁾, 白井康正¹⁾, 中川 俊¹⁾, 間瀬泰克¹⁾, 小林明雄¹⁾, 竹内良夫 (¹⁾第一病院整形外科): 〔原著〕学生相撲選手にみられた化膿性膝蓋前滑液包炎の1例. 臨床スポーツ医学, 8, 174~176, 1991.
- 8) 竹内良夫：〔原著〕化学療法剤の開発で細菌はどのような変化を生じたか. 日医大誌, 58, 243~246, 1991.
- 9) 日高三郎¹⁾, 安部公生¹⁾, 竹内良夫 (¹⁾福岡歯科大学生化学): 〔原著〕蔞酸カルシウム沈殿物形成のカルシウム電極による簡便測定法. 和漢医薬学会誌, 8, 108~114, 1991.
- 10) Clerici, M., Lucey, D.R.¹⁾, Zajac, R.A.¹⁾, Boswell, R.N., Gebel, H.M.¹⁾, Takahashi, H., Berzofsky, J.A.¹⁾ and Shearer, G.A.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): 〔原著〕 Detection of cytotoxic T lymphocytes specific for synthetic peptides of gp160 in HIV-seropositive individuals. J. Immunol., 146, 2214~2219, 1991.
- 11) Lipham, W.J.¹⁾, Redmond, T.M.¹⁾, Takahashi, H., Berzofsky J.A.¹⁾, Wiggert, B.¹⁾, Chader, G.L.¹⁾ and Gery, I.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): 〔原著〕 Recognition of peptides that are immunopathogenic but cryptic ; Mechanisms

that allow lymphocytes sensitized against cryptic peptides to initiate pathogenic autoimmune processes. *J. Immunol.*, 146, 3757~3762, 1991.

- 12) Takahashi, H., Nakagawa, Y., Pendleton, C.D.¹⁾, Houghten, R.A.¹⁾, Yokomuro, K., Germain, R.N.¹⁾ and Berzofsky, J.A.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): [原著] Induction of broadly crossreactive cytotoxic T cells recognizing an HIV-1 envelope determinant. *Science*, 255, 333~336, 1992.
- 13) 高橋秀実: [総説] HIV 感染と免疫応答. *Medical Immunology*, 21, 117~125, 1991.
- 14) 高橋秀実: [原著] 活血化於処方〔冠元顆粒〕の臨床応用. *中医臨床*, 12, 145~151, 1991.
- 15) 高橋秀実: [総説] エイズウイルスに関するワクチン開発研究の現況と展望. *Medical English*, 8, 1~4, 1991.
- 16) 高橋秀実: [総説] 免疫不全と免疫抑制: HIV に対するワクチンの開発. *臨床科学*, 27, 1268~1273, 1991.
- 17) 高橋秀実: [総説] HIV-1の主たる中和抗体認識部位における保存されたアミノ酸配列とその構成要素. *Medical Briefs in Virus Infection*, 5, 5~6, 1991.
- 18) 高橋秀実: [総説] HIV エンヴェロップ蛋白特異的 CTL とその認識エピトープの特殊性. *実験医学*, 9, 2024~2079, 1991.
- 19) 高橋秀実: [総説] 遺伝子組換え技術を用いたウイルス特異的キラーT細胞の誘導及びその解析: AIDS ウイルス (HIV) をモデルとして. *日医大誌*, 58, 703~707, 1991.
- 20) 高橋秀実: [総説] 免疫調節, 制御へのアプローチ: エイズワクチン. *Medical Immunology*, 22, 107~112, 1992.
- 21) 亀井裕子¹⁾, 多田知美¹⁾, 宮永嘉隆¹⁾, 渡理英二 (¹⁾東京女子医大眼科): [原著] Epstein-Barr ウイルスのウサギ眼感染実験. *あたらしい眼科*, 9, 111~114, 1992.
- 22) Ohkuni, H., Todome, Y., Yoshimura, K., Yamamoto, T., Suzuki, H., Yokomuro, K., Johnston, K.H. and Zabriskie, J.B.: [原著] Detection of nephritis stain-associated streptokinase by monoclonal antibodies. *J. Med. Microbiol.*, 35, 60~63, 1991.

著 書

- 1) Takahashi, H., Takeshita, T.¹⁾, Mprein, B.¹⁾, Putney, S.D.¹⁾, Germain, R.N.¹⁾ and Berzofsky, J.A.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): [分担] An unique subunit immunogen (ISCOM-gp160) can elicit MHC class I-restricted HIV envelope-specific CD8⁺ CTL. *Cold Spring Harbor Laboratory Vaccines* 91, 1991.
- 2) 高橋秀実: [分担] 最近のエイズ研究; エイズウイルスとキラーT細胞: ワクチン開発に向けて. オンコロジア社, 1991.

学会発表

- 1) 高橋秀実: [シンポジウム] HIV とキラーT細胞; ワクチン開発に向けて. 札幌がんセミナー, 1991.
- 2) 竹内良夫, 川角 浩, 本間義春, 西村葉子, 栗山純一, 横室公三: [一般演題] 薬剤アレルギーに関する基礎的研究. (続) Cephem 系薬剤の血小板機能に対する作用. 第39回日本化学療法学会総会, 1991.
- 3) 秋元敏雄¹⁾, 仲間一雄¹⁾, 川角 浩, 竹内良夫 (¹⁾実験動物管理室): [一般演題] ヘアレスラットの皮膚常在細菌叢について. 第38回日本実験動物学会総会, 1991.
- 4) 津久井拓, 坂本俊樹, 馬瀧綾子, 菊池京子, 金子勝美, 須藤哲央¹⁾, 間 武雄²⁾, 浅野伍朗²⁾, 野村武夫³⁾, 横室公三 (¹⁾バイオマテリアル研究所, ²⁾日本医大病理第2, ³⁾同内科学第3): [示説] 初代培養肝実質細胞の産生する Cytokine の研究. 第27回日本肝臓学会総会, 1991.
- 5) 津久井拓, 坂本俊樹, 馬瀧綾子, 菊池京子, 須藤哲央¹⁾, 間 武雄²⁾, 浅野伍朗²⁾, 野村武夫³⁾, 横室公三 (¹⁾バイオマテリアル研究所, ²⁾日本医大病理第2, ³⁾同内科学第3): [示説] マウス初代培養肝実質細胞の産生する Cytokine. 第7回初代培養肝細胞研究会, 1991.

- 6) 馬淵綾子, 坂本俊樹, 津久井拓, 平野文也, 渡理英二, 横室公三: [シンポジウム] マウス初代肝非実質細胞培養上清によって誘導される脾細胞の増殖と分化. 第7回初代培養肝細胞研究会, 1991.
- 7) Takahashi, H., Nakagawa, Y., Pendleton, C.D.¹⁾, Houghten, R.A.¹⁾, Yokomuro, K., Germain, R.N.¹⁾ and Berzofsky, J.A.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): [Symposium] CTL crossreactivity to an immunodominant determinant of HIV-1 envelope protein; Induction of broadly crossreactive CTL. Cold Spring Harbor Symposium on Modern Approaches to New Vaccines Including Prevention of AIDS, 1991.
- 8) 野原秀明¹⁾, 竹内良夫 (¹⁾付属生理機能センター): [一般演題] 本院生理機能センターにおける多剤耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) の現状. 第59回日本医大会総会, 1991.
- 9) 福生吉裕¹⁾, 竹内良夫 (¹⁾内科学第2): [一般演題] マクロファージ泡沫化を抑制する胸腺内粗抽出物の検討. 第59回日本医大会総会, 1991.
- 10) 野呂瀬嘉彦, 坂本俊樹, 横室公三, 市川安昭¹⁾, 山下和雄¹⁾ (¹⁾解剖第1): [展示] 培養肥満細胞の電顕的観察法の工夫. 第59回日本医大会総会, 1991.
- 11) 高橋秀実, 中川洋子, 横室公三, Jay A., Berzofsky.¹⁾, (¹⁾米国 NIH): [一般演題] エイズウイルスに対するキラーT細胞エピトープの持つ特殊性; 同一部位がヘルパーT細胞の認識部位であることの証明. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 12) 中川洋子, 高橋秀実, 横室公三: [一般演題] 肝再生時に移入した抗原に対する免疫応答; エイズウイルス env 抗原に対する細胞性免疫応答の増強. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 13) Nemoto, K.¹⁾ and Takeuchi, Y. (¹⁾薬理): [一般演題] Preparation of airway single smooth muscle cell from guinea pig trachea and lungs. The 14th International Congress of Allergology and Clinical Immunology, 1991.
- 14) 荒川 勉¹⁾, 竹内良夫, 西村葉子, 川角 浩, 本間義春, 横室公三 (¹⁾ロッセ研究所): [一般演題] ベパーミントオイルおよび天然樹脂テクル, ジェルトンなどの抗アレルギー作用. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 15) 馬淵綾子, 坂本俊樹, 揚 天慧, 金子勝美, 横室公三: [一般演題] 肝臓の Hematolymphoid System; T細胞の増殖と分化に及ぼす肝実質細胞の影響. 第21回日本免疫学会総会, 1991.
- 16) 平野文也, 坂本俊樹, 馬淵綾子, 横室公三: [一般演題] 肝部分切除と再生の過程で肝臓, 胸腺, 脾臓に起こるリンパ球 subpopulation の変動. 第21回日本免疫学会総会, 1991.
- 17) 宮本昌之, 坂本俊樹, 西澤高士, 恩田昌彦¹⁾, 横室公三 (¹⁾外科学第1): [一般演題] リンパ球の Homing と肝類洞細胞-PNA 陽性細胞の肝への集積性. 第21回日本免疫学会総会, 1991.
- 18) 津久井拓, 坂本俊樹, 馬淵綾子, 菊池京子, 須藤哲央¹⁾, 間 武雄²⁾, 浅野伍朗²⁾, 河路秀巳, 野村武夫³⁾, 横室公三 (¹⁾東レ基礎研究所, ²⁾日本医大病理学第2, ³⁾同内科学第3): [一般演題] 肝実質細胞の産生する Cytokines について (III); 培養肝実質細胞に発現する IL-1 mRNA. 第21回日本免疫学会総会, 1991.
- 19) 高橋秀実, 横室公三, Berzofsky.¹⁾, Jay A. (¹⁾米国 NIH): [一般演題] ISCOM を用いたクラス I MHC 拘束性キラーT細胞の誘導. 第21回日本免疫学会総会, 1991.
- 20) 高橋めぐみ, 野呂瀬嘉彦, 馬淵綾子, 横室公三: [一般演題] 肝内抗体産生細胞の動態と性状. 第21回日本免疫学会総会, 1991.
- 21) 川角 浩, 本間義春, 竹内良夫: [一般演題] 表皮ブドウ球菌の薬剤感受性試験. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 22) 馬淵綾子, 坂本俊樹, 津久井拓, 平野文也, 渡理英二, 野呂瀬嘉彦, 横室公三: [シンポジウム] 肝非実質細胞及びその培養上清によって誘導される肝細胞の増殖と分化. 第5回肝類洞壁細胞研究会(久留米シンポジウム), 1991.
- 23) 坂本俊樹, 西澤高士, 平野文也, 馬淵綾子, 宮本昌之, 庄司 佑¹⁾, 横室公三 (¹⁾外科学第2): [シンポジウム] 肝部分切除と再生の過程で全身及び肝内に起こる Hematolymphoid Cell Population の変動. 第5回肝類洞壁細胞研究会, 1991.

胞研究会（久留米シンポジウム），1991.

- 24) 平野文也，坂本俊樹，馬淵綾子，横室公三：〔シンポジウム〕肝部分切除と再生の過程で肝臓，胸腺，脾臓に起こるリンパ球 Subpopulation の変動．第5回肝類洞壁細胞研究会（久留米シンポジウム），1991.
- 25) 高橋秀実：〔特別講演〕エイズワクチン開発の現況．京都大学公開講座（エイズ基礎研究の現状），1992.
- 26) Berzofsky, J.A.¹⁾, Takeshita, T.¹⁾, Kozlowski, S.¹⁾, England, R.¹⁾, Takahashi, H. and Margulies, D.H.¹⁾ (¹⁾米国 NIH)：〔Symposium〕Role of non-polymorphic regions of class 1 MHC molecules in the activation of CD8⁺ CTL by peptide and purified cell-free class 1 molecules. Keystone Symposia on Antigen Processing and Presentation, 1992.
- 27) Berzofsky, J.A.¹⁾, Shirai, M., Nakagawa, Y., Pendleton, C.D.¹⁾, Houghten, R.A.¹⁾, Yokomuro, K., Germain, R.N.¹⁾ and Takahashi, H. (¹⁾米国 NIH)：〔Symposium〕Promiscuity for MHC and induction of broad crossreactivity for HIV-I isolates of a dominant CTL determinant of the HIV-I envelope. Keystone Symposia on Prevention and Treatment of AIDS, 1992.
- 28) 高橋秀実：〔特別講演〕HIV の変異とキラーT細胞の交差障害性．微生物病研究所シンポジウム（大阪大学主催），1992.
- 29) 高橋めぐみ，横室公三：〔一般演題〕S. typhimurium 感染に対するマウスの宿主反応の比較．第65回日本細菌学会総会，1992.

11. 衛生学・公衆衛生学講座

研究概要

環境衛生, 労働衛生の研究を行っている。1988年に主婦が洗剤を混用して, 全盲になった事例の症例報告とその病気の起こった機序を実験的に検索した論文がやっと日の目をみた。それに伴って, 白血球が異物処理の時に生成する次亜塩素酸と, アミン, アンモニアが反応して合成されるクロラミンの生体作用に関する新しい知見も得ることができた。クロラミンは, カーボニックアンヒドラーゼ, アルデヒドデヒドロゲナーゼ, フォルミル THF デヒドロゲナーゼを阻害し, SOD を活性化することがわかった。フリーラジカルとヘモグロビンの反応において, 還元物質の関与が存在することが判明しつつある。NO_x とヘモグロビンの反応にもこれはあてはまることが, ESR(全学共同利用施設)を用いて明らかになりつつある。労働生理学的研究では, 運動とカテコラミンのキネティックスに関わる研究が行われ, 玉川と森田の学位論文として結実した。ドーパと運動負荷(ストレス)は関連をもたないようであった。またストレスと関連する胃潰瘍については, 三宅のカーボニックアンヒドラーゼの研究が学位論文としてまとまった。未だ型にならないものとしては, ベンゼンとNK細胞の研究(范), 工業毒物と脳内アミンの研究(徳竹), トリクロル化合物と腎障害(勝又), バイオロジカルモニタリングをイムノプレートを用いて行う方法の検討(稲垣)があり, いずれも労働医学と係りをもつ。第一内科と共同で, 一般勤労者の循環機能調査(馬場)も, 80例になった。少しずつ原著論文の質のよいものも出るようになったことは喜ばしい。

過去に採取した血清のストックを用いて, 若山は猿島肝炎のCウイルス抗体を, 測定してもらっている。薩田は埼玉県の保健機関からデータをもらい, インフルエンザの予防接種効果を調査している。後二者の調査は, 1984年に退任した故乗木教授時代のテーマのつづきである。

研究業績

論文

- 1) Aramaki, T.¹⁾, Wakayama, Y., Akaike, M.¹⁾, Satomura, K.¹⁾, Katsuta, Y.¹⁾ and Okumura, H.¹⁾ (1)内科学第1): [原著] Long-term status of antibody to hepatitis C virus and the relation to the outcome of hepatitis: A retrospective study using stored sera from patients with Sashima epidemic hepatitis. *Gastroent. Jpn.*, 26, 209~211, 1991.
- 2) 南 正康: [解説] 知られざる NO_x 問題, 職業性 NO_x 被曝. *労働の科学*, 46, 24~28, 1991.
- 3) 薩田清明, 前田和一¹⁾, 仲田 寛¹⁾, 中村泰三¹⁾, 北井暁子¹⁾, 森 彪¹⁾, 方波見重兵衛¹⁾, 五十嵐康雄¹⁾, 浅見貞男¹⁾ (1)埼玉県感染症対策協議会予防接種専門委員会): [原著] 埼玉県下の小学校におけるインフルエンザワクチンの効果; 非既往群の欠席状況の比較から. *日本医事新報*, No. 3518, 43~48, 1991.
- 4) 薩田清明, 加地正郎¹⁾(1)久留米大): [総説] インフルエンザ予防接種の効果. *臨床と研究*, 68, 116~139, 1991.
- 5) 薩田清明: [原著] インフルエンザワクチン接種対象児童の性質について; 非流行期における欠席状況の比較から. *感染症誌*, 65, 1403~1410, 1991.
- 6) 玉川恭士: [原著] 運動負荷による noradrenaline 動態と hemodynamic response の関係について; 第2報 血圧, 心拍数と血中, 尿中カテコラミン kinetics の関連. *日医大誌*, 58, 672~685, 1991.
- 7) 南 正康: [報告] 産業中毒をめぐる(4); 亜硝酸塩をのんでメトヘモグロビン血症となった例. *労働の科学*, 47, 30~33, 1992.
- 8) Minami, M., Katsumata, M., Miyake, K., Inagaki, H., Fan, X., Kubota, H., Yamano, Y.¹⁾ and Kimura, O.²⁾ (1)東女医大, 2)苫小牧市立病院): [原著] Dangerous mixture of household detergents in an old-style toilet: a case report with simulation experiments of the working environment and warning of potential hazard relevant to the general environment. *Hum. Exp. Toxicol.*, 11, 27~34, 1992.

- 9) Kosano, H.¹⁾, Kubota, T.²⁾, Ohsawa, N.³⁾, Yamamori, S.⁴⁾, Abe, O.²⁾, Inagaki, H. and Nagata, N.¹⁾ (¹⁾防衛医大, ²⁾慶大医, ³⁾大阪医大, ⁴⁾三菱油化ビニール) : [原著] Growth-inhibitory action of an estrogen-chlorambucil conjugate (KM2210) in human breast cancer cell line MCF-7: Its relation to reduction of estrogen receptor and transforming growth factor- α secretion. *Cancer Res.*, 52, 1187~1191, 1992.

学会発表

- 1) 薩田清明 : [一般講演] インフルエンザ予防接種の効果について ; 有既往群と非既往群の比較から. 第61回日本衛生学会総会, 1991.
- 2) 若山葉子, 荒牧琢己¹⁾ (¹⁾内科学第1) : [一般講演] 猿島肝炎の長期追跡成績と HCV 抗体. 第61回日本衛生学会総会, 1991.
- 3) 薩田清明 : [一般講演] インフルエンザワクチンの効果について ; 有既往群と非既往群の欠席状況の比較から. 第65回日本感染症学会総会, 1991.
- 4) 小佐野博史¹⁾, 稲垣弘文, 久保田哲朗²⁾, 阿部令彦²⁾, 永田直一¹⁾ (¹⁾防衛医大, ²⁾慶大医) : [展示] 乳癌細胞 MCF-7 の TGF- α 分泌に対する KM2210 及びその代謝物の影響. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 5) 三宅一昌, 岩切勝彦¹⁾, 末岡伸夫¹⁾, 香川隆男¹⁾, 平川恒久¹⁾, 小林正文¹⁾, 野村武夫¹⁾, 稲垣弘文, 南 正康 (¹⁾内科学第3) : [展示] H₂ ブロッカー投与後の十二指腸潰瘍再発と粘膜内の炭酸脱水酵素について. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 6) 薩田清明 : [一般講演] インフルエンザワクチンの効果について ; 流行期・非流行期の欠席状況の比較から. 第50回日本公衆衛生学会総会, 1991.
- 7) 若山葉子, 荒牧琢己 (¹⁾内科学第1) : [展示] 猿島肝炎と HCV 抗体. 第50回日本公衆衛生学会総会, 1991.
- 8) 薩田清明 : [一般講演] 1988年度市販インフルエンザワクチンの効果について ; 流行期と非流行期の欠席状況の差から. 第38回関東学校保健学会総会, 1992.
- 9) 薩田清明 : [一般講演] 1988年度インフルエンザワクチンの効果について. 第62回日本衛生学会総会, 1992.
- 10) 若山葉子, 荒牧琢己¹⁾ (¹⁾内科学第1) : [一般講演] 肝炎流行地区の予後の検討. 第62回日本衛生学会総会, 1992.
- 11) 勝又聖夫, 稲垣弘文, 南 正康 : [一般講演] 1,1,1-trichloroethane 被曝者の尿中代謝産物及び尿中成分の変動について. 第65回日本産業衛生学会, 1992.

12. 法医学講座

研究概要

当教室は、法医中毒学を中心に多岐の分野に亘り、救急医学、形成外科学、脳神経外科学、病理学、化学、中央電頭施設などの各教室と共同研究を行っている。また、血液型学として親子鑑定を行い、赤血球型、血清型、赤血球酵素型、HLA型、DNAフィンガープリント法などによる遺伝学的検討を行っている。

1. 法中毒学、1) アルコール研究：当教室創設以来の主要テーマであり、アルコールの代謝ならびにアルコールの生体への影響を中心に研究を行っている。アルコール代謝における中心的酵素であるアルコール脱水素酵素、アルデヒド脱水素酵素の isozyme レベルでの代謝調節を検討し、アルコール感受性に対する個体差の解明に取り組んでいる。さらに、アルコールの臓器障害の機序を究明するため、心筋培養細胞を用いて生理学的、生化学的実験を行っている。また、アルコールの代謝物である酢酸を測定し、その代謝による意義と役割を検討している。

2) 急性薬物中毒：救急医学教室と共同で急性薬物中毒による入院患者の緊急薬物分析法を開発し、既に実用化させている。さらに TLC, HPLC, GC, GC/MS 等を用いたより簡便、迅速で精度の高い系統的な分析システムの開発に取り組んでいる。また、覚醒剤、コカイン、麻薬などの不法薬物の簡易分析法の開発も検討している。

2. その他、1) NMRを用いた研究：共同利用施設の NMRを用いて、種々の薬物中毒時の脳内エネルギー代謝、水の緩和時間などを in vivo で経時的に測定し、中毒機序の解明に応用している。形成外科学と共用で皮膚損傷の治療過程のエネルギー代謝、脳神経外科とは、脳腫瘍へのモノクローナル抗体の効果、内科学第2教室とは虚血時の脳浮腫の機序について MRI, MRS による検討を行っている。

2) 脳死について：脳死に関わる種々の問題点を法医学的、社会医学的な見地から考察し、論議を深めるための資料を提供している。

研究業績

論文

- 1) Shibata, D.¹⁾, Kurosu, M. and Thomas T. Noguchi.¹⁾ (1)南カリフォルニア大学)：〔原著〕Fixed human tissues ; A resource for the identification of individuals. *J. Forensic Sci.*, 36, 1204~1212, 1991.
- 2) 黒須三恵, 仁平 信, 渡辺日章, トーマス T. 野口¹⁾ (1)南カリフォルニア大学)：〔原著〕米国の検死制度. *日法医誌*45, 351~359, 1991.
- 3) トーマス T. 野口¹⁾, 黒須三恵 (1)南カリフォルニア大学)：〔原著〕脳死・臓器移植問題の解決へ向けて；米国での心臓移植初期の混乱から学ぶ. *日本医事新報*, No. 3511, 95~98, 1991.
- 4) Haseba, T., Sato, S.¹⁾, Ishizaki, M.²⁾, Yamamoto, I., Kurosu, M. and Watanabe, T. (1)中央電頭施設, 2)病理学第1)：〔原著〕Intralobular and intracellular localization of alcohol dehydrogenase (ADH) isozyme in mouse liver ; Basic ADH (Class I) and Acidic ADH (Class III). *Biomed. Res.*, 12, 199~209, 1991.
- 5) 山村美和¹⁾, 平川慶子, 百東比古¹⁾, 山本 達¹⁾, 文入正敏¹⁾, 仁平 信, 渡辺日章 (1)形成外科学)：¹³C-固体 MRS を用いた埋入異物の分析法；第1報：標準物質に関する報告. *形成外科*, 34, 909~913, 1991.
- 6) Haseba, T., Nakazawa, M., Candace W.-C. Kao.¹⁾, Remesh Murthy.¹⁾ and Winston W.-Y., Kao.¹⁾ (1)シンシナティ大学)：〔原著〕Isolation of wound-specific cDNA clones from a cDNA library prepared with mRNAs of alkali-burned rabbit corneas. *Cornea*, 10, 322~329, 1991.
- 7) 黒須三恵：〔原著〕「脳死は人の死」への疑問；脳死臨調答申に対する所感. *日本医事新報*, No. 3537, 99~102, 1992.
- 8) トーマス T. 野口¹⁾, 黒須三恵 (1)南カリフォルニア大学)：〔原著〕脳死・臓器移植における検視制度上の問題. *現代警察*, 18, 72~75, 1992.

学会発表

- 1) 仁平 信, 林田眞喜子, 平川慶子, 富田ゆかり, 渡辺日章, 富岡譲二¹⁾, 山本保博¹⁾(¹⁾救急医学): [一般講演] 救命救急センター入室時に意識障害を呈した患者に対する薬毒物スクリーニング. 第75次日本法医学会総会, 1991.
- 2) 長谷場健, 渡辺日章, ウィンストン・カオ¹⁾(¹⁾シンシナティ大学): [展示] 損傷特異蛋白の molecular cloning. 1991.
- 3) 林田眞喜子, 仁平 信, 渡辺日章, 須崎紳一郎¹⁾, 山本保博¹⁾(¹⁾救急医学): [展示] TOXI-LAB[®]を用いた薬物スクリーニング法の評価. 1991.
- 4) 山村美和¹⁾, 百束比古¹⁾, 山本 達¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子, 渡辺日章(¹⁾形成外科学): [一般講演] NMR を用いた埋入異物の分析法. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 5) 簡野晃次¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子, 渡辺日章(¹⁾形成外科学): [一般講演] 皮弁のエネルギー代謝の経時的観測; ³¹P MRS 法による新しい試み. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 6) 渡辺日章, 林田眞喜子, 仁平 信, 黒須三恵, 長谷場健, 富田ゆかり, 平川慶子, 三上啓子: [展示] 過去25年間に当教室で扱った親子鑑定の概要. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 7) 林田眞喜子, 佐藤美保, 仁平 信, 渡辺日章: [展示] 両親の片側が死亡している親子鑑定における HLA 型検査が有効であった事例について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 8) 山本伊佐夫, 長谷場健, 黒須三恵, 富田ゆかり, 渡辺日章: [一般講演] アルコール脱水素酵素(ADH) isozyme の疎水性反応環境における活性調節能とアルコール代謝における意義. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 9) 黒須三恵: [海外留学者講演] 脳死・臓器移植および倫理委員会の日米比較. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 山村美和¹⁾, 井上幸彦¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子, 仁平 信, 植草協子, 渡辺日章(¹⁾形成外科学): [一般講演] 乳房異物の核磁気共鳴法を用いた分析法の開発. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 11) 簡野晃次¹⁾, 百束比古¹⁾, 山本 達¹⁾, 村上正洋¹⁾, 山村美和¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子, 渡辺日章(¹⁾形成外科学): [一般講演] ³¹P-MRS を用いた皮弁エネルギー代謝の研究. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 12) 井上幸彦¹⁾, 山村美和¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 渡辺日章, 仁平 信, 平川慶子(¹⁾形成外科学): [展示] 豊胸目的で料理用の油脂を自己注入した男性のヒト・アジュバント病の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 13) 三上啓子, 長谷場健, 渡辺日章: [一般講演] 培養心筋細胞に対するエタノールの細胞障害作用; 生化学的・生理学的検討. 第26回日本アルコール医学会総会, 1991.
- 14) 山本伊佐夫, 長谷場健, 黒須三恵, 富田ゆかり, 渡辺日章: [一般講演] マウス acidic ADH (Class III) 酵素蛋白の活性調節能とそのアルコール代謝における意義. 第26回日本アルコール医学会総会, 1991.
- 15) 長谷場健, 山本伊佐夫, 黒須三恵, 上井 一, 渡辺日章: [一般講演] いわゆる「ADH 欠損」deer mouse における acidic ADH (Class III) の存在. 第26回日本アルコール医学会総会, 1991.
- 16) Kanno, K.¹⁾, Hyakusoku, H.¹⁾, Fumiiri M.¹⁾, Hirakawa, K. and Watanabe, T. (¹⁾形成外科学): [一般講演] A novel approach to evaluate the state of a flap by ³¹P-MRS surface coil method. The 1st International Congress of Japanese and Korean Plastic and Reconstructive Surgery, 1991.
- 17) 山村美和¹⁾, 井上幸彦¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平川慶子, 仁平 信, 渡辺日章(¹⁾形成外科学): [一般講演] ¹³C 個体 MRS を用いた埋入異物の分析に関する研究; IR 法との関連について. 第4回形成外科リサーチフォーラム研究集会, 1991.
- 18) 渡辺日章, 林田眞喜子, 仁平 信, 黒須三恵, 長谷場健, 富田ゆかり, 平川慶子, 三上啓子: [一般講演] 当教室で扱った親子鑑定例における 2, 3 の興味ある所見について; HLA 型を中心として. 第60回日本法医学会関東地方会, 1991.

13. 医療管理学講座

研究概要

平成3年度の当教室における研究は以下のテーマを中心にして行った。

- ① 厚生科学研究等の公的研究・プロジェクト
- ② 医療の質に関する研究
- ③ 医療問題全般にわたる総合的研究
- ④ 救命救急センターにおける業務量測定の研究

各々について説明する。

①に関しては、「通信衛星を活用した救急医学教育の開発に関する研究」や「医療の質の向上に関するプロジェクト研究」などが主なものであり、報告書を作成した。

②の研究は、当教室の継続主要研究であり、当教室内にJHQAの事務局を置き、この研究会の中心になって活動している。米国JCAHOの医療評価マニュアルを参考に、日本の病院の質を評価するための評価基準項目を研究会で作成し、それを使って登録病院のうち3病院の評価活動を行った。今後、その結果をもとに基準項目のバージョンアップをはかり、評価活動を進めてゆく予定である。

③に関しては、岩崎教授が各学会でシンポジストとして発言を行うと共に、インフォームド・コンセントを中心とした研究論文としてまとめられる。その他医療費の上昇、高齢化社会と医療、患者のQOLへの期待の高まり等、新しい医療問題が行っているが、これらを医療管理の視点から総説として発表されたものがある。

④に関しては、本学救命救急センターに布施助手が9カ月間救急医兼リエゾン精神科医として常駐し、とくに精神疾患を背景にもつ患者と、それを取りまく医療スタッフを対象に研究を行った。スナプリーディング法を用いて、医療スタッフの業務量を測定し、日本病院管理学会などで発表した。

なお、②～④の研究は、次年度も継続して行われる予定である。

研究業績

論文

- 1) 岩崎 榮：〔総説〕精神病院の機能分化の考え方。日精病協誌，8（10），9～14，1991。
- 2) 岩崎 榮：〔総説〕コ・メディカルスタッフ；充実へ向けての課題。からだの科学，第160号，86～94，1991。
- 3) 岩崎 榮：〔総説〕死亡診断書の問題点；QOLをめざす診断書への関心を。Geriatric Medicine（老年医学），29（9），63～65，1991。
- 4) 岩崎 榮：〔総説〕医療管理学からみた私的病院の諸問題。全日本病院協会雑誌，2（1），1～5，1991。
- 5) 岩崎 榮：〔総説〕病院機能標準化マニュアルの今日的意義とは何か。ばんぶう，第129号，66～70，1991。
- 6) 岩崎 榮：〔総説〕インフォームド・コンセント理解のために；よき患者・医師関係を考える。精神薬理，13，365～379，1991。
- 7) 岩崎 榮，吉中 稔：〔翻訳〕アメリカにおける医療評価の歴史と現状；病院内部におけるモニタリングによる質の評価。病院，50，681～686，1991。

学会発表

- 1) 岩崎 榮：〔シンポジウム〕中小病院の今後はどうなるか；医療法改正の視点から。第41回日本病院学会総会，1991。
- 2) 岩崎 榮：〔シンポジウム〕老人介護・看護婦不足をどうするか；介護は公的サービスで住宅介護手当は5万～20万。第33回全日本病院学会総会，1991。

- 3) 岩崎 榮：〔シンポジウム〕病院のアメニティを如何に考えるか；医療管理を通して。第28回日本病院管理学会総会，1991.
- 4) 布施理美：〔一般演題〕救命救急センターにおける精神会の業務量—一回診型—。第29回日本病院管理学会総会，1991.
- 5) 布施理美：〔パネルディスカッション〕救命救急センターでの精神科医の役割と業務量測定法。第4回総合病院精神学会総会，1991.
- 6) 布施理美：〔一般演題〕救命救急センターにおける自殺企図 pt. に関する consultation liaison psychiatry 活動。第19回日本集中治療医学会総会，1992.

14. 基礎医学共同研究利用施設

[実験動物管理室]

研究概要

実験動物モデル（疾患モデル・生物学的モデル）の研究・開発をテーマとして、自発性疾患動物の病態解析・各種実験動物の生理学的特性検索およびモデル動物のコロニー育成を行っている。本年度は以下のような研究を行った。

1. 疾患モデル動物

1) WBN/Kob ラット：このラットの糖尿病は、幼齢期に自発し進展する pancreatitis の結果として発症し、比較的長い chemical-diabetic stage があり、糖尿病発症後も insulin 治療することなく長期生存し得ることが分かった。この病態経過の特異性を膵病変の変化に求め、膵臓の組織形態学的変化を経時的に観察した。その結果、この膵病変は初期の循環障害期、著しい出血性間質性膵炎期、実質組織修復再生期からなる経過を特徴とし、膵炎の進展に追隨して組織再生のあること、特に後期における顕著な外分泌組織の再生とわずかながらのラ氏島再生が確認され、この特異的病態経過をとる理由を明らかにした。

2) ヘアレスラット：ヘアレスラットの皮膚に好発する限局性の糜爛の原因を皮膚 flora 変化に求め検討した。その結果、ヘアレスラットの皮膚の flora は、正常毛ラットと異なり正常皮膚部でも *S. aureus* がほとんどを占めており、また、*C. kutscheri* が定着しうることが示唆された。

2. 生物学的モデル

スナネズミの寄生虫学およびアレルギー学領域での有用性を検討した。末梢血中に存在する好塩基球は、異種タンパクやネズミ糞線虫感染などの刺激にตอบสนองして増加すること、代表的な chemical mediator のうちヒスタミンに対する感受性が最も高いこと、被毛色変異体は、フィラリアに対する感染動態が野生色とやや異なる可能性があることなどの新知見を得た。

研究業績

論文

- 1) 大橋和史¹⁾, 原 浩子¹⁾, 阿曾亮子¹⁾, 高橋文恵¹⁾, 金 重輝²⁾, 仲間一雅, 秋元敏雄^(¹⁾臨床薬理センター, ²⁾内科学第3)：〔原著〕自然発症慢性膵炎モデル WBN/Kob ラットの膵病変に対する薬物の治療メカニズムの検討。日臨薬理会誌, 22, 11~12, 1991.
- 2) Fukuo, Y.¹⁾, Nagashima, M.¹⁾, Saito A.¹⁾, Kobayashi, Y.¹⁾, Terashi, A.¹⁾, Nakama, K., Kameyama, K.²⁾ and Asano G.²⁾ (¹⁾Second Dept. Internal Medicine, ²⁾Second Dept. Pathology)：〔原著〕Effects of Simvastatin on Serum Lipids and Atherosclerosis in WHHL Rabbits. Clinical Therapeutics, 13, 417~424, 1991.
- 3) Win, T.¹⁾, Uchiyama Y.¹⁾, Shimizu, Y.¹⁾, Nakama, K. and Akimoto, T. (¹⁾Dept. of Ophthalmology)：〔原著〕Ocular and other complications in the new spontaneously diabetic WBN/Kob rat. Frontiers in Diabetes Research, 3, 129~134, 1991.
- 4) 佐藤 茂¹⁾, 相原 薫¹⁾, 仲間一雅 (¹⁾中央電顕研究施設)：〔原著〕WBN/Kob ラットにおける構成組織の超微形態学的研究。糖尿病動物, 5, 138~142, 1991.
- 5) Shimizu, M., Shichinohe, K., Tsukidate, S.¹⁾ and Fujita, K.¹⁾ (¹⁾東医歯大・医・医動物)：〔原著〕Basic studies on the Mongolian gerbil as a susceptible host to filarial infection. "Comparative studies on hematological features between the wild-colored gerbil and the coat mutants". Jpn. J. Trop. Med. Hyg., 19, 331~338, 1991.
- 6) Hara, Y.¹⁾, Ejima, H.¹⁾, Ishida, T.²⁾, Aoki, S.¹⁾, Tagawa, M.¹⁾, Motoyoshi, S.³⁾, Shimizu, M. and Shichinohe,

K. (1)日獣大・獣医外科, 2)日獣大・獣医臨床病理, 3)日獣大・獣医内科): [原著] A monoclonal antibody to the polymorphic determinant of feline leukocytes, *Jpn. J. Vet. Sci.*, 54, 181~184, 1992.

著書

- 1) 仲間一雅: [分担] スナネズミの糖尿病. 腎と透析. 第31巻, p. 91~95, 東京医学社 (東京), 1991.

学会発表

- 1) 太田亜紀¹⁾, 下島恭子¹⁾, 佐伯英治¹⁾, 石井俊雄¹⁾, 藤田博吉²⁾, 七戸和博, 清水眞澄 (1)日獣大・獣医寄生虫, 2)日獣大・寄衛研): [一般講演] *Strongyloides ratti* 感染に対するスナネズミ, SD ラットおよび C₅₇BL/6マウスの感受性と末梢血好酸球・好塩基球応答. 第111回日本獣医学会総会, 1991.
- 2) 秋元敏雄, 川角 浩¹⁾, 天尾弘実²⁾, 仲間一雄, 竹内良夫¹⁾(1)微生物免疫, 2)日獣畜大): [一般講演]ヘアレ斯拉ットの皮膚常在細菌叢について. 第38回日本実験動物学会総会, 1991.
- 3) 仲間一雄, 秋元敏雄, 佐藤 茂¹⁾, 相原 薫¹⁾(1)中央電顕研究施設): [一般講演] WBN/Kob ラットにおける構成組織細胞の病理形態学的特異性; 1) 膵病変発症前ならびに発症時の病変を中心に. 第38回日本実験動物学会総会, 1991.
- 4) 木内吉寛¹⁾, 仲間一雄, 佐藤 浩²⁾, 三枝順三³⁾, 大平美智男⁴⁾, 前島一淑⁵⁾(1)横浜市大(医), 2)長崎大(医), 3)産医研, 4)荏原実業, 5)慶大(医)): [一般講演] オゾンガスによる実験動物飼育室の殺菌・脱臭に関する検討. 第38回日本実験動物学会総会, 1991.
- 5) 清水眞澄, 七戸和博, 野呂瀬嘉彦¹⁾(1)微生物免疫): [一般講演] Mongolian gerbil のアレルギー学研究への応用について(1). 第38回日本実験動物学会総会, 1991.
- 6) 七戸和博, 清水眞澄, 野呂瀬嘉彦¹⁾(1)微生物免疫): [一般講演] Mongolian gerbil のアレルギー学研究への応用について(2). 第38回日本実験動物学会総会, 1991.
- 7) Win, T.¹⁾, Uchiyama, Y.¹⁾, Shimizu, Y.¹⁾, Nakama, K. and Akimoto, T. (1)Dept. of Ophthalmology): [一般講演] Therapeutic value of aldose reductase inhibitor on lenses of spontaneously diabetic WBN/Kob rat. 13th Congress of Asia-Pacific Academy of Ophthalmology (Kyoto), 1991.
- 8) Uchiyama, Y.¹⁾, Win, T.¹⁾, Shimizu, Y.¹⁾ and Nakama, K. (1)Dept of Ophthalmology): [一般講演] Effect of aldose reductase inhibitor on cataract of male WBN/Kob rat. 14th International Diabetes Federation Congress (Washington D.C.), 1991.
- 9) 大橋和史¹⁾, 高山英子¹⁾, 阿曾亮子¹⁾, 高橋文恵¹⁾, 仲間一雅, 秋元敏雄(1)臨床薬理センター): [一般講演] WBN/Kob ラットを用いた慢性膵炎治療薬の薬効評価; FUT 187の抗慢性膵炎効果. 第12回日本臨床薬理学会総会, 1991.
- 10) 杉崎祐一¹⁾, 益田幸成¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 仲間一雅(1)病理学第1): [一般講演]糖尿病自然発症ラット(WBN/Kob)の腎変化について; I) 病変初期を中心に. 第34回日本腎臓病学会総会, 1991.
- 11) 清水眞澄, 七戸和博, 月館説子¹⁾, 藤田紘一郎¹⁾(1)東医歯大・医・医動物): [一般講演] *Brugia pahangi* 感染被毛色変異ジャードのミクロフィラリアの出現と好酸球応答について. 第51回日本寄生虫学会東日本大会, 1991.
- 12) 清水眞澄, 七戸和博, 野呂瀬嘉彦¹⁾(1)微生物免疫): [一般講演] 好塩基球研究における Mongolian gerbil の有用性について. 第9回日本比較臨床血液研究会, 1991.
- 13) 清水眞澄, 七戸和博, 月館説子¹⁾, 藤田紘一郎¹⁾(1)東医歯大・医・医動物): [一般講演] フィラリア感染好適宿主としての Mongolian gerbil の基礎的検討; (8) 好塩基球について. 第33回日本熱帯医学会総会, 1991.
- 14) 七戸和博, 清水眞澄, 月館説子¹⁾, 藤田紘一郎¹⁾(1)東医歯大・医・医動物): [一般講演] フィラリア感染好適宿主としての Mongolian gerbil の基礎的検討; (9) Chemical mediator の感受性について. 第33回日本熱帯医学会総会, 1991.

- 15) 佐伯英治¹⁾, 田村直彦¹⁾, 太田亜紀¹⁾, 下島恭子¹⁾, 沼田由夏¹⁾, 石井俊雄¹⁾, 藤田清吉²⁾, 清水眞澄, 七戸和博, 藤田紘一郎³⁾ (¹⁾日獣大・獣医寄生虫, ²⁾日獣大・寄衛研, ³⁾東医歯大・医・医動物): [一般講演] *Strongyloides ratti* 感染に対するスナネズミ, SD ラットおよび C₅₇BL/6マウスの感受性と末梢血好酸球・好塩基球応用の差異. 第33回日本熱帯医学会総会, 1991.
- 16) 清水眞澄, 七戸和博: [一般講演] 各種化学伝達物質に対する小型齧歯類の皮膚感受性の比較について. 第65回日本薬理学会総会, 1992.

[中央電子顕微鏡研究施設]

研究概要

1990年4月独立してより学の内外の御指導と御支援のもとで順調な発展をとげてきた。機構は大別して中央研究施設としてのものと WHO 研究研修協力センターとしてのものがある。

I) 中央研究施設機能: 1) 電顕診断学学内500例全国規模500例合計年間約1,000例の診断業務を行っており本邦屈指の reference laboratory となりつつある。

ii) 学内, 外との協同研究: WBN/KOB ラットの糖尿病 (中央実験動物管理室, Glial tumor の微細構造 (脳神経外科), 大田母斑 (東京女子医大形成外科), Smoking による気管支粘膜の変化 (同大, 耳鼻科), 骨軟化研究 (環境庁), 胎児発生の微細鑄型モデルによる SEM 観察 (三菱化成, 生命科学研)。

iii) 教育, 研修面: a) 医学部学生の orientation, 院生, 研究生の指導, 医学部自主学習の実施, b) 学校法人日本医科大学日本医学技術専門学校の先端医学特論 (20単位担当), c) 社団法人日本電顕学会, 1990年, 1991年サマースクール運営 (学報掲載), d) 社団法人日本電顕学会, Library の創設 (予定), e) 本学附属病院研究棟, 電顕研修希望者の認定, f) 生涯教育としての電顕基礎コースの設営, g) 社団法人日本電顕学会関東支部主催, 生物試料作成コースの運営。

iv) 編集協力: J. Submicroscopic Cytology & Pathology (Univ. of Bologna, Italy), Diagnostic Cytopathology (Univ. of Wisconsin, U.S.A) の編集協力。

v) 日本医学教育学会: 医学生への外国語教育のあり方についての試案を作成中である。

II) WHO 研究研修協力センター機能: 現在医学, 医療の重要部分野で約50カ所の WHO 指定研究研修センターが本邦にあり global health science collaboration の中核となりつつあるが本施設は過去8年の実績から単に本邦のみならず電顕およびその関連技法を中心とする医学研究・診断の guideline 作成について先導的役割をはたしつつあり, a) 第2回日中病理シンポジウム (病理学教室に協力), b) WHO 西太平洋地域委員会開催協力 (大宮, 1991, 9), c) Bi-Regional Training Course in use of E/M in Health science をタイ国 Chulalongkorn 大学において開催した (1991, 10. 学報に掲載). 現在更に本分野での技術, 診断基準作成のための国際会議の開催を予定し準備中である。

研究業績

論文

- 1) 松山郁生¹⁾, 土屋眞一¹⁾, 丸山雄造¹⁾, 小黒辰夫 (¹⁾長野県がん検診センター病理): [原著] アルカリフォスファターゼ標識抗体法におけるクエン酸鉛発色の検討—光顕および免疫電顕への応用—. 病理と臨床, 9, 1498~1502, 1991.
- 2) Bo Li.¹⁾, Chung-Cheng Wang.¹⁾, Zi-zong Zhao.¹⁾, Hu Yu.¹⁾, Aihara, K., Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Shao-yi Yang.¹⁾ and Jie Pan (¹⁾Beijing Neurosurgical Institute, Beijing, China): [原著] A histological, ultrastructural and immunohistochemical study of superficial temporal arteries and middle meningeal arteries in Moyamoya Disease. Acta Pathologica Japonica, 41, 522~530, 1991.
- 3) Suzuki K., Aihara, K., Hanaichi, T.¹⁾, Takagi, I.²⁾ and Sato, T.³⁾ (¹⁾Central Lab. of E/M, Nagoya Univ.,

- School of Medicine. ²⁾Dept. of Anatomy, School of Hygiene. ³⁾Central Lab. of E/M, Fujita-Gakuen Health University) : [原著] Application of cryo-sapphire knife in rapid frozen ultrathin sectioning for electron microscopy. *J. Submicrosc. Cytol. Pathol.*, 23, 629~634, 1991.
- 4) Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Oguro, T. and Aihara, K. : [原著] Silver staining of nucleolar organizer regions in prostatic lesions. *Histopathology*, 19, 369~372, 1991.
- 5) Suzuki, T.¹⁾, Hirayama, T.¹⁾, Aihara, K. and Hirohata, Y. (¹⁾Dept. of Plastic and Reconstructive Surgery, Tokyo Women's Medical College) : [原著] Experimental studies of moderate temperature burns. *Burns*, 17, 443~451, 1991.
- 6) 潘 杰, 潘 萃¹⁾, 野村 実, 相原 薫 (¹⁾内科学第1) : [原著] 慢性 paraquat 障害における肺線維症に関する超微形態学的研究 ; とくに弾性線維との関連を中心に. *日本臨床電顕学会誌*, 24, 197~203, 1991.
- 7) Haseba, T.¹⁾, Sato, S., Ishizaki, M.²⁾, Yamamoto, I.¹⁾, Kurosu, M.¹⁾ and Watanabe, T.¹⁾ (¹⁾Dept. of Legal Medicine, ²⁾Dept. of Pathology) : [原著] Intralobular and intracellular localization of alcohol dehydrogenase (ADH) isozymes in mouse liver ; Basic ADH (Class I) and acidic ADH (Class III). *Biomedical Research*, 12, 199~209, 1991.
- 8) 浦田伸一¹⁾, 間 武雄¹⁾, 小黒辰夫, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2) : [原著] ヒト骨膜由来細胞の増殖分化過程における細胞骨格と細胞外基質の形態的变化. *結合組織*, 23, 29~38, 1992.

著 書

- 1) Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Oguro, T., Aihara, K. Pawankar Rubi.¹⁾ and Okuda, M.¹⁾ (¹⁾Dept. of Otorhinolaryngology) : [分担] Lectins as Markers for Eosinophils and Mast Cells “好酸球1990年”. p. 50~51, 国際医学出版, 1991.

学会発表

- 1) 佐藤 茂 : [招待講演] 1. Comparative morphology of the vertebrate lungs ; 2. Experimental pig ischemic hearts. Conference of Clinico Pathology-Oncology in Taipei (Taipei), 1991.
- 2) Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Oguro, T., Kishikawa, T. and Aihara, K. : [展示] Expression of C-NEU oncoprotein in prostatic tumors. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 3) Ghazizadeh, M., Sasaki Y., Oguro, T., Liu A.M. and Aihara, K. : [展示] Evaluation of AgNOR counts in hydatidiform moles. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 4) Kishikawa, T., Suzuki, T.¹⁾, Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Aihara, K. and Hirayama, T.¹⁾ (Dept. of Plastic and Reconstructive Surgery, Tokyo Women's College) : [展示] Factors involved in pigmentation in ota's nevas cells cultured in vitro. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 5) Oguro, T., Ashraf, M.¹⁾, Ghazizadeh, M., Sasaki, Y. and Aihara, K. (¹⁾Dept. of Pathology, University of Cincinnati, Ohio, U.S.A.) : [展示] Effects of hydrogen peroxide on the sarcolemma of rat heart. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 6) Liu, A.M., Watanabe, H.¹⁾, Ghazizadeh, M., Aihara, K. and Asona, G.¹⁾ (¹⁾Dept. of Pathology) : [展示] An immunohistochemical and ultrastructural study of synovial sarcoma ; A case report. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 7) Aihara, K. : [シンポジウム] Advances in studying lung surfactant materials. Scanning Microscopy and Food Structure 1991 (Symposium in the memory of late Prof. Laschi) (Bethesda), 1991.
- 8) Sato, S., Aihara, K. and Kondoh, S.¹⁾ (¹⁾Mitsubishikasei Institute of Life Science) : [一般講演] Lymph space beneath epicardium in post-fetal hearts. 第23回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1991.

- 9) Igarashi, T., Sato, S., Aihara, K. and Araki, T.¹⁾ (¹Dept. of Obstetrics and Gynecology) : [一般講演] Ultrastructure of rat endometrium during sexual cycle. 第23回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1991.
- 10) Sato, T.¹⁾, Takagi, I.²⁾, Sakai, K.³⁾, Hanaichi, T.⁴⁾, Aihara, K. and Suzuki, K. (¹E/M Lab., School of Health Science, Fujita Health University. ²School of Medicine, Dept. of Anatomy, Fujita Health University. ³Dept. of Human Anatomy, Fujita Health University. ⁴E/M Center, School of Medicine, Nagoya University) : [一般講演] Effects of dehydrating agents on the preservation of adipose tissue and sectioning. 第23回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1991.
- 11) 岸川テル子, モハマッドガジザデ, 佐々木喜広, 相原 薫 : [一般講演] A possible role of N-acetylglucosaminidase in the morphological change of lamellar body to lattice tubular myelin. 第27回日本界面医学会学術研究会, 1991.
- 12) Ghazizadeh, M., Sasaki, Y., Oguro, T. and Aihara, K. : [一般講演] Prognostic value of nucleolar organiser regions in prostatic cancer. 第38回日本臨床病理学会総会, 1991.

[基礎医学情報処理室]

研究概要

開発を続けてきたフラクタル次元解析法とそのプログラムが実用化の段階に入り、臨床各教室で利用していただいている。平成4年度には次々と成果が発表されてゆくと思われる。

1. フラクタル次元マップは吾々が新たに開発した方法であるが世界的な注目を集め、内外のシンポジウム・学会に招かれて報告した。詳しい方法は国際誌に印刷中である。
2. フラクタル次元解析一般については *Forma* 誌に計算方法を含めて詳しく述べた。別刷を利用して下さい。
3. フラクタル次元マップのパターンは、精神作業などで変化し、大脳皮質機能局在との関係が研究されている。
4. 1本の脳波曲線が2種類のフラクタル次元を持つ例が小児科を中心とするグループにより発見された。これは、てんかん児にのみ見られるので診断的意義が追求されている。
5. フラクタル次元解析の心電図への応用は第1内科を中心に行われ、既に幾つかの学会発表がなされ評価が得られている。

この外にも各教室で応用が始まっている。フラクタル次元解析はアナログデータに応用でき、従来の解析法がすべて線型近似によるものであったのに対して、非線型理論に基くもので、生体の非線型性を反映した解析法である。最新の数字を応用して新しい視点を提共する方法である。

解析法やその意味については何時でも基礎医学情報処理室にお尋ね下さい。プログラムも提共していますので御利用下さい。

研究業績

論文

- 1) Shinagawa, Y., Kawano, K., Matsuda, H.¹⁾, Seno, H. and Koito, H. (¹National Research Institute of Fisheries Science, Marine Bioecology Division) : [原著] Fractal dimensionality of brain wave. *Forma*, 6, 205~214, 1991.
- 2) Seno, H. : [原著] Some mathematical considerations on two-mode searching I. *Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics*, 8, 325~344, 1991.
- 3) 品川嘉也, 河野貴美子, 段 立葉 : [原著] 気功養生学と脳波学; 陰陽論と大脳生理学の結合. 気功養生学論文選, 27~38, 1991.
- 4) Seno, H. : [原著] Predator's invasion into an isolated patch with spatially heterogeneous prey distribution.

Bulletin of Mathematical Biology, 53, 557~577, 1991.

- 5) 河野貴美子：〔原著〕気功と脳波. Japanese Journal of Sports Sciences, 10, 571~576, 1991.
- 6) 品川嘉也：〔解説〕ストレス社会の音楽療法；心豊かな生活を演出する音楽活用法. 看, 10, 34~37, 1991.
- 7) 品川嘉也：〔総説〕医療用インテリジェント材料. 金属, 61, 78~82, 1991.
- 8) 品川嘉也, 瀬野裕美：〔解説〕脳波とフラクタル. 生物物理, 31, 324~328, 1991.
- 9) Seno, H. and Buonocore, A.¹⁾ (¹⁾The University of Naples)：〔原著〕Some mathematical considerations on two-mode searching II. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics, 8, 505~523, 1991.
- 10) 品川嘉也：〔総説〕分子素子と神経細胞. 数理科学, 34, 40~45, 1992.
- 11) 品川嘉也, 河野貴美子：〔原著〕集中力と脳波. 臨床脳波, 34, 168~173, 1992.
- 12) Osaka, M.¹⁾, Saitoh, H.²⁾, Sasabe, N.²⁾, Miyauchi, Y.²⁾, Atarashi, H.²⁾, Katoh, T.²⁾, Hayakawa, H. and Shinagawa, Y. (¹⁾First Dept. of Physiology, ²⁾First Dept. of Internal Medicine)：〔原著〕Personal adjustment of low and high frequency bands in heart rate variability spectral analysis. Therapeutic Research, 13, 719~727, 1992.
- 13) 品川嘉也, 五島雄一郎¹⁾ (¹⁾東海大, 内科学第1)：〔解説〕クラシック音楽の効用. 日医師会誌, 107, 164~169, 1992.

著 書

- 1) 品川嘉也, 池田和子：〔共著〕英語は右脳ですぐ話せる. 青春出版社, 1991.
- 2) 品川嘉也：「奥の細道」の知恵. 講談社, 1991.
- 3) 品川嘉也：右脳俳句入門；楽しく遊んで脳を活性化. 史輝出版, 1991.
- 4) 品川嘉也：右脳教授のおもしろ読本. 同文書院, 1991.
- 5) 品川嘉也, 松田裕之¹⁾ (¹⁾農林水産省中央水産研究所)：〔共著〕死の科学. 光文社, 1991.
- 6) 品川嘉也, 松田裕之¹⁾, 瀬野裕美 (¹⁾農林水産省中央水産研究所)：〔監訳〕B.O. キュッパーズ著, 遺伝子は遊戯する；生命の起源と情報科学. マグロウヒル出版, 1991.
- 7) 品川嘉也：右脳を生かす技術. ごま書房, 1991.

学会発表

- 1) 品川嘉也：〔シンポジウム〕匂いと脳波—テーマ：においの人間に対する影響. 第9回高砂香料シンポジウム, 1991.
- 2) 大坂元久¹⁾, 早川弘一²⁾, 奥村英正²⁾, 品川嘉也 (¹⁾生理学第1, ²⁾内科学第1)：〔一般講演〕心房粗動(AF)において奇数の伝導化が稀なのは何故か；確率論的モデルによる検討. 第6回日本心臓ペースング学会学術大会, 1991.
- 3) 河野貴美子, 遠藤幸彦¹⁾, 小糸秀美, 加藤隆吉²⁾, 品川嘉也 (¹⁾精神医学, ²⁾東京催眠心理研究所)：〔シンポジウム〕催眠における術者と被催眠者の脳波学的関連性；脳波からみた催眠と気功の差異. 第7回日本催眠学会総会, 1991.
- 4) 品川嘉也：〔シンポジウム〕変性意識と極値意識の脳半球モデル. 第7回日本催眠学会総会, 1991.
- 5) 品川嘉也：〔シンポジウム〕気功養生学と脳波学. 国際気功養生学シンポジウム, 1991.
- 6) Kawano, K., Seno, H., Koito, H. and Shinagawa, Y.：〔展示〕Topographical mapping EEG fractal dimensions during olfactory stimulation. The Second International Congress on Brain Electromagnetic Topography (Tronto, Canada), 1991.
- 7) Kawano, K., Seno, H., Koito, H. and Shinagawa, Y.：〔展示〕EEG fractal dimensional maps during thinking. Third IBRO World Congress of Neuroscience (Montréal, Canada), 1991.

- 8) 瀬野裕美：〔シンポジウム〕生物集合に関する密度依存型拡散方程式モデル。(株)富士通研究所第8回国際研
シンポジウム, 1991.
- 9) Seno, H.: 〔展示〕A density-dependent diffusion model of shoaling of nesting fish. 22nd International
Ethological Conference (Kyoto), 1991.
- 10) 品川嘉也, 瀬野裕美：〔シンポジウム〕脳波のフラクタル次元解析. 第29回日本生物物理学会年会, 1991.
- 11) 瀬野裕美：〔一般講演〕排他的干渉関係を持つ複数種系におけるランク・サイズ関係. 第29回日本生物物理学会
年会, 1991.
- 12) 瀬野裕美：〔一般講演〕生物集合に関する密度依存型拡散方程式モデル. Mathematical Topics in Biology 研
究集会, 1991.
- 13) 河野貴美子：〔一般講演〕気功師の人体計測：脳波解析. 人体科学会年次大会, 1991.
- 14) 大坂元久¹⁾, 斉藤寛和²⁾, 佐々部典子²⁾, 宮内靖史²⁾, 新 博次²⁾, 加藤貴雄²⁾, 早川弘一²⁾, 品川嘉也 (¹⁾生理学第
1, ²⁾内科学第1): 〔一般講演〕心拍変動の周波数解析における低周波・高周波帯域を個人において決定する
方法. 第2回時間循環器研究会, 1991.
- 15) 河野貴美子, 瀬野裕美, 小糸秀美, 品川嘉也：〔一般講演〕脳波フラクタル次元マップの試み. 第9回二次元脳
電図研究会, 1991.
- 16) 品川嘉也, 河野貴美子, 瀬野裕美, 小糸秀美：〔一般講演〕脳波のフラクタル次元マップと嗅覚への応用. 第21
回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1991.
- 17) 河野貴美子, 小糸秀美, 品川嘉也：〔一般講演〕珠算有段者およびプロ棋士の思考過程における脳波的考察. 第
21回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1991.
- 18) 品川嘉也：〔シンポジウム〕脳波からみた言語と脳 (テーマ：言葉と脳のイメージ). 現代語・現代文化学系第
3回筑波大学公開シンポジウム, 1991.
- 19) Shinagawa, Y.: 〔シンポジウム〕Fractal dimension map of brain wave. The 18th USSR-JAPAN Electronics
Symposium, 1991.
- 20) 品川嘉也：〔特別講演〕右脳教育のすすめ. 愛媛県高等学校教育研究会, 1991.
- 21) 大坂元久¹⁾, 斉藤寛和²⁾, 佐々部典子²⁾, 宮内靖史²⁾, 新 博次²⁾, 加藤貴雄²⁾, 早川弘一²⁾, 品川嘉也 (¹⁾生理学第
1, ²⁾内科学第1): 〔一般講演〕心拍変動のフラクタル次元. 第3回時間循環器研究会, 1992.
- 22) 大坂元久¹⁾, 斉藤寛和²⁾, 佐々部典子²⁾, 宮内靖史²⁾, 新 博次²⁾, 加藤貴雄²⁾, 早川弘一²⁾, 品川嘉也 (¹⁾生理学第
1, ²⁾内科学第1): 〔一般講演〕体位変換による心拍変動スペクトル分析 (HRVS) 上の低周波帯 (LF-6) と高
周波帯 (HF-6) 決定の試み. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.

〔3〕臨 床 医 学

1. 内科学第一講座

[付属病院第1内科]

研究概要

内科学第一教室では循環器学、肝臓病学ならびに代謝、糖尿病を中心に以下に示すような臨床的、基礎的研究を行った。

循環器病学では不整脈に関する研究として、1) 電気生理学的アプローチによる各種不整脈発生機序の検討、2) 各種抗不整脈薬の電気薬理学的検討、3) 加算平均心電図法による各種不整脈の無侵襲的検討、4) Holter 心電図法の新しい臨床応用、5) 単相性活動電位記録による不整脈発生機序の実験的検討。虚血性心疾患として、1) 虚血性心疾患の病態、重症度および予後におよぼす自律神経機能の影響、2) 時間的、環境的因子による虚血性心疾患の発生機序および病態への影響、3) 薬剤負荷試験による心筋虚血および心筋 viability の評価、4) 無症候性心筋虚血の発生機序に関する検討、5) 各種血管作動薬の微小循環に及ぼす影響、6) 心不全の病態生理と治療、7) 再灌流障害の機序およびその防止に関する実験的研究。

肝臓病学では、1) 門脈圧亢進症におけるニトログリセリンの門脈圧下降機序に関する検討、2) 門脈圧亢進症における血管拡張性 β 遮断薬ニブラジロールの肝循環および全身血行動態に対する作用(実験的、基礎的研究)、3) 肝硬変における食道静脈瘤進展に対する血管拡張性 β 遮断薬ニブラジロールの予防効果、4) C型慢性肝炎に対するインターフェロン療法(投与法の検討)、5) モルモット肝細胞膜イオンチャンネルに関する電気生理学的研究。

代謝、糖尿病学では、1) 糖尿病を有する急性心筋梗塞症におけるLp(a)の検出状況およびその危険因子としての役割、2) 糖尿病を有する心筋梗塞例における心室頻拍の発生状況、3) 糖尿病のコントロール評価のための新しい指標である1-5AGの臨床的有用性と他の指標との比較について、4) 無痛性あるいは無症候性心筋虚血の病態における糖尿病の役割(特に疼痛閾値との関連)、5) 高血糖が心室細動の発生と病態に及ぼす影響についての実験的検討。

研究業績

論文

- 1) 中村辰男, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 大竹 稔^(¹⁾集中治療室): [原著] 糖尿病性血管障害に関する臨床的検討; 末梢動脈硬化進展の特徴および皮膚微小循環の異常について. 糖尿病, 34, 301~309, 1991.
- 2) 加藤貴雄, 田寺 長: [総説] 臨床心臓電気生理学的検査(EPS)の進歩とその応用. 集中治療, 3, 421~426, 1991.
- 3) 斉藤寛和, 早川弘一: [総説] 心電図の読み方(XI). 総合臨床, 40, 712~718, 1991.
- 4) 荒牧琢己, 関山達也, 勝田梯実: [総説] 門脈圧亢進症; 肝疾患の最新の薬物療法. Modern Physician, 11, 475~477, 1991.
- 5) 加藤和三¹⁾, 大津文雄²⁾, 杉本恒明³⁾, 岸田 浩, 斉藤 勉, 川久保清⁴⁾, 石岡忠夫⁵⁾ (¹⁾心臓血管研究所付属病院内科, ²⁾多摩永山病院内科, ³⁾東京大学医学部第2内科, ⁴⁾東京大学医学部保健学科, ⁵⁾江戸川病院高砂分院循環器科): [原著] 労作狭心症における無症候性および有症候性心筋虚血発作に対するAtenololとDiltiazemの効果; 多施設二重盲検交叉比較法による検討. 臨床医薬, 7, 891~916, 1991.
- 6) 富士崎成子, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [原著] HBe抗原陽性B型慢性肝炎に対する人型結核菌体抽出物質(SSM)の効果. 日医大誌, 58, 165~172, 1991.
- 7) 岸田 浩: [総説] 抗狭心症薬の運動負荷試験による評価と通常法との評価比較試験について. Ther. Res., 12, 1099~1101, 1991.
- 8) 富田喜文, 大竹 稔, 真鍋辰哉, 清野精彦¹⁾, 太田真夫, 高野照夫¹⁾, 早川弘一^(¹⁾集中治療室): [原著] 急性心

- 筋梗塞における Lp(a)測定の意義. 日本臨床代謝学会記録, **XXVIII**, 210~211, 1991.
- 9) 畑 典武, 岸田 浩, 安武正弘, 今泉孝敬, 森 規勝, 小海信一, 早川弘一, 奥村英正:〔原著〕冠動脈疾患におけるニコランジル静注の冠動脈拡張作用と血行動態に及ぼす影響. 脈管学, 31, 333~337, 1991.
 - 10) Koumi, S., Sato, R.¹⁾, Hayakawa, H. and Okumura, H. (¹⁾First Department of Internal Medicine Kinki University School of Medicine):〔原著〕Quinidine blocks cardiac sodium current after removal of the fast inactivation process with chloramine-T. J. Mol. Cell Cardiol., 23, 427~438, 1991.
 - 11) Fukuma, N., Kishida, H. and Okumura, H.:〔原著〕Role of perceptive threshold in myocardial infarction patients without previous angina. Jpn. Circ. J., 55, 316~323, 1991.
 - 12) 洪 基哲, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室):〔総説〕塩酸リドカイン, 塩酸メキシレチン, 硫酸アトロピン(特集:救急薬品の使い方最重要薬品32). 救急医学, 15, 402~407, 1991.
 - 13) 村山正博¹⁾, 外畑 巖²⁾, 紅露恒男³⁾, 谷口興一⁴⁾, 斉藤守靖⁵⁾, 藤田良範⁶⁾, 岸田 浩, 太田寿城⁷⁾, 川久保清⁸⁾, 橋本 通⁹⁾, 豊増功次¹⁰⁾ (¹⁾聖マリアンナ医科大学第2内科, ²⁾藤田学園保健衛生大学七栗サナトリウム内科, ³⁾筑波大学臨床医学系内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第2内科, ⁵⁾自治医科大学大宮医療センター, ⁶⁾昭和大学第3内科, ⁷⁾東京大学医学部保健学科, ⁸⁾昭和大学藤が丘病院循環器内科, ⁹⁾久留米大学第3内科):〔総説〕1988年度報告:運動負荷試験に関する診療基準. Jpn. Circ. J., 55, 379~385, 1991.
 - 14) 村山正博¹⁾, 外畑 巖²⁾, 紅露恒男³⁾, 谷口興一⁴⁾, 斉藤宗靖⁵⁾, 藤田良範⁶⁾, 岸田 浩, 太田寿土成⁷⁾, 川久保清⁸⁾, 橋本 通⁹⁾, 豊増功次¹⁰⁾ (¹⁾聖マリアンナ医科大学第2内科, ²⁾藤田学園保健衛生大学七栗サナトリウム内科, ³⁾筑波大学臨床医学系内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第2内科, ⁵⁾自治医科大学大宮医療センター, ⁶⁾昭和大学第3内科, ⁷⁾東京大学医学部保健学科, ⁸⁾昭和大学藤が丘病院循環器内科, ⁹⁾久留米大学第3内科):〔総説〕1989年度報告 運動負荷試験に関する診療基準. Jpn. Circ. J., 55, 386~397, 1991.
 - 15) 岸田 浩:〔総説〕機器と検査室の標準化. Jpn. Circ. J., 55, 355~357, 1991.
 - 16) 折茂 肇¹⁾, 大内尉義¹⁾, 矢崎義雄²⁾, 沼野藤雄³⁾, 松下 哲⁴⁾, 大竹 稔, 石岡忠夫⁵⁾, 秦 葭哉⁶⁾ (¹⁾東京大学医学部老年病学教室, ²⁾同第3内科, ³⁾東京医科歯科大学第3内科, ⁴⁾東京都老人医療センター検査部, ⁵⁾江戸川病院高砂分院, ⁶⁾慶應義塾大学医学部内科):〔原著〕セバミット®-Rの老年者高血圧症に対する長期投与時の臨床的有用性に関する検討. Geriat Med., 29, 737~750, 1991.
 - 17) 横山広行, 安武正弘, 福岡長知, 今泉孝敬, 斉藤 勉, 畑 典武, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一:〔原著〕急性心筋梗塞の5年心事故発症率とその予後規定因子;回復期運動負荷試験における心拍数反応より. Ther Res., 12, 1243~1247, 1991.
 - 18) 平山悦之, 藤岡幹雄, 斉藤寛和, 井野 威, 小野寺威夫, 黒木伸一, 亀井真一郎, 八島正明, 来馬明規, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一:〔原著〕ヒス束内リエントリーと思われる頻拍を伴った潜在性WPW症候群の1例. 臨心臓電気生理, 14, 117~124, 1991.
 - 19) 岸田 浩:〔総説〕抗狭心症薬;Ca拮抗薬. 臨床医, 17, 811~818, 1991.
 - 20) 斉藤寛和, 田寺 長, 早川弘一:〔総説〕自律神経と突然死(特集:心臓突然死). 最新医, 46, 1148~1153, 1991.
 - 21) 加藤貴雄, 八島正明:〔総説〕不整脈診断の最近の進歩;その1 Holter心電図法. 集中治療, 3, 547~552, 1991.
 - 22) 勝田悌実, 黒川浩史:〔総説〕肝硬変性門脈圧亢進症の薬物療法. 日医新報, 3498, 10~15, 1991.
 - 23) Kishida, H., Kato, K.¹⁾, Toyama, S.²⁾, Ikeda, M.³⁾, Yanaga, T.⁴⁾ and Suzuki, K.⁵⁾ (¹⁾The Cardiovascular Institute, ²⁾The Kanebo Memorial Hospital, ³⁾The Omiya Medical Center, Jichi Medical School, ⁴⁾The Department of Biochemistry and Medicine, Medical Institute of Bioregulation, Kyushu University, ⁵⁾The Department of Internal Medicine, Center for Adult Diseases):〔原著〕Clinical Effects of Nitrendipine on Variant Angina Pectoris. Jpn. Heart J., 32, 297~305, 1991.

- 24) 加藤和三¹⁾, 岸田 浩, 細田磋一²⁾, 飯沼宏一¹⁾(¹⁾心臓血管研究所附属病院内科, ²⁾東京女子医科大学心臓血管研究所): [原著] 狭心症に対するニソルジピン (BAY k5552) 10mg 錠の臨床効果の検討. 新薬と臨床, 40, 1222~1233, 1991.
- 25) 小宮山徹三, 赤池正博, 里村克章, 奥村英正: [原著] 急性ウイルス肝炎と B 型慢性肝炎における 2'-5' oligoadenylate synthetase 活性とその臨床的意義. 日医大誌, 58, 262~272, 1991.
- 26) 滝口美由子, 田中啓治¹⁾(¹⁾集中治療室): [総説] 集中治療における心エコー法の実際; 第 2 部 その①コントラスト心エコー法. 集中治療, 3, 657~661, 1991.
- 27) 大村和子, 加藤貴雄, 早川弘一: [総説] 抗不整脈薬の血中濃度モニタリング; 循環器薬モニタリングの臨床. 循環科学, 11, 560~564, 1991.
- 28) 早川弘一: [総説] 第10回抗不整脈薬併用療法研究会まとめ. Prog. Med., 11, 1729~1731, 1991.
- 29) 加藤貴雄, 黒木伸一: [総説] 不整脈診断の最近の進歩; その 2 加算平均心電図法. 集中治療, 3, 669~674, 1991.
- 30) 内田拓実, 早川弘一: [総説] 頻拍性不整脈のペースング. 循環器科, 29, 585~591, 1991.
- 31) 高野照夫¹⁾, 富田喜文(¹⁾集中治療室): [総説] 不安定狭心症 (特集: 最新薬物療法一処方を中心として). 内科, 67, 1071~1075, 1991.
- 32) Komeichi, H., Katsuta, Y., Aramaki, T. and Okumura, H.: [原著] A new experimental animal model of Portal hypertension; Intrahepatic Portal obstruction by injecting DEAE-cross-linked dextran microspheres into the Portal vein in the rabbit. 日医大誌, 58, 273~284, 1991.
- 33) 宗像一雄, 安武正弘, 大村和子, 今泉孝敬, 中込明裕, 富田喜文, 斉藤寛和, 高山守正, 杉木雄治, 高野照夫¹⁾, 早川弘一(¹⁾集中治療室): [報告] アセチルコリンにより梗塞責任冠動脈が顕性化した正常冠動脈を有する急性心筋梗塞の 1 例. 心臓, 23, 763~767, 1991.
- 34) 滝口美由子, 田中啓治¹⁾(¹⁾集中治療室): [総説] 集中治療における心エコー法の実際; 第 2 部 その②軽食道心エコードプラー法. 集中治療, 3, 761~765, 1991.
- 35) 岸田 浩: [総説] 運動負荷試験; 心筋虚血, 心筋機能の評価法. 内科, 68, 171~173, 1991.
- 36) 新 博次, 早川弘一: [総説] 頻拍性不整脈の治療① 抗不整脈薬併用療法の利点とその効果 (特集: 頻拍性不整脈一病態の理解と治療への応用). Cardiac Practice, 2, 312~316, 1991.
- 37) 宗像一雄, 八島正明, 早川弘一: [総説] 心不全時の不整脈 (特集: 不整脈一診療のトピックス). 内科, 68, 40~44, 1991.
- 38) 加藤貴雄, 藤森ひろみ: [総説] 不整脈診断の最近の進歩; その 3 運動負荷試験. 集中治療, 3, 773~781, 1991.
- 39) 新 博次: [総説] 心房細動の電氣的・薬物的除細動. Ther. Res., 12, 2379~2380, 1991.
- 40) 多田祐美子, 佐藤直樹, 藤岡幹雄, 佐々木美典, 今泉孝敬, 中込明裕, 安武正弘, 富田喜文, 佐々木熙之, 高山守正, 宗像一雄, 早川弘一: [報告] PTMC 約 1 年半後に感染性心内膜炎に罹患した僧帽弁狭窄症の 1 例. 呼吸と循環, 39, 725~728, 1991.
- 41) 島井新一郎¹⁾, 哲翁弥生, 高野照夫²⁾(¹⁾福生病院内科, ²⁾集中治療室): [総説] 心・循環器系疾患における急性腎不全. 腎と透析, 31, 235~237, 1991.
- 42) Aramaki, T., Wakayama, Y.¹⁾, Akaike, M., Satomura, K., Katsuta, Y. and Okumura, H. (¹⁾Department of Hygiene and Public Health): [原著] Long-term status of antibody to hepatitis C virus and the relation to the out come of hepatitis; A retrospective study using stored sera from patients with Sashima epidemic hepatitis. Gastroenterol Jpn., 26, 209~211, 1991.
- 43) Kobayashi, A., Katsuta, Y., Aramaki, T. and Okumura, H.: [原著] Interrelation between esophageal varices, and systemic and hepatic hemodynamics in male patients with compensated cirrhosis. Jpn. J. Med.,

- 30, 318~325, 1991.
- 44) 大津文雄¹⁾, 岸田 浩, 加藤和三²⁾ (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾心臓血管研究所内科): [原著] 安定型労作性狭心症における Treadmill 運動負荷試験の再現性. 心臓, 23, 110~112, 1991.
- 45) 斎藤 勉, 岸田 浩, 山崎佳子, 安武正弘, 福間長知, 畑 典武, 早川弘一: [原著] Silent myocardial ischemia の予後に対する Treadmill 運動負荷試験の有用性. 心臓, 23, 139~140, 1991.
- 46) 子島 潤: [原著] 急性心筋梗塞に伴う心室頻拍の臨床像と治療に関する研究. 日医大誌, 58, 410~419, 1991.
- 47) 滝口美由子, 田中啓治¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説] 集中治療における心エコー法の実際; 第2部 その③超音波による冠動脈血流測定法. 集中治療, 3, 903~907, 1991.
- 48) 岸田 浩: [総説] 抗狭心症薬—1—(特集:循環器薬の基本処方). 診断と治療, 79, 1799~1800, 1991.
- 49) 富田喜文, 高野照夫¹⁾, 中込明裕, 安武正弘, 今泉孝敬, 説田浩一, 高田加寿子¹⁾, 高山守正, 清野精彦, 宗像一雄 [原著] 急性心筋梗塞の血栓溶解療法における薬物補充療法の意義; 特に heparin 持続静注の効果について. Coronary, 8, 144~150, 1991.
- 50) Seino, Y.¹⁾, Shimai, S.¹⁾, Ibuki, C.¹⁾, Itoh, K., Takano, T.¹⁾ and Hayakawa, H. (¹⁾CCU): [原著] Disturbed secretion of atrial natriuretic peptide in patients with persistent atrial standstill; Endocrinologic silence. JACC, 18, 459~463, 1991.
- 51) Koumi, S., Sato, R.¹⁾, Hayakawa, H. and Okumura, H. (¹⁾First Department of Internal Medicine, Kinki University School of Medicine): [原著] Quinidine blocks cardiac sodium current after removal of the fast inactivation process with chloramine-T. J. Mol. Cell. Cardiol., 23, 427~438, 1991.
- 52) Endo, T., Sato, N., Hayakawa, H. and Maroko, P.R.¹⁾ (¹⁾Deborah Cardiovascular Research Institute): [原著] Reduction in myocardial hemorrhage and the extent of necrosis by gallopamil (D600) in dogs with coronary artery reperfusion. J. Cardiovasc. Pharmacol., 18, 739~745, 1991.
- 53) 高山守正: [原著] 急性心筋梗塞の全身線溶療法に関する研究; ウロキナーゼ中等量点滴静注法の効果の検討. 日医大誌, 58, 378~390, 1991.
- 54) Tanaka, K.¹⁾, Takano, T.¹⁾, Sasaki, K.²⁾, Utsunomiya, H.²⁾, Tanaka, S.²⁾, Shoji, T.²⁾, Hayakawa, H. (¹⁾CCU, ²⁾Department of Cardiovascular): [原著] Medical vs surgical treatment of acute aortic dissection in an intensive care unit. Jpn. Circ. J., 55, 815~820, 1991.
- 55) 大木清司, 清野精彦, 奥村英正: [原著] 慢性肝疾患における皮膚微小循環動態の病態生理学的研究. 脈管学, 31, 811~817, 1991.
- 56) 滝口美由子, 田中啓治¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説] 集中治療における心エコー法の実際; 第2部 その④心機能評価手段としての超音波ドプラー法. 集中治療, 3, 1001~1005, 1991.
- 57) 荒牧琢己, 勝田悌実, 長野具雄, 黒川浩史: [総説] 術後および麻酔後肝障害 (特集:集中治療と肝障害). 集中治療, 3, 947~955, 1991.
- 58) 藤森ひろみ, 加藤貴雄, 早川弘一: [総説] 不整脈診療における運動負荷試験の意義. 臨床と研究, 68, 2569~2576, 1991.
- 59) 来馬明規, 早川弘一: [総説] 心電図からみた予後. 総合臨床, 40, 2131~2135, 1991.
- 60) 加藤和三¹⁾, 尾山洋太郎²⁾, 安井昭二³⁾, 細田達一⁴⁾, 岸田 浩, 山崎 昇⁵⁾, 戸山靖一⁶⁾, 鈴木恵子⁷⁾, 河合忠一⁸⁾, 神原啓文⁹⁾, 戸嶋裕徳¹⁰⁾ (¹⁾心臓血管研究所, ²⁾斗南病院循環器内科, ³⁾山形大学医学部第1内科(現:国立名古屋病院), ⁴⁾自治医科大学循環器内科(現:東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所), ⁵⁾浜松医科大学第3内科, ⁶⁾大阪府立成人病センター(現:鐘紡記念病院), ⁷⁾大阪府立成人病センター, ⁸⁾京都大学医学部第3内科, ⁹⁾同第3内科(現:医療技術短期大学部), ¹⁰⁾久留米大学医学部第3内科): [原著] ベシル酸アムロジビンの狭心症に対する臨床効果の検討; 単独投与による多施設前期第II相臨床試験. 基礎と臨床, 25, 3441~3455, 1991.
- 61) 奥村英正: [総説] 肝硬変の治療; 患者管理と薬物療法. 日内会誌, 80, 1611~1616, 1991.

- 62) 筒井 仁, 荒牧琢己, 奥村英正:〔原著〕老年者肝硬変の成因と病態の特異性. 日医大誌, 58, 507~517, 1991.
- 63) 説田浩一:〔原著〕SPECT (²⁰¹Tl single-photon emission computed tomography) による急性心筋梗塞の評価; 評点法による検討. 日医大誌, 58, 561~568, 1991.
- 64) 早川弘一〔総説〕抗不整脈薬の分類と特徴. 日内会誌, 80, 16~19, 1991.
- 65) 荒牧琢己:〔総説〕解明すすむ肝炎ウイルス C型肝炎の臨床的諸問題. 日医大誌, 58, 493~500, 1991.
- 66) 浅井邦也, 宗像一雄, 早川弘一:〔総説〕若年者心筋梗塞の冠動脈・左室造影所見および冠危険因子の特徴. 循環科学, 11, 1032~1036, 1991.
- 67) 新谷博一¹⁾, 河合忠一²⁾, 片桐 敬³⁾, 加藤和三⁴⁾, 飯沼宏之⁴⁾, 細田磋一⁵⁾, 木之下正彦⁶⁾, 神原啓文⁷⁾, 岸田 浩, 児玉和久⁸⁾, 弘田雄三⁷⁾, 中島光好¹⁰⁾(¹⁾昭和大学第3内科(現:昭和大学), ²⁾京都大学第3内科(現:京都大学), ³⁾昭和大学第3内科, ⁴⁾心臓血管研究所附属病院内科, ⁵⁾自治医科大学循環器内科(現:東京女子医科大学日本心臓血圧研究所), ⁶⁾滋賀医科大学第1内科, ⁷⁾京都大学第3内科, ⁸⁾大阪警察病院心臓センター, ⁹⁾大阪医科大学第3内科, ¹⁰⁾浜松医科大学薬理学):〔原著〕新しい口腔粘膜貼付型硝酸イソソルビド製剤 TYB-3215錠の狭心症に対する臨床評価・後期第II相試験. 臨床医薬, 7, 2283~2302, 1991.
- 68) 新 博次, 早川弘一:〔総説〕抗不整脈薬と突然死(CASTをめぐる)(特集:突然死—その原因・予測と予防). 循環器科, 30, 358~364, 1991.
- 69) 鄭 廣模:〔原著〕糖尿病における左心機能障害, 特に拡張能障害; 糖尿病性心筋症の前臨床所見(Radionuclide left ventriculography による評価). 日医大誌, 58, 518~527, 1991.
- 70) 宗像一雄, 藤岡幹雄, 佐藤直樹, 安武正弘, 今泉孝敬, 中込明裕, 木内 要, 富田喜文, 草間芳樹, 畑 典武, 高山守正, 早川弘一:〔原著〕虚血性心疾患の発生にPTCA 後顕性化したmyocardial bridge が関与したと思われる2症例; myocardial bridge と冠動脈硬化症との因果関係. 脈管学, 31, 1279~1285, 1991.
- 71) 宗像一雄, 佐藤直樹, 鈴木郁代, 酒井俊太, 大国真一, 藤岡幹雄, 星野公彦, 横山広行, 国見聡宏, 浅井邦也, 佐々木美典, 小海信一, 中込明裕, 安武正弘, 説田浩一, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間芳樹, 畑 典武, 高山守正, 早川弘一:〔臨床・実験報告〕日本医科大学第1内科における経皮経管冠動脈形成術(PTCA)の初期成績. 日医大誌, 58, 597~600, 1991.
- 72) 宗像一雄:〔総説〕急性冠閉塞に対する再灌流療法. 日医大誌, 58, 601~603, 1991.
- 73) Saitoh, H., Koh, M., Tadera, T., Ohmura, K., Nomura, A., Ino, T., Atarashi, H., Katoh, T., Hayakawa, H.:〔原著〕Diurnal change of sinus node recovery time; Influence of autonomic nervous activity. Ther Res., 12, 3137~3144, 1991.
- 74) 滝口美由子, 田中啓治¹⁾(¹⁾集中治療室):〔総説〕集中治療における心エコー法の実際; その⑤負荷心エコー図. 集中治療, 3, 1129~1133, 1991.
- 75) 加藤和三¹⁾, 岸田 浩, 尾山洋太郎²⁾, 安井昭二³⁾, 細田磋一⁴⁾, 山崎 昇⁵⁾, 戸山靖一⁶⁾, 鈴木恵子⁷⁾, 河合忠一⁸⁾, 神原啓文⁹⁾, 戸嶋裕徳¹⁰⁾(¹⁾心臓血管研究所, ²⁾斗南病院循環器内科, ³⁾山形大学第1内科(現:国立名古屋病院), ⁴⁾東京女子医科大学日本心臓血圧研究所, ⁵⁾浜松医科大学第3内科, ⁶⁾大阪府立成人病センター(現:鐘紡記念病院), ⁷⁾大阪府立成人病センター, ⁸⁾京都大学第3内科, ⁹⁾京都大学医療技術短期大学部, ¹⁰⁾久留米大学第3内科):〔原著〕ペシル酸アムロジピンの狭心症に対する臨床効果の検討; 多施設二重盲検群間比較試験による用量設定試験. Clin. Eval., 19, 355~378, 1991.
- 76) 加藤和三¹⁾, 尾山洋太郎²⁾, 安井昭二³⁾, 細田磋一⁴⁾, 岸田 浩, 山崎 昇⁵⁾, 戸山靖一⁶⁾, 鈴木恵子⁷⁾, 河合忠一⁸⁾, 神原啓文⁹⁾, 戸嶋裕徳¹⁰⁾(¹⁾心臓血管研究所, ²⁾斗南病院循環器内科, ³⁾山形大学第1内科(現:国立名古屋病院), ⁴⁾東京女子医科大学日本心臓血圧研究所, ⁵⁾浜松医科大学第3内科, ⁶⁾鐘紡記念病院, ⁷⁾大阪府立成人病センター, ⁸⁾京都大学第3内科, ⁹⁾京都大学医療技術短期大学部, ¹⁰⁾久留米大学第3内科):〔原著〕ペシル酸アムロジピンの狭心症に対する臨床評価; ニフェジピン特効錠との二重盲検群間比較試験. Clin. Eval., 19, 379~404, 1991.
- 77) 太田真夫, 富田喜文, 高野照夫¹⁾(¹⁾集中治療室):〔総説〕虚血性心疾患と心臓性急死; 急死の予防を中心に(特

- 集；心疾患と突然死). *Heart Nursing*, 4, 998~1002, 1991.
- 78) 田中啓治¹⁾, 中込明裕¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高野照夫¹⁾, 安武正弘, 宗像一雄 (¹⁾集中治療室): [総説]再灌流療法の適応とその有用性. *Ther. Res.*, 12, 3509~3514, 1991.
- 79) 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室): [原著]急性心筋梗塞に伴う心自由壁破裂の破裂時期に関する検討. *心臓*, 23, 10~14, 1991.
- 80) 平山悦之, 新 博之, 来馬明規, 斉藤寛和, 井野 威, 早川弘一: [原著]心室性期外収縮に対する disopyramide と bisoprolol の併用に関する研究. *Prog. Med.*, 11, 3049~3053, 1991.
- 81) Seino, Y., Takita, T., Tanaka, K.¹⁾, Takano, T.²⁾, Hayakawa, H. and Okumura, H. (¹⁾CCU): [原著] Clinical features and coronary backgrounds of coexistent peripheral vascular disease in Japanese coronary artery disease patients. *Angiology*, 42, 899~907, 1991.
- 82) 加藤貴雄, 早川弘一: [総説]洞不全症候群(特集:不整脈). *日本臨床*, 49, 2584~2591, 1991.
- 83) 新 博次: [総説]電気生理学的検査(特集:不整脈). *日本臨床*, 49, 2512~2516, 1991.
- 84) 子島 潤, 加藤貴雄: [総説]ホルター心電図検査;成人(特集;循環器検査の適応と判読). *Prog. Med.*, 11, 2881~2884, 1991.
- 85) 早川弘一, 加藤貴雄: Holter 心電図(特集;不整脈). *日本臨床*, 49, 2498~2505, 1991.
- 86) Kishida, H. and Saito, T.: [原著] Prognosis of silent myocardial ischemia and its strategy for treatment. *Jpn. J. Med.*, 29, 672~673, 1991.
- 87) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 広沢弘七郎²⁾, 細田瑛一³⁾, 新谷博一⁴⁾, 片桐 敬⁵⁾, 杉本恒明⁶⁾, 内田康美⁶⁾, 早川弘一, 岸田 浩, 高野照夫⁶⁾, 長田洋文⁷⁾, 河合忠一⁸⁾, 神原啓文⁸⁾, 平盛勝彦⁹⁾, 深見健一⁹⁾ (¹⁾心臓血管研究所附属病院, ²⁾東京女子医大, ³⁾自治医大, ⁴⁾昭和大学, ⁵⁾東京大学, ⁶⁾集中治療室, ⁷⁾昭和大学藤が丘病院, ⁸⁾京都大学, ⁹⁾国立循環器病センター): [原著]不安定狭心症に対する SG-75注持続点滴療法の臨床的検討;多施設による第II相臨床試験. *臨床と研究*, 68, 3480~3496, 1991.
- 88) 遠藤康実, 加藤貴雄, 黒木伸一, 金 応文, 亀井真一郎, 田中 隆, 早川 弘一: [総説]任意の加算様式による心臓微小電位の検出とその臨床的意義. *心臓*, 23, 56~63, 1991.
- 89) 井野 威, 新 博次, 斉藤寛和, 小野寺威夫, 黒木伸一, 平山悦之, 来馬明規, 八島正明, 大村和子, 田寺 長, 遠藤康実, 野村教宣, 加藤貴雄, 早川弘一: [原著] Pirmenol 単回経口投与の電気生理学的効果と心行動態に及ぼす影響. *臨床薬理*, 22, 745~756, 1991.
- 90) 岸田 浩: [総説]無症候性心筋虚血の臨床治療. *循環科学*, 11, 1198~1202, 1991.
- 91) 里村克章: [総説]慢性肝炎の診断・治療のポイント. *看護技術*, 37, 11~14, 1991.
- 92) 大竹 総, 太田真夫, 富田喜文, 田中啓治¹⁾, 真鍋辰哉 (¹⁾集中治療室): [総説]糖尿病を合併する虚血性心疾患の治療. *Geriat Med.*, 29, 1773~1779, 1991.
- 93) 安武正弘, 岸田 浩: [総説]冠攣縮(特集:日本の循環器疾患の特殊性). *臨成人病*, 21, 2090~2095, 1991.
- 94) Endo, T., Sato, N., Kaneko, H., Kiuchi, K., Fujita, S., Nejima, J., Hayakawa, H. and Suzuki, Y.¹⁾ (¹⁾ Radionuclear Laboratory Research Center): [原著] Regional myocardial blood flow measurement with radioactive microspheres in dogs with myocardial ischemia. *日医大誌*, 58, 696~702, 1991.
- 95) 新谷博一¹⁾, 河合忠一²⁾, 岸田 浩, 加藤和三³⁾, 細田瑛一⁴⁾, 木之下正彦⁵⁾, 飯沼宏之³⁾, 神原啓文⁶⁾, 児玉和久⁷⁾, 片桐 敬⁸⁾, 弘田雄三⁹⁾, 中島光好¹⁰⁾ (¹⁾昭和大学, ²⁾京都大学第3内科(現:京都大学), ³⁾心臓血管研究所附属病院内科, ⁴⁾東京女子医科大学日本心臓血圧研究所, ⁵⁾滋賀医科大学第1内科, ⁶⁾京都大学第3内科, ⁷⁾大阪警察病院心臓センター, ⁸⁾昭和大学医学部第3内科, ⁹⁾大阪医科大学第3内科, ¹⁰⁾浜松医科大学薬理学教室): [原著]TYB-3215(硝酸イソソルビド口腔粘膜貼付剤)の狭心症に対する二重盲検比較試験;硝酸イソソルビド経口徐放錠を対照薬とする群間比較試験. *臨床医薬*, 7, 2753~2793, 1991.
- 96) Kishida, H., Tada, Y., Testuoh, Y., Yamazaki, Y., Saito, T., Fukuma, N., Hata, N., Yasutake, M. and

- Hayakawa, H.: [原著] A new strategy for the reduction of acute myocardial infarction in variant angina. *Am. Heart. J.*, 122, 1554~1561, 1991.
- 97) 畑 典武, 小海信一, 安武正弘, 今泉孝敬, 斉藤 勉, 岸田 浩, 早川弘一: [原著] 冠動脈疾患における運動負荷心筋シンチグラフィの有用性と問題点について. *J. Cardiol.*, 21, 23~27, 1991.
- 98) 高野照夫¹⁾, 太田真夫 (¹⁾集中治療室): [総説] 臨床医に必要な救急の基本: 循環管理 (特集: 内科救急医療の臨床). *日内会誌*, 80, 30~35, 1991
- 99) 片山茂裕¹⁾, 折茂 肇²⁾, 大内尉義²⁾, 矢崎義雄³⁾, 沼野藤夫⁴⁾, 大竹 稔, 長澤紘一⁵⁾, 針谷吉人⁵⁾, 秦 葭哉⁶⁾, 横内正利⁷⁾, 飯塚哲司⁸⁾, 岡庭 孝⁸⁾, 高橋健一⁹⁾, 白井徹郎⁹⁾, 宮崎 滋¹⁰⁾, 松下 哲¹¹⁾, 上田清悟¹²⁾, 塚崎富雄¹²⁾, 井藤英喜¹³⁾, 井上潤一郎¹³⁾, 賀来 俊¹⁴⁾, 西山敬二¹⁵⁾ (¹⁾埼玉医科大学第4内科, ²⁾東京大学医学部老年病学教室, ³⁾同第3内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第3内科, ⁵⁾多摩永山病院内科, ⁶⁾慶應義塾大学医学部内科, ⁷⁾浴風会病院内科, ⁸⁾東京警察病院内科, ⁹⁾同多摩分院内科, ¹⁰⁾東京通信病院内科, ¹¹⁾東京都老人医療センター検査部, ¹²⁾同循環器科, ¹³⁾同内分泌科, ¹⁴⁾東京都多摩老人医療センター循環器科, ¹⁵⁾国立立川病院循環器科): [原著] ニフェジピン徐放製剤 (セバミット®-R) の老年者高血圧症患者の血圧日内変動に及ぼす影響. *Geriatr Med.*, 29, 773~784, 1991.
- 100) 宗像一雄, 横山広行, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説] 心不全の治療, a) 急性心不全 (特集: 心不全治療剤). *医薬ジャーナル*, 28, 39~44, 1992.
- 101) 奥村英正, 関山達也: [総説] 消化器疾患 (特集: 老年病の最近の動き). *老化と疾患*, 5, 39~45, 1992.
- 102) Kishida, H. and Saito, T.: [原著] Cardiac events in patients with silent myocardial ischemia. *Jpn. Heart J.*, 33, 1~13, 1992.
- 103) 雪吹周生¹⁾, 田中啓治¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹⁾集中治療室): [原著] 急性心筋梗塞における右心機能不全発現機序; 前壁・下壁梗塞症例における比較検討. *心臓*, 24, 3~12, 1992.
- 104) 斉藤寛和, 野村教宣, 大村和子, 小原俊彦, 田寺 長, 平山悦之, 佐々部典子, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [原著] ホルター心電図による自律神経活動の推定; 薬理的自律神経検査との対比および薬理的自律神経遮断からの回復過程. *心電図*, 12, 3~13, 1992.
- 105) 新 博次: [総説] 酢酸フレカイニド タンボコル錠. *Cardiac Practice*, 3, 86~88, 1992.
- 106) 岸田 浩: [総説] 安定狭心症に対する治療薬の選択. *Medicina*, 29, 40~42, 1992.
- 107) 宗像一雄, 藤岡幹雄, 鈴木郁代, 酒井俊太, 浅井邦也, 佐藤直樹, 横山広行, 佐々木美典, 安武正弘, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間芳樹, 畑 典武, 高山守正, 岸田 浩, 早川弘一: [原著] 心筋梗塞再発例における冠動脈硬化の進展について; 2回の冠動脈造影所見からの検討. *脈管学*, 32, 67~73, 1992.
- 108) 豊田正輝¹⁾, 梶沼 宏¹⁾, 下田佑幸¹⁾, 菊池方利²⁾, 桜田正也²⁾, 大竹 稔, 林 洋一³⁾, 道源博保³⁾, 村上哲雄³⁾, 渥美 久⁴⁾, 下田喜久代⁵⁾ (¹⁾東邦大学医学部大橋病院糖尿病科, ²⁾朝日生命成人病研究所内分泌代謝科, ³⁾日本大学医学部第3内科, ⁴⁾日本通運健康保険組合東京病院, ⁵⁾西元ビルクリニック): [原著] 高血圧症を伴う糖尿病患者に対するニフェジピン特効性製剤 (セバミット®-R) の降圧作用と糖および脂質代謝への影響; 多施設共同試験. *臨床と研究*, 69, 306~313, 1992.
- 109) Kobayashi, Y., Katoh, T., Takano, T.¹⁾ and Hayakawa, H. (¹⁾CCU): [原著] Paroxysmal atrial fibrillation and flutter associated with acute myocardial infarction; hemodynamic evaluation in relation to the development of arrhythmias and prognosis. *Jpn. Circ. J.*, 56, 1~11, 1992.
- 110) 早川弘一: [総説] 不整脈の診断と治療, 抗不整脈薬の副作用; 特に催不整脈作用. *興和医報*, 35, 35~38, 1992.
- 111) 亀井真一郎¹⁾, 加藤貴雄 (¹⁾集中治療室): [総説] 心肺蘇生と不整脈 (特集: 心肺蘇生をめぐる諸問題). *Heart Nursing*, 5, 171~179, 1992.
- 112) 加藤貴雄, 金 心文: [総説] キニジンの副作用とその対策. *総合臨床*, 41, 373~374, 1992.
- 113) 早川弘一: [総説] 失神; 私の診療テクニク. *治療*, 74, 256~257, 1992.
- 114) 加藤貴雄: [総説] 発作性上室性頻拍, 私の診断, 治療; 処方, 効果判定, 評価. *治療*, 74, 393~401, 1992.

- 115) 岸田 浩：〔総説〕異型狭心症；私の診断，治療・処方，効果判定・評価．治療，74，321～326，1992.
- 116) 畑 典武¹⁾，岸田 浩，国見聡宏，宮川秀郎¹⁾，西山晴美¹⁾，加藤和三²⁾（¹⁾国立横須賀病院循環器科，²⁾心臓血管研究所）：〔原著〕労作性狭心症患者に対するアムロジピン単回投与におけるトレッドミル運動負荷試験成績；交叉法によるプラセボとの比較．診断と治療，80，344～354，1992.
- 117) 加藤貴雄，早川弘一：〔総説〕心室性不整脈の薬物療法の現状と将来；加算平均心電図を用いた抗不整脈薬薬効の臨床的評価．心臓，24，228～232，1992.
- 118) 新 博次，遠藤康実，加藤貴雄，岸田 浩，早川弘一：〔原著〕心電図コンピュータ診断の問題点；汎用自動心電計による解析精度の検討．心電図，12，153～160，1992.
- 119) 里村克章：〔総説〕B型肝炎の薬物治療と予防．薬局，43，189～194，1992.
- 120) 加藤和三¹⁾，岸田 浩，細田嗟一²⁾，杉本恒明³⁾，山崎 昇⁴⁾，本宮武司⁵⁾，斉藤宗靖⁶⁾，西垣 克⁷⁾（¹⁾心臓血管研究所，²⁾東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所循環器内科，³⁾東京大学医学部第2内科，⁴⁾浜松医科大学第2内科，⁵⁾東京都立広尾病院循環器科，⁶⁾自治医科大学附属大宮医療センター心臓血管科，⁷⁾東京大学医学部保健学科）：〔原著〕狭心症患者の運動耐容能に対するアムロジピンの臨床評価；ニフェジピン特効錠との二重盲検比較試験．基礎と臨床，26，1～20，1992.
- 121) Osaka, M., Saitoh, H., Sasabe, N., Miyauchi, Y., Atarashi, H., Kotoh, T., Hayakawa, H. and Shinagawa, Y.¹⁾（¹⁾Department of Physiology）：〔原著〕Personal adjustment of low and high frequency bands in heart rate variability spectral analysis. Ther. Res., 13, 719～727, 1992.
- 122) 田中啓治¹⁾，滝口美由子（¹⁾集中治療室）：〔総説〕集中治療における心エコー法の実際 その⑥エコーガイド下心穿刺法．集中治療，3，1229～1233，1992.
- 123) 新谷博一¹⁾，加藤和三²⁾，河合忠一³⁾，片桐 敬⁴⁾，斉藤宗晴⁵⁾，岸田 浩，飯沼宏之⁶⁾，神原啓文⁷⁾，南野隆三⁸⁾，平盛勝彦⁹⁾，佐久間昭¹⁰⁾（¹⁾昭和大学，²⁾心臓血管研究所附属病院（現：心臓血管研究所），³⁾京都大学医学部第3内科，⁴⁾昭和大学医学部第3内科，⁵⁾自治医科大学循環器内科（現：自治医科大学大宮医療センター心臓血管科），⁶⁾心臓血管研究所附属病院，⁷⁾京都大学医療技術短期大学部，⁸⁾桜橋渡辺病院循環器内科，⁹⁾国立循環器病センター内科心臓部門（現：岩手医科大学第2内科），¹⁰⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所情報医学研究部門）：〔原著〕狭心症に対するTY-10368(Isosorbide 5-mononitrate 製剤)の用量別有用性の検討．Ther. Res., 13, 1337～1362, 1992.
- 124) 新 博次：〔総説〕心室性不整脈のための静注用抗不整脈薬．臨床医，17，318～321，1992.
- 125) 新 博次：〔総説〕抗不整脈薬の適応と副作用2；心室性頻拍症．治療学，26，341～344，1992.
- 126) 畑 典武¹⁾，宮川秀郎¹⁾，西山晴美¹⁾，岸田 浩，国見聡宏，西垣 克²⁾，加藤和三³⁾（¹⁾国立横須賀病院循環器科，²⁾東京大学医学部保健学科保健管理学，³⁾心臓血管研究所附属病院）：〔原著〕トレッドミル運動試験によるアムロジピンの抗労作狭心症効果の持続性についての臨床評価．臨薬理，23，33～34，1992.
- 127) 清野精彦，島井新一郎¹⁾，新井 勲²⁾，高橋 厚²⁾，加藤貴雄，早川弘一（¹⁾福生病院，²⁾愛和病院）：〔原著〕慢性腎透析症例におけるclass I群抗不整脈剤の効果と薬物動態；第3報 Propafenone. 臨薬理，23，215～216，1992.
- 128) 新 博次：〔総説〕昨年登場のクラスIの3剤・特徴と使い分けのポイント．日経メディカル，25，44～48，1992.
- 129) 加藤貴雄，平山悦之，亀井真一郎，小野寺威夫，黒木伸一，滝口美由子，斉藤寛和，井野 威，杉木雄治，新 博次，早川弘一，橋本敬太郎¹⁾，沢登 徹²⁾，平岡昌和³⁾（¹⁾山梨医科大学薬理学，²⁾東京医科歯科大学難研）：〔原著〕新しいI群抗不整脈薬YUTAC®の臨床第1相試験；健康成人における，(1) 食事の影響試験および，(2) 連続経口投与試験．臨薬理，23，211～212，1992.
- 130) 黒川浩史，関山達也，古明地弘和，筒井 仁，大須賀勝，寺田秀人，勝田梯実，里村克章，荒牧琢己，奥村英正：〔原著〕血管拡張性β遮断剤ニブラジロールの硬変性門脈圧亢進症における全身ならびに肝血行動態に対する影響；プロプラノロールとの比較．臨薬理，23，125～126，1992.

- 131) 阿曾亮子¹⁾, 大橋和史¹⁾, 亀井真一郎, 加藤貴雄, 高橋晴美²⁾, 緒方宏泰²⁾ (¹⁾臨床薬理センター, ²⁾明治薬科大学薬剤学教室): [原著]少数例血中濃度測定点からの NONMEM による薬物動態解析の試み; d, l-disopyramide 測定値を用いた検討. 臨薬理, 23, 71~72, 1992.
- 132) 太田真夫, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [総説]心筋梗塞. からだの科学, 増刊, 59~65, 1992.

〔前年度追加分〕

- 1) 加藤和三¹⁾, 比江嶋一昌²⁾, 飯沼宏之¹⁾, 中田八洲郎³⁾, 杉本恒明⁴⁾, 笠貫 宏⁵⁾, 早川弘一, 新 博次(¹⁾心臓血管研究所附属病院, ²⁾東京医科歯科大学第1内科, ³⁾順天堂大学循環器内科, ⁴⁾東京大学第2内科, ⁵⁾東京女子医科大学心研内科): [原著]不整脈に対する flecainide acetate の至適用量決定試験; 心室性期外収縮に対する二重盲検試験と上室性期外収縮に対するオープン試験. 臨床医薬, 5, 1433~1453, 1989.
- 2) 加藤和三¹⁾, 中田八洲郎²⁾, 飯沼宏之¹⁾, 比江嶋一昌³⁾, 笠貫 宏⁴⁾, 杉本恒明⁵⁾, 橋場邦武⁶⁾, 早川弘一, 新 博次(¹⁾心臓血管研究所内科, ²⁾順天堂大学循環器内科, ³⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁴⁾東京女子医科大学心研内科, ⁵⁾東京大学第2内科, ⁶⁾長崎大学第3内科): [原著]心室性および上室性期外収縮に対する flecainide acetate の臨床効果; disopyramide を対照薬とした多施設二重盲検比較試験による検討. 臨床評価, 17, 219~241, 1989.
- 3) 阿部 裕¹⁾, 安田寿一²⁾, 瀧島 任³⁾, 杉本恒明⁴⁾, 岸田 浩, 水野 康⁵⁾, 河合忠一⁶⁾, 森 博愛⁷⁾, 戸嶋裕徳⁸⁾, 佐久間昭⁹⁾, 福島正勝¹⁰⁾ (¹⁾国立大阪病院内科, ²⁾北海道大学医学部循環器内科, ³⁾東北大学医学部第1内科, ⁴⁾東京大学医学部第2内科, ⁵⁾藤田学園保健衛生大学医学部内科, ⁶⁾京都大学医学部第3内科, ⁷⁾徳島大学医学部第2内科, ⁸⁾久留米大学医学部第3内科, ⁹⁾東京医科歯科大学難治疾患研究所臨床薬理学部門, ¹⁰⁾国立大阪病院循環器科): [原著]経皮吸収硝酸イソソルビド製剤 SST-101の狭心症に対する有用性の検討; 硝酸イソソルビド徐放カプセルとの多施設二重盲検群間比較試験. 薬理と治療, 17, 235~249, 1989.
- 4) 山田和生¹⁾, 安井昭二²⁾, 岸田 浩, 比江嶋一昌³⁾, 村上暎二⁴⁾, 竹越 襄⁴⁾, 山崎 昇⁵⁾, 平川千里⁶⁾, 伊藤裕康⁶⁾, 林 博史⁷⁾, 小川宏一⁸⁾, 外山淳治⁹⁾, 水野 康¹⁰⁾, 外畑 巖¹⁰⁾, 渡辺 務¹¹⁾, 小林 正¹¹⁾, 中野 起¹²⁾, 戸山晴一¹³⁾, 中島光好¹⁴⁾ (¹⁾名鉄病院, ²⁾山形大学第1内科, ³⁾東京医科歯科大学第1内科, ⁴⁾金沢医科大学循環器内科, ⁵⁾浜松医科大学第3内科, ⁶⁾岐阜大学第2内科, ⁷⁾名古屋大学第1内科, ⁸⁾名古屋大学第2内科(現:名城病院), ⁹⁾名古屋大学環境医学研究所, ¹⁰⁾藤田学園保健衛生大学内科, ¹¹⁾愛知医科大学第3内科, ¹²⁾三重大学第1内科, ¹³⁾大阪府立成人病センター内科(現:鐘紡記念病院), ¹⁴⁾浜松医科大学薬理学教室): [原著]Benidipine hydrochloride (KW-3049)の狭心症に対する臨床効果; Nifedipine を対照薬とした二重盲検比較試験. Ther. Res., 11, 1637~1656, 1990.
- 5) 佐々木美典, 宗像一雄, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [原著]院内突然死(特集:突然死とその周辺). 診断と治療, 79, 273~275, 1991.

著 書

- 1) 池下正敏¹⁾, 加藤貴典, 小林義典 (¹⁾胸部外科): [分担]循環器系疾患患者の看護ケア“看護実践マニュアル”(庄司 佑, 小島操子, 田中茂夫編). p. 140~209, 医学書院, 1991.
- 2) 井野 威, 早川弘一: [分担]抗不整脈薬“研修医のための循環器薬剤の使い方”(大国真彦編). p. 96~104, 克誠堂出版, 1991.
- 3) 早川弘一: [分担]胸痛“今日の検査指針 第2版”(河合忠一, 橋本信也, 只野寿太郎編). p. 65~70, 医学書院, 1991.
- 4) 早川弘一: [分担]不整脈“最新家庭の医学(コンパクト版)”(中尾喜久, 植村恭夫, 高久史磨, 鈴木章夫監修). p. 157~162, 社会保険法規研究会, 1991.
- 5) 早川弘一: [分担]突然死“内科学第5版”(上田英雄他編). p. 508~508, 朝倉書店, 1991.
- 6) 早川弘一, 大木清司¹⁾, 宗像一雄 (¹⁾多摩永山病院内科): [分担]突然死“心臓病学”(細田瑳一, 杉本恒明編).

- p. 969~972, 南江堂, 1991.
- 7) 清野精彦, 高野照夫¹⁾(¹⁾集中治療室): [分担]急性左心不全“心臟病学”(細田瑳一, 杉本恒明編). p. 864~873, 南江堂, 1991.
 - 8) 荒牧琢己: [分担]特殊な肝硬変うっ血性(心臟性)肝硬変“最新内科学大系49”(山村雄一, 吉利 和監修). p. 354~361, 中山書店, 1991.
 - 9) 岸田 浩: [分担]Silent myocardial ischemia と心電図“心臟病診断最新情報”(小沢友紀雄, 北 顕, 西川潤一編). p. 10~15, 中外医学社, 1991.
 - 10) 岸田 浩: [分担]ニトログリセリンの投与方法“質疑応答, 虚血性心疾患 Q & A”(木全心一編). p. 94~95, 日醫新報, 1991.
 - 11) 岸田 浩: [分担]持続性硝酸薬使用時の注意事項“質疑応答, 虚血性心疾患 Q & A”(木全心一編). p. 98~99, 日醫新報, 1991.
 - 12) 大竹 稔: [分担]肝硬変症に合併した糖尿病のインスリン療法“質疑応答糖尿病 Q & A”(平田幸正編). p. 124~126, 日醫新報, 1991.
 - 13) 加藤貴雄: [分担]上室性期外収縮“疾患別最新処方”(上田 泰, 清水喜八郎, 春見建一編). p. 48~49, メジカルレビュー社, 1992.
 - 14) 加藤貴雄: [分担]心室性期外収縮の重症度と治療方針“不整脈 Q & A”(比江嶋一昌編). p. 27~29, 日醫新報, 1992.
 - 15) 加藤貴雄: [分担]心筋梗塞後の心室性頻脈性不整脈の治療“不整脈 Q & A”(比江嶋一昌編). p. 63~65, 日醫新報, 1992.
 - 16) 岸田 浩: [分担]不安定狭心症“今日の治療指針”(日野原重明, 阿部正和監修). p. 310~311, 医学書院, 1992.
 - 17) 加藤貴雄: [分担]CCUにおける不整脈“今日の循環器疾患治療指針”(細田瑳一, 村山正博, 鰐淵康彦, 斉藤宗晴, 竹下 彰編). p. 223~225, 医学書院, 1992.
 - 18) 岸田 浩: [分担]狭心症の治療方針“今日の循環器疾患治療指針”(細田瑳一, 村山正博, 鰐淵康彦, 斉藤宗晴, 竹下 彰編). 医学書院, p. 274~275, 1992.
 - 19) 長野具雄¹⁾, 筒井 仁, 黒川浩史, 古明地弘和, 大須賀勝, 寺田秀人, 関山達也, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 奥村英正(¹⁾多摩永山病院内科): [分担]当科における肝硬変の成因別実態“肝硬変の成因別実態(太田康幸, 原田 尚, 小林健一編). p. 42~45, 日本医学館, 1992.
 - 20) 清野精彦, 高野照夫¹⁾(¹⁾集中治療室): [分担]動悸(心悸亢進)“症状からみた救急処置一内科編一”(大林完二, 大塚敏文, 木全心一編). p. 139~152, 医学書院, 1992.
 - 21) 早川弘一: [分担]WPW 症候群“今日の治療指針”(日野原重明, 阿部正和監修). p. 307~308, 医学書院, 1992.
 - 22) 早川弘一: [分担]抗不整脈薬の選び方“今日の循環器疾患治療指針”(細田瑳一, 村山正博, 鰐淵康彦, 斉藤宗晴, 竹下 彰編). p. 182~183, 医学書院, 1992.

〔前年度追加分〕

- 1) 新 博次: [分担]電気生理学的検査法“不整脈”(比江嶋一昌編). p. 29~36, 日醫新報, 1990.
- 2) 早川弘一: [分担]感染性心内膜炎, うっ血性心不全, 心筋梗塞“今日の処方”(高久史麿, 水島 裕編). p. 136~140, 南江堂, 1990.
- 3) 早川弘一: [分担]不整脈“今日の処方”(高久史麿, 水島 裕編)., p. 119~121, 南江堂 1990.
- 4) 早川弘一: [分担]不整脈“図説救急医学講座; 各科救急(1)”(杉本 侃他編). p. 56~61, メジカルレビュー社, 1990.

学会発表

- 1) 荒牧琢己, 関山達也, 黒川浩史, 古明地弘和, 筒井 仁, 寺田秀人, 大須賀勝, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 奥村英正:〔展示〕硬変性門脈圧亢進症における血管拡張性 β 遮断薬ニプラゾロール(NIP)の全身並びに肝血行動態に対する作用;プロプラノロール(PR)との比較検討, 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 2) 清野精彦, 塚本 浩, 高野照夫, 早川弘一:〔展示〕骨格筋血流および皮膚微小循環からみた心不全治療の病態生理学的分析. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 3) 安武正弘, 佐藤直樹, 佐々木美典, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間芳樹, 畑 典武, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 奥村英正:〔展示〕虚血性心疾患における冠動脈内アセチルコリン負荷試験の効用および問題点. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 4) 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一:〔展示〕急性心筋梗塞に伴う心室中隔穿孔48例の臨床的特徴;自由壁破裂との対比. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 5) 富田喜文, 大竹 稔, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾(¹⁾集中治療室):〔一般講演〕急性心筋梗塞におけるLp(a)測定の意義. 第28回日本臨床代謝学会総会, 1991.
- 6) 八島正明, 井野 威, 大村和子, 田寺 長, 遠藤康実, 上田洋一, 平山悦之, 藤森ひろみ, 佐々部典子, 亀井真一郎, 黒木伸一, 小野寺威夫, 齊藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一:〔一般講演〕Romano-Ward症候群の1例における心内膜单相性活動電位の検討. 第21回臨床心臓電気生理研究会, 1991.
- 7) 黒川浩史, 長野具雄, 筒井 仁, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己:〔一般講演〕興味ある自己免疫性肝炎の4例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 8) 富田喜文, 大竹 稔, 真鍋辰哉, 太田真夫, 橋本英洋, 清水順治, 早川弘一, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾(¹⁾CCU):〔一般講演〕心筋梗塞合併糖尿病患者におけるLp(a)の検討. 第34回日本糖尿病学会年次学術集会, 1991.
- 9) 洪 芳樹, 筒井 仁, 遠藤孝雄, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正:〔一般講演〕広汎な門脈腫瘍梗塞を伴った肝内胆管癌の1例. 第214回日本消化器病学会関東地方会, 1991.
- 10) 長野具雄, 筒井 仁, 黒川浩史, 古明地弘和, 大須賀勝, 寺田秀人, 関山達也, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正:〔展示〕当科における肝硬変の成因別実態, とくに年齢との関係. 第27回日本肝臓学会総会, 1991.
- 11) 小海信一, 佐藤良一¹⁾, 長野具雄, 堀川龍是, 荒牧琢己, 奥村英正(¹⁾近畿大学第1内科):〔展示〕Whole cell patch clamp法を用いた肝細胞膜イオン電流と細胞内制御機構に関する電気生理学的アプローチ. 第27回日本肝臓学会総会, 1991.
- 12) 吉田明弘, 安武正弘, 井野 威, 関山達也, 宗像一雄, 荒牧琢己, 早川弘一, 奥村英正:〔一般講演〕超音波内視鏡にて診断しえた好酸球性胃腸症の1例. 第400回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 13) 内田拓実¹⁾, 山崎佳子¹⁾, 横山広行¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 洪 基哲¹⁾, 藤原忠通¹⁾, 高山守正, 早川弘一, 奥村英正(¹⁾稲田登戸病院循環器科):〔一般講演〕発症早期に診断された腎梗塞の2例. 第400回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 14) 大坂元久, 早川弘一, 奥村英正, 品川嘉也¹⁾(¹⁾生理学第1):〔一般講演〕心房粗動(AF)において奇数の伝導比が稀なのは何か;確率論的モデルによる検討. 第6回日本心臓ペースング学会, 1991.
- 15) 佐々部典子, 齊藤寛和, 遠藤康実, 黒木伸一, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 伊藤高司¹⁾(¹⁾数学):〔一般講演〕心房細動停止過程の検討;心房内電位f波周期の解析. 第6回日本心臓ペースング学会, 1991.
- 16) 野村敦宣, 齊藤寛和, 大村和子, 田寺 長, 小原俊彦, 平山悦之, 小野寺威夫, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一:〔一般講演〕内因性洞自動能と洞結節回復時間の関係;自律神経機能の関与. 第6回日本心臓ペースング学会, 1991.
- 17) 平山悦之, 齊藤寛和, 大村和子, 野村敦宣, 八島正明, 後藤正道, 井野 威, 新 博次, 早川弘一:〔一般講演〕拍動心における電氣的, 機械的 alternans 活動電位波形および左室圧による検討. 第6回日本心臓ペースング学

会, 1991.

- 18) 八島正明, 遠藤康実, 平山悦之, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 抗不整脈薬による発作性上室性頻拍の停止; 停止直前に出現する alternans の検討. 第6回日本心臓ペースンング学会, 1991.
- 19) 藤本ひろみ¹⁾, 亀井真一郎¹⁾, 田中啓治¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 矢島俊巳¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 加藤貴雄, 早川弘一 (¹⁾CCU): [一般講演] 体外式 DDD ペースンング可能な新しい AV ベースポートダイリレーションカテーテルの臨床的有用性. 第6回日本心臓ペースンング学会, 1991.
- 20) 大村和子, 新 博次, 平山悦之, 八島正明, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 井野 威, 早川弘一: [一般講演] 抗不整脈薬としての β 遮断薬: Class Ic 群抗不整脈薬無効例における検討. 第6回日本心臓ペースンング学会, 1991.
- 21) Koumi, S., Sato, R.¹⁾ and Hayakawa, H. (¹⁾Kinki Univ.): [一般講演] Voltage-and pH-dependent unbinding behavior of disopyramide on sodium current in cardiac myocytes from the guinea pig. The IXth Meeting of the Japanese Section of Int'l Society for Heart Research (Hamamatsu), 1991.
- 22) Endo, T., Kiuchi, K., Sato, N., Tomita, Y. and Hayakawa, H.: [一般講演] Inhibition of in vitro neutrophil chemotaxis and reduction of size of myocardial infarction following administration of a phosphodiesterase inhibitor DN-9693. The IXth Meeting of the Japanese Section of Int'l Society for Heart Research (Hamamatsu), 1991.
- 23) 藤森ひろみ, 亀井真一郎, 黒木伸一, 飯田恵子, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 心室性期外収縮連結期の短縮率と非持続型心室頻拍との関係. 第12回ホルター心電図研究会, 1991.
- 24) 斉藤 勉, 岸田 浩, 多田祐美子, 哲翁弥生, 山崎佳子, 安武正弘, 福岡長知, 畑 典武, 早川弘一: [一般講演] Silent myocardial ischemia の予後推定; ホルター心電図を用いて. 第12回ホルター心電図研究会, 1991.
- 25) 塚本 浩¹⁾, 大津文雄¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 栗原広孝¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 斉藤 勉, 岸田 浩, 早川弘一 (¹⁾多摩永山病院内科): [一般講演] 労作狭心症における無症候性心筋虚血出現頻度と狭心症発作出現頻度・運動負荷試験成績との関係. 第12回ホルター心電図研究会, 1991.
- 26) 高山守正: [パネルディスカッション] PTMC に於ける合併症とその対策 (当院施行例の経験より) (主題: PTMC の合併症と対策). 関東 PTMC 研究会, 1991.
- 27) Seino, Y., Nakamura, T., Takano, T., Tomita, Y., Ohta, M., Manabe, T. and Otake, M. [一般講演] Pathophysiological characteristics of coexistent peripheral vascular disease as diabetic macroangiopathy in Japanese coronary artery disease. 14th Int'l Diabetes Federation Congress (Washington D.C.), 1991.
- 28) 岸田 浩: [シンポジウム] 狭心症 (主題: 狭心症・心筋梗塞; 最新の治療をめぐって). 日本医科大学医学会第1回公開シンポジウム, 1991.
- 29) 小倉宏道, 佐藤直樹, 小海信一, 安武正弘, 杉木雄治, 井野 威, 関山達也, 宗像一雄, 早川弘一: [一般講演] 冠状動脈瘻を合併した心房中隔欠損症の2例. 第401回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 30) 山崎佳子¹⁾, 大村和子¹⁾, 横山広行¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 洪 基哲¹⁾, 藤原忠通¹⁾, 早川弘一 (¹⁾稲田登戸病院内科): [一般講演] 心室中隔欠損および三尖弁閉鎖不全を伴った右室二腔症の1成人例. 第140回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 31) 矢島俊巳¹⁾, 田中啓治¹⁾, 師田哲郎¹⁾, 亀井真一郎¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一, 池下正敏²⁾, 田中茂夫²⁾ (¹⁾CCU, ²⁾胸部外科): [一般講演] 経皮的人工心肺装置 (PCPS) を用いて救命しえた左室自由壁破裂の1例. 第140回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 32) 田中啓治¹⁾, 中込明裕¹⁾, 高野照夫¹⁾, 宗像一雄, 早川弘一 (¹⁾CCU): [一般講演] 早期梗塞後狭心症の病態と対策. 第11回心筋梗塞研究会, 1991.
- 33) 川口直美, 大村和子, 井野 威, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] SLE を続発した自己免疫性肝炎の1例. 第215回日本消化器病学会関東地方会, 1991.

- 34) 山崎佳子¹⁾, 大村和子¹⁾, 横山広行¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 洪 基哲¹⁾, 藤原忠通¹⁾, 蔵 尚樹²⁾, 筧 龍二²⁾, 早川弘一
(¹⁾稲田登戸病院内科, ²⁾同泌尿器科): [一般講演] 化学療法が著効したセミノーマの右房内転移を伴う肺塞栓症の1例. 第402回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 35) Katoh, T., Kuroki, S., Endo, Y., Kim, EM., Kamei, S., Tanaka, T. and Hayakawa, H.: [展示] Free optional signal-averaging of QRS complex can detect momentary changes of high-frequency micropotentials. World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering (Kyoto), 1991.
- 36) Seino, Y., Tsukamoto, H., Nakamura, T., Ohki, K., Takano, T. and Hayakawa, H.: [一般講演] Pathophysiological analysis of skin microcirculation in patients with acute heart failure using a laser Doppler flowmeter. World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering (Kyoto), 1991.
- 37) Sasabe, N., Katoh, T., Hayakawa, H., Itoh, T.¹⁾ (¹⁾Dept of Math) [展示] The mechanism of termination of atrial fibrillation-Mathematical approach using autocorrelation function. World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering (Kyoto), 1991.
- 38) Kuroki, S., Katoh, T., Endo, Y., Kim, EM., Kamei, S., Tanaka, T. and Hayakawa, H.: [展示] Importance of minute changes in terminal portion of filtered QRS complex immediately before ventricular premature contraction; Quantitative analysis using a signal averaged electrocardiogram. World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering (Kyoto), 1991.
- 39) Kamei, S., Katoh, T., Endo, Y., Fujimori, H., Kim, EM., Kuroki, S. and Hayakawa, H.: [展示] Acute effects of antiarrhythmics on the low amplitude high frequency signals in QRS complex. World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering (Kyoto), 1991.
- 40) Yasutake, M., Suzuki, I., Sato, N., Sasaki, Y., Nakagomi, A., Imaizumi, T., Tomita, Y., Kusama, Y., Hata, N., Takayama, M., Munakata, K., Kishida, H., Takano, T. and Hayakawa, H.: [一般講演] Prediction of late residual stenosis by early angiographical morphology in patients with acute myocardial infarction. XIII Congress of the European Society of Cardiology (Amsterdam), 1991.
- 41) Katsuta, Y.: [シンポジウム] Blood volume contraction in portal hypertension (Theme: Pathophysiology and management of portal hypertension and ascites). Int'l Conference on the Pathophysiology and Management of Portal Hypertension and Ascites (Mallorca), 1991.
- 42) 吉田明弘, 安武正弘, 井野 威, 関山達也, 宗像一雄, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] EB ウイルスによる急性小脳炎の1例. 第403回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 43) 中込明裕¹⁾, 田中啓治¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 説田浩一¹⁾, 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 佐藤直樹, 佐々木美典, 安武正弘, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一(¹⁾CCU): [一般講演] 早期梗塞後狭心症と後期梗塞後狭心症の比較: 臨床像, 発作時心電図変化, 心事故, 治療法の選択について. 第39回日本心臓病学会, 1991.
- 44) 高山守正, 安武正弘, 佐藤直樹, 佐々木美典, 今泉孝敬, 中込明裕, 富田喜文, 宗像一雄, 早川弘一: [一般講演] 経皮経静脈的僧帽弁交連裂開術による僧帽弁裂開不十分例の検討. 第39回日本心臓病学会, 1991.
- 45) 哲翁弥生¹⁾, 島井新一郎¹⁾, 中里優一¹⁾, 成見正作¹⁾, 大久保憲二¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一(¹⁾福生病院内科): [一般講演] 血液透析時低血圧と心臓自律神経障害の関係に RR 間隔変動周波数分析を用いて. 第39回日本心臓病学会, 1991.
- 46) 長江安洋: [特別講演] ラット・ヘモベキシン遺伝子のインターロイキン-6 反応領域の同定. 第59回日本医科大学医学部総会, 1991.
- 47) 寺田秀人: [特別講演] 門脈圧亢進症に関する血行動態の研究. 第59回日本医科大学医学部総会, 1991.
- 48) 荒牧琢己: [特別講演] 非 A 非 B 型肝炎に対するインターフェロン療法. 第59回日本医科大学医学部総会, 1991.
- 49) 長野具雄, 筒井 仁, 黒川浩史, 古明地弘和, 寺田秀人, 関山達也, 里村克章, 勝田梯実, 荒牧琢己: [一般講演] 肝硬変における肝細胞癌合併の危険因子に関する検討. 第59回日本医科大学医学部総会, 1991.

- 50) 木島一洋¹⁾, 松下径広¹⁾, 天神向子¹⁾, 田中幸太郎¹⁾, 小西英喜¹⁾, 高橋英彦¹⁾, 進 純郎¹⁾, 河村 堯¹⁾, 荒木 勤¹⁾, 川口直美¹⁾(¹⁾付属病院産婦人科): [展示] 特発性拡張型心筋症合併妊娠の1症例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 51) 横山広行, 国見聡宏, 佐藤直樹, 内田高浩, 藤岡幹雄, 笹川 新, 酒井俊太, 浅井邦也, 鈴木郁代, 佐々木美典, 説田浩一, 安武正弘, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 富田喜文¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 中込明裕¹⁾, 星野公彦¹⁾, 畑 典武²⁾(¹⁾CCU, ²⁾国立横須賀病院循環器科): [展示] 経皮的冠動脈形成術(PTCA)再施行群の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 52) 佐々木美典, 岸田 浩, 笹川 新, 多田祐美子, 佐藤直樹, 齊藤 勉, 畑 典武, 宗像一雄, 早川弘一: [展示] 糖尿病を合併した冠動脈疾患患者の狭心痛閾値. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 53) 佐野純子, 齊藤 勉, 岸田 浩, 多田祐美子, 哲翁弥生, 山崎佳子, 安武正弘, 福間長知, 早川弘一: [展示] Silent myocardial ischemia の予後に対する自律神経系の影響; ホルター心電図法を用いて. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 54) 国見聡宏, 横山広行, 佐藤直樹, 内田高浩, 藤岡幹雄, 笹川 新, 酒井俊太, 浅井邦也, 鈴木郁代, 佐々木美典, 説田浩一, 安武正弘, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 星野公彦¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 中込明裕¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高野照夫¹⁾, 畑 典武²⁾(¹⁾CCU, ²⁾国立横須賀病院循環器科). [展示] 当院における経皮的冠動脈形成術(PTCA)の現況. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 55) 笹川 新, 青木 聡, 国見聡宏, 横山広行, 佐藤直樹, 佐々木美典, 安武正弘, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 星野公彦¹⁾, 中込明裕¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 富田喜文¹⁾(¹⁾CCU). [展示] 当科における僧帽弁狭窄症に対する経皮経静脈的僧帽弁交連裂開術の現況. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 56) 吉田明弘, 安武正弘, 井野 威, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己: [一般講演] Spur cell anemia を合併しARDSで死亡したアルコール性肝硬変の1剖検例. 第216回日本消化器病学会関東地方会, 1991.
- 57) Seino, Y., Tsukamoto, H., Nakamura, T., Ohki, K., Takano, T. and Hayakawa, H.: [一般講演] Pathophysiological characteristics of cutaneous microcirculation in patients with heart failure; Relationship to cardiovascular hemodynamics and responses to medical treatments. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 58) Saitoh, H., Nomura, A., Fukuma, N., Ohmura, K., Tadera, T., Onodera, T., Ino, T., Atarashi, H., Katoh, T., Kishida, H. and Hayakawa, H.: [一般講演] Residual heart rate variability after pharmacologic total autonomic blockade (TAB). 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 59) Yokoyama, H., Yasutake, M., Hata, N., Takayama, M., Munakata, K., Kanazawa, M., Kishida, H. and Hayakawa, H.: [一般講演] Long-term prognostic value of pre-discharge exercise test for patients with acute myocardial infarction. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 60) Nakagomi, A., Tanaka, K., Imaizumi, T., Setsuta, K., Tomita, Y., Seino, Y., Takano, T., Yasutake, M., Saito, T., Kusama, Y., Hata, N., Munakata, K., Kishida, H. and Hayakawa, H.: [一般講演] Comparison between early and late postinfarction angina; Clinical pictures, selection of treatment and prognosis. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 61) Homma, H., Munakata, K., Tei, H., Takiguchi, F. and Hayakawa, H.: [一般講演] Efficacy of additional low dose-enalapril therapy on hormones related cardiovascular system and the left ventricular function. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 62) Sato, N., Endo, T., Kiuchi, K., Ibuki, C., Nejima, J. and Hayakawa, H.: [展示] Thromboxane synthetase inhibitor reduced reperfusion arrhythmias but failed to limit size of myocardial infarction after coronary artery occlusion and reperfusion in dogs. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 63) Kishida, H., Fukuma, N., Saito, T., Yasutake, M. and Hayakawa, H.: [一般講演] Variable ischemic

- threshold in patients with chronic stable angina. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 64) Munakata, K., Sato, N., Sasaki, Y., Yasutake, M., Tomita, Y., Takayama, M., Kishida, H. and Hayakawa, H. : [一般講演] Coronary arteriographic characteristics of myocardial infarction with low left ventricular ejection fraction. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 65) Kim, EM., Katoh, T., Tanaka, T., Endo, Y., Fujimori, H., Kamei, S., Kuroki, S. and Hayakawa, H. : [一般講演] Slow upstroke of the signal-averaged QRS complex in patients with ventricular tachycardia. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 66) Takayama, M., Yasutake, M., Sato, N., Sasaki, Y., Yokoyama, H., Nakagomi, A., Imaizumi, T., Setsuta, K., Tomita, Y., Kusama, Y., Munakata, K., Kishida, H. and Hayakawa, H. : [一般講演] Early and late results of percutaneous transvenous mitral commissurotomy for patients with mitral stenosis. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 67) Kishida, H., Saito, T., Tada, Y., Yasutake, M. and Hayakawa, H. : [一般講演] A new strategy for the reduction of acute myocardial infarction. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 68) Yasutake, M., Suzuki, I., Sato, N., Sasaki, Y., Nakagomi, A., Imaizumi, T., Tomita, Y., Kusama, Y., Hata, N., Takayama, M., Munakata, K., Kishida, H., Takano, T. and Hayakawa, H. : [一般講演] Morphological change of coronary lesion by thrombolytic therapy in acute myocardial infarction ; Comparison with late residual stenosis of infarct-related coronary artery. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 69) Suzuki, T.¹⁾, Otsu, F.¹⁾, Inafuku, M.¹⁾, Manabe, T.¹⁾, Nagasawa, K.¹⁾, Kishida, H. and Hayakawa, H. (¹⁾ Department of Internal Medicine, Tama Nagayama Hospital) : [展示] Mechanism of decreased T wave amplitude in lead II on standing ECG in patients with neurocirculatory asthenia ; Evaluation on body surface mapping. 10th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 70) Kurihara, H.¹⁾, Sugiki, Y.¹⁾, Otsu, F.¹⁾, Suzuki T.¹⁾, Hariya, Y.¹⁾, Nagasawa, K.¹⁾ and Hayakawa, H. (¹⁾Dept. of Internal Med, Tama Nagayama Hosp.) : [展示] Role of autonomic function in patients with essential hypertension ; Evaluation on ambulatory blood pressure monitoring and exercise test. 10th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 71) Otsu, F.¹⁾, Suzuki, T.¹⁾, Manabe, T.¹⁾, Nagasawa, K.¹⁾, Kishida, H. and Hayakawa, H. (¹⁾Dept. of Internal Med, Tama Nagayama Hosp.) : [展示] Compared variability of repeated treadmill exercise testing and efficacy of antianginal agents for individual patients with chronic stable angina. 10th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 72) Tanaka, T.¹⁾, Kim, EM., Katoh, T., Nagasawa, K.¹⁾, Hayakawa, H. and Tanaka, K., Takano, T. (¹⁾Dept. of Internal Medicine, Tama Nagayama Hosp.) : [展示] Clinical features of early and late atrioventricular block with acute myocardial infarction. 10th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 73) Suzuki, I., Sato, N., Sasaki, Y., Nakagomi, A., Yasutake, M., Imaizumi, T., Tomita, Y., Kusama, Y., Munakata, K., Kishida, H. and Hayakawa, H. : [一般講演] Contribution of organic stenosis and intracoronary thrombus to the clinical profile of acute myocardial infarction. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 74) Hirayama, Y., Saitoh, H., Ohmura, K., Nomura, A., Yashima, M., Gotoh, M., Ino, T., Atarashi, H. and Hayakawa, H. : [一般講演] Action potential alternans after abrupt shortening of cycle length in vivo. 10th Asian-Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 75) 亀井真一郎¹⁾, 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 井野 威, 加藤貴雄, 早川弘一, 寺田功一²⁾, 新田 隆²⁾, 池下正敏²⁾, 田中茂夫²⁾, 川井 真³⁾, 田村浩一⁴⁾, 李 慶英⁵⁾ (¹⁾CCU, ²⁾胸部外科, ³⁾救命センター,

- ⁴病理学第1, ⁵東女医大第二病院小児科): [一般講演] 薬剤抵抗性の反復性心室頻拍・細動に対し AICD と cryoablation にて治療した若年 ARVD の 1 例. 第141回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 76) 河住 茂¹⁾, 酒井俊太¹⁾, 桑名壮太郎¹⁾, 弓削邦夫²⁾, 早川弘一 (¹三菱重工大倉山病院内科, ²同小児科): [一般講演] 49歳で無症状のうちに発見された膜性部中隔瘤を伴った心内膜床欠損症の 1 例. 第141回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 77) 松山 謙¹⁾, 高原 明¹⁾, 安武正弘, 早川弘一, 寺田巧一²⁾, 田中茂夫²⁾ (¹保谷厚生病院循環器科, ²胸部外科): [一般講演] 超高速 CT が診断に有用であった冠動脈起始異常症の 1 例. 第141回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 78) 高山守正, 鈴木浩之¹⁾, 富田喜文, 田中邦夫, 広沢弘七郎²⁾ (¹浩生会スズキ病院, ²榊原記念クリニック): [一般講演] 80歳まで生存した Eisenmenger 症候群を呈す心室中隔欠損症の 1 例. 第141回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 79) 山中博之¹⁾, 平山悦之¹⁾, 杉木雄治¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 壇 和夫³⁾, 早川弘一 (¹多摩永山病院内科, ²同病理, ³内科第3): [一般講演] 洞結節近傍に形質細胞の浸潤を認めた多発性骨髄腫の 1 例. 第141回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 80) 池間陽子¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 畑 典武¹⁾, 内藤善哉²⁾, 国見聡宏, 早川弘一, 山崎進康³⁾ (¹国立横須賀病院循環器科, ²同病理, ³山崎内科クリニック): [一般講演] 剖検にて膀胱癌の心膜転移と診断された難治性心タンポナーデの 1 例. 第141回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 81) 寺田秀人, 関山達也, 黒川浩史, 長野具雄, 筒井 仁, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田梯実, 荒牧琢己, 奥村英正, Lebec, D.¹⁾ (¹Inserm U-24, France): [展示] 実験的門脈圧亢進症モデル四塩化炭素肝硬変と胆管結紮後二次性胆汁性肝硬変の血行動態の対比. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 82) 関山達也, 黒川浩史, 筒井 仁, 古明地弘和, 勝田梯実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [展示] 高齢者肝硬変における循環動態の特異性. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 83) 荒尾正人, 小倉宏道, 井野 威, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 隈崎達夫¹⁾, 二宮淳一²⁾, 相澤信行³⁾ (¹付属病院放射線科, ²胸部外科, ³湘南鎌倉病院内科): [一般講演] 広範胼下大静脈閉塞の 1 症例. 第404回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 84) 栗原広孝¹⁾, 大国真一¹⁾, 黒木伸一¹⁾, 杉木雄治¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 山本保博²⁾, 早川弘一 (¹多摩永山病院内科, ²同救命救急センター): [一般講演] ダウン症候群に一過性完全房室ブロックを合併した 1 例. 第404回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 85) Sekiyama, T., Aramaki, T. and Okumura, H.: [一般講演] A case of membranous obstruction of the IVC in the hepatic portion; 8 year-observation following membranotomy. The 2nd Int'l Symposium on Budd-Chiari Syndrome (Kyoto), 1991.
- 86) Onodera, T., Atarashi, H., Saitoh, H., Ino, T., Katoh, T. and Hayakawa, H.: [一般講演] Effect of aging on the ST segment depression and cycle length of paroxysmal supraventricular tachycardia. The 4th Asia Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 87) 新 博次: [パネルディスカッション] 心電図のコンピュータ診断の問題点 (主題: 心電図とベクトル心電図). 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 88) 斉藤寛和, 早川弘一, 野村教宣¹⁾ (¹北村山公立病院内科): [シンポジウム] ホルター心電図による自律神経活動の推定; 薬理学的自律神経検査時を中心に (主題: ホルター心電図—新しい展開—). 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 89) 洪 基哲¹⁾, 高山守正, 山崎佳子¹⁾, 内田拓実, 横山広行¹⁾, 大村和子¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 藤原忠通¹⁾, 早川弘一 (¹稲田登戸病院循環器科): [一般講演] 長期持続心房細動の洞調律復帰後早期における心房変化の検討. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.

- 90) 野村敦宣¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 田寺 長¹⁾, 平山悦之, 藤田信輔¹⁾, 福間長知¹⁾, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 井野 威, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一 (1)北村山公立病院内科): [一般講演] 洞結節回復時間に含まれる洞房伝導時間推定の試み. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 91) 草間芳樹¹⁾, 早川弘一, Hearse, D.J.²⁾, Avkiran, M.²⁾ (1)稲田登戸病院循環器科, 2)The Rayne Institute, St. Thomas' Hosp, London.): [一般講演] 糖尿病心における再灌流時不整脈糖尿病ラットを用いた検討. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 92) 笹川 新, 斉藤 勉, 岸田 浩, 葉梨亜矢, 多田祐美子, 哲翁弥生, 福間長知, 早川弘一: [一般講演] 自律神経系の日差変動; ホルター心電図法を用いた心拍変動分析による検討. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 93) 宮内靖史, 斉藤寛和, 野村敦宣¹⁾, 大村和子, 佐々部典子, 福間長知¹⁾, 斉藤 勉, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一 (1)北村山公立病院内科): [一般講演] 自律神経活動の日内変動と加齢の影響. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 94) 佐々木美典, 岸田 浩, 笹川 新, 多田祐美子, 佐藤直樹, 斉藤 勉, 畑 典武, 宗像一雄, 早川弘一: [一般講演] 糖尿病を合併した冠動脈疾患患者の狭心痛閾値. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 95) 栗原広孝¹⁾, 大津文雄¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 塚本 浩¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一 (1)多摩永山病院内科): [一般講演] 運動負荷試験成績における変動幅と治療後の改善度よりみた抗狭心症薬の評価法. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 96) 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 栗原広孝¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 塚本 浩¹⁾, 藤岡幹雄¹⁾, 大國真一¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 早川弘一 (1)多摩永山病院内科): [一般講演] 心筋梗塞患者の運動負荷時 ST, T 上昇機序の体表面電位図法による検討. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 97) 八島正明, 来馬明規, 平山悦之, 小野寺威夫, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 若年者心室頻拍の臨床的特徴. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 98) 藤森ひろみ, 加藤貴雄, 井野 威, 洪 基哲, 松尾省吾, 橋本英洋, 鈴木 健, 大津文雄, 上田征夫, 原文男, 早川弘一: [一般講演] 自覚症状と不整脈発生の関係; ループメモリー方式心電計を用いての検討. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 99) 亀井真一郎, 加藤貴雄, 遠藤康実, 金 応文, 田中 隆, 黒木伸一, 早川弘一: [一般講演] 潜在性 WPW 症候群におけるケント束潜伏順行伝導の証明? ; 加算平均心電図による検討. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 100) 今泉孝敬¹⁾, 中込明裕²⁾, 富田喜文¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 (1)CCU): [一般講演] 右冠動脈閉塞における右室梗塞と血栓溶解療法との関係. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 101) 田中啓治¹⁾, 中込明裕²⁾, 島井新一郎¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (1)CCU): [パネルディスカッション] 早期梗塞後狭心症の重症度判定と難治例に対する冠動脈血行再建術 (主題: 不安定狭心症の病態と治療). 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 102) 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 大國真一¹⁾, 藤岡幹雄¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 栗原広孝¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一 (1)多摩永山病院内科): [一般講演] インピーダンス法による心筋梗塞回復期における運動負荷時心機能の評価. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 103) 安武正弘, 佐藤直樹, 佐々木美典, 中込明裕, 説田浩一, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] シロスタゾール単回経口投与による冠動脈拡張作用と血行動態への影響. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 104) 説田浩一, 清野精彦, 中込明裕¹⁾, 今泉孝敬, 富田喜文, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (1)CCU): [一般講演] 急性心筋梗塞発症早期の動脈血中 Endothelin-1 に関する検討. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 105) 佐藤直樹, 横山広行, 佐々木美典, 中込明裕, 安武正弘, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] 低心機能心筋梗塞例の冠動脈・左室造影の特徴及びその予後. 第32回日本脈管学会総会, 1991.

- 106) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一 (¹国立横須賀病院循環器科): [一般講演] 単純 CT による冠動脈石灰化の臨床的意義についての検討. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 107) 加藤貴雄, 平山悦之, 亀井真一郎, 小野寺威夫, 黒木伸一, 滝口美由子, 斉藤寛和, 井野 威, 杉木雄治, 新 博次, 早川弘一, 橋本敬太郎¹⁾, 沢登 徹²⁾, 平岡昌和²⁾ (¹山梨医大薬理, ²⁾東京医歯大難研): [一般講演] 新しい I 群抗不整脈薬 YUTAC[®]の臨床第 I 相試験; 健康成人における, (1) 食事の影響試験および, (2) 連続経口投与試験. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 108) 黒川浩史, 関山達也, 古明地弘和, 筒井 仁, 大須賀勝, 寺田秀人, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 血管拡張性 β 遮断剤ニブラジロールの硬変性門脈圧亢進症における全身ならびに肝血行動態に対する影響; プロプラノロールとの比較. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 109) 清野精彦, 島井新一郎¹⁾, 新井 勲²⁾, 高橋 厚²⁾, 加藤貴雄, 早川弘一 (¹福生病院内科, ²⁾愛和病院内科・泌尿器科): [一般講演] 慢性腎透析症例における class I 群亢不整脈剤の効果と薬物動態; (第3報) propafenone. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 110) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 西山晴美¹⁾, 岸田 浩, 国見聡宏, 西垣 克²⁾, 加藤和三³⁾ (¹国立横須賀病院循環器科, ²⁾東大保健管理学, ³⁾心臓血管研究所): [一般講演] トレッドミル運動負荷試験によるアムロジピンの抗労作狭心症効果の持続性についての臨床評価. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 111) 田中啓治¹⁾, 矢島俊己¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹CCU): [一般講演] 急性心筋梗塞に伴う心原性ショックに対するカテ先圧・心電図センサー付完全自動制御型 IABP. 第12回 IABP 研究会, 1991.
- 112) 大坂元久, 斉藤寛和, 佐々部典子, 宮内靖史, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 品川嘉也¹⁾ (¹生理学第1): [一般講演] 心拍変動の周波数解析における低周波・高周波帯域を個人において決定する方法. 第2回時間循環器研究会, 1991.
- 113) 斉藤 勉, 岸田 浩, 多田祐美子, 哲翁弥生, 福間長知, 安武正弘, 早川弘一: [一般講演] 異型狭心症における虚血発作出現時間と自律神経系との関連. 第2回時間循環器研究会, 1991.
- 114) Koumi, S., Sato, R.¹⁾, Hisatome, I.²⁾, Nagasawa, K. and Hayakawa, H. (¹Kinki Univ., ²⁾Tottori Univ.): [一般講演] E-4031 blocks the inward-rectifier K^+ channel through the hydrophobic pathway. 64th American Heart Association (Anaheim), 1991.
- 115) 斉藤寛和¹⁾, 野村教宣, 平山悦之, 佐々部典子, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 皆川 彰¹⁾, 早川弘一 (¹付属病院中央検査部): [一般講演] 薬理学的自律神経遮断の回復過程; RR 間隔変動周波数分析による検討. 第44回日本自律神経学会, 1991.
- 116) 斉藤寛和¹⁾, 野村教宣, 大村和子, 田寺 長, 平山悦之, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 皆川 彰¹⁾, 早川弘一 (¹付属病院中央検査部): [一般講演] α 受容体刺激の変時作用に対する加齢の影響. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
- 117) 関山達也, 筒井 仁, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正, 早川弘一: [一般講演] 老年者肝硬変の肝並びに全身血行動態. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
- 118) 栗原広孝¹⁾, 大津文雄¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一 (¹多摩永山病院内科): [一般講演] 労作狭心症における運動負荷試験成績の変動幅と治療後の改善度; 高齢者と若年者の比較. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
- 119) 富田喜文, 田中啓治, 横山広行, 星野公彦, 佐々木美典, 安武正弘, 今泉孝敬, 高山守正, 宗像一雄, 高野照夫, 早川弘一, 桜井太一郎¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹病理学第2): [パネルディスカッション] 血管内超音波法の有用性と問題点 (主題: 血管内視システムの使用状況と将来構想). 第7回循環器情報処理研究会, 1991.
- 120) 小原俊彦¹⁾, 田寺 長¹⁾, 野村教宣¹⁾, 藤田信輔¹⁾, 福間長知¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一 (¹北村山公立病院内科): [一般講演] 血圧と心拍数変動との関係; Power spectrum analysis による検討. 第7回循環器情報処理研究会, 1991.

- 121) 金 応文, 黒木伸一, 藤森ひろみ, 来馬明規, 田中 隆, 亀井真一郎, 加藤貴雄, 早川弘一:〔一般講演〕任意心拍加算法による心室性期外収縮の解析. 第9回心電図信号情報処理ワークショップ, 1991.
- 122) 長野具雄, 筒井 仁, 黒川浩史, 古明地弘和, 大須賀勝, 寺田秀人, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正:〔一般講演〕肝硬変に対する肝細胞癌合併に対するアルコールの関与; HCV 抗体測定による再検討. 第26回日本肝臓学会東部会, 1991.
- 123) 筒井 仁, 黒川浩史, 長野具雄, 古明地弘和, 寺田秀人, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正:〔一般講演〕妊娠に伴い肝機能の改善傾向をみた慢性肝炎の4例. 第26回日本肝臓学会東部会, 1991.
- 124) 佐野純子, 井野 威, 筒井 仁, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己:〔一般講演〕胆道系酵素の解離がみられた肝内胆汁うっ滞の1例. 第26回日本肝臓学会東部会, 1991.
- 125) 川口直美, 佐野純子, 多田祐美子, 藤森ひろみ, 井野 威, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 北村 伸¹⁾(¹内科学第2):〔一般講演〕拡張型心筋症様心疾患を合併した centronuclear myopathy の1例. 第405回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 126) Katoh, T., Hayakawa, H. and Kamei, S.:〔シンポジウム〕Effects of antiarrhythmics on signal-averaged QRS complex. Japan-U.S.A. Symposium on Cardiac Excitation and Conduction (Palmspring), 1991.
- 127) 亀井真一郎, 富田喜文, 平山悦之, 今泉孝敬, 安武正弘, 高山守正, 清野精彦, 宗像一雄, 加藤貴雄, 高野照夫¹⁾, 早川弘一(¹CCU):〔一般講演〕家族性QT延長症候群に心筋炎によると思われる洞不全症候群を合併し, さらにペースング不全・心室頻拍症の発生をみた1例. 第13回心筋生検研究会, 1991.
- 128) 佐藤直樹, 富田喜文, 国見聡宏, 佐々木美典, 安武正弘, 滝口芙由子, 井野 威, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一:〔一般講演〕甲状腺機能低下症に著明な右室拡大と右心不全を合併した1例. 第13回心筋生検研究会, 1991.
- 129) 本間 博, 滝口芙由子, 宗像一雄, 早川弘一:〔一般講演〕慢性心不全患者の左心室機能に対するACE阻害薬追加治療の効果;心エコー・ドップラ法による検討. 第59回日本超音波医学会, 1991.
- 130) 竹田真一, 滝口芙由子, 本間 博, 佐々木照之, 宗像一雄, 早川弘一:〔一般講演〕健常人の体位変換における左室後壁収縮期奇異性運動;パルスドップラ法による検討. 第59回日本超音波医学会, 1991.
- 131) 宗像一雄:〔パネルディスカッション〕急性心筋梗塞における血栓溶解療法の諸問題. 第2回関西線容療法研究会, 1991.
- 132) 宮内靖史, 高山守正, 多田祐美子, 青木 聡, 佐々木美典, 小野寺威夫, 本間 博, 宗像一雄, 早川弘一:〔一般講演〕子宮内容清掃術施行時の子宮収縮薬投与により誘発された急性心筋梗塞の1例. 第406回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 133) 小林利行, 安武正弘, 井野 威, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 大林完二¹⁾(¹大林内科医院):〔一般講演〕巨大瘤状拡張を呈した冠動脈肺動脈瘻の1例. 第142回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 134) 富田喜文¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 亀井真一郎¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一, 長尾 健²⁾, 上松瀬勝男²⁾, 梶原長雄²⁾(¹⁾CCU, ²⁾日大駿河台病院):〔一般講演〕左房粘液腫からの塞栓症により広範な出血性心筋梗塞を起こした1例. 第142回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 135) 亀山元帥¹⁾, 山中博之¹⁾, 田中 隆¹⁾, 洪 芳樹¹⁾, 子島 潤¹⁾, 杉木雄治¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 早川弘一(¹多摩永山病院内科):〔一般講演〕熱中症により急性心筋梗塞様心電図変化を示した early repolarization syndrome の1例. 第142回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 136) 遠藤康実, 小原俊彦, 藤岡幹雄, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己:〔一般講演〕キャリアー化した高齢者急性B型肝炎の1例. 第217回日本消化器病学会関東地方会, 1991.
- 137) 川口直美, 太田眞夫, 宗像一雄, 富田喜文, 井野 威, 橋本英洋, 清水順治, 大竹 稔, 早川弘一:〔一般講演〕自己免疫機序が産褥性心筋症の発症に関与したと思われるIDDMの1例. 第29回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 1992.
- 138) 岸田 浩:〔パネルディスカッション〕無症候性心筋虚血の治療;内科的治療か外科的治療か. 第26回日本成人

病学会, 1992.

- 139) 筒井 仁, 黒川浩史, 長野具雄, 古明地弘和, 寺田秀人, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 非 A 非 B 型慢性肝疾患における針治療の既往と HCV 抗体. 第26回日本成人病学会, 1992.
- 140) 田寺 長¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 野村敦宣¹⁾, 藤田信輔¹⁾, 福間長知¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一^{(1)北村山公立病院内科}: [一般講演] α_1 受容体遮断薬の降圧効果と自律神経機能との関連; 24時間血圧測定および power spectral analysis (PSA) による検討. 第26回日本成人病学会, 1992.
- 141) 今泉孝敬¹⁾, 中込明裕¹⁾, 星野公彦¹⁾, 矢島俊己²⁾, 国見聡宏¹⁾, 横山広行¹⁾, 佐々木美典, 安武正弘, 富田喜文¹⁾, 高山守正, 田中啓治¹⁾, 宗像一雄, 二宮淳一²⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一^{(1)CCU, (2)胸部外科}: [一般講演] IABP, PCPS 施行下での左優位回旋枝起始部完全閉塞による心原性ショックに対する経上腕動脈 PTCA の 1 例. 第20回日本心血管形成術研究会, 1992.
- 142) 清野精彦, 塚本 浩, 大木清司, 説田浩一, 島井新一郎, 高野照夫¹⁾, 早川弘一^{(1)CCU}: [シンポジウム] 心不全発現に伴う骨格筋及び皮膚微小循環の変化とその病態 (主題: 心不全と末梢循環). 第 8 回心不全研究会, 1992.
- 143) 黒木伸一, 加藤貴雄, 遠藤康実, 藤森ひろみ, 金 応文, 亀井真一郎, 田中 隆, 早川弘一: [一般講演] 抗不整脈薬静注による副伝導路順行伝導特性の評価; 加算平均心電図を用いて. 第 2 回体表心臓微小電位研究会, 1992.
- 144) 関戸司久, 吉田明弘, 筒井 仁, 関山達也, 斉藤 勉, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己: [一般講演] 急性肝炎様発症を示した若年原発性肝癌の 1 例. 第218回日本消化器病学会関東地方会, 1992.
- 145) 青木 聡, 佐々木美典, 小野寺威夫, 本間 博, 斉藤寛和, 高山守正, 新 博次, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] 両側全肺野に認めたび慢性肺動静脈瘻の 1 例. 第143回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 146) 平山悦之¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 亀井真一郎¹⁾, 矢島俊己¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一^{(1)CCU}: [一般講演] ベースメーカー植え込み術を必要とした向精神薬による房室ブロックの 2 例. 第143回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1992.
- 147) 北山浩気, 佐々木美典, 本間 博, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一: [一般講演] 原発性肺高血圧症と診断された高齢者の 1 例. 第407回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 148) 大木清司¹⁾, 栗原広孝¹⁾, 杉木雄治¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 中山恵二²⁾, 伊東文行²⁾, 前田昭太郎³⁾, 荒牧琢己^{(1)多摩永山病院内科, (2)同皮膚科, (3)同病理}: [一般講演] 著明な肝機能障害を伴った Weber-Christian 病の 1 例. 第407回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 149) 山崎佳子¹⁾, 大村和子¹⁾, 藤岡幹雄¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 洪 基哲¹⁾, 藤原忠通¹⁾, 横山広行, 草間芳樹, 早川弘一^{(1)稲田登戸病院内科}: [一般講演] 右房内に転移性腫瘤を形成し肺塞栓を形成したセミノーマの 1 例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 150) Takai, H.¹⁾, Sato, R.¹⁾, Sakaguchi, Y.¹⁾, Aida, Y.¹⁾, Koumi, S., Hisatome, I.²⁾, Mashiba, H.²⁾ and Katori, R.¹⁾ (^{(1)Kinki Univ. School of Med, (2)Tottori Univ. School of Med.}): [一般講演] pH dependent block of MS-551 (Class III, antiarrhythmic agent) on IK_1 channel. 36th Annual Meeting of the Biophysical Society (Houston), 1992.
- 151) 井野 威, 小林義典, 安武正弘, 加藤貴雄, 早川弘一, 亀井真一郎¹⁾, 高野照夫¹⁾(^{(1)CCU}): [シンポジウム] 急性心筋梗塞に合併する頻脈性不整脈の病態, 治療および予後(主題: 集中治療における不整脈—ベッドサイドにおける診断と治療). 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 152) 田中啓治¹⁾, 矢島俊己¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一^{(1)CCU}: [シンポジウム] 急性左心不全に対する最新の治療: 経皮的心肺補助法(PCPS)およびカテ先圧, 心電図センサー付完全自動制御型 IABP(スーパーバルーン) (主題: 急性心不全の治療). 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 153) 加藤貴雄: [シンポジウム] 抗不整脈剤 (主題: 血中薬物動態のモニタリング—その臨床的意義と有用性). 第

3回臨床モニター研究会, 1992.

- 154) 趙 莉欣, 奥山 徹¹⁾, 吉川公平²⁾, 村田 栄²⁾, 宗像一雄, 上田征夫, 早川弘一^(¹明治薬科大学, ²田辺製薬): [一般講演] 犬の脱分極冠動脈における三種クアマリンのカルシウム拮抗作用; Diltiazem との比較. 第65回日本薬理学会総会, 1992.
- 155) 黒川浩史, 筒井 仁, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己: [一般講演] 急性非 A 非 B 型肝炎における HCV 抗体陽性例と陰性例の比較検討. 第12回臨床肝臓懇話会, 1992.
- 156) 森下 真, 黒木伸一, 高山守正, 本間 博, 斎藤寛和, 宗像一雄, 荒牧琢己, 早川弘一, 酒井俊太¹⁾, 河住 茂¹⁾ (¹三菱大倉山病院内科): [一般講演] 多臓器不全で急性発症し遷延する心不全を呈する慢性心筋炎に対しステロイド投与が奏功した1例. 第408回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 157) 大坂元久, 斎藤寛和, 佐々部典子, 宮内靖史, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 品川嘉也¹⁾ (¹病理学第1): [一般講演] 心拍変動のフラクタル次元. 第3回時間循環器研究会, 1992.
- 158) 新 博次, 井野 威, 早川弘一: [パネルディスカッション] PSVT に対する抗不整脈薬の電気生理学的薬効評価とその有用性 (主題: 抗不整脈治療薬の評価). 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 159) 佐野純子, 斎藤 勉, 岸田 浩, 葉梨亜矢, 多田祐美子, 哲翁弥生, 安武正弘, 福間長知, 早川弘一: [一般講演] 冠動脈疾患の予後におよぼす自律神経活動の影響. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 160) 清野精彦, 説田浩一, 富田喜文¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹CCU): [一般講演] 急性心筋梗塞における cytokines modulation に関する分析. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 161) 説田浩一, 清野精彦, 富田喜文¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一 (¹CCU): [一般講演] 急性心筋梗塞における血中 endothelin 上昇の由来と病態生理学的意義; 部位別採血による検討. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 162) 畑 典武¹⁾, 宮川秀郎¹⁾, 池間陽子¹⁾, 千場 純²⁾, 長岡章平²⁾, 国見聡宏, 早川弘一 (¹国立横須賀病院循環器科, ²同内科): [一般講演] 膠原病における心病変合併と抗カルジオリビン抗体 (ACLA) との関係. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 163) 井野 威, 宮内靖史, 遠藤康実, 来馬明規, 黒木伸一, 小野寺威夫, 斎藤寛和, 新 博次, 早川弘一: [一般講演] Pirmenol, pilsicainide 単回経口投与による pharmacological cardioversion の有用性. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 164) 斎藤寛和, 宮内靖史, 佐々部典子, 大坂元久, 平山悦之, 井野 威, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 野村敦宣¹⁾ (¹北村山公立病院内科): [一般講演] 交感神経 α 受容体刺激の変時作用; 加齢の影響. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 165) 杉本恒明, 岩 喬, 児玉逸雄, 下村克朗, 橋場邦武, 橋本敬太郎, 春見建一, 早川弘一, 平岡昌和, 渡部良夫 (日本循環器学会不整脈診断基準委員会): [一般講演] 2 連発以上の心室期外収縮症例の多施設共同長期追跡調査. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 166) 中込明裕¹⁾, 田中啓治¹⁾, 星野公彦¹⁾, 横山広行¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 説田浩一¹⁾, 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 国見聡宏, 佐々木美典, 安武正弘, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 (¹CCU): [一般講演] 梗塞後狭心症 (PIA) の発症時期別における病態の違いについて. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 167) 今泉孝敬¹⁾, 富田喜文¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一 (¹CCU): [一般講演] 急性心筋梗塞 (AMI) 早期の Dobtamine (DOB) 負荷エコー法による左室壁運動障害改善の予知. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 168) 金 応文, 加藤貴雄, 亀井真一郎, 黒木伸一, 遠藤康実, 来馬明規, 藤森ひろみ, 田中 隆, 早川弘一: [一般講演] 心室期外収縮二段脈の発生機序; 任意加算平均心電図法による検討. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 169) 安武正弘, 鈴木郁代, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一, 中込明裕¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 富田喜文¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹CCU): [一般講演] 心筋梗塞血栓溶解療法後の予後は急性期冠動脈形態および入院時の臨床像から予測

- 可能か？ 第56回日本循環器学会総会，1992.
- 170) 佐々部典子，斉藤寛和，来馬明規，大坂元久，小野寺威夫，井野 威，新 博次，加藤貴雄，早川弘一，野村敦宣¹⁾ (北村山公立病院)：〔一般講演〕高位右房電位 (A 波) による心拍変動スペクトル分析；体表面 R 波による分析との違い。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 171) 高山守正，笹川 新，国見聡宏，横山広行，佐々木美典，星野公彦，安武正弘，今泉孝敬，富田喜文，宗像一雄，早川弘一：〔展示〕経皮経静脈的僧帽弁交連裂開術 (PTMC) 施行時の至適バルーン径設定法；経心尖僧帽弁輪内径の有用性。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 172) 藤岡幹雄¹⁾，草間芳樹¹⁾，洪 基哲¹⁾，山崎佳子¹⁾，大村和子¹⁾，藤原忠通¹⁾，横山広行，早川弘一¹⁾ (稲田登戸病院循環器科)：〔展示〕糖尿病における運動負荷時 ST 低下の検討；運動負荷時無症候性 ST 低下は無症候性心筋虚血か。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 173) 福間長知，岸田 浩，哲翁弥生，多田祐美子，佐野純子，斉藤 勉，早川弘一：〔展示〕労作狭心症患者における狭心痛閾値上昇の機序；体性感覚誘発位法 (SSEP 法) による検討。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 174) 富田喜文¹⁾，清野精彦¹⁾，中込明裕¹⁾，今泉孝敬¹⁾，説田浩一¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，安武正弘，高山守正，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一¹⁾ (CCU)：〔展示〕心筋梗塞急性期における心のう液貯留の臨床的検討；特に血栓溶解療法との関連について。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 175) 田中啓治¹⁾，矢島俊己¹⁾，亀井真一郎¹⁾，今泉孝敬¹⁾，富田喜文¹⁾，高野照夫¹⁾，二宮淳一²⁾，早川弘一¹⁾ (CCU，²⁾胸部外科)：〔展示〕急性心筋梗塞に伴う極めて重篤な心原性ショックに対する経皮的心肺補助療法 (PCPS) の有用性と問題点。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 176) 亀井真一郎，加藤貴雄，遠藤康実，藤森ひろみ，金 応文，黒木伸一，早川弘一：〔展示〕潜在性 WPW 症候群におけるケント束潜伏順行伝導検出の試み；加算平均心電図による検討。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 177) 星野公彦¹⁾，富田喜文¹⁾，横山広行¹⁾，今泉孝敬¹⁾，清野精彦¹⁾，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾，国見聡宏，佐々木美典，安武正弘，高山守正，宗像一雄，岸田 浩，早川弘一¹⁾ (CCU)：〔展示〕急性心筋梗塞における血中トロポニン T 測定の有用性。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 178) 黒木伸一，加藤貴雄，遠藤康実，藤森ひろみ，金 応文，亀井真一郎，田中 隆，早川弘一：〔展示〕WPW 症候群におけるデルタ波消長と副伝導路順行伝導特性；加算平均心電図による検討。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 179) 宮内靖史，斉藤寛和，大坂元久，佐々部典子，井野 威，新 博次，加藤貴雄，早川弘一，伊藤博元¹⁾，白井康正¹⁾ (付属病院整形外科)：〔展示〕体位の影響を排除した自律神経活動の日内変動；安静臥床患者での検討。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 180) 平山悦之，新 博次，来馬明規，斉藤寛和，井野 威，早川弘一：〔展示〕拍動心における活動電位波形 alternans の検討。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 181) 大坂元久，斉藤寛和，佐々部典子，宮内靖史，新 博次，加藤貴雄，早川弘一，品川嘉也¹⁾ (生理学第1)：〔展示〕体位変換による心拍変動スペクトル分析 (HRVS) 上の低周波帯 (LF-b) と高周波帯 (HF-b) 決定の試み。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 182) 野村敦宣¹⁾，斉藤寛和，小野寺威夫，井野 威，新 博次，加藤貴雄，早川弘一 (北村山公立病院内科)：〔展示〕Overdrive pacing 後の洞周期回復過程の分析；洞自動能は推定できるか。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 183) 洪 基哲¹⁾，山崎佳子¹⁾，草間芳樹¹⁾，藤岡幹雄¹⁾，大村和子¹⁾，藤原忠通¹⁾，高山守正，早川弘一¹⁾ (稲田登戸病院循環器科)：〔展示〕慢性心房細動に対する直流通電後長期にわたる心房機能の経時的変化の検討。第56回日本循環器学会総会，1992.
- 184) 佐々部典子，斉藤寛和，宮内靖史，井野 威，新 博次，加藤貴雄，岸田 浩，早川弘一：〔展示〕発作性心房細動 (PAF) 発症時の自律神経活動の特徴；心拍変動スペクトル解析を用いて。第56回日本循環器学会総会，1992.

- 185) 安武正弘, 佐藤直樹, 横山広行, 国見聡宏, 佐々木美典, 高山守正, 宗像一雄, 岸田 浩, 早川弘一:〔展示〕cGMP-inhibited PDE 阻害薬と cGMP 依存性血管拡張薬の冠動脈拡張反応の差異. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 186) 田寺 長¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 野村敦宣¹⁾, 藤田信輔¹⁾, 福間良知¹⁾, 岸田 浩, 早川弘一(¹⁾北村山公立病院内科):〔展示〕軽症高血圧症例における自律神経活動の推定. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 187) 岩原信一郎¹⁾, 岡崎太郎¹⁾, 長江安洋, 早川弘一(¹⁾生化学第1):〔展示〕ラット心初代培養におけるアンギオテンシノーゲン(AT) mRNA の PCR 法による検出. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 188) 加藤責雄, 亀井真一郎, 早川弘一:〔一般講演〕加算平均心電図法を用いた Kent 束順行伝導性の評価;特に潜在性 WPW 症候群における順行潜伏伝導について. 体表面心電情報による心疾患診断に関する研究学術研究班第1回公開中間研究発表会, 1992.
- 189) Hayakawa, H., Katoh, T. and Kamei, S.:〔シンポジウム〕Effects of antiarrhythmics on QRS complex of SAECG (Thema: Arrhythmias from cell to cardiology). The Vth Franco-Japanese Symposium of Cardiology (Chiba), 1992.

〔前年度追加分〕

- 1) 大村和子, 野村敦宣, 小原俊彦, 平山悦之, 斉藤寛和, 井野 威, 新 博次, 加藤責雄, 早川弘一:〔一般講演〕洞徐脈症例における内因性洞機能と自律神経機能の関係. 第7回日本心電学会学術集会, 1990.

〔付属病院老人科〕

研究概要

老年期における糖代謝および糖尿病, 動脈硬化性疾患, 脂質代謝異常, 高血圧症, 肥満の問題を中心に臨床的研究を行った。

老年期における糖代謝および糖尿病については, 1) 血糖連続測定による経口ブドウ糖負荷時の血糖曲線の解析を主として年齢およびインスリン分泌の面より行った。今後はこの解析結果を踏まえ, 臨床的意義の検討に入る予定である。2) 軽度耐糖能異常例の臨床像を, 血圧, 血清脂質, 血清インスリン, 肥満との相互関連から解析した。3) 多数の剖検例につき軽度の耐糖能異常と動脈硬化性疾患との関係を各種動脈硬化促進因子との関連から検討し, その臨床的意義を明らかにした。4) 高齢者糖尿病の各種動脈硬化性病変を剖検例につき検討した。5) 耐糖能異常が脳梗塞の発症, 日常生活動作および生命予後に及ぼす影響を検討した。6) WHO の糖尿病診断基準を生命予後および動脈硬化性疾患の合併頻度の面より検討し, 老年者における問題点を明らかにした。7) 老年者糖尿病の臨床像を発症年代別に比較検討した。

動脈硬化の定量的指標の確立を目的とした Preliminary な検討として, 脳梗塞および冠動脈硬化性病変と各種動脈における硬化性病変との相関を非糖尿病および糖尿病患者について剖検成績より比較検討した。

老年期における脂質代謝異常の脳梗塞発症におよぼす影響を剖検例につき検討した。

老年期の肥満について, 1) 肥満の日常生活動作におよぼす影響を剖検例につき retrospective に検討した。2) 血圧, 血清脂質との相互関連を非糖尿病患者につき検討した。

血漿コロイド浸透圧の加齢変化について検討した。

健康人における血清フェリチンおよびその亜分画—糖化フェリチンと非糖化フェリチン—の変化に及ぼす加齢の影響を検討した。

研究業績

論文

- 1) 大庭建三, 中野博司, 妻鳥昌平: [総説] 疾患別薬物療法 内分泌疾患と代謝異常; 老人の糖尿病 (特集: 薬物療法 Manual—投薬の基本と治療プログラム), 日本臨床, 49 (増刊), 847~849, 1991.
- 2) 中野博司, 妻鳥昌平: [総説] 老年者糖尿病の特徴—心理的・社会的問題も含めて; (特集: 老年者の糖尿病), Diabetes Frontier, 2, 312~316, 1991.
- 3) 春山 勝, 妻鳥昌平: [総説] 不明熱 (特集: 老人によく見られる症状と徴候), Expert Nurse, 7 (臨時増刊), 108~109, 1991.
- 4) 大庭建三, 大崎良一郎, 春山 勝, 武内 寛, 中野博司, 山下直博, 妻鳥昌平, 板垣晃之, 早川道夫, 大友英一: [原著] 老年期の軽度耐能異常と脳梗塞; 梗塞部位およびその大きさに関する検討, 糖尿病 34, 789~794, 1991.
- 5) 大庭建三, 鈴木達也, 武部健一郎, 春山 勝, 中野博司, 洲上正章, 妻鳥昌平: [報告] カドララジン (プレスモード) により血圧コントロールの著明な改善をみた慢性血液透析中のインスリン依存型糖尿病の1症例, 基礎と臨床, 25, 3301~3304, 1991.
- 6) 永井信也, 大庭建三, 鈴木達也, 奥山 裕, 笹井恵子, 中野博司, 洲上正章, 妻鳥昌平: [報告] CT 診断が有用であった高齢者虫垂周囲膿瘍の1例, Geriatric Medicine, 29, 1357~1360, 1991.
- 7) Inokuchi, K.¹⁾, K., Amuro, N., Futaki, M.¹⁾, Dan, K.¹⁾, Shinohara, T.²⁾, Kuriya, S.³⁾, Okazaki, T.⁴⁾ and Nomura, T.¹⁾ (1)内科学第3, 2)日赤医療センター, 3)岩手医大第3内科): [原著] Transforming genes and chromosome aberrations in therapy-related leukemia and myelodysplastic syndrome. Ann. Hematol., 62, 211~216, 1991.
- 8) 大内尉義¹⁾, 松岡博昭²⁾, 木村健二郎²⁾, 平田恭信²⁾, 矢崎義雄³⁾, 藤田敏郎⁴⁾, 高橋克敏⁵⁾, 沼野藤夫⁶⁾, 妻鳥昌平, 大庭建三, 大竹 稔⁷⁾, 片山茂裕⁸⁾, 赤塚宣治⁹⁾, 久保田昌平¹⁰⁾, 賀来 俊¹¹⁾, 相磯嘉孝¹²⁾, 井藤英喜¹³⁾, 西山敬介¹⁴⁾, 折茂 肇¹⁾(1)東大老年病学, 2)東大第2内科, 3)東大第3内科, 4)東大第4内科, 5)河井病院内科, 6)東京医科歯科大第3内科, 7)第1内科, 8)埼玉医大第4内科, 9)国立病院医療センター循環器科, 10)三楽病院第2内科, 11)東京都多摩老人医療センター循環器科, 12)東京都立豊島病院内科, 13)東京都老人医療センター内分泌科, 14)日本赤十字社医療センター腎臓内科): [原著] 高齢者本態性高血圧症に対する NZ-105 の有効性, 安全性および有用性の検討. Geriat. Med., 30, 109~120, 1992.

著 書

- 1) 大庭建三: [分担] 内分泌・代謝の老化と病気. “在宅ケアの百科” (折茂 肇監修), p. 69~73, 社会保険法規研究会, 1991.
- 2) 妻鳥昌平, 中野博司: [分担] 老年期糖尿病の治療. “老人病 Q and A” (荻原俊男編), p. 107~109, 日本医事新報社, 1991.
- 3) 大庭建三, 妻鳥昌平: [分担] 糖尿病をもつ老人のマネージメント. “老人医療への新しいアプローチ—全人的評価とケア” (日野原重明, 柄沢昭秀編), p. 270~276, 医学書院, 1992.
- 4) 妻鳥昌平, 中野博司: [分担] インスリンによる低血糖昏睡. “糖尿病 Q and A” (平田幸正編), p. 118~120, 日本医事新報社, 1991.
- 5) 妻鳥昌平, 中野博司: [分担] 老年期糖尿病の治療. “糖尿病 Q and A” (平田幸正編), p. 132~134, 日本医事新報社, 1991.

学会発表

- 1) 周東祐仁¹⁾, 若林一二¹⁾, 安室尚樹, 岡崎太郎²⁾ (1)内科学第3, 2)生化学第1): [一般講演] 全身型甲状腺ホルモンの不応性的一家系におけるトリヨードサイロニン受容体の分子生物学的解析. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 2) 山下直博, 鈴木達也, 奥山 裕, 笹井恵子, 春山 勝, 中野博司, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平: [一般講演] 健常人における血清フェリチンおよびその垂文画の年齢面からの検討. 第53回日本血液学会総会, 1991.

- 3) 鈴木達也, 奥山 裕, 笹井恵子, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [一般講演] ベースメーカーの関与を疑われた高齢者心室細動の1例. 第13回日本老年医学会関東甲信越地方会, 1991.
- 4) 家所哲夫, 鈴木達也, 奥山 裕, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [一般講演] 老年者非定型性多発性骨髄腫の1症例. 第13回日本老年医学会関東甲信越地方会, 1991.
- 5) 中野博司, 洲上正章, 鈴木達也, 笹井恵子, 春山 勝, 武部健一郎, 山下直博, 小林敏郎, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [一般講演] 血糖連続測定によるブドウ糖負荷試験の検討; 血糖曲線の面からの老年者耐糖能異常の検討. 第34回日本糖尿病学会総会, 1991.
- 6) 小林敏郎, 中野博司, 洲上正章, 奥山 裕, 笹井恵子, 春山 勝, 平井真明, 山下直博, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [一般講演] 血糖連続測定によるブドウ糖負荷試験の検討; 耐糖能・インスリン反応からの血糖曲線の解析. 第34回日本糖尿病学会総会, 1991.
- 7) 大庭建三, 奥山 裕, 春山 勝, 中野博司, 妻鳥昌平, 板垣晃之¹⁾, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾(¹⁾浴風会病院) : [一般講演] 高齢糖尿病患者と動脈硬化症; 剖検による検討. 第34回日本糖尿病学会総会, 1991.
- 8) 春山 勝, 中野博司, 山下直博, 大庭建三, 妻鳥昌平, 板垣晃之¹⁾, 早川道夫¹⁾, 大友英一¹⁾(¹⁾浴風会病院) : [一般講演] 耐糖能異常が脳梗塞の発症, 日常生活動作(ADL)及び生命予後に及ぼす影響. 第34回日本糖尿病学会総会, 1991.
- 9) 南 順文, 大庭建三, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 志賀幸雄, 内田好彦, 妻鳥昌平 : [一般講演] 軽度耐糖能異常の臨床像に関する検討; 血圧, 血清脂質, 血清インスリン, 肥満の面より. 第34回日本糖尿病学会総会, 1991.
- 10) 春山 勝, 安室尚樹, 鈴木達也, 奥山 裕, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [一般講演] 好酸球性胃腸症の1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 11) 家所哲夫, 笹井恵子, 春山 勝, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [一般講演] 原発性肝癌を強く疑われた肝膿瘍の1例. 第401回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 12) 村重典昭, 笹井恵子, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [一般講演] 血糖連続測定下の経ロブドウ糖負荷試験の検討; 血糖曲線の型の意義および成因の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 13) 井川宗彦, 鈴木達也, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [展示] 骨嚢胞の自然消退を認めた血管腫の1症例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 14) 佐藤周三, 安室尚樹, 奥山 裕, 笹井恵子, 春山 勝, 中野博司, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [展示] 低ナトリウム血症を呈した非ケトン性高浸透圧性昏睡の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 15) 小林伸子, 安室尚樹, 奥山 裕, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [展示] 多発性筋炎の活動性ととともにCK結合免疫グロブリンの消長を認めた1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 16) 仲地紀勝, 永井信也, 鈴木達也, 春山 勝, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 : [展示] グリチルリチンによる低K性ミオパチーを呈したアルツハイマー型痴呆の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 17) Ohba, K., Haruyama, M., Nakano, H., Yamashita, N., Metori, S., Itagaki, T.¹⁾ and Ohtomo, E.¹⁾ (¹⁾浴風会病院) : [一般講演] Diagnostic criteria for diabetes mellitus in the elderly Prognosis and cardiovascular disease. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 18) Haruyama, M., Nakano, H., Yamashita, N., Ohba, K., Metori, S., Itagaki, T.¹⁾ and Ohtomo, E.¹⁾ (¹⁾浴風会病院) : [一般講演] Obesity and activity of daily living in the elderly. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 19) 鈴木達也, 中野博司, 高尾嘉興, 笹井恵子, 武部健一郎, 春山 勝, 平井真明, 洲上正章, 大庭建三, 妻鳥昌平 :

- 〔一般講演〕血漿コロイド浸透圧に関する研究；加齢の影響について，第33回日本老年医学会総会，1991.
- 20) 奥山 裕，春山 勝，鈴木達也，中野博司，山下直博，大庭建三，妻鳥昌平，板垣晃之¹⁾，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾ (1)浴風会病院)：〔一般講演〕脳梗塞とコレステロール-多変量解析による検討，第33回日本老年医学会総会，1991.
- 21) 春山 勝，中野博司，山下直博，大庭建三，妻鳥昌平，板垣晃之¹⁾，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾ (1)浴風会病院)：〔一般講演〕肥満と日常生活動作；比例ハザードモデルによる検討，第33回日本老年医学会総会，1991.
- 22) 南 順文，大庭建三，春山 勝，中野博司，山下直博，洲上正章，志賀幸雄，妻鳥昌平：〔一般講演〕老年期軽度耐糖能異常の臨床像；動脈硬化促進因子の面よりの検討，第33回日本老年医学会総会，1991.
- 23) 中野博司，村重典昭，安室尚樹，笹井恵子，平井真明，春山 勝，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕血糖連続測定によるブドウ糖負荷試験の検討；年代面，インスリン代謝の面からの血糖曲線の検討，第33回日本老年医学会総会，1991.
- 24) 大庭建三，奥山 裕，春山 勝，中野博司，山下直博，妻鳥昌平，板垣晃之¹⁾，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾ (1)浴風会病院)：〔一般講演〕高齢糖尿病患者の臨床像に関する検討；剖検による動脈硬化性病変の面より，第33回日本老年医学会総会，1991.
- 25) 笹井恵子，中野博司，安室尚樹，春山 勝，平井真明，山下直博，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕老年者糖尿病の臨床像に関する検討；発症年代別の臨床の関連について，第33回日本老年医学会総会，1991.
- 26) 奥山 裕，大庭建三，鈴木達也，笹井恵子，春山 勝，中野博司，妻鳥昌平，板垣晃之¹⁾，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾ (1)浴風会病院)：〔一般講演〕動脈硬化と冠動脈硬化性病変との関連の剖検よりの検討；糖尿病と非糖尿病との比較，平成3年度日本動脈硬化学会冬季大会，1991.
- 27) 大庭建三，奥山 裕，鈴木達也，笹井恵子，春山 勝，中野博司，妻鳥昌平，板垣晃之¹⁾，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾ (1)浴風会病院)：〔一般講演〕動脈硬化と脳梗塞病変との関連の剖検よりの検討；糖尿病と非糖尿病との比較，平成3年度日本動脈硬化学会冬季大会，1991.
- 28) 鈴木達也，大庭建三，南 順文，春山 勝，平井真明，中野博司，洲上正章，妻鳥昌平：〔一般講演〕老年期の肥満と血圧，血清脂質；非糖尿病，非高血圧における検討，第12回日本肥満学会，1991.
- 29) 春山 勝，安室尚樹，笹井恵子，平井真明，中野博司，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平，板垣晃之¹⁾，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾ (1)浴風会病院)：〔一般講演〕老年者の肥満と生命予後；多変量解析による検討，第12回日本肥満学会，1991.
- 30) 大庭建三，春山 勝，中野博司，妻鳥昌平，板垣晃之¹⁾，早川道夫¹⁾，大友英一¹⁾ (1)浴風会病院)：〔ワークショップ〕老年期の肥満と脳・心血管病変；剖検成績よりの検討，第12回日本肥満学会，1991.
- 31) 永井信也，小林伸子，井川宗彦，安室尚樹，春山 勝，平井真明，中野博司，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕症状が非定型であったリウマチ性多発筋痛症（PMR）の1例，第14回日本老年医学会関東甲信越地方会，1991.
- 32) 村重典昭，中野博司，仲地紀勝，安室尚樹，春山 勝，平井真明，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕短期間で進展した肺化膿症を合併した転移性肝癌の1例，日本医科大学医学会第75回例会，1991.
- 33) 佐藤周三，春山 勝，笹井恵子，安室尚樹，平井真明，中野博司，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕低Na血症を呈した非ケトン性高浸透圧性昏睡，第29回日本糖尿病学会関東甲信越地方会，1992.
- 34) 佐藤周三，春山 勝，安室尚樹，笹井恵子，平井真明，中野博司，山下直博，洲上正章，大庭建三，妻鳥昌平：〔一般講演〕汎血球減少症に対しrhG-CSFを使用中に急性骨髄性白血症を合併した1例，日本医科大学医学会第76回例会，1992.
- 35) 中野博司，妻鳥昌平：〔ワークショップ〕高齢者糖尿病の診断と血糖コントロール基準；血糖コントロール面からの高齢者糖尿病合併症の検討，平成3年度厚生省糖尿病調査研究事業，1992.

[第二病院内科]

研究概要

第二病院内科では、糖尿病の心機能、呼吸機能、腎機能を中心に研究を行っている。循環器では糖尿病の進展に伴う心機能の変化、とくに右心機能について呼吸機能と関連して研究を行った。腎臓では、慢性腎不全の血液透析における肺動脈血酸素分圧較差の変動につき、糖尿病の影響との関連で研究を行った。

院内他科との共同研究として、病理部と珪肺症早期における肺胞洗浄液中の細胞と組織学的変化の対比に関する実験を行った。外科、放射線科、病理部とは切除肺癌の多数例について臨床病理学的研究を行った。また、中央検査室とは最近問題となっている MRSA につき院内感染防止のため環境細菌検査、アミノグリコシド系抗生剤の抗菌力につき共同研究を行った。

研究業績

論文

- 1) 嶋崎 譲, 原文男: [原著] アルコール性肝疾患におけるコラーゲン (I, II, IV型), フィブロネクチン, 活性型血液凝固第 XIII 因子, 第VIII因子関連抗原の局存に関する免疫組織化学的研究. 日医大誌, 58, 444~449, 1991.
- 2) 倉田文秋, 原文男: [原著] 慢性肝疾患の閉塞肝静脈圧と全身血行動脈呼吸機能との関係について; 肝硬変症と慢性肝炎の比較. 日医大誌, 58, 431~443, 1991.
- 3) 藤井裕介, 原文男: [原著] 運動負荷心プーレンシチグラフィによる糖尿病患者の左心機能評価. 日医大誌, 58, 501~506, 1991.
- 4) 松原貴規, 原文男: [原著] ヒト糖尿病における肺機能異常および肺末梢組織病変に関する研究. 日医大誌, 58, 528~536, 1991.

学会発表

- 1) 鈴木 攻, 村沢恒男, 伊藤達也, 本多由幸, 知念正人, 増田康文, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原文男: [一般講演] 糖尿病の病期による心機能変化の検討; 特に肺病変と関連して. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 2) 菊地隆介, 原田雄一, 関 純一, 倉田文秋, 嶋崎 譲, 上田征夫, 原文男, 川並汪一¹⁾, 渡部英之²⁾ (1)第二病院病理部, 2)同放射線科): [一般講演] 胸部L線上特徴的陰影を呈し, TBLBにてBOOPと診断, RAの合併が考えられる1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 3) 鈴木 攻, 本多由幸, 知念正人, 増田康文, 上田征夫, 原文男, 佐藤雅史¹⁾, 渡部英之¹⁾ (1)第二病院放射線科): [一般講演] 咳嗽を主訴として発症し, 胸部CT像とTBLBよりhistiocytosis Xと診断した1例. 第400回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 4) 高橋るりか, 伊藤達也, 村沢恒男, 倉田文秋, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原文男: [一般講演] DICを合併し, HCV抗体陽性であった急性妊娠性脂肪肝と思われる1例. 第401回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 5) 清水由晴, 羽入田陽一郎, 藤井裕介, 松原貴規, 上田征夫, 原文男, 佐藤雅史¹⁾, 渡部英之¹⁾ (1)第二病院放射線科): [一般講演] Post aortic left innominate veinの1例. 第403回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 6) 羽入田陽一郎, 伊藤達也, 増田康文, 原田雄一, 関 純一, 鈴木 攻, 村沢恒男, 藤井裕介, 松原貴規, 上田征夫, 原文男: [一般講演] 単クローン性 γ グロブリン血症の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 7) 原田雄一, 嶋崎 譲, 藤井裕介, 上田征夫, 原文男, 佐藤雅史¹⁾, 渡部英之¹⁾, 米山浩英²⁾, 川並汪一²⁾ (1)第二病院放射線科, 2)同病理部): [一般講演] TBLB, BALにてカリニ肺炎と診断した1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 8) 倉田文秋, 嶋崎 譲, 原文男, 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 村上正洋¹⁾, 平田知己¹⁾, 本木洋一郎¹⁾, 平田正信¹⁾, 天野純治¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 疋田史典²⁾, 渡部英之²⁾, 島田洋一³⁾, 杉本季久造³⁾, 浮谷勝部³⁾, 川並汪一⁴⁾ (1)第二病院

外科,²⁾同放射線科,³⁾同麻酔科,⁴⁾同病理部):〔一般講演〕切除肺癌100例の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

- 9) 関 純一, 原 文男, 米山浩英¹⁾, 臼杆二郎¹⁾, 古田知之¹⁾, 川並汪一¹⁾(¹⁾第二病院病理部):〔一般講演〕実験的珪肺症早期における肺胞洗浄液中の細胞と組織学的変化の対比. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 原 文男, 池野廣幸¹⁾, 本間登志江¹⁾, 菅原 通¹⁾, 田村朋美¹⁾, 野本恵子¹⁾, (¹⁾第二病院中検):〔一般講演〕アミノグリコシド系抗生物質 Arbekacin (ARK) の MRSA に対する抗菌力の評価(第1報)臨床分離株200株について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 11) 原 文男, 田村朋美¹⁾, 菅原 通¹⁾, 本間登志江¹⁾, 野本恵子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔展示〕臨床分離菌に対する各種抗生物質の抗菌力について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 12) 原 文男, 菅原 通¹⁾, 田村朋美¹⁾, 本間登志江¹⁾, 野本恵子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔展示〕院内感染防止のための環境細菌検査について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 13) 原 文男, 菅原 通¹⁾, 田村朋美¹⁾, 本間登志江¹⁾, 野本恵子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔展示〕尿定量培養における CLED 培地単独化について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 14) 原 文男, 井上雅則¹⁾, 隠岐和美¹⁾, 荒井誠一¹⁾, 野本恵子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔展示〕全自動免疫化学分析装置 EL-1200における BMG, AFP, フェリチン測定についての基礎的検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 15) 原 文男, 隠岐和美¹⁾, 井上雅則¹⁾, 荒井誠一¹⁾, 野本恵子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔展示〕血液製剤の有効利用の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 16) 原 文男, 菊池英子¹⁾, 佐々木ひとみ¹⁾, 重川明子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔展示〕便潜血反応において化学的検査にて強陽性を呈したにもかかわらず免疫法にて陰性であった3例について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 17) 原 文男, 小伊藤保雄¹⁾, 福田節子¹⁾, 中島由美子¹⁾, 津金香代子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔展示〕サイトケラムレポートを臨床に報告しての経験. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 18) 原 文男, 村山和美¹⁾, 山賀節子¹⁾, 平野美子¹⁾, 玉手ひさ子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔展示〕Vector Magnitude 法による Late Potential 検査の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 19) 松原貴規, 立石淳一, 紛沢理人, 余宮きのみ, 羽入田陽一郎, 原 文男, 田島圭輔¹⁾, 池田 亮¹⁾, 渡辺 誠¹⁾(¹⁾第二病院整形外科):〔一般講演〕鶏目からガス壊疽を来し右下肢切断した糖尿病の1例. 第404回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 20) 嶋崎 譲, 原 文男, 佐藤雅史¹⁾, 山本博人¹⁾, 高橋政之¹⁾, 疋田史典¹⁾, 渡部英之¹⁾, 山岸嘉彦¹⁾, 米山浩英²⁾, 川並汪一²⁾(¹⁾第二病院放射線科,²⁾同病理部):〔一般講演〕カリニ肺炎をきっかけに診断された AIDS の1例. 第5回胸部放射線科研究会, 1991.
- 21) 原 文男, 本間登志江¹⁾, 菅原 通¹⁾, 田村朋美¹⁾, 野本恵子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔一般講演〕アミノグリコシド系抗生物質 Arebekacin (ABK) の MRSA に対する抗菌力の評価; 第2報 臨床分離株375株について. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 22) 原 文男, 田村朋美¹⁾, 菅原 通¹⁾, 本間登志江¹⁾, 野本恵子¹⁾, 池野廣幸¹⁾(¹⁾第二病院中検):〔一般講演〕MRSA 感染症に有効と思われる抗生物質10種の薬剤感受性の評価; 臨床分離株200株について. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 23) 知念正人, 松本茂之, 増田康文, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原 文男:〔一般講演〕74歳の老人に発症し, 皮膚瘻を合併した難治性膿胸の1例. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 24) 原田雄一, 清水由晴, 菊地隆介, 松原貴規, 村沢恒男, 上田征夫, 原 文男, 石田明彦¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 米山浩英²⁾, 川並汪一²⁾(¹⁾第二病院産婦人科,²⁾同病理部):〔一般講演〕妊娠5カ月に汎血球減少を来し敗血症(MRSA)にて死亡した一剖検例. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.

- 25) 村沢恒男, 清水由晴, 伊藤達也, 知念正人, 増田康文, 鈴木 攻, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原文男:〔一般講演〕慢性腎不全の血液透析における肺胞気動脈血酸素分圧較差の変動; 120例の分析と糖尿病の影響. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 26) 原田雄一, 嶋崎 讓, 藤井裕介, 上田征夫, 原文男, 佐藤雅史¹⁾, 渡部英之¹⁾, 川並汪一²⁾(¹⁾第二病院放射線科, ²⁾同病理部):〔一般講演〕経気管支生検, 気管支肺胞洗浄にてカリニ肺炎と診断した human immunodeficiency virus 症の1例. 第407回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 27) 上田征夫, 趙 莉欣¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 奥山 徹²⁾, 吉川公平³⁾, 村田 栄³⁾(¹⁾内科学第1, ²⁾明治薬科大, ³⁾田辺薬品研究所):〔一般講演〕犬の脱分極冠動脈における三種のクマリンのカルシウム拮抗作用; Diltiazem との比較. 日本薬理学会総会第65回, 1992.

[多摩永山病院内科]

研究概要

当科では虚血性心疾患, 高血圧症, 低血圧症などの循環器疾患を中心に, 脂質代謝, 薬剤科と共同による TDM などの臨床研究を行っている。

1) 循環器疾患: 万歩計組み込みホルター心電計, 心拍変動パワースペクトル解析, 24時間血圧計, 運動負荷試験, 冠動脈造影など他, 薬剤誘発試験中の心臓循環動態および生体内生理的活性物質を測定することにより, 虚血性心疾患および高血圧症での ST-T 変化や陰性 U 波の出現機序や病態の解明, 重症度の判定, 効果的治療法の選択などにつき研究中である。さらに, 本学第1内科と共同して無症候性心筋虚血の病態と予後, 狭心症および心筋梗塞の薬物療法などについても検討している。低血圧症については性格試験, 24時間血圧計, ホルター心電計, 心拍変動パワースペクトル解析などを用い愁訴の出現および治療による影響などにつき検討中である。

2) 脂質代謝: 各種脂質や生体内生理活性物質などを測定し, 動脈硬化症進行度との関係につき検討している。

3) 薬剤科との共同研究: より安全で有効な治療法確立のため TDM (therapeutic drug monitoring) を臨床に取り入れている。現在, 各種薬剤が気管支拡張薬の薬物動態に及ぼす影響やうっ血性心不全が薬物動態に及ぼす影響などについて研究を継続中である。

研究業績

論文

- 1) 加藤和三¹⁾, 大津文雄, 杉本恒明²⁾, 岸田 浩³⁾, 齊藤 勉³⁾, 川久保清⁴⁾, 石岡忠夫⁵⁾(¹⁾心臓血管研究所附属病院内科, ²⁾東京大学医学部第2内科, ³⁾内科学第1, ⁴⁾東京大学医学部保健学科, ⁵⁾江戸川病院高砂分院循環器科):〔原著〕労作狭心症における無症候性および有症候性心筋虚血発作に対する Atenolol と Diltiazem の効果; 多施設二重盲検交叉比較法による検討. 臨医薬, 7, 891~916, 1991.
- 2) 片山茂裕¹⁾, 折茂 肇²⁾, 大内尉義²⁾, 矢崎義雄³⁾, 沼野藤夫⁴⁾, 大竹 稔⁵⁾, 長澤紘一, 針谷吉人, 秦 葭哉⁶⁾, 横内正利⁷⁾, 飯塚哲司⁸⁾, 岡庭 孝⁸⁾, 高橋健一⁹⁾, 白井徹郎⁹⁾, 宮崎 滋¹⁰⁾, 松下 哲¹¹⁾, 上田清悟¹²⁾, 塚崎富雄¹²⁾, 井藤英喜¹³⁾, 井上潤一郎¹³⁾, 賀来 俊¹⁴⁾, 西山敬二¹⁵⁾(¹⁾埼玉医科大学第4内科, ²⁾東京大学医学部老年病学教室, ³⁾同第3内科, ⁴⁾東京医科歯科大学第3内科, ⁵⁾内科学第1, ⁶⁾慶応義塾大学医学部内科, ⁷⁾浴風会病院内科, ⁸⁾東京警察病院内科, ⁹⁾同多摩分院内科, ¹⁰⁾東京通信病院内科, ¹¹⁾東京都老人医療センター検査部, ¹²⁾同循環器科, ¹³⁾同内分泌科, ¹⁴⁾東京都多摩老人医療センター循環器科, ¹⁵⁾国立立川病院循環器科):〔原著〕ニフェジピン徐放製剤(セバミット®R)の老年者高血圧症患者の血圧日内変動に及ぼす影響. Geriatr. Med., 29, 773~784, 1991.
- 3) 今泉孝敬, 哲翁弥生, 前田昭太郎¹⁾, 塚原佳世子²⁾, 岩名敦子²⁾, 片山 勲³⁾(¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾同中央検査室, ³⁾埼玉医科大学第1病理):〔原著〕アミラーゼ産生性若年型肺癌の1例. Medicina, 28, 1089~1093, 1991.
- 4) 大津文雄, 岸田 浩¹⁾, 加藤和三²⁾(¹⁾内科学第1, ²⁾心臓血管研究所内科):〔原著〕安定型労作狭心症における

Treadmill 運動負荷試験の再現性. 心臓, 23 (特別号), 110~112, 1991.

- 5) 大木清司, 清野精彦¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾内科学第1): [原著] 慢性肝疾患における皮膚微小循環動態の病態生理学的研究. 脈管学, 31, 811~817, 1991.
- 6) 横山宗伯¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 五味潤誠³⁾, 前田昭太郎⁴⁾, 山本 鼎⁵⁾, 鈴木仁子, 長澤紘一, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾ 付属病院病理部, ³⁾胸部外科, ⁴⁾多摩永山病院病理部, ⁵⁾同放射線科): [報告] 診断に難渋した肺三重癌の1例. 日臨細胞会誌, 30, 1204~1205, 1991.
- 7) 長澤紘一: [総説] 血圧の日内変動と高血圧, 低血圧. 日医大誌, 58, 726~727, 1991.
- 8) 長澤紘一, 丸林啓子, 真鍋辰哉, 塚本 浩: [総説] 低血圧の予後. 循環器, 30, 468~475, 1991.
- 9) 針谷吉人, 長澤紘一, 北本 清¹⁾, 長澤俊彦¹⁾ (¹⁾杏林大学医学部第1内科): [原著] 高齢者の本態性高血圧症に対する塩酸デラプリル (アデカット) の有用性の検討. 多施設共同研究, 28, 2019~2025, 1991.
- 10) 長澤紘一, 大國眞一, 山中博之, 鈴木仁子, 亀山元帥: [総説] 低血圧; 私の診断, 治療・処方, 効果判定・評価. 治療, 74, 441~449, 1992.
- 11) 長澤紘一, 中原保裕¹⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科): [総説] Therapeutic drug monitoring (TDM) の臨床応用. 日医大誌, 59, 2~8, 1992.
- 12) 長澤紘一: [総説] 一週一話; 本態性低血圧症の診断と治療. 日医新報, 3539, 159, 1992.
- 13) 真鍋辰哉, 長澤紘一, 丸林啓子, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人: [原著] 塩酸ミドドリンの低血圧患者の血圧日内変動に及ぼす影響. 臨薬理, 23, 259, 1992.
- 14) 栗原広孝, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 中原保裕¹⁾, 吉岡優子¹⁾, 村田正弘¹⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科): [原著] Theophylline 血清中濃度に対する lomefloxacin の影響. 臨薬理, 23, 109, 1992.

著 書

- 1) Nagasawa, K.: [編集] The use of midodrine in orthostatic disorders; (New trends in autonomic nervous system research, basic and clinical integration. (Yoshikawa, M., Uono, M., Tanabe, H. and Ishikawa, ed.). P. 237~240, Excerpta Medica, Amsterdam-London-New York-Tokyo, 1991.
- 2) 大木清司, 早川弘一¹⁾, 宗像一雄¹⁾ (¹⁾内科学第1): [分担] 突然死. 心臓病学(細田瑳一, 杉本恒明編), p. 969~972, 南江堂, 1991.
- 3) 長野具雄, 筒井 仁¹⁾, 黒川浩史¹⁾, 古明地弘和¹⁾, 大須賀勝¹⁾, 寺田秀人¹⁾, 関山達也¹⁾, 赤池正博¹⁾, 里村克章¹⁾, 勝田悌実¹⁾, 荒牧琢己¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾内科学第1): [分担] 当科における肝硬変の成因別実態. 肝硬変の成因別実態(太田康幸, 原田 尚, 小林健一編). p. 42~45, 日本医学館, 1992.

学会発表

- 1) 長澤紘一, 丸林啓子, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 栗原広孝: [一般講演] 本態性低血圧患者の血圧日内変動; 心理テスト, 起立試験との関係. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 2) 鈴木 健, 大津文雄, 杉本雄治, 栗原広孝, 真鍋辰哉, 塚本 浩, 稲福睦美, 針谷吉人, 長澤紘一: [一般講演] 起立心電図における第II誘導 T 波減高機序; 体表面電位図による検討. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 3) Nagasawa, K., Suzuki, T., Ohtsu, F., Hariya, Y., Kurihara, H., Marubayashi, K. and Munakata, J.: [シンポジウム] The effect of midodrine hydrochloride on hourly blood pressure and heart rate in hypotensive patients. Minisymposium on treatment of supraventricular tachycardia, 4th International Symposium Cardiovascular Pharmacotherapy (Geneva), 1991.
- 4) 黒川浩史, 塚本 浩, 杉本雄治, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一: [一般講演] 肺炎を併発した健康成人発症サイトメガロウイルス単核球症の1例. 第400回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 5) 黒川浩史, 野村教宣, 鈴木 健, 針谷吉人, 長澤紘一, 中原保裕¹⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科): [一般講演] イセ

パマイシン (ISP) 1日1回大量投与方法が著効を呈した高齢者敗血症の1例. 第13回日本老年学会関東甲信越地方会, 1991.

- 6) 洪 芳樹, 筒井 仁¹⁾, 遠藤孝雄¹⁾, 里村克章¹⁾, 勝田悌実¹⁾, 荒牧琢己¹⁾, 奥村英正¹⁾ (¹⁾内科学第1): [一般講演] 広範な門脈内腫瘍塞栓を伴った胆管細胞癌の1例. 第214回日本消化器学会関東支部例会, 1991.
- 7) 名知仁子, 長澤紘一, 磯崎太一¹⁾, 石川博臣¹⁾, 林 瑞成¹⁾, 小川秀臣¹⁾, 諏訪喜宣¹⁾, 中山裕樹¹⁾, 佐々木茂¹⁾ (¹⁾多摩永山病院産婦人科): [一般講演] 成熟嚢胞性奇形腫に合併した自己免疫性溶血性貧血の1症例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 8) Nagasawa, K., Marubayashi, K., Kurihara, H., Suzuki, T., Ohtsu, F., Hariya, Y. and Hatta, S.: [シンポジウム] The effect of midodrine on hourly blood pressure in patients with orthostatic hypotension. Symposium on Autonomic Dysregulation. 7th European Congress of the International Union of Angiology and 3rd Mediterranean Congress of Angiology (Rhodes, Greece), 1991.
- 9) 塚本 浩, 大津文雄, 鈴木 健, 栗原広孝, 真鍋辰哉, 針谷吉人, 長澤紘一, 齊藤 勉¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科学第1): [一般講演] 労作狭心症における無症候性心筋虚血出現頻度と狭心症発作出現頻度・運動負荷試験成績との関係. 第12回ホルター心電図研究会, 1991.
- 10) 塚本 浩, 藤岡幹雄, 真鍋辰哉, 栗原広孝, 田中 隆, 杉木雄治, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一: [一般講演] Diclofenac sodium により気管支喘息発作と冠攣縮性狭心症が同時に誘発された1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第140回例会, 1991.
- 11) 大國眞一, 鈴木隆晴, 栗原広孝, 杉木雄治, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 前田昭太郎¹⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部): [一般講演] 多発性筋炎に橋本病を合併した1例. 第402回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 12) 名知仁子, 田中 隆, 洪 芳樹, 杉木雄治, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 磯崎太一¹⁾, 佐々木茂¹⁾ (¹⁾多摩永山病院産婦人科): [一般講演] 卵巣奇形腫に併発した自己免疫性溶血性貧血の1例. 第403回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 13) 長澤紘一: [新任教授特別講演] 血圧日内変動と高血圧・低血圧, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 14) 大國眞一, 鈴木 健, 大津文雄, 真鍋辰哉, 杉木雄治, 田中 隆, 洪 芳樹, 塚本 浩, 栗原広孝, 稲福睦美, 針谷吉人, 長澤紘一: [一般講演] 起立心電図における第II誘導 T波減高機序について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 15) 鈴木仁子, 長澤紘一, 横山宗伯¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 五味洸誠³⁾, 前田昭太郎⁴⁾, 山本 鼎⁵⁾ (¹⁾病理学第2, ²⁾付属病院病理部, ³⁾胸部外科, ⁴⁾多摩永山病院病理部, ⁵⁾同放射線科): [展示] 診断に難渋した肺3重癌の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 16) 山中博之, 平山悦之, 杉木雄治, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 前田昭太郎¹⁾, 壇 和夫²⁾, 早川弘一³⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部, ²⁾内科学第3, ³⁾内科学第1): [一般講演] 洞結節近傍に形質細胞の浸潤を認めた多発性骨髄腫の1例. 日本循環器学会, 関東甲信越地方会, 第141回例会, 1991.
- 17) Suzuki, T., Ohtsu, F., Inafuku, M., Manabe, T., Nagasawa, K., Kishida, H.¹⁾ and Hayakawa, H.¹⁾ (¹⁾1st Department of Internal Medicine, Nippon Medical School): [展示] Mechanism of decreased T wave amplitude in lead II on standing ECG in patients with neurocirculatory asthenia; Evaluation on body surface mapping. 15th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul, Korea), 1991.
- 18) Kurihara, H., Sugiki, Y., Ohtsu, F., Suzuki, T., Hariya, Y., Nagasawa, K. and Hayakawa, H.¹⁾ (¹⁾1st Dept. of Internal Med.): [展示] Role of autonomic function in patients with essential hypertension; Evaluation on ambulatory blood pressure monitoring and exercise test. 15th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul, Korea), 1991.
- 19) Ohtsu, F., Suzuki, T., Manabe, T., Nagasawa, K., Kishida, H.¹⁾ and Hayakawa, H.¹⁾ (¹⁾1st Dept. of Internal Med.): [展示] Compared variability of repeated treadmill exercise testing and efficacy of antianginal

- agents for individual patients with chronic stable angina. 15th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul, Korea), 1991.
- 20) Tanaka, T., Kim, E.M. Katoh, T., Nagasawa, K., Hayakawa, H.¹⁾ Tanaka, K. and Takano, T. (¹⁾1st Dept. of Internal Medicine): [展示] Clinical features of early and late atrioventricular block with acute myocardial infarction. 15th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul, Korea), 1991.
 - 21) 栗原広孝, 大國眞一, 黒木伸一, 杉木雄治, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 山本保博¹⁾, 早川弘一²⁾ (¹⁾多摩永山病院救命救急センター, ²⁾内科学第1): [一般講演] ダウン症候群に一過性に完全房室ブロックを合併した1例. 第404回日本内科学会関東地方会, 1991.
 - 22) 栗原広孝, 大津文雄, 鈴木 健, 真鍋辰哉, 塚本 浩, 長澤紘一, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科学第1): [一般講演] 運動負荷試験成績における変動幅と治療後の改善度よりみた抗狭心症薬の評価法. 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
 - 23) 鈴木 健, 大津文雄, 栗原広孝, 真鍋辰哉, 塚本 浩, 藤岡幹雄, 大國眞一, 針谷吉人, 長澤紘一, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科学第1): [一般講演] 心筋梗塞患者の運動負荷時 ST・T 上昇機序の体表面電位図法による検討. 第8回日本心電図学会学術集会, 1991.
 - 24) 真鍋辰哉, 長澤紘一, 丸林啓子, 鈴木 健, 大津文雄: [一般講演] 塩酸ミドドリンの低血圧患者の血圧日内変動に及ぼす影響. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
 - 25) 栗原広孝, 鈴木 健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 中原保裕¹⁾, 吉岡優子¹⁾, 村田正弘¹⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剂科): [一般講演] Theophylline 血清中濃度に対する lomefloxacin の影響. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
 - 26) 鈴木 健, 大津文雄, 大國眞一, 藤岡幹雄, 真鍋辰哉, 栗原広孝, 針谷吉人, 長澤紘一, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科学第1): [一般講演] インピーダンス法による心筋梗塞回復期における運動負荷時心機能の評価. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
 - 27) 栗原広孝, 大津文雄, 真鍋辰哉, 長澤紘一, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科学第1): [一般講演] 労作狭心症における運動負荷試験成績の変動幅と治療後の改善度; 老齢者と若年者の比較. 第33回日本老年医学会総会, 第17回日本老年学会総会, 1991.
 - 28) 山中博之, 佐野純子, 大津文雄, 鈴木 健, 杉木雄治, 小宮山徹三, 子島 潤, 田中 隆, 洪 芳樹, 長澤紘一, 前田昭太郎¹⁾ (¹⁾多摩永山病院病理部): [一般講演] 剖検時血液培養陽性例の検討. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
 - 29) 大津文雄: [シンポジウム] 労作狭心症患者における無症候性心筋虚血発作に対する β 遮断薬. Ca 拮抗薬の有有用性と其の差異; 無症候性心筋虚血の治療をめぐって. 第1回循環器セラピューティックフォーラム, 1991.
 - 30) 亀山元師, 山中博之, 田中 隆, 洪 芳樹, 子島 潤, 杉木雄治, 鈴木 健, 大津文雄, 長澤紘一, 早川弘一¹⁾ (¹⁾内科学第1): [一般講演] 熱中症により急性心筋梗塞様心電図変化を示した early repolarization syndrome の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第142回例会, 1991.
 - 31) 真鍋辰哉, 鈴木 健, 大津文雄, 長澤紘一: [一般講演] 糖尿病患者におけるリポプロテイン (a) との関連; 虚血性心疾患および糖尿病性腎症, 糖尿病性網膜症について. 第26回日本成人病学会, 1992.
 - 32) 大木清司, 鈴木 健, 大津文雄, 山中博之, 大國眞一, 真鍋辰哉, 栗原広孝, 長澤紘一: [一般講演] 心筋梗塞患者における運動負荷試験中止理由と心機能の関係; インピーダンス法による検討. 第8回心不全研究会, 1992.
 - 33) 名知仁子, 真鍋辰哉, 栗原広孝, 洪 芳樹, 杉木雄治, 山中博之, 大國眞一, 田中 隆, 小宮山徹三, 鈴木 健, 大津文雄, 長澤紘一: [一般講演] 癌化学療法による顆粒球減少症に対する G-CSF の使用経験. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
 - 34) 大木清司, 栗原広孝, 杉木雄治, 鈴木 健, 大津文雄, 長澤紘一, 中山恵二¹⁾, 伊東文行¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 荒牧琢己³⁾ (¹⁾多摩永山病院皮膚科, ²⁾同病理部, ³⁾内科学第1): [一般講演] 著明な肝機能障害を伴った Weber-Christian 病の1例. 第407回日本内科学会関東地方会, 1992.

2. 内科学第二講座

[第一病院内科]

研究概要

内科学第二講座の主要研究テーマは脳血管障害の病態を明らかにすることであり、そこから得られた最新の知見を治療に応用することを目標としている。その研究は動物を用いた実験的アプローチおよび臨床的アプローチによって行われている。

実験的研究では、脳卒中の急性期において NMR, オートラジオグラフィーおよびマイクロアッセイ法等の手法を用いて局所脳循環代謝を測定して、その病態について検討を行っている。また、近年、虚血性神経細胞壊死のメカニズムとして、虚血後数日を経て突然に神経細胞壊死をきたす遅発性神経壊死の現象が知られるようになった。この現象は脳血管性痴呆の発症と関連深いものと考えられ、当教室の新しい研究テーマとなっている。遅発性神経壊死の現象においては、温度の影響、各種薬剤の保護効果および stress protein の出現に関して研究を行っている。

一方、臨床においては、今後高齢人口の比率の上昇に伴って増加の予想される痴呆の研究が PET, MRI, SPECT を使用して行われている。また、脳血管障害の予知・予防という観点より脳血管障害の重大な基礎疾患である高血圧、高脂血症の研究が、疫学的および細胞免疫学的な方面より行われている。

さらに本教室では腎臓研究グループがある。従来行われてきた透析を中心とした研究に加え、平成元年度より腎移植が開始され、そのスタッフも充実され、術前、術後管理を含めた臨床的研究がなされている。

以上、本教室には四つの研究グループがあり、国内外の関係学会において幅広く、活発な活動を行い、多くの論文を発表している。

研究業績

論文

- 1) 赫 彰郎, 酒寄 修, 北村 伸:〔原著〕アルツハイマー型痴呆の PET・SPECT. 老年期痴呆, 5, 77~88, 1991.
- 2) 海江田 亮:〔原著〕MRI における脳室周囲高信号域の臨床的意義に関する研究;特に痴呆患者について. 日医大誌, 58, 209~218, 1991.
- 3) 飯野靖彦:〔総説〕腎移植と高血圧. 医学のあゆみ, 157, 229~229, 1991.
- 4) 小林陽二, 赫 彰郎:〔原著〕柴苓湯の併用が有効であったと考えられる chronic polycyclic system 型を呈する成人 Still 病の 1 例. 日東洋医誌, 4, 227~231, 1991.
- 5) 片山泰朗, 赫 彰郎:〔総説〕脳浮腫の治療薬. 日内会誌, 80, 55~60, 1991.
- 6) 赫 彰郎, 島津邦男¹⁾, 清水 純, 高木康行²⁾, 山崎峰雄¹⁾埼玉医大神経内科, ²⁾済生会中央病院神経内科):〔総説〕;脳血管障害;最近の治療をめぐって. 日内会誌, 80, 91~102, 1991.
- 7) 小林陽二:〔原著〕柴苓湯の併用が有効であったと考えられる chronic polycyclic system 型を呈する成人型 Still 病の 1 例;難病難症の漢方治療. 現代東洋医学臨時増刊, 4, 217~220, 1991.
- 8) 赫 彰郎, 片山泰朗, 神谷達司, 柏木史彦:〔原著〕脳梗塞と血栓溶解療法. カレントセラピー, 9, 66~70, 1991.
- 9) 赫 彰郎, 片山泰朗, 神谷達司, 柏木史彦:〔総説〕血栓溶解薬. 循環科学, 11, 446~450, 1991.
- 10) 稲村憲治, 赫 彰郎:〔総説〕脳虚血の治療. 病態生理, 10, 383~390, 1991.
- 11) 葉山修陽, 飯野靖彦:〔総説〕高カリウム血性周期性四肢麻痺. 総合臨床, 40, 895~898, 1991.
- 12) 福生吉裕, 赫 彰郎:〔総説〕脳血管障害と経管栄養. 栄養一薬価と治療, 8, 147~152, 1991.
- 13) 山室 学, 湯浅龍彦¹⁾, 宮武 正¹⁾(¹⁾新潟大学神経内科):〔総説〕MRS の臨床応用. 臨床化学, 27, 580~590,

- 1991.
- 14) 飯野靖彦：〔総説〕透析液と抗凝固薬の進歩. 医学のあゆみ, 159, 65~68, 1991.
 - 15) 飯野靖彦：〔総説〕Q & A 偽性パーター症候群. 腎と透析, 30, 742~743, 1991.
 - 16) 赫 彰郎, 海江田 亮：〔総説〕TIA・一過性脳虚血発作. 内科, 67, 1372~1374, 1991.
 - 17) 福生吉裕：〔総説〕動脈硬化発症機構研究の最前線；Scavenger receptor を中心に. 日医大誌, 58, 345~349, 1991.
 - 18) 手塚博幸, 加部直美, 赫 彰郎：〔原著〕Prednisolone による群発頭痛の予防的治療. 頭痛研究会会誌, 18, 24~26, 1991.
 - 19) 花島 浩¹⁾ (倭成病院内科)：〔原著〕水泳により拍動性頭痛を発症する2症例. 頭痛研究会会誌, 18, 20~21, 1991.
 - 20) 片山泰朗, 柏木史彦, 赫 彰郎：〔総説〕脳浮腫. 循環制御, 12, 223~228, 1991.
 - 21) 片山泰朗, 桐野高明¹⁾, 田村 晃¹⁾, 松本昌泰²⁾他¹⁾ (帝京大学脳神経外科, ²⁾大阪大学第1内科)：〔総説〕臓器虚血の特異性 (脳虚血). 循環制御, 12, 239, 1991.
 - 22) Fukuo, Y., Nagashima, M., Saito, M., Kobayashi, Y., Terashi, A., Nakama, K.¹⁾, Kameyama, K.²⁾ and Asano, G.²⁾ (¹⁾実験動物, ²⁾病理学第2)：〔原著〕Effects of simvastatin on serum lipids and atherosclerosis in whhl rabbits. Clinical Therapeutics, 13, 417~424, 1991.
 - 23) 竹内正至, 飯野靖彦：〔総説〕高Na血症の是正；輸液療法の実際. Medicina, 28, 1019~1021, 1991.
 - 24) 柳澤正志, 赫 彰郎：〔総説〕X線CT入門. Aging & Life-Care, 6, 6~7, 1991.
 - 25) 永積 惇, 赫 彰郎：〔総説〕脳血管性痴呆の予防と治療. 現代医療, 23, 1952~1959, 1991.
 - 26) Katsura, K., Ekholm, A.¹⁾, Asplund, B.¹⁾ and Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾University of Lund)：〔原著〕Extracellular pH in the brain during ischemia ; Relationship to the severity of lactic acidosis. J. Cereb. Blood Flow Metab., 11, 597~599, 1991.
 - 27) 飯野靖彦：〔総説〕Q & A エリスロポイエチンと高血圧. 腎と透析, 32, 429~430, 1991.
 - 28) 赫 彰郎, 酒寄 修：〔総説〕Leuko-araiosisにおける脳循環代謝. 医学のあゆみ, 158, 588~592, 1991.
 - 29) 赫 彰郎, 濱本 真¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター)：〔総説〕超高齢者の脳虚血. 総合臨床, 40, 1909~1911, 1991.
 - 30) 添田敏幸, 赫 彰郎：〔総説〕脳血管障害慢性期の病態と治療. PTM, 5, 12~12, 1991.
 - 31) 福生吉裕：〔総説〕脂質代謝, その診断とポイント. Medicament News, 8, 9~11, 1991.
 - 32) 大山雅史, 赫 彰郎：〔総説〕痴呆をきたす疾患. ブレインナーシング, 7, 9~18, 1991.
 - 33) 赫 彰郎, 北村 伸：〔総説〕慢性脳循環不全症 (脳動脈硬化症) と脳梗塞の脳循環. 脳神経, 43, 823~832, 1991.
 - 34) 片山泰朗：〔総説〕脳血管障害慢性期の治療. Modern Physician, 11, 1381, 1991.
 - 35) 五十嵐博中, 片山泰朗：〔総説〕ACE阻害剤. 臨床と薬物治療, 10, 806~809, 1991.
 - 36) 赫 彰郎：〔総説〕高血圧・動脈硬化の予防が脳卒中の防止に結びつく. 食生活, 85, 47~51, 1991.
 - 37) 葉山修陽, 飯野靖彦：〔総説〕NSAIDs腎症. 腎と透析, 31, 472~475, 1991.
 - 38) 山崎峰雄, 五十嵐博中, 濱本 真¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 桝中征哉²⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾国立精神神経センター神経研究所微細構造研究部)：〔症例報告〕精神異常を伴う痴呆で発症し, 経過中に悪性症候群を呈したミトコンドリア脳筋症の1例. 臨神経, 31, 1219~1223, 1991.
 - 39) 片山泰朗, 赫 彰郎：〔総説〕脳血管障害；特殊な病態での降圧療法. 臨床医, 17, 2204~2207, 1991.
 - 40) 福生吉裕, 本田治久, 小林陽二, 赫 彰郎：〔総説〕脳血管障害における静脈・経腸栄養. 日本臨床 (増刊号), 49, 321~324, 1991.
 - 41) 福生吉裕：〔総説〕経管栄養と脂質代謝；脳卒中患者の経管栄養も含めて. 油化学, 40, 923~930, 1991.

- 42) 飯野靖彦, 丸茂文昭¹⁾, 小笠原 陽¹⁾, 桜井俊一郎¹⁾, 井上 篤¹⁾(¹⁾東京医科歯科大学第2内科): 低分子ヘパリン(LHN-1)の血液透析における抗凝固薬としての臨床効果. 腎と透析, 31, 1123~1129, 1991.
- 43) 山崎峰雄, 川井 充¹⁾, 中瀬浩史¹⁾(¹⁾東京大学脳研究施設神経内科): [症例報告] 緩徐進行性に四肢筋力低下をきたした1例. 内科, 68, 1132~1136, 1991.
- 44) Kashiwagi, F., Katayama, Y., Shimizu, J., Kamiya, T. and Terashi, A.: [原著] Effect of a new hyperosmotic agent, NIK-242 injection, on brain content, metabolites, and cerebral blood flow in cerebral ischemia in the spontaneously hypertensive rat. Jpn. Circ. J., 55, 1246~1251, 1991.
- 45) Fukuo, Y.: [原著] Atherosclerosis and thymus function; Inhibition of foam cell formation by thymus extracts. Recent Advances in Cancer and Vascular Researches, 2, 42~43, 1991.
- 46) 福生吉裕: [総説] 外来で質問されることの多い疾患・病態; 高脂血症. 治療, 73, 2206~2210, 1991.
- 47) 酒寄 修, 赫 彰郎, 漆山和夫¹⁾, 永積 惇, 北村 伸(¹⁾栃木県南総合病院内科): [原著] 脳梗塞急性期のhemodilution therapy. 神経治療学, 9, 69~75, 1992.
- 48) Folbergrova, J.¹⁾, Memezawa, H., Smith, M.-L.¹⁾ and Siesjö, B.K.¹⁾(¹⁾University of Lund): [原著] Focal and perifocal changes in tissue energy state during middle cerebral artery occlusion in normo- and hyperglycemic rats. J. Cereb. Blood Flow Metab., 12, 25~33, 1992.
- 49) 片山泰朗: [総説] 脳虚血における選択的脆弱性と遅発性神経壊死. 日医大報, 202, 21~22, 1992.
- 50) 赫 彰郎, 片山泰朗, 白田和弘: [総説] 脳血栓溶解療法におけるt-PAとpro-UKの併用療法. Prog. Med., 12, 157~160, 1991.
- 51) 赫 彰郎: [総説] 脳血管性痴呆に関する最近の話題と問題点. 老年精医, 13, 9~15, 1992.
- 52) 酒寄 修, 赫 彰郎: [総説] アルツハイマー型痴呆の画像診断. 日医師会誌, 107, 325~328, 1992.
- 53) Hasegawa, T.¹⁾, Koyama, J., Takagi, S.¹⁾, Nishimaki, K.¹⁾, Morita, K.¹⁾ and Nakajima, S.¹⁾(¹⁾Institute of Gerontology): [原著] Plasma homocysteine levels in rabbits fed a high cholesterol diet. 動脈硬化, 20, 57~60, 1992.
- 54) 塚本雄介¹⁾, 飯野靖彦, 丸茂文昭²⁾(¹⁾北里大学内科, ²⁾東京医科歯科大学第2内科): [原著] 保存期慢性腎不全の腎性貧血に対するエポエチンペーターの多施設臨床研究. 臨牀透析, 8, 123~137, 1992.
- 55) Iino, Y., Ohzono, E., Kawabe, M., Matsunobu, S., Takeuchi, N., Hayama, N., Hara, K., Terashi, A., Suzuki, S. and Amemiya, H.: [原著] Improvement of renal function in transplanted kidneys with a new immunosuppressive drug, 15-deoxyspergualin. Transplantation Proceeding, 24, 1381~1382, 1992.
- 56) 荒木 宏, 福生吉裕, 小林陽二, 永島幹夫, 赫 彰郎: [原著] 慢性期脳梗塞患者におけるアポEの遺伝的表現型の解析. 脳卒中, 14, 18~24, 1992.
- 57) 赫 彰郎, 小宮山 佐: [原著] 脳梗塞の検査の臨床的意義 PET. Clinical Neuroscience, 10, 57~60, 1992.
- 58) 勝又俊称, 北村 伸, 稲村憲治, 赫 彰郎: [原著] Hemibalismusの臨床所見とCT所見との比較検討. 日老医誌, 29, 123~128, 1992.
- 59) 南澤宏明: [総説] 脳虚血における脳内温度と体温の影響; 虚血性神経細胞障害の温度依存性. 医学のあゆみ, 160, 501, 1992.
- 60) 立花米一¹⁾, 木村 衛¹⁾, 平田俊吉²⁾, 今井博彦, 手塚博幸, 赫 彰郎(¹⁾目白第二病院, ²⁾杏林大学医学部第2内科): [症例報告] 偽性副甲状腺機能低下症 type II の1例. 東京医師会誌, 44, 58~61, 1992.
- 61) 片山泰朗, 赫 彰郎: [原著] 脳虚血における選択的脆弱性. 現代医療, 24, 1027~1032, 1992.
- 62) 南澤宏明, 赫 彰郎: [原著] 脳内温度と虚血性細胞障害. 現代医療, 24, 1049~1054, 1992.
- 63) 赫 彰郎, 手塚博幸: [総説] 視床部脳血管障害例にみられる中枢性疼痛, しびれ. Geriatric Medicine, 30, 377~384, 1992.
- 64) 神原礼文, 福生吉裕, 羽田和正, 長谷川卓志¹⁾, 赫 彰郎(¹⁾老人病研究所): [原著] 音波ストレスの脂質代謝

- および動脈硬化に及ぼす影響について； γ -オリザノールの抗動脈硬化作用。動脈硬化，20，159～163，1992。
- 65) 中島敦夫，飯野靖彦：〔総説〕急性腎不全の血液浄化法の選択。Modern Physician，12，361～363，1992。

著 書

- 1) 赫 彰郎：〔分担〕脳血管性痴呆の予知“モダンクリニカルポイント内科”（吉村正治・亀田治男編集）。p. 258～259，金原出版，1991。
- 2) 赫 彰郎：〔分担〕頭“体に効く名医の話”（川畑英理花編集協力）。p. 31～35，オフィス GEN，1992。
- 3) 赫 彰郎：〔分担〕もやもや病“こんな病気がふえてきた”（週刊朝日編者）。p. 278～283，朝日新聞社，1991。
- 4) 赫 彰郎：〔分担〕一過性脳虚血発作“今日の治療指針”（日野原重明，阿部正和監修）。p. 198～198，医学書院，1992。
- 5) Siesjö, B.K.¹⁾, Ekuholm, A.¹⁾, Katsura, K., Memezawa, H., Ohta, S.²⁾ and Smith, M-L¹⁾ (¹⁾University of Lund, ²⁾Akita University School of Medicine)：〔共著〕The type of ischemia determines the pathophysiology of brain lesions and the therapeutic response to calcium channel blockade “pharmacology of cerebral ischemia 1990” (Kriegelstein, J., Oberpichler, H. eds.), p. 79～88, Wissenschaftliche Verlagsgesellschaft mbH Stuttgart, 1991。
- 6) Siesjö, B.K.¹⁾ and Memezawa, H. (¹⁾University of Lund)：〔共著〕The ischemic penumbra ; Fact or fiction? “Thrombolytic therapy in acute ischemic stroke” (Hacke et. al), Springer-Verlag Berlin Heidelberg, 1991。
- 7) 飯野靖彦：〔分担〕脱水“初心者のための症状から病歴をとるコツ”（黒須康彦編）。p. 119～121，新興医学出版社，1991。
- 8) 飯野靖彦：〔分担〕妊娠と腎“今日の治療針”（日野原重明，阿部正和監修）。p. 434，医学書院，1992。
- 9) 飯野靖彦：〔分担〕高カリウム血症“今日の診断指針，第3版”（亀山正邦編）。p. 89，医学書院，1992。
- 10) 松信精一，飯野靖彦：〔分担〕腎不全“内科診療ポケットブック”（廣瀬俊一編）。p. 436～442，金原出版，1992。

学会発表

- 1) 片山泰朗，赫 彰郎，柏木史彦，飯田 恵，於保倫之助，五十嵐博中：〔一般講演〕脳血管障害に関する研究：脳虚血における血小板の虚血性増悪因子としての関与の検討。第88回日本内科学会，1991。
- 2) 福生吉裕，小林陽二，永島幹夫，羽田和正，赫 彰郎：〔一般講演〕脳梗塞急性期患者における Post heparin lipolytic activity (PHLA) の検討。第88回日本内科学会，1991。
- 3) 赫 彰郎，永積 惇，北村 伸，氏家 隆，海江田 亮，酒寄 修：〔シンポジウム〕脳血管性痴呆の予防と治療。第23回日本医学会総会，1991。
- 4) Tachibana, Y.¹⁾, Kimura, M.¹⁾, Imai, H., Tezuka, H. and Terashi, A. (¹⁾Department of Internal Medicine Mejiro 2nd Hospital)：〔一般講演〕Tap-induced blink reflex and CNS dysfunction under hypersmolality. The Ninth Annual Symposium of the Shogun Medical Society (San Francisco), 1991。
- 5) 片山泰朗：〔シンポジウム〕脳浮腫；臓器虚血の特異性（脳虚血）。日本循環制御医学会，1991。
- 6) Hayama, N., Wang, W.¹⁾ and Schneider, E.G.¹⁾ (¹⁾University of Tennessee)：〔一般講演〕Are cell volume changes critical for osmolality-induced aldosterone secretion? 75th Annual Meeting Federation of American Societies for Experimental Biology (Atlanta), 1991。
- 7) 長 由貴，須賀 優，於保倫之助，海江田 亮，羽田和正，今津 修，氏家 隆，原 一男，赫 彰郎，山田宣隆¹⁾ (¹⁾第一病院病理部)：〔一般講演〕19年経過した大腿部神経鞘腫を発生母地とした悪性化した悪性神経鞘腫の1例。第400回日本内科学会関東地方会，1991。
- 8) 中沢 勝，海江田 亮，坂本静樹，北村 伸，永積 惇，赫 彰郎：〔一般講演〕事象関連電位 P300による知的

機能評価. 第32回日本神経学会総会, 1991.

- 9) 萩原万里子¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 神谷達司¹⁾, 濱本 真¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 津島隆也²⁾, 赫 彰郎 (¹⁾ 東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾同健康管理室): [一般講演] アルツハイマー型老年痴呆における $\alpha 1$ -アンチキモトリプシンの臨床的検討. 第32回日本神経学会総会, 1991.
- 10) 酒寄 修, 小宮山 佐, 北村 伸, 赫 彰郎: [一般講演] 脳室周囲高信号域の脳循環代謝に与える影響; 痴呆の程度による変化について. 第32回日本神経学会総会, 1991.
- 11) 濱本 真¹⁾, 神谷達司¹⁾, 萩原万里子¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾ (¹⁾ 東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] アルツハイマー型痴呆の IMP-SPECT 初期変化. 第32回日本神経学会総会, 1991.
- 12) 臼田和弘, 稲村憲治, 南澤宏明, 片山泰朗, 赫 彰郎: [一般講演] 脳虚血後の超急性期における神経細胞障害; 高血糖モデルでの検討. 第32回日本神経学会総会, 1991.
- 13) 木村俊介, 片山泰朗, 柏木史彦, 稲村憲治, 赫 彰郎: [一般講演] Indomethacin の頭蓋温度調節下における Gerbil 海馬 CAI の遅発性神経細胞障害に対する効果. 第32回日本神経学会総会, 1991.
- 14) 手塚博幸, 加部直美, 赫 彰郎: [一般講演] 群発頭痛に対する prednisolone の予防的治療効果. 第32回日本神経学会総会, 1991.
- 15) 北村 伸, 小宮山 佐, 酒寄 修, 荒木俊彦, 赫 彰郎: [一般講演] アルツハイマー病患者の小脳の血流と酸素代謝についての検討. 第32回日本神経学会総会, 1991.
- 16) 長尾毅彦¹⁾, 濱本 真¹⁾, 神田明美¹⁾, 萩原万里子¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 吉村正博²⁾ (¹⁾ 東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾ 東京都老人総合研究所臨床病理): [一般講演] IgA- κ 型 M 蛋白血症に合併した慢性多発ニューロパシーの 1 例. 第13回日本老年医学会関東甲信越地方会, 1991.
- 17) 永積 惇: [特別講演] 脳卒中と高血圧症. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 18) 中島敦夫, 布施 環, 大村直子, 羽田和正, 氏家 隆, 葉山修陽, 飯野靖彦, 永積 惇, 原 一男, 赫 彰郎: [一般講演] DEPP (double filtration plasmapheresis) を施行したグループ腎炎 (IV型) の 1 症例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 19) 栗原 怜¹⁾, 清水 章¹⁾, 鳴海福星¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 河辺満彦, 葉山修陽, 秋葉 隆²⁾, 桑山道雄²⁾, 坂本尚登²⁾, 久保田俊郎³⁾ (¹⁾ 春日部秀和病院腎センター, ²⁾ 東京医科歯科大学第 2 内科, ³⁾ 同産婦人科): [一般講演] CAPD 患者の血性排液; LH-RH agonist 治療で軽快した卵巣チョコレート嚢腫の 1 例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 20) 竹内正至, 松信精一, 大藪英一, 河辺満彦, 葉山修陽, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 山田宣孝¹⁾, 馬杉洋三¹⁾ (¹⁾ 第一病院病理部): [一般講演] Sulfadiazine silver により惹起されたと思われるネフローゼ症候群の 1 症例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 21) 葉山修陽, 河辺満彦, 栗原 怜¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 清水 章²⁾, 山中宣昭²⁾ (¹⁾ 春日部秀和病院腎臓内科, ²⁾ 病理学第 1): [一般講演] 経時的腎生検を施行し得た IgA 腎症と膜性腎症の 1 合併例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 22) 松信精一, 飯野靖彦, 大藪英一, 鶴岡秀一, 中村 正, 竹内正至, 北村博司, 河辺満彦, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎, 秋丸琥甫¹⁾, 日置正文¹⁾, 家所良夫¹⁾, 松島伸治¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 中島興治²⁾ (¹⁾ 外科学第 2, ²⁾ 中島病院): [一般講演] 小腸穿孔を合併した生体腎移植の 1 例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 23) 竹内正至, 松信精一, 大藪英一, 河辺満彦, 葉山修陽, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 山田宣孝¹⁾, 馬杉洋三¹⁾ (¹⁾ 第一病院病理部): [一般講演] Sulfadiazine silver により惹起されたと思われるネフローゼ症候群の 1 症例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 24) 永島幹夫, 福生吉裕, 赫 彰郎, 松井 南¹⁾, 野村信夫¹⁾, 石崎良太郎¹⁾ (¹⁾ 老人病研究所分子生物学部門): [一般講演] 単球性株細胞の PDGF 発見に及ぼす cAMP の影響について. 第23回日本動脈硬化学会総会, 1991.
- 25) 永島幹夫, 福生吉裕, 神原礼文, 赫 彰郎, 松井 南¹⁾, 野村信夫¹⁾, 石崎良太郎¹⁾ (¹⁾ 老人病研究所分子生物学部

- 門)：〔一般講演〕 RT-PCR 法による PDGFmRNA の検出。第23回日本動脈硬化学会総会，1991。
- 26) 長谷川卓志¹⁾，小山潤三，西槇貴代美¹⁾，中島信治¹⁾ (¹⁾老人病研究所)：〔一般講演〕高コレステロール食家兔におけるアルギニン負荷試験について。第23回日本動脈硬化学会総会，1991。
- 27) 長谷川卓志¹⁾，小山潤三，西槇貴代美¹⁾，中島信治¹⁾ (¹⁾老人病研究所)：〔一般講演〕糖尿病患者における血中 homocysteine 濃度について。第23回日本動脈硬化学会総会，1991。
- 28) 西槇貴代美¹⁾，長谷川卓志¹⁾，小出潤三，森田恵子¹⁾，片山博徳¹⁾，清水 一¹⁾，枝川聖子¹⁾，大網 弘¹⁾，中島信治¹⁾ (¹⁾老人病研究所)：〔一般講演〕Methionine 多量投与の脳及血管系に及ぼす影響についての研究 (II)。第23回日本動脈硬化学会総会，1991。
- 29) Obo, R., Katayama, Y., Soeda, T., Minamisawa, H., Iida, S., Kashiwagi, F., Muramatsu, H. and Terashi, A. : 〔一般講演〕 Relationship between rCBF and ICGU during the development of hypertension in SHRSP. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 30) Katayama, Y., Welsh, F.A.¹⁾, Terashi, A. and Kashiwagi, F. (¹⁾University of Pennsylvania) : 〔一般講演〕 Secondary energy failure and pyruvate dehydrogenase activities after cerebral ischemia in hyperglycemic gerbils. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 31) Inamura, K., Terashi, A. and Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾University of Lund) : 〔一般講演〕 Pre-and post-synaptic changes in development of damage following recovery from seizure and hyperglycemic ischemia ; A “recovery damage”. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 32) Igarashi, H., Yuasa, T.¹⁾, Yamamuro, M., Katayama, Y., Terashi, A. and Miyatake, T.¹⁾ (¹⁾University of Niigata) : 〔一般講演〕 Alteration of glutamate and glutamine synthesis from glucose following cerebral ischemia traced by ¹³C-magnetic resonance spectroscopy. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 33) Katsura, K., Ekholm, A.¹⁾ and Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾University of Lund) : 〔一般講演〕 : Compartmentation of H⁺ during complete ischemia ; An appraisal of the lactate/PCO₂ relationship. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 34) Sakayori, O., Terashi, A., Kitamura, S., Nagazumi, A., Ujike, T., Sakamoto, S., Kaieda, M., Araki, T., Komiyama, T. and Iio, M.¹⁾ (¹⁾National Nakano Hospital) : 〔一般講演〕 Periventricular hyperintensity regions and ischemia in multiple infarction. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 35) Iida, S., Kashiwagi, F., Obo, R., Inamura, K., Shimizu, J., Katayama, Y., and Terashi, A. : 〔一般講演〕 The effect of three ion channel blockers on ischemic neuronal death. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 36) Kashiwagi, A., Katayama, Y. and Terashi, A. : 〔一般講演〕 Protective effect of the protease inhibitors (urinastatin, gabexate mesilate and nafamostat mesilate) on brain edema and energy metabolism following cerebral ischemia and hypoxia. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 37) Katayama, Y., Kamiya, T., Kashiwagi, F., Iida, S., Obo, R., Kimura, S., Muramatsu, H. and Terashi, A. : 〔一般講演〕 Effects of tissue plasminogen activator on arachidonic acid-induced cerebral ischemia in spontaneously hypertensive rats. XV International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.
- 38) Memezawa, H., Smith, M.L.¹⁾, Terashi, A. and Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾University of Lund) : 〔一般講演〕 Ischemic penumbra in a model of middle cerebral artery occlusion in the rat. The XVth International Symposium

on Cerebral Blood Flow and Metabolism (Miami), 1991.

- 39) 三品雅洋, 南澤宏明, 北村 伸, 赫 彰郎, 中村兼一¹⁾ (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科): [一般講演] 左上肢単麻痺と左外転神経麻痺を呈した咽後膿瘍及び脊髄硬膜外膿瘍の合併例. 第117回日本神経学会関東地方会, 1991.
- 40) 濱本 眞¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 萩原万里子¹⁾, 宮崎徳藏¹⁾, 吉村正博²⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾東京都老人総合研究所臨床病理): [一般講演] 錐体路変性が目だち, 前角細胞変性が転度であった ALS の 1 剖検例. 第117回日本神経学会関東地方会, 1991.
- 41) 柏木史彦, 片山泰朗, 五十嵐博中, 飯田 恵, 於保倫之助, 南澤宏明, 村松浩美, 赫 彰郎: [一般講演] 新しい dihydropyridine 系 Ca⁺⁺拮抗薬の実験的脳虚血に及ぼす効果; 生存率, 脳浮腫, 脳代謝および T₁緩和時間に関する検討. 第14回脳浮腫研究会, 1991.
- 42) 小宮山 佐, 酒寄 修, 荒木俊彦, 北村 伸, 赫 彰郎, 飯尾正明¹⁾ (¹⁾国立中野病院): [一般講演] 多発梗塞性痴呆およびアルツハイマー病における白質脳循環代謝の検討. 第4回日本老年精神医学会, 1991.
- 43) 葉山修陽, 飯野靖彦, 松信精一, 中村 正, 竹内正至, 清水光義, 栗原 怜¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 勝野 浩²⁾, 前田きみ子²⁾ (¹⁾春日部秀和病院, ²⁾佼成病院): [一般講演] 脳出血例に CAPD を施行した透析患者の臨床例について. 第36回日本透析療法学会, 1991.
- 44) 河辺満彦, 飯野靖彦, 竹内正至, 松信精一, 大園英一, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎: [一般講演] 1.25(OH)₂D₃ pulse therapy. 第36回日本透析療法学会, 1991.
- 45) Fukuo, Y.: [シンポジウム] Research into lipids Chiang Mai residents. Chiang Mai Medical Symposium, (Chiang Mai), 1991.
- 46) Hagiwara, M.¹⁾, Nagao, T.¹⁾, Hamamoto, M.¹⁾, Uchiyama, M.¹⁾, Tanaka, K.¹⁾, Isse, K.¹⁾, Ogura, M.¹⁾, Itoh, Y.¹⁾, Tsushima, T.¹⁾, Miyazaki, T.¹⁾, Inoue, G.¹⁾, Nagazumi, A. and Terashi, A. (¹⁾東京都多摩老人医療センター): [一般講演] Clinical study of α_1 -antichymotrypsin in senile dementia of Alzheimer type. The 5th Congress of the International Psychogeriatric Association (Roma), 1991.
- 47) Kitamura, S., Araki, T., Sakayori, O., Komiyama, T., Nagazumi, A. and Terashi, A.: [一般講演] Cerebral blood flow and cerebral oxygen metabolism in patients with dementia of frontal lobe typ. The 5th Congress of the International Psychogeriatric Association (Roma), 1991.
- 48) 今津 修, Okazaki, H.¹⁾, Namiki, H.²⁾ (¹⁾ Mayo Clinic, ²⁾ Queen's Medical Hospital): [海外留学生講演] 神経病理学研修を終えて; NBTE の推移, 他. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 49) 目々澤肇, Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾ Lund University): [海外留学生講演] ラット中大脳動脈閉塞モデルにおける ischemic penumbra の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 50) 山室 学, 五十嵐博中, 片山泰朗, 赫 彰郎, 湯浅龍彦¹⁾ (¹⁾新潟大学神経内科): [一般講演] 1H, 31P-MRS によるラット MCA 閉塞モデル梗塞巣のエネルギー代謝の研究. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 51) 保津豊徳¹⁾, 荒木俊彦¹⁾, 唐崎三千代¹⁾, 酒寄 修, 小宮山佐, 北村 伸, 赫 彰郎 (¹⁾初石病院内科): [一般講演] 痴呆患者における髄液中神経伝達物質と局所脳循環代謝の関係についての検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 52) 村松浩美¹⁾, 於保倫之助, 片山泰朗, 柏木史彦, 勝又俊弥, 南澤宏明, 赫 彰郎 (¹⁾第一病院中央検査室): [一般講演] 再開通可能な中大脳動脈閉塞モデルにおける脳代謝諸量および脳含水量の経時的変化. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 53) 竹内正至, 葉山修陽, 松信精一, 河辺満彦, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 栗原 怜¹⁾, 米島秀夫 (¹⁾春日部秀和病院): [一般講演] 脳出血例に CAPD を施行した透析患者の臨床例について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 54) 花島 浩¹⁾, 飯田正美¹⁾, 勝野 浩¹⁾, 前田きみ子¹⁾, 岩崎正和¹⁾ (¹⁾佼成病院内科): [一般講演] 脳血管障害の再発要因と予防対策について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

- 55) 中野一博¹⁾, 内山明美¹⁾, 秋丸琥甫²⁾, 新宅孝征³⁾, 永積 惇¹⁾第一病院血液センター, ²⁾外科学第2, ³⁾中央検査室): [一般講演] 全血輸血療法の検討; 特に使用基準を中心に, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 56) 栗原 怜, 清水 章¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 浅野みち代²⁾, 松本美賀²⁾, 佐藤恵美²⁾, 河辺満彦, 北村博司, 葉山修陽¹⁾春日部秀和病院腎臓内科, ²⁾同腎臓内科病棟): [一般講演] 当院における continuous ambulatory peritoneal dialysis (CAPD) 療法の現況, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 57) 葉山修陽, Edwards G. Schneider¹⁾ (¹⁾Dept. of Physiology and Biophysics, The University of Tennessee, The Health Science Center): [海外留学者講演] 低浸透圧刺激によるアルドステロンの分泌機構について, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 58) 浅野みち代¹⁾, 佐藤佳子¹⁾, 松本美賀¹⁾, 大森由美子¹⁾, 佐藤恵美¹⁾, 折原文子¹⁾, 栗原 怜²⁾, 米島秀夫²⁾(¹⁾春日部秀和病院腎臓内科病棟, ²⁾同腎臓内科): [展示] 視力障害, 末梢神経炎, 両下肢切断状態を有する糖尿病患者への CAPD 導入; 操作自立への援助, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 59) 中島敦夫, 三品雅洋, 永島幹夫, 羽田和正, 氏家 隆, 永積 惇, 原 一男, 赫 彰郎: [展示] 急性発作の予防にシメチジンが有効であった急性間欠性ポルフィリアの1症例, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 60) 立花米一¹⁾, 手塚博幸, 今井博彦, 赫 彰郎 (¹⁾目白第二病院): [展示] Ellsworth-Howard test で急性副甲状腺機能低下症 type II 様反応を呈した特発性副甲状腺機能低下症の1例, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 61) 内山明美¹⁾, 中野一博¹⁾, 秋丸琥甫²⁾, 新宅孝征³⁾, 永積 惇¹⁾第一病院血液センター, ²⁾外科学第2, ³⁾第一病院中央検査室): [展示] 濃厚血小板の有用性と使用基準について, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 62) 福生吉裕, 本田治久, 大村直子, 永島幹夫, 小林陽二, 寺田由貴, 赫 彰郎, 竹内良夫¹⁾, 野呂瀬嘉彦¹⁾(¹⁾微生物免疫): [展示] マクロファージの泡沫化を抑制する胸腺内粗抽出物の検討, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 63) 本田治久, 福生吉裕, 寺田由貴, 赫 彰郎, 秋丸琥甫¹⁾ (¹⁾外科学第2): [展示] 胸腺摘出ウサギモデルの作製, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 64) 神原礼文, 永島幹夫, 福生吉裕, 赫 彰郎, 松井 南¹⁾ (¹⁾老人病研究所分子生物学部門): [展示] ステロイドのマクロファージ PDGF 遺伝子発現に及ぼす影響, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 65) 駒場祐一, 葉山修陽, 北村 伸, 飯野靖彦, 永積 惇, 原 一男, 赫 彰郎: [展示] 家族性アミロイド・ポリニューロパチーに対する新しい治療の試み, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 66) 小林陽二, 高木信一, 大村直子, 福島 優, 福生吉裕, 赫 彰郎: [展示] 高EPA血症の血液凝固線溶系に及ぼす影響についての検討; 陳旧期脳梗塞例における検討から, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 67) 高木信一¹⁾, 長谷川卓志¹⁾, 中島信治¹⁾, 福生吉裕, 赫 彰郎, 瀬田健一²⁾, 中嶋克行³⁾, 齊藤俊光³⁾, (¹⁾老人病研究所, ²⁾老人病研究所付属病院, ³⁾日本抗体研究所): [展示] 慢性期脳梗塞患者における血中 remnant like particles の動態について, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 68) Yamamuro, M., Igarashi, H., Yuasa, T.¹⁾, Katayama, Y., Terashi, A. and Miyatake, T.¹⁾ (¹⁾University of Niigata): [一般講演] Glutamate synthesis from glucose following cerebral inchemia traced by ¹³C-MRS, 第8回アジア大洋州神経学会 (東京), 1991.
- 69) Katsumata, T., Obo, R., Muramatsu, H., Kashiwagi, F., Katayama, Y. and Terashi, A. : [一般講演] The changes of metabolites, water content and CBF during ischemia and perfusion in rat reversible middle cerebral artery occlusion model, 第8回アジア大洋州神経学会 (東京), 1991.
- 70) Sakayori, O., Terashi, A., Kitamura, S., Komiyama, T. and Iio, M.¹⁾ (¹⁾National Nakano Hospital): [一般講演] A PET study ischemia and dementia in multiple infarction with periventricular hyper-intensity region, 第8回アジア大洋州神経学会 (東京), 1991.
- 71) Ohyama, M., Terashi, A., Kitamura, S., Kaieda, M., Nagazumi, A., Senda, M.¹⁾, Toyama, H.¹⁾, Ishii, K.¹⁾, Oda, K.¹⁾, Sasaki, T.¹⁾, and Isii, S.¹⁾ (¹⁾東京都老人病センター): [一般講演] Changes in regional cerebral blood

- flow during auditory cognitive tasks associated with event-related potentials (P300). 第8回アジア大洋州神経学会(東京), 1991.
- 72) Nagao, T.¹⁾, Hagiwara, M.¹⁾, Hamamoto, M.¹⁾, Kanda, A.¹⁾, Uchiyama, M.¹⁾, Tanaka, K.¹⁾, Isse, K.¹⁾, Ogura, M.¹⁾, Itoh, Y.¹⁾, Tsushima, T.¹⁾, Miyazaki, T.¹⁾, Inoue, G.¹⁾ and Terashi, A. (¹⁾東京都多摩老人医療センター): [一般講演] Serum α_1 -antichymotrypsin in senile dementia of Alzheimer type. 第8回アジア大洋州神経学会(東京), 1991.
- 73) 長松淳一, 駒場祐一, 海江田 亮, 羽田和正, 氏家 隆, 北村 伸, 赫 彰郎: [展示] 右中大脳動脈領域脳梗塞によりブローカ失語を生じた交叉性失語の1症例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 74) 岡村憲子¹⁾, 松本光司¹⁾, 山田宣孝¹⁾, 馬杉洋二²⁾, 葉山修陽, 飯野靖彦, 秋丸琥甫²⁾, 庄司 佑²⁾, (¹⁾第一病院病理部, ²⁾外科学第2): [展示] 第一病院で行われた腎移植症例の病理学的検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 75) 河辺満彦, 飯野靖彦, 松信精一, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎, 中井章人¹⁾, 越野立夫¹⁾, 益田律子²⁾, 横山和子²⁾ (¹⁾第一病院産婦人科, ²⁾同麻酔科): [展示] 慢性維持透析患者における出産の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 76) 中島敦夫, 三品雅洋, 永島幹夫, 氏家 隆, 原 一男, 赫 彰郎: [一般講演] 急性発作の予防にシメチジンが有効であった急性間欠性ポルフィリアの一症例. 第403回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 77) 長尾毅彦¹⁾, 濱本 真¹⁾, 神田明美¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 赫 彰郎 (¹⁾東京都多摩老人医療センター): [一般講演] 臨床的に corticobasal degeneration と考えられる. 第118回神経学会関東地方会, 1991.
- 78) 津金澤俊和, 中島敦夫, 山崎峰雄, 北村 伸, 赫 彰郎: [一般講演] MRI 上広汎な脳萎縮と白質病変を認めた Wiskott-Aldrich 症候群長期生存例. 第118回日本神経学会関東地方会, 1991.
- 79) 目々澤肇, 片山泰朗, 赫 彰郎, Smith, M.L.¹⁾, Siejö, B.K.¹⁾ (¹⁾University of Lund): [一般講演] ラット中大脳動脈閉塞モデルにおける“Ischemic Penumbra”第1報; “Ischemic Time Window”の検討. 第6回 Brain Hypoxia 研究会, 1991.
- 80) 飯田 恵, 柏木彦彦, 於保倫之助, 稲村憲治, 片山泰朗, 赫 彰郎: [一般講演] 遅発性神経細胞壊死に対するイオンチャンネルブロッカーの効果. 第32回日本動脈管学会総会, 1991.
- 81) Kimura, S., Katayama, Y., Inamura, K., Kashiwagi, F., Usuda, K., Otsubo, K. and Terashi, A.: [一般講演] Effect of long standing-hyperglycemia on cerebral edema and metabolism in ischemic spontaneously hypertensive rats. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 82) Usuda, K., Inamura, K., Katayama, Y. and Terashi, A.: [一般講演] Ischemic neuronal damage-A morphologic study on evolution of damage in hyperglycemia. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 83) Inamura, K., Terashi, A. and Siesjö, B.K.¹⁾ (¹⁾University of Lund): [一般講演] Selective damage of substantia nigra in seizures and hyperglycemic ischemia. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 84) Yanagisawa, M., Komaba, Y., Kaieda, M., Kitamura, S., Nagazumi, A. and Terashi, A.: [一般講演] Clinical differences between multiple cerebral infarcts with and without dementia-multivariate analysis of risk factors and MRI findings. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 85) Araki, T., Sakayori, O., Komiyama, T., Ujike, T., Kitamura, S., Nagazumi, A. and Terashi, A.: [一般講演] Follow up study of multiple cerebral infarcts with dementia and those without dementia by positron emission tomography. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 86) Fukuo, Y., Ohmura, N., Takagi, S., Honda, H., Nagashima, M., Kobayashi, Y. and Terashi, A.: [一般講演] Cellular approach to aging; Inhibition of macrophage differentiation by thymus extracts. The 4th

- Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 87) Ohmura, N., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Takagi, N. and Terashi, A. : [一般講演] Obesity & aging ; The influence of fluctuating body weight physical parameters. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
 - 88) Kanbara, R., Fukuo, Y., Hada, K., Terashi, A. and Hasegawa, T.¹⁾ (¹⁾老人病研究所生化学部門) : [一般講演] The influence of sonic stress on lipid metabolism and the progress of atherosclerosis: the studies of antiatherosclerotic effects of gammaoryzanol. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
 - 89) Takagi, S., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Terashi, A., Seto, K. and Nakazawa, Y.²⁾ (¹⁾老人病研究所付属病院, ²⁾篠ノ井総合病院内科) : [一般講演] The trial of EPA-rich tubal alimentation of prevention of recurrence of stroke. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
 - 90) Koyama, J., Hasegawa, T.¹⁾, Nishimaki, K.¹⁾, Fukuo, Y. and Terashi, A. (¹⁾老人病研究所生化学部門) : [一般講演] Long term effect of a high methionine and cholesterol diet on the progress of atherosclerosis in the rabbit. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
 - 91) Hagiwara, M.¹⁾, Nagao, T.¹⁾, Kamiya, T.¹⁾, Hamamoto, M.¹⁾, Uchiyama, M.¹⁾, Tanaka, K.¹⁾, Isse, K.¹⁾, Itoh, M.¹⁾ Tsushima, T.¹⁾, Miyazaki, T.¹⁾, Inoue, G.¹⁾, Nagazumi, A. and Terashi, A. (¹⁾東京都多摩老人医療センター) : [一般講演] Clinical evaluation of α_1 -antichymotrypsin in patients with senile dementia of Alzheimer type. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
 - 92) Fukuo, Y., Ohmura, N., Takagi, S., Honda, H., Kanbara, R., Nagashima, M., Hada, K., Kobayashi, Y., Terashi, A. and Koyama, J. : [一般講演] Atherosclerosis and thymus ; Inhibition of macrophage activation by thymus extracts. The 9th International Symposium on Atherosclerosis (Chicago, U.S.A.), 1991.
 - 93) Ohmura, N., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Takagi, S. and Terashi, A. : [一般講演] Obesity and Atherosclerosis : The influence of fluctuating body weight on physical parameters. The 9th International Symposium on Atherosclerosis (Chicago, U.S.A.), 1991.
 - 94) Takagi, S., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Terashi, A. and Seta, K.¹⁾ (¹⁾老人病研究所付属病院) : [一般講演] The trial of EPA-rich tubal alimentation on atherosclerotic cerebro-vascular disease. The 9th International Symposium on Atherosclerosis (Chicago, U.S.A.), 1991.
 - 95) Nagashima, M., Matsui, M.¹⁾, Fukuo, Y., Muramatsu, T., Nomura, N.¹⁾, Ishizaki, R.¹⁾ and Terashi, A. (¹⁾老人病研究所分子生物部門) : [一般講演] TNF induced expression of PDGF-B mRNA in human macrophage ; Analysis by RNA polymerase chain reaction. The 9th International Symposium on Atherosclerosis (Chicago, U.S.A.), 1991.
 - 96) Araki, H., Fukuo, Y., Kobayashi, Y. and Nagashima, M. : [一般講演] Apo-E phenotype in the cerebral infarction of Japanese. The 9th International Symposium on Atherosclerosis (Chicago, U.S.A.), 1991.
 - 97) Kobayashi, Y., Fukuo, Y. and Terashi, A. : [一般講演] The correlation between the activity of tissue plasminogen activator (TPA), levels of tissue plasminogen activator inhibitor (PAI-1) antigen and serum lipids in healthy subjects. The 9th International Symposium on Atherosclerosis (Chicago, U.S.A.), 1991.
 - 98) Kanbara, R., Nagashima, M., Fukuo, Y., Koyama, J., Matsui, M.¹⁾ and Terashi, A. (¹⁾老人病研究所分子生物部門) : [一般講演] Inhibition of expression of platelet-derived growth factor gene and differentiation by glucocorticoids in THP-1 monocytic cell line. The 9th International Symposium on Atherosclerosis (Chicago, U.S.A.), 1991.
 - 99) Hada, K., Cho, Y., Utsumi, K., Kobayashi, A., Fukuo, Y. and Terashi, A. : [一般講演] The effect of needle therapy for obesity patients in association with atherosclerosis. The 9th International Symposium on

- Atherosclerosis (Chicago, U.S.A.), 1991.
- 100) Kanda, A.¹⁾, Hamamoto, K.¹⁾, Nagao, T.¹⁾, Hagiwara, M.¹⁾, Miyazaki, T.¹⁾, Itoh, Y.¹⁾ Yoshimura, M.¹⁾, and Terashi, A. (¹⁾東京都多摩老人医療センター) : [一般講演] A clinicopathological study of elderly patients with or without parkinsonism. The 10th International Symposium on Parkinson's Disease (Tokyo), 1991.
 - 101) Nakazawa, M., Morota, H., Kaieda, M., Sakamoto, S., Kitamura, S., Nagazumi, A. and Terashi, A. : [一般講演] The P300 auditory event-related potential in Parkinson's disease. The 10th International Symposium on Parkinson's Disease (Tokyo), 1991.
 - 102) 赫 彰郎 : [パネルディスカッション] PET 所見より見た脳血管性痴呆の病態. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
 - 103) 上原幸二¹⁾, 村松 忠¹⁾, 中村 正, 漆山和夫¹⁾, (¹⁾栃木県南総合病院) : [一般講演] MRSA の臨床. 第31回全国国保地域医療学会総会, 1991.
 - 104) 赫 彰郎 : [教育講演] 脳血管性痴呆の病態と診断. 日本医師会生涯教育講座, 1991.
 - 105) 三品雅洋, 南澤宏明, 氏家 隆, 北村 伸, 原 一男, 赫 彰郎, 中村兼一¹⁾ (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科) : [一般講演] 左外転神経麻痺を呈した背髄硬膜化膿瘍と咽後膿瘍の合併例. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
 - 106) 佐治 守¹⁾, 田口桜子¹⁾, 堀田孝俊¹⁾, 古江郁雄¹⁾, 向坂元秀²⁾, 戸早玲子²⁾, 新城靖子³⁾, 早津絹子³⁾, 葉山修陽, 井出道也⁴⁾, 星 健二⁵⁾ (¹⁾第一病院薬剤科, ²⁾同中央検査室, ³⁾同看護部, ⁴⁾外科学第2, ⁵⁾同皮膚科) : [一般講演] 有機色素剤 gentiana violet (pioktanin) の MRSA 局所療法を目的とした基礎的臨床的検討. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
 - 107) 高木信一, 福生吉裕, 赫 彰郎, 中嶋克行¹⁾, 齊藤俊光¹⁾ (¹⁾日本抗体研究所) : [一般講演] 慢性期脳梗塞患者における血中 Remnant like particles の動態について. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
 - 108) 小林陽二, 福島 優, 福生吉裕, 赫 彰郎 : [一般講演] 健常者における Lp (a) と血液凝固線溶系についての検討; 血清脂質レベルにおける検討から. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
 - 109) 柏木史彦, 片山泰朗, 飯田 恵, 於保倫之助, 五十嵐博中, 添田敏幸, 赫 彰郎 : [一般講演] SM-6586の実験的虚血に及ぼす効果; 生存率, 脳浮腫および脳代謝に関する検討. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
 - 110) 師田晴子, 海江田 亮, 中沢 勝, 高橋真理子, 坂本静樹, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎 : [一般講演] 糖尿病患者における silent stroke および知的機能に関する臨床的検討. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
 - 111) 神田明美¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 萩原万里子¹⁾, 濱本 真¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 賀来 俊²⁾, 赫 彰郎 (¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾同循環器内科) : [一般講演] 無症候性心房細動に於ける凝固線溶系 hemostatic marker の検討. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
 - 112) 長尾毅彦¹⁾, 山崎峰雄¹⁾, 濱本 真¹⁾, 神田明美¹⁾, 神谷達司, 萩原万里子¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 赫 彰郎 (¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科) : [一般講演] 高齢者虚血性脳血管障害急性期における凝血学的指標による病型診断. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
 - 113) 稲村憲治, 白田和弘, 赫 彰郎 : [一般講演] 虚血, てんかんからの再回復障害. 第3回日本脳循環代謝学会総会, 1991.
 - 114) 山室 学, 五十嵐博中, 湯浅龍彦¹⁾, 片山泰朗, 赫 彰郎 (¹⁾新潟大学神経内科) : [一般講演] 1H, 31P-MRS による MCA 閉塞モデルでの脳含水量, 脳代謝諸量, 脳血流量の経時的変化. 第3回日本脳循環代謝学会総会, 1991.
 - 115) 勝又俊弥, 於保倫之助, 村松浩美, 添田敏幸, 柏木史彦, 片山泰朗, 赫 彰郎 : [一般講演] 糸つき栓子によるラット中大脳動脈閉塞モデルでの脳含水量, 脳代謝諸量, 脳血流量の経時的変化. 第3回日本脳循環代謝学会総会, 1991.
 - 116) 葉山修陽, 竹内正至, 松信精一, 河辺満彦, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎 : [一般講演] アルドステロンの分泌と cell volume との相互関係について. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
 - 117) 飯野靖彦, 大園英一, 松信精一, 竹内正至, 河辺満彦, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎, 鈴木盛一¹⁾, 雨宮 浩¹⁾ (¹⁾国立循環器病センター) : [一般講演] 慢性拒絶反応に対する 15-deoxyspergualin の作用. 第34回日本腎臓学

- 会総会, 1991.
- 118) Iino, Y., Ohzono, E., Kawabe, M., Matsunobu, S., Takeuchi, M. Hayama, N., Hara, K., Terashi, A., Suzuki, S.¹⁾ and Amemiya, H.¹⁾(¹⁾国立循環器病センター): [一般講演] Improvement of renal function in transplanted kidneys by new immunosuppressive drug, 15-deoxyspergualin. The Second Congress of Asian Society of Transplantation (Taipei), 1991.
- 119) 長松淳一, 駒場祐一, 大山雅史, 北村 伸, 赫 彰郎: [一般講演] 交叉性失語の1例; 脳循環代謝所見よりみた言語中枢の局在について. 第119回日本神経学会関東地方会, 1991.
- 120) 市堰 肇¹⁾, 濱本 真¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 一瀬邦弘²⁾, 吉村正博³⁾, (¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾同精神科, ³⁾東京都老人総合研究所臨床病理): [一般講演] Progressive subcortical vascular encephalopathy of Binswanger type 様の広汎な大脳白質病変を示した amyloid angiophy の1剖検例. 第119回日本神経学会関東地方会, 1991.
- 121) 三品雅洋, 南澤宏明, 氏家 隆, 北村 伸, 原 一男, 赫 彰郎, 中村兼一¹⁾ (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科): [一般講演] 左外転神経麻痺を呈した咽後膿瘍及び脊髄硬膜外膿瘍合併例. 第406回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 122) 山上哲史¹⁾, 難波智之¹⁾, 穴井豊昭²⁾, 徳原 緑²⁾, 石崎良太郎²⁾, 松井 南²⁾, 原元 宣³⁾, 福生吉裕, 永島幹夫(¹⁾日本獣医大病理, ²⁾老人病研究所分子生物, ³⁾麻布獣医大微生物): [一般講演] スカベンジャーレセプター(SRCR) 関連遺伝子の単離と機能解析. 日本動脈硬化学会平成3年度冬季大会, 1991.
- 123) Fukuo, O.: [シンポジウム] Atherosclerosis and thymus function; Inhibition of foam cell formation by thymus extracts. 第2回日中病理シンポジウム(東京), 1991.
- 124) 海江田 亮, 中沢 勝, 師田晴子, 駒場祐一, 柳沢正志, 萩原万里子, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎: [一般講演] 脳卒中における脳室周囲白質病変の検討. 第15回日本脳神経CT研究会, 1992.
- 125) 萩原万里子, 海江田 亮, 師田晴子, 中沢 勝, 坂本静樹, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎: [一般講演] 慢性期脳血管障害のCT, MRI 画像所見と P300の関連について. 第15回日本脳神経CT研究会, 1992.
- 126) 神田明美¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 市堰 肇¹⁾, 濱本 真¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 賀来 俊²⁾, 赫 彰郎(¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾同循環器科): [一般講演] 無症候性心房細動に於ける凝固線溶系 hemostatic marker の検討. 第26回日本成人病学会, 1992.
- 127) 長尾毅彦¹⁾, 濱本 真¹⁾, 神田明美¹⁾, 市堰 肇¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 山崎峰雄, 赫 彰郎 (¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 脳梗塞急性期における hemostatic marker の検討; 病型診断と治療効果判定への応用. 第26回日本成人病学会, 1992.
- 128) 師田晴子, 海江田 亮, 中沢 勝, 高橋真理子, 坂本静樹, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎: [一般講演] 糖尿病患者における silent stroke および知的機能に関する臨床的検討. 第26回日本成人病学会, 1992.
- 129) 越 泰彦, 師田晴子, 中沢 勝, 高橋真理子, 海江田 亮, 萩原万里子, 永積 惇, 赫 彰郎: [一般講演] 慢性期脳血管障害の画像所見と P300の関連についての検討. 第26回日本成人病学会, 1992.
- 130) 飯野靖彦, 松信精一, 竹内正至, 清水光義, 須賀 優, 中島敦夫, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎: [一般講演] 腎移植患者の脂質代謝. 第5回腎と脂質研究会, 1992.
- 131) 赫 彰郎, 荒木俊彦: [一般講演] 多発梗塞性痴呆の脳循環代謝による経時的変化. 厚生省長寿科学総合研究老年病分野(痴呆関係班)平成3年度研究発表会, 1992.
- 132) 一瀬邦弘¹⁾, 田中邦明¹⁾, 黒田章史¹⁾, 濱本 真²⁾, 長尾毅彦²⁾, 宮崎徳蔵²⁾, 赤沢憲治³⁾, 内山 真⁴⁾, 大川匡子⁴⁾, 大蔵健義⁵⁾, 荻野信義⁶⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター精神科, ²⁾同神経内科, ³⁾同婦人科, ⁴⁾国立精神・神経センター精神保健研究所, ⁵⁾独協医科大学越谷病院産婦人科, ⁶⁾テキサス大学神経内分泌): [一般講演] アルツハイマー型痴呆に対するエストロゲン療法の試み; 局所脳血流と定量脳波を中心に. 厚生省長寿科学総合研究老年病分野(痴呆関係班)平成3年度研究発表会, 1992.
- 133) 津金澤俊和, 酒寄 修, 海江田 亮, 北村 伸, 赫 彰郎: [一般講演] 呼吸不全を繰り返し, 気管支拡張症を

- 伴ったミトコンドリアミオパチーの1例. 第120日本神経学会関東地方会, 1992.
- 134) 長尾毅彦¹⁾, 濱本 真¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 岡田隆晴²⁾(¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科, ²⁾同脳神経外科): [一般講演] 脳梗塞で発症した肺・脳多発動静脈瘻の1例. 第120回日本神経学会関東地方会, 1992.
- 135) 師田晴子, 海江田 亮, 中沢 勝, 高橋真理子, 柳澤正志, 駒場祐一, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎: [一般講演] 糖尿病患者における silent stroke および知的機能に関する臨床的検討. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 136) 酒寄 修, 小宮山佐, 駒場祐一, 荒木俊彦, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎: [一般講演] 脳室周囲高信号域と虚血; 多発性脳梗塞例および多発梗塞性痴呆例における脳循環代謝面からの検討. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 137) 神田明実¹⁾, 濱本 真¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 山崎峰雄, 市堰 肇, 宮崎徳蔵¹⁾, 赫 彰郎(¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 凝血学的指標と脳梗塞(III) 無症候性心房細動への応用. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 138) 福生吉裕, 高木信一, 赫 彰郎, 瀬田健一¹⁾, 中嶋克行²⁾, 齊藤俊光²⁾(¹⁾老人病研究所付属病院内科, ²⁾日本抗体研究所): [一般講演] 慢性期脳梗塞患者における remanant like particles の検討. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 139) 目々澤 肇, Maj-Lis Smith¹⁾, 南澤宏明, Bok, Siejō¹⁾, 赫 彰郎 (¹⁾Lund University): [一般講演] ラット中大脳動脈閉塞における“ischemic core”の病態; 脳循環と再開通後の病理変化. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 140) 勝又俊弥, 於保倫之助, 添田敏幸, 柏木史彦, 片山泰朗, 赫 彰郎: [一般講演] 塞栓子を用いた一過性脳虚血モデルに関する研究; 局所脳血流と病理所見. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 141) 木村俊介, 片山泰朗, 柏木史彦, 大坪孝一, 臼田和弘, 赫 彰郎: [一般講演] 頭蓋温度調節下における砂ネズミ海馬 CAI の遅発性神経細胞壊死に対する indomethacin の効果. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 142) 海江田 亮, 中沢 勝, 師田晴子, 駒場祐一, 柳澤正志, 萩原万里子, 北村 伸, 永積 惇, 赫 彰郎: [一般講演] 脳血管障害における脳室周囲白質病変の検討. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 143) 濱本 真¹⁾, 長尾毅彦¹⁾, 山崎峰雄, 神田明美¹⁾, 市堰 肇¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 赫 彰郎 (¹⁾東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 凝血学的指標と脳梗塞(II) 再発予防療法への応用. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 144) 永積 惇, 五島雄一郎¹⁾, 大友英一¹⁾, 赫 彰郎, 秦 葭哉¹⁾, 松崎俊久¹⁾, 菱沼従尹¹⁾(¹⁾脳卒中二次予防研究班): [一般講演] 脳血栓症患者に対する α -トコフェロールニコチネート (α -TN) の長期投与による再発予防効果の検討. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 145) 福生吉裕, 小林陽二, 高木信一, 本田治久, 大村直子, 赫 彰郎, 瀬田健一¹⁾(¹⁾老人病研究所付属病院内科): [一般講演] EPA rich 経管栄養剤(改良)の脳卒中患者への試み; 血清脂質, 血液凝固線溶系への影響. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 146) 長尾毅彦¹⁾, 濱本 真¹⁾, 神田明美¹⁾, 市堰 肇¹⁾, 宮崎徳蔵¹⁾, 山崎峰雄¹⁾, 赫 彰郎(¹⁾東京都多摩老人医療センター): [一般講演] 凝血学的指標と脳梗塞(I) 急性期の病型診断への応用. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 147) 赫 彰郎: [特別講演] 脳血管性痴呆の臨床. 日本医師会生涯教育講座, 1992.
- 148) 片山泰朗: [特別講演] 脳梗塞の治療, 最近の考え方; 内科の立場から. 日本医師会生涯教育講座, 1992.
- 149) Inamura, K. and Terashi, A.: [一般講演] Pathophysiology of stroke. Sandoz Lectures in Gerontology (Basel), 1992.

[第一病院リウマチ科]

研究概要

リウマチ科の治療対象は、関節リウマチに代表される関節疾患である。特に、関節リウマチは外科的治療ばかりではなく内科的治療にも力をいれている。当科の大きな特徴の一つは、人工関節手術の件数が多いことで、他施設より依頼されて手術を行う場合も多い。

主な研究課題は次の4つである。

① RA の外科的治療（人工関節、滑膜切除術など）、② RA の薬物療法、③ リウマチ性疾患の QOL、④ 滑膜組織を利用しての基礎的研究（各種サイトカイン産生の機序、神経ペプチド、抗リウマチ剤の検討など）。

来年度は従来の研究に加え、関節リウマチの本態にせまる分子生物学的研究を行う予定である。

研究業績

論文

- 1) 藤森十郎, 吉野禎一: [総説] 変形性膝関節症. 総合ケア, 1, 78~79, 1991.
- 2) 鎌田利一, 吉野禎一, 原 勇¹⁾, 真島暉明¹⁾, 川村晴也¹⁾, 大塚一寛¹⁾ (原整形外科病院): [報告] 人工膝関節置換術後に発症した骨化性筋炎の1例. 整形外科, 42, 1560~1561, 1991.
- 3) 小島龍男, 吉野禎一, 藤森十郎, 小岩政仁, 中村 洋, 志賀弘朗: [報告] 人工膝関節置換術時に止血を止めえなかった慢性関節リウマチの1例. 整形外科, 42, 1804~1805, 1991.
- 4) 吉野禎一: [総説] 関節リウマチの漢方療法. 日医師会誌, 106, 189, 1991.
- 5) 藤森十郎, 吉野禎一, 志賀弘朗: [総説] 慢性関節リウマチにおける頸椎障害患者の処置と手技. 看護技術, 38, 22~25, 1992.
- 6) 藤森十郎, 吉野禎一, 小岩政仁, 志賀弘朗, 向井英一, 長分川潤: [報告] Quality of life からみた慢性リウマチ患者における人工肘関節全置換術. 整形外科, 43, 130~135, 1992.
- 7) 藤森十郎, 吉野禎一, 小岩政仁, 永島正一, 鈴木 伸, 郡司直哉: [原著] セメントレス人工膝関節置換術におけるフィブリン糊の使用経験; とくに術後出血抑制効果と術後療法に及ぼす影響について. 整形外科, 43, 258~259, 1992.
- 8) 吉野禎一: [総説] 関節リウマチ既婚女性の性生活の問題点. 日医大誌, 59, 81~83, 1992.
- 9) 藤森十郎, 吉野禎一, 川島 健, 沢崎康順, 鎌田利一, 志賀弘明: [原著] Spontaneous atlas-axial fusion in rheumatoid arthritis. Jpn. J. Rheumatol., 3, 171~181, 1991.
- 10) 吉野禎一, 東海林宏¹⁾ (ルイジアナ州立大学整形外科): [原著] 人工膝関節置換術時の後十字靭帯処置と術後可動域について. 整形外科, 42, 556~557, 1991.
- 11) 藤森十郎, 吉野禎一: [総説] 変形性頸椎症. 総合ケア, 1, 78~79, 1991.
- 12) 藤森十郎, 吉野禎一: [総説] 肩関節周囲炎. 総合ケア, 1, 78~79, 1991.
- 13) 小岩政仁, 吉野禎一, 志賀弘朗: [総説] リハビリテーションの重要性; その適応と実践は? Medical Practice, 8, 1107~1112, 1991.
- 14) 吉野禎一, 藤森十郎, 小岩政仁, 中村 洋, 佐藤 茂¹⁾ (武蔵野赤十字病院整形外科): [原著] 強直膝に対する人工膝関節置換術の経験. 整形外科, 42, 1114~1115, 1991.
- 15) 藤森十郎, 吉野禎一: [総説] 変形性股関節症. 総合ケア, 1, 78~79, 1991.
- 16) 中村 洋, 吉野禎一, 藤森十郎, 永島正一: [総説] TKR 後の術後感染について. リウマチ科, 6, 105~112, 1991.
- 17) 中村 洋, 吉野禎一, 藤森十郎, 小岩政仁, 志賀弘朗: [総説] 関節リウマチの心身医学. 日本臨床, 50, 558~562, 1992.

著 書

- 1) 吉野 慎一：〔分担〕関節穿刺法。今日の治療指針（日野原重明他監修），p. 92～93，医学書院，1992。

学会発表

- 1) 中村 洋，吉野 慎一，永島正一，向井英一：〔一般講演〕当科における関節リウマチ寛解例の検討。第35回リウマチ学会，1991。
- 2) 小岩政仁，吉野 慎一，志賀弘明，向井英一，長谷川潤，増田敏行¹⁾（¹⁾玉造厚生年金病院整形外科）：〔ワークショップ〕メソトレキセート低量投与例のPA進行度について；手指X線上骨破壊進行度の検討。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 3) 小岩政仁，吉野 慎一，中村 洋，志賀弘明，向井英一，檜垣 恵¹⁾，宮坂信之¹⁾（¹⁾東京医科歯科大学難研免疫疾患）：〔一般講演〕関節リウマチにおけるオピオイドペプチドの関与；第2報 滑膜組織における methionine-enkephalin leucine-enkephalin の検出。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 5) 小岩政仁，吉野 慎一，中村 洋，志賀弘明，宮坂信之，檜垣 恵¹⁾（¹⁾東京医科歯科大難研免疫疾患）：〔一般講演〕関節リウマチにおけるオピオイドペプチドの関連について；第1報 滑膜組織における β -endorphin の検出。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 6) 藤森十郎，吉野 慎一，小岩政仁，志賀弘明，向井英一，長谷川潤：〔一般講演〕QOL からみた RA 人工肘関節置換術。第64回日本整形外科学会，1991。
- 7) 吉野 慎一，中村 洋，志賀弘明，駒ヶ峰正隆¹⁾（¹⁾盛岡友愛病院整形外科）：〔一般講演〕人工膝関節置換術後最低3年以上経過した full flexion knee；特に術後可動域の推移について。第64回日本整形外科学会学術集会，1991。
- 8) Nakamura, H. and Yoshino, S.：〔ワークショップ〕Opioid peptides in synovium of rheumatoid arthritis. The 12th European Congress of Rheumatology, 1991.
- 9) 長谷川潤，吉野 慎一，藤森十郎，小岩政仁，志賀弘明，小島龍男：〔報告〕両下腿皮膚潰瘍と間歇的跛行をきたした MRA の1例。第32回関東リウマチ研究会，1991。
- 10) 増田敏行¹⁾，吉野 慎一，藤森十郎，小岩政仁（¹⁾玉造厚生年金病院整形外科）：〔一般講演〕Y/S II 型人工膝関節の術後可動域に及ぼす影響因子。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 11) 中村 洋，吉野 慎一，永島正一，向井英一：〔一般講演〕当科における寛解例の検討。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 12) 永島正一，吉野 慎一，志賀弘明，小岩政仁，市山広樹：〔ワークショップ〕男女別からみた関節リウマチ患者の QOL；第1報 身体的要素の検討。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 13) 吉野 慎一，志賀弘明，市山広樹，永島正一：〔ワークショップ〕男子別からみた関節リウマチ患者の QOL；第4報 男性患者の性生活について。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 14) 吉野 慎一，藤森十郎，長谷川潤，向井英一：〔ワークショップ〕低量の MTX と金製剤の併用療法。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 15) 向井英一，吉野 慎一，小岩政仁，中村 洋：〔ワークショップ〕関節リウマチに対する MTX 低量投与療法の増量効果について。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 16) 市山広樹，吉野 慎一，志賀弘明，小岩政仁，永島正一：〔ワークショップ〕男女別からみた関節リウマチ患者の QOL；第2報 社会的要素の検討。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 17) 志賀弘明，吉野 慎一，小岩政仁：〔ワークショップ〕男女別からみた関節リウマチ患者の QOL；第3報 精神的要素の検討。第35回日本リウマチ学会，1991。
- 18) 中村 洋，吉野 慎一，永島正一，向井英一：〔一般講演〕当科における関節リウマチ寛解例の検討。第35回日本

リウマチ学会, 1991.

- 19) 中村 洋, 吉野槇一, 宮坂信之¹⁾, 檜垣 恵¹⁾ (1)東京医科歯科大学難研免疫疾患): [一般講演] RA 滑膜におけるオピオイドペプチドについて. 第12回日本炎症学会, 1991.
- 20) Yoshino, S.: [シンポジウム] Problem of cementless Y/S total knee arthroplasty. 第2回 International Symposium of Cementless Total Joint Reconstruction in Tokyo, 1991.
- 21) Yoshino, S.: [シンポジウム] Revision arthroplasty after total knee replacement. 第2回 International Symposium of Cementless Total Joint Reconstruction in Tokyo, 1991.
- 22) Yoshino, S.: [シンポジウム] Surgical technique of Y/S total knee arthroplasty. 第2回 International Symposium of Cementless Total Joint Reconstruction in Tokyo, 1991.
- 23) 藤森十郎, 吉野槇一, 梶野明英, 小岩政仁, 内田詔爾¹⁾(1)都立墨東病院リウマチ科): [シンポジウム] Total knee arthroplasty in charcot joints. 第2回 Korean-Japanese Combined Orthopedic Symposium, 1991.
- 24) Yoshino, S.: [一般講演] Revision arthroplasty after total knee arthroplasty. 第2回 Combined Symposium of Japanese-German Orthopedic Rheumatology, 1991.
- 25) 吉野槇一: [シンポジウム] 人工膝関節の問題点. 第1回日本リウマチ学会近畿地方会, 1991.
- 26) 志賀弘朗, 吉野槇一, 藤森十郎, 中村 洋, 田中秀和, 石内直樹: [一般講演]慢性関節リウマチに対する bipolar 型人工骨頭置換術の経験. 第19回日本リウマチ関節外科, 1991.
- 27) 藤森十郎, 吉野槇一, 小岩政仁, 永島正一, 鈴木伸之, 郡司直哉: [一般講演]セメントレス人工膝関節置換術におけるフィブリン糊の術後出血抑制効果. 第19回日本リウマチ関節外科, 1991.
- 28) 向井英一, 吉野槇一, 藤森十郎, 志賀弘朗, 長谷川潤, 五十嵐義晃¹⁾ (1)第一病院放射線科): [一般講演] 特発性膝蓋骨壊死の1例. 第19回日本リウマチ関節外科, 1991.
- 29) 永島正一, 吉野槇一, 藤森十郎, 小岩政仁, 黄田道信, 志賀弘朗: [シンポジウム] 金製剤とメソトレキセートとの併用療法の効果. 第2回日本リウマチ学会関東地方会, 1991.
- 30) 吉野槇一, 志賀弘朗: [シンポジウム] 下肢人工関節置換術を行った RA 患者の QOL. 第2回日本リウマチ学会関東地方会, 1991.
- 31) Yoshino, S., Fujimori, J. and Shoji, H.: [一般講演] Comparison of cruciate retained and excised total knee replacements inpatients with bilateral total knee replacement. 第59回 Annual Meeting of American Academy of Orthopaedic Surgeons, 1992.

3. 内科学第三講座

[付属病院第3内科]

研究概要

内科学第三講座では消化器病学、血液学および内分泌学の3領域を中心に、以下の基礎的並びに臨床的研究を推進した。

消化器病学については、①逆流性食道炎および腐食性食道炎の病態生理、②胃腺腫および大腸腺腫の核DNA量と組織像の対比、③十二指腸・大腸内胆汁酸濃度と大腸腺腫・大腸癌の関連、④小肝細胞癌に対する経皮エタノール注入療法と経血管カテーテル動脈塞栓療法の臨床的有用性の比較、⑤門脈圧亢進症における血行動態解析並びに食道静脈瘤内圧持続測定、⑥C型肝炎の経過と腹腔鏡所見、⑦腹腔鏡的胆嚢摘出術の導入など、臨床に主眼を置いて研究をすすめ成果を挙げた。

血液学の基礎的研究としては、①白血病、骨髄異形成症候群などの造血器悪性腫瘍における発癌遺伝子および癌抑制遺伝子の分子生物学的解析、②血小板産生刺激因子の精製、③骨髄巨核球の成熟機構などに重点を置き、臨床面では、④特発性血小板減少性紫斑病および慢性骨髄性白血病の治療に関し教室の成績をまとめ、⑤骨髄異形成症候群の臨床病態並びに治療に関する検討を継続し、⑥厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班が企画した再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血、発作性夜間血色素尿症および不応性貧血の病態生理、治療などに関する種々の多施設共同研究に参加した。

内分泌学の領域では基礎的研究の課題として、①飢餓の成長ホルモン分泌に与える効果とその中枢神経機構、②c-fos遺伝子発現を指標とした成長ホルモンの中枢神経における作用点を選び、臨床的には、③T3受容体異常症と表現型の関係、④ゴナドトロピン産生腫の細胞生物学的診断などについて検討を加えた。

研究業績

論文

- 1) 野村武夫：〔総説〕血液疾患治療薬の使い方Ⅰ：再生不良性貧血，鉄過剰症（特集：薬の上手な使い方—1991）。クリニカ，18，176～181，1991。
- 2) 浦部晶夫¹⁾，高久史磨²⁾，前川正³⁾，野村武夫^{(1)関東通信病院血液内科，2)国立病院医療センター，3)群馬大}：〔原著〕再生不良性貧血の治療に関するプロスペクティブ研究（VII）。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成2年度研究業績報告書，94～95，1991。
- 3) 前川正¹⁾，小峰光博¹⁾，唐沢正光¹⁾，三輪史朗²⁾，刈米重夫³⁾，内野治人⁴⁾，野村武夫^{(1)群馬大3内，2)沖中成人病研，3)長尾共済病院，4)大阪日赤}：〔原著〕自己免疫性溶血性貧血の追跡成績；プロスペクティブ研究第2次調査の集計成績。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成2年度研究業績報告書，144～145，1991。
- 4) 藤岡成徳¹⁾，前川正²⁾，野村武夫^{(1)三井記念病院血液内科，2)群馬大3内}：〔原著〕発作性夜間血色素尿症の重傷度分類による生存率の比較。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成2年度研究業績報告書，148～149，1991。
- 5) 内野治人¹⁾，吉田弥太郎¹⁾，小熊茂¹⁾，前川正²⁾，野村武夫^{(1)京都大1内，2)群馬大3内}：〔原著〕不応性貧血診断基準の追補—MDSのCMMLとRAEB-tを中心に。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成2年度研究業績報告書，162～163，1991。
- 6) 内野治人¹⁾，吉田弥太郎¹⁾，小熊茂¹⁾，前川正²⁾，野村武夫^{(1)京都大1内，2)群馬大3内}：〔原著〕新発生MDS症例の予後，とくに白血病化と骨髄不全死のリスクについて。厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成2年度研究業績報告書，164～165，1991。

- 7) 野村武夫, 猪口孝一, 二木真琴: [原著] 骨髓異形成症候群 (MDS) における N-ras 遺伝子 1st exon の点突然変異の検討, 厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成 2 年度研究業績報告書, 182~183, 1991.
- 8) 野村武夫, 横瀬紀夫, 緒方清行: [原著] MDS 芽球に対するインターロイキン 2 の効果, 厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班平成 2 年度研究業績報告書, 186~187, 1991.
- 9) 田中清一, 平塚秀雄: [原著] 早期胃癌の内視鏡的切除法, 胃と腸, 26, 283~288, 1991.
- 10) 平塚秀雄: [原著] 緩下剤の使い方, 医報フジ, 77, 4~8, 1991.
- 11) 平塚秀雄, 神保勝一¹⁾, 岡田路子, 福地創太郎²⁾, 長廻 紘³⁾ (¹⁾神保消化器内科, ²⁾虎の門病院, ³⁾東京女子医大消化器病センター): [原著] 緩下剤 ZOC585 の常習性便秘に対する臨床効果について, 基礎と臨床, 25, 123~131, 1991.
- 12) 南 定, 山門 進, 末岡伸夫, 田口文彦, 玉川恭士, 青木正明, 岸田輝幸, 香川隆男, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [原著] 大腸用超音波内視鏡 CF-UM3 の使用経験, Therapeutic Research, 12, (Suppl. 2), 260~264, 1991.
- 13) 岸田輝幸, 南 定, 山門 進, 玉川恭士, 田口文彦, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [原著] ディスポーザブル注腸器パリエネマ 300 の有用性についての検討, Therapeutic Research, 12, (Suppl. 2), 210~214, 1991.
- 14) 山田裕之, 間 武雄¹⁾, 田口克司, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第 2): [原著] ヒト障害肝組織におけるプロリン水酸化酵素, プロコラーゲン mRNA の発現, 肝臓, 32, 358~365, 1991.
- 15) Clerici, M.¹⁾, Lucey, D.R.¹⁾, Zajac R.A.¹⁾, Boswell, R.N.¹⁾, Gebel, H.M.¹⁾, Takahashi, H., Berzofsky, J.A.¹⁾ and Shearer, G.M.¹⁾ (¹⁾米国 NIH): [原著] Detection of cytotoxic T lymphocytes specific for synthetic peptides of gp 160 in HIV-seropositive individuals. J. Immunol., 146, 2214~2219, 1991.
- 16) Komiya, I.¹⁾, Tanoue, K.²⁾, Kakinuma, K.²⁾, Kaneda, M.²⁾, Shinhara, T.³⁾, Kuriya, S.⁴⁾, Nomura, T. and Saito, Y.¹⁾ (¹⁾同愛記念病院内科, ²⁾東京都臨床医学総合研究所, ³⁾日赤医療センター染色体, ⁴⁾岩手医大 3 内): [原著] Superoxide anion hyperproduction by neutrophils in a case of myelodysplastic syndrome. Association with Sweet's syndrome and interstitial pneumonia. Cancer, 67, 2337~2341, 1991.
- 17) 平塚秀雄: [原著] 薬の知識—ピコルスファーマトリウム, 臨床消化器内科, 6, 691~693, 1991.
- 18) 平塚秀雄: [原著] 日常診療の場における SCG の位置づけ, セラピューティック・リサーチ, 12, 46~51, 1991.
- 19) 天野康雄¹⁾, 片山信仁¹⁾, 横瀬紀夫, 山本 彰¹⁾, 林 宏光¹⁾, 玉井 仁¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾放射線科): [報告] 直腸神経線維腫の 1 例, 臨床放射線, 36, 615~618, 1991.
- 20) 永井俊彦: [総説] ナースのための解剖生理と疾患の知識, BASIC Nursing, 3, 108~142, 1991.
- 21) 上坂伸宏¹⁾, 長谷川節雄, 塩 栄夫²⁾ (¹⁾生理学第 1, ²⁾京大神経内科): [総説] 赤血球のレオロジー; 赤血球の変形と膜骨格を考慮して, 膜, 16, 141~150, 1991.
- 22) 浦部晶夫¹⁾, 平井久丸²⁾, 溝口秀昭³⁾, 浅野茂隆⁴⁾, 野村武夫, 三浦恭定⁵⁾, 平嶋邦猛⁶⁾, 青木延雄⁷⁾, 小峰光博⁸⁾, 成瀬卓司⁸⁾, 外山圭助⁹⁾, 小川哲平¹⁰⁾, 若林芳久¹¹⁾, 青木 功¹²⁾, 小川一誠¹³⁾, 武藤良知¹⁴⁾, 山口 潜¹⁴⁾, 戸川 敦¹⁵⁾, 森真由美¹⁶⁾, 足立山夫¹⁷⁾, 藤岡成徳¹⁸⁾, 鈴木憲史¹⁹⁾, 榎本英寿¹⁹⁾, 小野沢康輔²⁰⁾, 高久史磨¹⁵⁾ (¹⁾関東通信病院血液内科, ²⁾東京大 3 内, ³⁾東京女子医大血液内科, ⁴⁾東京大医科研内科, ⁵⁾自治医科大血液, ⁶⁾埼玉医大 1 内, ⁷⁾東京医歯大 1 内, ⁸⁾群馬大 3 内, ⁹⁾東京医科大 1 内, ¹⁰⁾慶應大内科, ¹¹⁾順天堂大内科, ¹²⁾杏林大 2 内, ¹³⁾癌研癌化学療法センター, ¹⁴⁾虎の門病院血液, ¹⁵⁾国立病院医療センター内科, ¹⁶⁾都老人医療センター内科, ¹⁷⁾都立墨東病院内科, ¹⁸⁾三井記念病院血液内科, ¹⁹⁾日赤医療センター内科, ²⁰⁾都立駒込病院内科): [原著] 血液疾患に伴う感染症に対する flomoxef (FMOX) の効果, 医学と薬学, 25, 1585~1590, 1991.
- 23) 金沢秀典, 渡 淳, 松坂 聡, 多田教彦, 宮田邦久, 斉藤 整, 吉沢雅史, 黒田 肇, 小林正文: [原著] 食道静脈瘤破裂肝硬変における内視鏡的硬化療法と propranolol の併用による再出血の予防; Controlled study, 日消病会誌, 88, 1341~1348, 1991.
- 24) 平塚秀雄, 岡田路子, 平塚 卓: [原著] 大腸憩室症 (便通異常外来 10), 治療, 73, 95~103, 1991.

- 25) Lipham, W.J.¹⁾, Redmond, T.M.¹⁾, Takahashi, H., Berzofsky, J.A.¹⁾, Wiggert, B.¹⁾, Chader, G.L.¹⁾ and Gery, I.¹⁾ (¹⁾米国 NIH) : [原著] Recognition of peptides that are immunopathogenic but cryptic ; Mechanisms that allow lymphocytes sensitized against cryptic peptides to initiate pathogenic autoimmune processes. *J. Immunol.*, 146, 3757~3762, 1991.
- 26) Inokuchi, K., Amuro, N.¹⁾, Futaki, M., Dan, K., Shinohara, T.²⁾, Kuriya, S.³⁾, Okazaki, T.¹⁾ and Nomura, T. (¹⁾生化学第1, ²⁾日赤医療セ, ³⁾岩手医大第3内科) : [原著] Transforming genes and chromosome aberrations in therapy-related leukemia and myelodysplastic syndrome. *Ann. Hematol.*, 62, 211~216, 1991.
- 27) Murphy, M.J. and Ogata, K. : [原著] In vitro cloning of murine megakaryocyte progenitors (CFU-Meg). *J. Tissue Culture Meth.*, 13, 83~88, 1991.
- 28) Kamegai, J., Wakabayashi, I., Sugihara, H., Minami, S., Kitamura, T. and Yamada, J. : [原著] Growth hormone secretion in stalk-sectioned rats. *Acta Endocrinol. (Copenh.)*, 124, 700~706, 1991.
- 29) 山田益弘, 齊藤 整, 金沢秀典, 黒田 肇, 小林正文, 本多一義¹⁾ (¹⁾放射線科) : [報告] 腹腔鏡の肝, 脾腫の判定 ; CTscan による肝, 脾容積との比較検討. *消化器内視鏡の進歩*, 38, 146~151, 1991.
- 30) 野村武夫 : [総説] 骨髄異形成症候群 (最新薬物療法 manual—投薬の基本と治療プログラム). *日本臨牀*, 増刊, 576~579, 1991.
- 31) 野村武夫 : [総説] 血栓性血小板減少性紫斑病 (最新薬物療法 manual—投薬の基本と治療プログラム). *日本臨牀*, 増刊, 617~620, 1991.
- 32) 黒田 肇, 多田教彦, 松坂 聡, 田口克司, 山田裕之, 山田益弘, 金沢秀典 : [総説] 脾疾患の腹腔鏡観察. *消化器内視鏡*, 3, 899~903, 1991.
- 33) 小林正文, 岩切勝彦 : [総説] 逆流性食道炎 ; 病態生理と治療. *日医大誌*, 58, 371~377, 1991.
- 34) 永井俊彦 : [総説] 患者指導のための検査とくすりの知識 消化器系. *BASIC Nursing*, 3, 124~163, 1991.
- 35) 瀬底正彦 : [原著] 地域大腸癌検診の経験から ; その有用性と問題点. *東京内科医会会誌*, 7, 217~222, 1991.
- 36) 浦部晶夫¹⁾²⁾, 平井久丸¹⁾, 溝口秀昭³⁾, 浅野茂隆⁴⁾, 野村武夫, 三浦恭定⁵⁾, 平嶋邦猛⁶⁾, 青木延雄⁷⁾, 小峰光博⁸⁾, 成清卓二⁸⁾, 外山圭助⁹⁾, 小川哲平¹⁰⁾, 若林芳久¹¹⁾, 青木 功¹²⁾, 小川一誠¹³⁾, 武藤良知¹⁴⁾, 山口 潜¹⁴⁾, 戸川 敦¹⁵⁾, 森真由美¹⁶⁾, 足立山夫¹⁷⁾, 藤岡成徳¹⁸⁾, 鈴木憲史¹⁹⁾, 榎本英壽¹⁹⁾, 小野澤康輔²⁰⁾, 高久史磨¹⁾¹⁶⁾ (¹⁾東京大学医学部第3内科, ²⁾関東通信病院血液内科, ³⁾東京女子医科大学血液内科, ⁴⁾東京大学医科学研究所内科, ⁵⁾自治医科大学血液科, ⁶⁾埼玉医科大学第1内科, ⁷⁾東京医科歯科大学医学部第1内科, ⁸⁾群馬大学医学部第3内科, ⁹⁾東京医科大学第1内科, ¹⁰⁾慶応義塾大学医学部内科, ¹¹⁾順天堂大学医学部内科, ¹²⁾杏林大学医学部第2内科, ¹³⁾癌研癌化学療法センター, ¹⁴⁾虎の門病院血液科, ¹⁵⁾国立病院医療センター内科, ¹⁶⁾東京都老人医療センター内科, ¹⁷⁾都立墨東病院内科, ¹⁸⁾三井記念病院血液内科, ¹⁹⁾日赤医療センター内科, ²⁰⁾都立駒込病院内科) : [原著] Hydroxyurea の骨髄増殖性疾患に対する第III相臨床試験成績. *医学と薬学*, 26, 399~408, 1991.
- 37) 平塚秀雄, 磯野 透¹⁾ (¹⁾磯野クリニック) : [原著] 過敏性腸症候群の診断と治療 1 (便通異常外来11). *治療*, 73, 197~202, 1991.
- 38) 平塚秀雄, 白石史典, 他 : [原著] 肝性脳症治療薬 LACT 液 (ラクツロース・シロップ製剤) の臨床使用経験. *臨床成人病*, 21, 263~293, 1991.
- 39) 高橋文恵, 阿曾亮子¹⁾, 大橋和史, 後藤百合子¹⁾ (¹⁾臨床薬理センター) : [原著] 日本医科大学薬物治療審査委員会における審議状況と今後の問題点. *日医大誌*, 58, 459~463, 1991.
- 40) Yoshida, Y.¹⁾, Oguma, S.¹⁾, Uchino, H.²⁾, Maekawa, T.²⁾ and Nomura, T. (¹⁾京都大1内, ²⁾群馬大3内) : [原著] Long term survivors of refractory myelodysplastic syndrome. *N. Engl. J. Med.*, 325, 662, 1991.
- 41) Yamada, H., Aida, T.¹⁾, Taguchi, K. and Asano, G.¹⁾ (¹⁾病理学第2) : [原著] Expression of prolyl 4-hydroxylase and procollagen mRNAs in fibrotic human liver. *Acta Histochem. Cytochem.*, 24, 191~200, 1991.

- 42) Komiya, I., Nojiri, M., Kuriya, S. and Saito, Y.: [原著] Hemorrhagic cystitis caused by bleomycin treatment. *Jpn. J. Med.*, 30, 392, 1991.
- 43) 野村武夫: [総説] 鉄欠乏性貧血 (特集: 病態からみた貧血の治療). *医学と薬学*, 26, 439~445, 1991.
- 44) 檀 和夫: [総説] ITP 治療の進歩. *血液・腫瘍科*, 23, 219~224, 1991.
- 45) 大橋和史, 小林正文: [原著] Ranitidine 注射液の1日100mg 点滴静注時および1日300mg 点滴静注時における安全性ならびに薬物動態の研究. *臨床薬理*, 22, 601~609, 1991.
- 46) 平塚秀雄, 桧山 護³⁾, 上田 治³⁾, 田中清一³⁾, 白石史典³⁾, 中村正志³⁾, 佐藤 健³⁾, 藤本武利³⁾, 田辺比呂美³⁾, 松原正直³⁾, 平塚 卓³⁾, 小野一之³⁾, 磯野 透¹⁾, 長谷川充輝²⁾, 豊田利男²⁾, 岡田路子²⁾, 上砂 紀³⁾, 伊東千秋³⁾ (1)磯野クリニック, 2)新宿センタービルクリニック, 3)平塚胃腸クリニック): [原著] 大腸がんの臨床; 特に第一線病院の診療の実際 [平塚胃腸病院]. *インナービジョン*, 6, 10~42, 1991.
- 47) 平塚秀雄, 磯野 透¹⁾ (1)磯野クリニック): [原著] 過敏性腸症候群の診断と治療 2 (便通異常外来12). *治療*, 73, 187~192, 1991.
- 48) 田中清一, 平塚秀雄: [原著] マイクロ波凝固法による早期胃癌の内視鏡的治療. *臨床消化器内科*, 6, 213~221, 1991.
- 49) 平塚秀雄: [原著] よくある便秘の診断と治療. *メディチーナ*, 28, 1526~1529, 1991.
- 50) Futaki, M., Inokuchi, K., Dan, K. and Nomura, T.: [原著] Activation of bcr-abl fusion gene and ras oncogenes in chronic myelogenous leukemia. *Leukemia and Lymphoma*, 5, 163~169, 1991.
- 51) 野村武夫: [総説] 貧血患者の診察のポイント (特集: 貧血患者をみたら). *日医会誌*, 106, 1034~1037, 1991.
- 52) 平塚秀雄, 上田 治, 白石史典: [原著] 消化性潰瘍の緩解療法にオメプラゾールの使い方. *ファーマメディカ*, 9, 121~124, 1991.
- 53) 平塚秀雄, 磯野 透, 磯野純子: [原著] 過敏性腸症候群の診断と治療 3 (便通異常外来13). *治療*, 73, 193~199, 1991.
- 54) 稲垣 勉¹⁾, 五味清英¹⁾, 平塚秀雄, 岩崎有良²⁾, 松尾 裕²⁾ (1)練馬総合病院, 2)日本大学第3内科): [報告] IIC型早期大腸癌の1例. *日大医誌*, 50, 889~894, 1991.
- 55) 野村武夫: [総説] 自己免疫性溶血性貧血 (特集: アレルギーと自己免疫). *臨床検査*, 35, 290~294, 1991.
- 56) 檀 和夫: [総説] 貧血症の鑑別診断. *Mebio*, 8, 55~59, 1991.
- 57) Inokuchi, K., Futaki, M., Yamada, T., Tanabe, Y., Dan, K., Shinohara, T.¹⁾, Kuriya, S.²⁾ and Nomura, T. (1)日赤医療セ, 2)岩手医大第3内科): [原著] The relationship between the site of breakpoints within the bcr gene and thrombopoiesis of Philadelphia-positive chronic myelocytic leukemia. *Leukemia Research*, 15, 1067~1073, 1991.
- 58) 平塚秀雄, 田村君英: [原著] 内視鏡診療とコメディカルの位相. *新医療*, 18, 80~83, 1991.
- 59) 黒田 肇: [総説] 脾臓の働きと病気. *健康づくり, 体力・健康づくり事業財団*, 162 (12), 12~14, 1991.
- 60) 岸田輝幸, 玉川恭士, 山門 進, 田口文彦, 吉田 豊, 小林正文: [総説] 電子内視鏡によるポリープ診断の進歩. *日本臨牀*, 49, 65~69, 1991.
- 61) 厨信一郎: [総説] リスクファクターとしての貧血. *総合臨床*, 40, 2708~2711, 1991.
- 62) 猪口孝一: [総説] 白血病の遺伝子診断と癌遺伝子. *日医大誌*, 58, 708~712, 1991.
- 63) 浦部晶夫¹⁾, 三谷絹子¹⁾, 宮川 清¹⁾, 佐藤 宏²⁾, 大林由明²⁾, 溝口秀昭³⁾, 星野 茂³⁾, 小川哲平⁴⁾, 外山圭助⁵⁾, 吉川 治⁵⁾, 野村武夫, 檀 和夫, 三浦恭定⁶⁾, 武藤良知⁷⁾, 森真由美⁸⁾, 戸川 敦⁹⁾, 天野正道⁹⁾, 高久史磨⁹⁾ (1)東京大3内, 2)関東通信病院血液内科, 3)東京女子医大血液内科, 4)慶應大内科, 5)東京医科大1内, 6)自治医科大大血液, 7)虎の門病院血液科, 8)都老人医療センター血液科, 9)国立病院医療センター内科): [原著] 遺伝子組替えエリスロポエチンを用いたRIA キット (リコンビナント EPO キット) による血中エリスロポエチン濃度測定の有効性. *ホルモンと臨床*, 39, 1331~1336, 1991.

- 64) 玉川恭士：〔原著〕運動負荷による noradrenaline 動態と hemodynamic response の関係について；第2報 血圧，心拍数と血中，尿中カテコラミン kinetics の関連。日医大誌，58，673～685，1991.
- 65) Inokuchi, K., Inoue, T.¹⁾, Tojo, A.¹⁾, Futaki, M., Miyake, K., Yamada, T., Tanabe, Y., Ohki, I., Dan, K., Ozawa, K.¹⁾, Asano, S.¹⁾ and Nomura, T. (¹⁾医科研・内科)〔原著〕A possible correlation between the type of bcr-abl hybrid messenger RNA and platelet count in Philadelphia-positive chronic myelogenous leukemia. *Blood*, 78, 3125～3127, 1991.
- 66) 田口文彦，南 定，山門 進，青木正明，玉川恭士，岸田輝幸，吉田 豊，平川恒久，小林正文，野村武夫：〔報告〕結核性子宮内膜炎，陳旧性腸結核に合併した虚血性大腸炎の1例。消化器内視鏡の進歩，39，349～352，1991.
- 67) 野村武夫：〔総説〕頻度の高い疾患ながら，診断・治療は容易ではない(特集：貧血一成因・診断・治療)。Mebio, 8, 22～23, 1992.
- 68) 橋本光代¹⁾，早川和雄¹⁾，福地創太郎¹⁾，上田 治²⁾，平塚秀雄⁽¹⁾虎の門病院消化器科，⁽²⁾平塚胃腸病院)：〔総説〕上部消化管に対するトロンビン細粒剤(TB-01)の止血効果の検討。医薬と薬学，27，110～118，1992.
- 69) Komiya, I., Saito, Y. and Kuriya, S.：〔原著〕Peripheral blood plasmacytosis in a patient with infectious mononucleosis-like illness. *Eur. J. Haematol.*, 46, 61～62, 1992.
- 70) Minami, M., Katumata, M., Miyake, K., Inagaki, H., Fan, X., Kubota, H., Yamano, Y. and Kimura, O.：〔原著〕Dangerous mixture of household detergents in an old-style toilet；A case report with simulation experiments of the working environment and warning of potential hazard relevant to the general environment. *Human & Experimental Toxicology*, 11, 27～34, 1992.
- 71) 田口克司，山田裕之，間 武雄¹⁾，工藤光洋¹⁾，浅野伍朗¹⁾，黒田 肇，小林正文，野村武夫⁽¹⁾病理学第2)：〔報告〕肝類洞血管形成時における細胞外基質の動態。肝類洞壁細胞研究の進歩，4，136～140，1992.
- 72) 周東祐仁，若林一二，亀谷 純，杉原 仁，南 史朗：〔報告〕TSH 不適合症候群の1家系。ホルモンと臨床，1，80～81，1992.
- 73) Yamakado, S., Yoshida, Y., Yamada, T., Kishida, T., Kobayashi, M. and Nomura, T.：〔報告〕Pulmonary infiltration and eosinophilia associated with sulfasalazine therapy for ulcerative colitis；A case report and review of literature. *Internal Medicine*, 31, 108～113, 1992.
- 74) 檀 和夫：〔総説〕MDSの臨床所見と予後。医学のあゆみ，160，307～310，1992.
- 75) 岸田輝幸，小林正文：〔総説〕微小癌発見のための注腸造影検査。総合臨床，41，259～264，1992.
- 76) 厨信一郎：〔総説〕造血刺激因子とその臨床応用。岩手医誌，42，973～982，1991.
- 77) 中畑龍俊¹⁾，赤羽太郎¹⁾，三浦 亮²⁾，多田啓也³⁾，宇塚善郎⁴⁾，林 正⁵⁾，柴田 昭⁶⁾，四家正一郎⁷⁾，大国真彦⁸⁾，浦部晶夫⁹⁾，小椋陽介¹⁰⁾，野村武夫，溝口秀昭¹¹⁾，小野沢康輔¹²⁾，吉田 尚¹³⁾，内藤和行¹⁴⁾，白川 茂¹⁵⁾，今宿晋作¹⁶⁾，中川雅夫¹⁷⁾，内野治人¹⁸⁾，小西省三郎¹⁹⁾，河 敬世²⁰⁾，兼子俊男²¹⁾，仁保喜之²²⁾，松田一郎²³⁾，高久史磨²⁴⁾ (¹⁾信州大小児科，²⁾秋田大3内，³⁾東北大小児科，⁴⁾東北大3内，⁵⁾山形大小児科，⁶⁾新潟大1内，⁷⁾金沢大小児科，⁸⁾日本大小児科，⁹⁾関東通信病院血液内科，¹⁰⁾虎の門病院腎センター，¹¹⁾東京女子医科大血液内科，¹²⁾都立駒込病院内科，¹³⁾千葉大2内，¹⁴⁾名鉄病院2内，¹⁵⁾三重大2内，¹⁶⁾京都府立医科大小児疾患研，¹⁷⁾京都府立医科大2内，¹⁸⁾京都大1内，¹⁹⁾大阪府立小児保健センター2内，²⁰⁾大阪大小児科，²¹⁾山口大3内，²²⁾九州大1内，²³⁾熊本大小児科，²⁴⁾東京大3内)：〔原著〕KRN8601(rhG-CSF)の好中球減少症に対する臨床成績。臨床血液，33，123～132，1992.
- 78) Wakabayashi, I., Inokuchi, K., Hasegawa, O., Sugihara, H. and Minami, S.：〔原著〕Expression of growth hormone (GH)-releasing factor gene in GH-producing pituitary adenoma. *J. Clin. Endocrinol. Metab.*, 74, 357～361, 1992.
- 79) Kato, Y., Yanagisawa, A., Hiratuka, H., Kitagawa, T., Kubo, K., Tamaki, M. and Sugano, H. (Department

of Pathology, Cancer Institute.) [原著] Site dependent development of complete and incomplete intestinal metaplasia types in the human stomach. Japanese Journal of Cancer Research, 83, 178~183, 1992.

- 80) 大橋和史, 阿曾亮子¹⁾ (¹⁾臨床薬理センター): [原著] 慢性膀胱炎モデルとしての臨床薬理学的利用. WBN/Kobラットにおける胃・膀胱・眼疾患および糖尿病の病態解明 [平成3年度科研費補助金総合研究(A)研究成果報告], 43~56, 1992.
- 81) 渡 淳, 宮田邦久, 南 定, 齊藤 整, 三宅弘一, 小林正文: [症例報告] 食道静脈瘤硬化療法直後にアナフィラキシーショックを生じた1例. 消化器内視鏡, 2, 257~260, 1992.
- 82) 藤本武利¹⁾, 北村隆信¹⁾, 桧山 護¹⁾, 平塚秀雄, 蜂屋順一¹⁾, 加藤 洋²⁾ (¹⁾平塚胃腸病院, ²⁾癌研病理): [報告] 胆嚢腺扁平上皮癌の1例. 胆と膵, 13, 321~324, 1992.

著 書

- 1) 野村武夫: [分担] 血液. “ナースの内科学改定2版”(越川昭三編). p. 439~468, 中外医学社, 1991.
- 2) Yamada, T., Ogata, K., Miyake, K., Futaki, M., An, E., Inokuchi, K., Ito, T., Gomi, S., Tanabe, Y., Ohki, I., Dan, K. and Nomura, T.: [分担] Small-dose cytarabine in the treatment of myelodysplastic syndrome. “Myelodysplastic Syndrome and Cytokines”(T. Miyazaki, F. Takaku and H. Uchino, eds.). p. 301~304, Elsevier Science Publishers B.V. (Amsterdam), 1991.
- 3) 平塚秀雄, 白石 敦: [分担] 小腸の良性腫瘍. 消化器最新の治療. p. 211~212, 南江堂, 1991.
- 4) 野村武夫: [分担] 白血病の予後; 血液疾患Q&A (高久史磨編). p. 94~96, 日本医事新報社, 1991.
- 5) 厨信一郎: [分担] 血液疾患Q&A (高久史磨編) 特発性血小板減少性紫斑病の治療. p. 127~129, 日本医事新報社, 1991.
- 6) 厨信一郎: [分担] 血液学 (小川哲平, 大島年照, 浅野茂隆編) 赤血球産生低下による貧血; 再生不良性貧血. p. 90, 中外医学社, 1991.
- 7) 厨信一郎: [分担] 血液学; 赤血球産生低下による貧血赤芽球癆. p. 95, 中外医学社, 1991.
- 8) 野村武夫: [分担] 造血器の検査, 今日の検査指針 第2版 (河合 忠, 橋本信也, 只野寿太郎総編集). p. 419~421, 医学書院, 1991.
- 9) 平塚秀雄: [分担] C. 診断限界と対策, 人間ドックマニュアル (日野原重明, 藤間弘行, 田嶋基男編集). p. 153~159, 医学書院, 1991.
- 10) 野村武夫: [分担] 特発性血小板減少性紫斑病; 血小板 (山中 学, 山崎博男編). p. 197~203, 医学書院, 1991.
- 11) 野村武夫: [分担] 貧血; 内科学 第5版 (上田英雄, 武内重五郎, 杉本恒明編). p. 135~137, 朝倉書店, 1991.
- 12) 野村武夫: [分担] 貧血総論; 内科学 第5版 (上田英雄, 武内重五郎, 杉本恒明編). p. 1588~1591, 朝倉書店, 1991.
- 13) 中村孝司¹⁾, 小越和栄²⁾, 平塚秀雄, 岡部治弥³⁾ (¹⁾帝京大学第3内科, ²⁾新潟県立がんセンター, ³⁾北里大学): [共著] 間欠療法か維持療法か; 消化性潰瘍—臨床と基礎. 10, p. 108~123, 協和企画, 1991.
- 14) 平塚秀雄: [分担] 食事療法; 消化性潰瘍 (山村雄一, 吉利 和監修). p. 121~124, 中山書店, 1991.
- 15) 平塚秀雄: [分担] II内視鏡; D. 空・回腸. 消化器臨床エッセンス (中村孝司, 大原 毅, 飯野四郎, 二川俊二, 長廻 紘編集). p. 194~202, 中外医外社, 1992.
- 16) 野村武夫: [分担・責任編集] 血液・造血器疾患の動向; 今日の治療指針1992 (日野原重明, 阿部正和監修). p. 463, 医学書院, 1992.
- 17) 野村武夫: [編集指導] 医科学大事典 (補冊8); 最新の医療情報1991” (岡 博, 和田 攻責任編集). 講談社, 1991.
- 18) 野村武夫: [分担] 血液疾患; 疾患と治療薬 医師・薬剤師のためのマニュアル 改定第3版 (清水喜八郎, 福室憲治編). p. 377~400, 南江堂, 1992.

学会発表

- 1) 檀 和夫, 五味聖二: [シンポジウム] ITP 治療の現状. 第53回日本血液学会総会, 1991.
- 2) 大木一郎, 桑原哲夫, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] 肝硬変における血小板減少の機序に関する検討. 第53回日本血液学会総会, 1991.
- 3) 猪口孝一, 二木真琴, 三宅弘一, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] 骨髄異形成症候群 (MDS) における N-ras 癌遺伝子 1st exon の点突然変異に関する検討. 第53回日本血液学会総会, 1991.
- 4) 桑原哲夫, 安 恵美, 二木真琴, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 山田 隆, 田辺義博, 大木一郎, 檀 和夫, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾ (¹⁾日赤医療センター染色体研究室): [一般講演] 骨髄線維化を伴う MDS 症例の検討. 第53回日本血液学会総会, 1991.
- 5) 緒方清行, 野村武夫, 厨信一郎: [展示] 各種造血刺激因子および MC-1蛋白のマウス巨核コロニー形成に対する効果; 無血清培養系での検討. 第53回日本血液学会総会, 1991.
- 6) 長谷川節雄, 塩 栄夫²⁾, 上坂伸宏¹⁾ (¹⁾生理学第1, ²⁾京大神経内科): [展示] 活性酸素とヘモグロビン変性の赤血球変形能及び膜構造に及ぼす作用. 第53回血液学会総会, 1991.
- 7) 小林正文, 岩切勝彦, 末岡伸夫, 青木正明, 渡 淳, 香川隆男, 平川恒久, 川上明彦, 瀬底正彦, 野村武夫: [一般講演] 食道静脈瘤症例の食道運動機能と胃食道逆流. 第88回日本内科学会総会, 1991.
- 8) 周東佑二, 若林一二, 安室尚樹¹⁾, 岡崎太郎¹⁾ (¹⁾生化学第1): [一般講演] 全身型甲状腺ホルモン不応症の一家系におけるトリヨードサイロニン受容体の分子生物学的解析. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 9) 二木真琴, 猪口孝一, 檀 和夫, 野村武夫: [展示] 慢性骨髄性白血病における bcr 再構成部位とトランスフォーム活性の検討. 第88回日本内科学会講演会, 1991.
- 10) 田辺比呂美¹⁾, 磯野 透¹⁾, 豊田利男¹⁾, 上田 治¹⁾, 平塚秀雄 (¹⁾平塚胃腸病院): [一般講演] 大腸集検における sigmoid scopy とバリエナマ注腸同日併用の成績と問題点. 第30回日本消化器集団検診学会, 1991.
- 11) 藤本武利¹⁾, 北村隆信¹⁾, 松原正直¹⁾, 今瀬信孝¹⁾, 剣持忠靖¹⁾, 佐藤 健¹⁾, 松山 護¹⁾, 平塚秀雄, 板井悠二²⁾ (¹⁾平塚胃腸病院, ²⁾筑波大学放射線科): [一般講演] 臍頭部に隣接し多房性を呈した後腹膜神経鞘腫の1切除. 日本超音波学会総会, 1991.
- 12) 北村隆信²⁾, 藤本武利²⁾, 松原正直²⁾, 今瀬信孝²⁾, 剣持忠靖²⁾, 佐藤 健²⁾, 松山 護²⁾, 平塚秀雄, 竹内和男¹⁾ (¹⁾虎の門病院消化器科, ²⁾平塚胃腸病院): [一般講演] 著明な腹腔内リンパ節腫大を呈したルポイド肝炎の1例. 日本超音波学会総会, 1991.
- 13) 平塚秀雄: [シンポジウム特別発言] 大腸癌切除後残存腸管の内視鏡的フォローアップ. 第41回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 14) 野村武夫: [招待講演] 再生不良性貧血の疫学と治療; 日本国における現状. 北京医学会・北京同仁医院合同医学会, 1991.
- 15) 平川恒久: [招待講演] 内視鏡診断と治療; 早期胃癌を中心に. 北京医学会・北京同仁医院合同医学会, 1991.
- 16) 南 定, 山門 進, 田口文彦, 玉川恭士, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 偽膜性大腸炎の臨床的検討. 第41回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 17) 香川隆男, 平川恒久, 岩切勝彦, 丸山正明, 末岡伸夫, 比留間博之, 青木正明, 小林正文, 野村武夫, 山下精彦¹⁾, 江上 格¹⁾ (¹⁾外科学第1): [一般講演] 腐食性食道炎の内視鏡所見の検討. 第41回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 18) 佐藤薫隆¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 森越栄太¹⁾, 平塚秀雄 (¹⁾佼成会病院外科): [一般演題] 試作された小腸電子内視鏡の使用経験について. 第41回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 19) 山下精彦¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 中島米治郎¹⁾, 京野昭二¹⁾, 有馬保生¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 池田五十鈴¹⁾, 美濃部かおり¹⁾, 小林正文, 野村武夫, 田久保海誉²⁾ (¹⁾外科学第1, ²⁾埼玉がんセンター病理): [展示] 1.0 cm 以下の小食道癌症例の検討. 第41回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.

- 20) 渡 淳, 宮田邦久, 三宅弘一, 小林正文: [一般講演] 食道静脈瘤硬化療法直後にアナフィラキシーショックを生じた1例. 第214回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 21) 津久井拓, 坂本俊樹¹⁾, 馬淵綾子¹⁾, 菊池京子¹⁾, 金子勝美¹⁾, 須藤哲夫²⁾, 間 武雄³⁾, 浅野伍朗³⁾, 野村武夫, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物学免疫学, ²⁾バイオマテリアル研究所, ³⁾病理学第2): [展示] 初代培養肝実質細胞の産生するCytokineの研究. 第27回日本肝臓学会総会, 1991.
- 22) 清水康仁¹⁾, 小西清二¹⁾, 古谷政一¹⁾, 末岡伸夫, 山下精彦²⁾, 恩田昌彦²⁾, 久野宗寛³⁾ (¹⁾下館市民病院外科, ²⁾外科学第1, ³⁾下館胃腸科医院): [一般講演] 早期十二指腸球部癌の1例. 第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 23) 宮田邦久, 岩切勝彦, 多田教彦, 末岡伸夫, 川上明彦, 瀬底正彦, 小林正文: [一般講演] 逆流性食道炎の重症度と年齢. 第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 24) 杉原 仁, 長谷川修, 南 史朗, 亀谷 純, 岡田憲明, 沢田秀雄, 若林一二: [一般講演] GH分泌促進因子(GRF)とソマトスタチン(SS)遺伝子発現に対する性ステロイドの効果. 第64回日本内分泌学会学術総会, 1991.
- 25) 南 史朗, 亀谷 純, 杉原 仁, 長谷川修, 岡田憲明, 沢田秀雄, 若林一二: [一般講演] 視床下部弓状核におけるソマトスタチンとGRF遺伝子発現に対する成長ホルモンの効果. 第64回日本内分泌学会学術総会, 1991.
- 26) 若林一二, 長谷川修, 杉原 仁, 南 史朗, 亀谷 純, 岡田憲明, 沢田秀雄: [一般講演] Reverse transcriptase-PCR法による下垂体腺腫のGRF遺伝子発現. 第64回日本内分泌学会学術総会, 1991.
- 27) 岡田憲明, 南 史朗, 杉原 仁, 長谷川修, 亀谷 純, 沢田秀雄, 若林一二: [一般講演] ラット成長ホルモン分泌に対する絶食と食餌摂取の効果. 第64回日本内分泌学会学術総会, 1991.
- 28) 長谷川修, 杉原 仁, 南 史朗, 岡田憲明, 亀谷 純, 沢田秀雄, 若林一二: [一般講演] 卵巣摘出術とテストステロンのGHとGH分泌促進因子遺伝子発現に対する効果. 第64回日本内分泌学会学術総会, 1991.
- 29) 林 達之¹⁾, 宇藤 浩¹⁾, 野中泰延¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 野村武夫, 森 茂郎³⁾ (¹⁾東京警察病院内科, ²⁾同病理, ³⁾東京大医科研病理): [一般講演] 結核性膿胸後に発生したT細胞性非ホジキンリンパ腫の1例. 第112回日本臨床血液学会例会, 1991.
- 30) 長谷川節雄, 吉川玲子¹⁾, 塩 栄夫²⁾, 上坂伸宏¹⁾ (¹⁾生理学第1, ²⁾京大神経内科): [一般講演] 赤血球変形能を規定する変形ヘモグロビンと膜骨格蛋白質の相互作用. 第14回日本バイオレオロジー学会年会, 1991.
- 31) 津久井拓, 坂本俊樹¹⁾, 馬淵綾子¹⁾, 菊池京子¹⁾, 須藤哲夫²⁾, 間 武雄³⁾, 浅野伍朗³⁾, 野村武夫, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物学免疫学, ²⁾バイオマテリアル研究所, ³⁾病理学第2): [展示] マウス初代培養肝実質細胞の産生するcytokine. 第7回初代培養肝細胞研究会, 1991.
- 32) Okada, K., Minami, S., Sugihara, H. and Wakabayashi, I.: [一般講演] Effect of feeding after prolonged food deprivation on growth hormone secretion in rats. The 73rd Annual Meeting of the Endocrine Society (Washington, DC), 1991.
- 33) Hasegawa, O., Inokuchi, K., Minami, S., Sugihara, H. and Wakabayashi, I.: [一般講演] Growth hormone (GH)-releasing factor (GRF) gene is expressed in some human GH-producing pituitary adenoma. The 73rd Annual Meeting of the Endocrine Society (Washington, DC), 1991.
- 34) 横瀬紀夫, 緒方清行, 三宅弘一, 安 恵美, 猪口孝一, 伊藤敏治, 山田 隆, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] エトボンド少量療法が奏効した高齢者MDSの1例. 第6回老年者造血器疾患研究会, 1991.
- 35) 渡 淳, 宮田邦久, 三宅弘一, 小林正文: [一般講演] 食道静脈瘤硬化療法直後アナフラキシーショックを生じた1例. 第215回日本消化器病学会関東支部会, 1991.
- 36) 竹内 司, 南 定, 宮田邦久, 山田裕之, 末岡伸夫, 松坂 聡, 岸田輝幸, 平川恒久, 黒田 肇, 小林正文, 野村武夫, 足立幹夫¹⁾, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [一般講演] 回腸の異所性胃粘膜周囲に肉芽組織を形成し右下腹部腫瘍を呈した1例. 第215回日本消化器病学会関東支部会, 1991.

- 37) 有馬保生¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 山下精彦¹⁾, 森山勇吉¹⁾, 江上 格¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 伊藤誠二¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 中島米太郎¹⁾, 横山慈彦¹⁾, 小林正文, 黒田 肇, 多田教彦, 山田益弘 (¹⁾外科学第1): [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術における術後の腸管運動の検討. 第2回内視鏡下外科手術研究会, 1991.
- 38) 阿曾亮子¹⁾, 大橋和史 (¹⁾臨床薬理センター): [一般講演] 今後の臨床薬理「治験審査委員会」(2) 日本医科大学. 第6回富士五湖カンファレンス, 1991.
- 39) 小林正文: [新任教授特別講演] 消化器内視鏡最近の進歩; 電子内視鏡のもたらしたもの. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 40) 若林一二: [新任教授特別講演] 成長ホルモン (GH) 分泌促進因子 (GHRH) の臨床的および病態生理的意義. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 41) 南 史朗: [奨学賞受賞記念講演] 成長ホルモン分泌調節におけるソマトスタチンの意義. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 42) 吉沢雅史, 多田教彦, 小泉信人, 斉藤 整, 山田益弘, 山田裕之, 宮田邦久, 田口克司, 松坂 聡, 坂本文夫, 金沢秀典, 黒田 肇, 小林正文: [一般講演] 腹腔鏡下肝生検にてサルコイドーシスと診断した1例. 第30回腹腔鏡懇話会, 1991.
- 43) 多田教彦, 山田裕之, 松坂 聡, 中川義也, 吉沢雅史, 斉藤 整, 山田益弘, 宮入泰郎, 宮田邦久, 田口克司, 坂本文夫, 金沢秀典, 黒田 肇, 小林正文: [一般講演] Dubin-Johnson 症候群に特発性門脈圧亢進症を合併した1例. 第30回腹腔鏡懇話会, 1991.
- 44) 廣田 薫, 藤森俊二, 南 定, 山門 進, 玉川恭士, 田口文彦, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫, 本田光芳¹⁾ (¹⁾皮膚科): [一般講演] 壊疽性膿皮症を伴った大腸 Crohn 病の1例. 第216回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 45) 渡辺英一¹⁾, 安部 潔¹⁾, 山本佳洋¹⁾, 宇藤 浩¹⁾, 野中泰延¹⁾, 野村武夫 (¹⁾東京警察病院内科): [一般講演] nIFN- α が有効であった C 型肝炎を併発した ITP の1症例. 第113回日本臨床血液学会例会, 1991.
- 46) 猪口孝一, 三宅弘一, 二木真琴, 篠原多美子¹⁾, 檀 和夫, 野村武夫 (¹⁾日赤医療セ): [一般講演] 骨髄異形成症候群における N-ras 遺伝子の検討. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 47) 長谷川節雄, 石岡玲子¹⁾, 塩 栄夫²⁾, 上坂伸宏¹⁾ (¹⁾生理学第1, ²⁾京大神経内科): [一般講演] Heinz 小体形成赤血球におけるヘモグロビンと膜骨格蛋白質の相互作用. 日本生物物理学会第29回年会, 1991.
- 48) 阿曾亮子¹⁾, 高橋文恵, 後藤百合子¹⁾, 大橋和史 (¹⁾臨床薬理センター): [展示] 日本医科大学薬物治験審査委員会年間報告 (平成2年度). 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 49) 長倉千恵子¹⁾, 山本信也¹⁾, 青砥泰二¹⁾, 伊藤民誉¹⁾, 野本剛史¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦¹⁾, 三宅弘一 (¹⁾中央検査部): [展示] 最近経験した糞線虫症の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 50) 有馬保生¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 伊藤誠二¹⁾, 山下精彦¹⁾, 森山雄吉¹⁾, 江上 格¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 横山滋彦¹⁾, 小林正文, 黒田 肇, 多田教彦, 山田益弘, 福田 功²⁾, 小川 龍²⁾ (¹⁾外科学第1, ²⁾麻酔科): [展示] 腹腔鏡下胆嚢摘出術の経験. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 51) 中塚雄久, 松岡弘樹, 塚原理歌, 横瀬紀夫, 三宅弘一, 安 恵美, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 山田 隆, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫: [症例報告] 著しい血小板増多を伴った鉄芽球性貧血の1例. 第113回日本臨床血液学会例会, 1991.
- 52) 田口文彦, 岸田輝幸, 山門 進, 南 定, 藤森俊二, 玉川恭士, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 当科における血液疾患に合併した小腸, 大腸病変についての検討. 第9回大腸検査法研究会, 1991.
- 53) 大橋和史, 高山映子¹⁾, 阿曾亮子¹⁾, 高橋文恵, 仲間一雅²⁾, 秋元敏雄²⁾ (¹⁾臨床薬理センター, ²⁾実験動物管理室): [一般講演] WBN/Kob ラットを用いた慢性膵炎治療薬の薬効評価; FUT-187の抗慢性膵炎効果. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 54) 大橋和史, 高橋文恵, 阿曾亮子¹⁾, 後藤百合子¹⁾ (¹⁾臨床薬理センター): [展示] 抗悪性腫瘍薬臨床第1相試験の

治験計画書の分析と同意の取得状況. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.

- 55) 阿曾亮子¹⁾, 大橋和史, 亀井真一郎²⁾, 加藤貴雄²⁾, 高橋晴美³⁾, 緒方宏泰³⁾ (¹⁾臨床薬理センター, ²⁾内科学第1, ³⁾明治薬科大学薬剂学教室): [一般講演] 少数例血中濃度測定点からの NONMEM による薬物動態解析の試み; d, l-disopyramide 測定値を用いた検討. 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 56) 三宅一昌, 岩切勝彦, 末岡伸夫, 香川隆男, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫, 稲垣弘文¹⁾, 南 正康¹⁾ (¹⁾衛生学公衆衛生学): [展示] H₂ブロッカー投与後の十二指腸潰瘍再発と粘膜内の炭酸脱水酵素について. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 57) 南 定, 伊藤敏治, 藤森俊二, 山田裕之, 山門 進, 田口文彦, 玉川恭士, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [展示] フローサイトメトリー法による大腸腺腫細胞核 DNA 量の検討. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 58) 松坂 聡, 金沢秀典, 多田教彦, 宮田邦久, 吉沢雅史, 斉藤 整, 渡 淳, 黒田 肇, 小林正文, 梅原松臣¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 田尻 孝¹⁾ (¹⁾外科学第1): [展示] 各種食道静脈瘤治療(内視鏡的硬化療法, プロプラノロール, 遠位脾腎シャント術)の肝血行動態および内視鏡像に及ぼす効果の比較. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 59) 岩切勝彦, 末岡伸夫, 青木正明, 香川隆男, 平川恒久, 川上明彦, 瀬底正彦, 小林正文, 野村武夫: [展示] LES 静止圧からみた LES 機能の評価. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 60) 斎藤 整, 金沢秀典, 吉沢雅史, 宮田邦久, 多田教彦, 松坂 聡, 黒田 肇, 小林正文: [展示] 慢性肝疾患における肝静脈の変化; 肝静脈造影と超音波 (US) 像の比較. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 61) 末岡伸夫, 岩切勝彦: [シンポジウム] 逆流性食道炎の内視鏡診断; 色調変化型食道炎, 難治性食道炎の電子スコープによる観察一画像処理, 食道運動機能を含めて一. 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 62) 平塚秀雄, 大柴三郎¹⁾ (¹⁾大阪医科大学内科): [ビデオシンポジウム] 内視鏡基本手技, 教育. 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 63) 上田 治, 平塚秀雄: [ビデオシンポジウム] 内視鏡的大腸 Polypectomy の手技. 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 64) 緒方清行, 厨信一郎: [シンポジウム] ヒト肺癌細胞株 MC-1 の産生する巨核球・血小板系造血刺激因子とその作用. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 65) 猪口孝一, 二木真琴, 桑原哲夫, 檀 和夫, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾, 厨信一郎²⁾ (¹⁾日赤医療セ, ²⁾岩手医大3内): [ワークショップ] 二次性白血病・MDS における染色体異常と ras 癌遺伝子の活性化. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 66) 田辺義博, 山田 隆, 五味聖二, 桑原哲夫, 大木一郎, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫: [ワークショップ] 再生不良性貧血における MRI の診断的価値. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 67) 三宅弘一, 猪口孝一, 松岡弘樹, 二木真琴, 檀 和夫, 野村武夫, 篠原多美子¹⁾ (¹⁾日赤医療センター染色体室): [ワークショップ] 造血器腫瘍における DCC 遺伝子の検討. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 68) 松岡弘樹, 鈴木信周, 田村秀人, 塚原理歌, 三宅弘一, 横瀬紀夫, 安 恵美, 二木真琴, 宮入泰郎, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 山田 隆, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] 急性骨髄性白血病に合併した重篤な MRSA 肺炎に G-CSF が著効を奏した1例. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 69) 多田教彦, 黒田 肇, 吉沢雅史, 斎藤 整, 山田益弘, 山田裕之, 田口克司, 宮田邦久, 松坂 聡, 坂本文夫, 金沢秀典, 小林正文: [一般講演] C 型慢性肝炎の進展過程でみられる肝表面像の検討; 病理組織像との比較から. 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 70) 多田教彦, 山田裕之, 山田益弘, 斎藤 整, 吉沢雅史, 宮田邦久, 田口克司, 松坂 聡, 黒田 肇, 小林正文: [一般講演] 特発性門脈圧亢進症を伴った Dubin-Johnson 症候群の1例. 第26回日本肝臓学会東部会, 1991.
- 71) 多田教彦, 山田裕之, 松坂 聡, 中川義也, 宮入泰郎, 山田益弘, 宮田邦久, 田口克司, 坂本文夫, 金沢秀典,

- 黒田 肇, 小林正文: [一般講演] Dubin-Johnson 症候群に特発性門脈圧亢進症を合併したと考えられる 1 例, 第26回日本肝臓学会東部会, 1991.
- 72) 折茂裕美¹⁾, 大木由加志¹⁾, 宮本幹夫¹⁾, 岡田一芳¹⁾, 若林恒郎¹⁾, 手代木正¹⁾, 黒田 肇, 荒牧琢巳²⁾, 山中宣昭³⁾ (¹⁾小児科, ²⁾内科学第1, ³⁾病理学第1): [一般講演] 組織学的に経過を観察し得た小児チオプロノン肝障害の 1 例, 第26回日本肝臓学会東部会, 1991.
- 73) 杉原 仁, 南 史朗, 長谷川修, 亀谷 純, 岡田憲明, 沢田秀雄, 若林一二: [一般講演] インスリン受容体抗体を伴った低血糖. 第64回日本内分泌学会秋季学術大会, 1991.
- 74) 南 史朗, 亀谷 純, 杉原 仁, 長谷川修, 岡田憲明, 若林一二: [一般講演] ラット視床下部 c-fos 遺伝子発現に対する成長ホルモンの効果. 第18回日本内分泌学会神経内分泌分科会, 1991.
- 75) 津久井拓, 坂本俊樹¹⁾, 馬淵綾子¹⁾, 菊池京子¹⁾, 須藤哲央²⁾, 間 武雄³⁾, 浅野伍朗³⁾, 河路秀巳¹⁾, 野村武夫, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物学免疫学, ²⁾東レ基礎研究所, ³⁾病理学第2): [一般講演] 肝実質細胞の産生する cytokines について (III); 培養肝実質細胞に発現する IL-1 mRNA. 第21回日本免疫学会総会, 1992.
- 76) 山田 隆, 三宅弘一, 横瀬紀夫, 安 恵美, 二木真琴, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 檀 和夫, 野村武夫, 塩村惟彦¹⁾, 篠原多美子²⁾ (¹⁾静岡総合病院, ²⁾日赤医療センター): [一般講演] 骨髄異形成症候群長期生存例の特徴. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 77) 五味聖二, 松岡弘樹, 塚原理歌, 三宅弘一, 安 恵美, 二木真琴, 山田 隆, 緒方清行, 伊藤敏治, 猪口孝一, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] MDS および MDS から移行した AML に対する少量エトポシド単独投与の試み. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 78) 二木真琴, 猪口孝一, 三宅弘一, 山田 隆, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 檀 和夫, 野村武夫: [一般講演] 骨髄異形成症候群における予後因子としての N-ras 癌遺伝子の検討. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 79) 檀 和夫, 塚原理歌, 松岡弘樹, 三宅弘一, 横瀬紀夫, 安 恵美, 二木真琴, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 山田 隆, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 野村武夫: [示説] 慢性骨髄性白血病に対する hydroxyurea の治療成績. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 80) 安 恵美, 緒方清行, 伊藤敏治, 横瀬紀夫, 檀 和夫, 野村武夫, 厨信一郎: [展示] 精製マウス巨核球に対する IL-6, IL-6, Epo サイトカリン D の効果: 形態変化について. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 81) 横瀬紀夫, 緒方清行, 伊藤敏治, 安 恵美, 檀 和夫, 野村武夫: [展示] MDS 芽球に対するインターロイキン 2 の効果. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 82) 広田 薫, 香川隆男, 小林正文: [シンポジウム] 胃腺腫細胞核 DNA 量と臨床病理学的所見との対比. 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 83) 長田祐二, 藤森俊二, 南 定, 山門 進, 田口克司, 玉川恭士, 田口文彦, 田辺義博, 岸田輝幸, 吉田 豊, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 内視鏡的ポリペクトミーを施行した大腸海綿状血管腫の 1 例. 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 84) 小野一之¹⁾, 平塚 卓¹⁾, 田辺比呂美¹⁾, 田中清一¹⁾, 白石史典¹⁾, 上田 治¹⁾, 平塚秀雄 (¹⁾平塚胃腸病院): [一般講演] 胃・十二指腸出血に対する HSE 局注止血法及びマイクロ波凝固止血法の検討. 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 85) 山本 泰, 水谷良子¹⁾, 村井善郎¹⁾ (¹⁾東京都多摩老人医療センター血液科): [一般講演] 慢性高 FDP 血症 6 例の臨床検討. 第7回老年人造血管器疾患研究会, 1991.
- 86) 山田裕之, 多田教彦, 齊藤 整, 吉沢雅史, 山田益弘, 田口克司, 松坂 聡, 黒田 肇, 小林正文, 横山慈樹¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 有馬保正¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 伊藤誠二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 森山勇吉¹⁾, 山下精彦¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 福田 功²⁾, 小川 龍²⁾ (¹⁾外科学第1, ²⁾麻酔科): [一般講演] 腹腔鏡的胆嚢摘出術の経験. 第2回腹腔鏡的胆嚢摘出術研究会, 1991.

- 87) 厨信一郎, 緒方清行, 安 恵美: [一般講演] ヒト肺癌細胞株 MC-1の産生する巨核球-血小板系増殖刺激因子とその精製. 第472回岩手医学会例会, 1991.
- 88) 藤田逸郎¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 伊藤誠二¹⁾, 江上 格¹⁾, 山下直行¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 田代真一¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 森山 雄吉¹⁾, 山下精彦¹⁾, 小林正文 (¹⁾外科学第1): [一般講演] ショック状態で開腹・Open drainage, 術後血液透析, レスピレーター使用の MOF 合併急性重症肺炎の1救命例. 第217回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 89) 小野瀬裕之, 田口克司, 藤森俊二, 南 定, 山門 進, 玉川恭士, 田口文彦, 岸田輝幸, 吉田 豊, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 成人大腸リンパ濾胞増殖症の1例. 第217回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 90) Uyesaka, N.¹⁾, Hasegawa, S., Ishioka, R.¹⁾, Shio, H.²⁾ and Schechter, A.N.³⁾ (¹⁾生理学第1, ²⁾京大神経内科, ³⁾NIDDK, NIH): [展示] Effects of superoxide anions on red cell deformability and membrane proteins. American Society of Hematology 33rd Annual Meeting (Denver), 1991.
- 91) 永井俊彦: [一般講演] 消化性潰瘍の原因と治療. 昭島市医師会, 1992.
- 92) 厨信一郎: [教育講演] 血液疾患に対するインターフェロン療法. 日本内科学会東北支部第7回生涯教育講演会, 1992.
- 93) 藤森俊二, 南 定, 山門 進, 田口克司, 玉川恭士, 田口文彦, 岸田輝幸, 吉田 豊, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 内視鏡的ポリペクトミーを施行した大腸混合腫瘍と思われる1例. 第218回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 94) 名取譲二¹⁾, 佐藤 健¹⁾, 平塚 卓¹⁾, 藤本武利¹⁾, 松原正直¹⁾, 加藤雅俊¹⁾, 北村隆信¹⁾, 田中清一¹⁾, 桧山 護¹⁾, 平塚秀雄 (¹⁾平塚胃腸病院): [一般講演] 10代の大腸癌の2例. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 95) 小野一之¹⁾, 平塚 卓¹⁾, 田辺比呂美¹⁾, 田中清一¹⁾, 白石史典¹⁾, 上田 治¹⁾, 平塚秀雄 (¹⁾平塚胃腸病院): [一般講演] 胃・十二指腸出血135例に対する内視鏡止血の検討; HSE 局注法及びマイクロ波凝固法を用いて. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 96) 安部 潔¹⁾, 車谷 亮¹⁾, 宇藤 浩¹⁾, 野中泰延¹⁾, 野村武夫(¹⁾東京警察病院内科): [一般講演] All-trans retinoic acid (ATRA) 単独投与にて寛解し得た APL 初回例. 第114回日本臨床血液学会例会, 1992.
- 97) 安 恵美, 塚原理歌, 松岡弘樹, 三宅弘一, 横瀬紀夫, 二木真琴, 伊藤敏治, 猪口孝一, 緒方清行, 五味聖二, 山田 隆, 田辺義博, 大木一郎, 長谷川節雄, 檀 和夫, 野村武夫, 森 茂郎¹⁾ (¹⁾東大医科研病理学研究部): [例会発表] 胃非ホジキンリンパ腫と頸部ホジキン病の併存を見た discordant lymphoma の1例. 第114回日本臨床血液学会例会, 1992.
- 98) 永井俊彦: [一般講演] 潰瘍治療薬の歴史と現状. 八王子地区消化器疾患研究会, 1992.

4. 精神医学講座

[付属病院神経科・第一病院神経科]

研究概要

精神生理学, 精神薬理学, コンサルテーション・リエゾン精神医学, 社会精神医学, 神経症, 児童・思春期精神医学, セネストパチー, 臨床心理, 精神疾患の SPECT, うつ病におけるセロトニン受容体, 時間生物学的研究など幅広い領域の研究が行われている。

精神生理学では感情精神病を中心とする従来の脳波分析研究の他, 脳波コヒーレンスを用いた研究が開始され, さらに催眠の本質を検討するためにその脳波トポグラムと眼球運動が分析された。また, うつ病者日内リズムの研究がその緒についた。

精神薬理学領域では, 多くの抗不安薬や抗うつ薬の第2～3相試験が行われた他, 定量薬理脳波学的研究が抗うつ薬にまで拡大した。

コンサルテーション・リエゾン精神医学では, せん妄の問題のほか, 救命救急センターに収容された自殺未遂者の転帰が追究され, また, コンサルテーション・リエゾン活動の業務の分析などが行われた。

社会精神医学領域では, アルコール症や分裂病を対象とした研究が行われているが, 今年度は外来分裂病者の通院・服薬状況の成果がまとめられた。児童・思春期精神医学では養育者としての父親の役割についての研究が開始された。FN 式抑うつ尺度作製も完成に近づいている。一般心理ではコラージュ療法の研究が進みつつある。パセドウ精神病も従来のように研究が続いている。

以上の多くの研究成果が国際学会で報告されたのも今年の特徴であろう。

研究業績

論文

- 1) 遠藤俊吉：〔総説〕私と処方。精神科治療, 5, 122～123, 1991.
- 2) 黒澤 尚, 岩崎康孝¹⁾ (救命救急センター)：〔総説〕救命救急センターに収容された自殺未遂者への対応。日精神協誌, 10, 50～53, 1991.
- 3) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚 (救命救急センター)：〔総説〕ハロペリドール。救急医, 15, 438～439, 1991.
- 4) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚 (救命救急センター)：〔総説〕ビペリデン。救急医, 15, 440～440, 1991.
- 5) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚 (救命救急センター)：〔総説〕心因反応。救急医, 15, 931～933, 1991.
- 6) 木村真人, 森 隆夫, 遠藤俊吉：〔原著〕うつ病者の定量脳波学的研究；発症年齢, 加齢および臨床症状に関連した特徴。脳と精神の医学, 2, 449～458, 1991.
- 7) 藤波茂忠：〔総説〕甲状腺機能異常と精神症状。医学のあゆみ, 157, 67～71, 1991.
- 8) 森 隆夫, 朝田 薫, 木村真人, 鈴木博子, 遠藤幸彦, 遠藤俊吉：〔原著〕抑うつの定量脳波学的検討；若年女性を中心として。臨床脳波, 33, 392～397, 1991.
- 9) 遠藤俊吉：〔総説〕生物学的精神医学・最近の動向(特集：生物学的精神医学の最前線)。精神科治療, 6, 895～910, 1991.
- 10) 森 隆夫：〔総説〕脳波；定量分析の基礎と応用。Japanese Journal of Sports Science, 10, 529～535, 1991.
- 11) 太田克也¹⁾, 吉野 誠¹⁾, 恩田 寛, 松浦雅人²⁾ (恩田第二病院, ²⁾東京医科歯科大学神経精神科)：〔報告〕アルツハイマー型痴呆患者の継続的脳波変化。精神科治療, 6, 1101～1104, 1991.
- 12) 岩崎正人：〔総説〕アルコール依存症。治療, 73, 105～111, 1991.

- 13) 遠藤俊吉, 他: [原著] 各種神経症に対する抗不安薬 Buspirone の臨床評価; Diazepam および Placebo を対象とした第III相試験. CLIN・EVAL, 18, 433~454, 1991.
- 14) 吉野 誠¹⁾, 太田克也¹⁾, 松浦雅人²⁾, 大庭明子¹⁾, 恩田 寛^{(1)恩田第二病院, 2)東京医科歯科大学神経精神科}: [報告] 抗精神薬とカルバマゼピン併用時にみられた脳波の著明な徐波化について. 精神科治療, 7, 69~73, 1992.
- 15) 西松能子: [総説] 現代の抑うつ症候群 (特集: うつ病をめぐる最近の話題). 医学のあゆみ, 160, 816~818, 1992.
- 16) 橋口英俊, 渡辺敏子¹⁾ (^{1)東京家政大学}): [原著] 健康生活に関する基礎的研究 (II); 足を中心に. 東京家政大学研究紀要 第32集, 109~116, 1992.
- 17) 遠藤俊吉: [総説] うつ病をめぐる最近の話題 (特集: うつ病をめぐる最近の話題). 医学のあゆみ, 160, 735~738, 1992.
- 18) 山寺博史, 加藤昌明¹⁾, 塚原靖二²⁾, 大熊輝男¹⁾ (^{1)国立精神神経センター, 2)埼玉医科大学精神医学教室}): [原著] データレコーダを用いた簡易な各種脳波基準電極導出法の検討. 臨床検査, 36, 313~316, 1992.
- 19) Yamadera, H., Kajiyama, N.¹⁾, Kimura, M., Nakamura, S., Suzuki, H., Mori, T. and Endo, S. (^{1)国立精神神経センター}): [報告] The rem rhythm of depression in day time and sleep EEG. The Japanese Journal of Psychiatry and Neurology, 46, 241~243, 1992.
- 20) 山寺博史: [総説] 最近の睡眠薬. 治療, 74, 89~94, 1992.
- 21) 山寺博史: [総説] 生物学的指標と精神科診断学 I ; 神経生理学的指標—薬物脳波学的手法を用いた精神分裂病研究. 精神科診断学, 9, 51~62, 1992.
- 22) 森 隆夫, 遠藤俊吉: [総説] うつ病と脳波; 定量脳波分析による新しい展開—(特集: うつ病をめぐる最近の話題). 医学のあゆみ, 160, 758~762, 1992.
- 23) 木村真人, 遠藤俊吉: [総説] 睡眠障害の分類. 治療, 74, 595~603, 1992.

著 書

- 1) 滝沢武久¹⁾, 橋口英俊 (^{1)東京電気通信大学}): [共著] 保育基礎講座第3巻 児童心理学および精神衛生. p. 77~174, 東京社会福祉場議会, 3, 1991.
- 2) 黒澤 尚: [分担] 精神分裂病の自殺未遂 (黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編) 精神分裂病. p. 87~94, 星和書店, 1991.
- 3) 黒澤 尚: [分担] 私の処方 (黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編) 精神分裂病. p. 183~186, 星和書店, 1991.
- 4) 黒澤 尚: [分担] 救急医療の場での精神分裂病の自殺未遂者 精神分裂病. p. 263~267, 星和書店, 1991.
- 5) 黒澤 尚他: [分担] 各抗精神病薬の特性 (黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編) 精神分裂病. p. 163~176, 星和書店, 1991.
- 6) 黒澤 尚, 市橋秀夫¹⁾, 皆川邦直²⁾ (^{1)福島大学精神科, 2)東京精神医学研究所}): [編著] 精神分裂病. 星和書店, 1991.
- 7) 黒澤 尚: [分担] 救急精神疾患 (日本救急医学会監修) 標準救急医学. p. 410~417, 医学書院, 1991.
- 8) 黒澤 尚: [分担] 救急精神医療 自殺 (長谷川和夫, 清水 信編) 老年精神医学マニュアル. p. 102~116, 金原出版, 1991.
- 9) 春日武彦¹⁾, 黒澤 尚 (^{1)東京都立精神保健センター}): [分担] 日本における現状と歴史 (岩崎徹也編) コンサルテーション・リエゾン精神医学. p. 15~20, 金原出版, 1991.
- 10) 遠藤俊吉: [分担] 新しい抗うつ薬; 開発段階の抗うつ薬を中心に, (上島国利編) 難治性うつ病. p. 99~103, ライフ・サイエンス, 1991.
- 11) 黒澤 尚: [分担] 精神障害 (自治省消防庁救急救助課監修) 救急隊員標準課程テキスト. p. 202~204, ヘルス

出版, 1992.

- 12) 黒澤 尚：〔分担〕ICU で見られる精神症状とその対策, (細田磋一編)集中治療における循環管理. p. 280~288, 1992.
- 13) 黒澤 尚, 西松能子：〔分担〕不安発作；救急を中心として, (高橋 徹編)パニック・ディスオーダー. p. 86~88, ライフ・サイエンス, 1992.
- 14) 黒澤 尚：〔分担〕突然の不安発作 (日野原重明, 阿部正和編) 今日の治療指針8. 医学書院, 1992.

学会発表

- 1) 山寺博史, 梶村尚史¹⁾, 木村真人, 中村秀一, 鈴木博子, 森 隆夫, 遠藤俊吉 (¹⁾国立精神神経センター)：〔一般演題〕日中のレム潜時前進を呈したうつ病の一症例. 臨床時間生物学研究会 第6回定期学術集会, 1991.
- 2) Saito, T., Nisimatu, Y., Koyama, K.¹⁾, Sto, T.¹⁾ and Endo, S. (¹⁾佐藤病院)：〔シンポジウム〕The difference of the father's attitude for the role as caregiver between the different family setting. 2nd Pan-Pacific Rim Regional Meeting of WAIPAD (Melbourne), 1991.
- 3) 志賀弘朗¹⁾, 吉野慎一¹⁾, 小岩政仁¹⁾, 市山広樹¹⁾, 永島正一¹⁾, 藤波茂忠, 塚川光利(¹⁾第一病院リウマチ科)：〔ワークショップ〕男女別からみた関節リウマチ患者のQOL；第3報精神的要素の検討. 第35回日本リウマチ学会総会, 1991.
- 4) 西松能子, 小山秀樹¹⁾, 佐藤忠宏¹⁾, 遠藤俊吉 (¹⁾佐藤病院)：〔一般演題〕お茶飲み習慣のある地方におけるアルコール依存症入院. 第87回日本精神神経学会総会, 1991.
- 5) 斉藤卓也, 西松能子, 小山秀樹¹⁾, 佐藤忠宏¹⁾, 遠藤俊吉 (¹⁾佐藤病院)：〔一般演題〕全生活健忘の治療と構造第2報. 第87回日本精神神経学会総会, 1991.
- 6) 黒澤 尚, 岩崎康孝¹⁾, 長谷川朝穂, 渡辺信夫¹⁾, 倉持 稔¹⁾, 山田和夫¹⁾(¹⁾救命救急センター)：〔一般講演〕精神科卒後教育における身体医療の研修について. 第87回日本精神神経学会総会, 1991.
- 7) 福田博文, 河野利行¹⁾, 飯高哲也¹⁾, 石川君男¹⁾, 長原寿恵¹⁾, 鈴木良雄¹⁾, 佐原まち子¹⁾(¹⁾関東通信病院精神科)：〔一般演題〕総合病院のアルコール外来. 第87回日本精神神経学会総会 (大阪), 1991.
- 8) 下山寿子¹⁾, 橋口英俊 (¹⁾立教大学大学院)：〔一般講演〕コラージュ療法に関する基礎的研究 I. 日本カウンセリング学会第24回大会, 1991.
- 9) Kimura, M., Mori, T., Asada, K., Suzuki, H., Endo, Y., Yamadera, H. and Endo, S.：〔展示〕The quantitative EEG study in depression ; The characteristic findings related to the onset age, aging and clinical symptoms. The 5th World Congress of Biological Psychiatry (Florence), 1991.
- 10) Suzuki, H., Mori, T., Kimura, M., Asada, K., Endo, Y., Yamadera, H. and Endo, S.：〔展示〕The quantitative EEG study of personality trait in female young volunteers. The 5th World Congress of Biological Psychiatry (Florence), 1991.
- 11) Asada, K., Kimura, M., Mori, T., Yamada, M., Suzuki, H., Endo, Y., Yamadera, H. and Eodo S.：〔展示〕The quantitative EEG analysis in eating disorder patients. The 5th World Congress of Biological Psychiatry (Florence), 1991.
- 12) 渡辺信夫¹⁾, 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚, 布施理美¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救命救急センター)：〔一般講演〕第三次救急施設におけるリエゾンサービス (第5報) 自殺未遂者の転医先. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 13) 吉河達祐¹⁾, 金 正¹⁾, 中西一浩¹⁾, 井上哲夫¹⁾, 小川 龍¹⁾, 岩崎康孝²⁾, 黒澤 尚 (¹⁾麻酔科学教室, ²⁾救命救急センター)：〔シンポジウム〕小児患者の術前・術後の心身医学的諸問題. 第32回日本心身医学会総会, 1991.
- 14) 藤波茂忠, 岩木康弘, 荒井圭介, 山口英人, 塚川光利, 越智真理子, 斉藤隆亮, 藤木健夫：〔一般演題〕新しい自己評価式うつ病尺度 FDI (Factoranalytic depression index) の作成と妥当性の検討. 第32回日本心身医学会

- 総会, 1991.
- 15) 西松能子, 斉藤卓也, 佐藤忠宏¹⁾(¹⁾佐藤病院): [一般演題] アルコール専門病室の試み. 第3回臨床アルコール学会総会, 1991.
 - 16) 岩崎靖雄, 藤波茂忠, 越智真理子: [一般演題] 高齢者に対する漢方製剤の効用について. 第4回日本老年精神医学会総会, 1991.
 - 17) 遠藤幸彦, 朝田 薫, 木村真人, 鈴木博子, 森 隆夫, 山寺博史, 遠藤俊吉, 加藤隆吉¹⁾(¹⁾東京催眠心理研究所): [一般演題] 催眠状態における定量脳波分析と脳波コヒーレンス. 第7回日本催眠学会, 1991.
 - 18) 朝田 薫, 遠藤幸彦, 鈴木博子, 木村真人, 森 隆夫, 遠藤俊吉, 加藤隆吉¹⁾(¹⁾東京催眠心理研究所): [シンポジウム] 催眠の脳波総合機能と意義; 脳波トポグラフィと閉眼時眼球運動所見から. 第7回日本催眠学会, 1991.
 - 19) 下山寿子¹⁾, 橋口英俊 (¹⁾立教大学大学院): [一般講演] コラージュ療法に関する基礎的研究II. 第23回日本芸術療法学会, 1991.
 - 20) 黒澤 尚, 岩崎康孝¹⁾(¹⁾救命救急センター): [パネルディスカッション] Consultation-liaison psychiatry in critical care medical center. Third Annual Meeting of Association of American General Hospital Psychiatrist (Boston), 1991.
 - 21) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚, 保坂正昭²⁾, 横山雅一²⁾, 飛鳥井望²⁾, 堤 邦彦²⁾, 篠原 隆²⁾, 佐々木仁也²⁾, 鶴飼 卓²⁾, 広常秀人²⁾(¹⁾救命救急センター, ²⁾日本救命医学会精神保健委員会): [一般講演] せん妄の治療について; 全国の高次救命救急施設のアンケート調査から. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
 - 22) 広常秀人¹⁾, 岩崎康孝²⁾, 飛鳥井望¹⁾, 鶴飼 卓¹⁾, 黒澤 尚, 佐々木仁也¹⁾, 塚原 隆¹⁾, 堤 邦彦¹⁾, 保坂正昭¹⁾, 横山雅一¹⁾(¹⁾日本救命医学会精神保健委員会, ²⁾救命救急センター): [パネルディスカッション] 自殺未遂者の転医先に関するアンケート調査報告. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
 - 23) 渡辺信夫¹⁾, 岸 泰宏, 中村加枝, 布施理美¹⁾, 黒澤 尚(¹⁾救命救急センター): [一般講演] 第三次救急施設におけるリエゾンサービス第4報入室後1週間以内の精神症状. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
 - 24) 遠藤幸彦, 朝田 薫, 木村真人, 鈴木博子, 森 隆夫, 山寺博史, 遠藤俊吉, 他: [一般演題] 催眠状態における定量脳波とコヒーレンス. 第21回日本脳波・筋電図学会, 1991.
 - 25) 鈴木博子, 森 隆夫, 木村真人, 朝田 薫, 遠藤幸彦, 山寺博史, 遠藤俊吉: [展示] 若年女性を対象とした定量脳波学的検討; 神経症圏の症例について. 第21回日本脳波筋電図学会, 1991.
 - 26) 橋口英俊, 渡辺敏子¹⁾(¹⁾東京家政大学): [一般講演] 足と健康(2). 第41回日本健康心理学会, 1991.
 - 27) 岸 泰宏, 高木宏昌, 竹原 恵, 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚, 遠藤俊吉(¹⁾救命救急センター): [一般演題] 救命救急センターから転科した自殺未遂症例の退院後の経過について. 第4回日本総合病院精神医学会総会, 1991.
 - 28) 岸 泰宏, 高木宏昌, 竹原 恵, 黒澤 尚, 遠藤俊吉, 岩崎康孝¹⁾(¹⁾救命救急センター): [一般講演] 救命救急センターから転科した自殺未遂症例の退院後の経過について. 第4回日本総合病院精神医学会総会, 1991.
 - 29) 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚, 渡辺信夫¹⁾(¹⁾救命救急センター): [一般演題] 第三次救命センターにおけるせん妄の発生率について. 第4回日本総合病院精神医学会総会, 1991.
 - 30) 布施理美¹⁾, 渡辺信夫¹⁾, 中村加枝, 黒澤 尚, 岩崎 栄²⁾, 遠藤俊吉(¹⁾救命救急センター, ²⁾): [展示] Consultation-Liaison Psychiatry 活動における精神科医の時間からみた業務量 第2報回診・常勤型について. 第4回日本総合病院精神医学会総会, 1991.
 - 31) 浮 文宏, 山田正枝, 黒澤 尚, 遠藤俊吉: [展示] Consultation-liaison psychiatry 活動における精神科医の時間からみた業務量 第1報外来型, 往診型について. 第4回日本総合病院精神医学会総会, 1991.
 - 32) 長崎文江¹⁾, 中村 稔¹⁾, 北島潤一郎¹⁾, 嗺子輝男¹⁾, 長岡幾雄¹⁾, 渡辺信夫¹⁾, 中村加枝, 岸 泰宏, 黒澤 尚, 益子邦洋¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救命救急センター): [一般講演] 交通事故による障害者の実態 第1報

収容機転と重傷度の関係. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.

- 33) 西松能子, 斉藤卓也, 佐藤忠宏¹⁾, 遠藤俊吉 (¹⁾佐藤病院): [一般演題] 服薬コンプライアンスと諸要因. 第12回社会精神医学会, 1992.
- 34) 高山大起夫, 鈴木英朗, 高橋 亨¹⁾, 遠藤俊吉 (¹⁾大富士病院): [一般演題] 就労「リハ」を通しての慢性分裂病治療の検討. 第12回日本社会精神医学会, 1992.

5. 小児科学講座

[付属病院小児科・第一病院小児科・第二病院小児科・多摩永山病院小児科]

研究概要

本年度の各研究グループの主な研究テーマおよび業績は下記の通りである。

循環器：回転デジタル心血管造影法による小児心血管病変の診断，Anthracycline系薬剤による心毒性の非侵襲的評価，ことに運動負荷試験による心予備能の検討，WPW症候群の標準12誘導心電図による副伝導路部位診断—体表電位図に基づく検討，急性糸球体腎炎急性期における非侵襲的な心行動態の評価。

血液・免疫：白血病の治療と晩期障害，貧血の鉄代謝，自己抗体の解析，白血病細胞の薬剤耐性。

アレルギー：気管支喘息患児に対するテオフィリン製剤の薬物動態速度論に基づく投与設定について，アトピー性皮膚炎に対するブドウ球菌成分の関与について。

神経：後頭部に発作焦点をもつ特発性小児てんかんの検討，てんかん児脳波のフラクタル次元解析について，経頭蓋骨ドプラ法による小児神経疾患の脳血流量の測定，学習障害児の予後についての検討。

心身症：小児心身症に対するコラージュ療法

新生児：母乳中および便中 β -グルクロニダーゼ活性と新生児黄疸，新生児低血糖症と尿中ジカルボン酸（アジピン酸，スベリン酸）について。

呼吸器：新生児呼吸音周波数の電気音響的解析，気管支喘息患児のRIのよる粘液線毛系気道クリアランスの研究。

腎臓：糸球体腎炎の臨床ならびに病理形態学的研究，学校検尿の方法論および疫学的検討。

肝・消化器：B型肝炎の母児間感染の予防とその有効性，C型活動性肝炎のインターフェロン治療，感染性腸疾患の診断と治療。

代謝・内分泌：肥満の糖質代謝，IDDMの合併症。

[付属病院小児科]

研究業績

論文

- 1) 吉田 豊，五十嵐利一，今井大洋，千葉 隆：〔原著〕集団検診における画像診断；小児，臨床画像，7，15～27，1991。
- 2) 高石康子，橋本 清，榎戸 久：〔原著〕後頭部に脳波焦点をもつ特発性小児てんかんの検討，日医大誌，58，686～695，1991。
- 3) 村上睦美，山本博章，植田 譲：〔原著〕Urinary screening of elementary and junior high-school children over a 13-years period in Tokyo. Pediatrics Nephrology，5，50～53，1991。
- 4) 芦田光則，土屋正巳，村上睦美，平山恒夫：〔総説〕尿細管機能異常症；最近の進歩，尿細管・間質性腎炎；急性腎盂腎炎，小児内科，23，727～735，1991。
- 5) 安保和俊，継 仁，土屋正巳，宗像恵美子，村上睦美，石崎正道¹⁾，山中宣昭¹⁾，馬杉洋三¹⁾，守田利貞²⁾（¹⁾病理第1，²⁾国立東静岡病院）：〔報告〕ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群で発症し，3年の経過で膜性増殖性糸球体腎炎様の組織像を呈したIgA腎症の小児例，Seminars，7，18～21，1991。
- 6) 吉田 豊，五十嵐利一，千葉 隆，今井大洋：〔総説〕呼吸器疾患の救急医療，小児臨床，44，859～867，1991。
- 7) 吉田 豊：〔総説〕細気管支炎およびウイルス性肺炎，小児診療，54，1619～1623，1991。
- 8) 吉田 豊，五十嵐利一，千葉 隆，今井大洋：〔総説〕プライマリ・ケアにおける救急処置の実際・嗜血，小児

科, 32, 1169~1176, 1991.

- 9) 吉田 豊：〔原著〕気管食道科領域の救急（小児科）. 日本気管食道科学会認定医通信, 3, 5~6, 1991.
- 10) 今井大洋, 吉田 豊, 藤野 修：〔総説〕内科疾患と神経障害・呼吸器疾患. 小児診療, 54, 2418~2424, 1991.
- 11) 植田高弘, 継 仁, 村上睦美, 山本正生, 平山恒夫, 平山恒憲, 渡辺 淳, 守田利貞：〔症例〕急性腎不全を合併した非梅毒性寒冷血色素尿症の1例. 日児誌, 96, 168~174, 1992.
- 12) 村上睦美：〔総説〕治療 up to date 情報・糸球体腎炎. 小児科, 32, 471~479, 1991.
- 13) 村上睦美, 継 仁, 土屋正巳：〔総説〕腎疾患ケアシステム；健康診断における尿検査, 小児の場合, 4. 検尿陽性者の事後管理と問題点（2）小. 臨床透析7月（別冊）, 100~107, 1991.
- 14) 村上睦美, 土屋正巳：〔総説〕症候からみた小児の診断学；血尿. 小児診療, 54（増刊号）, 460~465, 1991.
- 15) 村上睦美, 継 仁：〔総説〕小児の救急看護；適切な対処とケアのために, 血尿. 小児看護, 14, 1292~1296, 1991.
- 16) 村上睦美, 安保和俊：〔総説〕内科医が知っておきたい小児疾患；ネフローゼ症候群. モダンフィジシャン, 11, 1218~1222, 1991.
- 17) 村上睦美, 安保和俊：〔総説〕プライマリ・ケアにおける0歳児へのアプローチ；尿所見のみかた・疾患への手掛かり. 小児科, 32, 1397~1401, 1991.
- 18) 村上睦美：〔総説〕腎臓が大きな小2の男子. 健康教室, 493, 71~73, 1991.
- 19) 村上睦美, 安保和俊, 土屋正巳：〔総説〕小児科情報最前線；学校保健—学校集団検尿—. 小児臨床, 44, 3209~3217, 1991.
- 20) 村上睦美, 安保和俊, 土屋正巳：〔総説〕IX. 小児科領域；学校検尿の動向. Annual Review, 190~199, 1992.
- 21) 藤野 修, 橋本 清：〔総説〕熱性けいれんの発熱との時間的關係. 小児内科, 24, 65~68, 1992.
- 22) 平山恒夫：〔総説〕Specializationとintegration. 日小児循環器会誌, 7, 503~, 1992.
- 23) 平山恒夫, 植田高弘, 継 仁：〔総説〕急性腎不全を併発した急性 Donath-Landsteiner 溶血性貧血（急性発作性寒冷血色素尿症）. 小児診療, 55, 305~311, 1992.

著 書

- 1) 吉田 豊：〔分担〕夏かぜ“今日の小児治療指針9”（埜 善之, 三河春樹, 重田政信編）. p. 341, 医学書院, 1992.
- 2) 吉田 豊：〔分担〕普通感冒“今日の小児治療指針9”（埜 善之, 三河春樹, 重田政信編）. p. 383~384, 医学書院, 1992.
- 3) 村上睦美：〔分担〕腎泌尿・生殖器疾患“標準小児科学”（前川喜平, 辻 芳郎, 倉繁隆信編）. p. 461~506, 医学書院, 1991.
- 4) 村上睦美：〔分担〕子供の病気；泌尿器と性器の病気“最新版；家庭の医学大百科”. p. 311~317, 社会保健法規研究会, 1991.
- 5) 村上睦美：〔分担〕学校検尿で発見された血尿症例の管理“モダンクリニカルポイント：小児科”（鴨下重彦, 北川照男編）. p. 210~211, 金原出版, 1992.
- 6) 村上睦美：〔分担〕巣状糸球体硬化症“今日の小児科治療指針第9版”（埜 嘉之, 三河春樹, 重田政信編）. p. 503, 医学書院, 1992.
- 7) 村上睦美：〔分担〕浮腫“小児プライマリケアマニュアル”（白木和夫, 阿部忠良編）. p. 70~75, 南江堂, 1991.
- 8) 村上睦美：〔分担〕急性糸球体腎炎“臨床看護事典；疾患・症状別ケアのすべて”. p. 229~230, メジカルフレンド社, 1991.
- 9) 平山恒夫：〔分担〕チアノーゼ性先天性心疾患に伴う血液過粘性症に対する部分的交換輸液について“モダンクリニカルポイント：小児科”（鴨下重彦, 北川照男編）. p. 182~183, 金原出版, 1992.

学会発表

- 1) 安保和俊, 村上睦美, 益田幸成¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 馬杉洋三¹⁾, 成合昭吉, 鎗木陽一, 豊田 晶, 朝比奈美子, 加藤和夫 (¹⁾病理学第1) : [一般講演] パルス療法にて著効を示した溶連菌感染後急性糸球体腎炎の幼児例. 関東小児腎臓病研究会, 1991.
- 2) 安保和俊, 継 仁, 山本隆彰, 土屋正巳, 宗像恵美子, 芦田光則, 山本博章, 村上睦美, 山形 陽¹⁾, 山内邦昭²⁾, 岡田義治²⁾ (¹⁾元日立総合病院, ²⁾東京都予防医学協会) : [一般講演] 集団検尿における小児と成人の比較. 日本小児腎臓病学会, 1991.
- 3) 安保和俊, 継 仁, 伊藤加寿子, 土屋正巳, 宗像恵美子, 芦田光則, 山本博章, 村上睦美, 益田幸成¹⁾, 石崎正通¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 馬杉洋三¹⁾ (¹⁾病理学第1) : [一般講演] 追生検を行った small kidney 2 症例. 関東小児腎臓病研究会, 1992.
- 4) 永井雄一, 林 毅陸, 古井民一郎, 弓削邦夫, 太田秀穂, 平山恒夫 : [一般講演] 学校心臓検診の精査で診断された冠静脈洞左房交通症, 三心房心など稀な心内奇形を合併した修正大血管転位症 (I.D.D.) の 1 例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 5) 永井雄一, 林 毅陸, 古井民一郎, 弓削邦夫, 太田秀穂, 渡辺恵子, 今井大洋, 日野佳昭, 平山恒夫 : [一般講演] 学校心臓検診・精査で診断された冠静脈洞左房交通症, 三心房心など稀な心内奇形を合併した修正大血管転換症 (I.D.D.) の 1 例. 第27回日本小児循環器学会総会, 1991.
- 6) 榎戸 久, 橋本 清, 藤田武久, 藤野 修, 小松崎英樹, 他 : [一般講演] 閉眼により脳波上高振幅 rapid rhythm を示し nonconvulsive epileptic status を呈した 1 女児例. 第33回日本小児神経学会総会, 1991.
- 7) 榎戸 久, 橋本 清, 釜沼 敏, 藤野 修, 藤田武久, 他 : [一般講演] ミオクロニー欠神の 2 例. 第25回日本てんかん学会, 1991.
- 8) 橋本 清, 藤野 修, 藤田武久 : [一般講演] Fabry 病と Duchenne 型筋ジストロフィー症を合併した一男児例. 第33回日本小児神経学会, 1991.
- 9) 隈崎達夫¹⁾, 小川俊一, 勝部康弘, 渡辺正規, 平山恒夫, 田島廣之¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 玉井 仁¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 村上隆介¹⁾, 水村 直¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾放射線科) : [一般講演] 回転デジタル血管造影による小児心大血管疾患の診断 (cine angio との比較を含めて). 第 2 回医用デジタル動画像研究会, 1991.
- 10) 桑原健太郎, 植田高弘, 継 仁, 安保和俊, 村上睦美, 平山恒夫 : [一般講演] 間歇的水腎症を呈した片側矮小腎の 1 例. 第411回日本小児科学会東京地方会講話会, 1992.
- 11) 継 仁, 伊藤加寿子, 安保和俊, 土屋正巳, 宗像恵美子, 芦田光則, 山本博彰, 村上睦美 : [一般講演] 小児期の chance proteinuria. 第34回日本腎臓病学会, 1991.
- 12) 弦間優紀子, 勝部康弘, 関 隆志, 上砂光裕, 深澤隆治, 渡辺正規, 小川俊一, 弓削邦夫, 平山恒夫 : [一般講演] マラソン走行中突然死を来した心筋梗塞を有する川崎病既往児の 1 例 ; 特にその管理のあり方について. 第 22 回関東甲信越静学校心臓病予防研究会, 1991.
- 13) 五十嵐徹, 継 仁, 伊藤保彦, 宗像恵美子, 福永慶隆, 松岡和彦, 村上睦美, 山本正生, 松井玄代¹⁾ (¹⁾日産厚生会玉川病院) : [一般講演] ループスアンチコアグラント陽性で頻回の脳梗塞を認め治療抵抗性を示した SLE の 1 例. 第410回日本小児科学会東京地方会講話会, 1992.
- 14) 高瀬真人, 千葉 隆, 今井大洋, 細部千晴, 吉田 豊 : [一般講演] 気管支喘息児における Tittenean 1 秒率, Gaenslev 1 秒率の比較検討. 第24回日本小児呼吸器疾患学会, 1991.
- 15) 高石康子, 橋本 清, 榎戸 久, 藤野 修, 釜沼 敏 : [一般講演] 後頭部に脳波焦点をもつ特発性小児てんかんの検討. 第94回日本小児科学会, 1991.
- 16) 今井大洋, 千葉 隆, 吉田 豊, 渋谷 惇夫¹⁾ (¹⁾工業技術院) : [一般講演] 新生児の呼吸音の周波数分析 (第 3 報). 第16回肺音研究会, 1991.

- 17) 今井大洋, 千葉 隆, 高瀬真人, 細部千晴, 吉田 豊, 渋谷惇夫¹⁾ (1)工業技術院): [一般講演] 新生児の肺胞呼吸音の周波数解析 (第4報). 第24回日本小児呼吸器疾患学会, 1991.
- 18) 勝部康弘, 渡辺正規, 張 家昆, 関 隆志, 上砂光裕, 深澤隆治, 小川俊一, 平山恒夫: [一般講演] 回転デジタル血管造影法による川崎病冠動脈病変の評価. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 19) 勝部康弘: [一般講演] 学校心臓検診により発見された WPW 症候群の標準12誘導心電図による副伝導路部位診断の試み. 第7回循環器情報処理研究会, 1991.
- 20) 上砂光裕, 関 隆志, 深澤隆治, 勝部康弘, 神保 修, 日野佳昭, 小川俊一, 平山恒夫: [一般講演] 大動脈嚢状中膜壊死と annulo-aorticectasia を認め, 幼児早期より AR を合併した VSD (I) の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 21) 深澤隆治, 関 隆志, 上砂光裕, 勝部康弘, 神保 修, 小川俊一, 山本正生, 平山恒夫, 中田 繁¹⁾, 日野佳昭²⁾ (1)勝楽堂病院, 2)波崎済生病院): [一般講演] Anthracycline 系薬剤を使用した急性白血病の仰臥位自転車エルゴメーター負荷による心予備能の検討. 第27回日本小児循環器学会, 1991.
- 22) 深澤隆治, 関 隆志, 上砂光裕, 勝部康弘, 渡辺正規, 小川俊一, 平山恒夫: [一般講演] 抗 SS-A 抗体陽性の母体から出生した CCAVB, さらに IDDM・MOF を併発した1乳児例. 第141回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 23) 深澤隆治, 関 隆志, 上砂光裕, 渡辺正規, 小川俊一, 弓削邦夫, 平山恒夫: [一般講演] Anthracycline 系薬剤を使用した急性白血病児の運動負荷による心予備能の検討. 第56回日本循環器学会, 1992.
- 24) 千葉 隆, 今井大洋, 五十嵐利一, 吉田 豊, 山本正生, 平山恒夫, 斉藤了一, 大石卓爾¹⁾, 山岸嘉彦¹⁾ (1)放射線科): [一般講演] 気管支喘息児の RI エロゾルクリアランス. 第94回日本小児科学会, 1991.
- 25) 千葉 隆, 今井大洋, 五十嵐利一, 吉田 豊, 山本正生, 斉藤了一, 大石卓爾¹⁾, 山岸嘉彦¹⁾ (1)放射線科): [一般講演] 気管支喘息児の RI エロゾルクリアランス (第II報). 第26回日本小児放射線学会, 1991.
- 26) 浅野 健, 平山恒憲, 稲葉八興, 守田利貞¹⁾ (1)国立東静岡病院): [一般講演] アレルギー性紫斑病の臨床的検討. 第76回日本小児科学会静岡地方会, 1991.
- 27) 前田美穂, 山本正生, Kleinerman, E.S.¹⁾, (1)University of Texas M.D. Anderson Cancer Center, Dept. of Cell Biology): [一般講演] リポソーム封入 MTP・PE による活性化単球から産出される TNF, IL-1 の動態. 第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 28) 村上睦美, 継 仁, 山本隆彰, 安保和俊, 宗像恵美子, 土屋正巳, 平山恒夫, 芦田光則¹⁾, 山本博章²⁾, 岡田義治³⁾, 山内邦昭³⁾ (1)勝楽堂病院, 2)川崎協同病院, 3)東京都予防医学協会): [一般講演] 集団検尿三次検診の暫定診断とその後の確定診断との関連について. 第38回小児保健学会, 1991.
- 29) 渡辺恵子, 渡辺 淳, 右田 真, 今井大洋, 吉田 豊, 山本正生: [一般講演] ALL 治療経過中に真苦性多発肝膿瘍を認めた1女児例. 第27回日本小児放射線学会, 1991.
- 30) 渡辺正規, 山本正生, 平山恒夫, 日野佳昭¹⁾, 高橋保晴²⁾, 弟子丸幸子³⁾, 笠井源吾⁴⁾ (1)波崎済生会病院小児科, 2)同検査室, 3)同看護部, 4)同院): [一般講演] 平成2年夏季におけるエコー9型による無菌性髄膜炎の流行について. 第38回小児保健学会, 1991.
- 31) 渡辺正規, 勝部康弘, 平山恒夫, 小川俊一, 深澤隆治, 上砂光裕, 関 隆志, 張 家昆: [一般講演] 回転デジタル血管造影法による川崎病冠動脈病変の評価. 第11回日本川崎病研究会, 1991.
- 32) 土屋正巳, 継 仁, 山本隆章, 宗像恵美子, 村上睦美, 平山恒夫, 山本博章, 安保和俊: [一般講演] 小児期溶連菌感染後急性糸球体腎炎 (PSAGN) の長期予後に関する前視的 (prospective) 検討. 第94回日本小児科学会, 1991.
- 33) 筒田ありさ, 橋本 清, 藤田武久, 榎戸 久, 小松崎英樹, 藤野 修: [一般講演] 胸腺摘出が有効であった全身型重症筋無力症の1女児例. 第19回関東小児神経学会研究会, 1992.
- 34) 平山恒夫, 小川俊一: [一般講演] 重症先天性心疾患に対する外科的治療法の進歩と工夫. 第59回日本医科大学

医学総会, 1991.

- 35) 関 隆志, 渡辺恵子, 小代博之, 今井大洋, 平山恒夫, 藤井由加里¹⁾, 金子清志¹⁾(¹⁾下館市民病院): [一般講演] 発症早期より心不全を呈した大動脈炎症候群の1例. 第27回日本小児循環器学会, 1991.
- 36) 関 隆志, 渡辺恵子, 小代博之, 今井大洋, 平山恒夫, 藤井由加里, 金子清志: [展示] 発症早期より心不全を呈した大動脈炎症候群の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 37) 上砂光裕, 関 隆志, 深澤隆治, 小川俊一, 平山恒夫, 神保 修¹⁾, 日野佳昭²⁾, 二宮淳一³⁾, 田中邦夫³⁾(¹⁾国立東静病院, ²⁾波崎済生会病院, ³⁾胸部外科): [一般講演] 大動脈囊状中膜壊死と annulo-aortic ectasia を認め幼児早期より AR を合併した VSD (I) の1例. 第27回日本小児循環器学会, 1991.
- 38) 上砂光裕, 関 隆志, 深澤隆治, 勝部康弘, 神保 修, 小川俊一, 平山恒夫, 日野佳昭¹⁾, 二宮淳一²⁾, 田中茂夫²⁾(¹⁾波崎済生会病院, ²⁾胸部外科): [展示] 大動脈囊状中膜壊死と annulo-aortic ectasia 認め, 幼児早期より AR を合併した VSD (I) の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 39) 深澤隆治, 関 隆志, 上砂光裕, 勝部康弘, 小川俊一, 山本正生, 平山恒夫, 神保 修¹⁾, 日野佳昭²⁾, 中田 繁³⁾(¹⁾国立東静病院, ²⁾波崎済生会病院, ³⁾勝楽堂病院): [展示] Anthracycline 系薬剤を使用した急性白血病児の ALP 仰臥位自転車エルゴメーター負荷による心予備能の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 40) 村上睦美: [特別講演] Urinary screening of elementary and junior high school children over a 13-years period in Tokyo. 中華小児科学会医学会外賓講演, 1991.
- 41) 村上睦美: [特別講演] Urinary screening of school children. 中華小児科学会医学会外賓講演, (中華民国), 1991.
- 42) 村上睦美: [特別講演] 学校検尿陽性者の管理. 学校医研修会, 東京都医, 1992.
- 43) 千葉 隆: [教育講演] RI エロゾル吸入シンチグラム. 第10回日本小児呼吸器疾患学会講習会, 1991.
- 44) 勝部康弘, 平山恒夫, 日野佳昭¹⁾, 隈崎達夫²⁾, 恵畑欣一²⁾(¹⁾波崎済生会病院, ²⁾放射線科): [video/cine] 回転デジタル血管造影法による小児心血管病変の診断の試み. 第27回日本小児循環器学会, 1991.

[前年度追加分]

- 1) 高石康子, 橋本 清, 榎戸 久, 藤野 修, 小松崎英樹, 他: [一般講演] 後頭部に脳波焦点をもつ特発性小児てんかんの検討. 第32回小児神経学会総会, 1990.
- 2) 山本圭子, 山本正生: [一般講演] TCCSG All L84-11治療プロトコールにおける failure と eligibility の解析. 第52回日本血液学会, 1990.
- 3) 小松崎英樹, 藤野 修, 榎戸 久, 藤田武久: [展示] 点頭てんかんに対する ACTH 療法中に心臓内腔瘍の重大を認めた結節性硬化症の2例. 第32回小児神経総会, 1990.
- 4) 藤野 修, 橋本 清, 榎戸 久, 藤田武久, 小松崎英樹: [展示] てんかん性めまい発作の1男児例. 第18回関東小児神経学会研究会, 1991.
- 5) Fujino, O., Komatsuzaki, H., Hashimoto, K., Fujita, T., Enokido, H.: [一般講演] Hyromelanosis of Ito with severe developmental retardation and intractable seizures-cliniconeuro pathological study. The 6th TMIN International Symposium, 1990.

[第一病院小児科]

研究業績

論文

- 1) 山本正生：〔原著〕学童の鉄欠乏性貧血の実態とその対策。東京都予防医学協会年報，20，55～57，1991.
- 2) 山本正生，右田 真，丸山和男，金子清志，福永慶隆：〔原著〕選択的 IgA 欠損症と汎血球減少症。小児科，32，311～319，1991.
- 3) 西村昂三，山本正生，右田 真，藤井由加里，浅野 健，他 (TCCSG Members)：〔原著〕小児科領域における重症感染症に対する静注用ヒト免疫グロブリン製剤 (MTI-8803) と抗生剤との併用効果。腫瘍と感染，4，51～59，1991.
- 4) 幡谷直樹，朝倉由美，角田 守，鹿子島俊夫，大木由加志，細井宏益，手代木正：〔原著〕IDDM 患者における血糖および血中遊離 IRI 濃度の変動について；AR-100製剤 (Novo) の使用経験。小児糖尿病；インスリン治療と患者教育。メディカルジャーナル社，105～110，1991.
- 5) 大木由加志，Auslanian, S.A., Becker, D.J., Drash, A.L.：〔原著〕IDDM 患者の抗インスリン抗体がインスリン代謝率 (MCRI) に与える影響について“小児糖尿病：インスリン治療と患者教育”。メディカルジャーナル社，120～125，1991.
- 6) 渡辺 淳，浅野 健，右田 真，伊藤保彦，金子清志，吉田 豊，山本正生，植田 穰：〔報告〕神経芽腫肺転移の 1 剖検例。小児科，32，539～544，1991.
- 7) 大木由加志：〔総説〕低身長，肥満および糖尿病診療の現況；大学医局めぐり。東京医師会誌，44，481～486，1991.
- 8) 山本正生，向後俊昭：〔原著〕本邦における牛乳貧血についての検討。小児臨，44，1357～1364，1991.
- 9) Yamamoto, M., Fukunaga, T. 他：〔原著〕Late effects of childhood acute leukemia and its treatment. Acta Paediatr. Jpn., 33, 573～588, 1991.
- 10) 大木由加志，角田 守，峰田喬臣，細井宏益，手代木正：〔原著〕思春期肥満児および思春期 NIDDM 患者の insulin 分泌および clearance について；O-GTT による CPR/IRI molar ratio からの検討。日児誌，95，1647～1656，1991.
- 11) Asano, T., Hashimoto, K., Enokido, H., Ikeuchi, T., Shinohara, T.：〔原著〕Partial 18q trisomy and 18p monosomy resulting from a maternal pericentric inversion, inv (18) (p11.2q21.3). Jpn. J. Human Genet. 36, 257～265, 1991.
- 12) Bessho, F., Yamamoto, M., et al (TCCSG Members)：〔原著〕Improved prognosis of acute nonlymphocytic leukemia in children; Results of the 12th-ANLL protocol of Tokyo children's cancer study group. Acta Paediatr. Jpn, 33, 533～539, 1991.
- 13) Tsuchida, M., Yamamoto, M., et al (TCCSG Members)：〔原著〕Treatment of acute lymphoblastic leukemia in the Tokyo children's cancer study group-preliminary results of L84-11 protocol. Acta Paediatr. Jpn, 33, 522～532, 1991.
- 14) Itoh, Y., Reichlin, M.：〔原著〕Ro/SSA antigen in human platelet ; Different distributions of the isoforms of Ro/SSA protein and the Ro/SSA-binding RNAs. Arthritis Rheum, 34, 888～893, 1991.
- 15) 大木由加志，角田 守，峰田喬臣，細井宏益，手代木正：〔原著〕思春期肥満児および思春期 NIDDM 患者の insulin 分泌および clearance について；O-GTT による検討。ホと臨床，39，1045～1051，1991.
- 16) 山本正生，右田 真：〔総説〕鉄欠乏性貧血；食餌療法の意義。治療，73，2264～2265，1991.
- 17) 林 泰秀，山本正生，他：〔原著〕乳児急性白血病の染色体所見と臨床像；11q23転座の意義について。日児誌，95，2349～2400，1991.

- 18) 西野和良, 山本正生, 神野直昭, 他: [原著] Common variable hypogammaglobulinemia の免疫グロブリン産生能とシメチジンの効果. 日臨免誌, 15, 51~59, 1992.
- 19) Itoh, Y., Reichlin, M.: [原著] Antibodies to carbonic anhydrase in SLE and other rheumatic diseases. Arthritis Rheum. 35, 73~82, 1992.
- 20) 角田 守, 大木由加志, 峰田喬臣, 手代木正: [原著] 学童期(7~11歳), 思春期(12~16歳)の肥満児およびインスリン非依存型糖尿病患者におけるインスリン分泌とクリアランスに関する研究; 経口ブドウ糖負荷試験による検討. 日医大誌, 58, 9~20, 1992.
- 21) 植田高弘, 継 仁, 村上睦美, 山本正生, 平山恒夫, 平山恒憲, 渡辺 淳, 守田利貞: [報告] 急性腎不全を合併した非梅毒性寒冷血色素尿症の1例. 日児誌, 96, 168~174, 1992.
- 22) 右田 真, 渡辺 淳, 小松崎英樹, 伊藤保彦, 金子清志, 村上由加里, 五十嵐徹, 福永慶隆, 山本正生: [報告] CALL 維持療法中にヒトパルボウイルス B19感染により骨髄不全を呈した1例. 日小血会誌, 6, 66~70, 1992.
- 23) 山本正生, 右田 真, 金子清志: [総説] 小児急性白血病患者長期生存患者における諸問題. 小児科, 33, 23~30, 1992.
- 24) 山本正生, 福永慶隆: [総説] 末梢血液中に認められる顆粒リンパ球について. 日児誌, 96, 227~230, 1992.
- 25) 安保和俊, 継 仁, 土屋正己, 宗像恵美子, 村上睦美, 石崎正通¹⁾, 山中宣昭¹⁾, 馬杉洋三²⁾, 守田利貞²⁾(¹⁾病理学第1, ²⁾国立東静岡病院): [報告] ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群で発症し, 3年の経過で膜性増殖性糸球体腎炎様の組織像を呈したIgA腎症の1小児例. Seminars of Pediatric Nephrology, 7, 18~21, 1992.
- 26) Migita, M., Fukunaga, Y., Watanabe, A., Maruyama, K., Ohta, K., Kaneko, K., Yamamoto, M., Kaneda, M. and Kakinuma, K.: [報告] Emperipolesis of neutrophils by megakaryocytes and thrombocytopenia observed in a case of kostmann's syndrome during intravenous administration of high-dose rhG-CSF. Br. J. Haematol, 80, 413~415, 1992.

著 書

- 1) 山本正生, 右田 真, 前田美穂: [分担] 小児の鉄欠乏性貧血の診断と対策. New MOOK 小児科, 1: 小児貧血の臨床, [編集; 赤塚順一], p. 68~82, 金原出版, 1992.

学会発表

- 1) 右田 真, 渡辺 淳, 金子清志, 福永慶隆, 山本正生: [一般講演] 骨髄は初回寛解持続中で, 中枢神経再発を繰り返す, 視床下部症候群を呈してきた ALL 発症10年目の1小児例. 1990年度関東甲信越地区小児がん登録研究会, 1991.
- 2) 右田 真, 浅野 健, 守田利貞, 土居寿子, 渡辺 淳, 福永慶隆, 山本正生: [一般講演] 学童における hemato-fluorometer を用いた全血プロトポルフィリンの測定について. 第94回日本小児科学会総会, 1991.
- 3) 角田 守, 大木由加志, 峰田喬臣, 細井宏益, 手代木正: [一般講演] 学童期(7~11歳), 思春期(12~16歳)の肥満児およびNIDDM 患児における insulin 分泌と clearance について. 第94回日本小児科学会総会, 1991.
- 4) 大木由加志, 細井宏益, 峰田喬臣, 角田 守, 手代木正: [一般講演] 思春期肥満児およびNIDDM 患児における insulin 分泌と clearance について; O-GTT による検討. 第34回日本糖尿病学会総会, 1991.
- 5) 土屋正己, 宗像恵美子, 継 仁, 山本隆彰, 山本博章, 安保和俊, 村上睦美, 平山恒夫: [一般講演] 小児期溶連菌感染後急性糸球体腎炎(PSAGN)の長期予後に関する前視的(prospective)検討. 第94回日本小児科学会総会, 1991.
- 6) 安保和俊, 宗像恵美子, 継 仁, 山本隆彰, 土屋正己, 芦田光則, 山本博章, 村上睦美: [一般講演] 集団検尿における小児と成人の比較. 日本小児腎臓病学会, 1991.
- 7) Ohki, Y., Tsunoda, M., Mineda, T., Hosoi, H., and Teshirogi, T.: [一般講演] Insulin secretion and clearance

- during OGTT in normal, obese, and NIDDM adolescents. The 17th Annual Meeting of International Study Group of Diabetes in Children and Adolescents (Williamsburg, Virginia USA), 1991.
- 8) Ohki, Y., Tsunoda, M., Mineda, T., Hosoi, H. and Teshirogi, T. : [一般講演] Insulin secretion and clearance during OGTT in normal, obese, and diabetic adolescents. The 14th International Diabetes Federation Congress. (Washington, D.C. USA), 1991.
 - 9) 大木由加志, 山本正生, Dorman, J., Orchard, T., Becker, D. and Drash, A. : [一般講演] IDDM 患者の血圧と合併症との関係について. 第9回小児糖尿病カンファランス, 1991.
 - 10) 山本正生 : [特別講演] 小児急性白血病長期生存者の諸問題. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 11) 伊藤保彦 : [特別講演] Ro/SSA 自己抗原の多様性. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 12) 右田 真, 小松崎英樹, 山本正生 : [一般講演] CALL 維持療法中にヒトパルボウイルス B19感染により骨髄不全を呈した1例. 第406回日本小児科学会東京地方会, 1991.
 - 13) 渡辺正規, 日野佳昭, 山本正生, 平山恒夫 : [一般講演] 平成2年夏季におけるエコー9型による無菌性髄膜炎の流行について. 第38回日本小児保健学会, 1991.
 - 14) 土田昌宏, 山本正生, 他 (TCCSG Members) : [一般講演] TCCSG L84-11. 1984~89. 第4報 ; 閉鎖後2年のEFS予後解析. 第33回日本小児血液学会, 1991.
 - 15) 右田 真, 渡辺 淳, 浅野 健, 太田耕造, 金子清志, 前田美穂, 守田利貞, 福永慶隆, 山本正生 : [一般講演] Hematofluorometer を用いた全血プロトポルフィリンの測定について ; 第2報. 第33回日本小児血液学会, 1991.
 - 16) 丸山和男, 藤井由加里, 五十嵐徹, 福永慶隆, 右田 真, 渡辺 淳, 金子清志, 飛田正俊, 向後俊昭, 山本正生 : [一般講演] rhG-CSF 24時間持続点滴投与中に巨核球の emperipoiesis を認めた先天性無顆粒球症の1例. 第33回日本小児血液学会, 1991.
 - 17) 高山 順, 山本正生, 他 (TCCSG Members) : [一般講演] 小児 T 細胞型リンパ腫プロトコール TCCSG・T-8801の治療成績. 第33回日本小児血液学会, 1991.
 - 18) 渡辺 淳, 関 隆志, 右田 真, 金子清志, 福永慶隆, 山本正生 : [一般講演] MMR ワクチン接種後に血小板減少性紫斑病を呈した1幼児例. 第33回日本小児血液学会, 1991.
 - 19) 植田高弘, 右田 真, 山本正生 : [展示] 高度の貧血を呈した牛乳貧血の1幼児例. 第33回日本小児血液学会, 1991.
 - 20) 月本一郎¹⁾, 山本正生, 他 (²⁾東邦大学小児科) : [一般講演] 小児髄外白血病の実態調査成績. 第33回日本小児血液学会, 1991.
 - 21) Itoh, Y. and Reichlin, M. : [一般講演] Molecular conformation and autoantibodies to the Ro/SSA particle. 2nd International Workshop of Molecular and Cell Biology of Autoantibodies and Autoimmunity. (San Diego, CA.), 1991.
 - 22) Itoh, Y., Itoh, K., Frank, M.B. and Reichlin, M. : [招待講演] The 52kD Ro/SSA bind a subpopulation of antibodies to the native 60kD Ro/SSA protein ; Evidence that hY-RNAs are not associated with 52kD Ro/SSA. 2nd International Workshop of Molecular and Cell Biology of Autoantibodies and Autoimmunity (San Diego, CA), 1991.
 - 23) 村上睦美, 山本隆彰, 安保和俊, 継 仁, 宗像恵美子, 土屋正己, 平山恒夫, 芦田光則, 山本博章, 山内邦昭, 岡田義治 : [一般講演] 集団検尿三次検診の暫定診断とその後の確定診断との関連. 第38回日本小児保健学会, 1991.
 - 24) 大木由加志, 山本正生, 他 (ピッツバーグ小児病院内分泌代謝科) : [一般講演] IDDM 患者の血圧と合併症との関係について. 第25回日本小児内分泌学会, 1991.
 - 25) 継 仁, 伊藤加壽子, 芦田光則, 宗像恵美子, 安保和俊, 土屋正己, 山本博章, 村上睦美 : [一般講演] 小児

- 期の chance proteinuria. 第34回日本腎臓学会, 1991.
- 26) 植田高弘, 渡辺 淳, 守田利貞, 山本正生: [一般講演] 急性腎不全を合併した非梅毒性発作性寒冷血色素尿症の1小児例. 第33回日本臨床血液学会, 1991.
 - 27) 前田美穂, 山本正生: [一般講演] リポソーム封入 MTP; PE による活性化単球から産生される TNF, IL-1の動態. 第33回日本臨床血液学会, 1991.
 - 28) 藤井由加里, 渡辺 淳, 右田 真, 山下誠夫, 弓削邦夫, 山本正生: [一般講演] 暗褐色尿を主訴に来院した不安定ヘモグロビン症 (Hb Köln) の1例. 第408回日本小児科学会東京地方会, 1991.
 - 29) 渡辺恵子, 渡辺 淳, 右田 真, 今井大洋, 吉田 豊, 山本正生: [一般講演] ALL 治療経過中に真菌性多発肝膿瘍を認めた1小児例. 第27回日本小児放射線学会, 1991.
 - 30) Itoh, Y. and Reichlin, M.: [一般講演] Molecular conformation and autoantibodies to the Ro/SSA particle. American College of Rheumatology 55th Annual Scientific Meeting. (Boston, MA.), 1991.
 - 31) Itoh, K., Itoh, Y. and Frank, M.B.: [一般講演] Molecular analysis and epitope mapping of DNA encoding 52kD Ro/SSA protein. American College of Rheumatology 55th Annual Scientific Meeting. (Boston, MA.), 1991.
 - 32) Itoh, Y., Itoh, K., Frank, M.B. and Reichlin, M.: [シンポジウム] The 52kD Ro/SSA binds a subpopulation of antibodies to the native 60kD Ro/SSA protein; Evidence that hY-RNAs are not associated with 52kD Ro/SSA. American College of Rheumatology 55th Annual Scientific Meeting. (Boston, MA.), 1991.
 - 33) 折茂裕美, 大木由加志, 宮本幹夫, 岡田一芳, 若林恒郎, 手代木正, 黒田 肇, 山中宣昭, 荒牧琢巳: [展示] 組織学的に経過を観察し得た小児チオプロノン肝障害の1例. 第26回日本肝臓学会東部会, 1991.
 - 34) 藤井由加里, 渡辺 淳, 五十嵐徹, 福永慶隆, 山本正生, 他: [展示] 口腔内平滑筋肉腫の1小児例. 第7回日本小児がん学会, 1991.
 - 35) 渡辺 淳, 右田 真, 川上康彦, 金子清志, 山本正生, 松本光司: [展示] 急激な経過をたどった肝原発腫瘍の1小児例. 第7回日本小児がん学会, 1991.
 - 36) 五十嵐徹, 継 仁, 宗像恵美子, 伊藤保彦, 村上睦美, 福永慶隆, 松岡和彦, 松井玄代, 山本正生: [一般講演] ループスアンチコアグラント陽性で頻回の脳梗塞を認め治療抵抗性を呈した SLE の1例. 第410回日本小児科学会東京地方会, 1992.
 - 37) 右田 真, 渡辺 淳, 金子清志, 宗像恵美子, 福永慶隆, 山本正生: [一般講演] 治療終了後5年目に水腎症を契機に晩期再発が確認された CALL の1例. 関東甲信越地区小児がん登録研究会, 1992.
 - 38) 安保和俊, 継 仁, 伊藤加寿子, 宗像恵美子, 土屋正巳, 村上睦美, 芦田光則, 山本博章, 他: [一般講演] 追生検を行った small kidney 2 症例. 関東小児腎臓病研究会, 1992.

[第二病院小児科]

研究業績

論文

- 1) 古井民一郎, 久安早苗¹⁾ (¹⁾生化学第2): [原著] ラット小腸サイトゾルアミノペプチダーゼの精製とその性質. 日医大誌, 58, 296~305, 1991.
- 2) Fujita, T., Nonaka, I.¹⁾ and Sugita, H.¹⁾, (¹⁾National Institute of Neuroscience): [原著] Japanese quail and human acid maltase deficiency; A comparative study. Brain Dev., 13, 247~255, 1991.
- 3) 高石康子, 橋本 清, 榎戸 久: [原著] 後頭部に脳波焦点をもつ特発性小児てんかん. 日医大誌, 58, 686~695, 1991.
- 4) 太田秀穂: [総説] 小児急性下痢症治療の動向. 日医大誌, 58, 713~716, 1991.

- 5) 松岡和彦, 竹鼻純子, 務川 靖, 吉田 豊: [原著] Nifedipine が有用であった小児食道アカラジアの1例. 日気食会報, 43, 48~52, 1992.

著 書

- 1) 太田秀穂: [分担] 経口補液療法の実際. 輸液ガイド (Medical Practice 編集委員会, 編), p. 88~93, 文光堂, 1992.

学会発表

- 1) 古井民一郎, 林 毅陸, 永井雄一, 橋本 清, 太田秀穂, 池田由紀¹⁾, 久安早苗¹⁾, 平井幸彦¹⁾, 吉野芳夫¹⁾(¹⁾生化学第2): [一般講演] ラット小腸粘膜サイトゾルアミノペプチダーゼの特性と発育に伴う変動について. 第94回日本小児科学会学術集会, 1991.
- 2) 高石康子, 橋本 清, 榎戸 久, 藤野 修, 釜沼 敏, 渋谷展子, 藤田武久, 古谷正伸, 小泉要介, 小松崎英樹, 沢登理恵子, 川上康彦: [一般講演] 後頭部に脳波焦点をもつ特発性小児てんかんの検討. 第94回日本小児科学会学術集会, 1991.
- 3) 榎戸 久, 橋本 清, 小代博之, 小泉要介, 渋谷展子, 藤田武久, 藤野 修: [一般講演] 閉眼により脳波上高振幅 rapid rhythm を示し, non convulsive epileptic status を呈した1女児例. 第33回日本小児神経学会総会, 1991.
- 4) 橋本 清, 藤野 修, 藤田武久, 埜中征哉¹⁾, 荒畑喜一¹⁾, 鈴木義之²⁾, 桜庭 均²⁾ (¹⁾国立神経研究所, ²⁾東京都臨床医学総合研究所): [展示] Fabry 病と Duchenne 型筋ジストロフィー症を合併した1男児例. 第33回日本小児神経学会総会, 1991.
- 5) 永井雄一, 林 毅陸, 古井民一郎, 弓削邦夫, 太田秀穂, 渡辺恵子, 今井大洋, 日野佳昭, 平山恒夫: [一般講演] 学校心臓検診・精査で診断された冠静脈洞左房交通症, 三心房心など稀な心内奇形を合併した修正大血管転換症 (I.D.D.) の1例. 第27回日本小児循環器学会総会, 1991.
- 6) 藤田武久, 橋本 清, 榎戸 久, 小泉要介, 太田秀穂, 向後俊昭, 弓削邦夫¹⁾ (¹⁾三菱重工大倉山病院小児科): [一般講演] Absence status の1例. 第8回神奈川小児神経懇話会, 1991.
- 7) 榎戸 久, 橋本 清, 釜 沼敏, 藤野 修, 藤田武久, 小松崎英樹, 川上康彦, 加藤和夫¹⁾, 守田利貞²⁾ (¹⁾横浜南共済病院小児科, ²⁾国立東静岡病院小児科): [一般講演] ミオクローニア欠神の2症例. 第25回日本てんかん学会, 1991.
- 8) 西沢善樹, 太田耕造, 太田秀穂: [一般講演] 未熟児室内ホルマリン消毒の前後における細菌環境調査. 第36回日本未熟児新生児学会, 1991.
- 9) 西沢善樹, 藤田武久, 橋本 清, 下平雅之¹⁾ (¹⁾東京医科歯科大学小児科): [展示] 頭部画像上多発性嚢胞性病変を来した原因の異なる3例. 第36回日本未熟児新生児学会, 1991.
- 10) 林 毅陸, 筒田ありさ, 永井雄一, 古井民一郎, 太田秀穂: [一般講演] 肺塞栓症を合併した感染性心内膜炎の1症例. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 11) 弦間優紀子, 勝部康弘, 関 隆志, 上砂光裕, 深澤隆治, 渡辺正規, 小川俊一, 弓削邦夫, 平山恒夫, 重田聡男¹⁾, 高津光洋¹⁾ (¹⁾東京慈恵会医大法学部): [一般講演] マラソン走行中突然死を来した心筋梗塞を有する川崎病既往児の例; 特にその管理のあり方について. 第22回関東甲信越静学校心臓病予防研究会静岡県大会, 1991.
- 12) 藤田武久, 橋本 清, 太田秀穂, 小林士郎¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科): [一般講演] 同胞2人がてんかんの乳児にみられた痙攣で発症した原因不明の亜急性硬膜下血腫. 第9回神奈川小児神経懇話会, 1992.
- 13) 太田耕造, 藤田武久, 太田秀穂, 服部怜美¹⁾, 川並汪一²⁾ (¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾同病理): [一般講演] 頭部腫瘤にて発見された好酸球肉芽腫症の1例. 第194回日本小児科学会神奈川県地方会, 1992.
- 14) 筒田ありさ, 橋本 清, 榎戸 久, 藤田武久, 藤野 修, 小松崎英樹, 川上康彦: [一般講演] 胸腺摘出が有効

であった全身型重症筋無力症の1女児例. 第19回関東小児神経学研究会, 1992.

[多摩永山病院小児科]

研究業績

論文

- 1) 高石康子¹⁾, 橋本 清, 榎戸 久²⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾第二病院小児科): [原著] 後頭部に脳波焦点をもつ特発性小児てんかんの検討. 日医大誌, 58, 686~695, 1991.
- 2) 岡部俊成, 飛田正俊, 丸山和男, 向後俊昭, 野呂瀬嘉彦¹⁾, 中川洋子¹⁾, 横室公三¹⁾, 木村義民¹⁾, 柴田明佳²⁾ (¹⁾微生物免疫学, ²⁾多摩永山病院中央検査室): [原著] アトピー性皮膚炎患者由来黄色ブドウ球菌の生物学的性状について; アトピー性皮膚炎1990, 第40回日本アレルギー学会ワークショップ記録集, 19~21, 1991.
- 3) 芦田光則¹⁾, 土屋正己, 村上睦美²⁾, 平山恒夫²⁾ (¹⁾勝楽堂病院小児科, ²⁾付属病院小児科): [総説] 尿細管機能異常症; 最近の進歩; 尿細管・間質性腎炎: 急性腎盂腎炎. 小児内科, 23, 727~735, 1991.
- 4) 岡部俊成, 飛田正俊, 丸山和男, 向後俊昭, 山本正生¹⁾, 田中洋介²⁾, 吉岡正智²⁾ (¹⁾第一病院小児科, ²⁾多摩永山病院外科): [原著] 気管支喘息発作中に併発したと思われる食道潰瘍の1例. アレルギーの臨床, 5, 354~355, 1991.
- 5) Asano, T.¹⁾, Hashimoto, K., Ikeuchi, T.²⁾, Shinohara, T.²⁾ and Enokido, H.²⁾ (¹⁾第一病院小児科, ²⁾第二病院小児科): [報告] Partial 18q trisomy and 18q monosomy resulting from a maternal pericentric inversion in (18) (p 11.2, q 21.3). Jpn. J. Human Genet., 36, 257~265, 1991.
- 6) 村上睦美¹⁾, 継 仁¹⁾, 土屋正己 (¹⁾付属病院小児科): [総説] 腎疾患ケアシステム: 健康診断における尿検査; 小児の場合, 4. 検尿陽性者の事後管理と問題点 (2) 小児腎疾患専門医の立場から. 臨床透析 (7月別刷), 100~107, 1991.
- 7) 村上睦美¹⁾, 土屋正己 (¹⁾付属病院小児科): [総説] 症候からみた小児の診断学; 血尿. 小児診療, 54 (増刊号) 460~465, 1991.
- 8) 橋本 清: [総説] 小児の視力障害. 小児診療, 54, 2196~2202, 1991.
- 9) 村上睦美¹⁾, 安保和俊¹⁾, 土屋正己 (¹⁾付属病院小児科): [総説] 小児科情報最前線; 学校保健. 学校集団検尿. 小児臨, 32, 1397~1401, 1991.
- 10) 川上康彦, 土居寿子¹⁾, 深沢隆治¹⁾, 務川 靖²⁾, 藤田武久³⁾, 加藤隆司⁴⁾, 安田 正⁵⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾大宮総合病院, ³⁾第二病院小児科, ⁴⁾加藤小児科, ⁵⁾大宮総合病院): [報告] Freeman-Sheldon 症候群の1同胞例. 小児科, 32, 1497~1500, 1991.
- 11) 藤野 修¹⁾, 橋本 清 (¹⁾付属病院小児科): [総説] 熱性痙攣の発熱との時間的關係. 小児内科, 24, 65~68, 1992.
- 12) 村上睦美¹⁾, 安保和俊¹⁾, 土屋正己 (¹⁾付属病院小児科): [総説] IX. 小児科領域; 学校保健の動向. Annual Review, 190~199, 1992.
- 13) Migita, M.¹⁾, Fukunaga, Y.¹⁾, Watanabe, A.¹⁾, Maruyama, K., Ohta, K.²⁾, Kaneko, K.¹⁾, Kaneda, M.³⁾, Kakinuma, K.³⁾ and Yamamoto, M.¹⁾, (¹⁾第一病院小児科, ²⁾第二病院小児科, ³⁾東京都臨床医学研究所): [報告] Emperipolesis of neutrophils by megakaryocytes and thrombocytopenia observed in a case of kostmann's syndrome during intravenous administration of high-dose rhG-CSF. Br. J. Hematol., 80, 413~415, 1992.
- 14) 安保和俊¹⁾, 継 仁¹⁾, 土屋正己, 宗像恵美子¹⁾, 村上睦美¹⁾, 石崎正通²⁾, 山中宣昭²⁾, 馬杉洋三²⁾, 守田利貞³⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾病理第1, ³⁾国立東静岡病院): [報告] ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群で発症し, 3年の経過で膜性増殖性腎炎様の組織像を呈した IgA 腎症の1小児例. Seminars of Pediatric Nephrology, 18~21, 1992.

学会発表

- 1) 土屋正己, 継 仁¹⁾, 山本隆彰¹⁾, 宗像恵美子¹⁾, 村上睦美¹⁾, 平山恒夫¹⁾, 山本博章²⁾, 安保和俊¹⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾川崎協同病院): [一般講演] 小児期溶連菌感染後糸球体腎炎 (PSAGN) の長期予後に関する前視的 (prospective) 検討. 第94回日本小児科学会, 1991.
- 2) 橋本 清, 藤野 修¹⁾, 藤田武久²⁾, 埜中征哉³⁾, 荒畑喜一³⁾, 鈴木義之⁴⁾, 桜庭 均⁴⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾第二病院小児科, ³⁾国立・精神・神経センター, ⁴⁾東京都臨床医学研究所): [一般講演] Fabry 病と Duchenne 型筋ジストロフィー症を合併した 1 男児例. 第33回日本小児神経学会, 1991.
- 3) 安保和俊¹⁾, 継 仁¹⁾, 山本隆彰¹⁾, 土屋正己, 宗像恵美子¹⁾, 芦田光則²⁾, 山本博章³⁾, 村上睦美¹⁾, 山形 陽⁴⁾, 山内邦昭⁵⁾, 岡田義治⁵⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾勝楽堂病院, ³⁾川崎協同病院, ⁴⁾元日立総合病院, ⁵⁾東京予防医学協会): [一般講演] 集団検尿における小児と成人の比較. 関東小児腎臓研究会, 1991.
- 4) 土屋正己, 安保和俊¹⁾ (¹⁾付属病院小児科): [ワークショップ] 学校検尿; 新しい展望を求めて学校検尿でいかなる疾患が発見しうるか, その意義と問題点について. 日本小児腎臓病学会, 1991.
- 5) 藤田武久¹⁾, 橋本 清, 向後俊昭, 榎戸 久¹⁾, 小泉要介¹⁾, 太田秀穂¹⁾, 弓削邦夫²⁾ (¹⁾第二病院小児科, ²⁾付属病院小児科): [一般講演] Absence status の 1 例. 第 8 回神奈川小児神経懇話会, 1991.
- 6) 丸山和男, 右田 真¹⁾, 渡辺 淳¹⁾, 五十嵐徹¹⁾, 藤井由加里¹⁾, 金子 清¹⁾, 飛田正俊, 福永慶隆¹⁾, 向後俊昭, 山本正生¹⁾ (¹⁾第一病院小児科): [一般講演] rhG-CSF 24時間持続点滴投与中に巨核球の emperipolesis を認めた先天性無顆粒球症の 1 例. 日本小児血液学会, 1991.
- 7) 橋本 清: [新任教授特別講演] 熟性けいれんとてんかん. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 8) 村上睦美¹⁾, 継 仁¹⁾, 山本隆彰¹⁾, 土屋正己, 宗像恵美子¹⁾, 芦田光則²⁾, 山本博章³⁾, 村上睦美¹⁾, 山内邦昭⁴⁾, 岡田義治⁴⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾勝楽堂病院, ³⁾川崎協同病院, ⁴⁾東京予防医学協会): [一般講演] 集団検尿三次検診の暫定診断とその後の確定診断との関係. 第38回日本小児保健学会, 1991.
- 9) 岡部俊成, 飛田正俊, 丸山和男, 向後俊昭, 渋谷正則¹⁾, 大橋 聡²⁾ (¹⁾永山病院生化学研究室, ²⁾エーザイ): [一般講演] テオフィリン徐放製剤による喘息幼児の RTC 療法におけるペイジアン法の有用性. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 10) 西沢善樹¹⁾, 藤田武久, 橋本 清, 下平雅之²⁾ (¹⁾第二病院小児科, ²⁾東京医科歯科大学): [展示] 頭部画像診断上多発性嚢胞性病変を来した原因の異なる 3 症例. 第36回日本未熟児新生児学会, 1991.
- 11) 榎戸 久¹⁾, 橋本 清, 川上康彦, 釜池 敏²⁾, 藤野 修²⁾, 藤田武久²⁾, 小松崎英樹²⁾, 加藤和夫³⁾, 守田利貞⁴⁾ (¹⁾第二病院小児科, ²⁾付属病院小児科, ³⁾横浜南共済病院, ⁴⁾国立東静病院): [VTR セッション] ミオクロニー欠伸の 2 例. 第25回日本てんかん学会, 1991.
- 12) 継 仁¹⁾, 伊藤加寿子, 安保和俊¹⁾, 土屋正己, 宗像恵美子¹⁾, 芦田光則²⁾, 山本博章³⁾, 村上睦美¹⁾ (¹⁾付属病院小児科, ²⁾勝楽堂病院, ³⁾川崎協同病院): [一般講演] 小児期の chance proteinuria. 第34回日本腎臓学会, 1991.
- 13) 藤田武久, 橋本 清, 太田秀穂¹⁾, 小林士郎²⁾ (¹⁾第二病院小児科, ²⁾付属病院脳神経外科): [一般講演] 同胞 2 例がてんかんの乳児にみられた, 痙攣で発症した原因不明の亜急性硬膜下血腫. 第 9 回神奈川小児神経懇話会, 1992.
- 14) 川上康彦, 丸山和男, 土屋正己, 飛田正俊, 岡部俊成, 向後俊昭, 橋本 清, 田中洋介¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 飯田英次²⁾, 前田昭太郎³⁾ (¹⁾多摩永山病院外科, ²⁾同放射線科, ³⁾同病理部): [一般講演] 大量出血によりショック症状を呈し, 注腸造影により診断し得た Meckel 憩室の 1 乳児例. 第409回日本小児科学会東京地方会講話会, 1992.
- 15) 丸山和男, 大久保隆志, 川上康彦, 伊藤加寿子, 土屋正己, 飛田正俊, 向後俊昭, 橋本 清: [一般講演] 初回寛解導入後15カ月間完全寛解を維持し得ている乳児白血病の 1 例; 強力な化学療法に伴う顆粒球減少に対する rhG-CSF と簡易無菌室の有用性について. 日本医科大学医学会第76回例会, 1991.
- 16) 筒田ありさ¹⁾, 橋本 清, 川上康彦, 榎戸 久¹⁾, 藤田武久¹⁾, 藤野 修²⁾, 小松崎英樹²⁾ (¹⁾第二病院小児科, ²⁾付

属病院小児科)：〔一般講演〕胸腺摘出が有効であった全身型重症筋無力症の1女児例。第19回関東小児神経研究会，1992。

17) 竹田幸代，立麻典子，飛田正俊，岡部俊成，丸山和男，渡辺恵子，向後俊昭，橋本 清：〔一般講演〕下垂体性小人症にインスリン依存性糖尿病を合併した稀な1症例におけるHGHによる治療経験。第411回日本小児科学会東京地方会講話会，1992。

18) 安保俊和¹⁾，伊藤加寿子，土屋正己，宗像恵美子¹⁾，芦田光則²⁾，山本博章³⁾，村上睦美¹⁾，益田幸成²⁾，石崎正通³⁾，山中宣昭³⁾ (¹⁾付属病院小児科，²⁾勝楽堂病院，³⁾川崎協同病院，⁴⁾病理第1)：〔一般講演〕追生検を行った small kidney 2 症例。関東小児腎臓研究会，1991。

6. 放射線医学講座

〔付属病院放射線科〕

研究概要

放射線診断学と放射線治療を骨子とした研究が基本であるが、本年の特徴は、診断学が画像診断学と IVR の 2 面的な展開をみせ始めたことと、治療学がそれに直結する画像診断学と一体化する研究がみられ始めたことである。後者は今後腫瘍放射線学と言うべき方向を目指すことが期待される。本年は以下に示すような臨床的、基礎的研究を行った。

1) 水溶性ヨード造影剤の研究は生理学教室、病理学教室との共同で基礎的研究が進み、肺組織の変化にかんする研究結果は欧州放射線医学国際会議で金賞を受賞する栄誉に輝いた。臨床例における肺循環への影響も、昨年に続いて新しい研究成果を発表できた。肺 Kohn 孔の形成機序にかんする詳細な検討も新知見をもたらした。

2) CT では、肝・胆・脾に於ける早期癌診断能の研究が進められた。また新しい傾向として Helical Scanning の研究が始まったことが挙げられる。3次元 CT の研究も注目された。MRI は昨年に引き続き 3-D display が研究の中心であったが、MRI の有用性を強調した症例報告も多かった。心臓大血管領域では CT、MRI とともに国内ではすでに指導的立場にあり、このうち大動脈炎症候群の CT 分析は上述の国際会議で銀賞を受賞した。CR の救急領域への有用性や、回転デジタル撮影システムの大動脈解離診断や先天性心疾患への有用性に関する研究は、日本医大の独創的研究として本年も国内外で一層の注目をあびていた。

3) RI では、脳循環、肺循環、呼吸機能、心機能にかんする研究が精力的に進み、国内外の学会や学会誌に数多く発表された。Tc-99mHM-PAO を使用した精神分裂病の脳循環動態の研究は国際会議にて学会奨励賞を受賞した。

4) IVR は腫瘍、外傷性出血などに対する TAE とともに、本年は血管内ステント留置による下肢閉塞性動脈硬化症の研究が進められ、見るべき成果を挙げている。本治療法は日本医大が中心になって行っているものであるが、数年後には新しい治療法として一般化することが期待される。

5) 放射線治療部門は研究のみならず充実の一步をたどっている。超音波と CT の診断技術を駆使した治療計画やその予後予測の研究は、特に中下咽頭癌の遠隔成績に見るべき成果をもたらした。密封小線源治療の最適化と治療比改善の研究や低線量全身照射による腫瘍制御の研究も進められた。密封小線源治療と IVR 技術の一体化による対癌戦略は、当教室の特色を生かせる新しい展開として進めていく計画である。

研究業績

論文

- 1) 川俣博志, 隈崎達夫, 田島廣之, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 恵畑欣一: [原著] 重症骨盤骨折における経カテーテル的動脈塞栓術の再検討; 特に「内腸骨動脈領域以外の動脈塞栓術」について。日本医放会誌, 51, 649~655, 1991.
- 2) 市川太郎, 森山紀之¹⁾, 高安賢一¹⁾, 村松幸男¹⁾, 石川 勉¹⁾, 縄野 繁¹⁾, 寺内隆司¹⁾, 若尾文彦¹⁾, 山田達哉¹⁾ (1) 国立がんセンター病院放射線診断部): [原著] Helical Scanning CT の上腹部への臨床応用。日本医放会誌, 51, 942~949, 1991.
- 3) 隈崎達夫: [原著] 新しいデジタル血管撮影システムの開発; 回転撮影法の改良と 3次元画像表示法。日本医放会誌, 51, 1068~1077, 1991.
- 4) 市川太郎, 高安賢一¹⁾, 梶原正博¹⁾, 大平睦男¹⁾, 森山紀之¹⁾, 村松幸男¹⁾, 縄野 繁, 寺内隆司¹⁾, 関口隆三¹⁾, 若尾文彦¹⁾, 照井頌二¹⁾, 山田達哉¹⁾ (1) 国立がんセンター病院放射線診断部): [原著] 肝芽腫15例の臨床放射線学的検討。日本医放会誌, 51, 1224~1231, 1991.

- 5) 市川太郎, 森山紀之¹⁾, 松江寛人¹⁾, 牛尾恭輔¹⁾, 高安賢一¹⁾, 村松幸男¹⁾, 石川 勉¹⁾, 縄野 繁¹⁾, 水口安則¹⁾, 寺内隆司¹⁾, 大村卓味¹⁾, 若尾文彦¹⁾, 山田達哉¹⁾ (¹⁾国立がんセンター病院放射線診断部): [原著] 膵病変の診断過程; 小膵癌を中心に. 画像診断, 11, 1410~1415, 1991.
- 6) 大矢 徹, 高木 亮, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 田島廣之, 隈崎達夫, 恵畑欣一, 真々田真宏¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 田尻孝¹⁾, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [原著] 遠位脾腎静脈吻合術後狭窄に対するPTA. 臨放線, 36, 441~444, 1991.
- 7) 汲田伸一郎, 西村恒彦¹⁾, 槇原敏勇¹⁾, 下永田剛¹⁾ (¹⁾国立循環器センター放射線部): [原著] ^{99m}Tc-MIBI を用いた心機能評価; GATED PLANAR IMAGE による検討. 核医学, 28, 591~597, 1991.
- 8) 汲田伸一郎, 西村恒彦¹⁾, 槇原敏勇¹⁾, 下永田剛¹⁾, 岡 尚嗣¹⁾, 与小田一郎¹⁾ (¹⁾国立循環器センター放射線部): [原著] 多結晶型ガンマカメラ SIM-400 による RI 心機能解析; 臨床応用. 核医学, 28, 1361~1367, 1991.
- 9) 汲田伸一郎, 西村恒彦¹⁾, 林田孝平¹⁾, 平槇原敏勇¹⁾, 内本定彦²⁾, 石蔵文信²⁾, 永田正毅²⁾, 宮本邦夫²⁾ (¹⁾国立循環器センター放射線部, ²⁾同心臓内科): [原著] 心プールシンチグラフィを用いた PTMC 前後の心肺機能評価. 核医学, 28, 1439~1445, 1991.
- 10) 村上隆介, 田島廣之, 大矢 徹, 弦間和仁, 保坂純郎, 川俣博志, 小俣 香, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [原著] 肝外傷に対する TAE の適応について. 日本血管造影 Interventional Radiology 研究会雑誌, 6, 83, 1991.
- 11) 田島廣之, 隈崎達夫, 大矢 徹, 弦間和仁, 村上隆介, 川俣博志, 水村 直, 伊藤公一郎, 高橋修司, 杉崎健一, 恵畑欣一: [原著] Strecker vascular stent による下肢動脈疾患の治療経験. 日本血管造影 Interventional Radiology 研究会雑誌, 6, 41, 1991.
- 12) 若尾文彦¹⁾, 森山紀之¹⁾, 高安賢一¹⁾, 村松幸男¹⁾, 縄野 繁¹⁾, 石川 勉¹⁾, 寺内隆司¹⁾, 市川太郎, 大村卓味¹⁾, 岩田良子¹⁾, 山田達哉¹⁾ (¹⁾国立がんセンター病院放射線診断部): [原著] リピオドール CT による肝細胞癌の診断と限界. 日臨, 49, 1776~1783, 1991.
- 13) 森山紀之¹⁾, 松 幸男¹⁾, 高安賢一¹⁾, 縄野 繁¹⁾, 水口安則¹⁾, 石川 勉¹⁾, 松江寛人¹⁾, 牛尾 恭¹⁾, 山田達哉¹⁾, 若尾文彦¹⁾, 大村卓味¹⁾, 市川太郎, 岩田良子¹⁾ (¹⁾国立がんセンター病院放射線診断部): [原著] 画像診断による胆管細胞癌の早期診断. 日臨, 49, 1799~1804, 1991.
- 14) Tajima, H., Kumazaki, T., Ito, K., Tajima, N., Gemma, K. and Ebata, K.: [原著] Effect of an iso-osmolar contrast medium on pulmonary arterial pressure at pulmonary angiography. Acta Radiol, 32, 134~136, 1991.
- 15) 大石卓爾, 本多一義, 恩田宗彦, 杉崎健一, 水村 直, 赤沼弘勝, 齋藤了一, 恵畑欣一, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [原著] デジタル画像の有用性; 腹部単純像について (特集 消化管救急疾患の画像診断). 腹部救急診療の進歩, 11, 623~628, 1991.
- 16) 松本泰二¹⁾, 天野康雄¹⁾, 桐淵義康²⁾ (¹⁾三楽・放, ²⁾同外): [原著] CT からみた胆石種類の質的診断. 胆と膵, 12, 1205~1212, 1991.
- 17) 汲田伸一郎, 西村恒彦¹⁾ (¹⁾国立循環器センター放射線部): [原著] RI 心機能装定装置 (VEST) の有用性と問題点. 映像情報, 23, 447~452, 1991
- 18) 松原 升¹⁾, 西常 博²⁾, 川人宏次²⁾, 井上義弘³⁾, 堀内淳一 (¹⁾東医歯大・放, ²⁾三井記念病院・外, ³⁾三井記念病院・放): [原著] 乳癌の乳房温存療法における放射線治療の役割. 癌の臨床, 37, 1650~1660, 1991.
- 19) 隈崎達夫, 田島廣之, 大矢 徹, 恵畑欣一: [原著] 先進医療と腹部救急; 回転デジタル血管撮影. 腹部救急診療の進歩, 11, 835~840, 1991.
- 19) Horiuchi, J., Takeda, M.¹⁾, Shibuya, H.¹⁾, Sakamoto, S.¹⁾, Hoshina, M.¹⁾, Suzuki, S.¹⁾ (¹⁾Tokyo Medical and Dental Univ. School of Medicine Dept. of Radiology): [原著] Usefulness of ¹⁹⁸AU grain implants in the treatment of oral and oropharyngeal cancer. Radiotherapy and Oncology, 21, 29~38, 1991.
- 20) 荒木田郁夫¹⁾, 大山喬史¹⁾, 竹田正宗¹⁾, 堀内淳一 (¹⁾東医歯大・放): [原著] 舌癌の小線源治療における spacer

- の臨床, 頭頸部腫瘍, 17, 166~171, 1991.
- 21) Akimoto, M.¹⁾, Tamai, J., Hyakusoku, H.¹⁾, Fumiiri, M.¹⁾ (1)形成外科): [原著] Three-dimensional CT system using a personal computer. Aesthetic Plastic Surgery, 15, 181~185, 1991.
 - 22) 隈崎達夫, 他: [原著] 臨床第III相試験成績からみた MRI 用経口消化管造影剤 (OMR) の診断的有用性, 診断と治療, 80, 168~178, 1991.
 - 23) 隈崎達夫: [原著] IVR に寄与する血管画像診断法の進歩; 回転デジタル血管撮影. Innervation, 6, 89~92, 1991.
 - 24) 玉井 仁, 秋元正宇¹⁾, 鈴木雅隆²⁾, 真野 勇³⁾ (1)形成外科, 2)昭和医大第2解剖, 3)東芝中央病院・放): [原著] パソコンによる画像診断支援システム; 電子アトラスと3次元表示システム. 月刊メディテック, 18~21, 1991.
 - 25) 伊藤公一郎, 北浜博之¹⁾, 奥山 厚¹⁾, 福永 淳¹⁾, 笹川道三¹⁾, 野沢幸二²⁾, 松本 徹³⁾ (1)栃木県立がんセンター・画像診断部, 2)同・放射線技術部, 3)放医研臨床研究部): [原著] 空間周波数処理による低コントラスト陰影検出能の検討. Med. Imag. Tech., 9, 333~334, 1991.
 - 26) 山村美和¹⁾, 百束比古¹⁾, 玉井 仁 (1)形成外科): [原著] MRI による乳房埋入異物の識別に関する実験的ならびに臨牀的研究; 第1報. 日形成外会誌, 11, 483~492, 1991.
 - 27) 宮下次廣: [原著] 集学的治療における放射線の寄与; 胸部領域, 癌の臨床, 37, 1687~1690, 1992.
 - 28) 市川太郎, 森山紀之¹⁾, 若尾文彦¹⁾, 岩田良子¹⁾ (1)国立がんセンター病院放射線診断部): [原著] ヘリカルCT腹部への臨床応用. 映像情報 MEDICAL, 24, 37~41, 1992.
 - 29) 山本 彰, 福田 悠¹⁾ (1)病理学第1): [原著] ウサギ新生仔肺における Kohn 孔 (中隔孔) の形成機序. 日医大誌, 59, 41~50, 1992.
 - 30) 天野康雄, 片山信仁, 横瀬紀夫¹⁾, 山本 彰, 林 宏光, 玉井 仁, 隈崎達夫, 惠畑欣一 (1)内科学第3): [症例報告] 直腸神経線維腫の1例. 臨放線, 36, 615~618, 1991.
 - 31) 天野康雄, 山本 彰, 山形健治¹⁾, 高橋修司, 隈崎達夫, 秋元成太¹⁾, 浅野伍朗²⁾, 惠畑欣一 (1)泌尿器科, 2)病理学第2): [症例報告] 線維化の著明であった腎細胞癌の1例. 臨放線, 36, 745~748, 1991.
 - 32) 小俣 香, 村上隆介, 大矢 徹, 田島廣之, 隈崎達夫, 惠畑欣一: [症例報告] 下横隔動脈の TAE 後脳内に Lipiodol の貯留を認めた肝癌の1例. 臨放線, 36, 1187~1190, 1991.
 - 33) 福永 淳¹⁾, 田島廣之, 北浜博之¹⁾, 大矢 徹, 奥山 厚¹⁾, 坂 充¹⁾, 鶴井光治¹⁾, 関 俊夫¹⁾, 笹川道三¹⁾, 須田啓一¹⁾, 鈴木恵子¹⁾, 井村穰二¹⁾, 島村香也子¹⁾ (1)栃木県立がんセンター): [症例報告] 横隔膜原発横紋筋肉腫の1例. 画像診断, 11, 1204~1208, 1991.
 - 34) 松山 謙¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 二宮淳一¹⁾, 浅野哲夫¹⁾, 小泉 潔¹⁾, 川本雅夫¹⁾, 大久保直子¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 隈崎達夫 (1)外科学第2): [症例報告] 膝窩動脈外膜嚢腫の1治療例. 日心臓血管外会誌, 20, 1502~1507, 1991.
 - 35) 天野康雄, 玉井 仁, 横山滋彦¹⁾, 隈崎達夫, 恩田昌彦¹⁾, 惠畑欣一 (1)外科学第1): [症例報告] 輸入脚壁内血腫の1例. 画像診断, 12, 219~221, 1992.
 - 36) 天野康雄¹⁾, 島 信幸²⁾, 宇津木忠仁³⁾, 隈崎達夫, 松本泰二¹⁾, 中條俊夫³⁾, 惠畑欣一 (1)三楽・放, 2)同・小児, 3)東大・児外): [症例報告] 区域肺気腫を伴った気管支嚢胞の1例. 臨放線, 37, 265~268, 1992.
 - 37) 伊藤公一郎, 隈崎達夫, 赤沼弘勝, 弦間和仁, 高木 亮, 天野康雄, 大矢 徹, 惠畑欣一: [原著] 心房中隔欠損を伴わない左側部分肺静脈還流異常の2例. 臨放線, 37, 281~284, 1992.
 - 38) 天野康雄¹⁾, 山崎 哲²⁾, 大矢 徹, 隈崎達夫, 松本泰二¹⁾, 宮下 厚²⁾, 寺田充彦³⁾, 惠畑欣一 (1)三楽・放, 2)同・泌, 3)東医歯・病): [症例報告] 副腎外発育を示した副腎皮質癌の1例. 臨放線, 37, 405~408, 1992.
 - 39) 吉田 寛¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 金徳 栄¹⁾, 岡崎滋樹¹⁾, 梅原松臣¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 西久保秀紀¹⁾, 寺本 忠¹⁾, 田島廣之, 隈崎達夫, 惠畑欣一 (1)外科学第1): [症例報告] 選択的ウロキナーゼ動注療法が有効であった急性上腸間膜動脈閉塞症の1例. 日消外会誌, 24, 2466~2470, 1991.
 - 40) 隈崎達夫: [総説] Interventional angiography. Emergency Nursing, 4, 580~584, 1991.

- 41) 隈崎達夫, 辺見 弘¹⁾ (1)救命救急センター): [総説] 救命救急センター内に於ける画像診断装置. 臨画像, 7, 28~32, 1991.
- 42) 堀内淳一: [総説] 密封小線源治療の現状と実際. JOHNS, 7, 603~608, 1991.
- 43) 堀内淳一: [総説] QOL と癌の密封小線源治療. 医学のあゆみ, 158, 654~658, 1991.
- 44) 堀内淳一: [総説] 小線源治療の現状と展望. 新医療, 204, 48~52, 1991.
- 45) 田島廣之, 隈崎達夫, 川俣博志, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 大矢 徹, 惠畑欣一: [原著] 骨盤骨折による出血への TAE. Innervation, 6, 55~58, 1991.
- 46) 田島廣之, 隈崎達夫: [総説] 人工材料, 人工臓器, カテーテル. 臨泌, 45, 551~556, 1991.
- 47) 惠畑欣一: [総説] 骨関節画像診断への基本的アプローチ. 日病院会誌, 38, 21~29, 1991.
- 48) 山岸嘉彦, 玉井 仁: [総説] 転移性脊椎腫瘍 (特集: 脊椎と脊椎の画像診断). 臨画像, 8, 76~88, 1992.

著 書

- 1) 惠畑欣一, 多田信平¹⁾, 永井 純²⁾, 河合 忠²⁾ (1)慈恵医大, 2)自治医大): [著書] 症状からみた画像診断. 日本医事新報社, 1991.
- 2) 隈崎達夫: [分担] 胸部への基本的アプローチ症状からみた画像診断 (惠畑欣一他編). p. 50~62, 日本医事新報社, 1991.
- 3) 隈崎達夫, 奥山 厚¹⁾ (1)栃木県立がんセンター): [分担] 症状からみた画像診断; 肺塞栓症を疑ったとき (惠畑欣一他編). p. 63~70, 日本医事新報社, 1991.
- 4) 大矢 徹, 隈崎達夫: [分担] 症状からみた画像診断; 胸痛・大動脈解離を疑ったとき (惠畑欣一他編). p. 71~80, 日本医事新報社, 1991.
- 5) 堀内淳一: [分担] 口腔の癌; 今日の治療指針 (日野原重明, 阿部正和編). p. 782, 医学書院, 1991.

学会発表

- 1) 大矢 徹, 村上隆介, 弦間和仁, 田島廣之, 隈崎達夫, 坂本光史, 高橋修司, 赤沼弘勝, 川俣博志, 齋藤了一, 惠畑欣一: [一般講演] 真性大動脈瘤・大動脈炎に合併した大動脈解離の X 線学的検討. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 2) 林 宏光, 赤沼弘勝, 渡 潤, 山本 彰, 川俣博志, 高橋修司, 宮下次廣, 本多一義, 惠畑欣一, 片山信仁¹⁾ (1)下谷病院・放): [一般講演] 大動脈炎症候群の動脈炎活動期における血管壁の CT 像. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 3) 汲田伸一郎, 西村恒彦¹⁾, 楨原敏勇¹⁾ (1)国立循環器センター): [一般講演] ^{99m}Tc-MIBI を用いた心機能評価. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 4) 弦間和仁, 隈崎達夫, 田島廣之, 村上隆介, 伊藤公一郎, 大矢 徹, 小俣 香, 天野康雄, 杉崎健一, 惠畑欣一: [一般講演] 連続回転 X 線撮影システムを用いた血管撮影による偽腔開存型大動脈解離の観察. 第50回日本医学放射線学会学術発表会, 1991.
- 5) 玉井 仁, 林 宏光, 渡 潤, 宮下次廣, 本多一義, 隈崎達夫, 堀内淳一, 惠畑欣一, 片山信仁¹⁾ (1)栃木県立がんセンター・画像診断部): [一般講演] パーソナルコンピューターを用いた CT, MRI 三次元アニメーション表示. 第50回日本医学放射線学会学術発表会, 1991.
- 6) 川俣博志, 玉井 仁, 林 宏光, 田島廣之, 弦間和仁, 天野康雄, 大矢 徹, 齋藤了一, 隈崎達夫, 惠畑欣一: [一般講演] 大動脈解離における ulcer like projection の MRI. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 7) 恩田宗彦, 川俣博志, 弦間和仁, 田島廣之, 大矢 徹, 大石卓爾, 山本 彰, 杉崎健一, 隈崎達夫, 堀内淳一, 惠畑欣一: [一般講演] 重症骨盤骨折におこる TAE; 内腸骨動脈以外の塞栓術の意義について. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.

- 8) 田島廣之, 隈崎達夫, 伊藤公一郎, 田島なつき, 川俣博志, 村上隆介, 渡 潤, 弦間和仁, 大矢 徹, 惠畑欣一:〔一般講演〕肺高血圧を伴う肺血栓塞栓症に対する肺動脈造影; 血行動態の検討. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 9) 宮下次廣, 堀内淳一, 大石卓爾, 小俣 香, 羽生佐保子¹⁾, 恩田宗彦, 杉崎健一, 高橋修司, 渡 潤, 坂本光史, 惠畑欣一⁽¹⁾耳鼻咽喉科):〔展示〕中下咽頭癌の放射線治療前の計測値と遠隔成績. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 10) 赤沼弘勝, 本多一義, 水村 直, 杉崎健一, 小俣 香, 村上隆介, 山本 彰, 坂本光史, 齋藤了一, 堀内淳一, 惠畑欣一:〔展示〕胸部断層写真を用いた画像処理の試み. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 11) 村上隆介, 弦間和仁, 田島廣之, 小俣 香, 伊藤公一郎, 大矢 徹, 杉崎健一, 恩田宗彦, 隈崎達夫, 惠畑欣一:〔展示〕水溶性ヨード造影剤の腎機能に及ぼす影響; 血管造影直後の定量的検討. 第50回日本医学放射線学会, 1991.
- 12) 田島なつき¹⁾, 飯田英次¹⁾, 孫田誠三³⁾, 山本 鼎¹⁾, 田島廣之, 惠畑欣一⁽¹⁾多摩永山病院放射線科):〔展示〕新しい高濃度硫酸バリウム BP-HD の有用性について; BA-HD 及び BP との比較. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 13) 杉崎健一, 宮下次廣, 赤沼弘勝, 恩田宗彦, 堀内淳一, 坂本光史, 高橋修司, 玉井 仁, 水村 直, 惠畑欣一:〔展示〕中下咽頭癌の超音波像. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 14) 福永 淳¹⁾, 奥山 厚¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 笹川道三¹⁾, 大矢 徹, 田島廣之, 本多一義⁽¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部):〔一般講演〕直腸癌の深達度診断におけるCTの有用性について. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 15) 若尾文彦¹⁾, 高安賢一¹⁾, 森山紀之¹⁾, 村松幸男¹⁾, 石川 勉¹⁾, 縄野 繁¹⁾, 寺内隆司¹⁾, 市川太郎, 山田達哉¹⁾(¹⁾国立がんセンター病院放射線診断部):〔一般講演〕経過例による肝細胞癌初期発育過程の検討. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 16) 松本 悟¹⁾, 渋谷 均¹⁾, 松原 升¹⁾, 鈴木宗治¹⁾, 竹田正宗¹⁾, 堀内淳一⁽¹⁾東医歯大放射線科):〔一般講演〕舌癌患者の小線源治療における末梢血リンパ球サブセットの変動. 第30回日本医学放射線学会生物部会, 1991.
- 17) 村上隆介, 田島廣之, 大矢 徹, 弦間和仁, 坂坂純郎, 川俣博志, 小俣 香, 隈崎達夫, 惠畑欣一:〔一般講演〕肝外傷に対するTAEの適応について. 第50回日本血管造影Interventional Radiology研究会, 1991.
- 18) 小俣 香, 大矢 徹, 田島廣之, 弦間和仁, 林 宏光, 村上隆介, 川俣博志, 赤沼弘勝, 大石卓爾, 伊藤公一郎, 隈崎達夫, 惠畑欣一:〔一般講演〕原発性肝細胞癌に対する下横隔膜動脈のTAE後, 脳内にリピオドールの集積をみた1例. 第50回日本血管造影Interventional Radiology研究会, 1991.
- 19) 市川太郎:〔一般講演〕ヘリカルCTの上腹部への臨床応用. 対癌10カ年森山平成3年度第1回班会議, 1991.
- 20) 隈崎達夫, 田島廣之, 大矢 徹, 弦間和仁, 玉井 仁, 渡辺正規¹⁾, 小川俊一¹⁾, 平山恒夫¹⁾(¹⁾小児科):〔一般講演〕回転デジタル血管造影; 第7報 小児心血管造影への応用. 第33回心臓放射線研究会, 1991.
- 21) Kumita, S., Nishimura, T.¹⁾, Uehara, T.¹⁾ and Shimonagata, T.¹⁾ (¹⁾National Cardiovascular Center):〔一般講演〕A new method of left ventricular functional assessment using gated myocardial imaging with Tc-99m-MIBI. The Society of Nuclear Medicine. (Cincinnati), 1991.
- 22) 宮下次廣, 堀内淳一, 羽生佐保子¹⁾, 奥田 稔¹⁾(¹⁾耳鼻咽喉科):〔一般講演〕咽頭癌の放射線治療効果予測; 腫瘍最短径とT因子の比較. 第15回日本頭頸部腫瘍学会, 1991.
- 23) 峯山 徹¹⁾, 仁木 登¹⁾, 佐藤 均¹⁾, 宇山親雄¹⁾, 隈崎達夫⁽¹⁾徳島大):〔シンポジウム〕回転撮影方式による血管3次元再構築. 第10回医用画像工学シンポジウム大会, 1991.
- 24) 小南修史, 田島廣之, 大矢 徹, 弦間和仁, 隈崎達夫, 中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科):〔シンポジウム〕回転3次元血管撮影装置の脳神経外科領域における臨床応用. 第10回医用画像工学シンポジウム大会, 1991.
- 25) 大矢 徹, 村上隆介, 川俣博志, 弦間和仁, 杉崎健一:〔一般講演〕Strecker vascular stent を留置したASO

- の1例, 第38回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 26) 玉井 仁, 川俣博志, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] パーソナルコンピュータを用いた医用画像アニメーション表示, 第10回日本医用画像工学会大会, 1991.
 - 27) 伊藤公一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 福永 淳¹⁾, 笹川道三¹⁾, 松本 徹²⁾(¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾放医研臨床研究部): [一般講演] 空間周波数処理によるコントラスト陰影検出能の検討. 第10回日本医用画像工学会大会, 1991.
 - 28) 弦間和仁, 田島廣之, 大矢 徹, 村上隆介, 川俣博志, 隈崎達夫, 恵畑欣一, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 西久保秀紀¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 恩田昌彦¹⁾(¹⁾外科学第1): [一般講演] 高アンモニア血症の改善に有効であった傍臍静脈塞栓術の1例. 第3回関東IVR研究会, 1991.
 - 29) 隈崎達夫, 田島廣之, 弦間和仁, 大矢 徹, 村上隆介, 伊藤公一郎, 市川太郎, 赤沼弘勝, 渡 潤, 天野康雄, 高木 亮, 高橋修司, 水村 直, 恵畑欣一: [展示] 回転デジタル血管撮影; 臨床評価を中心として. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 30) 宮下次廣, 堀内淳一, 葉 濱濱, 玉井 仁, 天野康雄, 大石卓爾, 恵畑欣一: [展示] MRIによる子宮周囲の大腸の位置の観察; 子宮頸部腔内照射に関連して. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 31) 田島廣之, 隈崎達夫, 弦間和仁, 大矢 徹, 伊藤公一郎, 村上隆介, 川俣博志, 小南修史, 恵畑欣一: [一般講演] 大動脈解離における新しい画像診断法の研究; 回転デジタル血管造影法の有用性について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 32) 村上隆介, 弦間和仁, 田島廣之, 大矢 徹, 伊藤公一郎, 川俣博志, 水村 直, 小南修史, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [展示] 腹部領域における超細経カテーテルの有用性について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 33) 葉 濱濱, 宮下次廣, 堀内淳一, 玉井 仁, 恵畑欣一: [展示] MRIによる子宮体部厚の計測. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 34) 真々田裕宏¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 鳥羽昌二¹⁾, 梅原松臣¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 野村 務¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 西久保秀紀¹⁾, 恵畑欣一, 隈崎達夫, 田島廣之, 伊藤公一郎, 弦間和仁(¹⁾外科学第1): [展示] 原発性肝癌(HCC)に対するTAEと選択的担癌区域門脈塞栓術(Selective sequential portal embolization: SSPE)の併用療法の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 35) 弦間和仁, 隈崎達夫, 大矢 徹, 田島廣之, 村上隆介, 小南修史, 伊藤公一郎, 川俣博志, 高橋修司, 水村 直, 杉崎健一, 恵畑欣一: [展示] Metallic stentの臨床応用; 閉塞性動脈疾患の新しい治療法. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 36) 勝部康弘¹⁾, 渡辺正規¹⁾, 張 家昆¹⁾, 関 隆志¹⁾, 上砂光裕¹⁾, 深沢隆治¹⁾, 小川俊一¹⁾, 平山恒夫¹⁾, 隈崎達夫, 村上隆介, 弦間和仁, 田島廣之, 恵畑欣一(¹⁾小児科): [一般講演] 回転デジタル血管造影法による川崎病冠動脈病変の評価. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 37) 坂田修一¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 宮下次廣, 堀内淳一, 白井洋司¹⁾, 大久保正智¹⁾, 恵畑欣一(¹⁾形成外科): [展示] ケロイド治療における術後電子線照射の効果について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 38) Hayashi, H., Katayama, N., Takagi, R., Miyasita, T. and Ebata, K.: [一般講演] CT of Takayasu arteritis; New characteristic vascular wall findings. 77th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America. (Chicago), 1991.
 - 39) Kumazaki, T.: [シンポジウム] Development of a new digital processing system for rotational stereo radiography. A Satellite Symposium of Digital Radiology in 7th European Congress of Radiology. (Vienna), 1991.
 - 40) 隈崎達夫, 田島廣之, 大矢 徹, 伊藤公一郎, 玉井 仁, 弦間和仁, 林 宏光, 村上隆介, 恵畑欣一: [ビデオセッション] 回転デジタル血管造影による血管病変の診断; DSA, cine MRI併用による評価も含めて. 第32回日本脈管学会総会, 1991.

- 41) 田島廣之, 隈崎達夫, 伊藤公一郎, 大矢 徹, 弦間和仁, 村上隆介, 川俣博志, 小南修史¹⁾, 惠畑欣一^{(1)脳神経外科}；〔一般講演〕回転デジタル血管撮影による脳血栓塞栓症の診断；DSA との比較を中心として。第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 42) 林 宏光, 片山信仁, 赤沼弘勝, 渡 潤, 宮下次廣, 隈崎達夫, 惠畑欣一：〔一般講演〕大動脈炎症候群の prepulseless phase 及び動脈炎活動期における血管壁の CT 像。第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 43) 弦間和仁, 川俣博志, 村上隆介, 田島廣之, 伊藤公一郎, 大矢 徹, 隈崎達夫, 惠畑欣一：〔一般講演〕偽腔開存型大動脈解離に対する回転デジタル血管撮影の有用性。第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 44) 村上隆介, 弦間和仁, 田島廣之, 大矢 徹, 天野康雄, 隈崎達夫, 小俣 香, 田島なつき, 惠畑欣一：〔一般講演〕血管造影の腎機能に及ぼす影響；腎動脈造影とそれ以外の腹部血管造影直後における腎機能の定量的比較検討。第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 45) 川俣博志, 隈崎達夫, 田島廣之, 大矢 徹, 弦間和仁, 村上隆介, 玉井 仁, 林 宏光, 杉崎健一, 水村 直, 高橋修司, 惠畑欣一：〔一般講演〕大動脈解離における ulcerlike projection の画像診断；第2報 特にその経時的変化について。第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 46) 小坂真一¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 井上 肇¹⁾, 別所竜蔵¹⁾, 落 雅美¹⁾, 寺田功一¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 大矢 徹, 田島廣之, 隈崎達夫^{(1)胸部外科}；〔一般講演〕CABG における術前グラフト用右胃大網動脈造影の必要性について。第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 47) 隈崎達夫, 田島廣之, 伊藤公一郎, 玉井 仁, 弦間和仁, 村上隆介, 水村 直, 惠畑欣一, 小川俊一¹⁾, 勝部康弘¹⁾, 平山恒夫¹⁾ ^{(1)小児科}；〔一般講演〕回転デジタル血管造影による小児心大血管疾患の診断；Cineangio との比較を含めて。第2回医用デジタル動画像研究会, 1991.
- 48) 弦間和仁, 村上隆介, 伊藤公一郎, 大矢 徹, 隈崎達夫, 惠畑欣一：〔一般講演〕偽腔開存型大動脈解離に対する回転デジタル血管撮影の有用性について。第2回医用デジタル動画像研究会, 1991.
- 49) 玉井 仁, 水村 直, 天野康雄, 林 宏光, 隈崎達夫, 惠畑欣一：〔一般講演〕パーソナルコンピューターを用いた MRI 三次元動画表示。第2回医用デジタル動画像研究会, 1991.
- 50) 田島廣之, 隈崎達夫, 大矢 徹, 弦間和仁, 村上隆介, 川俣博志, 水村 直, 高橋修司, 伊藤公一郎, 杉崎健一, 惠畑欣一：〔一般講演〕Strecker vascular stent による下肢動脈疾患の治療経験。第19回日本血管造影・Interventional Radiology 研究会, 1991.
- 51) 渡辺正規¹⁾, 勝部康弘¹⁾, 張 家昆¹⁾, 関 隆志¹⁾, 隈崎達夫, 他^{(1)小児科}；〔一般講演〕回転デジタル血管造影法による川崎病冠動脈病変の評価。第11回日本川崎病研究会, 1991.
- 52) 汲田伸一郎, 下永田剛¹⁾, 槇原敏勇¹⁾, 岡 尚嗣¹⁾ ^{(1)国立循環器センター放射線診療部}；〔一般講演〕多結晶型ガンマカメラ SIM-400による RI 心機能解析；測定精度評価と臨床応用。日本核医学会総会, 1991.
- 53) 汲田伸一郎, 西村恒彦¹⁾, 槇原敏勇¹⁾, 林田孝平¹⁾, 下永田剛¹⁾, 片渕哲朗¹⁾ ^{(1)国立循環器センター放射線診療部}；〔一般講演〕^{99m}Tc-MIBI を用いた運動負荷心筋シンチグラフィにおける補助的指標。日本核医学会総会, 1991.
- 54) 田辺義博¹⁾, 山田 隆¹⁾, 五味聖二¹⁾, 大木一郎¹⁾, 桑原哲夫¹⁾, 長谷川節雄¹⁾, 壇 和夫¹⁾, 野木武夫¹⁾, 天野康雄, 惠畑欣一^{(1)内科学第3}；〔一般講演〕再生不良性貧血における MRI の診断的価値。第33回日本臨床血液学会総会, 1991.
- 55) 隈崎達夫, 大矢 徹, 弦間和仁, 玉井 仁, 惠畑欣一：〔一般講演〕回転デジタル血管造影；第7報 小児心血管造影への応用。第33回心臓放射線研究会, 1991.
- 56) 宮下次廣, 堀内淳一, 羽生佐保子¹⁾, 奥田 稔¹⁾ ^{(1)耳鼻咽喉科}；〔一般講演〕咽頭癌の放射線治療効果予測；腫瘍最短径と T 因子の比較。第12回頭頸部腫瘍学会学術講演会, 1991.
- 57) 宮下次廣：〔一般講演〕原発不明頭部腫瘍の放射線治療。第235回治療談話会, 1991.
- 58) 宮下次廣, 杉崎健一, 堀内淳一, 惠畑欣一：〔一般講演〕中下咽頭癌の超音波計測；第2報 放射線治療一次効果との相関。第2回日本超音波医学会, 頸部超音波診断研究会, 1991.

- 59) 杉崎健一, 宮下次廣, 堀内淳一, 惠畑欣一: [一般講演] 中下咽頭癌の超音波計測. 第1回日本超音波医学会・頸部超音波診断研究会, 1991.
- 60) 福田 悠¹⁾, 原口秀司²⁾, 山本 彰, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理学第1, ²⁾胸部外科): [一般講演] 特発性間質性肺炎, 肺線維症 (UIP) の生検肺に認められる早期肺胞腔内線維化巣. 第31回日本胸部疾患学会総会, 1991.
- 61) 荒尾正人¹⁾, 小倉宏道¹⁾, 井野 威¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 隈崎達夫, 二宮淳一²⁾, 相沢信行³⁾ (¹⁾内科学第1, ²⁾胸部外科, ³⁾湘南鎌倉病院内科): [一般講演] 広範囲下大動脈閉塞の1症例. 第404回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 62) 滝沢 康¹⁾, 百束比古, 山本 達¹⁾, 大久保正敏¹⁾, 隈崎達夫, 弦間和仁 (¹⁾形成外科): [一般講演] 回転立体デジタルアンギオグラフィー (CDSA) の形成外科的応用: 第1報. 第160回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 63) 滝沢 康¹⁾, 百束比古¹⁾, 山本 達¹⁾, 大久保正智¹⁾, 文入正敏¹⁾, 隈崎達夫, 弦間和仁, 惠畑欣一 (¹⁾形成外科): [一般講演] Application of computerized dynamic stereo angiography for plastic and reconstructive surgery. The 3rd International Congress of Japanese and Chinese Plastic and Reconstructive Surgery, 1991.
- 64) 勝部康弘¹⁾, 日野佳昭¹⁾, 隈崎達夫, 惠畑欣一 (¹⁾小児科): [一般講演] 回転デジタル血管造影法による小児心血管病変の診断の試み. 第27回小児循環器病学会総会, 1991.
- 65) 今井博彦¹⁾, 比留間博之¹⁾, 隈崎達夫, 上坂伸宏²⁾ (¹⁾内科学第3, ²⁾生理学第1): [一般講演] 水溶性ヨード造影剤の血球変形能に作用を及ぼす因子. 第14回日本バイオロジー学会年会, 1991.
- 66) 高木 亮, 汲田伸一郎, 林 宏光, 渡 潤, 赤沼弘勝, 隈崎達夫: [一般講演] 大動脈炎症候群の急性期におけるCT所見の検討. 第34回心臓放射線研究会, 1992.
- 67) 隈崎達夫, 田島廣之, 伊藤公一郎, 弦間和仁, 汲田伸一郎, 村上隆介, 渡辺正規¹⁾, 小川俊一¹⁾, 平山恒夫¹⁾ (¹⁾小児科): [特別講演] 回転デジタル血管造影: 第VIII報 小児心室造影への応用. 第34回心臓放射線研究会, 1992.
- 68) 天野康雄, 田島廣之, 大矢 徹, 隈崎達夫, 惠畑欣一, 松本泰二¹⁾, 川俣博志¹⁾, 宮下 厚²⁾, 寺田充彦³⁾ (¹⁾三葉病院放射線科, ²⁾同泌尿器科, ³⁾東京医歯大病理): [一般講演] 副腎外発育を示した副腎皮質癌の1例. 第4回腹部放射線研究会, 1992.
- 69) 大石卓爾, 本多一義, 伊藤公一郎, 赤沼弘勝, 天野康雄, 宮下次廣, 隈崎達夫, 惠畑欣一: [一般講演] 腹部救急疾患におけるデジタル画像処理: 腹部単純写真におけるCR・TDISの有用性. 第1回救急放射線研究会, 1992.
- 70) 玉井 仁, 天野康雄, 渡 潤, 隈崎達夫, 惠畑欣一: [一般講演] カラーと動画をを用いた頭部3D MR angiographyの表示. 第19回日本核磁気共鳴医学会, 1992.
- 71) 林 宏光, 山本 彰: [特別講演] 造影剤投与後の肺の変化. 第246回東京血管造影IVR研究会, 1992.
- 72) 汲田伸一郎, 西村恒彦¹⁾, 榎原敏勇¹⁾, 林田孝平¹⁾, 下永田剛¹⁾ (国立循環器センター放射線診療部): [一般講演]^{99m}Tc-MIBIを用いた運動負荷心筋シンチグラフィーにおける肺野集積および左室一過性拡大に関する検討. 日本循環器学会学術集会, 1992.
- 73) 渡 潤, 村上隆介, 宮下次廣, 林 宏光, 本多一義, 杉崎健一, 水村 直, 坂本光史, 玉井 仁, 山本 彰, 惠畑欣一: [展示] 胆嚢のdelayed opacification; 第2報 肝・腎機能との相関. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 74) 山本 彰, 林 宏光, 赤沼弘勝, 玉井 仁, 水村 直, 高橋修司, 本多一義, 惠畑欣一, 福田 悠¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理学第1): [展示] 肺の画像; 病理相関へのアプローチ. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 75) 伊藤公一郎¹⁾, 北浜博之¹⁾, 福永 淳¹⁾, 奥山 厚¹⁾, 笹川道三¹⁾, 本多一義 (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部): [展示] 空間周波数処理画像のFFTパワースペクトル解析. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 76) 市川太郎, 森山紀之¹⁾, 高安賢一¹⁾, 村松幸男¹⁾, 縄野 繁¹⁾, 寺内隆司¹⁾, 若尾文彦¹⁾, 山田達哉¹⁾ (¹⁾国立がんセンター病院放射線診断部): [展示] ヘリカルCTの腹部への臨床応用. 第50回日本医学放射線学会総会, 1991.
- 77) 水村 直, 齋藤一, 大石卓爾, 恩田宗彦, 天野康雄, 小俣 香, 山岸嘉彦, 惠畑欣一, 奥山 厚: [展示] ^{99m}Tc-HM-PAOによる精神分裂病における脳血流分布パターンと半定量的評価. 第50回日本医学放射線学会, 1991.

- 78) 岩瀬祐子¹⁾, 石川恵子¹⁾, 相羽智恵子¹⁾, 天野康雄²⁾, 寺田充彦³⁾, 青木 望³⁾ (¹⁾三楽病院検査科, ²⁾同放射線科, ³⁾東京医歯大病理): [展示] 脾に腫瘍形成を認めた Gaucher 病の 1 例. 第32回日本臨床細胞学会総会, 1991.
- 79) 玉井 仁, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [展示] レイプロフィールパッファを用いた MRI の三次元表示. 第10回日本医用画像工学会, 1991.
- 80) Kawamata, H., Tamai, J., Hayashi, H., Gemma, K., Tajima, H., Ohya, T., Murakami, R., Sugizaki K., Takahashi, S., Mizumura, S., Kumazaki, T. and Ebata, K.: [展示] Ulcer-like projection of aortic dissection; Diagnosis and follow-up study with MR imaging. International Symposium MRI Update 1991 the Fifth Kumamoto University-UCLA Radiology Symposium. (Kumamoto), 1991.
- 81) 山本 彰, 福田 悠¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理学第1): [展示] 家兔新生児肺 Kohn 孔の形成における II 型肺細胞上皮細胞の役割. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 82) 福田 悠¹⁾, 山本 彰, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理学第1): [展示] 肺線維症に認められる cytoplasmic hyaline 陽性細胞の意義. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 83) 天野康雄, 汲田伸一郎, 市川太郎, 渡 潤, 高木 亮, 恵畑欣一: [展示] Gaucher 病脾腫瘍における画像診断所見・病理所見対比. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 84) 三井聡子¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 玉井 仁 (¹⁾形成外科): [展示] 3DCT による顔面骨骨折の診断. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 85) 玉井 仁, 天野康雄, 赤沼弘勝, 林 宏光, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [展示] パーソナルコンピューターによる MRI 三次元アニメーション表示; 第2報. 第18回日本核磁気共鳴医学会, 1991.
- 86) Gemma, K., Ohya, T., Tajima, H., Ito, K., Kumazaki, T. and Ebata, K.: [展示] Clinical usefulness of rotational stereo digital angiography for the diagnosis of aortic dissection. The European Congress of Radiology 1991. (Vienna), 1991.
- 87) Hayashi, H., Kawamata, N., Takagi, R., Ichikawa, T., Kumazaki, T. and Ebata, K.: [展示] CT analysis of vascular wall during the active phase of Takayasu's aortitis. European Congress of Radiology. (Vienna), 1991.
- 88) Hayashi, H., Kumazaki, T., Yamamoto, A., Onda, M., Takagi, R., Asano, G.¹⁾ and Ebata, K. (¹⁾Dept. of Pathology): [展示] Pathophysiological changes of the lung induced by intravenous administration of contrast media-experimental study in the rat. European Congress of Radiology. (Vienna), 1991.
- 89) Mizumura, S., Oishi, T., Saito, R., Hayashi, H., Takahashi, S., Okuyama, A., Kumazaki, T., Yamagishi, Y., Ebata, K., Hada, M.¹⁾, Takagi, M.¹⁾ and Endo, S.¹⁾ (¹⁾Dept of Psychiatry): [展示] Evaluation of regional cerebral blood flow in schizophrenia using Tc-99m HM-PAO SPECT. European Congress of Radiology. (Vienna), 1991.
- 90) Watari, J., Katayama, N., Ichikawa, T., Amano, Y., Yokokura, T., Kumazaki, T. and Ebata, K.: [展示] A study of the contrast enhanced CT of the pancreas; The most available procedure for using high resolution CT, European Congress of Radiology. (Vienna), 1991.
- 91) Hayashi, H., Karayama, N., Miyashita, T. and Ebata, K.: [展示] Takayasu arteritis; CT analysis of vascular wall and of complications. 77th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America. (Chicago), 1991.
- 92) 宮下次廣, 葉 濱濱, 堀内淳一, 恵畑欣一: [展示] MRI による子宮壁厚, 子宮軸, 周囲大腸の検討. 第4回日本放射線腫瘍学会学術大会, 1991.
- 93) 滝沢 康¹⁾, 百束比古¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 文入正敏¹⁾, 隈崎達夫, 弦間和仁, 伊藤公一郎 (¹⁾形成外科): [ビデオパネル] 回転立体デジタルアンギオグラフィー四肢動脈の立体的観察 microsurgery への可能性について. 第18回日本マイクロサージャリー学会, 1991.

- 94) 隈崎達夫：〔シンポジウム〕腹部救急診療の進歩；回転デジタル血管撮影。第16回日本腹部救急医学会総会，1991。
- 95) Kawamata, H. Kumazaki, T., Gemma, K., Tajima, H., Oya, T. and Ebata, K.：〔シンポジウム〕Clinical usefulness of transcatheter embolization for the control of massive hemorrhage associated with pelvic fracture. Congress of Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe. (Oslo), 1991.
- 96) Kumazaki, T., Tajima, H., Gemma, K., Kominami, S.¹⁾ and Tamai, J. (¹⁾Dept. of N.S.)：〔シンポジウム〕Rotational digital stereo angiography. Development of a new system for 3-D display. 1991 Congress of Cardiovascular and Interventional Radiology Society of Europe. (Oslo), 1991.
- 97) Murakami, R., Tajima, H., Hosaka, J., Kawamata, H. and Gemma, K.：〔シンポジウム〕Transcatheter hepatic embolization for the treatment of blunt hepatic injury. Congress of Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe. (Oslo), 1991.
- 98) 隈崎達夫：〔シンポジウム〕ステントの現況；Strecker vascular stentによるASOの治療。第3回関東IVR研究会，1991。
- 99) 隈崎達夫：〔シンポジウム〕Clinical evaluation of rotational stereo digital angiography and peripheral arteriography. Satellite Symposium of 7th ECR, 1991.
- 100) 宮下次廣：〔シンポジウム〕集学的治療における放射線の寄与；総会討論。胸部領域。日本医学放射線学会生物部会第21回放射線による制がんシンポジウム，1991。
- 101) Kominami, S., Kumazaki, T., Tajima, H., Oya, T., Gemma, K. and Nakazawa, S.¹⁾ (¹⁾Dep. of Neur Surgery)：〔シンポジウム〕Rotational digital stereoangiography；A new system for 3-D display. 17th Congress of European Society of Neuroradiology. (Zurich), 1991.
- 102) 隈崎達夫：〔シンポジウム〕IVRの最近の進歩；緊急IVR-vascular。日本画像医学会総会，1992。
- 103) 堀内淳一：〔教育講演〕小線源治療の現況と実際。第50回日本医学放射線学会総会，1991。
- 104) 隈崎達夫：〔教育講演〕インターベンショナルラジオロジー(Vascular)。第3回日医放関東教育セミナー，1991。
- 105) 堀内淳一：〔教育講演〕最近の悪性リンパ腫の診断と治療；放射線治療。第5回日本医学放射線学会生涯教育講演会，1992。
- 106) 隈崎達夫：〔特別講演〕泌尿器科領域に於ける3次元の血管造影；新しいデジタルシステムの開発と臨床応用。第56日本泌尿器科学会東部総会，1991。
- 107) 隈崎達夫：〔特別講演〕回転デジタル血管造影；小児科領域に於ける臨床応用。第13回関西小児循環器研究会，1991。
- 108) 隈崎達夫，田島廣之，伊藤公一郎，弦間和仁，汲田伸一郎，村上隆介，渡辺正規¹⁾，小川俊一¹⁾，平山恒夫¹⁾(¹⁾小児科)：〔一般講演〕回転デジタル血管撮影；第VIII報。小児心室造影への応用。第34回心臓放射線研究会，1992。

〔第一病院放射線科〕

研究概要

平成3年度の業績をみると多くのモダリティを使用して研究を続けていることが、良く理解できよう。例年通り以下に基礎的研究と臨床的研究とに分け、その概略を述べる。

1) 基礎的研究

肝の悪性腫瘍に対してTAEを施行して治療を行う臨床的価値は確立したものと云えるが、当科においてMRIにてGa-DTPAを用いてTAEを行って、臨床的価値およびその基礎的研究を続けてきたが、本年度はその集大成と云える業績を報告した。乳腺超音波画像の光磁気ディスクを用いたCRT診断については昨年に続き研究を続けている。本年度より病理学教室との共通で水溶性造影剤の腎に及ぼす影響についての研究を始め、その第一報を報告した。宇宙衛星を利用した画像転送についての論文を完成させた。斯様に広い分野における基礎的研究を行っているのが本年の特

徴と言えよう。

2) 臨床的研究

MRI, サーモグラフィ, 超音波検査(乳腺, 腹部), RI検査, 温熱療法, ディフェコグラフィ, 骨塩定量など多彩な分野とターゲットオルガンについての業績がみられた。始めに述べたごとく当放射線科において多くのモダリティに関心を抱き, 熱心に臨床的研究に取り組んできた結果であり, それが大きな特徴となっているが, 本年は例年以上に顕著となっている。

研究業績

論文

- 1) 石王道人:〔原著〕化学塞栓療法における抗癌剤の動態に関する実験的研究;リビオドールとGd-DTPAによるエマルジョンを用いたMR像の検討, 日医大誌, 58, 285~295, 1991.
- 2) Yokokura, T., Nishitani, H.¹⁾, Yamada, T.²⁾ and Tanaka, T.³⁾ (¹⁾Kyusyu Uni., ²⁾National C.C., ³⁾Juntendo Uni.):〔原著〕Experiments on digital image transmission using communication satellite. Diagnostic & Interventional Radiology, 97~101, 1991.
- 3) 五十嵐義晃:〔原著〕2つのシンポジウムを顧みて, Biomedical Thermology, 11, 149~150, 1991.
- 4) 伊藤 正:〔原著〕乳癌のスクリーニングにおけるサーモグラフィの定量診断, Biomedical Thermology, 11, 151~155, 1991.
- 5) 五十嵐義晃, 伊藤 正:〔原著〕サーモグラフィ;乳房への応用, 画像診断, 49~51, 1991.
- 6) 五十嵐義晃, 増淵邦彦, 伊藤 正, 臼杵尚志, 岩谷眞広, 鹿野昌彦, 平野勝介, 本村喜代二:〔原著〕各疾患における診断基準の提案, Biomedical Ohermology, 11, 179~209, 1991.
- 7) 増淵邦彦, 五十嵐義晃, 久住 武, 渡辺尚彦, 岩谷眞広, 森 義明:〔原著〕機能的障害診断機器としてのサーモグラフィの可能性, Biomedical Thermology, 11, 210~227, 1991.
- 8) 加藤一雄, 服部了司, 横倉稔明, 鈴木博孝:〔原著〕生検で癌陽性のIIC型からBorman III型に推移し10年6カ月にわたって画像的に経過追跡した1例, 胃と腸, 27, 91~97, 1992.
- 9) 平野洋子¹⁾, 岡田 進, 沢野誠志, 山田恵子, 山下 孝, 平井康夫²⁾ (¹⁾癌研, ²⁾同・婦):〔原著〕特集 dynamic MRI 子宮・卵巣;主として子宮体癌について, 臨床画像, 7, 89~96, 1991.

学会発表

- 1) 伊藤 正:〔シンポジウム〕乳癌のスクリーニングにおけるサーモグラフィの定量診断, 日本サーモロジー学会第8回大会, 1991.
- 2) 横倉稔明, 勝俣文隆, 伊藤 正, 五十嵐義晃, 茂古沼吉宗, 石王道人, 川勝樹夫, 赤石 健, 鴨下 亨, 佐藤太志, 青山俊也, 加藤富三:〔一般講演〕腹部超音波検査における動的診断について, 第50回日本医学放射線学会, 1991.
- 3) 五十嵐義晃, 山岸嘉彦, 伊藤 正, 横倉稔明, 茂古沼吉宗, 佐藤太志, 青山俊也, 加藤富三, 藤波茂忠¹⁾ (¹⁾同・神経科):〔一般講演〕機能性精神疾患主体の¹²³I・IMP spect 像の検討(II), 第50回日本医学放射線学会, 1991.
- 4) 岡田 進¹⁾, 平野洋子, 村上省吾, 三山鎮皓, 沢野誠志, 山田恵子, 小山田日吉丸, 山下 孝 (¹⁾癌研):〔展示〕転移性骨腫瘍のMRI;骨シンチグラフィーとの比較, 第50回日本医学放射線学会, 1991.
- 5) 沢野誠志¹⁾, 山田恵子, 岡田 進, 三山鎮皓, 村上省吾, 平野洋子, 阿部達之, 山下 孝 (¹⁾癌研):〔誌上発表〕腹腔内小病変の画像診断;腸間膜リンパ節, 大網内小転移, 腹膜播種性病変について, 第50回日本医学放射線学会, 1991.
- 6) 阿部裕行¹⁾, 中神義三¹⁾, 伊藤 博, 岡 史篤, 丹羽直樹, 池田一則, 鴨下 亨, 伊藤 正 (¹⁾同・泌尿器科):〔一般講演〕前立腺癌に対する温熱療法の臨床的検討, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.

- 7) 川勝樹夫, 赤石 健, 横倉稔明, 五十嵐義晃, 伊藤 正, 加藤富三, 石王道人, 岡田 進: [一般講演] 急性期脳内血腫のMRI信号について; In vitroの実験による考察を加えて, 第18回日本磁気共鳴医学会大会, 1991.
- 8) 岡田 進¹⁾, 関口健治, 平野洋子, 沢野誠志, 山田恵子, 林 真也, 寒川光治, 中沢聖則, 山下 孝 (1)癌研): [一般講演] 骨格筋転移症例および骨格筋への浸潤症例のMRI (CT 所見との比較). 第18回日本磁気共鳴医学会大会, 1991.
- 9) 関谷敏彦, 赤石 健, 伊藤 正, 加藤富三¹⁾, 石原聖久 (1)佼成病院): [一般講演] Defecography に関する研究. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 赤石 健, 伊藤 正, 五十嵐義晃, 横倉稔明, 茂古沼吉宗, 関谷敏彦, 川勝樹夫, 鴨下 亨, 佐藤太志, 青山俊也, 加藤富三: [一般講演] 乳腺超音波画像の常磁気ディスク保存によるCRT診断. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 11) 青山俊也, 佐藤太志, 鴨下 亨, 川勝樹夫, 関谷敏彦, 赤石 健, 茂古沼吉完, 横倉稔明, 五十嵐義晃, 伊藤 正, 加藤富三: [展示] オステオアナライザーによる骨塩定量測定の使用経験. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 12) 堀田礼子, 安藤 順, 青山俊也, 佐藤太志, 鴨下 亨, 川勝樹夫, 関谷敏彦, 赤石 健, 茂古沼吉宗, 横倉稔明, 五十嵐義晃, 伊藤 正, 加藤富三: [展示] 第一病院におけるMRI 6,000例について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 13) 安藤 順, 青山俊也, 佐藤太志, 鴨下 亨, 川勝樹夫, 関谷敏彦, 赤石 健, 茂古沼吉宗, 横倉稔明, 五十嵐義晃, 伊藤 正, 加藤富三, 越野立夫¹⁾ (1)同・産婦人科): [展示] MRIにおける卵巣腫瘍の術前診断の有用性. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 14) Aoyama, T., Suzuki, T.¹⁾, Shibata, H.¹⁾, Kawabe, M.²⁾, Hara, K.²⁾, Itoh, T., Katou, T. and Terashi, A.²⁾ (1) Tokyo Metropolitan Ins. Second Int Med.): [一般講演] A comparative study of SEXA and DEXA in bone mineral density. Methodologies for Bone Mineral Assessment, 1991.
- 15) 岡田 進¹⁾, 沢野誠志, 山田恵子, 林 真也, 砂川好光, 寒川光治, 中沢聖則, 関口健次, 山下 孝, 平井康夫²⁾, 加藤友泰, 荷見勝彦, 平野洋子 (1)癌研, 2)癌研・婦): [一般講演] 子宮の造影MRIの経時的変化について. 第390回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 16) 石王道人, 石原聖久, 柳田直樹, 向井佐志彦, 中山弘道, 佐藤薫隆, 茂古沼吉宗, 川勝樹夫, 隈崎達夫¹⁾ (1)付属放射線科): [一般講演] 気管支動脈瘤の1例. 第390回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 17) 伊藤 正, 五十嵐義晃, 横倉稔明, 佐藤太志: [一般講演] 保健所の乳房検診におけるマンモグラフィの有用性について. 第1回乳癌画像研究会, 1992.
- 18) 森島 勇, 植野 映, 五十嵐義晃, 角田博子, 平野 稔, 東野英利子, 田中秀行, 高崎雅子: [一般講演] サーマグラフィ—触診・マンモグラフィ—超音波との比較を中心に. 第1回乳癌画像研究会, 1992.
- 19) 牛 広明: [一般講演] 造影剤による腎組織変化の病理学的研究. 第2回日医大外国人留学者研究研修研究会, 1992.
- 20) 岡田 進¹⁾, 沢野誠志, 山田恵子, 林 真也, 砂川好光, 寒川光治, 関口健次, 中沢聖則, 山下 孝, 平井康夫²⁾, 加藤友泰, 荷見勝彦 (1)癌研, 2)癌研・婦): [一般講演] 子宮の造影MRIにおける子宮内部構造の経時的変化; ボランティアでの検討. 第19回日本磁気共鳴医学会, 1992.

[第二病院放射線科]

研究概要

放射線診断学: 1) ビマン性肺疾患に対し, 気管支鏡を用いたBAL, 肺生検を施行し, 画像診断の向上に力を注いでいる.

2) 川崎市民の胸部間接撮影による胸部疾患集団検診業務の中心的役割を果し, 結核, 癌のみならず広く胸部疾患を

取り上げている。肺癌の早期診断および早期治療に胸部検診業務の重要性を啓蒙している。

3) 上部消化管の消化性潰瘍の X 線診断学において、単に潰瘍のみの形態的診断に止まらず、潰瘍形成の背景となる攻撃因子(胃分泌機能)および粘膜自体の防御因子など、粘膜のもつ機能を画像に表現する、いわゆる functional radiology に目標をおき、研究を続行中である。

4) 腸管微細粘膜像と生理機能との関係解明を研究中である。

5) 川崎市および東京都大田区からの依頼により、地域住民の胃癌計画検診業務に参画し、より効率良い、より精度の高い集検体系の確立をめざし研究中である。

6) MRI を用いた婦人科、産科学的診断について研究中である。

放射線治療学：肺癌に対して BAL, 放射線治療を、集学的治療の一つとして積極的に取り組んでいる。

核医学：1) 骨シンチグラフィを骨腫瘍に施行し、Ga シンチグラフィを併用し、良悪の鑑別の可能性を追求している。

2) 骨腫瘍以外の骨疾患、例えば炎症、無腐性骨壊死、代謝性疾患、骨折、特に疲労骨折、正常変異、原因不明の痛みなどにも骨シンチグラフィを応用し、病態の把握や経過の判定に利用している。

3) 他の付属3病院と共同で小児の骨疾患につき骨シンチグラフィを行い、成人との違いや、小児に多い疾患の診断に利用している。

研究業績

論文

- 1) 小俣 香：〔原著〕下横隔動脈の TAE 後脳内に Lipiodol の貯留を認めた肝癌の 1 例。臨放線, 36, 1187~1190, 1991.
- 2) 山岸嘉彦：〔総説〕骨シンチグラフィ。日医大誌, 59, 70~74, 1992.
- 3) 小俣 香, 渡部英之：〔総説〕胆石症の X 線診断。総合臨床, 141, 424~430, 1992.
- 4) 松田 潔¹⁾, 佐藤雅史, 川並汪一²⁾(¹⁾救急医学, ²⁾第二病院病理部)：〔原著〕間質性肺疾患における BAL と TBLB の診断学的評価。日医大誌, 59, 57~67, 1992.
- 5) 山岸嘉彦, 玉井 仁¹⁾(¹⁾付属病院放射線科)：〔総説〕転移性脊椎腫瘍。臨床画像, 8, 76~88, 1992.

著書

- 1) 渡部英之：〔分担〕放射線医学。文光堂, 1992.

学会発表

- 1) 鈴木 攻¹⁾, 本多由幸¹⁾, 知念正人¹⁾, 増田康文¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原文男¹⁾, 佐藤雅史, 渡部英之, 米山浩英²⁾, 川並汪一²⁾(¹⁾第二病院内科, ²⁾同病理部)：〔一般講演〕咳嗽を主訴として発症し、胸部 CT 像と TBLB より histiocytosis X と診断した 1 例。第400回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 2) 高橋政之, 佐藤雅史, 高岩成光, 疋田史典, 山岸嘉彦, 久吉隆郎¹⁾, 吉田 宏¹⁾(¹⁾第二病院外科)：〔一般講演〕Multiple lymphomatous polyposis の 1 症例。第387回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 3) 篠原義智¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 相墨 仁¹⁾, 許田洋子, 坪井栄孝¹⁾, 渡部英之, 山岸嘉彦(¹⁾坪井病院)：〔一般講演〕CT ガイド下肺針生検200件の成績；困難例の検討を加えて。第387回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 4) 菊池隆介¹⁾, 原田雄一¹⁾, 関 純一¹⁾, 倉田文秋¹⁾, 島崎 譲¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原文男¹⁾, 川並汪一²⁾, 佐藤雅史(¹⁾第二病院内科, ²⁾同病理部)：〔一般講演〕胸部 L 線上特徴的陰影を呈し TBLB にて BOOP と診断, RA の合併が考えられる 1 例。日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 5) 山岸嘉彦：〔一般講演〕日常の画像診断で発見された意外な疾患；特に高齢者についての症例；1. 肺癌の症例, 2. 結核性慢性膿胸の胸壁穿破。第22回神奈川県放射線医学会, 1991.

- 6) 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 村上正洋¹⁾, 平田知己¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 平田正信¹⁾, 天野純治¹⁾, 佐藤雅史, 疋田史典, 渡部英之, 島田洋一²⁾, 杉本季久造²⁾, 浮谷勝郎²⁾, 倉田文秋³⁾, 島崎 讓³⁾, 川並汪一⁴⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾同麻酔科, ³⁾同内科, ⁴⁾同病理部): [一般講演] 切除肺癌100例の検討. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 7) 高橋政之, 渡部英之, 疋田史典, 佐藤雅史, 山岸嘉彦: [一般講演] 十二指腸球部粘膜の X 線像. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 8) 伊藤公一郎¹⁾, 本多一義¹⁾, 渡 潤¹⁾, 林 宏光¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 北浜博之²⁾, 福永 淳²⁾, 奥山 厚²⁾, 笹川道三²⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾栃木県立がんセンター画像診断部): [展示] 空間周波数処理による低コントラスト画像の検出. 第59回日本医科大学医学部総会, 1991.
- 9) 原田雄一¹⁾, 島崎 讓¹⁾, 藤井裕介¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 佐藤雅史, 渡部英之, 米山浩英²⁾, 川並汪一²⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同病理部): [展示] TBLB・BAL にてカリニ肺炎と診断した 1 例. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 10) 清水由晴¹⁾, 羽生田陽一郎¹⁾, 藤井裕介¹⁾, 松原貴規¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 佐藤雅史, 渡部英之 (¹⁾第二病院内科): Post aortic left innominate vein の 1 例. 第403回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 11) 篠原義智¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 相墨 仁¹⁾, 許田洋子¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 渡部英之, 山岸嘉彦 (¹⁾坪井病院): [一般講演] 当院における器質化肺炎手術例の検討; 肺癌との鑑別困難例を中心に. 第389回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 12) 篠原義智¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 相墨 仁¹⁾, 許田洋子¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 渡部英之, 山岸嘉彦 (¹⁾坪井病院): [一般講演] 両側多発性肺動脈瘻の 1 例; 肺内小型瘻の新しい治療法の試み. 第389回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 13) 原 一郎¹⁾, 青木 律¹⁾, 山口裕史¹⁾, 馬越正通¹⁾, 渡部英之, 三樹 勝²⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター, ²⁾大仁病院): [一般講演] 超音波誘導下経皮胆嚢ドレナージ法 (PTGBD) が有用であった急性腹症の 1 症例. 第17回日本腹部救急医学会, 1991.
- 14) 渡部英之: [ワークショップ] 放射線技師による注腸 X 線検査の現況と問題点. 第 9 回大腸検査法研究集会, 1991.
- 15) 佐藤雅史, 山本博人, 高橋政之, 疋田史典, 渡部英之, 山岸嘉彦, 島崎 讓¹⁾, 原 文男¹⁾, 米山浩英²⁾, 川並汪一²⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同病理部): [一般講演] カリニ肺炎をきっかけに診断された AIDS の 1 例. 第 5 回胸部放射線研究会, 1991.
- 16) 福永 淳¹⁾, 片山信仁¹⁾, 奥山 厚¹⁾, 北浜博之¹⁾, 鶴井光治¹⁾, 岡 俊夫¹⁾, 平原美孝¹⁾, 笹川道三¹⁾, 松井淳一²⁾, 菱沼正一²⁾, 尾形佳郎²⁾ (¹⁾栃木県立がんセンター画像診断部, ²⁾同外科): [一般講演] 臍頭部動静脈奇形の 1 例. 第 3 回腹部放射線研究会, 1991.
- 17) 小侯 香, 山本博人, 高橋政之, 疋田史典, 佐藤雅史, 渡部英之, 山岸嘉彦: [一般講演] 末梢血好酸球増多と肺野粟粒陰影を呈したサルコイドーシスの 1 例. 第 6 回胸部放射線研究会, 1991.
- 18) 山本博人, 渡部英之, 小侯 香, 高橋政之, 疋田史典, 佐藤雅史, 山岸嘉彦, 伊東文行¹⁾, 義沢 泉¹⁾ (¹⁾第二病院皮膚科): [一般講演] 胃梅毒の 1 例. 第391回日本医学放射線学会関東地方会, 1992.
- 19) 原田雄一¹⁾, 島崎 讓¹⁾, 藤井裕介¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 佐藤雅史, 渡部英之, 川並汪一²⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同病理部): [一般講演] TBLB・BAL にてカリニ肺炎と診断した HIV 症の 1 例. 第407回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 20) 篠原義智¹⁾, 岩波 洋¹⁾, 成田久二夫¹⁾, 立花正徳¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 渡部英之, 山岸嘉彦 (¹⁾坪井病院): [一般講演] 肺癌直後に縦隔腫瘤影を呈した興味ある 2 例; 乳び腫および異物肉芽腫の各 1 例. 第392回日本医学放射線学会関東地方会, 1992.

[多摩永山病院放射線科]

研究概要

1. 高濃度硫酸バリウムによる食道(咽頭, 頸部食道を含む), 胃 X 線検査の有用性, 特に胃集検における有用性につき臨床的, 実験的検討を加えている。
2. 細気管支肺胞上皮癌の発育進展及び natural history の特徴につき X 線診断学的, 病理組織学的に病理部と共に検討を続けている。
3. 川崎市主催の住民検診を利用した肺癌の集団検診のグループに加わり, 肺癌における集検の有用性につき検討を続けている。

研究業績

論文

- 1) 田島なつき: [原著] 高濃度硫酸バリウムの臨床経験, Clinical Imagiology, 7, 96~100, 1991.
- 2) 田島なつき, 飯田英次, 孫田誠三, 山本 鼎, 松尾健司¹⁾, 池田幸好¹⁾ (多摩永山病院技師室): [原著] 新しい高濃度硫酸バリウムの有用性について; 造影能の基礎的検討と飲みやすさの比較. 映像情報 MEDICAL, 23, 453~457, 1991.
- 3) 横山宗伯¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 五味洸誠³⁾, 前田昭太郎⁴⁾, 山本 鼎, 鈴木仁子⁵⁾, 長澤紘一⁵⁾, 浅野伍朗¹⁾ (多摩永山病院病理部第2, ²⁾付属病院病理部, ³⁾胸部外科, ⁴⁾多摩永山病院病理部, ⁵⁾同内科): [原著] 診断に難渋した肺3重癌の1例. 日臨細胞会誌, 30, 1204~1205, 1991.

学会発表

- 1) 田島なつき, 飯田英次, 孫田誠三, 山本 鼎, 田島廣之¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (多摩永山病院放射線科): [展示] 新しい高濃度硫酸バリウム BP-HD の有用性について; BA-HD 及び BP との比較. 第50回日本医学放射線学会, 1991.
- 2) 田島廣之¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 田島なつき, 川俣博志¹⁾, 村上隆介¹⁾, 渡 潤¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (多摩永山病院放射線科): [一般講演] 肺高血圧を伴う肺血栓塞栓症に対する肺動脈造影; 血行動態の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 3) 飯田英次, 田島なつき, 杉崎健一, 孫田誠三, 山本 鼎, 北村誠一¹⁾, 坂本光史²⁾ (多摩永山病院技師室, ²⁾付属病院放射線科): [一般講演] 胃集団検診における高濃度硫酸バリウムの有用性について; バリコンミールとバムスター-S の比較. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 4) 杉崎健一, 宮下次廣¹⁾, 飯田英次, 田島なつき, 孫田誠三, 山本 鼎 (多摩永山病院放射線科): [展示] 中下咽頭癌の超音波像. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 5) 横山宗伯¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 五味洸誠³⁾, 前田昭太郎⁴⁾, 山本 鼎, 鈴木仁子⁵⁾, 長澤紘一⁵⁾ (多摩永山病院病理部第2, ²⁾付属病院病理部, ³⁾胸部外科, ⁴⁾多摩永山病院病理部, ⁵⁾同内科): [展示] 診断に難渋した肺3重癌の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 6) 弦間和仁¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 田島廣之¹⁾, 村上隆介¹⁾, 小南修司¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 川俣博志¹⁾, 高橋修司¹⁾, 水村 直¹⁾, 杉崎健一, 恵畑欣一¹⁾ (多摩永山病院放射線科): [展示] Metallic stent の臨床応用; 閉塞性動脈疾患の新しい治療法. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 7) 川上康彦¹⁾, 丸山和男¹⁾, 土屋正己¹⁾, 飛田正俊¹⁾, 岡部俊成¹⁾, 向後俊昭¹⁾, 橋本 清¹⁾, 高田月彦²⁾, 田中洋介²⁾, 吉岡正智²⁾, 飯田英次, 山本 鼎, 前田昭太郎³⁾ (多摩永山病院小児科, ²⁾同外科, ³⁾同病理部): [展示] 大量下血によるショック症状を呈し, 注腸造影により診断しえたメッケル憩室の1乳児例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 8) 村上隆介¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 田島廣之¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 天野康雄¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 小俣 香¹⁾, 田島なつき, 恵畑欣一¹⁾

(¹付属病院放射線科)：〔一般講演〕血管造影の腎機能に及ぼす影響；腎動脈造影とそれ以外の腹部血管造影直後における腎機能の定量的比較検討。第32回日本脈管学会総会，1991。

- 9) 飯田英次，田島なつき，孫田誠三，山本 鼎，坂本光史¹⁾，恵畑欣一¹⁾，村田雄一²⁾(¹付属病院放射線科，²⁾東京中央放射線診療所)：〔一般講演〕高濃度硫酸バリウム・バリコンミールによる胃集団検診。第29回日本消化器集団検診学会秋季大会，1991。
- 10) 野崎志津加¹⁾，小島順一¹⁾，北村誠一¹⁾，池田幸好¹⁾，田島なつき(¹多摩永山病院技師室)：〔一般講演〕高濃度硫酸バリウムの基礎的検討；第2報。第47回日本放射線技術学会総会，1991。
- 11) 添野真一¹⁾，鈴木 勲¹⁾，頼 徳成¹⁾，星 慎一¹⁾，島田早苗¹⁾，山本 鼎(¹多摩永山病院耳鼻咽喉科)：〔一般講演〕耳鼻咽喉科領域における重篤感染症の1例。日本医科大学医学会第76回例会，1992。

7. 皮膚科学講座

[付属病院皮膚科]

研究概要

- 1) 薬疹, 接触皮膚炎: 貼布搔破試験, 皮内反応, challenge test などによる原因の確認とアレルギーカードの発行.
- 2) 尋常性天疱瘡, 類天疱瘡の診断, 治療および臨床統計.
- 3) 疥癬の診断, 治療および臨床統計.
- 4) 皮膚結核の診断, 治療および臨床統計.
- 5) 梅毒の診断, 治療および統計に関する研究: 分画 TPHA を指標とする治療効果の判定.
- 6) 皮膚腫瘍の臨床診断および病理学的研究: 特に電顕, 酵素抗体法を用いた研究.
- 7) 尋常性乾癬, アトピー性皮膚炎に対する PUVA 療法.

論文

- 1) 林 みき, 本田光芳: [原著] 桃葉乾燥エキス配合炭酸ガス浴剤の汗疹患者に対する使用経験. 新薬と臨床, 40, 1163~1181, 1991.
- 2) 本田光芳, 青木見佳子, 石橋康正¹⁾, 新村真人²⁾, 原田昭太郎³⁾, 武田克之⁴⁾, 島雄周平⁵⁾, 小川暢也⁶⁾(¹⁾東京大学皮膚科, ²⁾東京慈恵会医科大学皮膚科, ³⁾関東通信病院皮膚科, ⁴⁾徳島大学皮膚科, ⁵⁾鳥取大学皮膚科, ⁶⁾愛媛大学薬理): [原著] 0.1%Methylprednisolone Aceponate 外用剤の湿疹・皮膚炎群および尋常性乾癬に対する有用性の検討; 左右比較試験法による0.12%Betamethasone 17-Valerateとの比較試験成績. 臨床医薬, 7, 1011~1032, 1991.
- 3) 佐々木りか子, 山本一哉¹⁾(¹⁾国立小児病院皮膚科): [原著] 水溶性コラーゲン配合モイスマチャーボディクリームの臨床経験. 日小皮会誌, 10, 51~58, 1991.
- 4) 青木見佳子, 佐藤元泰¹⁾, 服部怜美¹⁾, 本田光芳, 勝部康弘²⁾, 浅野 健²⁾, 山本正生²⁾, 植田 稔²⁾, 福田 悠³⁾(¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾小児科, ³⁾病理第1): [原著] 鼻部腫瘍で発症した先天性白血病の1例. Skin Cancer, 6, 145~148, 1991.
- 5) 矢島 純, 加藤さき子, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 本田光芳, 七田俊彦¹⁾(¹⁾大阪府): [原著] レゾルシンによるアレルギー性接触皮膚炎. 皮膚, 33 (増刊10), 73~77, 1991.
- 6) 林 みき, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 七田俊彦¹⁾(¹⁾大阪府): [原著] プレドニゾロン, 硫酸フラジオマイシン, クロラムフェニコールによるアレルギー性接触皮膚炎, およびプレドニゾロンによる薬疹を合併した1例. 皮膚, 33 (増刊10), 112~117, 1991.
- 7) 本田光芳, 矢島 純, 大河原章¹⁾, 久木田淳²⁾, 石橋康正³⁾, 原田昭太郎⁴⁾, 新村真人⁵⁾, 武田克之⁶⁾, 島雄周平⁷⁾(¹⁾北海道大学皮膚科, ²⁾防衛医科大学校皮膚科, ³⁾東京大学皮膚科, ⁴⁾関東通信病院皮膚科, ⁵⁾東京慈恵会医科大学皮膚科, ⁶⁾徳島大学皮膚科, ⁷⁾鳥取大学皮膚科): [原著] 成人型アトピー性皮膚炎に対するグルココルチコステロイド外用剤の漸減・間歇療法の検討. 皮膚, 33 (増刊10), 371~381, 1991.
- 8) 本田光芳, 林 みき, 石橋康正¹⁾, 新村真人²⁾, 原田昭太郎³⁾, 武田克之⁴⁾, 島雄周平⁵⁾(¹⁾東京大学皮膚科, ²⁾東京慈恵会医科大学皮膚科, ³⁾関東通信病院皮膚科, ⁴⁾徳島大学皮膚科, ⁵⁾鳥取大学皮膚科): [原著] 0.1%Methylprednisolone Aceponate 外用剤の長期投与試験: 全身のおよび局所の影響ならびに臨床効果の検討. 臨床医薬, 7, 1253~1266, 1991.
- 9) 本田光芳, 林 みき, 佐々木映子, 石橋康正¹⁾, 新村真人²⁾, 原田昭太郎³⁾, 武田克之⁴⁾, 島雄周平⁵⁾(¹⁾東京大学皮膚科, ²⁾東京慈恵会医科大学皮膚科, ³⁾関東通信病院皮膚科, ⁴⁾徳島大学皮膚科, ⁵⁾鳥取大学皮膚科): [原著]

- 0.1%Methylprednisolone Aceponate 外用剤の各種皮膚疾患に対する有用性の検討. 臨床医薬, 7, 1267~1286, 1991.
- 10) 新見やよい, 本田光芳:〔原著〕染毛剤による接触皮膚炎(特集:染毛剤の最近の進歩と研究開発の課題). *Frangrance Journal*, 19, 53~57, 1991.
 - 11) 本田光芳, 青木見佳子, 石橋康正¹⁾, 新村真人²⁾, 原田昭太郎³⁾, 久木田淳⁴⁾ (¹⁾東京大学皮膚科, ²⁾東京慈恵会医科大学皮膚科, ³⁾関東逓信病院皮膚科, ⁴⁾帝京大学溝口病院皮膚科):〔原著〕0.1%Methylprednisolone Aceponate 外用剤の外用回数に関する臨床的検討;二重盲検法による1日1回外用と1日2回外用の有用性比較. 臨床医薬, 7, 1565~1576, 1991.
 - 12) 矢島 純, 青木見佳子, 本田光芳:〔原著〕皮膚癢痒症, 薬物療法 manual (下巻). 日本臨床, 49 (増刊号), 1092~1094, 1991.
 - 13) 青木見佳子, 本田光芳:〔原著〕皮膚結核, 薬物療法 manual (下巻). 日本臨床, 49 (増刊号), 1138~1139, 1991.
 - 14) 佐々木映子, 本田光芳:〔原著〕慢性蕁麻疹;生活上の注意.(特集:日常診療における治りにくい皮膚病一最新の知見と治療一). 皮膚臨床, 33, 1087~1091, 1991.
 - 15) Niimi, Y., Zhu, X.J.¹⁾ and Bystryń, J.C.²⁾ (¹⁾First Hospital, Beijing Medical University, ²⁾New York University Medical Center):〔原著〕Identification of basement membrane zone antigens defined by antibodies that react to both the epidermal and dermal site of 1M sodium chloride split skin. *Journal of Investigative Dermatology (New York)*, 97, 312~317, 1991.
 - 16) 山口英世¹⁾, 内田勝久¹⁾, 渋谷和俊²⁾, 楠 俊雄¹⁾(¹⁾帝京大学医真菌センター, ²⁾東邦大学大橋病院病理):〔カラーグラフ〕真菌の形態学. 臨床検査, 35, 806~809, 1991.
 - 17) 秋元正宇¹⁾, 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 文入正敏¹⁾, 浅野哲雄²⁾, 青木見佳子, 三神 寛³⁾, 久喜邦康 (¹⁾形成外科, ²⁾胸部外科, ³⁾第一病院皮膚科):〔原著〕11年間に34回の手術を経て死亡に至った悪性線維性組織球腫の1例. *Skin Cancer*, 6, 222~224, 1991.
 - 18) 新見やよい, 青木見佳子, 本田光芳, 利根川均¹⁾, 百束比古¹⁾ (¹⁾形成外科):〔原著〕Sutton 現象を伴った悪性黒色腫の1例. *Skin Cancer*, 6, 242~246, 1991.
 - 19) 白井洋司¹⁾, 百束比古¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 山本 達¹⁾, 大木更一郎¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 本田光芳(¹⁾形成外科):〔原著〕Radical neck dissection時に同側浅側頭静脈を吻合血管とした逆行性遊離前腕皮弁により再建した顔面の悪性黒色腫の1例. *Skin Cancer*, 6, 269~272, 1991.
 - 20) 村上正洋¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 山村美和¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子(¹⁾形成外科):〔原著〕Free vascularized vein graftによる1期的涙小管再建を施行した内眼角部の隆起性皮膚線維肉腫の1例. *Skin Cancer*, 6, 317~319, 1991.
 - 21) 大木更一郎¹⁾, 百束比古¹⁾, 白井洋司¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子 (¹⁾形成外科):〔原著〕頸部郭清術施行例における顔面軟部組織欠損の再建. 日頭蓋顎顔面外会誌, 7, 11~19, 1991.
 - 22) 尾見徳弥, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 七田俊彦¹⁾, (¹⁾大阪府):〔原著〕ベンジルアルコールによるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 皮膚疹療, 13, 883~886, 1991.
 - 23) 佐々木映子:〔原著〕副腎皮質ホルモン剤(内服・外用)の使い方(特集:身近な皮膚病変一治療薬の知識と使い方一). 治療, 73, 1907~1910, 1991.
 - 24) 矢島 純, 本田光芳:〔原著〕外用剤の副作用(特集:身近な皮膚病変一治療薬の知識と使い方一). 治療, 73, 1911~1915, 1991.
 - 25) 青木見佳子:〔原著〕良性腫瘍と間違えやすい悪性腫瘍(特集:身近な皮膚病変一皮膚病変のとらえ方と治療のコツ一). 治療, 73, 1935~1938, 1991.
 - 26) 加藤さき子:〔原著〕乾皮症様湿疹, ナイロンタオルなどによる色素沈着(特集:身近な皮膚病変一皮膚病変の

- とらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 1967~1970, 1991.
- 27) 新見やよい: [原著] 急性エリテマトーデス (SLE) (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 1981~1984, 1991.
- 28) 青木見佳子: [原著] 皮膚筋炎 (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 1985~1988, 1991.
- 29) 藤本和久: [原著] 動物性皮膚疾患; 疥癬, ライム病, 恙虫病, 毛虫. 毒蛾皮膚炎 (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 2001~2004, 1991.
- 30) 畑三恵子, 本田光芳: [原著] 痤瘡, 円形脱毛症, 男性型脱毛症 (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 2011~2014, 1991.
- 31) 本田光芳: [原著] Q & A (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 2027~2031, 1991.
- 32) 佐々木りか子: [原著] Q & A (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 2032~2033, 1991.
- 33) 佐々木りか子: [原著] Q & A (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 2034~2034, 1991.
- 34) 楠 俊雄: [原著] Q & A (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 2036~2038, 1991.
- 35) 田宮由美子: [原著] Q & A (特集: 身近な皮膚病変—皮膚病変のとらえ方と治療のコツ)。治療, 73, 2039~2041, 1991.
- 36) 佐々木りか子: [原著] 蕁麻疹. *Modern Physician*, 11, 1356~1357, 1991.
- 37) 尾見徳弥, 川並汪¹⁾, 本田光芳, 赤松 洋²⁾ (第2病院病理部, ²⁾日赤医療センター新生児・未熟児科): [原著] ヒト胎生期の皮膚気道系の発達とマスト細胞. *アレルギー*, 40, 1407~1414, 1991.
- 38) 滝沢 康¹⁾, 百束比古¹⁾, 三橋 清¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 本田光芳 (形成外科): [原著] 顔面の皮膚悪性腫瘍摘出後再建における静脈皮弁の適用について. *Skin Cancer*, 6, 427~430, 1991.
- 39) Niimi, Y., Zhu, X.J.¹⁾ and Bystryń, J.C.²⁾ (¹⁾First Hospital, Beijing Medical University, ²⁾New York University Medical Center): [原著] Identification of cicatricial pemphigoid antigens. *Archives of Dermatology (Chicago)*, 128, 54~57, 1992.
- 40) 江川ゆり¹⁾, 岩谷由美, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 肥留川道雄²⁾, 池谷正之³⁾ (第2病院皮膚科, ²⁾整形外科, ³⁾埼玉県): [原著] 皮膚腺病の1例. *皮膚臨床*, 34, 385~389, 1992.
- 41) 加藤さき子, 本田光芳: [原著] 臓器移植と皮膚腫瘍および皮膚科領域でのサイクロスポリンの使用. *東京医師会誌*, 44, 1379~1382, 1992.
- 42) 加藤さき子, 宮田 新, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 熊沢立直¹⁾, 原田裕文¹⁾ (東京都): [原著] 結節性裂毛症の1例. *皮膚臨床*, 34, 483~486, 1992.

著 書

- 1) 本田光芳, 青木見佳子: [分担] 光接触皮膚炎, Vidal 苔癬, 脂漏性皮膚炎, “現代病理学大系”. 第19巻 A, p. 33~39, 中山書店, 1991.
- 2) 畑三恵子: [分担] 疥癬, しらみ, “今日の小児治療指針 第9版”(塙 嘉之, 三河春樹, 重田政信編). p. 605~605, 医学書院, 1992.
- 3) 畑三恵子, 本田光芳: [分担] 酒皸様皮膚炎. “図説皮膚疾患講座”(石橋康正, 大河原章, 新村真人, 高久史磨編). 第2巻, p. 41~41, メジカルビュー, 1992.
- 4) 北原東一, 本田光芳: [分担] 水銀皮膚炎, “図説皮膚疾患講座”(石橋康正, 大河原章, 新村真人, 高久史磨編).

第2巻, p. 96~96, メジカルビュー, 1992.

- 5) 太田真琴, 本田光芳: [分担]口舐め病. “図説皮膚疾患講座”(石橋康正, 大河原章, 新村真人, 高久史磨編). 第2巻, p. 204~204, メジカルビュー, 1992.
- 6) 楠 俊雄, 楠万左子¹⁾, 飯泉陽子²⁾ (¹⁾東京都, ²⁾埼玉医科大学医療センター皮膚科): [分担]真菌症の臨床検査「エピデルモフィットン」. “臨床検査 MOOK”. 増刊3, p. 66~67, 金原出版, 1992.

学会発表

- 1) 尾見徳弥, 川並汪一¹⁾ (¹⁾第二病院病理部): [一般講演] ヒト胎生期の皮膚気道系におけるマスト細胞の出現と環境要因. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 2) 田宮由美子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 大河原大次¹⁾, 富山俊一¹⁾ (¹⁾耳鼻咽喉科): [一般講演] 咽頭腫瘍を疑われた2期梅毒疹の1例. 第90回日本皮膚科学会学術大会, 1991.
- 3) 本田光芳: [特別講演] いわゆる湿疹皮膚炎群について. 第18回埼玉県皮膚科医会総会・集談会, 1991.
- 4) 北原東一, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳: [一般講演] 固定薬疹の1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 5) 青木見佳子, 矢島 純, 本田光芳, 百束比古¹⁾, 簡野晃次¹⁾, 齋藤 裕²⁾ (¹⁾形成外科, ²⁾東京都): [一般講演] 趾間の有棘細胞癌. 日本皮膚科学会第16回茨城地方会, 1991.
- 6) 本田光芳: [特別講演] 眼瞼周囲の皮膚疾患; 湿疹・皮膚炎を中心に. 第8回関東眼科学会, 1991.
- 7) 北原東一, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳: [一般講演] 固定薬疹の1例. 第15回日本小児皮膚科学会学術大会, 1991.
- 8) 佐々木りか子, 山本一哉¹⁾, 矢島 純, 本田光芳 (¹⁾国立小児病院皮膚科): [一般講演] アトピー性皮膚炎児と健常児に対する数種アレルゲンを用いた貼布試験結果の比較検討. 第15回日本小児皮膚科学会学術大会, 1991.
- 9) 三橋 清¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子 (¹⁾形成外科): [展示] Vascularized vein graft の実験的研究(第1報). 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 10) 滝沢 康¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 服部怜美²⁾, 本田光芳, 三橋 清¹⁾, 平井 隆¹⁾ (¹⁾形成外科, ²⁾第二病院皮膚科): [一般講演] 顔面の皮膚悪性腫瘍摘出後再建における静脈皮弁(venous flap)の適用について. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
- 11) 白井洋司¹⁾, 百束比古¹⁾, 三橋 清¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子, 梅田敏彦¹⁾ (¹⁾形成外科): [一般講演] 義眼床に発生した有棘細胞癌の1例. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
- 12) 村上正洋¹⁾, 百束比古¹⁾, 山村美和¹⁾, 青木見佳子 (¹⁾形成外科): [一般講演] Free vascularized vein graft による1期的涙小管再建を施行した内眼角部の隆起性皮膚線維肉腫の1例. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
- 13) 秋元正宇¹⁾, 百束比古¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 村上正洋¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子 (¹⁾形成外科): [一般講演] 顔面の隆起性皮膚線維肉腫6例と手術法の検討. 第9回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 1991.
- 14) 北原東一, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳, 廣田 薫¹⁾ (¹⁾内科第3): [一般講演] 壊疽性膿皮症の1例. 日本皮膚科学会第675回東京地方会, 1991.
- 15) 藤本和久, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳: [一般講演] アミノ安息香酸エチルによるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 第21回日本皮膚アレルギー学会, 1991.
- 16) 服部怜美¹⁾, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 三枝由紀子¹⁾, 伊東文行¹⁾, 名取礼文 (¹⁾第二病院皮膚科): [一般講演] リン酸コデインとバルピタールによる固定薬疹の1例. 第21回日本皮膚アレルギー学会, 1991.
- 17) 宮田 新, 青木見佳子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島 純, 本田光芳: [展示] 皮膚腺病の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 18) 名取礼文, 義澤 泉¹⁾, 江川ゆり¹⁾, 伊東文行¹⁾, 服部怜美¹⁾, 平井真実²⁾ (¹⁾第二病院皮膚科, ²⁾同外科): [展示]

- 手指に発生した爪下外骨腫；症例と本邦報告例の統計的観察。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 19) 義澤 泉¹⁾，伊東文行¹⁾，名取礼文，江川ゆり¹⁾，服部怜美¹⁾(¹⁾第二病院皮膚科)：〔展示〕Solitary mastocytoma；症例と本邦報告例の統計的観察。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 20) 名取礼文，伊東文行¹⁾，義澤 泉¹⁾，江川ゆり¹⁾，服部怜美¹⁾，平井真実²⁾(¹⁾第二病院皮膚科，²⁾同外科)：〔一般講演〕手指に生じた爪下外骨腫の1例。日本皮膚科学会第676回東京地方会，1991。
- 21) 太田真琴，青木見佳子，畑三恵子，矢島 純，本田光芳，坂田修一¹⁾，白井洋司¹⁾(¹⁾形成外科)：〔一般講演〕悪性黒色腫を疑った爪甲下有棘細胞癌の1例。日本皮膚科学会第677回東京地方会，1991。
- 22) 宮田 新，新見やよい，青木見佳子，佐々木映子，畑三恵子，矢島 純，本田光芳，喜多英子¹⁾(¹⁾複十字病院臨床検査科)：〔一般講演〕皮膚腺病の1例。日本皮膚科学会第677回東京地方会，1991。
- 23) 尾見徳弥，川並汪一¹⁾，本田光芳，武末民子²⁾，赤松 洋³⁾(¹⁾第二病院病理部，²⁾日赤医療センター病理部，³⁾日赤医療センター新生児・未熟児科)：〔一般講演〕ヒト胎生期の皮膚気道系におけるマスト細胞の出現と環境要因。第41回日本アレルギー学会総会，1991。
- 24) 中條薫子，青木見佳子，畑三恵子，矢島 純，本田光芳：〔一般講演〕爪下外骨腫の1例。日本皮膚科学会第678回東京地方会，1991。
- 25) 青木順子，田宮由美子，青木見佳子，畑三恵子，矢島 純，本田光芳：〔一般講演〕ブデソニドによるアレルギー性接触皮膚炎の1例。日本皮膚科学会第678回東京地方会，1991。
- 26) 藤本和久，青木見佳子，佐々木映子，畑三恵子，矢島 純，本田光芳：〔一般講演〕乾癬にステロイドを外用して生じた topical corticosteroid withdrawal syndrome の1例。日本皮膚科学会第680回東京地方会，1992。
- 27) 本田光芳：〔セミナー〕こどもの皮膚自傷症，くせによる皮膚病変(主題：接触皮膚炎と貼布試験)。第15回小児皮膚科学セミナー，1992。
- 28) 畑三恵子：〔セミナー〕こどもの接触皮膚炎，虫さされ；原因をみつけだすコツ，臨床像の特徴。(主題：接触皮膚炎と貼布試験)。第15回小児皮膚科学セミナー，1992。
- 29) 佐々木りか子：〔セミナー〕こどもにおける貼布試験の実際(主題：接触皮膚炎と貼布試験)。第15回小児皮膚科学セミナー，1992。
- 30) 矢島 純：〔セミナー〕外用剤による接触皮膚炎(主題：接触皮膚炎と貼布試験)。第15回小児皮膚科学セミナー，1992。
- 31) 北原東一，中條薫子，田宮由美子，新見やよい，青木見佳子，畑三恵子，矢島 純，本田光芳，森岡 衛¹⁾(¹⁾東京都)：〔一般講演〕汗孔角化症から生じたと思われる Bowen 病の1例。日本皮膚科学会第681回東京地方会，1992。

〔第一病院皮膚科〕

研究概要

- 1) 皮膚腫瘍の発生および診断に関する研究。
- 2) 組織内スピロヘータの証明に関する研究。
- 3) 皮膚疾患に対するサーモグラフィの応用。
- 4) ヒトメラノーマ細胞のアイソトープ uptake による感受性試験に関する研究。
- 5) 薬疹(β -ラクタム系抗生物質の遅延型過敏反応における交叉反応)および contact hypersensitivity (UVB 照射時の遅延型過敏反応の抑制) についての研究。
- 6) 薬剤耐性菌に対する色素剤の研究。

研究業績

論文

- 1) 浅倉廣行, 中山恵二, 今井俊哉, 大崎邦子, 立原利江子, 中村進一:〔原著〕パセドウ病患者にみられた Sweet 症候群. 臨皮, 45, 417~419, 1991.
- 2) 中山恵二, 今井俊哉, 内田陽子, 相良宗徳, 中村進一, 林 厚生¹⁾ (1)国立市):〔原著〕腋窩に生じた基底細胞上皮腫. Skin Cancer, 6, 74~76, 1991.
- 3) 立原利江子, 森口聡子, 三神 寛, 中山恵二, 中村進一, 鈴木章一¹⁾ (1)第一病院外科):〔原著〕S 状結腸癌を合併した水疱性類天疱瘡の 1 例. 皮膚診療, 13, 609~612, 1991.
- 4) 秋元正宇¹⁾, 百束比古²⁾, 大久保正智¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 文入正敏¹⁾, 浅野哲雄²⁾, 五味淵誠²⁾, 青木見佳子³⁾, 三神 寛, 久喜邦康⁴⁾ (1)付属病院形成外科, 2)同胸部外科, 3)同皮膚科, 4)病理第 2):〔原著〕11 年間に 43 回の手術を経て死亡に至った悪性線維性組織球腫の 1 例. Skin Cancer, 6, 222~224, 1991.
- 5) 星 健二, 三神 寛, 中山恵二, 中村進一, 並松繁樹¹⁾, 滝沢 康²⁾, 片山博徳³⁾, 山本泰一⁴⁾ (1)第一病院中央研究室, 2)付属病院形成外科, 3)日本医科大学老人病研究所病理, 4)順天堂大学病理):〔原著〕側頭部脂腺癌の 1 例. Skin Cancer, 6, 257~259, 1991.
- 6) 中山恵二, 三神 寛, 濱松 優, 青木雅子, 西原 潔, 中村進一:〔原著〕エックリン汗管癌の 1 例. Skin Cancer, 6, 297~299, 1991.
- 7) 五十嵐司, 中山恵二, 三神 寛, 青木雅子, 斎藤陽子, 中村進一:〔原著〕背部に生じた malignant trichilemmoma の 1 例. Skin Cancer, 6, 454~456, 1991.
- 8) 浅倉廣行, 西原 潔, 三神 寛, 中山恵二, 中村進一, 後藤正紀¹⁾ (1)飯田市):〔原著〕陰部基底細胞上皮腫の 2 例. 皮膚科の臨床, 33, 1771~1773, 1991.
- 9) 大崎邦子, 相良宗徳, 野口和香美, 浅倉廣行, 中山恵二, 中村進一:〔原著〕大腿部に生じたバザン硬結性紅斑の 1 例. 皮膚科の臨床, 34, 214~251, 1992.

著書

- 1) 中村進一:〔分担〕特集 STD 最近の話題:梅毒. "Today's therapy". 15, p. 10~14, メディカル・ジャーナル社, 1991.
- 2) 中村進一:〔分担〕感染症 93:皮膚結核 "モダンクリニカルポイント皮膚科" (長島正治, 原田昭太郎編). p. 186~187, 金原出版, 1991.

学会発表

- 1) 星 健二, 佐治 守¹⁾, 田口桜子¹⁾, 向坂元秀²⁾, 有賀玲子²⁾, 百束比古³⁾, 山本 達³⁾, 中村進一 (1)第一病院薬剤科, 2)同中央検査室, 3)付属病院形成外科):〔一般講演〕色素剤の MRSA に対する使用経験. 第 90 回日本皮膚科学会学術大会, 1991.
- 2) 相良宗徳, 今井俊哉, 中山恵二, 西原 潔, 中村進一:〔一般講演〕色素性神経線維腫の 1 例. 第 90 回日本皮膚科学会学術大会, 1991.
- 3) 青木雅子, 中山恵二, 内田陽子, 今井俊哉, 恩田周太朗, 中村進一:〔一般講演〕バザン硬結性紅斑の 1 例. 第 90 回日本皮膚科学会学術大会, 1991.
- 4) 中山恵二, 今井俊哉, 相良宗徳, 青木雅子, 若松律子, 中村進一:〔一般講演〕後頭部に生じた pilonidal sinus の 1 例. 第 90 回日本皮膚科学会学術大会, 1991.
- 5) 濱松 優, 中山恵二, 森口聡子, 中村進一:〔一般講演〕Clear cell hidroadenoma の 1 例. 日本皮膚科学会第 673 回東京地方会, 1991.
- 6) 松尾千恵美¹⁾, 小林毅之¹⁾, 横山和子¹⁾, 中山恵二, 斎藤陽子, 青木雅子 (1)第一病院麻酔科):〔一般講演〕スク

- ラッチテストでアナフィラキシーショックを来した1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 7) 中山恵二, 三神 寛, 濱松 優, 青木雅子, 中村進一, 後藤正紀¹⁾ (1)飯田市): [一般講演] エックリン汗管癌の1例. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
 - 8) 濱松 優, 中山恵二, 三神 寛, 五十嵐司, 相良宗徳, 大崎邦子, 中村進一, 南 和文¹⁾, 清水一雄²⁾ (1)第一病院整形外科, ²⁾同外科): [展示] 外傷後に生じた malignant melanoma の1例. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
 - 9) 五十嵐司, 中山恵二, 三神 寛, 青木雅子, 斎藤陽子, 中村進一: [展示] Bowen 病様変化を伴った malignant trichilemmoma の1例. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
 - 10) 星 健二, 三神 寛, 中村進一, 山本泰一¹⁾ (1)順天堂大病理): [展示] Malignant trichilemmoma の1例. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
 - 11) 立原利江子, 三神 寛, 中山恵二, 中村進一: [一般講演] 臀部に生じた syringocystadenoma papilliferum の1例. 日本皮膚科学会第675回合同臨床東京地方会, 1991.
 - 12) 中山恵二, 斎藤陽子, 中村進一: [一般講演] 背部に認められた myxoma の1例. 第55回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 1991.
 - 13) 相良宗徳, 中山恵二, 中村進一: [一般講演] 手背に認められた trichilemmal cyst の1例. 第55回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 1991.
 - 14) 斎藤陽子, 三神 寛, 中山恵二, 中村進一: [一般講演] Angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia の1例. 第55回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 1991.
 - 15) 森口聡子, 中山恵二, 西原 潔, 中村進一: [一般講演] Eccrine spiradenoma の1例. 日本皮膚科学会第676回東京地方会, 1991.
 - 16) 西原 潔, 中山恵二, 恩田周太郎, 中村進一: [一般講演] Microsporum canis による体部白癬の2例. 日本皮膚科学会第676回東京地方会, 1991.
 - 17) 青木雅子, 三神 寛, 中山恵二, 中村進一: [一般講演] リンパ管腫の1例. 日本皮膚科学会第677回東京地方会, 1991.
 - 18) 佐治 守¹⁾, 田口桜子¹⁾, 堀田孝俊¹⁾, 吉江郁雄¹⁾, 向坂元秀²⁾, 戸早玲子²⁾, 新城靖子³⁾, 早津絹子³⁾, 葉山修陽⁴⁾, 井出道也⁵⁾, 星 健二 (1)第一病院薬剤科, ²⁾同中央検査室, ³⁾同看護部, ⁴⁾同内科第2, ⁵⁾同外科第2): [一般講演] 有機色素剤 gentiana violet (pioktanin) の MRSA 局所療法を目的とした基礎的臨床的検討. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
 - 19) 五十嵐司, 森口聡子, 中山恵二, 三神 寛, 山本泰一, 中村進一: [一般講演] Sebaceoma の1例. 日本皮膚科学会第678回東京地方会, 1991.
 - 20) 安原尚昭, 青木雅子, 山本泰一, 中山恵二, 中村進一: [一般講演] Solitary genital leiomyoma の1例. 日本皮膚科学会第678回東京地方会, 1991.
 - 21) 相良宗徳, 五十嵐司, 青木雅子, 西原 潔, 中山恵二, 中村進一: [一般講演] 顕症梅毒の2例. 日本性感染症学会第4回学術大会, 1991.
 - 22) 立原利江子, 今井俊哉, 金森幸男, 中村進一: [一般講演] ヒトメラノーマ細胞の制癌剤感受性試験; DTIC と VCR の二剤併用の効果. 日本皮膚科学会第679回研究東京地方会, 1991.
 - 23) 青木雅子, 中山恵二, 山本泰一, 中村進一: [一般講演] Intravascular papillary endothelial hyperplasia の1例. 日本皮膚科学会第680回東京地方会, 1992.

[第二病院皮膚科]

研究概要

- 1) 皮膚腫瘍の臨床診断, 病理組織学的検索, 電顕, 酵素抗体法, 形成外科の治療.
- 2) モノクローナル抗体などを用いた蛍光抗体法による梅毒の特異的診断, スピロヘータの構造解析, 梅毒の治療と分画 TPHA 推移の相関, 統計.
- 3) 接触皮膚炎, 蕁疹: patch scratch test, challenge test による原因物質の検索, アレルギーカードの発行.
- 4) 皮膚細菌感染症, 真菌症の菌分離と同定.

研究業績

論文

- 1) 服部怜美: [原著] 悪性腫瘍: 顔面, 頭部, 口腔内. 身近な皮膚病変のとらえ方とコツ “今月の課題”. 治療, 73, 1931~1934, 1991.
- 2) 伊東文行: [原著] 梅毒. 身近な皮膚病変のとらえ方とコツ “今月の課題”. 治療, 73, 2005~2009, 1991.
- 3) 江川ゆり: [原著] Q&A. 身近な皮膚病変のとらえ方とコツ “今月の課題”. 治療, 73, 2042~2044, 1991.
- 4) 青木見佳子¹⁾, 佐藤元泰²⁾, 服部怜美, 本田光芳¹⁾, 勝部康弘³⁾, 浅野 健³⁾, 山本正生³⁾, 植田 穰³⁾, 福田 悠⁴⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾東京, ³⁾付属病院小児科, ⁴⁾病理第1): [原著] 鼻部腫瘍で発症した先天性白血病の1例. Skin Cancer, 6, 145~148, 1991.
- 5) 江川ゆり, 佐々木映子¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 岩谷由美¹⁾, 畑美恵子¹⁾, 矢島 純¹⁾, 本田光芳¹⁾, 肥留川道雄¹⁾, 池谷政之³⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾同整形外科, ³⁾埼玉県): [原著] 皮膚腺病の1例. 皮膚臨床, 34, 385~389, 1992.

学会発表

- 1) 江川ゆり, 義沢 泉, 三枝由紀子, 伊東文行, 佐藤元泰¹⁾, 服部怜美 (¹⁾東京): [一般講演] お灸痕部に生じた有棘細胞癌の1例. 第90回日本皮膚科学会学術大会, 1991.
- 2) 伊東文行, Hunter, E.F.¹⁾, George, R.W.¹⁾, Pope, V.¹⁾, Larsen, S.A.¹⁾ (¹⁾Division of Sexually Transmitted Disease Laboratory Research, CDC, Atlanta, Ga, U.S.A.): [一般講演] T. pallidum に対するモノクローナル抗体. 第90回日本皮膚科学会学術大会, 1991.
- 3) 義沢 泉, 伊東文行, 江川ゆり, 服部怜美: [一般講演] Solitary mastocytoma の1例. 第15回日本小児皮膚科学会, 1991.
- 4) 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 青木見佳子²⁾, 服部怜美, 本田光芳²⁾, 三橋 清³⁾, 平井 隆³⁾ (¹⁾形成外科, ²⁾同皮膚科, ³⁾東京戸塚記念病院形成外科): [一般講演] 顔面の皮膚悪性腫瘍摘出後における静脈皮弁 (Venous flap) の適応について. 第7回皮膚悪性腫瘍学会, 1991.
- 5) 服部怜美, 義沢 泉, 江川ゆり, 三枝由紀子, 伊東文行, 名取礼文¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [一般講演] リン酸コデインとバルビタールによる固定蕁疹の1例. 第21回皮膚アレルギー学会, 1991.
- 6) 名取礼文¹⁾, 伊東文行, 義沢 泉, 江川ゆり, 服部怜美, 平井真実²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾第二病院外科): [一般講演] 手指に生じた爪下外骨腫. 第676回日本皮膚科学会東京地方会神奈川分会, 1991.
- 7) 江川ゆり, 伊東文行, 義沢 泉, 服部怜美: [一般講演] マダニの刺咬症1例. 第676回日本皮膚科学会東京地方会神奈川分会, 1991.
- 8) 義沢 泉, 江川ゆり, 伊東文行, 服部怜美: [一般講演] Solitary mastocytoma (症例と本邦報告例の統計的考察). 第59回日本医科大学学会総会, 1991.
- 9) 名取礼文, 伊東文行, 義沢 泉, 江川ゆり, 服部怜美, 平井真実¹⁾ (¹⁾第二病院外科): [一般講演] 手指に発生した爪下外骨腫 (症例と本邦報告例の統計的観察). 第59回日本医科大学学会総会, 1991.

- 10) 義沢 泉, 伊東文行, 江川ゆり, 服部怜美: [一般講演] Eccrine spiradenoma の 1 例. 第678回日本皮膚科学会東京地方会神奈川分会, 1991.
- 11) 伊東文行, 義沢 泉, 江川ゆり, 服部怜美: [一般講演] Reactive nodurer hyperplasia の 1 例. 第678回皮膚科学会東京地方会神奈川分会, 1991.
- 12) 伊東文行, 義沢 泉, 江川ゆり, 服部怜美, 石川 威¹⁾, 高橋修一¹⁾, 韓 秀¹⁾ (¹⁾国立八日市病院外科): [一般講演] Degos 病の 1 例. 第91回日本皮膚科学会学術大会, 1992.
- 13) 山本博人¹⁾, 渡部英之¹⁾, 小俣 香¹⁾, 高橋政之¹⁾, 疋田史典¹⁾, 佐藤雅史¹⁾, 山岸嘉彦¹⁾, 伊東文行, 義沢 泉 (¹⁾第二病院放射線科): [一般講演] 胃梅毒の 1 例. 第391回日本医学放射線学会関東地方会, 1992.
- 14) 大木清司¹⁾, 栗原広孝¹⁾, 杉木雄治¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 長澤紘一¹⁾, 中山恵二²⁾, 伊東文行, 前田昭太郎³⁾, 荒牧琢己⁴⁾ (¹⁾多摩永山病院内科, ²⁾同皮膚科, ³⁾同病理, ⁴⁾内科学第1): [一般講演] 著明な肝機能障害を伴った Weber-christian 病の 1 例. 第407回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 15) 伊東文行, 義沢 泉, 江川ゆり, 服部怜美: [一般講演] 胃の病変を伴った第二期顕症梅毒. 第681回日本皮膚科学会東京地方会神奈川分会, 1992.
- 16) 江川ゆり, 伊東文行, 義沢 泉, 服部怜美: [一般講演] 局面を形成した Eccrine poroma. 第681回日本皮膚科学会東京地方会神奈川分会, 1992.
- 17) 太田耕造¹⁾, 藤田武久¹⁾, 太田秀穂¹⁾, 服部怜美, 川並汪一²⁾ (¹⁾第二病院小児科, ²⁾同病理): [一般講演] 頭部腫瘤にて発見された好酸球性肉芽腫症の 1 例. 第194回日本小児科学会神奈川地方会, 1992.

8. 臨床病理学講座

[付属病院呼吸器科]

研究概要

呼吸器科では従来より肺の悪性腫瘍を主とした呼吸器疾患を対象とし臨床的、基礎的検討を行っている。臨床研究として、小細胞肺癌に対しては新たな集学的治療の確立を目指して化学療法奏功例に対する養子免疫療法併用の再発抑制、延命に及ぼす効果の検討、また全身状態が不良なために通常の強力な寛解導入化学療法が施行し得ない症例を主な対象とした多剤少量併用化学療法（multi-cyclic combination chemotherapy）の有効性の検討が昨年度に引き続いて実施された。一方、非小細胞肺癌に対しては本疾患に有効な2種類の白金製剤（CDDPとCBDCA）の併用療法のII相試験、あるいはIII期非小細胞肺癌症例に対する手術療法および化学療法の併用療法、さらに養子免疫療法を追加することによる治癒率、延命に及ぼす効果を問う無作為比較試験が胸部外科との共同研究として進行中である。こうした臨床試験は多くの症例の蓄積が必要で、かつ有効性の検討には長期間の観察が必要であるが、近接効果については論文、学会などで発表した。また、各種肺癌症例を対象として抗癌剤治療前後の癌組織の多剤性遺伝子発現の変化および治療効果との相関性の検討、肺癌に効果が期待される新規抗癌剤の第I、III相試験、肺癌患者のQOLの客観的評価法の確立、新しい腫瘍マーカーの検索、放射線肺臓炎の早期発見とその予防、脳あるいは骨転移などに関する様々な研究が精力的に進められた。

基礎的分野では、従来の抗癌剤感受性試験を改良し、臨床投与時の薬剤血中動態に近い濃度で判定可能な測定法（modified MTT assay）の開発およびこれを用いた抗癌剤の至適投与法、至適併用療法の検討が行われた。また、癌細胞に対する生物学的アプローチの一環として、癌細胞のライソゾームに対する障害作用を有する新規抗癌剤の検索、癌の転移、組織浸潤について各種肺癌細胞株を用い、その細胞外基質への接着、浸潤能の差異と抗癌剤による影響についての検討が行われた。一方、実験動物を用いての、新規抗癌剤の有効な投与スケジュールの確立、養子免疫療法と化学療法併用効果（至適併用時期の検討、LAK細胞の腫瘍組織集積性と抗癌剤による修飾）についての検討が行われ、その成果は現在進められている臨床試験にも反映されている。

研究業績

論文

- 1) 中井祐之¹⁾、福岡正博²⁾、古瀬清行³⁾、中尾 功⁴⁾、吉森浩三、小倉 剛⁵⁾、原 信之⁶⁾、坂田 優⁷⁾、齊藤英彦⁸⁾、長谷川浩一⁹⁾、栗山喬之¹⁰⁾、小川一誠¹¹⁾、有吉 寛¹²⁾、入江一彦¹³⁾、木村郁郎¹⁴⁾、仁井谷久暢、田口鐵男¹⁵⁾（¹⁾東北大学抗酸菌病研究所内科、²⁾大阪府立羽曳野病院第2内科、³⁾国立療養所近畿中央病院内科、⁴⁾(財)癌研究会附属病院内科、現・東京都赤十字血液センター、⁵⁾徳島大学医学部第3内科、⁶⁾国立病院九州がんセンター外科、⁷⁾弘前大学医学部第1内科、⁸⁾名古屋大学医学部第1内科、⁹⁾坪井病院内科、¹⁰⁾千葉大学肺癌研究施設呼吸器内科、¹¹⁾癌研究会癌化学療法センター、¹²⁾愛知県がんセンター呼吸器循環器内科、¹³⁾国立神戸病院、¹⁴⁾岡山大学医学部第2内科、¹⁵⁾大阪大学微生物病研究所）：〔原著〕原発性肺癌に対するCPT-11の前期第II相臨床試験。癌と化療、18、607～612、1991。
- 2) 根来俊一¹⁾、福岡正博¹⁾、仁井谷久暢、鈴木 明²⁾、中林武仁³⁾、木村昌宏⁴⁾、本宮雅吉⁵⁾、栗田雄三⁶⁾、長谷川浩一⁷⁾、栗山喬之⁸⁾、西脇 裕⁹⁾、小川一誠¹⁰⁾、中尾 功¹¹⁾、西條長宏¹²⁾、於保健吉¹³⁾、古江 尚¹⁴⁾、有吉 寛¹⁵⁾、下方 薫¹⁶⁾、古瀬清行¹⁷⁾、中島重徳¹⁸⁾、入江一彦¹⁹⁾、木村郁郎²⁰⁾、小倉 剛²¹⁾、藤井昌史²²⁾、原 信之²³⁾、原 泰寛²⁴⁾、中野正心²⁵⁾、荒木 潤²⁶⁾、宮田雄平²⁷⁾、田口鐵男²⁸⁾（¹⁾大阪府立羽曳野病院第2内科、²⁾札幌医科大学第3内科、³⁾国立札幌病院呼吸器内科、⁴⁾弘前大学医学部第1内科、⁵⁾東北大学抗酸菌病研究所内科、⁶⁾新潟県立がんセンター内科、⁷⁾坪井病院内科、⁸⁾千葉大学肺癌研究施設呼吸器科、⁹⁾国立療養所松戸病院内科、¹⁰⁾癌研究会癌化学療法セン

- ター臨床部, ¹¹⁾癌研究会付属病院・内科, ¹²⁾国立がんセンター内科, ¹³⁾東京医科大学第1外科, ¹⁴⁾帝京大学溝口病院内科, ¹⁵⁾愛知県がんセンター呼吸器循環器内科, ¹⁶⁾名古屋大学医学部第1外科, ¹⁷⁾国立療養所近畿中央病院内科, ¹⁸⁾近畿大学医学部第4内科, ¹⁹⁾国立神戸病院内科, ²⁰⁾岡山大学医学部第2内科, ²¹⁾徳島大学医学部第3内科, ²²⁾国立病院四国がんセンター内科, ²³⁾国立病院九州がんセンター呼吸器科, ²⁴⁾九州労災病院内科, ²⁵⁾長崎市立市民病院内科, ²⁶⁾佐世保市立総合病院内科, ²⁷⁾日本医科大学薬理, ²⁸⁾大阪大学微生物病研究所外科): [原著] カンプトテン誘導体 CPT-11 の原発性肺癌に対する後期第II相臨床試験. 癌と化療, 18, 1013~1019, 1991.
- 3) 小林国彦, 野村浩一郎, 若沢定子¹⁾, 須藤裕子¹⁾, 高橋卓夫, 忽滑谷直孝, 久勝章司, 林原賢治, 吉森浩三, 村田朗, 仁井谷久暢 (¹⁾日本医大看護部): [原著] QOL 評価と栄養指標. 癌と化療, 18, 1031~1038, 1991.
- 4) 小林国彦, 仁井谷久暢: [総説] 特集/QOL からみた癌治療 QOL 評価と問題点. KARKINOS, 4, 579~585, 1991.
- 5) Yoshimura, A., Gemma, A., Fukuoka, M., Furuse, K., Nishiwaki, Y., Ohta, M., Asakawa, M., Sakai, S., Nakai, Y., Ogawa, N., Kimura, K. and Niitani, H. (Advanced Lung Cancer Immunochemotherapy Study Group): [原著] Chemotherapy versus chemotherapy plus biological response modifiers (PSK) in adenocarcinoma of the lung; In relation to quality of life. Journal of Chemotherapy Supplement, 4, 524~526, 1991.
- 6) Gemma, A., Noguchi, M., Hirohashi, S., Tsugane, S., Tsuchiya, R., Niitani, H. and Shimosato, Y.: [原著] A pilot study of combination chemotherapy of cisplatin and carboplatin in patients with non small cell lung cancer. Journal of Chemotherapy, 4, 514~515, 1991.
- 7) 吉村明修, 仁井谷久暢, 涌川 昭¹⁾, 長谷川浩一²⁾, 古江 尚³⁾, 馬島 尚⁴⁾, 田口鐵男⁵⁾, 正岡 徹⁶⁾, 福岡正博⁷⁾, 古瀬清行⁸⁾, 服部孝雄⁹⁾, 小倉 剛¹⁰⁾, 塚越 茂¹¹⁾(¹⁾東京大学抗酸菌病研究所, ²⁾慈山会医学研究所付属坪井病院内科, ³⁾帝京大学医学部付属溝口病院内科, ⁴⁾千葉県がんセンター医療局診療部, ⁵⁾大阪大学微生物病研究所外科, ⁶⁾大阪府立成人病センター第5内科, ⁷⁾大阪府立羽曳野病院第2内科, ⁸⁾国立療養所近畿中央病院内科, ⁹⁾広島大学原爆放射能医学研究所外科, ¹⁰⁾徳島大学医学部第3内科, ¹¹⁾癌研究会癌化学療法センター): [原著] 新規抗癌抗生物質 FK973 の臨床第 I 相試験. 日本癌治療学会誌, 26, 1016~1025, 1991.
- 8) YM-881 静注研究会. 斉藤達雄¹⁾, 中尾 功²⁾, 涌井 昭³⁾, 仁井谷久暢, 栗原 稔⁴⁾, 今野俊光⁵⁾, 塚越 茂⁶⁾, 前田 浩⁷⁾(¹⁾佐々木研究所杏雲堂病院, ²⁾東京都赤十字血液センター, ³⁾東京大学抗酸菌病研究所臨床癌化学療法部門, ⁴⁾昭和大学付属豊州病院消化器科, ⁵⁾熊本大学第1外科, ⁶⁾癌研究会癌化学療法センター, ⁷⁾熊本大学微生物): [原著] YM881(ジノスタチン, スチマラマー)の静脈内投与による初期第II相試験. 癌と化療, 18, 1319~1323, 1991.
- 9) 吾妻安良太, 仁井谷久暢, 奥村 康: [原著] Bispecific 抗体と癌治療. 癌と化療, 18, 1535~1542, 1991.
- 10) 吾妻安良太: [原著] 双特異的抗体 (Bispecific F(ab')₂) を用いた LAK 細胞の細胞障害活性増強効果. 日医大誌, 58, 663~672, 1991.
- 11) 小林国彦, 武本俊彦, 日野光紀, 林原賢治, 中広一善, 和才さつき, 仁井谷久暢: [報告] 薬剤暴露後再培養を加えた modified MTT assay による抗癌剤感受性試験の新しい試み. 癌と化療, 19, 399~403, 1992.
- 12) 栗原 稔, 清水弘之, 坪井康次, 小川 浩, 村上 稔, 鈴木紀彰, 石川邦嗣, 富永 健, 江口研二, 多田弘人, 中島宏昭, 堀田知光, 小林国彦, 森瀬公友, 下妻晃三郎, 別 俊孝, 渡辺古志郎, 早川 誠(厚生省がん研究助成金計画研究「がん薬物療法の合理的評価法に関する研究」班): [総説] 癌薬物治療における QOL 評価のための調査項目の設定. Oncologia, 25, 131~137, 1992.
- 13) 植松和嗣, 忽滑谷直孝, 林原賢治, 久勝章司, 山野義光, 小林国彦, 吉森浩三, 弦岡昭彦, 村田 朗, 吉村明修, 仁井谷久暢, 山中洋一郎¹⁾, 横山京伯¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 小野良裕²⁾, 池田茂人²⁾(¹⁾病理学第2, ²⁾国立がんセンター): [報告] 下顎癌の肺縦隔転移に伴った多発気管支瘻の1例. 気管支学, 14, 49~53, 1992.

著 書

- 1) 仁井谷久暢, 忽滑谷直孝: [著書] 癌化学療法と quality of life: 癌治療と生存. p. 269~277, 医薬ジャーナル社, 1991.
- 2) 仁井谷久暢, 渋谷昌彦: [分担] 特集/癌の化学療法1991 (前編) ボドフィロトキシン誘導体 (エトポシド, テンポシド). 46, p. 1227~1232, 最新医学社, 1991.
- 3) 吾妻安良太, 池田昌弘: [分担] 「癌と遺伝子工学的診断と治療」, Bispecific 抗体による癌の免疫療法. 中外医学社, 1991.
- 4) 仁井谷久暢, 村田 朗: [分担] 薬物療法 manual (下巻) 疾患別薬物療法. C. 呼吸器疾患肺癌. p. 281~283, 日本臨床 (増刊号), 1991.
- 5) 村田 朗, 仁井谷久暢: [分担] 抗癌剤. p. 274~277, 医学のあゆみ (別冊), 1991.

学会発表

- 1) 忽滑谷直孝, 仁井谷久暢: [一般講演] WO5・4, Cisplatin 誘発嘔吐に対する5-HT₃受容体拮抗剤吐剤の臨床検討. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 2) Majima, H.¹⁾, Niitani, H., Taguchi, T.²⁾ and Furue, H.³⁾: [一般講演] Phase I clinical and pharmacokinetic study of sun 4599. Twenty-seventh Annual Meeting American Society of Clinical Oncology (Houston), 1991.
- 3) Taguchi, T., Wakui, A., Majima, H., Nakao, I., Niitani, H., Furue, H., Ohta, K., Hattori, T., Sugimachi, K. and Tsukagoshi, S.: [一般講演] A phase I study and pharmacokinetics of oral menogaril (TUF-7) administered on 14 consecutive days. Twenty-Seventh Annual Meeting American Society of Clinical Oncology (Houston), 1991.
- 4) Ariyoshi, Y., Ota, K., Wakui, A., Ogawa, M., Furue, H., Majima, H., Niitani, H., Shimoyama, M., Taguchi, T., Kimura, I., Hattori, T., Sugimachi, K. and Fujita, H.: [一般講演] Pharmacokinetics with a 5 day continuous infusion of a camptothecin derivative, CPT-11. Twety-Seventh Annual Meeting American Society of Clinical Oncology (Houston), 1991.
- 5) Negoro, S., Fukuoka, M., Niitani, H. and Taguchi, T.: [一般講演] Phase II study of CPT-11, new camptothecin derivative, in small cell lung cancer (SCLC). Twenty-Seventh Annual Meeting American Society of Clinical Oncology (Houston), 1991.
- 6) Takeda, Y., Nishio, K., Sugimoto, Y., Kasahara, K., Kubo, S., Fujiwara, T., Niitani, H. and Saijo, S.: [一般講演] A human myelogenous leukemia cell line resistant to 12-O-Tetra-decanoylphorbol 13-Acetate (TPA) shows non-p-glycoprotein mediated multidrug. 17th International Congress of Chemotherapy, 1991.
- 7) Ogawara, M., Kawahara, K., Furuse, K., Niitani, H. and for the WPG study group: [一般講演] Late phase II study of whole peptidoglycan (WPG) for malignant pleural effusions. 17th International Congress of Chemotherapy, 1991.
- 8) Kawahara, M., Furuse, K., Fukuoka, M., Sakuma, A. and Niitani, H.: [一般講演] Double masking study of ubenimex (Bestatin) on squamous cell lung cancer. 17th International Congress of Chemotherapy, 1991.
- 9) Ohe, Y., Sasaki, Y., Shinkai, T., Eguchi, K., Tamura, T., Kojima, A., Oshita, F., Miya, T., Okamoto, H., Fukuoka, M., Niitani, H., Taguchi, T. and Saijo, N.: [一般講演] Pharmacokinetics with a 5 day continuous infusion of a camptothecin derivative, CPT-11. 17th International Congress of Chemotherapy, 1991.
- 10) Morikawa, T., Kurane, S., Kobayashi, K., Nukariya, N., Hino, M. and Niitani, H.: [一般講演] Pilot study of multi-cyclic low dose combination chemotherapy for extensive small cell lung cancer (SCLC). 17th International Congress of Chemotherapy, 1991.

- 11) Yoshimura, A., Gemma, A., Yoshimori, K., Hayashihara, K., Shibuya, M., Kobayashi, K. and Niitani, H. : [一般講演] A phase I/II trial of cisplatin (CDDP) and carboplatin (CBDCA) in advanced non-small cell lung cancer (NSCLC). 17th International Congress of Chemotherapy, 1991.
- 12) Asamoto, H., Kimura, I., Niitani, H. and Sakuma, A. : [一般講演] A randomized comparative study of 254-S/vindesine (VDS) vs cisplatin (CDDP)/VDS for advanced non-small cell lung cancer (NSCLC). 17th International Congress of Chemotherapy, 1991.
- 13) Gemma, A., Yoshimura, A., Kobayashi, K., Taniguchi, Y., Yoshimori, K., Shibuya, M. and Niitani, H. : [一般講演] Phase I/II study of combination chemotherapy of CDDP and CBDCA in patients with non small cell lung cancer. The 6th World Congress for Lung Cancer, 1991.
- 14) Gemma, A., Hisakatsu, S., Taniguchi, Y., Wasai, S. and Niitani, H. : [一般講演] P-glycoprotein expression in treated and untreated human lung cancer. The 6th World Congress for Lung Cancer, 1991.
- 15) Kubota, K., Furuse, K. and Niitani, H. : [一般講演] A late phase II study of navelbine (Vinorelbine), a new vinca alkaloid derivative, in non small cell lung cancer. 6th World Conference on Lung Cancer, 1991.
- 16) Nakai, Y., Koinumaru, S., Saito, J., Fukuoka, M., Furuse, K., Kobayashi, K., Gemma, A., Niitani, H., Ogawa, N., Kimura, K., Nishiwaki, Y. and Ota, M. : [一般講演] Chemotherapy versus chemo-BRM therapy in adenocarcinoma of the lung ; In relation to quality of life. 6th World Conference on Lung Cancer, 1991.
- 17) Asakawa, M., Fujita, A., Fukuoka, M., Niitani, H. and Taguchi, T. : [一般講演] Phase II study of CPT-11 new camptothecin derivative, in previously untreated non-small cell lung cancer (NSCLC). 6th World Conference on Lung Cancer, 1991.
- 18) Kobayashi, K., Kurane, S., Morikawa, T., Nukariya, N., Hino, M. and Niitani, H. : [一般講演] Pilot study of multicyclic combination chemotherapy (MCCCT) for extensive small cell lung cancer (SCLC). 6th World Conference on Lung Cancer, 1991.
- 19) Kobayashi, K., Yoshimori, K., Nukariya, N., Nomura, K., Murata, A., Hayashibara, K., Hisakatsu, S., Takasaki, S., Sudo, Y. and Niitani, H. : [一般講演] QOL and nutrition. 6th World Conference on Lung Cancer, 1991.
- 20) 久勝章司, 弦間昭彦, 谷口泰之, 仁井谷久暢 : [一般講演] 原発性肺癌化学療法施行例における多剤耐性遺伝子産物 (P-glycoprotein) の発現. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.
- 21) 吉森浩三, 吉村明修, 林原賢治, 谷口泰之, 渋谷昌彦, 小林国彦, 仁井谷久暢, 野村浩一郎, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (¹⁾慈山会研究所付属坪井病院) : [一般講演] 原発性非小細胞肺癌患者に対する cisplatin, carboplatin 併用療法の臨床第1/2相試験. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.
- 22) 松井祐佐公¹⁾, 重松三知夫¹⁾, 泉 孝英¹⁾, 仁井谷久暢(¹⁾京都大学胸部疾患研究所第2内科, BOF-A2後期第2相試験肺癌部会) : [一般講演] 肺癌患者に対する BOF-A2経口投与による血中, 正常肺癌組織内5-FU濃度の検討. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.
- 23) 忽滑谷直孝, 小林国彦, 野村浩一郎, 高橋卓夫, 中広一善, 林原賢治, 吉森浩三, 仁井谷久暢 : [一般講演] QOL 評価の一部としての栄養指標. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.
- 24) 弦間昭彦, 久勝章司, 谷口泰之, 中広一善, Ghazizadeh, M.¹⁾, 仁井谷久暢 (¹⁾中央電子顕微鏡研究施設) : [一般講演] N-Solaneyl-N, N'-bis (3,4-dimethoxybenzyl) ethlenediamine (malate)-N-1379-肺癌培養細胞内膜系に及ぼす影響. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.
- 25) 林原賢治, 小林国彦, 武本俊彦, 中広一善, 和才さつき, 日野光紀, 仁井谷久暢 : [一般講演] SN38 (CDT-11代謝産物) と他抗癌剤併用の in vitro での検討. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.
- 26) 山田浩一, 竹中 圭, 安藤真弘, 弦間昭彦, 長谷川浩一, 坪井栄孝, 倉根修二, 小林国彦, 忽滑谷直孝, 森川哲行, 吉村明修, 仁井谷久暢 : [一般講演] 肺小細胞癌に対する化学療法 ; ADM, VCR, ACNU 併用療法と,

THP-ADM, VCR, ACNU 併用療法の検討. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.

- 27) 竹中 圭, 山田浩一, 安藤真弘, 野村浩一郎, 池田徳彦¹⁾, 成田久仁夫¹⁾, 渡辺秀一¹⁾, 立花正徳¹⁾, 長谷川浩一¹⁾, 岩波 洋, 左近司光明¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 仁井谷久暢¹⁾(慈山会医学研究所付属坪井病院): [一般講演] 肺癌切除後の一側副腎転移切除 2 症例の検討. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.
- 28) 植松和嗣, 松本武敏¹⁾, 金子篤志¹⁾, 滝口裕一¹⁾, 北條史彦¹⁾, 林辺 晃¹⁾, 児玉哲郎¹⁾, 西脇 裕¹⁾, 阿部 薫¹⁾(国立療養所松戸病院): [一般講演] 非小細胞肺癌に対する化学療法の効果の検討. 第32回日本肺癌学会総会, 1991.
- 29) 植松和嗣, 松本武敏¹⁾, 金子篤志¹⁾, 滝口裕一¹⁾, 北條史彦¹⁾, 林辺 晃¹⁾, 児玉哲郎¹⁾, 西脇 裕¹⁾, 阿部 薫¹⁾(国立療養所松戸病院): [一般講演] 非小細胞肺癌の脳転移に対する多剤併用化学療法の効果の検討. 第101回日本肺癌学会関東支部会, 1991.
- 30) Kobayashi, K. and Niitani, H.: [一般講演] Combination of cisplatin and carboplatin in vitro and in clinical practice. 7th Nagoya International Symposium on Cancertreatment, 1991.
- 31) 吉村明修, 浅川三男¹⁾, 中井裕之²⁾, 酒井秀造³⁾, 古瀬清行⁴⁾, 福岡正博⁵⁾, 大田満夫⁶⁾, 西脇 裕⁷⁾, 小川暢也⁸⁾(¹⁾札幌医大第3内科, ²⁾東北大抗酸研内科, ³⁾名古屋第1日赤, ⁴⁾国療近畿中央病院内科, ⁵⁾府中羽曳野病院第2内科, ⁶⁾国立九州がんセンター呼吸器科, ⁷⁾国療松戸病院内科, ⁸⁾愛媛大学薬理学): [シンポジウム] BRM による癌治療と QOL 肺腺癌に対する PSK 併用化学療法と QOL. 第4回 JBRM 学会学術集会総会, 1991.
- 32) 吉森浩三, 倉根修二, 吉村明修, 吾妻安良太, 山野義光, 大塚麻理子, 渋谷昌彦, 青山昭徳, 仁井谷久暢: [一般講演] LAK 細胞誘導における bropirimine(ABPP)の影響について. 第4回 JBRM 学会学術集会総会, 1991.
- 33) 橋元恭士, 久勝章司, 吾妻安良太, 吉森浩三, 仁井谷久暢, 安田和弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾(救命救急センター): [一般講演] 右肺門リンパ節腫脹が疑われ血管造影にて気管支動脈の著明な拡張蛇行を気管支動脈, 肺動脈吻合を認めた 1 例. 第94回日本胸部疾患学会関東地方会, 1991.
- 34) 榎本達治, 忽滑谷直孝, 谷口泰之, 中広一善, 森川哲行, 仁井谷久暢, 福田 悠¹⁾, 倉井 亮²⁾(¹⁾付属病院病理部, ²⁾倉井内科医院): [一般講演] 興味ある経過をたどった肺結核の 1 例. 第95回日本胸部疾患学会関東地方会, 1991.
- 35) 小久保豊, 山野義光, 吉森浩三, 谷口泰之, 忽滑谷直孝, 久勝章司, 林原賢治, 森川哲行, 中広一善, 小野 靖, 仁井谷久暢: [一般講演] 肺胞微石症の 1 例. 第96回日本胸部疾患学会関東地方会, 1991.
- 36) 吉村明修, 弦間昭彦, 吉森浩三, 林原賢治, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢, 小泉 潔¹⁾, 五味潤誠¹⁾, 塩田昌彦¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 片山信仁²⁾, 本多一義²⁾, 恵畑欣一²⁾, 川本雅司³⁾, 山中宣昭³⁾, 野村浩一郎, 長谷川浩一⁴⁾, 岩波 洋⁴⁾, 坪井栄孝⁴⁾(¹⁾胸部外科, ²⁾放射線科, ³⁾病理第1, ⁴⁾慈山会医学研究所付属坪井病院): [一般講演] 非小細胞肺癌に対する術前化学療法の検討. 第31回日本胸部疾患学会総会, 1991.
- 37) 森川哲行, 酒井茂利, 渋谷昌彦, 忽滑谷直孝, 飯塚和弘, 馬場 誠, 大塚麻理子, 青山昭徳, 仁井谷久暢: [一般講演] 肺癌細胞の接着, 浸潤能と抗癌剤の影響. 第31回日本胸部疾患学会総会, 1991.
- 38) 林原賢治, 小林国彦, 武本俊彦, 中広一善, 和才さつき, 日野光紀, 仁井谷久暢: [一般講演] SN-38 (CPT-11 代謝産物) と CDDP, etoposide 併用の invitro での検討. 第31回日本胸部疾患学会総会, 1991.
- 39) 谷口泰之, 弦間昭彦, 久勝章司, 和才さつき, 仁井谷久暢: [一般講演] 原発性肺癌集中化学療法施行例における多剤耐性遺伝子産物 (P-Glycoprotein) の発見. 第31回日本胸部疾患学会総会, 1991.
- 40) 富山元次郎, 小林国彦: [一般講演] 血清蛋白の立場からみたフルクトサミンに関する研究. 第33回日本糖尿病学会総会, 1991.
- 41) 富山元次郎, 小林国彦: [一般講演] 高齢者糖尿病と glycation; とくに血清フルクトサミン値に及ぼす血清蛋白変動と血清コリンエステラーゼ異常の影響. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
- 42) 富山元次郎, 小林国彦: [一般講演] 糖尿病と glycation; 血清フルクトサミン値に及ぼす血清蛋白変動と血清コリンエステラーゼの影響. 第38回日本臨床病理学会総会, 1991.

- 43) 冨山元次郎, 小林国彦: [一般講演] 蛋白と glycation; 第2報 血清フルクトサミン値に及ぼす血清蛋白変動と血清コレステラーゼの影響. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 44) 小野 靖, 村田 朗, 忽滑谷直孝, 臼杵二郎, 仁井谷久暢: [一般講演] 気胸を併発した肺リンパ管節腫症の1例. 気胸研究会, 1991.
- 45) 吉森浩三, 倉根修二, 吉村明修, 吾妻安良太, 山野義光, 大塚麻理子, 渋谷昌彦, 青山昭徳, 仁井田久暢: [一般講演] Bropirimin (ABPP) の LAK 細胞誘導に及ぼす影響について. 第19回日本臨床免疫学会総会, 1991.
- 46) 吉村明修, 弦間昭彦, 吉森浩三, 林原賢治, 渋谷昌彦, 小林国彦, 仁井谷久暢, 野村浩一郎, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾ (慈恵会医学研究所付属坪井病院): [一般講演] 原発性非小細胞肺癌に対する cisplatin, carboplatin 併用療法の臨床第 I/II 相試験. 第39回日本化学療法学会総会, 1991.
- 47) 谷口泰之, 吉森浩三, 飯塚和弘, 弦間昭彦, 山野義光, 村田 朗, 忽滑谷直孝, 林原賢治, 森川哲郎, 中広一善, 仁井谷久暢: [一般講演] 高齢者の気管支鏡における pulse-oxygenometer の有用性. 第14回日本気管支学会, 1991.
- 48) 山野義光, 小久保豊, 安藤真弘, 小野 靖, 吉森浩三, 弦間昭彦, 吾妻安良太, 小林国彦, 久勝章司, 吉村明修, 飯塚和弘, 仁井谷久暢, THAN WIN, 浅野伍朗¹⁾ (病理第2): [展示] Ewing 肉腫による endobronchial metastasis の1例と endobronchial metastasis 症例の検討. 第14回日本気管支学会, 1991.
- 49) 吉森浩三, 小林国彦, 野村浩一郎, 若沢定子, 高橋卓夫, 忽滑谷直孝, 林原賢治, 仁井谷久暢: [展示] 担癌症例における栄養と QOL. 第88回日本内科学会総会, 1991.
- 50) 酒井茂利, 飯塚和弘, 林原賢治, 谷口泰之, 青山昭徳, 仁井谷久暢, 坪井栄孝: [展示] CDDP の腎機能に及ぼす影響と STS 併用の意義. 第88回日本内科学会総会, 1991.
- 51) 冨山元次郎, 小林国彦: [展示] 糖尿病と glycation; フルクトサミンに及ぼす血清蛋白変動の影響. 第88回日本内科学会総会, 1991.
- 52) 森川哲行, 酒井茂利, 飯塚和弘, 渋谷昌彦, 忽滑谷直孝, 大塚麻理子, 青山昭徳, 仁井谷久暢: [展示] 肺癌細胞の接着と浸潤能に及ぼす抗癌剤の影響について. 第50回日本癌学会, 1991.
- 53) 吾妻安良太, 日比野俊, 八木田秀雄¹⁾, 奥村 康¹⁾, 仁井谷久暢 (順天堂大・医・免疫): [展示] IFN γ による肺癌細胞株における細胞間接着分子の発現と bispecific 抗体による LAK 細胞の細胞障害活性増強効果. 第50回日本癌学会, 1991.
- 54) 山野義光, 吉村明修, 倉根修二, 吉森浩三, 吾妻安良太, 青山昭徳, 大塚麻理子, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢: [展示] 担癌マウスにおける adoptive immunotherapy (AIT) と抗癌剤の併用に関する検討. 第50回日本癌学会, 1991.
- 55) 倉根修二, 吉村明修, 吉森浩三, 吾妻安良太, 山野義光, 大塚麻理子, 青山昭徳, 仁井谷久暢: [展示] マウス腫瘍に対する anti-CD3 monoclonal antibody (mab) と cyclophosphamide (CPA) 併用効果の検討. 第50回日本癌学会, 1991.
- 56) 竹田雄一郎, 西尾和人¹⁾, 杉本芳一¹⁾, 久保幸代¹⁾, 藤原康弘¹⁾, 仁井谷久暢, 西條長宏¹⁾ (国立がんセ・研・薬効試験部): [展示] Nan-P-glycoprotein mediated multidrug resistance (non-PGPMDR) を示す 12-O-tetradecanoylphorbol β -acetate (TPA) 耐性ヒト骨髓球性白血病細胞株の樹立. 第50回日本癌学会, 1991.
- 57) 小林国彦, 武本俊彦, 日野光紀, 林原賢治, 中広一善, 和才さつき: [展示] MTT-assay における AUC 依存性薬剤 (CDDP, CBDCA, ADR, MMC) の薬剤接触条件および追加培養の必要性について. 第50回日本癌学会, 1991.
- 58) 野村佳代¹⁾, 大野洋栄¹⁾, 岡部正実¹⁾, 五味克成¹⁾, 小林国彦, 仁井谷久暢 (協和発酵・医薬研): [展示] KW-2307 (navelbine) の研究 (IV) ヒト肺腺癌 PV-12細胞に対する cisplatin (CDDP) との併用効果の解析. 第50回日本癌学会, 1991.
- 59) 東京がん化学療法研究会肺癌グループ, 長尾啓一¹⁾, 栗山喬之¹⁾, 仁井谷久暢, 古江 尚²⁾他¹⁾ (千葉大学医学部附属肺癌研究施設, ²⁾帝京大学内科): [展示] 抗悪性腫瘍剤の悪心, 嘔吐に対する granisetron の methylpred-

nisolone を対照とした crossover 比較試験. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.

- 60) 倉根修二, 吾妻安良太, 吉村明修, 吉森浩三, 山野義光, 大塚麻理子, 仁井谷久暢: [展示] 抗癌剤による腫瘍細胞表面 ICAM-I 分子発現の増強とし, LAK 細胞に対する感受性の変化について. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 61) 吉森浩三, 倉根修二, 吉村明修, 吾妻安良太, 山野義光, 大塚麻理子, 渋谷昌彦, 青山昭徳, 仁井谷久暢: [展示] LAK 細胞誘導における bropirimine (ABPP) の影響について. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 62) 武本俊彦, 小林国彦, 日野光紀, 林原賢治, 中広一善, 和才さつき, 仁井谷久暢: [展示] MTT assay を用いた薬剤評価における追加培養の意義について. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 63) 杉本裕之¹⁾, 竹中 圭, 野村浩一郎, 山田浩一, 安藤真弘, 渡辺秀一¹⁾, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 仁井谷久暢⁽¹⁾ 慈山会医学研究所附属坪井病院): [展示] 進行, 再発胃癌に対する MMC+5FU 持続大量投与法の検討 (第1報). 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 64) 久勝章司, 弦間昭彦, 谷口泰之, 和才さつき, 中広一善, Ghazizadeh, M.¹⁾, 仁井谷久暢 (¹⁾中央電子顕微鏡研究施設): [展示] N-solaneyl-N, N'-bis (3,4-dimethoxybenzyl) ethylenediamine (malate): N-1379の肺癌培養細胞内膜系に及ぼす影響. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 65) 小林国彦, 仁井谷久暢, 田口鐵男¹⁾, 涌井 昭²⁾, 馬島 尚³⁾, 中尾 功⁴⁾, 古江 尚⁵⁾, 大田和雄⁶⁾, 有吉 寛⁷⁾, 服部孝雄⁸⁾, 杉町圭蔵⁹⁾, 塚越 茂¹⁰⁾, TUT-7研究会 (¹⁾大阪大微研, ²⁾東北大抗酸研, ³⁾千葉県がんセンター, ⁴⁾癌研病院, ⁵⁾帝京大溝口, ⁶⁾名古屋記念病院, ⁷⁾愛知県がんセンター, ⁸⁾広島大原医研, ⁹⁾九大, ¹⁰⁾癌研化療センター): [展示] 新規アンスラサイクリン系抗癌抗生物質 TUT-7の臨床第 I 相試験. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 66) 谷口泰之, 吉村明修, 弦間昭彦, 吉森浩三, 林原賢治, 渋谷昌彦, 小林国彦, 野村浩一郎, 長谷川浩一¹⁾, 坪井栄孝¹⁾, 仁井谷久暢 (¹⁾慈山会医学研究所附属坪井病院): [展示] 原発性非小細胞肺癌に対する cisplatin, carboplatin 併用療法の臨床第 I 相試験. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 67) 林原賢治, 小林国彦, 武本俊彦, 中広一善, 和才さつき, 日野光紀, 仁井谷久暢: [展示] SN38 (CPT-11代謝産物) と他抗癌剤併用の in vitro での検討. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 68) 松井祐佐公¹⁾, 泉 孝英¹⁾, 仁井谷久暢 (¹⁾京都大学胸部疾患研究所第2内科): [展示] 肺癌患者に対する BOF-A2 経口投与による血中並びに正常肺及び肺癌組織内5-FU 濃度の検討. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.

9. 外科学第一講座

[付属病院第1外科]

研究概要

教室では、消化器外科学を中心に以下に示すテーマに基づいて基礎的ならびに臨床的研究を進めている。

1) 腹膜炎、イレウスを中心とする急性腹症の病態、特に細菌性ショック発来機構の解明ならびにイレウスの新しい診断法の確立をめざし、恩田教授の指導のもと森山助教授、古川講師、京野講師らにより研究がすすめられ、この方面において学会の指導的役割を担っている。外科的感染症における細菌性因子の役割については、無菌生物を用い、基礎的研究が進められ臨床への応用が計られている。また、高圧酸素療法についても基礎的ならびに臨床的研究が進められている。

2) 胆石症における胆石生成および胆道感染症の研究は、教室の伝統的テーマで広く研究がすすめられている。また、新しい胆嚢摘出手術法である腹腔鏡下胆嚢摘出術も導入され、田尻助教授、有馬医員らによって臨床的研究が進められている。

3) 消化器疾患に対する新しい診断法の開発並びに消化器癌に対する集学的治療法の確立をめざして基礎的および臨床的研究が進んでいる。食道—山下助教授、笹島講師、胃—山下助教授、徳永講師、松倉講師、大腸—田中助教授、古川講師、横井医員、肝・胆道・膵—恩田教授、田尻助教授、金講師、内田医員、岡崎医員らにより外科的治療を中心として治療成績向上の努力がなされ、その成果は内外の学会、専門誌に報告され注目されている。

4) 乳癌専門外科を古川講師、樋口医員が担当し乳癌の臨床的研究が進んでいる。

5) 門脈圧亢進症に起因する食道静脈瘤に対する新しい治療法を、放射線科と共同研究で開発し、病態に応じた治療法の選択により良好な成績を得ている。山下助教授、田尻助教授らにより国際学会等に報告され内外の高い評価を得ている。

6) 虚血性腸管病変の研究が恩田教授、森山助教授、中島講師を中心として展開され、外国からの留学生が研究に参加している。

7) 小児外科領域。江上助教授を中心として研究が進んでいる。

8) 肝臓移植に関する基礎実験が進められている。

これらの各テーマに若手医局員が配属され、熱心に研究が行われており、若手医局員による学会発表も積極的に行われている。

なお、海外留学は常時2～3人を数え、最近では米国国立癌研究所およびカリフォルニア大学との共同研究が進められている。また、国立がんセンター研究所へ常時2～3人が国内留学し、大きな成果を上げている。

研究業績

論文

- 1) 小林 匡, 恩田昌彦, 内田英二, 山中洋一郎, 相本隆幸, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格, 浅野伍朗¹⁾, 馬杉洋三²⁾ (1)病理第2): [原著] ファーター乳頭部腫瘍における carcinoembryonic antigen および癌関連糖鎖抗原の免疫組織化学的検討; 特に癌と腺腫との比較. 日消外会誌, 24, 1947~1953, 1991.
- 2) 吉田 寛: [原著] 門脈圧亢進症における脾静脈血行動態の検討. 日消誌, 88, 2763~2770, 1991.
- 3) 梅森眞理, 恩田昌彦, 田尻 孝, 笹島耕二, 高野照夫¹⁾ (1)ICU): [原著] 動静脈圧差を利用した血漿交換, 血漿灌流法. 日本臨床, 1991年増刊(通巻631号), 618~624, 1991.
- 4) 内田英二, 恩田昌彦, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆行, 横山 正, 田尻 孝, 江上 格: [原著] 膵癌の myc, c-erbB-2 遺伝子産物の発現と悪性度. 胆と膵, 13, 269~273, 1992.

- 5) 吉田 寛, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 岡崎滋樹, 梅原松臣, 真々田裕宏, 谷合信彦, 西久保秀紀, 寺本 忠, 田島廣之¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾ (放射線科): [臨床報告] 選択的ウロキナーゼ動注療法が有効であった急性上腸間膜動脈閉塞症の1例. 日消外会誌, 24, 2466~2470, 1991.
- 6) 小林 匡, 恩田昌彦, 内田英二, 藤田逸郎, 横山滋彦, 相本隆幸, 山中洋一郎, 沖浜祐司, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格: [臨床報告] 数種ホルモンの産生を認めたグルカゴノーマの1例. 胆と膵, 12, 1419~1423, 1991.
- 7) 梅原松臣, 田尻 孝, 恩田昌彦: [原著] 血行動態からみた食道静脈瘤の病態と治療. 肝臓, 32, 347~349, 1991.
- 8) 真々田裕宏, 隈崎達夫¹⁾, 田島廣之¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 保坂純郎¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 恩田昌彦, 田尻 孝, 江上 格, 金 徳栄, 吉田 寛, 西久保秀紀, 谷合信彦, 辺見 弘²⁾, 大塚敏文²⁾ (放射線科, 救急医学): [原著] 肝脾外傷に対する経カテーテル的動脈塞栓術の応用. 腹部救急診療の進歩, 11, 339~342, 1991.
- 9) 大矢 徹¹⁾, 高木 亮¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 田島廣之¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 真々田裕宏, 吉田 寛, 田尻 孝, 恩田昌彦 (放射線科): [原著] 遠位脾腎静脈吻合術後狭窄に対するPTA. 臨放, 36, 441~444, 1991.
- 10) Yamanaka, Y.: [原著] The immunohistochemical expression of epidermal growth factor, epidermal growth factor receptor, and c-erb-2 oncoprotein in human pancreatic cancer. J. Nippon Med. Sch., 59, 51~61, 1992.
- 11) 水谷 崇, 恩田昌彦, 徳永 昭, 奥田武志, 牧野浩司, 木山輝郎, 西 恵吾, 安東俊明, 足立幹夫, 松倉則夫, 古川清憲, 田中宣威, 山下精彦, 野村武夫¹⁾ (内科第3): [原著] 真性赤血球増加症を合併した消化器手術3例の検討. 日消外会誌, 24, 2832~2836, 1991.
- 12) 水谷 崇, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 木山輝郎, 清水康仁, 吉行俊郎, 西 恵吾, 松倉則夫, 笹島耕二, 田中宣威, 山下精彦, 山中宣昭¹⁾ (病理第1): [原著] ヒト胃癌およびヌードマウス可移植性胃癌におけるEGFR (epidermal growth factor receptor) の意義: 他臓器癌との対比. 消化器癌の発現と進展, 3, 49~52, 1991.
- 13) Matsuda, T., Eccleston, C.A.¹⁾, Rubinstein, I.¹⁾, Rennard, S.I.¹⁾ and Joyner, W.L.¹⁾ (University of Nebraska Medical Center): [原著] Antioxidants attenuate endotoxin-induced microvascular leakage of macromolecules in vivo. J. Appl. Physiol., 70, 1483~1489, 1991.
- 14) Matsuda, T., Rubinstein, I.¹⁾, Robbins, R.A.¹⁾, Koyama, S.¹⁾, Joyner, W.L.¹⁾ and Rennard, S.I.¹⁾ (University of Nebraska Medical Center): [原著] Role of neutrophils in endotoxin-mediated microvascular injury in hamsters. J. Appl. Physiol., 71, 307~313, 1991.
- 15) Matsuda, T., Joyner, W.L.¹⁾, Eccleston, C.A.¹⁾, Rubinstein, I.¹⁾ and Rennard, S.I.¹⁾ (University of Nebraska Medical Center): [原著] Morphological study of bovine lung grafted into the hamster cheek pouch. Experimental Lung Research, 18, 145~154, 1992.
- 16) 松田 健, 羽尾邦彦¹⁾, 宮下正夫, 鈴木英之, 内藤善哉²⁾, 恩田昌彦 (国立横須賀病院外科, 同病理): [症例報告] 回盲部腫瘤様病変の検討: 最近経験した4手術例を中心として. 神奈川医会誌, 18, 213~221, 1991.
- 17) 松田 健, 羽尾邦彦¹⁾, 宮下正夫, 鈴木英之, 森山雄吉, 恩田昌彦 (国立横須賀病院外科): [症例報告] 消化管異物の検討: 最近経験した4手術治験例を中心として. 腹部救急診療の進歩, 11, 979~982, 1991.
- 18) 斎藤忠生: [原著] 細菌性腹膜炎の病態におけるエンドトキシンの役割: エンドトキシン刺激による多核白血球の活性酸素産生を中心として. 日医大誌, 58, 630~639, 1991.
- 19) 増森興治¹⁾, 吉岡正智²⁾, 田中洋介¹⁾, 内田英二¹⁾, 樋口勝美¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 恩田昌彦 (多摩永山病院外科, 同病理): [症例報告] 食道に発生した巨大な脂肪肉腫の1例. 日外会誌, 7, 885~888, 1991.
- 20) 横井公良, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 徳永 昭, 古川清憲, 田代真一, 瀬谷知子, 横山滋彦: [原著] 大腸癌による急性腹症: 特に大腸癌イレウスについて (特集: 悪性腫瘍と腹部救急の疾患: 術式の選択と根治性). 腹救診, 11, 501~507, 1991.

- 21) Makino, H., Ochiai, M., Caignard, A., Ishizaka, Y., Onda, M., Sugimura, T. and Nagao, M.: [原著] Detection of a Ha-ras point mutation by polymerase chain reaction-single strand conformation polymorphism analysis in 2-amino-3,4-dimethylimidazo [4,5] quinoline-induced mouse forestomach tumors. *Cancer Letters*, 62, 115~121, 1991.
- 22) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 松倉則夫, 田中宣威, 山下精彦, 浅野伍朗¹⁾(¹病理第2): [原著]胃癌の増殖とCEA, I. 胃癌患者の血清CEA値とヌードマウス可移植性, II. ヌードマウス移植腫瘍の増殖と血清および組織CEA値の変動. *消化器癌の発生進展*, 3, 403~408, 1991.
- 23) 丸山 弘, 恩田昌彦, 古川清憲, 山下精彦, 田中宣威, 田尻 孝, 徳永 昭, 横井公良, 足立幹夫, 鳥羽昌二, 橋本正好, 宮本昌之: [症例報告]術後突然ショックを来したMRSA感染症の1例. *腹部救急診療の進歩*, 10, 679~681, 1990.
- 24) 内田英二, 恩田昌彦, カーン・ハヤト, 横山 正, 小林 匡, 水谷 崇, 山中洋一郎, 相本隆幸, 田代真一, 松倉則夫, 中島米治部, 笹島耕二, 山下精彦: [症例報告]嘔出状出血により大量吐血をきたした胃癌の1例. *Gastroenterol Endoscop*, 33, 2420~2424, 1991.
- 25) 内田英二, 恩田昌彦, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆幸, 田中宣威: [原著]ハムスター大腸発癌に及ぼす女性ホルモンの影響. *消化器癌の発生と進展*, 3, 429~432, 1991.
- 26) 木山輝郎: [原著]ヌードマウス可移植性ヒト胃癌の増殖と血清および組織carcinoembryonic antigenの変動. *日外会誌*, 92, 1436~1443, 1991.
- 27) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 奥田武志, 水谷 崇, 西 恵吾, 鳥羽昌仁, 京野昭二, 松倉則夫, 山下精彦, 野村武夫¹⁾, 浅野伍朗²⁾(¹内科第3, ²病理第2): [症例報告]超音波内視鏡で胃平滑筋芽腫が疑われた1例. *日消外会誌*, 25, 107~111, 1992.
- 28) 恩田昌彦, 森山雄吉, 中島米治郎, 陳 大志, 林久太佳, 京野昭二: [原著]阻血が腸管癒着発生に及ぼす影響について; 走査電子顕微鏡所見よりの考察. *外科治療*, 65, 588~589, 1991.
- 29) 山中洋一郎, 恩田昌彦, 江上 格, 松倉則夫, 岡崎滋樹, 中尾 充, 相本隆幸, 渡辺 仁, 内田英二, 小林 匡, 吉田 寛, 真々田裕宏, 笹島耕二, 山下精彦, 白井康正¹⁾, 浅野伍朗²⁾(¹整形外科, ²病理第2): [症例報告]集学的治療が有効であった後腹膜malignant hemangiopericytomaの1例. *日消外会誌*, 24, 2819~2823, 1991.
- 30) 恩田昌彦, 山中洋一郎: [総説]増殖因子(EGFとEGFR); ヒト膵臓癌におけるEGFとEGFR; 肝胆膵領域癌の生物学的悪性度—基礎と臨床—. *肝胆膵*, 23, 758~764, 1991.
- 31) 谷合信彦, 恩田昌彦, 江上 格, 中尾 充, 金 雅辰, 務川 靖: [症例報告]Hirschsprung病合併Waardenburg症候群の1例. *日小児外会誌*, 27, 1008~1012, 1991.
- 32) 小林 匡, 恩田昌彦, 田中宣威, 笹島耕二, 徳永 昭, 木内博之, 伊藤誠二, 松倉則夫, 内田英二, 山中洋一郎, 中村 孝, 相本隆幸: [症例報告]大腸腺腫症術後に発見された十二指腸乳頭部癌と胆嚢腺腫の1例. *日本大腸肛門病会誌*, 44, 513~517, 1991.
- 33) 徳永 昭, 恩田昌彦, Hunt, T.K., Spencer, E.M.: [原著]創傷治癒と成長因子; 血小板におけるinsulin-like growth factor (IGF)結合蛋白(BP)の同定. *Progress Medicine*, 11, 3172~3173, 1991.
- 34) Stoner, G.D.¹⁾, Kaighn, M.E.¹⁾, Reddel, R.R.¹⁾, Resau, J.H.¹⁾, Bowman, D.¹⁾, Naito, Z, Matsukura, N., You, M.¹⁾, Galati, A.J.¹⁾ and Harris, C.C.¹⁾(¹NIH): [著書]Establishment and characterization of SV 40 T-antigen immortalized human esophageal epithelial cells. *Cancer Res.*, 51, 365~371, 1991.
- 35) Iida, S., Yoshida, T.¹⁾, Naito, K.²⁾, Sakamoto, H.¹⁾, Katoh, O.¹⁾, Hirohashi, S.³⁾, Sato, T.⁴⁾, Onda, M., Sugimura, T.¹⁾ and Terada, M.¹⁾(¹Genetics Div., Natl. Cancer Cent. Res Inst., ²Biol. Res. Lab., Res. and Develop. Div., Takeda Chem. Indus. Ltd., ³Pathol. Div., Natl. Cancer Cent. Res. Inst., ⁴Dept. Pediatrics, Sch. Med., Chiba Univ.): [原著] Human *hst-2* (FGF-6) oncogene; cDNA cloning and characterization.

Oncogene, 7, 303~309, 1992.

- 36) 松山郁生, 土屋眞一, 丸山雄造, 小黒辰夫:〔原著〕アルカリホスファターゼ標識抗体法におけるクエン酸鉛発色の検討;光顕および免疫電顕への応用. 病理と臨床, 9, 1498~1502, 1991.
- 37) 土屋眞一:〔原著〕両側乳癌の原発および転移性に関する組織学的検討. 乳癌の臨床, 6, 512~514, 1991.
- 38) 土屋眞一, 松山郁生, 宮島直博, 丸山雄造, 小池縷男, 寺井直樹:〔原著〕種々のポリペプチドホルモンおよびアミンを産生した乳腺カルチノイド腫瘍の1例. 乳癌の臨床, 6, 571~580, 1991.
- 39) 山川達郎, 石川泰郎, 酒井 滋, 賀古 真, 永井孝三:〔原著〕腹腔鏡下胆嚢摘出術. 腹部救急診療の進歩, 11, 37~42, 1991.
- 40) 石川泰郎, 酒井 滋, 山川達郎, 阿部宏之, 賀古 真, 永井孝三:〔原著〕腹腔鏡下胆嚢摘出術;本邦第1例を含む5例の経験. 日臨外会誌, 52, 859~864, 1991.
- 41) Yamakawa, T., Tan, D., Ishikawa, Y. and Sakai, S.:〔原著〕Experience with laparoscopic cholecystectomy. Dig Endosc., 3, 350~355, 1991.
- 42) 山川達郎, 酒井 滋:〔原著〕腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応と限界. 医学のあゆみ, 156, 724, 1991.
- 43) 本田 拓, 山川達郎, 小林俊介, 大滝修司, 福田直人:〔原著〕外科領域感染症に対する cefpirome の有用性. Chemotherapy, 39, 598~603, 1991.
- 44) 福田直人, 石山純司, 天野 仁, 石川泰郎, 山川達郎:〔原著〕巨大海綿状血管腫の3手術例. 日臨外会誌, 52, 1587~1591, 1991.
- 45) 山川達郎, 石川泰郎, 謝 宗安:〔総説〕腹腔鏡下胆嚢摘出術の周術期管理(特集:内視鏡下外科手術). 臨外, 46, 975~980, 1991.
- 46) 本田 拓, 山川達郎, 平井 淳, 永井哲志, 和田ゆう:〔原著〕肝内結石症の予後不良例とその対策. 胆道, 5, 422~430, 1991.
- 47) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎:〔原著〕腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応と限界. 日消外会誌, 24, 2635~2639, 1991.
- 48) 山川達郎:〔総説〕内視鏡的切石法;経肝的切石法(特集:胆石症の非手術的治療;現況と問題点). 臨外, 46, 1221~1227, 1991.
- 49) 福田直人, 石山純司, 天野 仁, 望月康久, 本田 拓, 石川泰郎, 小林俊介, 山川達郎:〔原著〕腹腔内出血を契機に見えられた meckel 憩室原発平滑筋肉腫の1例. 日消外会誌, 24, 2787~2790, 1991.
- 50) 永井哲志, 輦止勝麿, 山川達郎, 近藤芳夫:〔原著〕総胆管空腸吻合ならびに総胆管大腸吻合後における総胆管上皮の変化についての実験的研究. 帝京医誌, 14, 463~470, 1991.
- 51) 加納宣康, 山川達郎:〔原著〕腹腔鏡下胆嚢摘出術;外科からみた適応. Med. Pract., 8, 1951~1953, 1991.
- 52) 山川達郎, 本田 拓:〔総説〕胆道癌の画像診断(特集:胆嚢・胆管癌の診断と治療の進歩). 癌と化学療法, 18, 1258~1263, 1991.
- 53) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎:〔総説〕腹腔鏡を用いた消化器疾患の治療(今月の課題:消化器疾患の内視鏡治療). 治療, 73, 1353~1359, 1991.
- 54) 山川達郎, 永井孝三:〔総説〕経十二指腸的減黄術の手技と適応(特集:外科と黄疸). 外科診療, 33, 685~691, 1991.
- 55) 山川達郎, 石川泰郎:〔総説〕合併症とその処置(特集:腹腔鏡下胆嚢摘出術). 外科診療, 33, 1005~1012, 1991.
- 56) 山川達郎, 三芳 端:〔総説〕胆道鏡下結石摘出術(特集:胆石の非観血的治療). 臨消内科, 6, 1617~1624, 1991.
- 57) 江上 格:〔総説〕小児下血の実地臨床における判断と隘路. 金原出版, 32, 1195~2000, 1991.
- 58) 田尻 孝:〔総説〕脾機能亢進症に対する脾動脈塞栓療法. 肝臓病学の進歩, 18, 51~60, 1992.
- 59) 恩田昌彦, 森山雄吉:〔総説〕イレウスの手術. 手術, 45, 459~468, 1991.

- 60) 恩田昌彦, 森山雄吉: [総説] 癒着剝離術. 手術, 45, 593~598, 1991.
- 61) 恩田昌彦, 森山雄吉, 滝沢隆雄, 古川清憲, 京野昭二, 石川紀行: [総説] 消化器疾患とエンドトキシン, イレウス. 臨牀内科, 7, 89~96, 1992.
- 62) 恩田昌彦, 森山雄吉, 古川清憲, 京野昭二, 横山滋彦: [総説] イレウスの病態生理と治療方針. 消外, 14, 1621~1628, 1991.
- 63) 高岡雅子¹⁾, 矢嶋浩三²⁾, 大川共一 (1)中央手術室): [症例報告] ディスポーザブル不織布再生の可否について. 手術部医学, 12, 158~160, 1991.
- 64) 大川共一, 政次富美子¹⁾, 西山弘子²⁾ (1)多摩永山病院看護部): [総説] OR ナースの業務分析とスタッフの健康管理. Ope-Nursing, 6, 24~30, 1991.
- 65) 大川共一: [総説] (特集)院内感染対策委員会を組織するために. NURSE+I(臨時増刊), 1, 102~106, 1991.
- 66) 大川共一: [原著] ディスポーザブル不織布による手術部運営システムの再評価. 医科器械学, 61, 459~463, 1991.
- 67) 佐々部 一, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 江上 格, 徳永 昭, 中島米治郎, 松倉則夫, 横井良: [症例報告] 90歳胃癌穿孔の1例. 日救急医学会誌, 12, 104~105, 1991

著 書

- 1) 江上 格: [分担] 医師部門における接遇: インフォームド・コンセントの実践“患者接遇の理論と実際”(友安直子編). p. 35~54, 医学通信社, 1991.
- 2) 恩田昌彦, 内田英二: [分担] 小腸の外科“Annual review 消化器1992”. p. 299~303, 中外医学社, 1992.
- 3) 大川共一: [分担] 医工学治療機器マニュアル⑥手術, 救急, ICU手術室の環境整備. (大塚敏文他編集). p. 21~29, 金原出版, 1991.
- 4) 大川共一: [分担] 医学治療機器マニュアル⑥手術, 救急, ICU手術室における感染対策. (大塚敏文他編集). p. 48~58, 金原出版, 1991.
- 5) 森山雄吉: [分担] 鼓腸, 含気症, 巨大結腸症, 偽性腸閉塞「今日の治療方針」(日野原重明, 阿部正和監修). p. 406~408, 医学書院, 1992.
- 6) 恩田昌彦, 森山雄吉, 京野昭二: [分担] 外科疾患ケーススタディ59例のPO研修(戸部隆吉, 水戸迪郎, 高田敏之編集). 医学書院, p. 79~83, 1991.
- 7) 山川達郎: [分担] 経皮経肝胆道鏡(PTCS). “今日の消化器疾患治療指針”(多賀須幸男, 大菅俊明総編集). p. 100~102, 医学書院, 1991.
- 8) 山川達郎: [分担] 経皮経肝胆嚢鏡(PTCCS). “今日の消化器疾患治療指針”(多賀須幸男, 大菅俊明総編集). 医学書院, p. 102~103, 1991.
- 9) 山川達郎, 小林俊介: [分担] I. 消化管, II. 内視鏡治療. “Annual review, 消化器”(岡 博他編集). p. 55~59, 中外医学社, 1991.
- 10) 山川達郎: [分担] 20. 胆石症, b. 非膵血的治療. “消化器疾患最新の治療1991~1992, Biennial”(岡 博, 丹羽寛文, 戸部隆吉編集). p. 377~382, 南江堂, 1991
- 11) 山川達郎, 大滝修司: [分担] III. 肝内結石症の外科治療(I); 術中・術後内視鏡切石術. “胆石症, 最新の治療法”(大藤正雄監修). p. 193~201, 金原出版, 1991.
- 12) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎: [分担] New trend in treatment for cholelithiasis, 腹腔鏡下胆嚢摘出術. “胆石症, 最新の治療法”(大藤正雄監修). p. 277~283, 金原出版, 1991.

学会発表

- 1) 恩田昌彦: [会長講演] 急性腹症の診療上の問題点. 第16回日本腹部救急医学会総会. 1991.

- 2) 恩田昌彦：〔会長講演〕消化器疾患と高圧酸素療法。第26回日本高気圧環境医学会，1991。
- 3) 恩田昌彦：〔教育講演〕インフォームド・コンセントとその問題点。第18回日本腹部救急医学会総会，1992。
- 4) 小林丈泰，恩田昌彦，古川清憲，田中宣威，田代真一，中尾 充，吉村成子，石川紀行，金 雅辰，菊池俊雄：〔一般講演〕エンドトキシンショック時における肝細胞障害の発症の機序；好中球を中心に。第6回日本ショック学会，1991。
- 5) 水谷 崇，恩田昌彦，徳永 昭，奥田武志，木山輝郎，吉行俊郎，清水康仁，西 恵吾，松倉則夫，田中宣威，山下精彦，山中宣昭¹⁾（¹⁾病理第1）：〔一般講演〕ヒト胃癌における c-erbB-2の発現。第91回日本外科学会総会，1991。
- 6) 山中洋一郎，恩田昌彦，内田英二，内藤善哉，会田邦晴，小林 匡，相本 隆，笹島耕二，田尻 孝，江上 格，浅野伍朗¹⁾（¹⁾病理第2）：〔一般講演〕ヒト膵臓癌における EGF，EGFR 及び c-erbB-2遺伝子産物に関する免疫組織化学的検討。第91回日本外科学会総会，1991。
- 7) 真々田裕宏，恩田昌彦，田尻 孝，金 徳栄，足立幹夫，鳥羽昌仁，梅原松臣，吉田 寛，西久保秀紀，谷合信彦，野村 務，丸山 弘，鶴田宏之，隈崎達夫¹⁾，本多一義¹⁾，伊藤公一郎¹⁾（¹⁾放射線科）：〔一般講演〕原発性肝癌に対する動脈・門脈塞栓術の検討。第91回日本外科学会総会，1991。
- 8) 徳永 昭，恩田昌彦，Hunt, T.K., Spenner, E.M.：〔一般講演〕血小板におけるインシュリン様成長因子 (IGF) 結合蛋白 (Bp) の存在とその意義。第91回日本外科学会総会，1991。
- 9) 山下精彦，恩田昌彦，笹島耕二，田尻 孝，京野昭二，谷口善郎，瀬谷知子，渡辺 学，田久保海誉¹⁾（¹⁾埼玉がんセンター病理）：〔展示〕進行食道癌に対する術前補助療法の検討。第91回日本外科学会総会，1991。
- 10) 相本隆幸，恩田昌彦，内田英二，内藤善哉，会田邦晴，山中洋一郎，小林 匡，笹島耕二，田尻 孝，江上 格，浅野伍朗¹⁾（¹⁾病理第2）：〔展示〕ヒト膵臓癌における NSE および myc (N-myc, c-myc) 遺伝子産物に関する免疫組織学的検討。第91回日本外科学会総会，1991。
- 11) 鞆止勝麿，永井哲志，山川達郎：〔展示〕総胆管腸管吻合モデルの外科疾患研究における有用性。第91回日本外科学会総会，1991。
- 12) 林 美鈴，原佳津志，北原新一，実原正明，千賀 修，宮川 信，渡辺達男，松山郁生，土屋眞一：〔一般講演〕乳腺カルチノイド腫瘍の1例。第32回臨床細胞学会総会，1991。
- 13) 北村隆司，近藤峰子，光谷俊幸，佐川文明，渡辺秀義，土屋眞一：〔一般講演〕乳頭部腺腫 (adenoma of the nipple) の1例。第32回日本臨床細胞学会総会，1991。
- 14) 福田直人，宇野剛一，望月康久，本田 拓，石川泰郎，小林俊介，山川達郎：〔一般講演〕術後良性胆管狭窄に対するエンドプロステシスの経験。第20回胆道外科学研究会，1991。
- 15) 中尾 充，恩田昌彦，吉岡正智，森山雄吉，田尻 孝，伊藤誠二，金 徳栄，田代真一，有馬保生，岡崎滋樹，横室茂樹：〔一般講演〕過去10年間における良性胆道狭窄11例。第20回日本胆道外科学研究会，1991。
- 16) 山下精彦，恩田昌彦，笹島耕二，田尻 孝，中島米治郎，京野昭二，有馬保生，鈴木英之，池田五十鈴，美濃部かほり，小林 政，野村武夫¹⁾，田久保海誉²⁾（¹⁾内科第3，²⁾埼玉がんセンター病理）：〔展示〕1.0cm 以下の小食道癌症例の検討。第41回日本消化器内視鏡学会総会，1991。
- 17) 香川隆男¹⁾，平川恒久¹⁾，岩切勝彦¹⁾，丸山正明¹⁾，末岡伸夫¹⁾，比留間博之¹⁾，青木正明¹⁾，小林正文¹⁾，野村武夫¹⁾，山下精彦，江上 格（¹⁾内科第3）：〔一般講演〕腐蝕性食道炎の内視鏡所見の検討。第41回日本消化器内視鏡学会総会，1991。
- 18) 酒井 滋，石川泰郎，山川達郎：〔一般講演〕腹腔鏡下胆嚢摘出術；胆嚢腫大例の問題点と術式の工夫。第41回日本消化器内視鏡学会総会，1991。
- 19) 本田 拓，山川達郎：〔展示〕切除不能悪性胆管狭窄に対する極超短波による経皮経肝的局所温熱療法。第41回日本消化器内視鏡学会総会，1991。
- 20) Matsuda, T., Rubinstein, I.¹⁾, Robbins, R.A.¹⁾, Koyama, S.¹⁾, Eccleston-Joyner, C.A.¹⁾, Joyner, W.L.¹⁾ and

- Rennard, S.I.¹⁾ (¹⁾University of Nebraska Medical Center): [一般講演] The role of neutrophils in endotoxin-induced increase in microvascular hyperpermeability for macromolecules *in vivo*, 1991 American Thoracic Society Annual Meeting (Anaheim), 1991.
- 21) 山下直行, 恩田昌彦, 江上 格, 松倉則夫, 岡崎滋樹, 中尾 充, 山中洋一郎, 相本隆幸, 木村美保, 松本智司, 山下精彦: [一般講演] 集学的治療が有効であった後腹膜 malignant hemangiopericytoma の1例. 第214回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
 - 22) 伊藤誠二, 恩田昌彦: [パネルディスカッション] 胆道鏡による胆道癌の診断と治療効果の観察. 第41回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
 - 23) 真々田裕宏, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 谷合信彦, 西久保秀紀, 野村 務, 丸山 弘, カーン・ハヤト, 隈崎達夫¹⁾, 田島廣之¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 弦間和仁¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] 原発性肝癌に対する動脈門脈塞栓術の有用性. 第27回日本肝臓学会総会, 1991.
 - 24) 石川泰郎, 酒井 滋, 山川達郎: [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術. 第16回日本外科系連合学会学術集会, 1991.
 - 25) 松田 健, 羽尾邦彦¹⁾, 内藤善哉²⁾, 宮下正夫, 清水康仁, 鈴木英之, 恩田昌彦(¹⁾国立横須賀病院外科, ²⁾同病理): [一般講演] 最近経験した虫垂腫瘍の2例. 第70回神奈川県臨床外科医学会集談会, 1991.
 - 26) 松田 健, 羽尾邦彦¹⁾, 宮下正夫, 鈴木英之, 内藤善哉²⁾, 恩田昌彦(¹⁾国立横須賀病院外科, ²⁾同病理): [一般講演] 最近経験した原発性虫垂腺癌の1例. 第36回神奈川県消化器病研究会, 1991.
 - 27) 佐々部 一, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 江上 格, 徳永 昭, 中島米治郎, 松倉則夫, 横井公良: [一般講演] 高齢者胃癌の1例. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
 - 28) 恒元秀夫, 千賀 修, 疋田仁志, 木下友順, 宮川 信, 原 克実, 土屋眞一: [一般講演] 腋窩転移巣より発見された授乳期乳癌の1例. 第54回乳癌研究会, 1991.
 - 29) 土屋眞一, 丸山勇造, 小池綏男, 寺井直樹, 若林 透: [一般講演] 両側乳癌の原発および転移性に関する組織学的検討. 第54回乳癌研究会, 1991.
 - 30) 水谷 崇, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 京野昭二, 松倉則夫, 中島米治郎, 山下精彦, 山中宣昭¹⁾, 杉崎祐一¹⁾ (¹⁾病理第1): [一般講演] 胃低分化腺癌の生物学的特性の検討. 第57回胃癌研究会, 1991.
 - 31) 谷合信彦, 恩田昌彦, 田尻 孝, 山下精彦, 金 徳栄, 鄭 淳, 鳥羽昌仁, 足立幹夫, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 西久保秀紀: [一般講演] 食道胃静脈瘤に対する予防的硬化療法の意味. 第12回食道静脈瘤硬化療法研究会, 1991.
 - 32) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 山下精彦, 金 徳栄, 足立幹夫, 鳥羽昌仁, 谷合信彦: [一般講演] 難治性食道静脈瘤の血行動態及び血管塞栓術の有用性. 第24回日本門脈圧亢進症研究会, 1991.
 - 33) 弦間和仁¹⁾, 田島廣之¹⁾, 大矢 徹, 村上隆介, 川俣博志, 隈崎達夫¹⁾, 恵畑欣一¹⁾, 真々田裕宏, 谷合信彦, 西久保秀紀, 吉田 寛, 田尻 孝, 恩田昌彦 (¹⁾放射線科): [一般講演] 高アンモニア血症の改善に有効であった傍臍静脈塞栓術の1例. 第3回関東IVR研究会, 1991.
 - 34) 陳 大志, 恩田昌彦, 中島米治郎, 林久太佳, 沖浜裕司, 京野昭二, 森山雄吉, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理第2): [一般講演] 虚血腸管における vasoactive intestinal peptide (VIP) の変動に関する免疫組織化学的研究; 特に Prostaglandin E₁ (PGE₁) との関連について. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
 - 35) 徳永 昭, 恩田昌彦, 山下精彦, 田中宣威, 古川清憲, 中島米治郎, 松倉則夫, 京野昭二, 横井公良, 西 恵吾, 木山輝郎, 水谷 崇, 奥田武志, 藤田逸郎, 木村美保, 丸山 弘, 小栗 剛: [一般講演] 再発胃癌に対する cisplatin 併用多剤化学療法の効果. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
 - 36) 石川紀行, 恩田昌彦, 古川清憲: [一般講演] エンドトキシンショック時における肝細胞障害についての実験的検討. 第38回日本消化器外科学会, 1991.

- 37) 笹島耕二, 恩田昌彦, 渡辺 学, 山下精彦, 羽尾邦彦, 安東俊明:〔展示〕化学療法が有効であった食道小細胞癌. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 38) 吉田 寛, 恩田昌彦, 田尻 孝, 梅原松臣, 真々田裕宏, 谷合信彦, 西久保秀紀, 金 徳栄, 鳥羽昌仁:〔一般講演〕門脈圧亢進症における脾静脈血行動態の検討. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 39) 下村隆保, 恩田昌彦, 有馬保生, 山下精彦:〔一般講演〕全身骨転移を来した早期胃癌の1例. 第215回日本消化器病関東支部例会, 1991.
- 40) 中村慶春, 徳永 昭, 恩田昌彦, 山下精彦, 松倉則夫, 井上松応:〔一般講演〕膵腺癌で小型の Borrmann I 型を呈した胃癌の1例. 第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 41) 清水康仁, 古谷政一:〔一般講演〕早期十二指腸球部癌の1例. 第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 42) 本多一義¹⁾, 田尻 孝 (放射線科):〔特別講演〕胃・食道静脈瘤に対する塞栓術の経験. 第3回多摩臨床消化器病研究会, 1991.
- 43) 有馬保生, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 江上 格, 田尻 孝, 伊藤誠二, 金 徳栄, 中島米治郎, 横山滋彦, 小林正文¹⁾, 黒田 肇¹⁾, 多田教彦¹⁾, 山田益弘¹⁾ (内科第3):〔一般講演〕腹腔鏡下胆嚢摘出術における術後の腸管運動の検討. 第2回内視鏡下外科手術研究会, 1991.
- 44) 小林 匡, 恩田昌彦, 内田英二, 相本隆幸, 山中洋一郎, 会田邦晴, 内藤善哉, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格, 田村浩一¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (病理第1):〔展示〕ハムスター膵発癌過程および同種継代移植系における細胞動態の検討. 日本膵臓学会第22回年次大会, 1991.
- 45) 谷合信彦, 恩田昌彦, 田尻 孝, 鳥羽昌仁, 山下精彦, 金 徳栄, 鄭 淳, 足立幹夫, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 西久保秀紀:〔展示〕食道胃静脈瘤に対する予防的硬化療法; 40例の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 46) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 山下精彦, 金 徳栄, 足立幹夫, 谷合信彦:〔展示〕難治性食道静脈瘤の血行動態およびその対策. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 47) 有馬保生, 恩田昌彦, 田尻 孝, 伊藤誠二, 山下精彦, 森山雄吉, 江上 格, 金 徳栄, 横山滋彦, 小林正文¹⁾, 黒田 肇¹⁾, 多田教彦¹⁾, 山田益弘¹⁾, 福田 功²⁾, 小川 龍²⁾ (内科第3, ²⁾麻酔科):〔展示〕腹腔鏡下胆嚢摘出術の経験. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 48) 真々田裕宏, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 野村 務, 谷合信彦, 西久保秀紀, 恵畑欣一¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 田島廣之¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 弦間和仁¹⁾ (放射線科):〔展示〕原発性肝癌 (HCC) に対する TAE と選択的担癌区域門脈塞栓術 (selective portal embolization: SSPE) の併用療法の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 49) 相本隆幸, 恩田昌彦, 内田英二, 内藤善哉, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 横山 正, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格:〔展示〕ヒト膵癌における Ag-NORs 染色からみた腫瘍増殖能の解析と c-myc 蛋白の発現. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 50) 徳永 昭:〔海外留学者講演〕創傷治癒における成長因子; 血小板におけるインシュリン様成長因子結合蛋白の同定. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 51) 莎 其粒, 恩田昌彦, 徳永 昭, 木山輝郎, 浅野伍朗¹⁾ (病理第2):〔展示〕胃癌の増殖, 進展と宿主の反応について; 免疫組織化学的検索. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 52) 奥田武志, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 水谷 崇, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 松倉則夫, 山下精彦, 杉崎祐一¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (病理第1):〔展示〕ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対する EGF (Epidermal growth factor) の効果. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 53) 水谷 崇, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 飯田信也, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 松倉則夫, 田中宣威, 山下精彦, 杉崎祐一¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (病理第1):〔展示〕ヒト胃癌における c-erbB-2 の発現. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

- 54) 高木 豊¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)中検}: [展示] IMX を用いた CK-MB 蛋白量測定の基礎的検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 55) 佐藤寛之¹⁾, 高木 豊¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)中検}: [展示] 心疾患におけるミオグロビン定量の有用性について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 56) 亀山澄子¹⁾, 野本剛史¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)中検}: [展示] 当院における血液の使用状況報告; 手術準備血を中心として. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 57) 福田高久¹⁾, 中村祐三¹⁾, 友田尚子¹⁾, 橋田和美¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)中検}: [展示] 貧血治療における赤血球粒度分布の変化; 悪性貧血の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 58) 吉住正和¹⁾, 瀬川純子¹⁾, 長谷川栄子¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)中検}: [展示] 自動分析装置 COBAS, MIRA, LPIA100による血中 FDP の測定; 第2報. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 59) 長谷川栄子¹⁾, 瀬川純子¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)中検}: [展示] 血中トロンビン, アンチトロンビンIII複合体 (TAT) の基礎的検討; 第3報. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 60) 園部一成¹⁾, 竹内玲子¹⁾, 橋本政子¹⁾, 野本剛史¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦^{(1)中検}: [展示] EIA 法による IgG クラス抗 SS-DNA 抗体および抗 ds-DNA 抗体測定の基礎的検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 61) 柴田明佳, 村田正弘, 針谷吉人, 田中洋介, 大川共一: [一般講演] 多摩永山病院における定期細菌検査について (第3報). 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 62) 中島米治郎, 恩田昌彦, 山下精彦, 笹島耕二, 内藤善哉, 鶴田宏之, 西久保秀紀, 小栗 剛, 野中 学¹⁾, 大塚博邦¹⁾, 奥田 稔¹⁾, 田久保海誉²⁾ (1)耳鼻咽喉科, 2)埼玉県立がんセンター病理部): [展示] 嚥下障害と咽頭痛の発症より1年5ヵ月後に発見された若年者頸部食道癌の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 63) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 山下精彦, 田中宣威, 古川清憲, 京野昭二, 横井公良, 木山輝郎, 水谷 崇, 奥田武志, 藤田逸郎: [展示] 進行, 再発胃癌に対する5-FU, CDDP 併用化学療法の効果. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 64) 藤田逸郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 西 恵吾, 松倉則夫, 古川清憲, 田中宣威, 山下精彦, 浅野伍朗¹⁾, 留目優子²⁾, 大國寿士²⁾ (1)病理第2, 2)老研): [展示] 消化器癌悪液質患者における CEA, IAP, INF および細胞性免疫能の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 65) 松田 健, 羽尾邦彦¹⁾, 宮下正夫, 鈴木英之, 富松 隆²⁾, 恩田昌彦^{(1)国立横須賀病院外科, 2)同整形外科}: [一般講演] 後腹膜腔に穿破した虫垂炎の1例. 第17回日本腹部救急医学会, 1991.
- 66) 西久保秀紀, 恩田昌彦, 田尻 孝, 足立幹夫, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 山下精彦, 金 徳栄, 谷合信彦: [一般講演] 内視鏡的硬化療法 (EIS) 難渋例の血行動態及びその対策. 第17回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 67) 中村慶春, 恩田昌彦, 森山雄吉, 内田英二, 横山滋彦, 渡辺 潤¹⁾, 杉澤 裕¹⁾, 佐藤三洋¹⁾, 天谷健二¹⁾, 秋元成太¹⁾ (1)泌尿器科): [一般講演] 破裂膀胱内小腸嵌入による絞扼性イレウスの1例. 第17回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 68) 水谷 崇, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 木山輝郎, 清水康仁, 吉行俊郎, 西 恵吾, 松倉則夫, 笹島耕二, 田中宣威, 山下精彦, 山中宣昭¹⁾ (1)病理第1): [一般講演] ヒト胃癌およびヌードマウス可移植性胃癌における EGFR (epidermal growth factor receptor) の意義; 他臓器癌との対比. 第3回日本消化器癌発生研究会, 1991.
- 69) 内田英二, 恩田昌彦, 山中洋一郎, 小林 匡, 相本隆幸, 田中宣威: [一般演題] ハムスター大腸発癌に及ぼす女性ホルモンの影響. 第3回日本消化器癌発生研究会, 1991.
- 70) 牧野浩司, 石坂幸人, 辻本敦美, 串田浩美, 恩田昌彦, 杉村 隆, 長尾美奈子: [展示] ラット p53遺伝子点突然変異の解析. 第14回分子生物学会年会, 1991.
- 71) 横室茂樹, 恩田昌彦, 森山雄吉, 江上 格, 田尻 孝, 伊藤誠二, 金 徳栄, 田代真一, 有馬保生, 中尾 充,

- 鳥羽昌仁：〔一般講演〕急性胆嚢炎の手術時期の検討，第27回日本胆道学会総会，1991。
- 72) 土屋眞一，松山郁生，丸山勇造：〔一般講演〕乳腺紡錘細胞癌 (spindle cell carcinoma) の1例，第23回日本臨床電子顕微鏡学会総会，1991。
- 73) 横山 正，恩田昌彦，相本隆幸，横室茂樹，小林 匡，山中洋一郎，中尾 充，内田英二，有馬保生，岡崎茂樹，渡辺 章，金 徳栄，伊藤誠二，田尻 孝，江上 格，森山雄吉，小林正文¹⁾ (¹内科第3)：〔一般講演〕先天性胆道拡張症に対する胆管切除，胆道再建術施行症例の検討，第14回日本膵管胆道合流異常研究会，1991。
- 74) 松崎 栄，恩田昌彦，山下精彦，江上 格，田尻 孝，内田英二，佐々部一，吉田 寛，横山滋彦：〔一般講演〕慢性膵炎に起因した hemosuccus pancreatitis の1例，第216回日本消化器病学会関東支部例会，1991。
- 75) 相本隆幸，恩田昌彦，内田英二，内藤善哉，会田邦晴，山中洋一郎，小林 匡，横山 正，笹島耕二，田尻 孝，江上 格，浅野伍朗¹⁾ (¹病理第2)：〔一般講演〕ヒト膵癌における AG-NORs 染色からみた腫瘍増殖能の解析と *c-myc* 蛋白の発現，第50回日本癌学会総会，1991。
- 76) 丸山勇造，土屋眞一：〔一般講演〕長野県に於ける胃・子宮癌死亡の経年推移の解析；集団検診の評価として，第50回日本癌学会総会，1991。
- 77) 本田 拓，山川達郎：〔一般演題〕極超短波による経皮経肝局所温熱療法の実験的研究 (第1報)，第50回日本癌学会総会，1991。
- 78) 水谷 崇，恩田昌彦，徳永 昭，藤田逸郎，奥田武志，飯田信也，木山輝郎，吉行俊郎，清水康仁，西 恵吾，松倉則夫，田中宣威，山下精彦，山中宣昭¹⁾ (¹病理第1)：〔展示〕ヒト胃癌における *c-erbB-2* の発現，第50回日本癌学会総会，1991。
- 79) 木山輝郎，恩田昌彦，徳永 昭，藤田逸郎，奥田武志，水谷 崇，西 恵吾，松倉則夫，古川清憲，田中宣威，山下精彦，浅野伍朗¹⁾，留目優子²⁾，大国寿士²⁾ (¹病理第2，²老研)：〔一般講演〕消化器癌悪液質患者における血清中 CEA，IAP および抗 TNF 抗体の測定意義，第50回日本癌学会総会，1991。
- 80) 牧野浩司，石坂幸人，恩田昌彦，杉村 隆，長尾美奈子：〔一般講演〕sscp 法によるラット細胞株における p53 遺伝子の点突然変異の検出，第50回日本癌学会総会，1991。
- 81) 奥田武志，恩田昌彦，徳永 昭，藤田逸郎，水谷 崇，木山輝郎，吉行俊郎，清水康仁，西 恵吾，松倉則夫，山下精彦，杉崎祐一¹⁾，山中宣昭¹⁾ (¹病理第1)：〔示説〕ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対する EGF (epidermal growth factor) の効果，第50回日本癌学会総会，1991。
- 82) 笹島耕二，恩田昌彦，内田英二，渡辺 学，山下精彦，田久保海誉：〔示説〕ポリープ状食道悪性腫瘍の検討，第50回日本癌学会総会，1991。
- 83) 飯田信也，吉田輝彦¹⁾，坂本裕美¹⁾，加藤 修¹⁾，山田行重¹⁾，広橋説雄²⁾，恩田昌彦，杉村 隆¹⁾，寺田雅昭¹⁾，内藤健一郎³⁾ (¹国立がんセ・研・分子腫瘍，²同病理，³武田薬品・生研)：〔一般演題〕ヒト *hst-2* 遺伝子 cDNA の解析，第50回日本癌学会総会，1991。
- 84) 柴田佳明，村田正弘，針谷吉人，田中洋介，大川共一：〔一般講演〕当院における院内環境調査；特に手術室を中心として (第1報)，第13回日本手術部医学会総会，1991。
- 85) 宮田 忍，福田イツ子，田中洋介，大川共一：〔一般講演〕手術中における手指の清潔保持の検討，第13回日本手術部医学会総会，1991。
- 86) 小玉美雪，矢島浩三，高岡雅子，大川共一：〔一般講演〕ディスプレイ不織布の処理について，第13回日本手術部医学会総会，1991。
- 87) 菊池俊雄，恩田昌彦，吉村成子，金 徳栄，田尻 孝，田中宣威，古川清憲，青木伸弘，吉田 寛，真々田裕宏，西久保秀紀，谷合信彦，鎌田直司¹⁾ (¹国立小児医療研究センター実験外科)：〔ワークショップ〕ラット同所性肝移植モデルにおける免疫抑制の解析，第27回日本移植学会総会，1991。
- 88) 木山輝郎，恩田昌彦，徳永 昭，藤田逸郎，奥田武志，水谷 崇，吉行俊郎，清水康仁，西 恵吾，松倉則夫，田中宣威，山下精彦，浅野伍朗：〔一般講演〕胃癌の増殖と CEA；I. 胃癌患者の血清 CEA 値とヌードマウス

- 可移植性, II. ノードマウス移植腫瘍の増殖と血清および組織 CEA 値の変動. 第3回日本消化器癌発生研究会, 1991.
- 89) 大川共一: [会長講演] 不織布と手術部運営. 第13回日本手術部医学会総会, 1991.
- 90) 横山滋彦, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 古川清憲, 京野昭二, 横井公良, 内田英二: [シンポジウム] radiopaque marker と long tube を併用したイレウスの診断と手術適応の検討. 第17回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 91) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 山下精彦, 田中宣威, 古川清憲, 中島米治郎, 京野昭二, 横井公良, 西 恵吾, 木山輝郎, 水谷 崇, 奥田武志, 藤田逸郎: [一般講演] 進行, 再発胃癌に対する5-FU, Cisplatin 併用療法の効果. 第29回日本癌治療学会, 1991.
- 92) 奥田武志, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 水谷 崇, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 松倉則夫, 山下精彦, 杉崎祐一¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (1)病理第1): [示説] ノードマウス移植ヒト胃癌による癌悪液質モデルの研究. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 93) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 西 恵吾, 松倉則夫, 古川清憲, 田尻 孝, 田中宣威, 山下精彦: [一般講演] 消化器癌悪液質患者の栄養状態と血中 TFN, IAP との関係. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 94) 徳永 昭, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻 孝, 中島米治郎, 古川清憲, 松倉則夫, 京野昭二, 鳥羽昌仁, 木山輝郎, 牧野浩司: [一般講演] 癌治療における合併症とその対策; 癌治療経過中に発生した消化管穿孔に関する外科治療. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 95) 金沢義一, 恩田昌彦, 田中宣威, 徳永 昭, 古川清憲, 鳥羽昌仁, 横井公良, 瀬谷知子, 横山滋彦: [示説] 著明な電解質異常を伴った巨大直腸 villous tumor の1例. 第46回日本大腸肛門病学会総会, 1991.
- 96) 瀬谷知子, 恩田昌彦, 田中宣威, 森山雄吉, 徳永 昭, 古川清憲, 田代真一, 横井公良, 横山滋彦, コーン・ハヤト, 美濃部かおり, 浅野伍朗¹⁾ (1)病理第2): [一般講演] 消化器癌に合併した大腸カルチノイド症例の検討. 第46回日本大腸肛門病学会総会, 1991.
- 97) 相本隆幸, 恩田昌彦, 田中宣威, 古川清憲, 松倉則夫, 中村 孝, 横井公良, 内田英二, 横山滋彦, 瀬谷知子, 小林 匡, 山中洋一郎, 浅野伍朗¹⁾ (1)病理第2): [一般講演] 若年者大腸 angiodysplasia の1例. 第46回日本大腸肛門病学会総会, 1991.
- 98) 松坂 聡¹⁾, 金沢秀典¹⁾, 多田教彦¹⁾, 宮田邦久¹⁾, 吉沢雅史¹⁾, 斉藤 整¹⁾, 渡 淳¹⁾, 黒田 肇¹⁾, 小林正文¹⁾, 梅原松臣, 金 徳栄, 田尻 孝 (1)内科第3): [一般講演] 各種食道静脈瘤治療 (内視鏡的硬化療法, プロプラノロール, 遠位脾腎シャント) の肝血行動態および内視鏡像に及ぼす効果の比較. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 99) Aimoto, T., Onda, M., Uchida, E., Naito, Z., Aida, K., Yamanaka, Y., Kobayashi, T., Egami, K., Yokoyama, T., Tajiri, T., Sasajima, K. and Asano, G.: [示説] Study on proliferating potential by AG-NORS staining in human pancreatic carcinoma; Comparison with other gastrointestinal carcinomas. American Pancreatic Association (Chicago), 1991.
- 100) 鳥羽昌仁, 恩田昌彦: [ワークショップ] 食道胃静脈瘤治療における問題点とその対策; とくに高度肝機能障害例を中心に. 第33回日本消化器病学会大会, 1991.
- 101) Kobayashi, T. Onda, M., Uchida, E., Naito, Z., Aida, K., Yamanaka, Y., Aimoto, T., Yokoyama, T., Sasajima, K., Tajiri, T., Egami, K., Tamura, K.¹⁾ and Yamanaka, N.¹⁾ (1)1st. Dept. of Pathol.): [示説] Cell kinetics of precancerous and cancerous lesions and transplantable carcinoma of the pancreas in hamsters induced by N-nitrosobis (2-oxopropyl) amine (BOP). American Pancreatic Association (Chicago), 1991.
- 102) 大滝修司, 金子 等, 山川達郎, 青木誠孝, 武井恒夫, 関沢良行, 舛井秀宣, 山口茂樹, 城 俊明, 大木繁男: [一般講演] 免疫学的便潜血検査法の意義; 大腸隆起性病変について. 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.

- 103) 山崎輝行, 波多野久昭, 土屋眞一: [一般講演] 大部分が扁平上皮癌への分化を示した子宮内膜扁平上皮癌の1例. 第30回日本臨床細胞学会秋期大会, 1991.
- 104) 金子和彦, 花村 直, 藤田ひろ子, 関 龍彦, 土屋眞一: [一般講演] 術前吸引細胞診で診断された乳腺アポクリル化生癌の1例. 第30回日本臨床細胞学会秋期大会, 1991.
- 105) 北原新一, 原佳津志, 林 美鈴, 実原正明, 千賀 修, 宮川 信, 土屋眞一: [一般講演] 乳腺 spindle cell carcinoma の1例. 第30回日本臨床細胞学会秋期大会, 1991.
- 106) 渡辺達男, 高橋洋子, 丸山勇造, 土屋眞一, 小池綏男, 寺井直樹: [一般講演] 乳腺 mucocele-like tumor の1例; 特に粘液癌との比較について. 第30回日本臨床細胞学会秋期大会, 1991.
- 107) 谷合信彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 江上 格, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 吉田 寛, 真々田裕宏, 西久保秀紀: [一般講演] 虫垂炎に起因した門脈血栓症の1例. 第743回外科集談会, 1991.
- 108) 鳥羽昌仁, 恩田昌彦: [シンポジウム] 食道胃静脈瘤硬化療法の効果不良例および再発例の検討. 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 109) 藤田逸郎, 恩田昌彦, 伊藤誠二, 江上 格, 山下直行, 木山輝郎, 田代真一, 田尻 孝, 森山雄吉, 山下精彦, 小林正文¹⁾(¹⁾内科第3): [一般講演] ショック状態で開腹, Open drainage, 術後血液透析, レスピレーター使用のMOF合併急性重症膵炎の1救命例. 第217回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 110) 長倉千恵子¹⁾, 山本信也¹⁾, 青砥泰二¹⁾, 伊東民誉¹⁾, 野本剛史¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦, 三宅弘一²⁾(¹⁾中検, ²⁾内科第3): [一般講演] 最近経験した糞線虫症の1例. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 111) 高木 豊¹⁾, 佐藤寛之¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦(¹⁾中検): [一般講演] IMX を用いたCK-MB蛋白量測定の基礎的検討. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 112) 佐藤寛之¹⁾, 高木 豊¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦(¹⁾中検): [一般講演] 心疾患におけるミオグロビン定量の有用性について. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 113) 柴田泰史¹⁾, 上田ひろみ¹⁾, 本山三生¹⁾, 山下精彦, 辺見 弘²⁾, 安田和弘²⁾, 小関一英²⁾, 大塚敏文²⁾(¹⁾中検, ²⁾救命救急センター): [一般講演] 当救命救急センターにおける全自動血液ガス電解質測定装置 stat profile 5の検討. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 114) 小栗 剛, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻 孝, 徳永 昭, 伊藤誠二, 松倉則夫, 京野昭二, 有馬保生, 横井公良, 内田英二, 鳥羽昌仁, 美濃部かをり, 佐々部一: [一般講演] 超高齢者にみられた急性十二指腸球後潰瘍の1例. 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 115) 山田裕之¹⁾, 多田教彦¹⁾, 斉藤 整¹⁾, 吉沢雅史¹⁾, 山田益弘¹⁾, 田口克司, 松坂 聡, 黒田 肇¹⁾, 小林正文¹⁾, 横山滋樹, 横室茂樹, 有馬保生, 金 徳栄, 伊藤誠二, 田尻 孝, 森山雄吉, 山下精彦, 恩田昌彦(¹⁾内科第3): [一般講演] 腹腔鏡的胆嚢摘出術の経験. 第2回腹腔鏡的胆嚢摘出術研究会, 1991.
- 116) 丸山 弘, 恩田昌彦, 田中宣威, 笹島耕二, 石川紀行, 小林丈泰, 金 雅辰, 菊池俊雄, 古川清憲: [一般講演] 消化器外科と糖尿病; 特に白血球機能を中心に. 第4回日本外科感染症研究会, 1991.
- 117) 小林丈泰, 恩田昌彦, 古川清憲, 田中宣威, 田代真一, 中尾 充, 吉村成子, 石川紀行, 金 雅辰, 菊池俊雄: [一般講演] エンドトキシンショック時における肝細胞障害の発症の機序; 好中球を中心に. 第6回日本ショック学会, 1991.
- 118) Nakamura, Y., Onda, M., Egami, K., Tajiri, T., Okazaki, S., Kim, T., Ito, S., Arima, Y. and Yokoyama, T.: [一般講演] Surical procedures of the treatment for congenital billiary duct dilatation. 8th General Meeting Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter, 1991.
- 119) 松倉則夫, 恩田昌彦, 徳永 昭, 山下精彦, 田中宣威, 古川清憲, 中島米治郎, 京野昭二, 横井公良, 足立幹夫, 西 恵吾, 木山輝郎, 水谷 崇, 奥田武志, 藤田逸郎: [一般講演] 進行, 再発胃癌に対する5-FU 持続静注 + Cisplatin 併用療法の効果. 第58回胃癌研究会, 1992.
- 120) 田尻 孝: [特別講演] 脾機能亢進症に対する脾動脈塞栓療法. 第18回肝臓研究会, 1992.

- 121) カーン・ハヤト, 恩田昌彦, 田中宣威, 森山雄吉, 徳永 昭, 古川清憲, 横井公良, 瀬谷知子, 横山滋彦, 丸山弘:〔一般講演〕びまん浸潤型大腸癌症例の臨床的病理学的検討. 第36回大腸癌研究会, 1992.
- 122) 横山滋彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 江上 格, 田尻 孝, 伊藤誠二, 有馬保生, 内田英二, 吉田 寛:〔一般講演〕超音波カラードップラーが診断に有用であった慢性膵炎による hemosuccus pancreaticus の1例. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第1回学術講演会, 1992.
- 123) 真々田裕宏, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 西久保秀紀, 谷合信彦, 隈崎達夫¹⁾, 大矢 徹¹⁾, 田島廣之¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 弦間和仁¹⁾(¹⁾放射線科):〔一般講演〕Porto-systemic encephalopathy に対する傍臍静脈閉鎖術の3例の経験. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 124) 水谷 崇, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 飯田信也, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 松倉則夫, 田中宣威, 山下精彦, 杉崎祐一¹⁾, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1):〔示説〕ヒト胃癌における c-erbB-2 蛋白の発現とリンパ節転移. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 125) 徳永 昭, 恩田昌彦, 西 恵吾, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 松倉則夫, 田中宣威, 山下精彦:〔示説〕胃癌におけるエストロゲン結合物質または受容体の存在とその意義; スキルス胃癌に対する内分泌治療の試み. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 126) 横山滋彦, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 古川清憲, 京野昭二, 横井公良, 内田英二, 瀬谷知子, カーン・ハヤト:〔一般講演〕イレウスの治療方針の決定における radiopaque marker の意義. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 127) 奥田武志, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 水谷 崇, 木山輝郎, 内藤善哉, 岡崎滋樹, 西 恵吾, 松倉則夫, 山下精彦, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1):〔示説〕UFT 投与後血中 CEA の急激な下降および転移巣の縮小が認められた再発胃癌の1例. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 128) 陳 大志, 恩田昌彦, 森山雄吉, 中島米治郎, 古川清憲, 京野昭二:〔展示〕阻血による腸管癒着の発生に関する実験的研究. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 129) 中島米治郎, 恩田昌彦, 山下精彦, 笹島耕二, 内藤善哉, 鶴田宏之, 西久保秀紀, 小栗 剛, 野中 学¹⁾, 大塚博邦¹⁾, 奥田 稔¹⁾, 田久保海誉²⁾(¹⁾耳鼻咽喉科, ²⁾埼玉県立がんセンター病理部):〔展示〕嚥下痛の発症より1年5ヵ月後に発見された若年者(30歳女性)頸部食道癌の1例. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 130) 土屋眞一:〔一般講演〕乳腺の細胞診;(4) 微細構造からみた乳腺細胞診. 日本病院病理医協会第116回交見会, 1992.
- 131) 小池綏男, 寺井直樹, 土屋眞一:〔一般講演〕乳腺疾患に対する穿刺吸引細胞診の手技の紹介と問題点の検討. 第55回乳癌研究会, 1992.
- 132) 千賀 修, 宮川 信, 疋田仁志, 柴田 均, 恒元秀夫, 土屋眞一:〔一般講演〕乳癌症例における術前摘出生検例の検討. 第55回乳癌研究会, 1992.
- 133) 土屋眞一, 丸山雄造, 小池綏男, 寺井直樹, 若林 透:〔一般講演〕穿刺吸引細胞診からみた組織型推定の可能性について. 第55回乳癌研究会, 1992.
- 134) 木山輝郎, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 水谷 崇, 西 恵吾, 松倉則夫, 古川清憲, 羽尾邦彦, 田尻 孝, 田中宣威, 山下精彦:〔一般講演〕消化器癌悪液質患者における血中 TNF, CEA, IAP, 抗 INF 抗体および細胞性免疫能の測定意義. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 135) 水谷 崇, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 奥田武志, 飯田信也, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 松倉則夫, 田中宣威, 山下精彦:〔一般講演〕ヒト胃癌における c-erbB-2 蛋白の発現とリンパ節転移. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 136) 奥田武志, 恩田昌彦, 徳永 昭, 藤田逸郎, 水谷 崇, 木山輝郎, 吉行俊郎, 清水康仁, 西 恵吾, 松倉則夫, 山下精彦:〔示説〕ヌードマウス移植ヒト胃癌の増殖に対する EGF の効果; 顎下腺摘出の影響. 第92回日本外科学会総会, 1992.

- 137) 相本隆幸, 恩田昌彦, 内田英二, 内藤善哉, 会田邦晴, 山中洋一郎, 小林 匡, 横山 正, 笹島耕二, 田尻 孝, 江上 格, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理第2): [一般講演] ヒト臍臓における Ag-NORs 染色からみた腫瘍細胞増殖能の解析; 他の消化器癌と比較して. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 138) 野村 務, 恩田昌彦, 宮下正夫, 笹島耕二, 杉崎祐一, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理第1): [一般講演] LPS 投与ラット (LPS ラット) における血清及び肝組織中, ホスホリパーゼ A₂活性の検討. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 139) 寺本 忠, 恩田昌彦, 山下精彦, 江上 格, 田尻 孝, 古川清憲, 伊藤誠二, 有馬保生, 内田英二, 林久太佳, 小林 匡, 飯田信也, 相本隆幸, 横山 正: [一般講演] 大量出血を繰り返した原発性十二指腸癌の1例. 第744回日本外科集談会, 1992.
- 140) 野村 務, 恩田昌彦, 宮下正夫, 笹島耕二, 杉崎祐一, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理第1): [一般講演] エンドトキシン投与ラットにおけるホスホリパーゼ A₂活性と酵素組織化学的検討. 第78回日本消化器病学会総会, 1992.
- 141) 渡辺達男, 高橋洋子, 丸山勇造, 土屋眞一: [一般講演] 乳腺パターン細胞診; 細胞出現パターンからの組織型推定. 第6回日本臨床細胞学会長野県支部学術集会, 1992.
- 142) 山崎輝行, 波多野久昭, 原佳津志, 北原新一, 林 美鈴, 実原正明, 土屋眞一: [一般講演] 腹膜原発と考えられた漿液性表面乳頭癌の1例. 第6回日本臨床細胞学会長野県支部学術集会, 1992.
- 143) 谷谷信彦, 恩田昌彦, 田尻 孝, 金 徳栄, 鳥羽昌仁, 吉田 寛, 真々田裕宏, 西久保秀紀, 山下精彦: [一般講演] 経門脈的ウロキナーゼ注入により著明な改善をみた門脈血栓症の1例. 第18回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 144) 井上松応, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 京野昭二, 内田英二, 齊藤忠生, 荒木 勤¹⁾, 高橋英彦¹⁾ (¹⁾産婦人科): [一般講演] 妊娠に合併した急性腹症. 第18回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 145) 田尻 孝, 恩田昌彦, 鳥羽昌仁, 梅原松臣, 吉田 寛, 真々田裕宏, 西久保秀紀, 谷谷信彦, 小嶋隆行, 足立幹夫, 金 徳栄, 山下精彦: [パネルディスカッション] 食道胃静脈瘤治療における controversy; 特に塞栓療法的位置づけについて. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 146) 高崎秀明, 増森興治, 岡崎滋樹, 木内博之: [一般講演] 経回結腸静脈の塞栓術 (TIO) にて止血しえた十二指腸静脈瘤の1例. 第141回消化器病学会東北支部例会, 1991.
- 147) Tsuchiya, S. and Asano, G.¹⁾ (¹⁾病理第2): [一般講演] Intracytoplasmic lumina of human breast cancer; A microscopic study and practical application in diagnosis. 第2回日中病理研究会 (Tokyo), 1991.
- 148) Honda, H. and Yamakawa, T.: [一般講演] Local hyperthermia using microwave for the cases with unresectable malignant biliary obstruction. 8th Congress of Asian Surgical Association (Fukuoka), 1991.
- 149) Yamakawa, T.: [一般講演] Early experience with laparoscopic cholecystectomy in Japan. 2nd World Congress on Biliary Lithotripsy (Chiba), 1991.
- 150) Senga, O., Tsuchiya, S.: [一般講演] The role of RI angiography using Tc-99m and TL-201 chloride scintigraphy on intra-arterial infusion chemotherapy for patients with locally advanced and recurrent breast cancer. 第10回アジア太平洋癌会議 (China), 1991.
- 151) Kano N., Yamakawa, T., Ishikawa, Y., Sakai, S., Honda, H. and Tachibana, A.: [一般講演] Experience with laparoscopic cholecystectomy; Preliminary results of 180 cases. 8th General Meeting of Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter (Tokyo), 1991.
- 152) Yamakawa, T.: [一般講演] Experience with laparoscopic cholecystectomy. 1st Asian Congress of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery (Bangkok), 1991.
- 153) Yamakawa, T.: [一般講演] Clinical significance of percutaneous cholangioscopy for management of biliary tract diseases. 34th World Congress of ISS and 12th World Congress of CICD (Stockholm), 1991.
- 154) 福間英祐, 館花明彦, 宇井義典, 小林俊介, 山川達郎: [一般講演] 乳房温存療法を行った乳頭近傍分泌乳癌の1例. 神奈川県乳腺甲状腺外科研究会第7回横浜カンファレンス, 1991.

- 155) Yamakawa, T.: [一般講演] Japanese experience with laparoscopic cholecystectomy. 51st Annual Conference of the Association of Surgeons of India (Hyderabad), 1991.
- 156) 大滝修司, 草間泰夫, 山川達郎: [一般講演] 当院における早期大腸癌の現況. 第72回神奈川県臨床外科医学会集談会, 1991.
- 157) 畝本賜男¹⁾, 村田正弘¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 山本保博¹⁾, 大川共一⁽¹⁾救急医学): [一般講演] 院内感染防止方法の検討. 第6回日本環境感染学会総会, 1991.
- 158) Tokunaga, A. Onda, M., Mizutani, T., Nishi, K., Kiyama, T., Okuda, T., Fujita, I., Yoshiyuki, T., Shimizu, Y., Matsukura, N., Yamashita, K.¹⁾, Asano, G.¹⁾, Sugisaki, Y.²⁾. and Yamanaka, N.²⁾ (¹⁾病理第2, ²⁾病理第1): [一般講演] Epidermal growth factor (EGF), EGF receptor (EGFR) and c-erbB-2 as biological markers of invasion and metastasis in human gastric cancer. The Socond Symphosium of Japan-China Pathology (Tokyo), 1991.
- 159) 深沢信悟, 仲野 明, 福島忠男, 関戸 仁, 藤井勇一, 依田浩平, 土屋周二, 山川達郎: [一般講演] 超音波照射による MTBE の胆石溶解促進作用. 第37回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 160) 福間英祐, 山川達郎, 小林俊介, 大滝修司, 館花明彦, 皆川邦子, 床枝康伸, 岡村律子, 上田隆一: [一般講演] 椎体間空腸嵌頓による外傷性腸閉塞の1例. 第16回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 161) 山川達郎: [シンポジウム] 消化器領域における内視鏡手術; 胆道疾患と内視鏡 (主題: 内視鏡手術の現況と将来). 日本学術会議内視鏡学研究連絡委員会シンポジウム, 1991.
- 162) 石川泰郎, 酒井 滋, 山川達郎: [シンポジウム] 腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応と限界 (主題: 腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応と手技). 第1回内視鏡下外科手術研究会, 1991.
- 163) 山川達郎: [特別講演] 腹腔鏡下胆嚢摘術の適応と実際. 第28回東海胆道研究会, 1991.
- 164) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎, 阿部宏之: [シンポジウム I] 腹腔鏡の胆嚢摘出術の適応と限界 (主題: Endoscopic surgery の適応と限界). 第37回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 165) 酒井 滋, 石川泰郎, 加納宣康, 山川達郎: [シンポジウム] 腹腔鏡下胆嚢摘出術における超音波吸引装置の有用性 (主題: 内視鏡下外科手術の進歩). 第2回内視鏡下外科手術研究会, 1991.
- 166) Sachira, Onda, M., Tokunaga, A., Kimura, T., Fujita, I., Okuda, T., Mizutani, T., Nishi, K., Matsukura, N., Yamashita, K. and Asano, G.¹⁾ (¹⁾Dept. Pathol.): [シンポジウム] Immunohistochemistry of CEA-positive cells, B cells and S-100-positive cells and tumor host relationship in gastric cancer. Second Symposium of JAPAN-CHINA Pathology (Tokyo). 1991.
- 167) 古川清憲, 恩田昌彦, 田中宣威, 石川紀行, 金 雅辰, 小林丈泰, 丸山 弘, 吉村成子, 足立憲治: [シンポジウム] エンドトキシシンショック時の肝細胞障害に対する腸内細菌の影響; とくに多核白血球と Kupffer 細胞を中心に. 第25回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会, 1992.
- 168) Yamakawa, T., Sakai, S. and Ishikawa, Y.: [ビデオセッション] Laparoscopic cholecystectomy. 8th Congress of Asian Surgical Association (Fukuoka), 1991.
- 169) 山川達郎: [特別講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術にともなう術中トラブルとその処置. 第82回肝胆膵疾患研究会, 1991.
- 170) 本田 拓, 山川達郎: [シンポジウム] 不幸な転帰を取った肝内結石症例の検討 (主題: 胆道結石 (胆嚢結石を除く) の内視鏡的治療). 第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 171) 石川泰郎, 山川達郎, 酒井 滋: [ビデオセッション] 腹腔鏡下胆嚢摘出術 (主題: Laparoscopic surgery). 第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 172) 山川達郎: [教育講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術. 日本消化器内視鏡学会セミナー, 1991.
- 173) Yamakawa, T.: [シンポジウム] Laparoscopic cholecystectomy. 2nd International Symposium of Therapeutic Endoscopy on Bilio-Pancreatic Diseases (Tokyo), 1991.
- 174) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎: [ワークショップ] 腹腔鏡下胆嚢摘出術; 手技と安全対策 (主題: 腹腔鏡下胆

- 嚢摘出術). 第27回日本胆道学会総会, 1991.
- 175) Kano, N., Yamakawa, T., Ishikawa, Y. and Sakai, S.: [ビデオシンポジウム] Experience with laparoscopic laser cholecystectomy. (Thema: Laser laparoscopic cholecystectomy). 6th Congress of International YAG Laser Symposium (Tokyo), 1991.
- 176) 山川達郎: [教育講演]内視鏡下外科手術の進歩; 腹腔鏡下胆嚢摘出術. 第13回日本手術部医学会教育セミナー, 1991.
- 177) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎: [ビデオワークショップ] 腹腔鏡下胆嚢摘出術の手法 (主題: 内視鏡下治療). 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 178) Yamakawa, T.: [シンポジウム] Laparoscopic cholecystectomy; Japanese experience. (Thema: Recent advances in the management of gallstone diseases). 1st Seoul International Digestive Disease Symposium (Seoul), 1991.
- 179) 山川達郎: [教育講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術. 第58回日本消化器病学会九州支部例会教育セミナー, 1991.
- 180) Yamakawa, T.: [シンポジウム] Educational program and changing for laparoscopic cholecystectomy (Thema: Laparoscopic cholecystectomy). 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 181) 本田 拓, 山川達郎: [シンポジウム] 切除不能悪性胆管狭窄に対する経皮経肝の局所温熱療法とその内視鏡的評価 (主願: 胆膵管系の内視鏡検査と内視鏡治療). 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 182) Tan, D., Ohtaki, S. and Yamakawa, T.: [ビデオシンポジウム] An improvised water pump for gastrointestinal endoscopy (主題: 内視鏡基本手法, 教育). 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 183) 酒井 滋, 山川達郎, 石川泰郎: [ビデオシンポジウム] 超音波吸引装置を用いた腹腔鏡下胆嚢摘出術 (主題: 腹腔鏡の基本的な手法ならびに治療手法). 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 184) 横井公良, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 徳永 昭, 古川清憲, 田代真一, 松倉則夫, 瀬谷知子, 横山滋彦: [シンポジウム] 大腸癌による急性腹症の検討 (主題: 悪性腫瘍と腹部救急疾患の術式の選択と根治性). 第16回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 185) 山川達郎: [Specialist form] 胆道内視鏡の最近のトピックス (主題: 胆・膵の最近の話題). 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.

〔前年度追加分〕

- 1) 恩田昌彦: [特別講演] イレウスの病態線治療, 第8回日本腹部救急診療研究会, 1987.
- 2) 恩田昌彦: [教育講演] イレウスに対する高圧酸素療法, 第22回日本高気圧環境医学会, 1987.
- 3) 恩田昌彦: [教育講演] 外科と感染; 診断と治療に関する最新の進歩, 第37回外科卒後教育セミナー, 1990.
- 4) 横山滋彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 徳永 昭, 田中宣成, 古川清憲, 横井公良, 安東俊明: [一般講演] 吐血を主訴とした胃平滑筋腫の1例, 第202回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 5) 丸山 弘, 恩田昌彦, 古川清憲, 山下精彦, 田中宣成, 田尻 孝, 徳永 昭, 横井公良, 足立幹夫, 鳥羽昌二, 橋本正好, 宮本昌之: [一般講演] 術後突然ショックを来した MRSA 感染症の1例, 第14回日本腹部救急診療研究会, 1990.
- 6) 谷合信彦, 恩田昌彦, 江上 裕, 中尾 亮, 金 雅辰, 務川 靖: [症例報告] Hirsch sprung 病合併 Waardenburg 症例群の1例, 第24回日本小児科学会関東地方会, 1989.
- 7) 丸山 弘, 恩田昌彦, 山下精彦, 田中宣成, 江上 格, 田尻 孝, 古川清憲, 田代真一, 横井公良, 有馬保生, 中尾 充, 鈴木英之, 金沢義一: [一般講演] 当教室における開腹術症例の術後感染症の検討, 第3回日本外科感染症研究会, 1990.

[多摩永山病院外科]

研究概要

多摩地区の中核基幹病院として、腹部を中心とする外科疾患の早期診断と治療の向上のために臨床的研究を中心に努力している。

- 1) 従来より吉岡前部長(現院長)を中心に胆石症について、日常診療活動はもとより胆石症の成因および胆道感染症に関する基礎的な研究を進めてきた。また、近年注目されている内視鏡的胆嚢剔除術を広く実施している。
- 2) 今日、消化器癌における集学的治療の重要性が認識されているが、江上部長を中心に、特に肝・胆道・膵疾患の治療成績向上の努力がなされている。
- 3) 虚血性腸管病変の研究が中島講師を中心に進められている。
- 4) 数年来、潰瘍性大腸炎の薬物療法について検討しているが、薬剤科との協力のもとに、今後さらに在宅治療が可能である5-Aminosalicylic acid (5-ASA) の注腸剤および坐剤の開発とその臨床効果についての研究を消化器科(田中部長)と共同で進めていく方針である。
- 5) 消化器内視鏡診断ならびに内視鏡下手術についての研究を中島講師はじめ医局員で行っている。
- 6) 昭和61年4月より開設した乳腺外来は、地域住民の好評を得て、患者数も年々著しい増加をみており、病理検査室と提携した迅速穿刺吸引細胞診の症例を加え、乳癌の早期診断および治療に良好な成績が得られている。
- 7) 新たに小児外科領域についても江上部長を中心として研究が進められている。

研究業績

論文

- 1) 谷口善郎, 吉岡正智, 田中洋介, 橋本正好, 樋口勝美, 加藤俊二, 長谷川博一, 吉村和泰, 小田 彰¹⁾, 山田智彦¹⁾ (¹⁾同救命救急センター): [症例報告] 腐蝕性食道狭窄の1例. 多摩シンボ誌, 5, 35~40, 1991.
- 2) 増森興治, 吉岡正智, 田中洋介, 内田英二, 樋口勝美, 前田昭太郎¹⁾, 恩田昌彦²⁾ (¹⁾同病理, ²⁾外科学第1): [症例報告] 食道に発生した巨大な脂肪肉腫の1例. 日外会誌, 92, 885~888, 1991.
- 3) 橋本正好, 吉岡正智, 田中洋介, 谷口善郎, 樋口勝美, 小川芳雄, 高井 淳, 吉村和泰, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [総説] 大腸癌緊急手術症例の臨床的検討. 腹救診, 11, 696~700, 1991.
- 4) 加藤俊二, 吉岡正智, 田中洋介, 橋本正好, 樋口勝美, 谷口善郎, 長谷川博一, 吉村和泰, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [症例報告] 開腹にて摘出した精神障害者における消化管異物の3例. 日消外会誌, 24, 3017~3021, 1991.

学会発表

- 1) 谷口善郎, 吉岡正智, 田中洋介, 橋本正好, 樋口勝美, 小川芳雄, 高井 淳, 吉松信彦, 加藤俊二, 長谷川博一, 的場文夫, 吉村和泰: [シンポジウム] 当科におけるAGML症例の臨床的検討. 第10回多摩消化器シンポジウム, 1991.
- 2) 橋本正好, 吉岡正智, 田中洋介, 谷口善郎, 樋口勝美, 小川芳雄, 高井 淳, 吉松信彦, 加藤俊二, 長谷川博一, 的場文夫, 吉村和泰, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [ワークショップ] 大腸癌緊急手術症例の臨床的検討. 第16回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 3) 中尾 充¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 吉岡正智, 森山雄吉¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 伊藤誠二¹⁾, 金 徳栄¹⁾, 田代真一¹⁾, 有馬保生¹⁾, 岡崎滋樹¹⁾, 横室茂樹¹⁾ (¹⁾外科学第1): [一般講演] 過去10年間における良性胆道狭窄11例. 第20回日本胆道外科研究会, 1991.
- 4) 吉村和泰, 吉岡正智, 田中洋介, 橋本正好, 谷口善郎, 樋口勝美, 氏原康文, 小川芳雄, 高井 淳, 高田月彦, 恩田昌彦¹⁾ (¹⁾外科学第1): [一般講演] 大網・小腸異常裂孔ヘルニアの1治験例. 第38回日本消化器外科学会

総会, 1991.

- 5) 氏原泰之, 吉岡正智, 中島米治郎, 橋本正好, 谷口善郎, 高田月彦, 小川芳雄, 松田 健, 松本智司, 木村美保, 高井 淳: [一般講演] 診断に難渋した頸部リンパ節転移の1例. 第43回城西外科研究会, 1991.
- 6) 谷口善郎, 吉岡正智, 田中洋介, 橋本正好, 樋口勝美, 小川芳雄, 氏原康之, 高井 淳, 高田月彦, 吉村和泰, 恩田昌彦¹⁾ (1)外科学第1): [一般講演] 急性胆嚢炎の治療. 第17回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 7) 松本智司, 吉岡正智, 中島米治郎, 橋本正好, 谷口善郎, 高田月彦, 氏原泰之, 小川芳雄, 高井 淳, 松田 健, 木村美保, 田中洋介¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 中川敬夫²⁾, 加藤圭子²⁾, 樋口勝美³⁾, 恩田昌彦³⁾ (1)同消化器科, 2)同病理部, 3)外科学第1): [一般講演] 乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の役割. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 8) 木村美保, 吉岡正智, 中島米治郎, 橋本正好, 谷口善郎, 高田月彦, 氏原康之, 小川芳雄, 高井 淳, 松田 健, 松本智司, 田中洋介¹⁾, 恩田昌彦²⁾ (1)同消化器科, 2)外科学第1): [展示] 腹部打撲後の腸間膜断裂による小腸壊死の1治験例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 9) 川上康彦¹⁾, 丸山和男¹⁾, 土屋正己¹⁾, 飛田正俊¹⁾, 岡部俊成¹⁾, 向後俊昭¹⁾, 橋本 清¹⁾, 高田月彦, 田中洋介, 吉岡正智, 飯田英次²⁾, 山本 鼎²⁾, 前田昭太郎³⁾ (1)同小児科, 2)同放射線科, 3)同病理部): [展示] 大量下血によるショック症状を呈し, 注腸造影により診断しえたメッケル憩室の1乳児例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 中島米治郎, 吉岡正智, 高田月彦, 橋本正好, 高井 淳, 小川芳雄, 氏原泰之, 松田 健, 松本智司, 木村美保, 田中洋介¹⁾, 沖浜裕司¹⁾, 和田雅也¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 恩田昌彦³⁾ (1)同消化器科, 2)同病理部, 3)外科学第1): [一般講演] 原発性早期十二指腸球部癌の1例. 第216回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 11) 樋口勝美, 吉岡正智, 田中洋介, 橋本正好, 谷口善郎, 小川芳雄, 氏原康之, 高井 淳, 高田月彦, 吉村和泰, 前田昭太郎¹⁾, 恩田昌彦²⁾ (1)同病理部, 2)外科学第1): [一般講演] 乳癌手術症例の臨床的検討; 穿刺吸引迅速細胞診を中心として. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 12) 谷口善郎, 吉岡正智, 田中洋介, 中島米治郎, 橋本正好, 松田 健, 松本智司, 木村美保, 前田昭太郎¹⁾, 中川敬夫¹⁾, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (1)同病理部, 2)外科学第1): [一般講演] 乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の有用性. 第1回日本乳癌検診学会, 1991.
- 13) 木村美保, 吉岡正智, 中島米治郎, 橋本正好, 谷口善郎, 高田月彦, 氏原康之, 小川芳雄, 高井 淳, 松田 健, 松本智司, 田中洋介¹⁾, 恩田昌彦²⁾ (1)同消化器科, 2)外科学第1): [一般講演] 腹部打撲後の腸間膜断裂を伴った小腸壊死の1治験例. 第743回外科集談会, 1991.
- 14) 高井 淳, 吉岡正智, 中島米治郎, 高田月彦, 橋本正好, 谷口善郎, 氏原泰之, 小川芳雄, 松田 健, 松本智司, 木村美保, 田中洋介¹⁾, 沖浜裕司¹⁾, 和田雅世¹⁾, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (1)同消化器科, 2)外科学第1): [一般講演] 内視鏡的摘出術を施行しえた胃内異物(歯ブラシ)の2例. 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 15) 和田雅世, 吉岡正智, 中島米治郎, 谷口善郎, 小川芳雄, 長谷川博一, 松田 健, 渡辺 学, 松本智司, 木村美保, 田中洋介, 恩田昌彦¹⁾ (1)外科学第1): [一般講演] 悪性疾患術後, MRSA 腸炎を併発した2例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 16) 谷口善郎, 吉岡正智, 中島米治郎, 松田 健, 松本智司, 木村美保, 前田昭太郎¹⁾, 樋口勝美²⁾, 恩田昌彦²⁾ (1)同病理部, 2)外科学第1): [展示] 乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の意義. 第55回乳癌研究会, 1992.
- 17) 松田 健, 吉岡正智, 中島米治郎, 谷口善郎, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 渡邊 学, 木村美保, 松本智司, 田中洋介¹⁾, 沖浜裕司¹⁾, 恩田昌彦²⁾ (1)同消化器科, 2)外科学第1): [シンポジウム] 診断に困難をきたした急性虫垂炎 (主題: 診断に困難をきたした腹痛症例). 第4回多摩臨床シンポジウム, 1992.
- 18) 松田 健, 吉岡正智, 中島米治郎, 谷口善郎, 和田雅世, 小川芳雄, 長谷川博一, 木村美保, 松本智司, 田中洋介¹⁾, 沖浜裕司¹⁾, 恩田昌彦²⁾ (1)同消化器科, 2)外科学第1): [一般講演] 診断に難渋した急性虫垂炎の1例; 最近10年間の手術例を中心として. 第18回日本腹部救急医学会, 1992.

- 19) 和田雅世, 吉岡正智, 中島米治郎, 谷口善郎, 小川芳雄, 長谷川博一, 松田 健, 渡辺 学, 松本智司, 木村美保: [一般講演] 悪性疾患の術後, MRSA 腸炎併発例の検討. 第44回城西外科研究会, 1992.

[多摩永山病院消化器科]

研究概要

当科は1990年10月に発足したばかりで, その基盤を整えつつあるところである. 各種消化器疾患の内視鏡的治療や, 画像診断の分野へも研究領域を広げるべく, 準備をすすめている.

研究テーマとしては, 田中助教授らが当院外科学教室にて着手した潰瘍性大腸炎に対する5-Aminosalicylic acid (5-ASA)の治療効果について, 当院薬剤科と協力して研究を続けている. 現在, 直腸炎型の潰瘍性大腸炎を対象にして, 在宅治療を可能にする5-ASA 浣腸液を作製し, その治療効果について検討中である.

研究業績

論文

- 1) 谷口善郎, 吉岡正智, 田中洋介, 橋本正好, 樋口勝美, 加藤俊二, 長谷川博一, 吉村和泰, 小田 彰¹⁾, 山田智彦¹⁾ (同救命救急センター): [症例報告] 腐蝕性食道狭窄の1例. 多摩シンポ誌, 5, 35~40, 1991.
- 2) 橋本正好, 吉岡正智, 田中洋介, 谷口善郎, 樋口勝美, 小川芳雄, 高井 淳, 吉村和泰, 恩田昌彦¹⁾ (外科学第1): [総説] 大腸癌緊急手術症例の臨床的検討. 腹救診, 11, 696~700, 1991.

学会発表

- 1) 小嶋隆行, 恩田昌彦, 山下精彦, 伊藤誠二, 中島米治郎, 松倉則夫, 田代真一, 京野昭二, 有馬保生, 横井公良, 内田英二, 沖浜裕司, 中尾 充, 岡崎滋樹, 鳥羽昌二, 足立幹男: [一般講演] 飲酒による上部消化管多発潰瘍の1例. 第213回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 2) 陳 大志, 恩田昌彦, 中島米治郎, 林久太佳, 沖浜裕司, 京野昭二, 森山雄吉, 浅野伍朗¹⁾ (病理学第2): [一般講演] 虚血腸管における vasoactive intestinal peptide (VIP) の変動に関する免疫組織化学的研究; 特に prostaglandin E1 (PGE1) との関連について. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 3) 中島米治郎¹⁾, 吉岡正智¹⁾, 高田月彦¹⁾, 橋本正好¹⁾, 高井 淳¹⁾, 小川芳雄¹⁾, 氏原康之¹⁾, 松田 健¹⁾, 松本智司¹⁾, 木村美保¹⁾, 田中洋介¹⁾, 沖浜裕司¹⁾, 和田雅世, 前田昭太郎²⁾, 恩田昌彦³⁾ (多摩永山病院外科, ²⁾同病理部, ³⁾外科学第1): [一般講演] 原発性早期十二指腸癌の1例. 第216回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
- 4) 谷口善郎, 吉岡正智, 田中洋介, 橋本正好, 樋口勝美, 小川芳雄, 高井 淳, 吉松信彦, 加藤俊二, 長谷川博一, 的場文夫, 吉村和泰: [シンポジウム] 当科における AGML 症例の臨床的検討. 第10回多摩消化器シンポジウム, 1991.
- 5) 橋本正好, 吉岡正智, 田中洋介, 谷口善郎, 樋口勝美, 小川芳雄, 高井 淳, 吉松信彦, 加藤俊二, 長谷川博一, 的場文夫, 吉村和泰, 恩田昌彦¹⁾ (外科学第1): [ワークショップ] 大腸癌緊急手術症例の臨床的検討. 第16回日本腹部救急医学会総会, 1991.

10. 外科学第二講座

〔第一病院外科・付属病院胸部外科〕

研究概要

外科学第二講座は第一病院においては胸部外科以外のすべての外科疾患を取扱い、付属病院では主に胸部心臓血管疾患を診療の対象とし、以下に述べる項目を重点的に研究している。なお、第二病院外科と内視鏡科も本講座に含まれるが、これらの業績は別に記載される。

平成3年度の研究概要としては：

1) 心臓外科では虚血性心疾患に関する研究が多く、特に自家動脈利用のバイパスの成績がよい所からその利用法についての検索が行われている。

また、不整脈の外科治療に関する研究は教室の特に力を注ぐ所であり、徐脈、頻脈の治療に関する発表が多い。

2) 呼吸器疾患としては肺癌症例の増加は著しく、手術を中心としての集学的治療の研究が続けられている。

3) 消化器疾患の研究では大腸癌、肝癌の研究が主であり、低位前方切除の適応、肝切除術に関する耐術スコアの研究が主である。

4) 内分泌外科の業績は年と共に増加し、甲状腺、副腎の疾患で受診する者が多いので、それらに関する研究が目立つ。

5) 移植外科については海外留学より帰国した研究者も加え、研究グループも多人数となり、実験的には肝臓、臨床的には同種生体腎移植などの研究がすすめられている。

臨床的にはABO型不適合の間の移植もすすめられている。

6) 乳癌外科は他学との共同研究に加わり、手術+化学療法またはホルモン療法の成績を検討している。

7) 小児外科は珍しい症例の報告が今の所主である。

研究業績

論文

- 1) Kitamura, Y., Shimizu, K., Toshima, K., Watanabe, H., Nagahama, M., Sakai, Y., Akasu, H., Gotoh, M., Itoh, K. and Shoji, T.: [原著] Monoclonal antibody HISL-19asa marker for neuroendocrine tumors; A comparative study with monoclonal antibodies A2B5. 医学と薬学, 25, 998, 1991.
- 2) Nagahama, M., Shimizu, K., Yamada, N., Toshima, K., Ito, K., Sakai, Y., Kitamura, Y., Akasu, H., Kodaira, S., Hirai, K. and Shoji, T.: [原著] Clinical and immunohistochemical study of clear cell type of thyroid nodules. 医学と薬学, 25, 997, 1991.
- 3) 坂本俊樹, 庄司 佑, 横室公三¹⁾ (微生物免疫): [原著] 肝臓の hematolymphoid system; 再生肝における造血活性出現の機序. 日外会誌, 92, 428~440, 1991.
- 4) Matsushima, S., Shoji, T., Montefusco, C.M.¹⁾ and Veith, F.J.¹⁾ (Albert Einstein 医科大学): [速報] The effect of verapamil on ex-vivo rat lung preservation. J. Nippon Med. Sch., 58, 247~249, 1991.
- 5) 二宮淳一, 田中茂夫, 池下正敏, 浅野哲雄, 小坂真一, 松山 謙, 佐々木建志, 新田 隆, 加治正弘, 川本雅司, 林 晃一, 福島孝男, 別所竜蔵, 井村 肇, 庄司 佑: [原著] 弁膜症の外科と多臓器不全; その病態と対策. 日心外会誌, 20, 943~945, 1991.
- 6) 渡辺秀裕, 須田雍夫¹⁾, 原 栄一¹⁾, 田頭勇作¹⁾, 島村香世子 (埼玉県立がんセンター): [原著] 酵素抗体染色法による MC-P-450 の胃壁および肝組織内の活性; 特にその臨床応用の可能性について. 臨床病理, 39, 411~415, 1991.

- 7) 落 雅美, 寺田功一, 山内仁紫, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑:〔原著〕冠動脈病変合併例に対する下肢血行再建. 胸部外科, 44, 287~293, 1991.
- 8) 別所竜蔵, 田中茂夫, 加治正弘, 井村 肇, 朽方規喜, 杉本忠彦, 新田 隆, 佐々木建志, 小坂真一, 二宮淳一, 池下正敏, 庄司 佑:〔原著〕IABP 離脱時期決定の指標としての心筋酸素需給バランス値. 日心外会誌, 20, 1027~1029, 1991.
- 9) 小泉 潔, 田中茂夫, 富士崎隆, 塩田晶彦, 原口秀司, 真崎義隆, 師田哲郎, 庄司 佑, 川本雅司¹⁾(¹⁾病理第1):〔原著〕肺癌の気管支形成術の喀痰増加に関して;血行動態と肺血管外水分量からの検討. 日胸外会誌, 39, 381~387, 1991.
- 10) 秋丸琥甫, 浦田謙二, 斎藤 節, 清水一雄, 山田宣孝¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾第一病院病理):〔症例報告〕Castleman's lymphoma の2例. 日臨外会誌, 52, 908~914, 1991.
- 11) 渋谷哲男, 馬越正通, 大場英巳, 猪口正孝, 長浜充二, 渋谷純一, 庄司 佑, 山田宣孝¹⁾(¹⁾第一病院病理):〔症例報告〕膵と腎にみられた同時性重複癌の1例. 日臨外会誌, 52, 887~991, 1991.
- 12) 松島伸治, 川本雅司, 家所良夫, 小泉 潔, 五味潤誠, 日置正文, 秋丸琥甫, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑:〔原著〕縦隔腫瘍に対する外科治療の臨床的検討. 日臨外会誌, 52, 960~965, 1991.
- 13) 辻 順行, 藤好建史¹⁾, 高木幸一¹⁾, 高野正博¹⁾ (¹⁾大腸肛門病センター高野病院):〔原著〕肛門疾患術後における経皮的超音波検査の有用性. 日本大腸肛門病会誌, 3, 406~413, 1991.
- 14) 小坂真一, 田中茂夫, 加治正弘, 寺田功一, 新田 隆, 保坂浩希, 本田二郎, 林 晃一, 別所竜蔵, 井村 肇, 藤松利浩, 池下正敏, 二宮淳一, 庄司 佑:〔原著〕内胸動脈・右胃大網動脈併用による CABG; 30症例の検討. 日胸外会誌, 39, 684~686, 1991.
- 15) 酒井欣男, 森 秀樹, 陳 光永, 高橋 望, 天神敏博, 北 俊典, 庄司 佑:〔原著〕マイクロカプセル移植による癌間質誘導因子の検討. 日外会誌, 92, 615, 1991.
- 16) 五味潤誠, 庄司 佑:〔原著〕肺癌患者の術前評価;高齢者症例を中心に. 医学のあゆみ, 157, 517~520, 1991.
- 17) 豊島宏二, 清水一雄, 庄司 佑:〔原著〕モノクローナル抗体4F2による甲状腺腫瘍の免疫組織学的生化学研究. 内分泌外科, 8, 159~166, 1991.
- 18) 東 光邦, 隅越幸男¹⁾, 岩垂純一¹⁾, 小野力三郎¹⁾, 黄田正徳¹⁾, 山本清人¹⁾, 吉永栄一¹⁾, 小路泰彦¹⁾, 奥田哲也¹⁾ (¹⁾社会保険中央病院):〔原著〕直腸癌前方切除例の吻合法についての検討;機械吻合と手縫い吻合との比較. 日臨外会誌, 52, 1238~1242, 1991.
- 19) 塩谷 猛, 内山正一, 渥美 理¹⁾, 秋丸琥甫, 渋谷哲男, 庄司 佑 (¹⁾湯河原厚生年金病院):〔原著〕経皮内視鏡的胃瘻造設術の経験と pitfall. 日臨外会誌, 52, 1213~1219, 1991.
- 20) 松島伸治, 川本雅司, 本田二郎, 塩田晶彦, 小泉 潔, 田中茂夫, 庄司 佑:〔症例報告〕食道腺様嚢胞癌の1手術例;本邦および欧米報告62例の文献的考察を加えて. 日臨外会誌, 52, 1276~1280, 1991.
- 21) 松井 聡, 佐藤薫隆¹⁾, 為我井芳郎¹⁾ (¹⁾佼成病院):〔症例報告〕非特性多発性小腸潰瘍の1例. 消化器内視鏡の進歩, 38, 358~361, 1991.
- 22) 富田康弘¹⁾, 日下部輝夫¹⁾, 森 秀樹, 前田 隆, 津島秀史¹⁾(¹⁾日下部病院):〔症例報告〕癌化を伴った虫垂 villous tumor の1例. 日臨外会誌, 52, 1308~1312, 1991.
- 23) 笹井 巧, 榊原重泰, 原田 厚, 真崎義隆, 庄司 佑, 田中茂夫, 武井 裕:〔症例報告〕88歳の胸部食道癌の1手術例. 日臨外会誌, 52, 1281~1284, 1991.
- 24) 田中茂夫:〔総説〕虚血性心疾患に対する冠血行再建術の現況. 日医大誌, 58, 255~261, 1991.
- 25) 田中茂夫:〔原著〕レート応答型ペースメーカーの臨床的有用性の評価. 心臓ペースング, 7, 336~337, 1991.
- 26) 小坂真一, 田中茂夫, 庄司 佑:〔原著〕右室右胃大網動脈使用による冠状バイパス術標準術式と各種工夫. 手術, 45, 1269~1274, 1991.
- 27) 五味潤誠, 富士崎隆, 田中茂夫, 真崎義隆, 杉本忠彦, 秋山博彦, 庄司 佑:〔原著〕肺切除術後における運

- 動能の予測. 日胸外会誌, 39, 1166~1170, 1991.
- 28) 日置正文, 武井 裕, 矢野正雄, 渡辺一彦, 家所良夫, 松島伸治, 田中茂夫, 庄司 佑: [症例報告] 動脈起始異常を伴う総肝動脈瘤の1治験例. 日心外会誌, 20, 1313~1315, 1991.
- 29) 向井佐志彦, 佐藤薫隆¹⁾, 斎藤 節, 為我井芳郎¹⁾, 森藤栄太¹⁾ (¹⁾佼成病院): [原著] 進行乳癌に対する動注リザーバーによる術前局所療法の経験. 癌と化学療法, 18, 1972~1975, 1991.
- 30) 坂本俊樹, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物免疫): [総説] 肝再生における hematolymphoid system の動態. 医学のあゆみ, 158, 347~350, 1991.
- 31) 辻 順行, 藤好建史¹⁾, 高野正博¹⁾ (¹⁾高野病院): [原著] 経肛門の超音波検査による骨盤直腸窩感染病変の発生. 日大腸肛門病会誌, 44, 957, 1991.
- 32) 辻 順行, 藤好建史¹⁾, 高野博行¹⁾ (¹⁾高野病院): [原著] 大腸ポリペクトミーの基礎的実験. 日本大腸肛門病会誌, 44, 1040~1047, 1991.
- 33) 小泉 潔, 田中茂夫, 塩田晶彦, 原口秀司, 真崎義隆, 井村 肇, 庄司 佑, 川本雅司¹⁾ (¹⁾病理第1): [原著] 胸部単純写真による肺癌患者の簡便な術後肺機能予測; 術後肺合併症との関連において. 日胸外会誌, 39, 1758~1764, 1991.
- 34) 松島伸治, 家所良夫, 北浜秀男, 小泉 潔, 日置正文, 田中茂夫, 山手 昇, 庄司 佑: [原著] 原発性肺癌に対する局所注注入療法; 経縦隔的多剤注注入療法併用の試み. 胸部外科, 44, 838~843, 1991.
- 35) 矢島俊巳, 榊原高之¹⁾, 維田隆夫¹⁾, 恒元秀夫¹⁾, 大滝英二¹⁾, 鈴木 紳¹⁾ (¹⁾榊原記念病院心臓外科): [症例報告] 経皮的冠動脈形成術に合併した冠動脈内ワイヤー遺残に対するACバイパスの1例. 日胸外会誌, 39, 1813~1815, 1991.
- 36) 日置正文, 武井 裕, 増田 栄, 家所良夫, 庄司 佑: [症例報告] 左側下大静脈を伴った破裂性腹部大動脈瘤の1治験例. 日外会誌, 92, 1524~1527, 1991.
- 37) Mabuchi, A.¹⁾, Komuro, T.¹⁾, Saizawa, T.¹⁾, Sakamoto, T., Watari, E.¹⁾ and Yokomuro, K.¹⁾ (¹⁾微生物免疫): [原著] The liver the hemotolymphoid system; 1. The regulation of nylon passed spleen cell proliferation by active factors released from syngeneic nonparen chymol liver cells. J. Leukocyte Biology, 50, 402~411, 1991.
- 38) 小泉 潔, 田中茂夫, 塩田晶彦, 原口秀司, 師田哲郎, 真崎義隆, 井村 肇, 庄司 佑, 川本雅司¹⁾, 竹田善浩²⁾ (¹⁾病理第1, ²⁾麻酔科): [原著] 肺癌外科治療における右心機能の検討; 術前・術後急性期の右室駆出率の推移. 日胸外会誌, 39, 1839~1845, 1991.
- 39) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 庄司 佑: [原著] 冠動脈バイパス術における動脈グラフト吻合法. 胸部外科, 44, 912~914, 1991.
- 40) 陳 光永, 須田雍夫¹⁾, 内田 健二¹⁾, 秀島 周, 関根 毅¹⁾, 藤田吉四郎¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター): [原著] 膵液および胆汁内 CA19-9値とその血清値に及ぼす影響. 埼玉医師会誌, 26, 386~391, 1991.
- 41) 塩谷 猛, 佐藤薫隆¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 斎藤 節 (¹⁾佼成病院): [症例報告] 外傷後6年を経て発症した横隔膜ヘルニアの1治験例. 日臨外会誌, 52, 2641~2646, 1991.
- 42) 松島伸治, 日置正文, 家所良夫, 山本英希, 岩瀬和泉, 山田宣孝¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾第一病院病理): [症例報告] 肺原発性 malignant fibrous histocytoma の1手術例. 日臨外会誌, 52, 2636~2640, 1991.
- 43) 松島伸治, 田村浩一, 庄司 佑, Montefusco, C.M.¹⁾, Veith, F.J.¹⁾ (¹⁾Albert Einstein 大学外科): [原著] イヌ同種左肺移植後の左房拒絶反応の影響. 胸部外科, 44, 1006~1009, 1991.
- 44) 清水一雄, Eiseubarth, G.S.¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾ハーバード大学内科): [総説] 各種モノクローナル抗体を応用した内分泌疾患に対する組織的的化学研究と臨床応用. 日医大誌, 58, 615~620, 1991.
- 45) 清水一雄, 北村 裕, 長浜充二, 庄司 佑: [原著] 永続的甲状腺機能低下症に対する甲状腺移植の基礎的研究; 第1報 凍結保存甲状腺の自家移植について. 日外会誌, 92, 1728, 1991.

- 46) 長浜充二, 坂上信也, 中江純夫, 庄司 佑:〔原著〕上行結腸軸捻転症の1例. 日救急医学会関東誌, 12, 470~471, 1991.
- 47) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 井村 肇, 別所竜蔵, 藤松利浩, 師田哲郎, 庄司 佑:〔原著〕高齢者に対するCABG;特に動脈グラフト使用の是非について. 日外科系連合誌, 24, 71~74, 1991.
- 48) 為我井芳郎¹⁾, 佐藤薫隆¹⁾, 斎藤 節, 森越栄太¹⁾, (¹⁾佼成病院):〔症例報告〕IIC型早期大腸癌の1例. 消化器内視鏡の進歩, 39, 371~374, 1991.
- 49) 松山 謙, 田中茂夫, 二宮淳一, 浅野哲雄, 小泉 潔, 川本雅司, 大久保直子, 庄司 佑, 隈崎達夫¹⁾(¹⁾放射線科):〔症例報告〕膝窩動脈外傷膜囊腫の1治験例. 日心外会誌, 20, 1502~1507, 1991.
- 50) 松井 聡, 内山正一, 小熊将之, 高橋真佐司, 庄司 佑:〔症例報告〕一部癌化を示した残胃腺腫の1例. 日臨外会誌, 52, 2940~2943, 1991.
- 51) 佐々木建志, 田中茂夫, 池下正敏, 庄司 佑, 藤田良範¹⁾, 片桐 敬¹⁾, (¹⁾昭和大学医学部第3内科):〔症例報告〕心臓に原発した悪性線維性組織球腫の1手術例. 日胸外会誌, 39, 2240~2255, 1991.
- 52) 松島伸治, 山本英希, 清水一雄, 野崎 基, 家所良夫, 日置正文, 山田宣孝¹⁾, 庄司 佑(¹⁾第一病院病理):〔症例報告〕乳癌に縦隔内副甲状腺腫を合併した1手術症例. 臨床胸部外科, 11, 545~549, 1991.
- 53) Osaka, S., Tanaka, S., Ikeshita, M., Sakakibara, S., Nitta, T., Hosaka, H., Kutsukata, N. and Shoji, T.:〔原著〕Comparison of various types of rat-responsive pacemakers. Artificial Organs, 14 (supple. 4), 134~136, 1991.
- 54) Sakamoto, T., Mabuchi, A.¹⁾, Kuriya, S., Sudo, T., Aida, T.²⁾, Asano, G.²⁾, Shoji, T. and Yokomuro, T.¹⁾ (¹⁾微生物免疫, ²⁾病理第2):〔原著〕Production of granulocyte-macrophage colony-stimulating factor by adult murine parenchymal liver cells. Regional Immunology, 3, 260~267, 1991.
- 55) 五味潤誠:〔原著〕肺癌. 臨床看護, 17, 1056~1058, 1991.
- 56) Ninomiya, J., Tamura, K., Tanaka, S., Shoji, T. and Daikuzono, N.:〔原著〕Creation of atrial defect by Nd-YAG Laser. Laser Taipei '89', 1, 533~536, 1991.
- 57) Ninomiya, J., Tamura, K., Tanaka, S., Shoji, T. and Noishiki, Y.:〔原著〕Clinical study of vascular welding and angioplasty by Nd-YAG Laser. Laser Taipei '89', 1, 564~571, 1991.
- 58) 山下浩二, 坂本俊樹, 庄司 佑, 横室公三¹⁾(¹⁾微生物免疫):〔原著〕肥満細胞による肝実質細胞の増殖の制御. アレルギー, 41, 56~64, 1992.
- 59) 笹井 巧, 真崎義隆, 朽方規喜, 森岡晴記, 小泉 潔, 五味潤誠, 田中茂夫, 庄司 佑:〔原著〕大動脈瘤を合併した肺癌症例の検討. 日呼外会誌, 6, 57~71, 1991.
- 60) 小坂真一, 田中茂夫, 井村 肇, 山田研一, 秋山博彦, 佐々木建志, 池下正敏, 小泉 潔, 庄司 佑:〔原著〕開心術におけるエリスロポエチン少量投与による自己輸血法. 自己血輸血, 4, 172~175, 1991.
- 61) 秀嶋 周:〔原著〕腫瘍形成性慢性膵炎の1例. 埼玉医師会誌, 26, 741~746, 1991.
- 62) 真崎義隆, 田中茂夫, 五味潤誠, 小泉 潔, 三枝直紀, 森岡晴記, 原口秀司, 庄司 佑, 川本雅司¹⁾, 山手 昇²⁾(¹⁾病理第1, ²⁾聖マリアンナ医科大学第3外科):〔症例報告〕肋骨軟骨肉腫により右肺および右乳房を合併切除した1例. 手術, 46, 103~106, 1991.
- 63) 清水一雄:〔原著〕内分泌外科シリーズ:第1報 甲状腺疾患の診断と治療. 日医大誌, 59, 66~69, 1991.
- 64) 松島伸治:〔総説〕内視鏡下外科手術の現況. 日医大誌, 59, 95, 1991.
- 65) 五味潤誠, 富士崎隆, 田中茂夫, 若林武雄, 真崎義隆, 杉本忠彦, 福島孝男, 庄司 佑:〔原著〕肺手術症例の術前肺機能検査と運動負荷試験の比較. 日呼外会誌, 6, 120~124, 1991.
- 66) 東 光邦:〔原著〕DNA flow cytometryによる結腸および直腸癌の予後因子の検討;とくにCEAと細胞周期について. 日本大腸肛門病学会誌, 45, 154~160, 1991.
- 67) 渡辺秀裕:〔原著〕肝と胃壁の薬物代謝酵素P450に関する研究;胃癌症例におけるTegafur剤投与法の指標と

して. J. Jpn. Cancer Ther., 27, 619~628, 1991.

- 68) 掛川暉夫, 森 昌造, 藤巻雅夫, 渋谷哲男: [原著] 消化器疾患における経腸栄養剤 SNN-6010投与に関する臨床経過. 日本経腸栄養学会, 14, 212~227, 1992.
- 69) Sakamoto, T., Saizawa, T¹⁾, Mabuchi, A¹⁾, Norose, Y¹⁾, Shoji, T., Yokohama, K. (1)微生物免疫): The liver potencial hemotolymphoid organ examined from modi fications ocurring in the systemic and intrahepat hemotolymphoid system during liver regeneration after partial hepatectomy. Reginal Immunology, 4, 1~11, 1992.
- 70) 二宮淳一, 田中茂夫: [原著] 心内膜床欠損症. 治療, 74, 335~343, 1992.
- 71) 清水一雄: [原著] 正中頸嚢胞(甲状舌管嚢胞); 扁平上皮癌1例を含めた23例の臨床的検討. 日臨外会誌, 53, 504~509, 1992.

[前年度追加分]

- 1) 陳 光永, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾, 秀島 周, 藤田吉四郎¹⁾, 田久保海誉¹⁾, 高山昇二郎¹⁾ (1)埼玉県立がんセンター): [原著] 下大動脈平滑肉腫の1例. 埼玉医師会誌, 25, 824~829, 1990.
- 2) 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫¹⁾ (1)埼玉県立がんセンター): [原著] 肛門管癌の臨床病理学的検討. 日臨外会誌, 51, 2399~2404, 1990.
- 3) 須田雍夫¹⁾, 陳 光永, 内田健二¹⁾, 関根 毅¹⁾, 赤沢修吾¹⁾ (1)埼玉県立がんセンター): [原著] 胃癌の絶対非治癒切除例における MTX/5FU 時間差投与法の臨床成績. 埼玉医師会誌, 25, 323~328, 1990.
- 4) 関根 毅¹⁾, 陳 光水, 岩崎 茂¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 高山昇二郎¹⁾ (1)埼玉県立がんセンター): [原著] 肛門管癌症例の検討. 埼玉医師会誌, 25, 372~376, 1990.
- 5) 東 光邦, 隅越幸男¹⁾, 岩垂純一¹⁾ (1)社会保険中央病院): [原著] Mucosal prolapse syndrome の病態と治療. 胃と腸, 25, 1295~1300, 1990.
- 6) 須田雍夫¹⁾, 陳 光永, 三山健司¹⁾, 赤沢修吾¹⁾, 吉田清一¹⁾ (1)埼玉県立がんセンター): [原著] 胃癌における MTX/5FU 時間差投与法; 絶対非治癒切除例, 絶対治癒切除後再発胃癌例および meoajuvant chemotherapy としての使用例に対する治療成績. 日癌治療会誌, 26, 623~631, 1991.
- 7) 金子道也, 清水一雄, 庄司 佑: [原著] 甲状腺疾患と乳癌との関連; ラット甲状腺の各種実験的環境下における乳癌の組織化学的検討と臨床例の比較. 内分泌外科, 8, 77~84, 1991.

著 書

- 1) 庄司 佑, 池下正敏: [分担] 外科学(第3版). 朝倉書店, 1991.
- 2) 清水一雄: [分担] 看護過程にそった看護実践マニュアル; 内分泌系疾患患者の看護ケア. p. 377~424, 医学書院, 1991.
- 3) 五味潤誠: [分担] 看護過程にそった看護実践マニュアル; 呼吸器系疾患患者の看護ケア. p. 210~253, 医学書院, 1991.
- 4) 池下正敏: [分担] 人工臓器用語解説集. 金原出版, 1991.
- 5) 佐藤薫隆: [分担] 上部消化管疾患のまれな症例. メジカルビュー社, 1991.
- 6) 庄司 佑, 向井佐志彦, 徳竹 哲: 一般外科手術ガイド. 総合医学社, 1991.
- 7) Ninomiya, J., Shoji, T., Tanaka, S., Matsuyama, Y. and Takei, H.: [分担] A computer-assisted three dimensional image of thoracic aortic aneurysm from surgeon's view, (Matsumoto et al Edited), p. 195~197, Advances in Cardiovasucular Surgery Elsevier Science Publishers, 1991.
- 8) Tenjin, T.: [分担] Chromosomnes examied via fluorescence in situ hybridization. Flow cystometry and image analysis for clinical applications. p. 95~98, Elesevier Science Pub., 1991.

- 9) 清水一雄：〔分担〕内分泌外科，標準外科アトラス．p. 137～142，インターメルク，1992.
- 10) 田中茂夫：〔分担〕今日の循環器疾患治療方針 5・不整脈，植込み型除細動器（総編集細田瑛一）．p.207～209，医学書院，1992.
- 11) 田中茂夫：〔分担〕循環器疾患 最新の治療1992～1993，XI 不整脈，16植込み型除細動器．p. 376～378，南江堂，1992.
- 12) 佐藤薫隆：〔分担〕今日の治療方針（日野原重明，阿部正和監修）．医学書院，1992.
- 13) 坂本俊樹，馬淵綾子：〔分担〕肝再生をめぐる基礎と臨床“肝再生と hemotolymphoid system”東洋書店，1992.

学会発表

- 1) 内山正一，高橋真佐司，矢野正雄，渋谷哲男，庄司 佑：〔一般講演〕成因不明の総胆管内膜様物により閉塞性黄疸を来した1例．第217回消化器病学会関東支部例会，1991.
- 2) 新井 哲，富士崎隆，鈴木克敏，庄司 佑：〔一般講演〕消化管結石の1例．第741回外科集団会，1991.
- 3) 松木 久¹⁾，宮入 健⁽¹⁾日本歯科大学外科：〔一般講演〕十二指腸温存膵切除の経験とその問題点．第232回新潟外科集談会，1991.
- 4) 北 俊典，平野敏一¹⁾，山田宣孝¹⁾，浅野伍朗²⁾（¹⁾第一病院病理，²⁾病理第2）：〔一般講演〕胃癌の間質における血管の増生とその役割．第80回日本病理学会総会，1991.
- 5) 菅野重人，村上裕亜，福田 悠¹⁾，日下部守昭²⁾，坂倉照好²⁾，山中宣昭¹⁾，（¹⁾病理第1，²⁾理化学研究所真核生物研究室）：〔一般講演〕気管損傷後の上皮再生過程におけるテネイシン及びフィブロネクチンの分布と細胞増生．日本病理学会総会，1991.
- 6) 渋谷純一，中沢南堂¹⁾，浅野伍朗¹⁾（¹⁾病理第2）：〔一般講演〕細胞と細胞外マトリクスとの相互作用，特に線維芽細胞のコラーゲン基質収縮について．第80回日本病理学会，1991.
- 7) 馬越正通，渋谷哲男，大場英巳，秋丸琥甫，鈴木章一，庄司 佑：〔一般講演〕腸閉塞の治療方針；保存治療の適応．第91回日本外科学会総会，1991.
- 8) 二宮淳一，田中茂夫，池下正敏，落 雅美，小坂真一，武井 裕，新田 隆，寺田功一，山内仁紫，杉本忠彦，庄司 佑：〔一般講演〕高齢者（70歳以上）心臓．大血管手術時の体外循環法の研究．第91回日本外科学会総会，1991.
- 9) 天神敏博，酒井欣男，高橋 望，庄司 佑：〔一般講演〕癌細胞に対して各染色体に対する whole painting DNAプローブを用いた fluorescence in situ hybridization による染色．第91回日本外科学会総会，1991.
- 10) 清水一雄，北村 裕，長浜充二，秋丸琥甫，田村 恵，伊藤国彦¹⁾，庄司 佑（¹⁾伊藤病院）：〔一般講演〕永続的甲状腺機能低下症に対する甲状腺移植の基礎的研究．第91回日本外科学会総会，1991.
- 11) 池下正敏，田中茂夫，浅野哲雄，落 雅美，小坂真一，武井 裕，新田 隆，庄司 佑，田中啓治¹⁾，高野照夫¹⁾（¹⁾CCU）：〔一般講演〕急性心筋梗塞に伴う重複心筋破裂例に対する外科治療の検討．第91回日本外科学会総会，1991.
- 12) 渡辺一彦，秋丸琥甫，朝戸健夫，後藤 学，吉川 昇，吉尾 隆，家所良夫，松島伸治，日置正文，庄司 佑：〔示説〕小腸による気管再建の実験的研究．第91回日本外科学会総会，1991.
- 13) 五味潤誠，田中茂夫，笹井 巧，富士崎隆，塩田晶彦，森岡晴記，真崎義隆，秋山博彦，庄司 佑：〔示説〕肺切除術後心肺機能の予測；機能回復と温存のために．第91回日本外科学会総会，1991.
- 14) 酒井欣男，森 秀樹，陳 光永，高橋 望，竹田裕之，天神敏博，北 俊典，山田宣孝¹⁾，庄司 佑（¹⁾第一病院病理）：〔一般講演〕マイクロカプセルを用いた癌間質反応の研究．第91回日本外科学会総会，1991.
- 15) 小坂真一，田中茂夫，落 雅美，新田 隆，寺田功一，杉本忠彦，山内仁紫，池下正敏，庄司 佑：〔一般講演〕Retrograde cardioplegia が極めて有効であった redo MVR，TUR+AVP の1例．第15回日本心筋保護研究会，1991.

- 16) 小坂真一, 田中茂夫, 井村 肇, 山田研一, 秋山博彦, 佐々木建志, 池下正敏, 小泉 潔, 庄司 佑:〔一般講演〕開心術におけるエリスロポエチン少量投与による自己血輸血法. 第4回自己血輸血研究会, 1991.
- 17) 秋山博彦, 田中茂夫, 小坂真一, 新田 隆, 杉本忠彦, 寺田功一, 二宮淳一, 池下正敏, 庄司 佑:〔一般講演〕術前採血により症状悪化したCABGの2症例. 第4回自己血輸血研究会, 1991.
- 18) 五味潤誠, 田中茂夫, 富士崎隆, 若林武雄, 塩田晶彦, 森岡晴記, 原口秀司, 杉本忠彦, 真崎義隆, 保坂浩希, 秋山博彦, 庄司 佑:〔一般講演〕肺切除術後運動能の指標としての $\dot{V}O_2/\dot{V}_E$ の有用性について. 第31回日本胸部疾患学会総会, 1991.
- 19) 吉村明修¹⁾, 弦間昭彦¹⁾, 吉森浩三¹⁾, 林原賢治¹⁾, 渋谷昌彦¹⁾, 仁井谷久暢¹⁾, 小泉 潔, 五味潤誠, 塩田晶彦, 田中茂夫, 庄司 佑, 片山信仁²⁾, 本田一義²⁾, 恵畑欣一²⁾, 川本雅司³⁾, 山中宣昭³⁾, 野村浩一郎, 長谷川浩一⁴⁾, 岩波 洋⁴⁾, 坪井栄孝⁴⁾ (1)呼吸器科, 2)放射線科, 3)病理第1, 4)慈山会医学研究所坪井病院):〔一般講演〕非小細胞癌に対する術前化学療法の検討. 第31回日本胸部疾患学会総会, 1991.
- 20) 清水一雄, 小平祐造, 長浜充二, 酒井欣男, 井出道也, 渡辺秀裕, 平井恭二, 庄司 佑:〔一般講演〕不可逆性甲状腺機能低下症に対する甲状腺移植の基礎的研究. 第3回日本内分泌学会総会, 1991.
- 21) 北村 裕, 清水一雄, 長浜充二, 庄司 佑:〔示説〕甲状腺機能低下症の創傷治癒に及ぼす影響. 第3回日本内分泌外科学会総会, 1991.
- 22) 長浜充二, 清水一雄, 渡辺秀裕, 山田宣孝¹⁾, 北 俊典, 庄司 佑 (1)第一病院病理):〔一般講演〕モノクローナル抗体HISL-19による消化管腫瘍の組織化学的検討. 第3回日本内分泌外科学会総会, 1991.
- 23) 五十嵐健人, 清水一雄, 豊島宏二, 尾崎修武, 保田健太郎, 杉野公則, 山下共行, 伊原國彦, 庄司 佑:〔一般講演〕TSH suppressionにより著明な縮小効果を示した甲状腺乳頭癌の1例. 第3回日本内分泌外科学会総会, 1991.
- 24) 松島伸治, 五十嵐健人, 相田成隆, 小平祐造, 鈴木成治, 石王道人, 井出道也, 家所良夫, 日置正文, 秋丸琥甫, 庄司 佑:〔一般講演〕肺癌骨転移の臨床的検討. 第8回日本呼吸器外科学会総会, 1991.
- 25) 五味潤誠, 田中茂夫, 小泉 潔, 笹井 巧, 塩田晶彦, 原口秀司, 真崎義隆, 杉本忠彦, 福島孝男, 朽方規喜, 秋山博彦, 大久保直子, 百束比古¹⁾, 庄司 佑 (1)形成外科):〔要望課題〕呼吸機能からみた胸壁再建術の問題点. 第8回日本呼吸器外科学会総会, 1991.
- 26) 五味潤誠, 富士崎隆, 田中茂夫, 秋山博彦, 福島孝男, 真崎義隆, 杉本忠彦, 森岡晴記, 塩田晶彦, 笹井 巧, 庄司 佑:〔要望課題〕肺切除後のquality of life:術後運動能力($\dot{V}O_2 \max$)の予測. 第8回日本呼吸器外科学会総会, 1991.
- 27) 笹井 巧, 榊原重泰, 原田 厚, 佐々木建志, 加治正弘, 朽方規喜, 真崎義隆, 原口秀司, 森岡晴記, 小泉 潔, 五味潤誠, 田中茂夫, 庄司 佑:〔一般講演〕大動脈瘤を合併した肺癌症例の検討. 第8回日本呼吸器外科学会総会, 1991.
- 28) 原口秀司, 田中茂夫, 松島伸治, 五味潤誠, 小泉 潔, 塩田晶彦, 真崎義隆, 井村 肇, 山田研一, 庄司 佑:〔展示〕肺癌外科治療に於ける術中血行動態の変動に関する検討. 第8回日本呼吸器外科学会総会, 1991.
- 29) 秋山博彦, 五味潤誠, 田中茂夫, 小泉 潔, 小坂真一, 笹井 巧, 塩田晶彦, 森岡晴記, 山内仁紫, 原口秀司, 真崎義隆, 福島孝男, 庄司 佑:〔一般講演〕人工血管による上大静脈血行再建例の検討. 第8回日本呼吸器外科学会総会, 1991.
- 30) 松島伸治, 星野有哉, 山本英希, 岩瀬和泉, 家所良夫, 日置正文, 山田宣孝, 庄司 佑:〔一般講演〕肺原発性malignant fibrous histiocytomaの1手術例. 第8回日本呼吸器外科学会総会, 1991.
- 31) 鈴木成治, 松島伸治, 江連 司, 有田 淳, 小平祐造, 家所良夫, 日置正文, 秋丸琥甫, 庄司 佑:〔一般講演〕転移性肺腫瘍に対する臨床的検討. 第8回日本呼吸器外科学会総会, 1991.
- 32) 津久井拓¹⁾, 坂本俊樹, 馬淵綾子¹⁾, 菊池京子¹⁾, 金子勝美²⁾, 須藤哲央¹⁾, 間 武雄³⁾, 浅野伍朗³⁾, 野村武夫⁴⁾, 横室公三¹⁾ (1)微生物免疫, 2)バイオマテリアル研究所, 3)病理第2, 4)内科第3):〔一般講演〕初代培養肝実質細

- 胞の産生する cytokine の研究. 第27回日本肝臓学会総会, 1991.
- 33) 斉藤 節, 佐藤薫隆: [一般講演]胃癌の切除腺決定のための内視鏡診断の役割. 第41回日本消化器内視鏡学会, 1991.
 - 34) 佐藤薫隆, 為我井芳郎, 森越栄太, 平塚秀雄: [一般講演] 試作された小腸電子内視鏡の使用経験について. 第41回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
 - 35) 秋丸琥甫, 江連 司, 渡辺秀裕, 小山寿雄, 大場英巳, 庄司 佑: [一般講演] 術前に穿刺吸引細胞診にて診断し得たアポクリ癌の1例. 第32回日本臨床細胞学会総会, 1991.
 - 36) 有田 淳, 秋丸琥甫, 小熊将之, 小山寿雄, 大場英巳, 矢野正雄, 渡辺一彦, 庄司 佑: [一般講演] 術前の穿刺吸引細胞診されたT. 微小乳癌(篩状癌)の1例. 第32回日本臨床細胞学会総会, 1991.
 - 37) 池下正敏, 田中茂夫, 浅野哲雄, 落 雅美, 武井 裕, 小坂真一, 佐々木建志, 新田 隆, 寺田功一, 別所竜蔵, 井村 肇, 庄司 佑: [一般講演] A型大動脈解離の急性期治療; 種々病態に応じた治療方針の選択の必要性. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 38) 日置正文, 家所良夫, 鈴木成治, 小平祐造, 松島伸治, 田中茂夫, 庄司 佑: [一般講演] Extra-anatomic bypass術の再建術式と遠隔成績. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 39) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 落 雅美, 寺田功一, 新田 隆, 山内仁紫, 杉本忠彦, 庄司 佑: [一般講演] 有茎右胃大網動脈使用によるCABG; 特に術前・術後造影から見た適応と問題について. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 40) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 落 雅美, 寺田功一, 新田 隆, 別所竜蔵, 師田哲郎, 庄司 佑: [一般講演] 多種・複数動脈グラフト使用によるCABG; 内胸・右胃大網・下腹壁動脈の併用. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 41) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 小坂真一, 新田 隆, 寺田功一, 山内仁紫, 庄司 佑: [一般講演] 冠血行再建を必要とする症例への腸骨; 大腿動脈領域血行再建の重要性について. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 42) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 寺田功一, 山内仁紫, 庄司 佑, 浅野哲雄¹⁾, 山内茂生¹⁾ (総合会津中央病院): [一般講演] 教室の過去6年間における下肢動脈血行再建上の諸問題. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 43) 維田隆夫, 榊原高之¹⁾, 宮原 健, 天野隆臣, 金田英巳¹⁾, 林 晃一, 万納寺栄一¹⁾, 川瀬光彦¹⁾ (榊原記念病院): [一般講演] 心筋梗塞による心原性ショック. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 44) 池下正敏, 田中茂夫, 浅野哲雄, 武井 裕, 原田 厚, 新田 隆, 矢島俊巳, 杉本忠彦, 山田研一, 秋山博彦, 庄司 佑: [一般講演] 心室頻拍に対する外科治療の検討; 特に32ch マッピング装置の有用性. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 45) 師田哲郎, 田中茂夫, 池下正敏, 宇都宮英敏, 矢島俊巳, 朽方規喜, 田所裕之¹⁾, 庄司 佑 (1)外科第2): [一般講演] 拍動流逆行性冠灌流による心筋保護法の検討. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 46) 二宮淳一, 新田 隆, 寺田功一, 山内仁紫, 杉本忠彦, 師田哲郎, 井村 肇, 山田研一, 武井 裕, 田中茂夫, 庄司 佑: [ビデオセッション] 三心房心, 心房中隔欠損, 右側上大静脈右房(左側心房)還流, unroofed coronary sinus, 左室流出路狭窄を伴ったcorrected TGA (IDD) c Levocardia に対する手術. 第21回日本心臓血管外科学会総会, 1991.
 - 47) 向井佐志彦, 佐藤薫隆, 斉藤 節, 為我井芳郎, 森越栄太, 渡辺一彦, 松井 聡, 増田 栄, 塩谷 猛: [示説] 進行乳癌に対する動注リザーバーによる術前局所療法経験. 第13回癌局所療法研究会総会, 1991.
 - 48) 秀嶋 周, 関根 毅: [一般講演] 大腸悪性リンパ腫の臨床病理学的検討. 第214回日本消化器病学会関東支部例会, 1991.
 - 49) 山下浩二, 坂本俊樹, 横室公三¹⁾ (1)微生物免疫): [一般講演] 肥満細胞による培養肝実質細胞の促進. 第27回

日本肝臓学会総会, 1991.

- 50) 田中茂夫:〔シンポジウム〕心筋梗塞に対する外科的治療. 日本医科大学医学部第1回公開シンポジウム, 1991.
- 51) 長淵綾子, 坂本俊樹, 津久井拓¹⁾, 平野文也, 渡理英一¹⁾, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物免疫):〔一般講演〕マウス初代肝非実質細胞の培養上清によって誘導される脾細胞の増殖と分化. 第7回初代培養肝細胞研究会, 1991.
- 52) 津久井拓¹⁾, 坂本俊樹, 馬淵綾子¹⁾, 菊池京子¹⁾, 須藤哲央, 間 武雄²⁾, 浅野伍朗²⁾, 野村武夫³⁾, 横室公三¹⁾ (¹⁾微生物免疫, ²⁾病理第2, ³⁾内科第3):〔一般講演〕マウス初代培養肝実質細胞の産生する cytokine. 第7回初代培養肝細胞研究会, 1991.
- 53) 金田英巳, 龍野勝彦¹⁾, 菊池利夫¹⁾, 高橋幸宏¹⁾, 万納寺栄一¹⁾, 維田隆夫, 榊原高之¹⁾, 川瀬光彦¹⁾(¹⁾榊原記念病院):〔一般講演〕Fallot 四徴症心内修復後の遠隔成績の検討;とくに右室肺動脈再建法との関係. 第28回日本小児外科学会総会, 1991.
- 54) 本田二郎, 常本 実, 島田宗洋¹⁾, 太田喜義¹⁾, 石沢 瞭¹⁾, 小池一行¹⁾, 赤木美智男¹⁾, 小林 順¹⁾(¹⁾国立小児病院):〔一般講演〕EPTFE 管を用いた短絡手術の遠隔成績, とくに開存性について. 第28回日本小児外科学会総会, 1991.
- 55) 真崎義隆¹⁾, 山本光伸, 西村仁志, 出雲俊之¹⁾ (¹⁾胸部外科):〔一般講演〕胸腺脂肪腫の1症例. 第78回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 56) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 小坂真一, 新田 隆, 寺田功一, 山内仁紫, 井村 肇, 庄司 佑, 武井 裕¹⁾ (¹⁾聖マリアンナ医科大学第3外科):〔一般講演〕進行性高ビリルビン血症を合併した重症大動脈弁狭窄症の1治験例. 第78回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 57) 松本孝三¹⁾, 龍野勝彦¹⁾, 菊池利夫¹⁾, 高橋幸宏¹⁾, 林 晃一, 天野隆臣, 村上保夫¹⁾, 岩本眞理¹⁾(¹⁾榊原記念病院):〔一般講演〕左足果部感染由来の MRSA 心内膜炎による MR を伴う増幅弁周囲腫瘍に膿腔パッチ閉鎖と MVR を施行した1症例. 第78回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 58) 寺田功一, 田中茂夫, 二宮淳一, 落 雅美, 山内仁紫, 杉本忠彦, 庄司 佑, 平山恒夫¹⁾, 小川俊一¹⁾, 日野佳昭¹⁾, 勝部康弘¹⁾ (¹⁾小児科):〔一般講演〕心房中隔欠損作成後, 二期的に Senning 手術をおこなった TGA (I型) の1治験例. 第78回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 59) 本田二郎, 常本 実, 島田宗洋¹⁾, 太田喜義¹⁾, 小川展二¹⁾, 石澤 瞭¹⁾, 小池一行, 赤木美智男¹⁾, 小林 順¹⁾, 磯田貴義¹⁾, 池下正敏, 原田 厚 (¹⁾国立小児病院循環器科):〔一般講演〕ASD を合併した心室性頻拍の1手術治験例. 第78回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 60) 原口秀司, 田中茂夫, 池下正敏, 小泉 潔, 塩田晶彦, 井村 肇, 山田研一, 秋山博彦, 庄司 佑:〔一般講演〕肋骨から発生したと思われる動脈瘤様骨嚢腫の1切除例. 第741回外科集談会, 1991.
- 61) 上砂光裕¹⁾, 関 隆志¹⁾, 深澤隆治¹⁾, 勝部康弘¹⁾, 神保 修¹⁾, 日野佳昭¹⁾, 小川俊一¹⁾, 平山恒夫¹⁾, 二宮淳一, 田中茂夫 (¹⁾小児科):〔一般講演〕大動脈嚢状中膜壊死と annulo-aortic ectasia を認め, 幼時早期より AR を合併した VSD (I) の1例. 第27回日本小児科循環器学会総会, 1991.
- 62) 矢島俊巳, 田中啓治¹⁾, 師田哲郎, 亀井真一郎¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一²⁾, 池下正敏, 田中茂夫 (¹⁾集中治療室, ²⁾内科第1):〔一般講演〕経皮の人口心肺装置 (PCPS) を用いて救命しえた左室自由壁破裂の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第140回例会, 1991.
- 63) 小坂真一, 田中茂夫, 井村 肇, 別所竜蔵, 杉本忠彦, 師田哲郎, 寺田功一, 落 雅美, 池下正敏, 庄司 佑:〔シンポジウム〕高齢者の心臓血管病変の外科治療;高齢者に対する CABG. 第16回日本外科系連合学会, 1991.
- 64) 天神敏博, 庄司 佑:〔シンポジウム〕DNA probe を利用した fluorescence in situ hybridization (FISH) 法による染色体異常の観察. 第11回フローサイトメトリー学会総会, 1991.
- 65) 田中茂夫:〔シンポジウム〕不整脈の非薬物療法;植込み型除細動器療法. 第6回日本心臓ペースング学会大会, 1991.
- 66) 保坂浩希, 若林武雄, 田中茂夫, 本田二郎, 杉本忠彦, 矢島俊巳, 武井 裕, 日置正文, 池下正敏, 庄司 佑:

- [一般講演] Screw-in lead の有用性についての検討. 第 6 回日本心臓ペースング学会学術大会, 1991.
- 67) 杉本忠彦, 田中茂夫, 池下正敏, 師田哲郎, 朽方規喜, 井村 肇, 庄司 佑: [一般講演]心拍応答型ペースメーカーにおける心拍数の変化と心筋酸素需要供給バランス (SDR) に関する検討. 第 6 回日本心臓ペースング学会学術大会, 1991.
- 68) 池下正敏: [一般講演]心臓急死予防における植込型除細動器療法の意義と将来の展望. 第 6 回日本心臓ペースング学会学術大会, 1991.
- 69) 田中茂夫, 杉本忠彦, 池下正敏, 庄司 佑: [シンポジウム]ペースメーカーの現状と将来. 第 6 回日本心臓ペースング学会学術大会, 1991.
- 70) 井村 肇, 田中茂夫, 池下正敏, 浅野哲雄, 家所良夫, 原田 厚, 新田 隆, 別所竜蔵, 庄司 佑: [一般講演]外科的房室ブロック作成術患者の長期予後について. 第 6 回心臓ペースング学会学術大会, 1991.
- 71) 原田 厚, 池下正敏, 新田 隆, 庄司 佑: [一般講演]我々の開発した32チャンネルマッピングシステムーその2ー. 第 5 回不整脈外科研究会, 1991.
- 72) 秋山博彦, 田中茂夫, 池下正敏, 浅野哲雄, 原田 厚, 新田 隆, 山田研一, 庄司 佑: [一般講演]Perinodal cyomodification の 3 例. 第 5 回不整脈外科研究会, 1991.
- 73) 長浜充二, 坂上慎也, 中江純夫¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾目白病院): [症例]上行結腸軸捻転症の 1 例. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 74) 為我井芳郎, 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 齊藤 節, 森越栄太, 渡辺一彦, 田中良明, 松井 聡, 塩谷 猛, 小松原登: [一般講演] IIC 型横行結腸早期癌の 1 例. 第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 75) 齊藤 節, 佐藤薫隆, 為我井芳郎, 向井佐志彦, 森越栄太, 渡辺一彦, 松井 聡, 増田 栄, 塩谷 猛, 小松原登: [一般講演] 大きさ11mm の IIC 類似型大腸癌の 1 例. 第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 76) 池下正敏, 田中茂夫, 浅野哲雄, 新田 隆, 庄司 佑: [シンポジウム]開心術症例における致死性心室性不整脈の植込み型除細動器療法に関する検討. 第 4 回植込み型除細動器公開シンポジウム, 1991.
- 77) 師田哲郎, 田中茂夫, 池下正敏, 朽方規喜, 田所裕之, 庄司 佑: [一般講演] Pulsatile retrocardioplegia の心筋保護の検討; 左室 Emax による評価. 第30回日本 ME 学会大会, 1991.
- 78) 杉本忠彦, 田中茂夫, 山内仁紫, 師田哲郎, 朽方規喜, 保坂浩希, 井村 肇, 庄司 佑: [一般講演]心拍数の変化と心筋酸素需要供給バランス (SDR) に関する検討. 第30回日本 ME 学会大会, 1991.
- 79) 森越栄太, 佐藤薫隆, 齊藤 節, 為我井芳郎: [一般講演]術後 MRSA 腸炎の対策: 特に耐性乳酸菌製剤投与の効果について. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 80) 為我井芳郎, 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 齊藤 節, 森越栄太, 渡辺一彦, 松井 聡, 増田 栄, 塩谷 猛: [一般講演] IIC 類似型大腸癌 (大きさ1.0mm 以下) の臨床病理学的検討. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 81) 秀嶋 周, 関根 毅: [一般講演]大腸癌の臨床病理学的検討. 第38回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 82) 田代知子¹⁾, 齊藤 敦¹⁾, 山田慎二¹⁾, 小黒 仁¹⁾, 田代成元²⁾, 宮入 健(¹⁾田代消化器科病院内科): [一般講演]比較的短期間に発育したと思われる隆起性胃癌の 3 例. 第54回新潟消化器病研究会, 1991.
- 83) 渋谷哲男, 馬越正通, 大場英己, 鈴木章一, 猪口正孝, 渋谷純一, 塩谷 猛, 庄司 佑: [一般講演]Comparison of low anterior resection with abdomino perineal resection. The 34th World Congress of Surgery of the ISS/SIC and 12th World Congress of CICD, 1991.
- 84) 日置正文, 家所良夫, 加藤秀和, 小平祐造, 鈴木成治, 松島伸治, 庄司 佑: [一般講演]Prevention of pericardial adhesions in the rabbit with Batroxobin. The 34th World Congress of Surgery of the ISS/SIC and 12th World Congress of CICD, 1991.
- 85) 渡辺一彦, 秋丸琥甫, 朝戸健夫, 吉川 晃, 後藤 学, 吉尾 隆, 家所良夫, 松島伸治, 日置正文, 庄司 佑: [一般講演] Tracheal recostruction with intestine. The 34th World Congress of Surgery of the ISS/SIC and 12th World Congress of CICD, 1991.

- 86) 齊藤 節, 秋丸琥甫, 岩瀬和泉, 渡辺一彦, 小平祐造, 鈴木章一, 松井 聡, 坂本俊樹, 秀嶋 周, 庄司 佑 : [一般講演] Subcutaneous, portal and arterial reservoirs for chemotherapy of 42 nonresectable liver carcinoma patient. The 34th World Congress of Surgery of the ISS/SIC and the World Congress CICD, 1991.
- 87) 井出道也, 大場英巳, 秋丸琥甫, 渋谷哲男, 清水一雄, 岩瀬和泉, 小熊将之, 吉川 晃, 須田浩充, 庄司 佑, 荒牧長門¹⁾, 松久威史¹⁾, 角田誠之¹⁾, 出光豊明¹⁾, 大島 博¹⁾ (¹⁾内視鏡科) : [示説] 腹腔鏡下胆嚢摘出術 5 例の検討. 第 2 回内視鏡下外科研究会, 1991.
- 88) 向井佐志彦, 佐藤薫隆, 齊藤 節, 為我井芳郎, 森越栄太, 鈴木章一, 松井 聡, 増田 栄, 塩谷 猛 : [一般講演] 乳癌における核 DNA plindy pattern の臨床検討. 第 9 回癌 DNA 研究会, 1991.
- 89) Ninomiya, J., Tanaka, S., Yamauchi, S., Terada, K., Yamauchi, H., Sugimoto, T., Bessho, R., Shoji, T., Takano, T. and Nose, Y. : [一般講演] Clinical evaluation of various types of right heart assist. 第 8 回国際人工臓器学会, 1991.
- 90) Ninomiya, J., Tanaka, S., Yamauchi, S., Nitta, T., Terada, K., Yamauchi, H., Sugimoto, T., Shoji, T. and Noishiki, Y. : [一般講演] Application of new biological grafts for small caliber vascular prosthesis. 第 8 回国際人工臓器学会, 1991.
- 91) 北村 裕, 清水一雄, 長浜充二, 豊島宏二, 井出道也, 五十嵐健人, 伊藤國彦, 庄司 佑 : [一般講演] 凍結保存パセドウ病甲状腺組織片のホルモン産生能について; 培養組織における比較検討. 第 24 回甲状腺外科検討会, 1991.
- 92) 秋丸琥甫, 齊藤 節, 田中宏治, 家所良夫, 須田浩充, 相田成隆, 今井 茂, 岩瀬和泉, 渋谷哲男, 庄司 佑 : 肝癌の局所化学療法における薬剤の選択. 第 10 回リザーバー研究会, 1991.
- 93) Ikeshita, M., Tanaka, S., Hioki, M., Asano, T., Ochi, M., Onaka, S., Takei, H., Iedokoro, Y., Harada, A., Yamada, T., Shoji, T. and Tunemoto, M. : [一般講演] Surgical considerations regarding one-stage operations for tachyarrhythmias in patients with other cardiac abnormalities. 第 20 回国際心臓血管外科学会, 1991.
- 94) 北 俊典, 平野敏一¹⁾, 竹田裕之, 庄司 佑, 浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理第 2) : [示説] ヒト胃癌における細胞外基質の免疫組織化学的検討. 第 50 回日本癌学会総会, 1991.
- 95) 天神敏博, 猪口正孝, 酒井欣男, 陳 光永, 三樹 忍, 竹田裕之, 高橋 望, 渡辺秀裕, 庄司 佑 : [示説] Whole painting DNA probes を利用した染色体転座の観察. 第 50 回日本癌学会総会, 1991.
- 96) 家所良夫, 日置正文, 江連 司, 平井恭二, 吉川 晃, 松井 聡, 増田 栄, 渋谷哲男, 庄司 佑 : [一般講演] 破裂性腹部動脈瘤の経験. 第 17 回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 97) 星野有哉, 渋谷哲男, 大場英巳, 日置正文, 松島伸治, 家所良夫, 小熊将之, 陣 光永, 庄司 佑 : [一般講演] 急性膵炎による門脈血栓症の 1 例. 第 17 回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 98) 渋谷純一, 相田成隆, Mwanatambwe, M., 庄司 佑 : [示説] Influence of tumor cells of collagen concentration in vitro. 第 50 回日本癌学会総会, 1991.
- 99) 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 齊藤 節, 為我井芳郎, 森越栄太, 鈴木章一, 塩谷 猛, 松井 聡, 増田 栄 : [一般講演] 早期胃癌縮小手術に関する検討. 第 59 回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 100) 秋丸琥甫, 庄司 佑 : [示説] 日本ではまれな肺癌, fibrolamellar type of HCC. 第 59 回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 101) 岡村憲子¹⁾, 松本光司¹⁾, 山田宣孝¹⁾, 馬杉洋三¹⁾, 葉山修陽²⁾, 飯野靖彦²⁾, 秋丸琥甫, 庄司 佑 (¹⁾第一病院病理, ²⁾内科第 2) : [展示] 第一病院で行われた腎移植症例の病理学的検討. 第 59 回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 102) 猪口正孝, 白石 敦, 渋谷純一, 田中昌彦, 浅野伍朗¹⁾, 渋谷哲男, 庄司 佑 (¹⁾病理第 2) : [展示] Thioacetamide 投与ラット肝における細胞外基質の動態. 第 59 回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 103) 山本英希, 浅野伍朗¹⁾, 大塚俊司²⁾, 松本光司²⁾, 山田宣孝²⁾, 庄司 佑 (¹⁾病理第 2, ²⁾第一病院病理) : [展示]

- 大腸早期癌の組織学的診断に関する研究；第1報 生検グループ分類・核DNA量・PCNAの発見の相関について。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 104) 大塚俊司¹⁾，早澤久美¹⁾，仲原昌子¹⁾，村瀬幸宏¹⁾，佐藤春明¹⁾，竹田数章¹⁾，山本英希，松本光司¹⁾，山田宣孝¹⁾ (¹⁾第一病院病理)：〔展示〕抗PCNA抗体による増殖細胞の染色性について；固定液および染色法の検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 105) 永井雄一，林 毅陸¹⁾，古井民一郎¹⁾，弓削邦夫¹⁾，太田秀穂¹⁾，平山恒夫²⁾，二宮淳一，田中茂夫 (¹⁾第二病院小児科，²⁾付属病院小児科)：〔展示〕学校心臓検診の精検で診断された冠静脈洞左房交通症，三心房心などまれな心内奇形を合併した修正大血管転換症 (IDD) の1例。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 106) 松久威史¹⁾，荒牧長門¹⁾，角田誠之¹⁾，出光豊明¹⁾，児玉朱音¹⁾，大島 博¹⁾，井出道也，大場英巳，秋丸琥甫，庄司 佑 (¹⁾内視鏡科)：〔展示〕腹腔内圧からみた腹腔鏡下胆嚢摘出術。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 107) 本田治久¹⁾，福生吉裕¹⁾，寺田由貴¹⁾，赫 彰郎¹⁾，秋丸琥甫 (¹⁾内科第2)：〔展示〕胸腺摘出ウサギモデルの作製。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 108) 秋丸琥甫，渡辺一彦，今井 茂，岩瀬和泉，庄司 佑，藤堂 省，岩月舜三郎，Starzl, T.E.¹⁾ (¹⁾ピッツバーグ大学病院外科)：レシピエントのIVCを温存した肝移植術式；Piggyback operation。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 109) 上砂光裕¹⁾，関 隆志¹⁾，深澤隆治¹⁾，勝部康弘¹⁾，神保 修¹⁾，日野佳昭¹⁾，小川俊一¹⁾，平山恒夫¹⁾，二宮淳一²⁾，田中茂夫²⁾，(¹⁾付属病院小児科，²⁾胸部外科)：〔展示〕大動脈嚢状中膜壊死とannulo-aortic ectasiaを認め，幼児早期よりARを合併したVSD (I) の1例。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 110) 本田治久¹⁾，福生吉裕¹⁾，寺田由貴¹⁾，赫 彰郎¹⁾，秋丸琥甫 (¹⁾内科第2)：〔展示〕胸腺摘出ウサギモデルの作製。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 111) 早瀬久美¹⁾，大塚俊司¹⁾，佐藤春明¹⁾，仲原昌子¹⁾，村瀬幸宏¹⁾，山本英希，松本光司¹⁾，山田宣孝¹⁾ (¹⁾第一病院病理)：〔展示〕乳癌手術材料のO取扱いに関する提案。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 112) 中川敬夫¹⁾，加藤圭子¹⁾，東 敬子¹⁾，百田光弘¹⁾，前田昭太郎¹⁾，佐藤春明²⁾，村瀬幸宏²⁾，仲原昌子²⁾，竹田数章²⁾，山田宣孝²⁾，北村 裕³⁾ (¹⁾多摩永山病院病理，²⁾第一病院病理，³⁾伊藤病院)：〔展示〕甲状腺疾患の細胞診断学的特徴；濾胞腺腫，濾胞癌の鑑別点。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 113) 松本光司¹⁾，大塚俊司¹⁾，山本英希，山田宣孝¹⁾ (¹⁾第一病院病理)：〔展示〕乳癌症例とホルモンレセプターの検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 114) 菅野重人¹⁾，福田 悠¹⁾，山中宣昭¹⁾，庄司 佑 (¹⁾病理第1)：〔一般講演〕気管損傷後の上皮再生過程における細胞外糖蛋白の免疫組織化学的検索。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 115) 山内仁紫，田中茂夫，二宮淳一，落 雅美，寺田功一，杉本忠彦，本田二郎，庄司 佑，平山恒夫¹⁾，小川俊一¹⁾，高野照夫²⁾ (¹⁾付属病院小児科，²⁾同集中治療室)：〔一般講演〕重症先天性疾患に対する外科的治療法との進歩と工夫。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 116) 秋丸琥甫，庄司 佑：〔展示〕移植肝の組織像。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 117) 塩塚正純¹⁾，百束比古¹⁾，大久保正智¹⁾，滝沢 康¹⁾，村上正洋¹⁾，佐藤善一郎¹⁾，五味潤誠，落 雅美，山内仁紫 (¹⁾形成外科)：〔展示〕われわれの漏斗胸手術。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 118) 野呂瀬嘉彦¹⁾，坂本俊樹¹⁾，横室公三¹⁾，市川安昭²⁾，山下和雄²⁾ (¹⁾微生物免疫，²⁾解剖第1)：〔展示〕培養肥満細胞の電顕試料作製法の工夫。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 119) 井出道也，松島伸治，大場英巳，秋丸琥甫，渋谷哲男，清水一雄，岩瀬和泉，小熊将之，吉川 晃，陳 光永，須田浩充，庄司 佑，荒牧長門¹⁾，松久威史¹⁾，角田誠之¹⁾，出光豊明¹⁾，大島 博¹⁾ (¹⁾内視鏡科)：〔一般講演〕当科における内視鏡下手術の現況と展望。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 120) 渡辺秀裕¹⁾，須田雅夫，庄司 佑 (¹⁾埼玉がんセンター腹部外科)：〔一般講演〕胃壁内の薬物代謝酵素MC-P450について；胃癌症例におけるTegafur剤投与のスクリーニングとして。第59回日本医科大学医学会総会，1991。

- 121) 中野一博¹⁾, 内山明美¹⁾, 秋丸琥甫, 新宅孝征²⁾, 永積 惇³⁾(¹⁾第一病院血液センター, ²⁾同中央検査室, ³⁾内科第2): [一般講演] 全血輸血療法の検討; 特に使用基準を中心に. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 122) 佐藤薫隆¹⁾, 向井佐志彦¹⁾, 斉藤 節¹⁾, 為我井芳郎¹⁾, 森越栄太¹⁾, 鈴木章一¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 松井 総¹⁾, 増田 栄¹⁾(¹⁾佼成病院外科): [一般講演] 早期胃癌縮小手術に関する検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 123) 山内茂生: [海外留学者講演] 心房粗動と左右心房の解離興奮伝播; 実験モデルによる心房粗動の解析. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 124) 内山明美¹⁾, 中野一博¹⁾, 秋丸琥甫, 新宅孝征²⁾, 永積 惇³⁾(¹⁾第一病院血液センター, ²⁾同中央検査室, ³⁾内科第2): [展示] 濃厚血小板の有用性と使用基準について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 125) 横山宗伯¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 鈴木恒道²⁾, 五味淵誠, 前田昭太郎³⁾, 山本 鼎⁴⁾, 鈴木仁子⁵⁾, 長澤紘一⁵⁾(病理第2, ²⁾付属病院病理, ³⁾多摩永山病院病理, ⁴⁾同放射線科, ⁵⁾同内科): [展示] 診断に難渋した肺3重癌の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 126) 山田宣孝¹⁾, 佐藤俊明¹⁾, 大塚俊司¹⁾, 松永光司¹⁾, 清水一雄, 庄司 佑, 竹田数章²⁾, 山本英希²⁾, 浅野伍朗²⁾(¹⁾第一病院病理, ²⁾病理第2): [展示] 甲状腺濾胞性病変の病理組織学的診断に関する研究; 第1報 異型線腫, 濾胞癌の血管侵襲像について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 127) 菅野重人: [一般講演] Histopathological evaluation of arterial graft materials for coronary artery bypass grafting. 第10回 Asian Congress Thoracic Cardiovascular, 1991.
- 128) 長浜充二, 清水一雄, 北村 裕, 庄司 佑: [一般講演] ラット凍結保存甲状腺組織の自家移植と甲状腺機能の変動についての検討. 第24回甲状腺外科検討会, 1991.
- 129) Toshima, K., Shimizu, K., Kubo, A., Nagahama, H., Ido, K., Ito, K. and Shoji, T.: [一般講演] Comparison between malignant lymphoma anaplastic carcinoma of the thyroid using ⁶⁷Ga, imaging, US and CT. European Congress of Radiology, 1991.
- 130) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 寺田功一, 山田研一, 秋山博彦, 井村 肇, 師田哲郎, 庄司 佑: [一般講演] 下大静脈1本脱血法が極めて有用であった Cabazol 再手術症例. 第79回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 131) 斉藤 聡¹⁾, 龍野勝彦¹⁾, 菊池利夫¹⁾, 高橋幸宏¹⁾, 松本幸三¹⁾, 林 晃一, 村上保夫²⁾(¹⁾榊原記念病院外科, ²⁾小児科): [症例報告] 1歳3ヵ月男児(7.5kg)の大動脈縮窄複合症術後, 大動脈弁下膜型狭窄症に対する Konno 手術の1治験例. 第79回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 132) 山内仁紫, 田中茂夫, 杉本忠彦, 原口秀司, 寺田功一, 二宮淳一, 深沢隆治¹⁾, 小川俊一¹⁾, 平山恒夫¹⁾, 庄司 佑(¹⁾小児科): [症例報告] 高度MRを伴った endomyocardial fibrosis の小児1手術治験例. 第79回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 133) 松山 謙, 高原 明¹⁾, 安武正弘²⁾, 早川弘一²⁾, 寺田功一, 田中茂夫(¹⁾保谷厚生病院循環器科, ²⁾内科第1): [一般講演] 超高速CTが診断に有用であった冠動脈起始異常症の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第141例会, 1991.
- 134) 北村 裕, 三村 孝¹⁾, 尾崎修武¹⁾, 杉野公則¹⁾, 岩渕 裕¹⁾, 河野通一¹⁾, 伊藤國彦¹⁾, 山下共行(¹⁾伊藤病院): [一般講演] 甲状腺血管腫の1例. 第742回外科集談会, 1991.
- 135) 日置正文, 家所良夫, 相田成隆, 松島伸治, 田中茂夫, 庄司 佑: [ビデオ] Superior-transseptal 法による僧帽弁置換術. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 136) 松島伸治, 吉川 晃, 鈴木成治, 北村 裕, 渡辺秀裕, 井出道也, 家所良夫, 日置正文, 秋丸琥甫, 渋谷哲男, 庄司 佑: [ビデオ] 自然気胸に対するレーザーによる内視鏡下手術. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 137) 宮原 健¹⁾, 川瀬光彦¹⁾, 細田隆夫, 万納寺栄一¹⁾, 林 晃一, 天野隆臣¹⁾, 斉藤 聡(¹⁾榊原記念病院): [一般講演] 経皮経静脈的僧帽弁交連裂開術(PTMC)後に外科治療を要した9症例の検討. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.

- 138) Fujimatsu, T., Thomson, D.S.¹⁾, Baird, D.K.¹⁾, Hughes, C.F.¹⁾, Hendel, N.D.¹⁾ and McCaughan, B.C.¹⁾ (¹⁾Royal prince Alfred Hospital): [一般講演] Reoperative coronary surgery in 253 patients. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 139) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 落 雅美, 山内仁紫, 井村 肇, 寺田功一, 杉本忠彦, 庄司 佑: [一般講演] CABGにおける有茎右胃大網動脈グラフトの選択に関する検討. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 140) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 矢島俊巳, 藤松利浩, 師田哲郎, 山田研一, 秋山博彦, 庄司 佑: [一般講演] 順行性及び逆行性併用による cardioplegia; CABG 症例における適応と効果について. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 141) 原田 厚, 池下正敏, 新田 隆, 寺田功一, 秋山博彦, 山田研一, 田中茂夫, 庄司 佑: [ビデオ] Potential distribution mapping を用いた WPW 症候群+AV node dual pathway の一期的手術. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 142) 池下正敏, 田中茂夫, 新田 隆, 寺田功一, 井村 肇, 山田研一, 庄司 佑, 亀井真一郎¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一²⁾, (¹⁾CCU, ²⁾内科第1): [ビデオ] 特発性心室頻拍 (VT) と心室細動 (Vf) を合併する若年者例に対する外科治療. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 143) 齊藤 聡¹⁾, 川瀬光彦¹⁾, 維田隆夫, 万納寺栄一¹⁾, 林 晃一, 宮原 健¹⁾, (¹⁾榊原記念病院): [展示] Carbomedics 弁の溶血性に関する検討; SJM 弁の比較を中心に. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 144) 本田二郎, 宮本 実¹⁾, 太田喜義¹⁾, 島田宗洋¹⁾ (¹⁾国立小児病院心臓血管外科): [展示] Blalock-Taussig 短絡手術 (BTS) の検討; 特に開存性と造影所見について. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 145) 二宮淳一, 田中茂夫, 小坂真一, 落 雅美, 寺田功一, 山内仁紫, 杉本忠彦, 井村 肇, 山田研一, 庄司 佑: [展示] CABG 術後右胃大網動脈グラフトの colour flow imaging. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 146) 山内茂生, Boineau, J.P., 川本知秀, 浅野哲雄, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑, Cox, J.L.: [一般講演] 心房粗動の外科治療; 拡大両心房切開の必要性. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 147) 二宮淳一, 田中茂夫, 池下正敏, 落 雅美, 小坂真一, 矢島俊巳, 寺田功一, 山内仁紫, 師田哲郎, 杉本忠彦, 庄司 佑, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾CCU): [一般講演] 急性心筋梗塞, 開心術後の重症心不全に対する補助循環, 特に圧補助の意義について. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 148) 陳 光永, 酒井欣男, 北 俊典, 須田浩充, 天神敏博, 高橋 望, 高橋真佐司, 井出道也, 清水一雄, 渋谷哲男, 庄司 佑, 山田宣孝¹⁾, 森 秀樹²⁾ (¹⁾第一病院病理, ²⁾日下部病院): [一般講演] 培養胃癌細胞被包マイクロカプセルを用いた癌間質反応の研究 (第2報). 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 149) 増田 栄, 佐藤薫隆, 齊藤 節, 向井佐志彦, 為我井芳郎, 鈴木章一, 松井 聡, 塩谷 猛: [一般講演] 低位前方切除後, 口側腸管の壊孔をきたした1例. 第742回外科集談会, 1991.
- 150) 新井 哲, 富士崎隆, 鈴木敏克¹⁾, 林 和徳¹⁾, 亀田治男¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾東急病院): [一般講演] 陶胃様胆嚢の1例. 第742回外科集談会, 1991.
- 151) 日置正文, 家所良夫, 江連 司, 星野有哉, 吉川 晃, 鈴木成治, 松井 聡, 庄司 佑: [一般講演] 破裂性大動脈瘤の外科治療. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 152) 二宮淳一, 庄司 佑, 田中茂夫, 落 雅美, 寺田功一, 山内仁紫, 田村浩一, 林 晃一, 本田二郎, 山田研一, 野一色泰晴¹⁾ (¹⁾横浜市大外科): [パネルディスカッション] 血管接着法; Laser と collagen を併用した vascular welding. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 153) 小坂真一, 田中茂夫, 井村 肇, 別所竜蔵, 落 雅美, 寺田功一, 庄司 佑, 弦間和仁, 伊藤公一郎, 大矢 徹¹⁾, 田島廣之¹⁾, 隈崎達夫¹⁾ (¹⁾放射線科): [一般講演] CABG における術前グラフト用右胃大動脈造影の必要性について. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 154) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 小坂真一, 新田 隆, 寺田功一, 山内仁紫, 庄司 佑: [一般講演] 腹部大動

- 脈以下下肢血行再建上の重篤な合併症について。第32回日本脈管学会総会，1991。
- 155) 池下正敏：〔パネルディスカッション〕植込型除細動器の適応の再検討。第29回日本人工臓器学会総会，1991。
- 156) 二宮淳一：〔パネルディスカッション〕小口径代用血管としての biological graft の臨床応用。第79回人工臓器学会大会，1991。
- 157) 松久威久¹⁾，荒牧長門¹⁾，角田誠之¹⁾，出光豊明¹⁾，大島 博¹⁾，井出道也，大場英巳，秋丸琥甫，庄司 佑⁽¹⁾内視鏡科)：〔展示〕腹腔鏡的胆嚢摘出時における腹腔内圧の変動について。第33回日本消化器病学会大会，1991。
- 158) 原口秀司，田中茂夫，五味洸誠，小泉 潔，塩田晶彦，真崎義隆，山田研一，秋山博彦，大久保直子，庄司 佑：〔示説〕高齢者肺癌の手術成績と合併症。第32回日本肺癌学会総会，1991。
- 159) 五味洸誠，富士崎隆，田中茂夫，平田 滋，若林武雄，森田晴記，原口秀司，真崎義隆，杉本忠彦，秋山博彦，大久保直子，庄司 佑：〔示説〕：肺切除後の運動時肺機能の変化について。第32回日本肺癌学会総会，1991。
- 160) 松島伸治，鈴木成治，吉川 晃，江連 司，山本英希，陳 光永，酒井欣男，家所良夫，日置正文，秋丸琥甫，庄司 佑，山田宣孝¹⁾ (¹⁾第一病院病理)：〔示説〕胸腺癌3例の臨床病理学的検討。第32回日本肺癌学会総会，1991。
- 161) 師田哲郎，田中茂夫，松島伸治，五味洸誠，小泉 潔，塩田晶彦，原口秀司，井村 肇，秋山博彦，大久保直子，庄司 佑：〔示説〕小型進行肺癌 (pT1N2) 症例の検討。第32回日本肺癌学会総会，1991。
- 162) 吉川 晃，松島伸治，小熊将之，平井恭二，星野有哉，家所良夫，日置正文，庄司 佑，中村謙一⁽¹⁾(耳鼻咽喉科)：〔示説〕肺癌術後に口蓋扁桃に転移を来した1例。第32回日本肺癌学会総会，1991。
- 163) 塩田晶彦，田中茂夫，松島伸治，五味洸誠，小泉 潔，若林武雄，笹井 巧，富士崎隆，原口秀司，師田哲郎，大久保直子，庄司 佑：〔示説〕進行肺癌外科治療の臨床的検討。第32回日本肺癌学会総会，1991。
- 164) 小泉 潔，田中茂夫，笹井 巧，富士崎隆，若林武雄，塩田晶彦，原口秀司，真崎義隆，師田哲郎，福島孝男，庄司 佑，川本雅司¹⁾，(¹⁾病理第1)：〔一般講演〕女性肺癌に対する外科治療の臨床的検討。第32回日本肺癌学会総会，1991。
- 165) 北村 裕，清水一雄，長浜充二，豊島宏二，赤須東樹，平井恭二，江連 司，伊藤國彦¹⁾，庄司 佑⁽¹⁾(伊藤病院)：〔示説〕甲状腺機能からみた凍結保存甲状腺の自家移植に関する基礎的研究。第53回日本臨床外科医学会総会，1991。
- 166) 松島伸治，吉川 晃，後藤 学，北村 裕，渡辺秀裕，岩瀬和泉，井出道也，家所良夫，日置正文，秋丸琥甫，渋谷哲男，庄司 佑：〔ビデオワークショップ〕レーザーによる自然気胸の内視鏡下手術。第53回日本臨床外科医学会総会，1991。
- 167) 日置正文，家所良夫，鈴木成治，吉川 晃，小平祐造，松島伸治，渋谷哲男，庄司 佑：〔ビデオクリニック〕新しい retractor を利用した腹膜外到達法による腹部大動脈瘤の手術。第53回日本臨床外科医学会総会，1991。
- 168) 渋谷哲男，大場英巳，猪口正孝，田中昌彦，渋谷純一，吉川 晃，庄司 佑：〔一般講演〕膵頭十二指腸切除後の膵管空腸吻合術の合併症について。第53回日本臨床外科医学会総会，1991。
- 169) 長浜充二，坂上信也¹⁾，中江純夫，庄司 佑⁽¹⁾目白第三病院)：〔一般講演〕急性虫垂炎の最近の動向；虫垂切除症例の臨床，病理学的検討より。第53回日本臨床外科医学会総会，1991。
- 170) 渡辺秀裕，山本英希，松井 聡，北村 裕，酒井欣男，長浜充二，清水一雄，大場英巳，渋谷哲男，庄司 佑：〔一般講演〕短期間に急激に悪性化を来した乳腺葉状嚢胞肉腫の1例。第53回日本臨床外科医学会総会，1991。
- 171) 小熊将之，天神敏博，庄司 佑：〔示説〕フローサイトメトリーを用いたアドリアマイシンの細胞動態への影響。第53回日本臨床外科医学会総会，1991。
- 172) 清水一雄，後藤 学，長浜充二，豊島宏二，井出道也，高橋 望，加藤訓久，庄司 佑：〔一般講演〕同一副腎に発生した褐色細胞腫と皮質腫瘍の1例；モノクローナル抗体 HISL-19による組織化学的検討。第53回日本臨床外科医学会総会，1991。
- 173) 鈴木章一，佐藤薫隆，向井佐志彦，斉藤 節，為我井芳郎，森越栄太，松井 聡，増田 栄，塩谷 猛，今井 茂：

- 〔一般講演〕大腸癌肝転移に対する肝切除例の臨床病理学的検討。第53回日本臨床外科医学会総会，1991.
- 174) 森越栄太，佐藤薫隆，斉藤 節，為我井芳郎，鈴木章一，松井 聡，増田 栄，塩谷 猛：〔一般講演〕消化器手術創ドレーン感染症の検討；特に MRSA 感染症について。第53回日本臨床外科医学会総会，1991.
- 175) 佐藤薫隆，向井佐志彦，斉藤 節，為我井芳郎，森越栄太，鈴木章一，塩谷 猛，松井 聡，増田 栄，平塚秀雄：〔一般講演〕小腸電子内視鏡による臨床応用の検討。第42回日本消化器内視鏡学会総会，1991.
- 176) 為我井芳郎，佐藤薫隆，向井佐志彦，斉藤 節，森越栄太，鈴木章一，松井 聡，増田 栄，塩谷 猛：〔一般講演〕IIC 類似進行型大腸癌（粘膜内癌巣1cm 以内）の臨床病理学的検討。第42回日本消化器内視鏡学会総会，1991.
- 177) 斉藤 節，佐藤薫隆，為我井芳郎，向井佐志彦，鈴木章一，森越栄太，塩谷 猛，山川達郎：〔一般講演〕当科における腹腔鏡的胆嚢摘出術の経験。第42回日本消化器内視鏡学会総会，1991.
- 178) 石王道人，石原聖久，柳田直樹，向井佐志彦，中山弘道，佐藤薫隆，茂古沼吉宗，川勝樹夫，隈崎達夫：〔一般講演〕気管支動脈瘻の1例。第390回日本医学放射線学会関東地方会，1991.
- 179) 宮本昌之¹⁾，坂本俊樹，西澤高士¹⁾，恩田昌彦¹⁾，横室公三²⁾（¹⁾外科第1，²⁾微生物免疫）：〔一般講演〕リンパ球の homing と肝類，洞細胞¥PNA 陽性細胞の肝への集積性。第21回日本免疫学会総会，1991.
- 180) 平野文也¹⁾，坂本俊樹，馬淵綾子¹⁾，横室公三¹⁾（¹⁾微生物免疫）：〔一般講演〕肝部分切除と再生の過程で肝臓，胸腺，脾臓に起るリンパ球 subpopulation の変動。第21回日本免疫学会総会，1991.
- 181) 津久井拓¹⁾，坂本俊樹，馬淵綾子¹⁾，菊池京子¹⁾，須藤哲夫²⁾，間 武雄²⁾，浅野伍朗²⁾，河路秀己²⁾，野村武夫³⁾，横室公三¹⁾（¹⁾微生物免疫，²⁾病理第2，³⁾内科第3）：〔一般講演〕肝実質細胞の産生する cytokine についてIII）；培養肝実質細胞に発現する IL-1mRNA。第21回日本免疫学会総会，1991.
- 182) 馬淵綾子¹⁾，坂本俊樹，楊 天慧，金子勝美，横室公三¹⁾（¹⁾微生物免疫）：〔一般講演〕肝臓の hematolymphoid system T 細胞の増殖と分化に及ぼす肝実質細胞の影響。第21回日本免疫学会総会，1991.
- 183) 秀嶋 周，須田雍夫¹⁾（¹⁾埼玉県立がんセンター）：〔示説〕胃悪性リンパ腫切除例の治療成績。第54回日本臨床外科学会総会，1991.
- 184) 斉藤 節，佐藤薫隆，向井佐志彦，為我井芳郎，鈴木章一，森越栄太，松井 聡，増田 栄，塩谷 猛：〔一般講演〕人間ドックにおける S 状結腸内視鏡検査の意義。第29回日本消化器集団検診学会秋季大会，1991.
- 185) Kanno, S., Osaka, S.¹⁾, Tamura, K.¹⁾, Oka, M.¹⁾ and Shoji, T.（¹⁾病理第1）：〔一般講演〕Histopathological evaluation of arterial graft materials for coronary artery bypass grafting. 10th Biennial Asian Congress Thoracic and Cardiovascular Surgery, 1991.
- 186) 二宮淳一：〔一般講演〕Clinical use of percutaneous of portable cardiopulmonary bypass. 第2回国際補助循環学会，1991.
- 187) 小坂真一：〔一般講演〕有茎右胃大網脈による冠状動脈バイパス術；各冠状動脈に対する吻合法の実際。第3回関東心臓外科手術手技研究会，1991.
- 188) 杉本忠彦，田中茂夫，二宮淳一，寺田功一，山内仁紫，庄司 佑，小川俊一¹⁾，平山恒夫¹⁾（¹⁾付属病院小児科）：〔一般講演〕肺動脈閉塞症を伴った修正大血管転移症に対する palliative rastelli 手術の1治療例。日本医大医学会第75回例会，1991.
- 189) 坂本俊樹，西澤高士¹⁾，平野文也¹⁾，馬淵綾子¹⁾，宮本昌之¹⁾，庄司 佑，横室公三¹⁾（¹⁾微生物免疫）：〔一般講演〕肝部分切除と再生の過程で全身及び肝内に起る hematolymphoid cell population の変動。第5回肝類洞壁細胞研究会，1991.
- 190) 平野文也¹⁾，坂本俊樹，馬淵綾子¹⁾，横室公三¹⁾（¹⁾微生物免疫）：〔一般講演〕肝部分切除と再生の過程で肝臓，胸腺，脾臓に起るリンパ球の subpopulation の変動。第5回肝類洞壁細胞研究会，1991.
- 191) 馬淵綾子¹⁾，坂本俊樹，津久井拓¹⁾，平野文也¹⁾，渡理英二¹⁾，野呂瀬嘉彦¹⁾，横室公三¹⁾（¹⁾微生物免疫）：〔一般講演〕肝実質細胞及びその培養上清によって誘導される脾細胞の増殖と分化。第5回日本肝類洞壁細胞研究会，

- 1991.
- 192) 香川 淳¹⁾, 万納寺栄一, 川瀬光彦¹⁾, 細田隆夫¹⁾, (¹⁾榊原記念病院): [一般講演]大動脈弁閉鎖不全を合併した巨大バルサルバ洞動脈瘤に対する Cabrol 手術の 1 治験例. 第80回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 193) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 小坂真一, 寺田功一, 山内仁紫, 庄司 佑: [一般講演]冠動脈バイパス術中の冠攣縮; ノアルド大量点滴と IABP が奏功した 1 例の 8 年後. 第80回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 194) 小坂真一, 田中茂夫, 二宮淳一, 池下正敏, 庄司 佑, 中込明裕¹⁾, 富田喜文¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 高山守正¹⁾, 清野精彦¹⁾, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾ (¹⁾集中治療室): [シンポジウム]PTCR 後の CABG 妬 coronary intervention 中の IABP/PCPS について. 第 5 回 Jap. Coronary Ass. 総会, 1991.
- 195) 秀嶋 周, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター): [一般講演]日本住血吸虫卵を認めた直腸癌の 2 例. 第 9 回埼玉外科集談会, 1991.
- 196) 斉藤 節, 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 為我井芳郎, 鈴木章一, 森越栄太, 増田 栄, 中山弘道, 吉川 晃: [一般講演]腹腔鏡的胆嚢摘出術における適応と合併症. 第 2 回腹腔鏡的胆嚢摘出術研究会, 1991.
- 197) 為我井芳郎, 佐藤薫隆: [一般講演]表面型早期大腸癌の臨床病理学的検討. 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 198) 松久威史¹⁾, 荒牧長門¹⁾, 角田誠之¹⁾, 出光豊明¹⁾, 大島 博¹⁾, 井出道也, 大場英巳, 秋丸琥甫, 庄司 佑 (¹⁾内視鏡科): [一般講演]腹腔鏡下胆嚢摘出術における腹腔内圧の呼吸, 循環器に及ぼす影響. 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 199) 矢野正雄, 内山正一, 高橋真佐司, 庄司 佑: [一般講演]両側閉鎖孔ヘルニアの 1 例. 第743回外科集談会, 1991.
- 200) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 小坂真一, 矢島俊巳, 山内仁紫, 師田哲郎: [一般講演]CABG 再手術に於ける問題点. 第 6 回日本心臓血管外科学会ウィンターセミナー, 1992.
- 201) 落 雅美, 田中茂夫, 池下正敏, 矢島俊巳, 山内仁紫, 浅野哲雄, 山内茂生: [一般講演]人工血管移植後遠隔期の稀な合併症. 第6回日本心臓血管外科学会ウィンターセミナー, 1992.
- 202) 佐々木建志, 池下正敏, 落 雅美, 杉本忠彦, 田中茂夫, 庄司 佑, 高野照夫¹⁾, 田中啓治¹⁾ (¹⁾集中治療室): [一般講演]B 型大動脈解離の治療成績, 特に残存解離腔と遠隔予後について. 第 6 回日本心臓血管外科学会ウィンターセミナー, 1992.
- 203) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 本田二郎, 林 晃一, 師田哲郎, 落 雅美, 寺田功一, 庄司 佑: [一般講演]有茎右胃大網動脈を併用した冠動脈バイパス術; 各冠動脈に対する吻合手技. 第 6 回日本心臓血管外科学会ウィンターセミナー, 1992.
- 204) 五味洵誠, 真崎義隆, 森岡晴記, 田中茂夫, 庄司 佑, 山本光伸¹⁾, (¹⁾埼玉県立がんセンター): [一般講演]肺保存における気管支動脈灌流について. 第 8 回肺及び心肺移植研究会, 1992.
- 205) 秀嶋 周, 関根 毅¹⁾ (¹⁾埼玉県立がんセンター): [一般講演]右側結腸癌に対する手術成績の検討. 第28回埼玉医学会総会, 1992.
- 206) 田代成元¹⁾, 斉藤 敦¹⁾, 山田慎二¹⁾, 小黒 仁¹⁾, 宮入 健(¹⁾田代消化器科病院): 偽膜性大腸炎の 1 例. 第53回新潟消化器病研究会, 1991.
- 207) 飯田章太郎¹⁾, 角田誠之¹⁾, 伊藤正秀¹⁾, 大島 博¹⁾, 渋谷哲男 (¹⁾内視鏡科): [一般講演]日本住血吸虫卵を含有した大腸隆起性病変の 1 例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 208) 小坂真一, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 落 雅美, 大沢 肇, 三上 敏, 塩田晶彦, 庄司 佑: [一般講演]術後管理に難渋した高齢者 CABG 症例. 第81回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 209) 小林信之¹⁾, 万納寺栄一¹⁾, 松本幸三¹⁾, 香川 淳¹⁾, 朽方規喜, 川瀬光彦¹⁾, (¹⁾榊原記念病院外科): [一般講演]IE, aortitis, AR にて 3 回の手術を余儀なく行った 1 症例. 第81回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.

- 210) 真崎義隆, 山本光伸¹⁾, 西村仁志¹⁾(¹⁾埼玉県立がんセンター): [一般講演] 気管支動脈と肺動脈に交通を有し腫瘤影を呈した動脈瘤の1症例. 第81回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 211) 松山 謙¹⁾, 平田清秀¹⁾, 日置正文, 松島伸治, 田中茂夫, 庄司 佑(¹⁾保谷厚生病院心臓血管外科): [一般講演] 下大静脈, 左房両方に還流する部分肺静脈還流異常症(scimitar 症候群)の1治験例. 第81回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 212) 大沢 肇, 田中茂夫, 池下正敏, 五味潤誠, 小坂真一, 落 雅美, 林 晃一, 師田哲郎, 井村 肇, 庄司 佑, 青木孝文¹⁾(¹⁾整形外科): [一般講演] 術後腰神経叢麻痺を起こした解離性大動脈瘤の1症例. 第81回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1992.
- 213) 名取穰治, 佐藤 健¹⁾, 平塚 卓¹⁾, 藤本武利¹⁾, 松原正道¹⁾, 加藤雅俊¹⁾, 北村隆信¹⁾, 田中清一¹⁾, 檜山 護¹⁾, 平塚秀雄¹⁾(¹⁾平塚胃腸病院): [一般講演] 10代の大腸癌の2例. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 214) 猪口正孝, 渋谷哲男, 内山喜一郎, 今井 茂, 天神敏博, 田中昌彦, 白石 敦, 渋谷純一, 塩谷 猛, 庄司 佑: [一般講演] 肝針生検後の穿刺部位の修復過程: Thioacetamide 投与実験的肝硬変モデルを用いて. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 215) 渋谷哲男, 大場英巳, 内山喜一郎, 今井 茂, 陳 光永, 猪口正孝, 山本英希, 渋谷純一, 庄司 佑: [一般講演] 直腸癌(Rb)症例の検討. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 216) 内山正一, 高橋真佐司, 矢野正雄, 渋谷哲男, 庄司 佑: [一般講演] 脾の solid and cystic tumor の1例. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 217) 秋丸琥甫, 斉藤 節, 渡辺一彦, 坂本俊樹, 内山喜一郎, 今井 茂, 須田浩充, 岩瀬和泉, 庄司 佑: [一般講演] 肝癌の局所化学療法に於ける使用薬剤の変更. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 218) 池下正敏, 田中茂夫, 浅野哲雄, 庄司 佑, 高野照夫¹⁾, 田中啓治¹⁾(¹⁾集中治療室): [シンポジウム] 集中治療における不整脈: 頻脈性不整脈の手術治療成績の検討. 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 219) 田中啓治¹⁾, 矢島俊巳, 高野照夫¹⁾, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [シンポジウム] 急性心不全の治療: 急性左心不全に対する最新の治療. 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 220) Ikeshita, M., Tanaka, S., Asano, T., Ochi, M., Takei, H., Sasaki, K., Terada, K. and Shoji, T.: [一般講演] Surgical management of acute aortic dissection. 第1回大動脈疾患国際シンポジウム, 1992.
- 221) Ninomiya, J., Shoji, T., Tanaka, S. and Ikeshita, M.: [示説] A computer-assisted 3D imaging of dissecting aortic aneurysm. 第1回大動脈疾患国際シンポジウム, 1992.
- 222) 斉藤 節, 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 為我井芳郎, 鈴木章一, 森越栄太, 増田 栄, 中山弘道: [一般講演] 腹腔鏡下胆嚢摘出術の合併症の予防と対策. 第3回内視鏡下外科手術研究会, 1992.
- 223) 向井佐志彦, 佐藤薫隆, 斉藤 節, 為我井芳郎, 鈴木章一, 森越栄太, 増田 栄, 中山弘道, 吉川 晃: [一般講演] 胸腔鏡下自然気胸手術の経験. 第3回内視鏡下外科手術研究会, 1992.
- 224) 中山弘道, 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 斉藤 節, 為我井芳郎, 鈴木章一, 森越栄太, 増田 栄, 吉川 晃: [一般講演] 食道静脈瘤と胃癌を合併した2例. 第218回日本消化器病学会関東地方会, 1992.
- 225) 秀嶋 周, 関根 毅¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 藤田吉四郎¹⁾(¹⁾埼玉県立がんセンター): [一般講演] びまん性浸潤型大腸癌7例の臨床病理学的検討. 第36回大腸癌研究会, 1992.
- 226) 為我井芳郎, 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 斉藤 節, 鈴木章一, 森越栄太, 増田 栄, 中山弘道, 吉川 晃: [一般講演] 4型大腸癌症例の臨床病理学的検討. 第36回大腸癌研究会, 1992.
- 227) 井出道也, 秋丸琥甫, 大場英巳, 清水一雄, 渋谷哲男, 岩瀬和泉, 陳 光永, 庄司 佑, 荒牧長門¹⁾, 松久威史¹⁾, 角田誠之¹⁾, 出光豊明¹⁾, 大島 博¹⁾(¹⁾内視鏡科): [示説] 当院における腹腔鏡下胆嚢摘出術の現況と展望. 第3回内視鏡下外科手術研究会, 1992.
- 228) Hosino, A., Shimizu, K., Watanabe, H., Ide, M., Iwase, I., Chim, K., Igarashi, T., Shibuya, T., and Shoji, T.: [一般講演] Three cases of benign goiters with rapid growth caused by acute hemorrhagic infarction, 5th

- Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1992.
- 229) Nagahama, M., Shimizu, K., Kitamura, Y., Watanabe, H., Tanaka, H., Ide, M. and Shoji, T. : [一般講演] Experimental study on an autotransplantation of a cryopreserved thyroid in rat. 5th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1992.
- 230) Kitamura, Y., Shimizu, K., Nagahama, M., Itoh, K. and Shoji, T. : [一般講演] A cryopreservation of the thyroid tissue. 5th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1992.
- 231) Hirai, K., Shimizu, K., Uchiyama, K., Sakai, Y., Toshima, K., Ide, M., Itoh, K. and Shoji, T. : [一般講演] Graphic diagnosis of malignant lymphoma arising in the breast; The comparative study on thyroid malignant lymphoma. 5th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1992.
- 232) Arita, A., Shimizu, K., Toshima, K., Igarashi, T., Hirai, K., Hoshino, A., Mimura, T., Itoh, K. and Shoji, T. : [一般講演] A case of metastatic papillary thyroid carcinoma in lung which was reduced in sized TSH suppression. 5th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1992.
- 233) Toshima, K., Kubo, A., Shimizu, K., Kitamura, H., Ozaki, O., Sugino, K., Mimura, T., Itoh, K., Tamai, H. and Shoji, T. : [一般講演] Recurrent medullary thyroid carcinoma; Localization with ¹³¹I-MIBG. 5th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1992.
- 234) Ueda, K., Kawauchi, K., Shiga, T., Kubota, K., Matsui, W., Itoh, Y., Kamiya, K. and Koike, T. : [一般講演] Ultrasound color doppler examination of the breast. 5th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1992.
- 235) 鈴木章一, 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 齊藤 節, 為我井芳郎, 森越栄太, 増田 栄, 吉川 晃, 中山弘道 : [一般講演] 大腸癌切除後虚血性大腸炎症状をきたした症例の検討. 第18回日本腹部救急学会総会, 1992.
- 236) 増田 栄, 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 齊藤 節, 為我井芳郎, 鈴木章一, 森越栄太, 中川弘道, 吉川 晃 : [一般講演] 特種なヘルニアの臨床経験. 第18回日本腹部救急学会総会, 1992.
- 237) 新井 哲, 富士崎隆¹⁾, 鈴木敏克¹⁾, 内山正一, 清水一雄, 松島伸治, 庄司 佑 (¹⁾東急病院) : [一般講演] 上大静脈症候群を来した縦隔内甲状腺腫の1例. 第744回外科集談会, 1992.
- 238) 本田二郎, 田中茂夫, 五味潤誠, 小泉 潔, 塩田晶彦, 師田哲郎, 庄司 佑 : [一般講演] 結核性左主気管支狭窄症の1治験例. 第744回外科集談会, 1992.
- 239) 河部 豊, 岩瀬和泉, 松島伸治, 家所良夫, 塩田晶彦, 新田 隆, 庄司 佑 : [一般講演] 大量出血を来した自然気胸の2例. 第744回外科集談会, 1992.
- 240) 井出道也, 秋丸號甫, 清水一雄, 五十嵐健人, 大場英巳, 渋谷哲男, 岩瀬和泉, 庄司 佑 : [一般講演] 消化管より自然排出をみた腹腔内異物の1例. 第744回外科集談会, 1992.
- 241) 山内茂生, 原田 厚, 新田 隆, 浅野哲雄, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司 佑 : [一般講演] 実験モデルによる心房粗動の解析と外科的治療の検討. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 242) 二宮淳一, 田中茂夫, 小坂真一, 落 雅美, 矢島俊巳, 寺田功一, 山内仁紫, 杉本忠彦, 林 晃一, 師田哲郎, 井村 肇, 山田研一, 庄司 佑 : [展示] 高解度超音波による CABG 術後右胃大網動脈グラフトの colour flow imaging. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 243) 田中啓治¹⁾, 矢島俊巳¹⁾, 亀井真一郎¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高野照夫¹⁾, 二宮淳一, 早川弘一²⁾ (¹⁾集中治療室, ²⁾内科第1) : [展示] 急性心筋梗塞に伴う極めて重篤な心原性ショックに対する経皮の心肺補助法 (PCPS) の有用性と問題点. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 244) 五味潤誠, 田中茂夫, 富士崎隆, 若林武雄, 森岡晴記, 山内仁紫, 真崎義隆, 別所竜蔵, 庄司 佑 : [一般講演] 肺切除による運動時心機能の変化からみた手術適応について. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 245) 菅野重人, 村上裕亜, 福田 悠¹⁾, 庄司 佑 (¹⁾病理第1) : [一般講演] 気管創傷治療の実験的研究; 細胞増生と外糖蛋白. 第92回外科学会総会, 1992.

- 246) 吉尾 隆, 日置正文, 亀谷 肇, 村上裕亜, 朝戸建夫, 家所良夫, 渋谷哲男, 田中茂夫, 庄司 佑:〔一般講演〕肝切除, 食道離断術後に発生したARDSに対するECUMの経験. 第20回模型肺研究会, 1992.
- 247) 寺田功一¹⁾, 二宮淳一¹⁾, 新田 隆¹⁾, 山内仁紫¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 師田哲郎¹⁾, 井村 肇¹⁾, 山田研一¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 永井雄一²⁾, 古井民一郎²⁾ (¹⁾胸部外科, ²⁾第二病院小児科):三心房症, 心房中隔欠損症 unroofed coronary sinus, 右上大静脈右房還流, 左室流出路狭窄を伴ったCTGA [I.D.D] に対する手術. 関東甲信越地方会第142回例会, 1991.
- 248) 佐々木建志¹⁾, 原田 厚¹⁾, 加治正弘¹⁾, 梶原重泰²⁾, 笹井 巧²⁾, 野見山哲³⁾ (¹⁾海老名総合病院循環器科, ²⁾同外科, ³⁾同内科):右大動脈弓に発生したB型急性大動脈解離の1例. 関東甲信越地方会第142回例会, 1991.

〔前年度追加分〕

- 1) 庄司 佑, 田中茂夫, 池下正敏, 浅野哲雄, 落 雅美, 小坂真一, 武井 裕, 原田 厚, 新田 隆, 矢島俊巳:〔一般演題〕心室頻拍に対する外科治療の検討. 第55回日本循環器学会総会, 1990.
- 2) 新田 隆, 田中茂夫, 池下正敏, 浅野哲雄, 家所良夫, 原田 厚, 矢島俊巳, 山田研一, 庄司 佑:〔一般演題〕心室頻拍の伝導遅延部位に対する心内膜切除術. 第55回日本循環器学会総会, 1990.
- 3) 矢島俊巳, 田中啓治, 師田哲郎, 亀井真一郎¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高田加寿子¹⁾, 清野精彦¹⁾, 高野照夫¹⁾, 早川弘一²⁾, 池下正敏, 庄司 佑 (¹⁾CCU, ²⁾内科第1):〔一般講演〕経皮的人工心肺装置を用いて救命し得た左室自由壁破裂の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第140回例会, 1991.
- 4) 秀嶋 周, 関根 毅¹⁾, 陳 光永他8名 (¹⁾埼玉県立がんセンター):〔一般講演〕腫瘤形成性慢性肺炎の1例. 第8回埼玉外科集談会, 1990.
- 5) 川島吉之¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅, 陳 光永, 秀嶋 周他6名 (¹⁾埼玉県立がんセンター):〔一般講演〕原発性小網腫瘍の2例. 第8回埼玉外科集談会, 1990.
- 6) 内田健二¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅, 陳 光秀, 秀嶋 周他6名 (¹⁾埼玉県立がんセンター):〔一般演題〕スキルス胃癌に対する酢酸メトキシプロゲステロン(MPA)投与の経験. 第56回胃癌研究会, 1991.
- 7) 秀嶋 周, 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫¹⁾他6名 (¹⁾埼玉県立がんセンター):〔一般講演〕直腸癌に対する側方リンパ節郭清の検討. 第37回日本消化器外科学会総会, 1991.
- 8) 陳 光永, 内田健二¹⁾, 関根 毅¹⁾, 秀嶋 周他5名 (¹⁾埼玉県立がんセンター):〔一般講演〕膝液, 胆汁中のCA19-9値. 第28回埼玉県医学会総会, 1991.
- 9) Shimizu, K.:〔一般講演〕Clear cell renal carcinoma metastatic to the left kidney?. 内分泌外科セミナー, 1991.
- 10) 清水一雄, 豊島宏二, 北 俊典, 山本英希, 井出道也, 渡辺秀希, 庄司 佑, Eisenbarth, S.:〔一般講演〕モノクローナル抗体SL-19を応用した内分泌腫瘍に対する組織学的, 生化学的研究. 第92回日本外科学会総会, 1991.
- 11) 秀嶋 周, 関根 毅:〔一般講演〕直腸癌に対する側方リンパ節郭清の検討. 第37回日本消化器病学会総会, 1991.
- 12) 秀嶋 周, 関根 毅:〔一般講演〕FT207座剤投与により完全治癒した直腸癌. 第34回大腸癌研究会, 1991.
- 13) 坂本俊樹, 長瀬綾子¹⁾ (¹⁾微生物免疫):〔シンポジウム〕肝再生の基礎と臨床. 第77回日本消化器病学会総会, 1991.
- 14) 竹吉 泉¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫他6名 (¹⁾埼玉県立がんセンター):〔一般講演〕管外発育性を呈した直腸平滑筋肉腫の1例. 第204回日本消化器病学関東支部例会, 1989.
- 15) 内田健二¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永他8名 (¹⁾埼玉県立がんセンター):〔一般講演〕早期胃癌再発例および死亡例の検討. 第53回胃癌研究会, 1989.
- 16) 竹吉 泉¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫他5名 (¹⁾埼玉県立がんセンター):〔一般講演〕高齢者大腸癌手術症例の検討; Risk factor と遠隔成績を中心に. 第34回日本消化器外科学会総会, 1989.

- 17) 竹吉 泉¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫他 5 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 大腸重複癌症例の臨床病理学的検討. 第31回大腸癌研究会, 1989.
- 18) 田中洋一¹⁾, 陳 光永, 関根 毅¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 藤田吉四郎¹⁾他 5 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 多変量解析による食道癌予後因子の検討. 第27回日本癌治療学会総会, 1989.
- 19) 内田健二¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾, 鈴木章一, 陳 光永他 5 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 病期構成因子別の遠隔成績からみた胃癌手術対策. 第27回日本癌治療学会総会, 1989.
- 20) 竹吉 泉¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫他 5 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 大腸癌重複症例の検討. 第51回日本臨床外科医学会総会, 1989.
- 21) 岩崎 茂¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永他 9 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 多発性小腸転移を来した甲状腺悪性リンパ腫の 1 例. 第 7 回埼玉外科医会集談会, 1989.
- 22) 陳 光永, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾他 8 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 下大静脈原発平滑筋肉腫の 1 例. 第 7 回埼玉外科医会集談会, 1989.
- 23) 陳 光永, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾他 8 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 十二指腸原発悪性神経原性腫瘍の 1 例. 第207回日本消化器病学会関東支部例会, 1989.
- 24) 田中洋一¹⁾, 陳 光永, 関根 毅¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 藤田吉四郎¹⁾他 5 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 食道癌に対する補助免疫療法と細胞性免疫能. 第27回埼玉医学会総会, 1990.
- 25) 須田雍夫¹⁾, 陳 光永, 関根 毅¹⁾他 7 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 胃癌絶対非治癒切除例における MTX/5Fu 療法の検討. 第27回埼玉医学会総会, 1990.
- 26) 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫¹⁾他 8 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 肛門管癌症例の検討. 第27回埼玉医学会総会, 1990.
- 27) 陳 光永, 関根 毅¹⁾, 須田雍夫¹⁾他 7 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 直腸 pm 癌の臨床病理学的検討; ss (al) 癌との対比. 第32回大腸癌研究会, 1990.
- 28) 岩崎 茂¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫¹⁾他 5 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 直腸癌局所再発の臨床病理学的検討; 直腸切除症例について. 第35回日本消化器外科学会総会, 1990.
- 29) 岩崎 茂¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永他 7 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 胃結腸瘻をきたした横行結腸癌の 1 例. 第209回日本消化器病学会関東地方会例会, 1990.
- 30) 陳 光永, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾他 8 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 再発胃癌に対する中等量 MTX/5Fu 時間差投与療法の検討. 第55回胃癌研究会, 1990.
- 31) 内田健二¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永他 7 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 再発因子からみた ss 胃癌. 第55回胃癌研究会, 1990.
- 32) 陳 光永, 関根 毅¹⁾, 須田雍夫¹⁾他 6 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 肛門管癌の臨床病理学的検討. 第36回日本消化器外科学会総会, 1990.
- 33) 岩崎 茂¹⁾, 関根 毅¹⁾, 陳 光永, 須田雍夫¹⁾他 6 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 直腸癌治癒切除症例における側方リンパ節転移の検討. 第33回大腸癌研究会, 1990.
- 34) 陳 光永, 須田雍夫¹⁾, 関根 毅¹⁾他 4 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 膵液および胆汁 CA19-19値とその血中値に及ぼす影響. 第21回日本膵臓学会, 1990.
- 35) 三山健司¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 陳 光永, 関根 毅¹⁾他 6 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 術前化学療法としての MTX/5Fu 時間差投与療法の効果についての検討. 第28回日本癌治療学会総会, 1990.
- 36) 三島吉之¹⁾, 須田雍夫¹⁾, 陳 光永, 関根 毅¹⁾他 6 名 (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 早期十二指腸癌と十二指腸カルチノイドの開存した 1 例. 第211回日本消化器病学会関東地方会, 1990.
- 37) 小平祐造, 清水一雄, 渋谷哲男, 吉尾 隆, 後藤 学, 矢野正雄, 吉川 晃, 庄司 佑: [一般演題] 膵内分分泌腫瘍 3 例の臨床的, 組織化学的検討. 第52回臨床外科学会総会, 1990.

- 38) Kodaira, Y., Shimizu, K., Ide, M., Saka, Y., Kitamura, Y., Naganama, M., Akasu, H., Toshima, K., Hirai, K., and Shoji, T.: [一般演題] The usefulness and limit of thallium scanning for diagnosing parathyroid tumor. 5th Meeting of Asian and Pacific Endocrine Conference, 1990.

[第一病院内視鏡科]

研究概要

当科では内視鏡を用いた消化管の機能と形態に関する各種の基礎的ならびに臨床的研究を、前年度からさらに継続、発展させた。

大島教授により永年続けられている老年者の消化性潰瘍の研究は初発、非初発の問題や発生部位別にみた検討などからさらに詳細を極めた。伊藤助教授は逆流胆汁酸の胃粘膜に対する影響の研究を中心に行った。ことに胃潰瘍、萎縮性胃炎、びらん形成との関係を病理組織学的な立場より検討した。

松久講師らは、大島教授がベルリン自由大学時代から研究していた噴門および幽門の形態と機能に関する研究を発展させた。噴門形態に関しては加齢性変化のみならず胃内圧を含めた呼吸性変化に関する検討を行った。さらに胃十二指腸疾患と胆汁酸の胃内への逆流を知る目的で、胆汁酸を定量し幽門形態との関わりについて観察した。

近年、腹腔鏡下に行われる胆嚢摘出術が普及している。当科においても外科との共同研究によりすでに40～50例を経験している。本法は全身麻酔下に行われるが、われわれは内視鏡科の立場から、CO₂による長時間気腹の呼吸循環系におよぼす影響を検討した。

消化管の職域集団検診に関する研究はさらに症例を重ね、上部消化管(松久ら)、下部消化管(伊藤ら)にそれぞれ新知見がえられた。伊藤らは4年前から引き続き行っている職域大腸集検に関する研究を継続し、各方面から注目されている。免疫学的便潜血反応3日法の有意性についても報告した。

その他いずれの研究も消化器内視鏡学の広範な領域において臨床的意義の大きいものであった。

研究業績

論文

- 1) 伊藤正秀, 山口和彦, 重田明子, 角田誠之, 磯 長光, 花牟礼康生, 松久威史, 大島 博: [原著] 当科における職域大腸集検3年間の検討. Ther. Res., 12, 355~358, 1991.
- 2) 松久威史, 大島 博: [原著] 内視鏡的噴門形態の呼吸性変化. 日平滑筋会誌, 27, 161~162, 1991.
- 3) 花牟礼康生: [原著] 内視鏡的生検による背景胃粘膜所見と機能的検査成績との比較検討; 胃潰瘍, 胃癌症例について. 日医大誌, 58, 640~652, 1991.
- 4) 大島 博: [総説] 老年者胃潰瘍の初発と非初発をめぐる問題. 臨床と研究, 68, 808~814, 1991.
- 5) 大島 博: [総説] 老年者の消化性潰瘍; 発生部位別に考える. 医学のあゆみ, 158, 739, 1991.
- 6) 松久威史, 荒牧長門, 児玉朱音, 出光豊明, 大島 博, 中島敦夫¹⁾: [総説] 内視鏡の読み方 急性間欠性ポルフィリン症. 臨消内科, 7, 593~597, 1992.

著書

- 1) 松久威史, 花牟礼康生, 大島 博: [分担] 消化管運動異常の臨床(編集: 原沢 茂) Monthly Book Gastroenterology. vol. 1, No. 3 p. 33~37, 胃潰瘍と胃運動異常, 1991.
- 2) 松久威史, 花牟礼康生, 伊藤正秀, 大島 博: [分担] 胃排出能からみた内視鏡的幽門形態; 逆流胆汁酸との関連を含めて. 消化管運動測定法(編集: 三輪 剛, 青木照明, 関口利和) p. 10~18, 協和企画通信, 1991.

学会発表

- 1) 大島 博：〔特別講演〕内視鏡医のみたドイツ。第21回胃レセプター研究会，1991。
- 2) 松久威史，大島 博：〔一般講演〕内視鏡的噴門形態における呼吸の影響。第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会，1991。
- 3) 伊藤正秀，山口和彦，松久威史，大島 博：〔一般講演〕逆流胆汁酸の胃粘膜に及ぼす影響。第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会，1991。
- 4) 角田誠之，児玉朱音，伊藤正秀，大島 博，馬越正通¹⁾，山田宣孝²⁾(¹⁾第二病院消化器病センター，²⁾第一病院病理)：〔一般講演〕母娘2症例における家族性大腸ポリポージスの内視鏡的観察；組織化学的検討を含めて。第52回日本消化器内視鏡学会関東地方会，1991。
- 5) 松久威史，花牟礼康生，伊藤正秀，飯田明子，大島 博：〔一般講演〕胃排出能からみた内視鏡的幽門形態；逆流胆汁酸との関連を含めて。第2回G.I.M.D.クラブ例会，1991。
- 6) 児玉朱音，松久威史，伊藤正秀，大島 博：〔一般講演〕職域胃集検において発見された若年者早期胃癌の1例。第215回日本消化器病学会関東地方会，1991。
- 7) 松久威史，大島 博：〔一般講演〕内視鏡的噴門形態の呼吸性変化。第33回日本平滑筋学会総会，1991。
- 8) 伊藤正秀，山口和彦，松久威史，大島 博：〔展示〕慢性胃炎に及ぼす胆汁逆流の影響。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 9) 松久威史，荒牧長門，角田誠之，出光豊明，児玉朱音，大島 博，井出道也¹⁾，大場英己¹⁾，秋丸琥甫¹⁾，庄司 佑¹⁾(²⁾外科第2)：〔展示〕腹腔内圧からみた腹腔鏡下胆嚢摘出術。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 10) 山口文男，大島 博：〔展示〕老年者胃潰瘍の部位別観察。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 11) 児玉朱音，松久威史，伊藤正秀，大島 博：〔展示〕当内視鏡科における若年者早期胃癌の観察。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 12) 飯田章太郎，花牟礼康生，伊藤正秀，大島 博：〔展示〕ポリペクトミーにより摘除可能であった巨大十二指腸ポリープの1例。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 13) 角田誠之，児玉朱音，伊藤正秀，大島 博，馬越正通¹⁾，山田宣孝²⁾(¹⁾第二病院消化器病センター，²⁾第一病院病理)：〔展示〕家族性大腸ポリポージスの2症例；組織内オルニチン脱炭酸酵素活性値の検討を含めて。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 14) 飯田章太郎，花牟礼康生，伊藤正秀，大島 博：〔一般講演〕内視鏡的に摘除しえた巨大過形成十二指腸ポリープの1例。第216回日本消化器病学会関東地方会，1991。
- 15) 伊藤正秀，山口和彦，出光豊明，飯田章太郎，児玉朱音，角田誠之，花牟礼康生，松久威史，大島 博：〔一般講演〕4年間の職域大腸集検の経験から得た職域特有の問題点。第9回大腸検査法研究総会，1991。
- 16) 角田誠之，児玉朱音，伊藤正秀，大島 博，馬越正通¹⁾，山田宣孝²⁾(¹⁾第二病院消化器病センター，²⁾第一病院病理)：〔一般講演〕家族性大腸ポリポージスの3症例。第9回大腸検査法研究総会，1991。
- 17) 伊藤正秀，山口和彦，松久威史，大島 博：〔一般講演〕逆流胆汁酸中デオキシコール酸の胃粘膜に及ぼす影響。第33回日本消化器病学会大会，1991。
- 18) 松久威史，荒牧長門，角田誠之，出光豊明，大島 博，井出道也¹⁾，大場英己¹⁾，秋丸琥甫¹⁾，庄司 佑¹⁾(²⁾外科第2)：〔展示〕腹腔鏡的胆嚢摘出術における腹腔内圧の変動について。第33回日本消化器病学会大会，1991。
- 19) 松久威史，飯田章太郎，大島 博：〔一般講演〕老年者における内視鏡的噴門形態の呼吸性変化。第33回日本老年医学会総会，1991。
- 20) 伊藤正秀，山口和彦，松久威史，大島 博：〔一般講演〕老年者胃潰瘍の背景胃粘膜と逆流胆汁酸の関連。第33回日本老年医学総会，1991。
- 21) 松久威史，飯田章太郎，山口和彦，大島 博：〔一般講演〕職域胃集検において内視鏡的に発見された胃十二指腸疾患；約10年間の観察。第29回日本消化器集団検診学会秋季大会。1991。

- 22) 伊藤正秀, 山口和彦, 出光豊明, 飯田章太郎, 児玉朱音, 角田誠之, 花牟礼康生, 松久威史, 大島 博:〔一般講演〕職域大腸集検における免疫学的便潜血反応3日法の意義, 第29回日本消化器集団検診学会秋季大会, 1991.
- 23) 松久威史, 伊藤正秀, 重田明子, 山口和彦, 大島 博:〔一般講演〕内視鏡の幽門形態と胃内逆流胆汁酸, 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 24) 伊藤正秀, 山口和彦, 松久威史, 大島 博:〔一般講演〕逆流胆汁酸の胃粘膜に及ぼす影響(第2報):萎縮性胃炎, びらん形成を中心として, 第42回日本消化器内視鏡学会総会, 1991.
- 25) 松久威史, 荒牧長門, 角田誠之, 出光豊明, 大島 博, 井出道也¹⁾, 大場英己¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 庄司 佑¹⁾(¹⁾外科第2):〔一般講演〕腹腔鏡下胆嚢摘出術における腹腔内圧の呼吸, 循環器に及ぼす影響, 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 26) 伊藤正秀, 山口和彦, 松久威史, 大島 博:〔一般講演〕逆流胆汁酸の胃粘膜に及ぼす影響;胃潰瘍症例における検討, 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 27) 松久威史, 荒牧長門, 児玉朱音, 出光豊明, 大島 博:〔一般講演〕シメチジンの投与により軽快した急性間欠性ポルフィリン症の1例, 第31回腹腔鏡懇話会, 1992.
- 28) 飯田章太郎, 角田誠之, 伊藤正秀, 大島 博, 渋谷哲男¹⁾(¹⁾外科第2):〔一般講演〕日本住血吸虫卵と合併した大腸隆起性病変の1例, 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 29) 井出道也¹⁾, 大場英己¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 清水一雄¹⁾, 岩瀬和泉¹⁾, 小熊将之¹⁾, 吉川 晃¹⁾, 須田浩充¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 荒牧長門, 松久威史, 角田誠之, 出光豊明, 大島 博(¹⁾外科第2):〔展示〕腹腔鏡下胆嚢摘出術5例の検討, 第2回内視鏡下外科手術研究会, 1991.
- 30) 井出道也¹⁾, 松島伸治¹⁾, 大場英己¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 清水一雄¹⁾, 岩瀬和泉¹⁾, 小熊将之¹⁾, 吉川 晃¹⁾, 陳 光永¹⁾, 須田浩充¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 荒牧長門, 松久威史, 角田誠之, 出光豊明, 大島 博(¹⁾外科第2):〔一般講演〕当科における内視鏡下手術の現況と展望, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 31) 井出道也¹⁾, 秋丸琥甫¹⁾, 大場英己¹⁾, 清水一雄¹⁾, 渋谷哲男¹⁾, 岩瀬和泉¹⁾, 陳 光永¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 荒牧長門, 松久威史, 角田誠之, 出光豊明, 大島 博(¹⁾外科第2):〔一般講演〕当院における腹腔鏡下胆嚢摘出術の現況と展望, 第3回内視鏡下外科手術研究会, 1992.

[第二病院外科]

研究概要

第二病院外科は、外科学第二学講座に属しているが、研究は独自性をもって行っている。研究内容は、胸部、乳房、血管、消化管等、広範囲な分野にわたっている。

臨床的研究：胸部では肺癌を中心とした外科療法、胸壁再建術として、胸壁切除後、ステンレスメッシュを使用した方法を行い検索している。重複癌の臨床も行っている。乳房では、縮小手術の傾向に伴い、サーモグラフィーの病態描出と、レーザー血流計にて比較検討している。特殊疾患として乳輪下膿瘍を臨床病理学的に病因を追求している。

消化器・胃では、“噴門温存術式としての超小胃”を多角的に検索中で、現在骨代謝障害を行っている。胃・十二指腸では、穿孔に対する大網充填術式を従来より優れた術式として紹介している。経験を重ね、現在遠隔成績より本術式の臨床的意義、基礎的研究を、イヌにて行っている。小腸では、イレウス、特に絞扼性イレウスの診断を重点的に行っている。絞扼性イレウス時、我々が命名した特徴ある所見“無ガス野”について、その発生メカニズムをレーザー血流計による微細循環、同部の病理組織学的検索を同時に行い、画像診断との関連を追求している。絞扼性イレウスの一つとして“内ヘルニア”を全国統計を行い、本邦に於ける中心的役割をしている。大腸では、特発性穿孔、表在性隆起性病変について検索中である。

基礎的研究：レーザー血流計による絞扼性イレウス腸管の絞扼度別の微細循環を中心に、実験的に行っている。

研究業績

論文

- 1) 望月 功¹⁾, 川口忠彦¹⁾, 原 亨¹⁾, 麦谷圭一郎¹⁾, 土屋喜哉¹⁾, 杉本季久造²⁾, 渡辺昌則 (¹⁾東戸塚記念病院, ²⁾第二病院麻酔科): [報告] 頸部気管損傷に対するT字管留置の試み, 日救医学会関東誌, 11, 598~599, 1990.
- 2) 原 一郎, 山口裕史, 平井真実, 三樹 勝: [臨床・実験報告] 下血を初発症状としてカンピロバクター腸炎, 日医大誌, 58, 342~344, 1991.
- 3) 原 一郎¹⁾, 馬越正通¹⁾, 難波 亨, 久吉隆郎 (¹⁾第二病院消化器病センター): [報告] 肝切除に優先した転移性胸壁腫瘍切除を施行した肝硬変合併肝癌の1症例, 第18回日本超音波医学会講演論文集, 250, 1991.
- 4) Asano, G.¹⁾, Tanaka, M.¹⁾, Seya, T.¹⁾ and Watanabe, M. (¹⁾Department of Pathology): [原著] Precancerous lesions in large intestine; With special reference to the relationship between extracellular matrix and lesions. J. Clin. Electron Microscopy, 24, 416~417, 1991.

著書

- 1) 天野純治, 松林富士男¹⁾(¹⁾プラザ記念病院): [分担]6. 穿孔部大網充填術, 大網被覆術“最新消化器外科シリーズ; 5. 胃・十二指腸潰瘍 (I)” (阿部令彦, 出月康夫, 小澤和恵, 榊原 宣編). p.144~153, 金原出版, 1991.

学会発表

- 1) 内藤英二, 田崎達也, 三樹 勝, 永井 俊¹⁾, 田中幹夫¹⁾ (¹⁾化学教室): [一般講演] 日本人およびタイ人の胆石中, 胆汁中の微量元素の定量; 特にヨウ素含有量について. 第91回日本外科学会総会, 1991.
- 2) 天野純治, 三樹 勝, 赤岩 順, 桜井蔚生, 久吉隆郎, 難波 亨, 松本光司: [一般講演] 絞扼性イレウスに於けるX線上“無ガス野; Serial gassless field”の意義とその分析. 第91回日本外科学会総会, 1991.
- 3) 久吉隆郎, 難波 亨, 桜井蔚生, 平田正信, 赤岩 順, 天野純治, 三樹 勝, 百束比古¹⁾ (¹⁾形成外科): [一般講演] 胸壁全層切除術を行った進行・再発乳癌症例の検討. 第91回日本外科学会総会, 1991.
- 4) 平田知己, 天野純治, 桜井蔚生, 久吉隆郎, 難波 亨, 木本洋一郎, 松本光司¹⁾ (¹⁾第一病院病理): [一般講演] 乳腺原発 adenoid cystic carcinoma の1例. 第741回外科集談会, 1991.
- 5) 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 荒川 薫¹⁾, 内藤英二¹⁾, 久吉隆郎, 天野純治 (¹⁾第二病院消化器センター): [一般講演] 大腸癌イレウス, 緊急手術例の検討. 第17回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 6) 原 一郎¹⁾, 青木 律¹⁾, 山口裕史¹⁾, 馬越正通¹⁾, 渡部英之²⁾, 三樹 勝³⁾ (¹⁾第二病院消化器センター, ²⁾同放射線科, ³⁾大仁病院): [一般講演] 超音波誘導下経皮胆囊ドレナージ法 (RTGBD) が有用であった急性腹症の1症例. 第17回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 7) 久吉隆郎, 難波 亨, 村上正洋, 平田知己, 木本洋一郎, 平田正信, 天野純治, 佐藤雅史¹⁾, 疋田史典¹⁾, 渡部英之¹⁾, 島田洋一²⁾, 杉本季久造²⁾, 浮谷勝郎²⁾, 倉田文秋³⁾, 島崎 譲³⁾, 川並汪一⁴⁾ (¹⁾第二病院放射線科, ²⁾同麻酔科, ³⁾同内科, ⁴⁾同病理): [一般講演] 切除肺癌100例の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 8) 原 一郎¹⁾, 的場康徳¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 荒川 薫¹⁾, 内藤英二¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 山口裕史¹⁾, 田崎達也¹⁾, 田崎博也¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター): [一般講演] 肝切除症例の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 9) 村上正洋, 百束比古¹⁾, 塩塚正純¹⁾, 坂田修一¹⁾, 文入正敏¹⁾, 大木更一郎²⁾, 梅田敏彦²⁾, 三橋 清²⁾ (¹⁾形成外科, ²⁾総合会津中央病院形成外科): [展示] 皮下気腫を呈した顔面骨骨折の2例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 木本洋一郎, 桜井蔚生, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 村上正洋, 天野純治, 大久保哲行¹⁾ (¹⁾第二病院消化器病センター): [展示] 乳癌におけるレーザー血流計による局所表層循環血液量とサーモグラフィとの比較検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

- 11) 久吉隆郎, 難波 亨, 村上正洋, 平田知己, 木本洋一郎, 平田正信, 赤岩 順, 天野純治, 百束比古¹⁾(¹形成外科): [展示] 胸壁全層切除を行った進行・再発乳癌症例の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 12) 松尾健志¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 平野滋之²⁾, 天崎達也²⁾, 天崎博也²⁾, 川並汪一³⁾, 松島 隆⁴⁾, 塚田克也⁴⁾(¹第二病院産婦人科, ²⁾同消化器病センター, ³⁾同病理, ⁴⁾病理第1): [展示] 腸管子宮内膜症に直腸ポリープ癌と子宮頸部 CIS を疑わせる所見を合併した1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 13) 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 内藤英二¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [一般講演] 血中 CEA 高値により発見された IIa 型早期結腸癌の1例. 第71回神奈川県臨床外科医学会集談会, 1991.
- 14) 原 一郎¹⁾, 馬越正通¹⁾, 難波 亨, 久吉隆郎(¹第二病院消化器病センター): 肝切除に優先して転移性胸壁腫瘍切除を施行した肝硬変合併肝癌の1症例. 第18回日本超音波医学会総会, 1991.
- 15) 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 内藤英二¹⁾, 荒川 薫¹⁾, 平田知己¹⁾, 久吉隆郎, 天野純治(¹第二病院消化器病センター): [一般講演] 緊急手術を行った大腸癌症例の臨床的検討. 第46回日本大腸肛門病学会総会, 1991.
- 16) 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田正己, 木本洋一郎: [一般講演] 再発を繰り返した腸管囊腫様気腫 pneumatosis cystoides intestinalis (PCI) の2例. 第46回日本大腸肛門病学会総会, 1991.
- 17) 久吉隆郎, 難波 亨, 松本光司, 天野純治, 山口裕史¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 松原貴規²⁾(¹第二病院消化器病センター, ²⁾同内科): [展示] 胃と乳腺の重複癌に単球性白血病を合併した1例. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 18) 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 内藤英二¹⁾, 平田知己, 久吉隆郎, 天野純治(¹第二病院消化器病センター): [展示] 傍食道型裂孔ヘルニアの縦隔内脱出部に発生した Borrmann 2 型胃癌の1切除例. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 19) 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 木本洋一郎, 的場康徳, 赤岩 順: [一般講演] アンケート調査より見た胃十二指腸穿孔に対する大綱引き入れ充填術の検討. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 20) 久吉隆郎, 難波 亨, 平田正信, 天野純治, 赤岩 順¹⁾, 山口裕史¹⁾(¹第二病院消化器病センター): [一般講演] Marlex mesh による胸壁再建症例の検討. 第53回日本臨床外科医学会, 1991.
- 21) 木本洋一郎, 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 村上正洋: [一般講演] 特殊感染症としての難治性乳輪下膿瘍. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 22) 村上正洋, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知己, 木本洋一郎, 平田正信, 天野純治, 佐藤雅史¹⁾(¹第二病院放射線科): [一般講演] 肺真菌症の外科治療成績. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 23) 内藤英二¹⁾, 天崎博也¹⁾, 天崎達也¹⁾, 山口裕史¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 原 一郎¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 馬越正通¹⁾, 難波 亨(¹第二病院消化器病センター): [一般講演] 術後重篤に陥った MRSA 腸炎症例の検討. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 24) 野中尚子¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 利根川 均¹⁾, 山村美和¹⁾, 白井洋司¹⁾, 大久保正智¹⁾, 山本 達¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 村上正洋(¹形成外科): [一般講演] 形成外科病棟における MRSA 感染症の現況と対策. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 25) Srisukho, S.¹⁾, Matoba, Y.²⁾, Prathnadi, P.¹⁾, Miki, M.²⁾, Suprasert, S.¹⁾, Naito, E.²⁾, Tasaki, T.²⁾ and Hilata, T.²⁾(¹Chiang Mai Uni. Dept. of Surgery, ²⁾2nd Hosp. G.I. Center): [シンポジウム] Quantitative analysis of mercury contained in Thai and Japanese gallstone. 25th Anniversary Symposium of Chiang Mai Univ. and Nippon Medical School Medical Research Team (Chiang Mai), 1991.
- 26) 久吉隆郎, 林 康史¹⁾, 堀米 寛¹⁾, 井出 研¹⁾, 池 秀之¹⁾, 門倉光隆¹⁾, 加瀬昌夫¹⁾, 城戸泰洋¹⁾, 諸星隆夫¹⁾, 長井孝夫¹⁾, 小川純一¹⁾, 長田博昭¹⁾, 鈴木 隆¹⁾, 山口孝治¹⁾, 谷口志郎¹⁾, 友安 浩¹⁾, 和田源司¹⁾, 吉村博邦¹⁾(¹神奈川呼吸器外科研究会): [一般講演] 神奈川呼吸器外科研究会における「胸腔ドレーン」アンケート結果報告. 第5回肺癌手術手技研究会, 1991.
- 27) 原 一郎¹⁾, 青木 津¹⁾, 山口裕史¹⁾, 馬越正通¹⁾, 渡部英之²⁾, 三樹 勝¹⁾(¹第二病院消化器病センター, ²⁾同放射線科): [一般講演] 経胆嚢管的に胆道鏡下載石術を施行した総胆管結石の1例. 第42回日本消化器内視鏡学

会, 1991.

- 28) 久吉隆郎, 村上正洋, 難波 亨, 天野純治, 馬越正通¹⁾ (1)第二病院消化器病センター): [一般講演] ステンレスメッシュによる胸壁再建の1例; 87歳子宮癌胸壁転移. 第79回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 29) 大久保哲行¹⁾, 赤岩 順, 荒川 薫¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 馬越正通¹⁾ (1)第二病院消化器病センター): [一般講演] 粘膜下腫瘍様の増殖を示した結腸低分化型腺癌の1例. 第24回神奈川県消化器病医学会, 1991.
- 30) 平野文也, 坂本俊樹, 馬淵綾子¹⁾, 横室公三¹⁾ (1)微生物免疫学): [シンポジウム] 肝部分切除と再生の過程で, 肝臓・胸腺に起こるリンパ球 subpopulation の変動. 第5回肝類洞壁細胞研究会, 1991.
- 31) 平野文也, 坂本俊樹¹⁾, 馬淵綾子¹⁾, 横室公三¹⁾ (1)微生物免疫学): [一般講演] 肝部分切除と再生の過程で, 肝臓・胸腺・脾臓に起こるリンパ球 subpopulation の変動. 第21回日本免疫学会総会, 1991.
- 32) 原 一郎¹⁾, 吉田 宏¹⁾, 馬越正通¹⁾, 久吉隆郎, 高橋政之²⁾, 渡部英之²⁾ (1)第二病院消化器病センター, 2)同放射線科): [一般講演] Multiple lymphomatous polyposis (MPL) の1例. 第53回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1991.
- 33) 高橋政之¹⁾, 佐藤雅史¹⁾, 高岩成光¹⁾, 疋田史典¹⁾, 山岸嘉彦¹⁾, 久吉隆郎, 吉田 宏 (1)第二病院放射線科): [一般講演] Multiple lymphomatous polyposis (MPL) の1症例. 第387回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 34) 村上正洋, 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾, 竹越昭彦¹⁾, 文入正敏¹⁾ (1)形成外科): [一般講演] コラーゲンと思われる異物を注入された陰茎白膜欠損症の1例. 第14回日本美容外科学会総会, 1991.
- 35) 渡辺昌則, 平野敏一¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (1)病理第2): [一般講演] 胃癌間質における筋線維芽細胞のコラーゲン産生能. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 36) 田中昌彦¹⁾, 山本英希²⁾, 渡辺昌則, 瀬谷知子¹⁾, 山田宣孝²⁾, 浅野伍朗¹⁾ (1)病理第2, 2)第一病院病理部): [一般講演] ヒト大腸癌における細胞外基質の免疫組織化学的検討. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 37) 渡辺昌則, 平野敏一¹⁾, 浅野伍朗¹⁾, 三樹 勝 (1)病理第2): [展示] 胃癌間質における筋線維芽細胞増殖の意義. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 38) Watanabe, M., Hirano, T.¹⁾, Asano, G.¹⁾ (1)Department of Pathology): [一般講演] Role of myofibroblasts in the stroma of human gastric carcinoma. 第8回太平洋外科系学会日本支部会 (PPSA・JC) 学術大会, 1991.
- 39) Asano, G.¹⁾, Tanaka, M.¹⁾, Seya, T.¹⁾, Watanabe, M. (1)Department of Pathology): [シンポジウム] Precancerous lesions in large intestine; With special reference to the relationship between extracellular matrix and lesions. 第23回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1991.
- 40) 久吉隆郎, 天野純治, 難波 亨, 平田知巳, 木本洋一郎, 大久保哲行, 氏家茂樹¹⁾ (1)淵野辺病院外科): [パネルディスカッション] 極めてまれな内ヘルニアの3例. 第18回日本腹部救急医学会, 1992.
- 41) 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知巳, 木本洋一郎, 的場康徳, 村上正洋, 平野滋之: [一般講演] 胃十二指腸潰瘍例の経験, 特に穿孔に対する大網充填手術々式と遠隔成績. 第18回日本腹部救急医学会, 1992.
- 42) 原 一郎¹⁾, 的場康徳¹⁾, 山口裕史¹⁾, 馬越正通¹⁾ (1)第二病院消化器病センター): [一般講演] 急性胆嚢炎に対する早期手術と待期手術の検討; 検査成績を中心として. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 43) 天野純治, 久吉隆郎, 難波 亨, 平田知巳, 木本洋一郎, 村上正洋: [一般講演] 絞扼性イレウスの病態, 特に絞扼状況と画像診断の関連について. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 44) 渡辺昌則, 平野敏一¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (1)病理第2): [一般講演] 胃癌における筋線維芽細胞の増殖の臨床的意義について. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 45) 久吉隆郎, 村上正洋, 木本洋一郎, 平田知巳, 難波 亨, 天野純治, 赤岩 順¹⁾ (1)第二病院消化器病センター): [一般講演] 最近の重複癌の動向と問題点. 第9回川崎市医師会医学会, 1992.
- 46) 内藤英二, 馬越正通¹⁾, 赤岩 順¹⁾, 原 一郎¹⁾, 山口裕史¹⁾, 大久保哲行¹⁾, 的場康徳¹⁾, 田崎達也¹⁾ (1)第二病院消化器病センター): [一般講演] 術後重篤に陥った MRSA 腸炎の検討. 第9回川崎市医師会医学会, 1992.

11. 脳神経外科学講座

[付属病院脳神経外科]

研究概要

当教室の研究は下記の主要テーマに分かれているが、毎年その実を結びつつあり、基礎的研究から臨床的研究までの幅広い研究が行われており、各々の課題も多岐に亘っている。

1) 悪性脳腫瘍に対する新治療法の研究

教室の発足当初からのメインテーマであり、制癌剤の局所注入療法、免疫療法、制癌剤の静注療法に加え、モノクローナル抗体による免疫療法、さらにモノクローナル抗体にアドリマイシンを結合させるミサイル療法の基礎的研究が進展している。これらモノクローナル抗体の研究は、米国ウイスター研究所との共同研究が基本となって進められているもので、さらに最近では、ヒューストンのアンダーソン癌研究所との共同研究も計画されている。

2) 重症頭部外傷の病態と治療法の研究

当教室のテーマである diffuse axonal injury の臨床病理学的研究は、米国ペンシルバニア大学脳神経外科教室との共同研究に端を発したものであり、日本における指導的役割を演じてきたが、さらに本年に入り fluid percussion model 実験による頭部外傷の研究が積極的に行われた。これら複雑な頭部外傷のメカニズムを解明する上での極めて大きな成果をあげることが期待される。さらに本研究から重症頭部外傷に対する新しい治療法が開拓されてゆく可能性がある。

3) 脳血管障害の基礎的および臨床的研究

中大脳動脈閉塞モデル動物による脳梗塞、脳浮腫の研究、特に free radicals の研究はその後も着々と進展し大きな成果をあげつつある。また、ドプラー法による脳血流測定、サーモグラフィ、SSEP、ABR 等を駆使した植物状態患者や脳死の病態の解明等が積極的に行われており、それぞれの成果を生んでいる。さらに臨床的には脳血管内手術が他大学に先がけて行われ良好な成績を得ており、この方面の臨床研究は神経放射線の研究と相俟って、益々進展するものと期待している。

研究業績

論文

- 1) 高橋 弘, 中澤省三: [原著] ヒト悪性腫瘍に対するヒト型モノクローナル抗体の効果に及ぼすサイトカインの影響. *Biotherapy*, 5, 590~594, 1991.
- 2) 小林士郎, 中澤省三: [総説] 植物状態; 厚生省「脳死に関する研究班による脳死判定基準」による脳死との鑑別を含む. *Expert Nurse*, 7, 75~80, 1991.
- 3) 小林士郎, 中澤省三: [総説] めまい. *Expert Nurse*, 7, 75~80, 1991.
- 4) 小林士郎, 中澤省三: [総説] 知覚の障害. *Expert Nurse*, 7, 75~80, 1991.
- 5) 池田幸穂, 吉田大蔵, 戸田茂樹, 中澤省三, 佐藤純子¹⁾, 山田真砂子²⁾ (¹⁾付属病院研究室, ²⁾日本電子 ESR 応用研究室): [原著] 実験脳腫瘍組織における superoxide 消去能 (superoxide dismutase 様活性) の測定. *医学のあゆみ*, 158, 387~388, 1991.
- 6) Akutu, Y., Aida, T.¹⁾, Nakazawa, S. and Asano, G.¹⁾ (¹⁾Department of Pathology): [原著] Localization of acidic and basic fibroblast growth factor mRNA in human brain tumors. *Jpn. J. Cancer Res.*, 82, 1022~1027, 1991.
- 7) 足立好司, Herlyn, D.¹⁾ (¹⁾The Wistar Institute of Anatomy and Biology): [原著] Glioma における cytokine の epidermal growth factor receptor (EGF-R) 発現に関する増強効果について. *日医大誌*, 58, 537~546,

1991.

- 8) 石郷岡聡：〔原著〕Transcranial Doppler 法による脳血流動態の研究；特に pulsatility index の意義について。日医大誌, 58, 621~629, 1991.
- 9) Tsai, F.Y.¹⁾, Higashida, R.²⁾, Matovich, V.¹⁾, Alfieri, K.¹⁾ and Kobayashi, S. (¹⁾University of Missouri Kansas City School of Medicine, ²⁾University of California San Francisco Medical Center)：〔原著〕Seven year's experience with percutaneous transluminal angioplasty for carotid stenosis. *Neuroradiology*, 33, 397~398, 1991.
- 10) 小林土郎, 中澤省三：〔総説〕外来における頭痛診療のポイント。治療, 73, 207~214, 1991.
- 11) 高橋 弘, 足立好司, 中澤省三, Bender, H.¹⁾, Herlyn, D.¹⁾ (¹⁾Wister Institute)：〔原著〕抗上皮成長因子受容体モノクローナル抗体を用いる radioimmunotherapy における核種の考察。Neuroimmunological Research, 271~275, 1991.
- 12) 横田裕行, 中澤省三, 志村俊郎, 木村昭男¹⁾, 山本保博¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾Emergency and Clinical Care Medicinen)。〔原著〕脳死患者における視床下部下垂体機能。Neurologia Medico-Chirurgica, 31, 881~886, 1991.
- 13) Ikeda, Y. and Long, D.H.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins University)：〔原著〕Effect of arachidonate lipooxygenase inhibitor BW 755C on traumatic and peritumoral brain oedema. *Acta Neurochirurgica Suppl.*, 51, 68~70, 1991.
- 14) Ikeda, Y. and Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins University)：〔原著〕Comparative effects of direct and indirect hydroxyl radical scavengers on traumatic brain oedema. *Acta Neurochirurgica Suppl.*, 51, 74~76, 1991.
- 15) Ikeda, Y. and Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins University)：〔原著〕Oxygen free radicals in the genesis of peritumoral brain oedema in experimental malignant brain tumors. *Acta Neurochirurgica Suppl.*, 51, 142~144, 1991.
- 16) Ikeda, Y., Long, D.M.¹⁾ and Carson B.S.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins University)：〔原著〕Therapeutic effects of topical dexamethasone on experimental brain tumours and peritumoural brain oedema. *Acta Neurochirurgica Suppl.*, 51, 163~164, 1991.
- 17) 横田裕行¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 安田 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 小林土郎, 中澤省三, 矢埜正実²⁾ (¹⁾救急医学, ²⁾都城医師会病院)：〔原著〕頭部外傷の長期予後；入院時意識レベルおよび年齢との相関。神経外傷, 14, 21~25, 1991.
- 18) 小林土郎, 中澤省三：〔総説〕運動麻痺；歩行障害を含む。Expert Nurse, 7 (14), 75~80, 1991.
- 19) 諫山和男¹⁾, 水成隆之¹⁾, 猪鹿倉恭子, 岸本晃男²⁾, 松井一成²⁾, 小林土郎, 中澤省三 (¹⁾松江病院脳外科, ²⁾同外科)：〔原著〕当院におけるクモ膜下出血症例の検討。東京内科医会誌, 7, 182~185, 1991.
- 20) 中澤省三：〔原著〕脳脊髄外傷をめぐる問題点；植物状態や患者の背景等, 社会的な問題も含めて。ブレインナーシング, 790~301, 1992.
- 21) 小林土郎, 中澤省三：〔総説〕小脳症状；小脳以外の障害による運動失調を含む。Expert Nurse, 8, 88~, 1992.
- 22) 高橋 弘, 中澤省三：〔原著〕ヒト悪性グリオーマに対するモノクローナル抗体による免疫療法。病態生理, 11, 59~62, 1992.
- 23) 横田裕行¹⁾, 安田和弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 小林土郎, 中澤省三 (¹⁾救急医学)：〔原著〕Magnetic resonance imaging (MRI) による, び慢性脳損傷の考察。Neurological Surgery, 20, 15~20, 1992.
- 24) 王 慕一, 池田幸穂, 中澤省三：〔原著〕脳凍結損傷モデルにおける血液脳関門障害の定量的測定法の検討。日医大誌, 59, 62~65, 1992.
- 25) 小林土郎, 中澤省三：〔総説〕脳血管障害とは。月刊消防, 14, 42~48, 1992.
- 26) 草彌博昭, 野手洋治, 星野 茂, 中澤省三：〔原著〕脳梗塞で発症した温型自己免疫性溶血性貧血の1例。脳卒中, 14, 93~97, 1992.

- 27) 小林士郎, 中澤省三: [総説] 破裂脳動脈瘤によるクモ膜下出血-I. 月刊消防, 14, 144~148, 1992.
- 28) 野手洋治, 中澤省三, 辻 之英: [原著] Persistent carotid-vertebral anastomosis の1例. 日本救急医学会雑誌, 3, 26~29, 1992.
- 29) 横田裕行¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 安田和弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中澤省三⁽¹⁾救急医学): [原著] Diffuse axonal injury における頭蓋内圧, 聴性脳幹反応測定の意義. Neurological Surgery, 20, 217~221, 1992.
- 30) 草彌博昭, 池田幸穂, 高橋 弘, 安久津靖彦, 中沢省三: [原著] 血中 Alpha-fetoprotein 値が高値を示した大脳基底核部 germcell tumor の1例. 小児の脳神経, 17, 51~54, 1992.
- 31) 池田幸穂, 中澤省三, Long, D.M.¹⁾, Carson, B.S.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins University): [原著] 実験脳腫瘍および腫瘍性脳浮腫に対する dexamethasone 腫瘍内直接投与法. Drug Delivery System, 7, 143~145, 1992.

著 書

- 1) 中澤省三: [分担] 頭部外傷. 最新・救急治療マニュアル, (編集: 埴 嘉之, 三河春樹, 重田政信) p. 232~243, 1992.
- 2) 中澤省三: [分担] 脳腫瘍. 今日の小児治療指針 第9版, (編集: 岡田昌義, 中村和夫) p. 534, 中外医学社, 1992.
- 3) 志村俊郎, 中澤省三: [分担] 頭痛, 精神科エマージェンシー (編集: 黒沢 尚, 市橋秀夫), p. 146~158, 中外医学社, 1991.
- 4) Ikeda, Y., Nakazawa, S. and Yamada, M.: [分担] Superoxide dismutase activity in experimental brain tumor-Determination by electron spin resonance spectrometry using the spin trap method. Biological aspects of brain tumors. (E.D.: Taguchi, K.) p. 184~187, Springer-Verlag 1991.
- 5) Takahashi, H. and Nakazawa, S.: [分担] Effect of human monoclonal antibody and cytokines on human malignant glioma cells. Biological aspects of brain tumors. (E.D.: Taguchi, K.) p. 44~468, Springer-Verlag 1991.
- 6) 小林士郎: [編著] 狭窄性病変に対する経皮的血管拡張術; (2) 鎖骨下動脈. "脳神経外科領域における血管内手術法." (滝 和郎, 兵頭明夫, 小林士郎編) p. 121~124, へるす出版, 1991.

学会発表

- 1) 草彌博昭, 野手洋治, 星野 茂, 中沢省三: [一般講演] 自己免疫性溶血性貧血に合併した脳梗塞の1例. 第116回日本神経学会関東地方会, 1990.
- 2) Ikeda, Y., Nakazawa, S., Yamada, M. and Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Dept. Neurosurgery the Johns Hopkins University): [一般講演] Decreased superoxide dismutase activity in traumatic injured brain; A new determination by electron spin resonance spectrometry with spin trapping method. The 59th Annual Meeting American Association of Neurological Surgeons, 1991.
- 3) 高橋 弘, 中沢省三, 横田裕行¹⁾ (¹⁾救命救急センター): [一般講演] 小児頭部外傷の特徴について; 特に急性硬膜下血腫における脳性傷の評価. 第19回日本小児科神経外科学研究会, 1991.
- 4) Kobayashi, S., Nakazawa, S., Andrews, B.T.¹⁾ and Pitts, L.H.²⁾ (¹⁾Dept. Neurosurgery University of California, San Francisco, ²⁾Nishimura MC): [一般講演] Does nalmephe effect upon rCBF in focal cerebral ischemia in the rat. The 1st International Neurotrauma Symposium, 1991.
- 5) Ikeda, Y. and Nakazawa, S.: [一般講演] Superoxide dismutase activity in traumatic injured brain. The 1st International Neurotrauma Symposium, 1991.
- 6) Kobayashi, S., Nakazawa, S., Andrews, B.T.¹⁾ and Pitts, L.H.²⁾ (¹⁾Dept. Neurosurgery University of

- California, San Francisco, ²⁾Nishimura MC) : [一般講演] The role of CSF beta-endorphins in traumatic head injury in the rabbit. The 1st International Neurotrauma Symposium, 1991.
- 7) Kobayashi, S., Yokota, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Clinical aspects of severe diffuse axonal injury. The 1st International Neurotrauma Symposium, 1991.
 - 8) Kobayashi, S., Okada, S., Yokota, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Is “delayed traumatic intracerebral hematoma” existed?. The 1st International Neurotrauma Symposium, 1991.
 - 9) 草彌博昭¹⁾, 野手洋治¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 中沢省三, 山下陽一²⁾ (¹⁾多摩永山病院脳神経外科, ²⁾栃木県・県南総合病院脳神経外科) : [一般講演] 脳梗塞で発症した温型自己免疫性喀血性貧血の1例, 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
 - 10) 志村俊郎, 中沢省三, 高橋 弘, 吉田大蔵, 安久津靖彦 : [一般講演] 抗癌剤局所注入療法を施行した膠腫患者127例の合併症及び注入組織の病理学的検討, 第32回日本神経学会総会, 1991.
 - 11) 池田幸穂, 吉田大蔵, 戸田茂樹, 中沢省三, 佐藤純子¹⁾ (¹⁾付属病院研究室) : [一般講演] 実験脳腫瘍における superoxide 消去能 (Superoxide dismutase 様活性) の測定, 第32回日本神経学会総会, 1991.
 - 12) 高橋 弘, 中沢省三 : [一般講演] モノクローナル抗体とサイトカインの併用療法; ヒト悪性グリオーマに対する実験的研究, 第32回日本神経学会総会, 1991.
 - 13) 野手洋治, 中沢省三, Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾ジョンスホプキン大学脳神経外科) : [一般講演] Spinal surgery における体性感覚誘発電位 (SEP) の波形の変化について, 第32回日本神経学会総会, 1991.
 - 14) 石郷岡聡, 小林士郎, 中沢省三, 村野俊一¹⁾, 小池哲雄²⁾ (¹⁾千葉大第2内科, ²⁾新潟大脳神経外科) : [一般講演] Acrogeria に合併した特発性 CCF の1治験例, 第42回日本脳神経外科学会関東地方会, 1991.
 - 15) 村野俊一¹⁾, 森聖二郎¹⁾, 斎藤 康¹⁾, 吉田 尚¹⁾, 池田喜明²⁾, 足高 毅²⁾, 小池哲雄³⁾, 石郷岡聡, 小林士郎, 中沢省三 (¹⁾千葉大第2内科, ²⁾済生会横浜市南部病院内科, ³⁾新潟大脳外科) : [一般講演] 血管脆弱性を基盤として頸動脈海綿静脈洞瘻の血胸を発症したと考えられる acrogeria の1例, 第23回日本動脈硬化学会総会, 1991.
 - 16) Ishigooka, S. and Nakazawa, S. : [一般講演] Clinical evaluation of transcranial Doppler pulsatility index. Fourth Meeting of the Neurosonology Research Group of the World Federation of Neurology, 1991.
 - 17) 足立好司, 長谷川修¹⁾, 高橋 弘, 若林一二¹⁾, 中沢省三 (¹⁾内科第3) : [一般講演] Reverse transcriptase-polymerase chain reaction (RT-PCR) を用いた下垂体腺腫の GRF 遺伝子発現の検索, 第1回間脳下垂体腫瘍研究会, 1991.
 - 18) Kobayashi, S., Yokota, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Characteristic of ICP of head injury in the elderly. Eighth International Symposium on Intracranial Pressure, 1991.
 - 19) Kobayashi, S., Yokota, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] ICP Monitoring of severe diffuse axonal injury. Eighth International Symposium on Intracranial Pressure, 1991.
 - 20) 山下陽一¹⁾, 松本正博¹⁾, 中沢省三, (¹⁾目白第三病院脳神経外科) : [一般講演] 同時期に発生した両側高血圧性脳内血腫の1例, 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
 - 21) Takahashi, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Enhancement of human monoclonal antibody targeting to human malignant glioma with cytokines. 9th European Congress of Neurosurgery, 1991.
 - 22) Node, Y., Nakazawa, S. and Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾Dept. of Neurosurgery, The Johns Hopkins Hospital Baltimore) : [一般講演] Quantification of the thermal asymmetry after hemispherectomy in the patients with intractable seizures using thermography. 9th European Congress of Neurosurgery, 1991.
 - 23) 池田幸穂, 中沢省三, Carson, B.S.¹⁾, Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Dept. of Neurosurgery, Johns Hopkins Hospital) : [一般講演] 腫瘍性脳浮腫に対する Dexamethasone 直接投与法に関する実験的検討, 第14回脳浮腫研究会, 1991.
 - 24) 中沢省三 : [特別講演] 悪性脳腫瘍の治療法を中心に, 久留米大学医学部脳神経外科特別講演, 1991.
 - 25) 中沢省三 : [特別講演] 重症患者の診かたと植物状態および脳死の病態, 久留米大学医学部特別講演, 1991.

- 26) 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] Programmable pressure valve を用いた短絡術の有用性について. 第1回水頭症の治療シンポジウム, 1991.
- 27) 高橋 弘, 足立好司, 中沢省三, Bender, H.¹⁾, Herlgn, D.¹⁾ (¹⁾Wister Institute.): [一般講演] 抗上皮成長因子受容体モノクローナル抗体を用いる radioimmunotherapy における核種の考察. 第4回脳と免疫研究会, 1991.
- 28) 池田幸穂, 中沢省三, Carson, B.S.¹⁾, Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Dept. of Neurosurgery, Johns Hopkins Hospital): [一般講演] 腫瘍性脳浮腫に対する osmoic pump による dexamethasone 腫瘍内直接投与に関する実験的研究. 第7回日本 DDS 学会, 1991.
- 29) 高橋 弘, 足立好司, 中沢省三, Herlyn, D.¹⁾ (¹⁾Wistak Institute.): [一般講演] RI 結合モノクローナル抗体を用いた免疫療法における核種選択の一考察. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 30) 野手洋治¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾, 草彌博昭, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳外科): [一般講演] Peltier 熱勾配式組織血流計による開頭術中の脳血流計測定の試み. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 31) 吉田陽一, 清水澄江, 小南修史, 岡田卓郎, 小林士郎, 中沢省三: [展示] MCNU 動注療法により著明な腫瘍縮小効果を認めた悪性神経膠腫の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 32) 田島秀則, 山下陽一, 安久津靖彦, 池田幸穂, 中沢省三, 水成隆之¹⁾ (¹⁾松江病院脳外科): [展示] 後頭部腫瘤を呈した fibrous dysplasia の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 33) 林 伸吉, 小井戸隆, 石郷岡聡, 小林士郎, 高橋 弘, 中沢省三, 高橋英彦¹⁾ (¹⁾産婦人科): [展示] 外頸動脈系から栄養された小脳血管芽腫の2例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 34) 川本俊樹, 清水澄江, 石郷岡聡, 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三, 陳 茂楠¹⁾ (¹⁾佼成病院脳外科): [展示] 側脳室内髄膜腫の2例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 35) 饒波正博, 玉置智規, 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三, 中西孝雄¹⁾ (¹⁾千葉大学脳神経外科): [展示] 頸静脈孔に発生した paraganglioma の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 36) 王 慕一, 池田幸穂, 中沢省三: [展示] 脳血液関門障害の定量的測定法の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 37) 草彌博昭¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 野手洋治¹⁾, 猪鹿倉恭子¹⁾, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳外科): [展示] 比較的まれな中大脳動脈水平部動脈瘤の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 38) 戸田茂樹¹⁾, 水成隆之¹⁾, 岸本晃男²⁾, 小林士郎, 中沢省三 (¹⁾松江病院脳外科, ²⁾同外科): [展示] テント上下に脳圧を測定した isolated fourth ventricle の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 39) 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 文入正敏¹⁾, 高橋 弘, 矢嶋浩三, 中沢省三(¹⁾形成外科): [展示] 頭蓋骨外板移植による頭蓋顔面骨再建術. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 40) 野手洋治¹⁾, 草彌博昭¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 足立好司²⁾, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳神経外科, ²⁾栃木県南総合病院脳神経外科): [一般講演] 交代性顔面神経麻痺の1例. 第118回日本神経学会関東地方会, 1991.
- 41) 岡田卓郎, 小林士郎, 諫山和男, 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] Suboccipital transtentorial approach にて全摘し得た小脳山頂部の AVM の1例. 第43回日本脳神経外科学会関東地方会, 1991.
- 42) 草彌博昭¹⁾, 野手洋治¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 佐々木光由²⁾, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳外科, ²⁾栃木県南総合病院脳神経外科): [一般講演] 外傷性脳血管障害の1例. 第43回日本脳神経外科学会関東地方会, 1991.
- 43) Takahashi, H., Nakazawa, S. and Yokota, H.: [一般講演] Study on cerebral contusion of acute subdural hematoma in children. International Society for Pediatric Neurosurgery, 1991.
- 44) Shimura, T., Nakazawa, S., Akutsu, Y., Aoto, S.¹⁾ and Aihara, K.¹⁾ (¹⁾Dept. of Neurosurgery Central Institute for Electron Microscopic Researches, Nippon Medical School): [一般講演] Autoradiographical study of experimental brain tumor after continuous local chemotherapy. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991.

- 45) Kobayashi, S., Okada, T., Yokota, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Delayed traumatic intracerebral hematoma. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991.
- 46) Kobayashi, S., Yokota, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Severe diffuse axonal injury. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991.
- 47) Takahashi, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Effect of the concomitant treatment of human malignant glioma with a monoclonal antibody and cytokines. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991.
- 48) Isayama, K., Kobayashi, S., Nakazawa, S. and Pitts, L.H.¹⁾ (¹⁾Dept. of Neurosurgery, University of California San Francisco) : [一般講演] Continuous administration of nimodipine improves stroke size and neurological outcome in focal cerebral ischemia. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991.
- 49) Kobayashi, S., Isayama, K., Yokota, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Ventriculostomy using the coronal suture-external auditory canal marking method. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991.
- 50) Kobayashi, S., Yokota, H. and Nakazawa, S. : [一般講演] Complete closed ventricular and cisternal drainage kit. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991.
- 51) Kobayashi, S., Nakazawa, S. and Yajima, K. : [一般講演] New disposable draping system for craniotomy using medical non-woven "Sontara" . 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991.
- 52) 高橋 弘, 中沢省三 : [一般講演] 悪性グリオーマ化学療法時の人参養榮湯併用の有用性について. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
- 53) Kobayashi, S., Nakazawa, S., Pitts, L.H.¹⁾, Ross, A.¹⁾ and Andrews, B.T.¹⁾ (¹⁾Dept. of Neurosurgery University of California San Francisco) : [一般講演] The uncommon occurrence of combined head and spinal injuries. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 54) Kobayashi, S., Nakazawa, S., Tsai, F.Y.¹⁾ and Higashijoda, R.²⁾ (¹⁾University of Missouri-kansas City, ²⁾ University of California San Francisco Medical Center) : [一般講演] Long term followup of PTA for carotid stenosis. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 55) 高橋 弘, 足立好司, 中沢省三, Bender, H.¹⁾, Herlyn, D.¹⁾ (¹⁾Wistar Institute) : [一般講演] 悪性グリオーマに対するモノクローナル抗体を用いた新しい radioimmunotherapy における核種選択について. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 56) 吉田大蔵, 池田幸穂, 戸田茂樹, 中沢省三, 佐藤純子¹⁾ (¹⁾付属病院研究室) : [一般講演] 実験的悪性脳腫瘍における D-Penicillamine の腫瘍抑制効果について. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 57) 志村俊郎, 中沢省三, 安久津靖彦, 佐藤 茂¹⁾, 相原 薫¹⁾ (¹⁾中央電子顕微鏡研究施設) : [一般講演] ラット実験脳腫瘍における抗癌剤持続局所注入療法のオートラジオグラフィによる検討. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 58) 池田幸穂, 吉田大蔵, 戸田茂樹, 中沢省三, 佐藤純子¹⁾, 山田真砂子²⁾ (¹⁾付属病院研究室, ²⁾日本電子 ESR 応用研究室) : [一般講演] 実験的悪性脳腫瘍における superoxide radical 産生能と消去能. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 59) 石郷岡聡, 中沢省三 : [一般講演] Transcranial Doppler ultrasonography における pulsatility index の意義について. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 60) 小林土郎, 粟屋 栄, 星野 茂, 水成隆之, 岡田卓郎, 諫山和男, 中沢省三, 横田裕行¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学) : [一般講演] 外傷性一次性脳幹部損傷と diffuse axonal injury の関係. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.

- 61) 横田裕行¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 粟屋 栄, 小林士郎, 中沢省三 (¹救急医学): [一般講演] 重症頭部外傷の管理と問題点; 持続頭蓋内圧, 経時的聴性腰幹反応測定の結果から. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 62) 横田裕行¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 小林士郎, 中沢省三 (¹救急医学): [一般講演] 脳神経外科疾患急性期における magnetic resonance imaging (MRI) の有用性とその展望. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 63) 野手洋治, 中沢省三, Uematsu, S.¹⁾ (¹Johns Hopkins 大学脳外科): [シンポジウム] 脊髄および脊髄外科手術中の体性感覚誘発電位の変化について; リスクレベルの検討. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 64) 池田幸穂, 中沢省三: [シンポジウム] Oxygen free radicals と脳浮腫. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 65) 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] 悪性グリオーマ化学療法時の副作用軽減に果たす人参養栄湯の役割. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 66) 志村俊郎, 中沢省三, 高橋 弘, 吉田大蔵, 安久津靖彦, 玉井 仁¹⁾ (¹放射線医学): [一般講演] 悪性腫瘍の補助療法施行後の経時的 MRI 像と剖検所見の検討. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 67) Kobayashi, S., Nakazawa, S. and Tsai, F.Y.¹⁾ (¹Dept. of Radiology, University of Missouri-Kansas City): [一般講演] PTA of vertebral artery stenosis. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 68) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三, Pitts, L.H.¹⁾ (¹カリフォルニア大学サンフランシスコ校脳外科): [一般講演] 実験的脳虚血における Ca⁺⁺チャンネルブロッカーと尖蓄性アミノ酸受容体ブロッカーの同時投与の効果. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 69) 高橋 弘, 足立好司, 中沢省三: [一般講演] 抗 EGF-R モノクローナル抗体による悪性グリオーマの免疫療法; 動物実験と臨床応用. 第9回日光脳腫瘍カンファランス, 1991.
- 70) 近藤達也¹⁾, 吉岡真澄¹⁾, 篠浦伸禎¹⁾, 山川健太¹⁾, 牧内恒生¹⁾, 藤堂貝紀¹⁾, 伊地俊介¹⁾, 小井戸隆 (¹国立病院医療センター脳外科): [一般講演] 脳腫瘍の単独放射線療法による寛解とその免疫学的評価. 第9回日光脳腫瘍カンファランス, 1991.
- 71) 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三, Pitts, L.H.¹⁾ (¹UCSF 脳外科): [一般講演] ラット局所脳梗塞における 2,3,5-Triphenyl tetrazolium chloride staining の評価. 第3回日本脳循環代謝学会総会, 1991.
- 72) 池田幸穂, 吉田大蔵, 中沢省三: 9L glioma における superoxide 産生能と消去能. 第3回日本脳循環代謝学会総会, 1991.
- 73) 池田幸穂, 戸田茂樹, 中沢省三: ラット脳凍結損傷における superoxide 消去能の変動. 第3回日本脳循環代謝学会総会, 1991.
- 74) Takahashi, H. and Nakazawa, S.: [一般講演] Usefulness of Ninjin-Youei-to (chinese herbal medicine) for side effects of chemotherapy against malignant gliomas. 4th International Symposium on Pediatric Neuro-Oncology, 1991.
- 75) 池田幸穂, 吉田大蔵, 中沢省三, 佐藤純子¹⁾, 山田真砂子²⁾ (¹付属病院研究室, ²日本電子 ESR 応用研究室): [一般講演] 実験的脳腫瘍組織における superoxide 消去能の検討. 日本過酸化脂質・フリーラジカル学会第15回大会, 1991.
- 76) 池田幸穂, 中沢省三, 山田真砂子¹⁾ (¹日本電子 ESR 応用研究室): [一般講演] 実験的脳損傷組織における superoxide 消去能. 日本過酸化脂質・フリーラジカル学会第15回大会, 1991.
- 77) 戸田茂樹¹⁾, 志村士郎¹⁾, 野手洋治¹⁾, 吉田陽一¹⁾, 中沢省三 (¹多摩永山病院脳外科): [一般講演] 脳外科における MRSA 感染症. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 78) 高橋 弘, 戸田茂樹, 清水澄江, 中沢省三: [一般講演] 頭蓋内 embryonal carunoma のまれな1例. 第9回日本こども病院脳神経外科医会, 1991.
- 79) Ikeda, Y., Yoshida, D., Nakazawa, S. and Yamada, M.¹⁾ (¹ERS Application Laboratory): [一般講演] Biological significance of superoxide in experimental malignant brain tumors. 5th International Congress on Oxygen Radicals, 1991.

- 80) Ikeda, Y., Nakazawa, S. and Yamada, M.¹⁾ (¹⁾ERS Application Laboratory): [一般講演] Sequential changes of superoxide scavenging activity in the rat cryogenic injured brain. 5th International Congress on Oxygen Radicals, 1991.
- 81) Ikeda, Y., Nakazawa, S., Long, D.M.¹⁾ (¹⁾Johns Hopkins Hospital): [一般講演] Iron chelation for prevention of brain edema. 5th International Congress on Oxygen Radicals, 1991.
- 82) 石郷岡聡, 川本俊樹, 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] 水頭症患者におけるトランスクラニアルドップラーによる脳血流の変化について. 第44回日本脳神経外科学会関東地方会, 1991.
- 83) 池田幸穂, 中沢省三: [一般講演] 血管原性脳浮腫における superoxide 産生能と消去能. 第1回京浜地域生体フリーラジカル実験技術交流会, 1991.
- 84) 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] 副作用軽減を目的とした悪性グリオーマに対する人参養榮湯併用化学療法の基礎的実験. 第4回JBRM学会学術集会総会, 1991.
- 85) Kominami, S., Kumazaki, T.¹⁾ and Nakazawa, S. (¹⁾Dept Radiology): [一般講演] Application of rotational digital stereo-angiography to neurosurgery. 8th Congress of Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter Tokyo, 1991.
- 86) Node, Y., Nakazawa, S. and Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾Dept of Neurosurgery Johns Hopkins University): [一般講演] Acceptable Upper Limit of SEP parameters. 8th Congress of Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter Tokyo, 1991.
- 87) 高橋 弘, 中沢省三: [一般講演] 当科における再発神経膠腫の治療と展望. 第2回ニューロ・オンコロジーの会, 1991.
- 88) 滝沢 康¹⁾, 百束比古¹⁾, 文入正敏¹⁾, 平井 隆²⁾, 高橋 弘(¹⁾付属病院形成外科, ²⁾東戸塚記念病院形成外科): [一般講演] Free or island SCA flap による頭頂部前額部の再建の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 89) 百束比古¹⁾, 大久保正智¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 滝沢 康¹⁾, 文入正敏¹⁾, 高橋 弘, 矢嶋浩三, 中沢省三 (¹⁾付属病院形成外科): [展示] 頭蓋骨外板移植による頭蓋顔面骨再建術. 第161回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 90) Kominami, S., Kumazaki, T.¹⁾, Tajima, H., Oya, T.¹⁾, Genma, K.¹⁾ and Nakazawa, S. (¹⁾Dept of Radiology, Nippon Medical School): [一般講演] Rotational digital stereoangiography-A new system for 3-D display. xvii Congress of the European Society of Neuroradiology 1991.
- 91) 林 伸吉, 高橋 弘, 喜多村孝幸, 小井戸隆, 戸田茂樹, 中沢省三: [一般講演] 興味ある経過を示した心房内粘液腫による脳動脈瘤の1例. 脳神経CT研究会, 1992.
- 92) 諫山和男, 小林士郎, 水成隆之, 横田裕行, 中沢省三: [一般講演] セラミックによる頭蓋形成術について. 第1回脳神経外科手術・機器研究会, 1992.
- 93) 草彌博昭¹⁾, 野手洋治¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 足立好司²⁾, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳神経外科, ²⁾栃木県南総合病院病理): [一般講演] Banti 症候群に合併した脳膿瘍の1例. 第1回脳神経外科手術・機器研究会, 1992.
- 94) Node, Y., Nakazawa, S. and Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾Dept of Neurosurgery John Hopkins Hospital): [一般講演] Risk level of somatosensory evoked potentials during scoliosis surgery 21th Congress of Pan-Pacific Surgical Association Hawaii, 1992.
- 95) Shimura, T., Yoshida, D. and Nakazawa, S.: [一般講演] Aclinical research for treatment of malignant brain tumors by local injection of adriamycin, 21th Congress of Pan-Pacific Surgical Association Hawaii, 1992.
- 96) Kobayashi, S., Ishigooka, S. and Nakazawa, S.: [一般講演] Epidemiological studies of vegetative state patients in Japan, 21th Congress of Pan-Pacific Surgical Association Hawaii, 1992.
- 97) Shiro Kobayashi, S. and Nakazawa, S.: [一般講演] Clinical and pathological studies of diffuse axonal injuries, 21th Congress of Pan-Pacific Surgical Association Hawaii, 1992.

- 98) 星野 茂, 小林士郎, 諫山和男, 横田裕行, 中沢省三: [展示] 完全閉鎖式脳室及び脳槽ドレナージキットの開発. 第1回脳神経外科手術・機器研究会, 1992.
- 99) 小林士郎, 諫山和男, 横田裕行, 中沢省三, 矢嶋浩三, 大川共一¹⁾ (¹⁾外科第1): [展示] 医療用不織布を用いた新しい開頭術用ドレーピングセット. 第1回脳神経外科手術・機器研究会, 1992.
- 100) 戸田茂樹¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 野手洋治¹⁾, 中沢省三 (¹⁾多摩永山病院脳神経外科): [一般講演] 悪性脳腫瘍に合併したMRS感染症の1例, 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 101) 粟屋 栄, 小林士郎, 諫山和男, 中川省三, 横田裕行¹⁾, 布施 明¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾ (¹⁾救急医学): [一般講演] 高齢者頭部外傷の特徴. 第5回老年脳神経外科研究会, 1992.
- 102) 小林士郎: [パネル] PTA Thrombolysis. 第5回老年脳神経外科研究会, 1992.
- 103) 草彌博昭, 小林士郎, 中沢省三, 横田裕行¹⁾ (¹⁾救急医学): [展示] 老年者に認められた皮質動脈破綻による硬膜下血腫. 第5回老年脳神経外科研究会, 1992.
- 104) 小林士郎, 石郷岡聡, 小南修史, 中沢省三, 村野俊一¹⁾, 小池哲雄²⁾ (¹⁾千葉大第2内科, ²⁾新潟大脳神経外科): [一般講演] CCFを合併したacrogeriaの1例. 第21回日本神経放射線研究会, 1992.
- 105) 山下陽一, 田島秀則, 池田幸穂, 高橋 弘, 岡田憲明, 中沢省三: [一般講演] 興味あるMRI所見を呈したneuro-bhctdiseaseの1例. 第45回日本脳神経外科学会関東地方会, 1992.
- 106) 諫山和男, 小林士郎, 池田幸穂, 水成隆之, 岡田卓郎, 粟屋 栄, 横田裕行¹⁾, 中沢省三 (¹⁾救急医学): [シンポジウム] 最重症クモ膜下出血の検討: DOA, near DOA 症例に関して. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 107) 清水澄江, 池田幸穂, 中沢省三: [一般講演] クモ膜下出血例における急性相反応蛋白の経時的変動. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 108) 池田幸穂, 佐々木光由, 諫山和男, 中沢省三, 清水澄江: [ポスター] 脳血管攣縮に対する nicardipine 持続静注療法の臨床的問題点. 第17回日本脳卒中学会総会, 1992.
- 109) 池田幸恵, 吉田大蔵, 戸田茂樹, 王慕 一, 中沢省三, 草井真砂子: [一般講演] 実験例及び外傷脳における superoxide 消去能; ESR-spin trapping 法による検討, 第19回日本磁気共鳴医学会大会, 1992.
- 110) 高橋 弘, 足立好司, 中沢省三, Bender, H.¹⁾, Herlyn, D.¹⁾ (¹⁾Wistar Institute): [一般講演] 小児悪性脳腫瘍に対する RI 結合モノクローナル抗体によるダーゲッティング療法. 第20回日本小児神経外科学研究会, 1992.

[多摩永山病院脳神経外科]

研究概要

多摩永山病院脳神経外科は, 日本脳神経外科学会専門医訓練施設として, 診療, 教育, 研究を付属病院脳神経外科学教室の指導の下に行っている。

当科の第1の研究のテーマは, 外傷性びまん性脳損傷の研究であり, 持続頭蓋内圧測定(光センサー硬膜下法), 脳血流測定(超音波ドップラー法)電気生理学的検査(聴性脳幹反応, 体性感覚誘発電位)MRIなどの諸検査により脳損傷の病態解明を行っている。

第2のテーマは原発および転移性脳腫瘍の治療, 主としてオンマヤチューブと Infuse-A-port 使用による間歇的持続局所化学療法 of 臨床的病理学的研究である。

研究業績

論文

- 1) 志村俊郎, 中沢省三: [原著] 脳挫傷. *Clinical Neuroscience*, 10, 372~373, 1992.
- 2) 横田裕行¹⁾, 中沢省三, 志村俊郎, 木村昭男, 山本保博¹⁾, 大塚敏文²⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科, ²⁾救急医学): [原著] 脳死患者における視床下部下垂体機能. *Neurol. Med. Chir. (Tokyo)*, 31, 881~886, 1991.

- 3) 草彌博昭, 野手洋治, 星野 茂, 中澤省三: [報告] 脳梗塞で発症した温型自己免疫性溶血性貧血の1例. 脳卒中, 14, 93~97, 1992.

著 書

- 1) Node, Y. and Uematsu, S. (1)ジョンス・ホプキンス大学脳神経外科): [分担] Somatosensory evoked potential recordings for decision making on instrumentation during Scoliosis surgery. Spinal Cord Monitoring and Electrodiagnosis (Shimoji K. et al. eds.) p. 346~352, Springer Verlag Berlin. Heiderberg, 1991.

学会発表

- 1) 野手洋治, 草彌博昭, 志村俊郎, 足立好司, 中沢省三: [一般講演] 交代性顔面神経麻痺の1例. 第118回日本神経学会関東地方会, 1991.
- 2) 草彌博昭, 野手洋治, 志村俊郎, 佐々木光由, 中沢省三¹⁾ (1)付属病院脳神経外科): [一般講演] 外傷性脳血管障害の1例. 第43回日本脳神経外科学会関東地方会, 1991.
- 3) 戸田茂樹, 志村俊郎, 野手洋治, 草彌博昭, 中沢省三¹⁾ (1)付属病院脳神経外科): [一般講演] 中大脳動脈水平部動脈瘤の1例. 第45回日本脳神経外科学会関東地方会, 1992.
- 4) 草彌博昭, 野手洋治, 足立好司, 中沢省三¹⁾ (1)付属病院脳神経外科): [一般講演] Banti 症候群に合併した脳膿瘍の1例. 第15回脳神経 CT 研究会, 1991.
- 5) 野手洋治, 志村俊郎, 猪鹿倉恭子, 草彌博昭, 中沢省三¹⁾ (1)付属病院脳神経外科): [一般講演] Peltier 熱勾配式組織血流計による開頭術中の脳血流測定を試み. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 6) 草彌博昭, 志村俊郎, 野手洋治, 猪鹿倉恭子, 中沢省三¹⁾ (1)付属病院脳神経外科): [一般講演] 比較的まれな中大脳動脈水平部動脈瘤の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 7) 草彌博昭, 野手洋治, 志村俊郎, 中沢省三¹⁾, 山下陽一 (1)付属病院脳神経外科): [一般講演] 脳梗塞で発症した温型自己免疫性溶血性貧血の1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 8) 戸田茂樹, 志村俊郎, 野手洋治, 吉田陽一, 中沢省三¹⁾ (1)付属病院脳神経外科): [一般講演] 脳外科領域における MRSA 感染症. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 9) 戸田茂樹, 志村俊郎, 野手洋治, 田島秀則, 中沢省三¹⁾ (1)付属病院脳神経外科): [一般講演] 悪性脳腫瘍に合併した MRSA 感染症の1例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 10) Node, Y., Nakazawa, S.¹⁾ and Uematsu, S.²⁾ (1)付属病院脳神経外科, ²⁾ジョンスホプキンス大学脳神経外科): [ポスター] Quantification of the thermal asymmetry after hemispherectomy in the patients with intractable seizures using thermography. 9th European Congress of Neurosurgery (Moscow), 1991.
- 11) Shimura, T., Nakazawa, S.¹⁾, Akutsu, Y.¹⁾, Sato, S.²⁾ and Aihara, K.²⁾ (1)付属病院脳神経外科, ²⁾中央電子顕微鏡施設): [一般講演] Autoradiographical study of experimental brain tumor after continuous local chemotherapy. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery (Seoul), 1991.
- 12) Node, Y., Nakazawa, S.¹⁾, Uematsu, S.²⁾ (1)付属病院脳神経外科, ²⁾ジョンスホプキンス大学脳神経外科): [一般講演] Acceptable upper limit of SEP during scoliosis surgery. Pan-Pacific Surgical Association, Japan Chapter, 8th General Meeting, 1991.
- 13) 野手洋治, 中沢省三¹⁾, Uematsu, S.²⁾ (1)付属病院脳神経外科, ²⁾ジョンスホプキンス大学脳神経外科): [シンポジウム] 脊椎および脊髄外科手術の体性感覚誘発電位の変化について; リスクレベルの検討. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 14) 志村俊郎, 中沢省三¹⁾, 安久津靖彦¹⁾, 佐藤 茂²⁾, 相原 薫²⁾ (1)付属病院脳神経外科, ²⁾中央電子顕微鏡研究施設): [展示] ラット実験脳腫瘍における抗癌剤持続局所注入療法のオートラジオグラフィーによる検討. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.

- 15) 志村俊郎, 中澤省三, 高橋 弘, 吉田大蔵¹⁾, 安久津安彦, 玉井 仁(¹⁾付属病院脳神経外科, ²⁾同放射線科): [展示] 悪性脳腫瘍の補助療法施行後の経時的 MRI 像と剖検所見の検討. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 16) 野手洋治, 中沢省三¹⁾, Uematsu, S.¹⁾ (¹⁾付属病院脳神経外科, ²⁾ジョンスホプキンス大学脳神経外科): [一般講演] Spinal surgery における体生感覚誘発電位(SEP)の波形の変化について. 第32回日本神経学会総会, 1991.

12. 整形外科科学講座

[付属病院整形外科・第一病院整形外科・第二病院整形外科・多摩永山病院整形外科]

研究概要

現代の整形外科はその研究範囲が膨大なものとなっている。それらの出来るだけ多くの領域を網羅するべく研究班に分けて研究している。

項目では、

- 1) 電気生理学的検索：脊髄電位，筋電図，神経電位，骨の電気刺激，生体電磁場刺激
- 2) Biomechanics：脊椎，仙腸関節，膝関節，股関節，肩関節の Biomechanics
- 3) 軟骨再生と移植：動物実験による同種および自家軟骨移植
- 4) 手の機能・解剖：特に手根骨の動態と変性
- 5) 人工関節，靭帯：膝関節内前十字靭帯の人工靭帯の開発と臨床応用
- 6) 脊椎管腔内の血行動態：脊椎，脊髄内の静脈の解剖と血行動態
- 7) 臨床的検索：
 - (i) 頸椎・腰椎の手術
 - (ii) 骨盤（仙腸関節）部の手術
 - (iii) 関節手術と人工関節・靭帯置換
 - (iv) 悪性腫瘍肢温存手術
 - (v) スポーツ医学
 - (vi) 脊椎骨粗鬆症
 - (vii) その他

等が代表的なものである。

研究業績

論文

- 1) 間瀬泰克，白井康正，渡辺 誠，井伊京一郎，横内正直，田島圭輔，松尾博由¹⁾(¹松尾医院整形外科)：〔原著〕アイスホッケー選手の足関節外傷について。日本整形外科スポーツ医学会誌，10，183～187，1991.
- 2) 間瀬泰克，白井康正，渡辺 誠，井伊京一郎，南 和文，横内正直，松尾博由¹⁾，木村恒雄²⁾(¹松尾医院整形外科，²⁾日本ヨット協会)：〔原著〕ヨット外傷について；ヨット競技選手に対するアンケート調査結果の検討。臨床スポーツ医学，8（別冊），197～200，1991.
- 3) 元文芳和：〔原著〕家兎成長軟骨盤およびその周囲に及ぼす直流電気刺激の影響。日医大誌，58，391～398，1991.
- 4) 高山景範，白井康正，伊藤博元，井上惣一郎，柴崎 徹，藤井信人，浦田伸一，橋田雅美，橋口 宏：〔報告〕大きな肩峰下骨棘を伴った腱板断裂の2例。肩関節，15，184～188，1991.
- 5) 伊藤博元，宮本雅史，池田龍二，進藤久夫，石田 晋：〔原著〕骨痛・腰痛に対するカルシトニン療法。骨・関節・靭帯，4，835～839，1991.
- 6) 伊藤博元，南 和文，柴崎 徹，石川雅人，高山景範，橋口 宏，井出勝彦：〔原著〕スポーツによる肩関節周囲の傷とその治療。骨・関節・靭帯，4，1000～1006，1991.
- 7) 白井康正，伊藤博元，武内俊次：〔原著〕高齢者の大腿骨頸上骨折。整外 Mook，62，170～176，1991.
- 8) 成田哲也，白井康正，伊藤博元：〔原著〕開放性骨折に対する一次的骨接合；プレートを中心に。骨・関節・靭

- 帯, 4, 1749~1756, 1991.
- 9) 池田龍二：〔原著〕仙腸関節の神経支配について肉眼的組織学的研究. 日医大誌, 58, 587~596, 1991.
 - 10) 小川ひろみ, 白井康正, 肥留川道雄, 井上惣一郎, 池谷正之¹⁾(¹⁾池谷整形外科)：〔報告〕キーンベック病における橈骨短縮骨切り術の実験的研究(II). 日本手の外科学会雑誌, 8, 316~321, 1991.
 - 11) 南 和文, 白井康正, 中川 俊, 間瀬泰克, 小林明雄, 竹内良夫¹⁾(¹⁾微生物免疫)：〔報告〕学生相撲選手にみられた化膿性前膝蓋骨滑液包炎の1例. 臨床スポーツ医学, 8(別冊), 174~176, 1991.
 - 12) 藤原 淳, 白井康正, 中川 俊, 南 和文, 大村文敏：〔報告〕第6頸椎棘突起に発生した遺伝性多発性軟骨腫の1例. 関東整災外会誌, 23, 1991.
 - 13) 白井康正, 伊藤博元：〔原著〕高齢者の大腿骨顆上骨折. 整外Mook, 62, 170~176, 1991.
 - 14) 高山裕史, 白井康正, 宮本雅史, 中嶋隆夫, 小林千秋¹⁾(¹⁾小林整形外科医院)：〔原著〕腰椎椎間板ヘルニアにおけるMRIの診断的価値. 東日本臨床整形外科学会雑誌, 1991.
 - 15) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 高山裕史, 舟越龍也, 森 淳, 橋田雅美, 伊志嶺隆¹⁾(¹⁾沖縄第1病院)：〔原著〕陈旧性前十字靭帯断裂に対する膝蓋靭帯単独再建法とAugmentation法の比較検討. 整形外科, 42, 1017~1026, 1991.
 - 16) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 石川雅人, 柴崎 徹, 沢泉卓哉, 元文芳和, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫, 伊志嶺隆¹⁾(¹⁾沖縄第1病院)：〔原著〕関注療法によって生じた化膿性膝関節炎の検討. 関節の外科, 18, 195~199, 1991.
 - 17) 大村文敏, 白井康正, 中川 俊：〔原著〕椎間板ヘルニア：どれだけの検査が必要か. 骨・関節・靭帯, 4, 165~174, 1991.
 - 18) 白井康正, 宮本雅史：〔原著〕創外固定法の有用性とその限界について. Monthly Book Orthopaedics, 45, 15~25, 1991.
 - 19) 吉原 潔, 白井康正, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 池田 亮, 小池竜哉, 林 英俊, 上坂真司：〔原著〕ペルテス病の保存的治療経験；10年以上の経過例について. 神奈川関節外科学会誌, 7, 38~43, 1992.
 - 20) 千葉由雄, 白井康正, 中川 俊, 南 和文, 藤原 淳：〔原著〕腰椎椎間板ヘルニア臨床像とCT discogram 所見の相関. 中部日整災外会誌, 134, 41~46, 1992.
 - 21) 南 和文：〔原著〕スポーツ選手の陥入爪の治療とケアについて. Sportsmedicine, 8, 41~46, 1992.
 - 22) 南 和文, 白井康正, 肥留川道雄, 間瀬泰克, 中川 俊, 福田憲昭：〔報告〕手術後に競技復帰できた舟状骨々折の1例. 東海スポーツ傷害研究会記録集, 9, 36~38, 1992.
 - 23) 白井康正, 伊藤博元：〔原著〕電磁波刺激による遷延治療骨折の電気治療法. 総合臨床, 41, 140~146, 1992.
 - 24) 伊藤博元, 白井康正, 黒川胤臣, 肥沼正明, 元文芳和, 舟越龍也：〔原著〕電磁場刺激により治癒した先天性下腿偽関節症の1例. 整形外科, 43, 97~100, 1992.
 - 25) 白井康正, 伊藤博元：〔原著〕電磁波刺激による遷延治療骨折の電気治療. 総合臨床, 41, 140~146, 1992.
 - 26) 成田哲也, 白井康正, 中山義人, 宮本雅史, 高山裕史, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫, 玉井 仁¹⁾(¹⁾放射線医学)：〔原著〕鏡視下半月板切除術後の成績とMRI像. 東京膝関節研会誌, 12, 163~169, 1992.
 - 27) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 元文芳和, 舟越龍也, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫：〔原著〕Augmentation法における再建靭帯の関節鏡所見. 東京膝関節研会誌, 12, 128~134, 1992.
 - 28) 白井康正, 宮本雅史：〔原著〕肘関節周辺及び前腕骨折の保存療法. 骨・関節・靭帯, 5, 159~166, 1992.
 - 29) 白井康正：〔総説〕ぎっくり腰の原因. きょうの健康, 4, 21~23, 1992.

著 書

- 1) 伊藤博元：〔編集〕頸肩腕症候群の診療のポイント. 真和メディカル, 1991.

- 2) 白井康正：〔編集〕末梢神経障害. 図説整形外科診断治療講座, 末梢神経障害, 13, メヂカルビュー社, 1991.
- 3) 白井康正：〔編集〕頸椎疾患・損傷. 図説整形外科診断治療講座, 頸椎疾患・損傷, 14, メヂカルビュー社, 1991.
- 4) 白井康正：〔編集〕先天性股関節脱臼・臼蓋形成不全. 図説整形外科診断治療講座, 18, メヂカルビュー社, 1991.
- 5) 白井康正：〔編集〕足・足関節疾患. 図説整形外科診断治療講座, 19, メヂカルビュー社, 1991.
- 6) 白井康正：〔編集〕リハビリテーション. 図説整形外科診断治療講座, 20, メヂカルビュー社, 1991.
- 7) 白井康正：〔編集〕Bio-Medical Materials and Engineering. P. 2, Pergan Press, New York, 1992.
- 8) 白井康正：〔編集〕腰痛. 今日の診断指針, 第3版, p. 224~228, 医学書院, 1992.

学会発表

- 1) Ohmura, F., Shirai, Y., Nakagawa, T.: 〔一般講演〕Clinical study of the lumbar degenerative scoliosis. 18th Annual Meeting of International Society for the Study of the Lumbar Spine (Heidelberg, Germany), 1991.
- 2) 大村文敏, 白井康正, 中川 俊：〔一般講演〕腰部脊柱管狭窄症の責任病巣診断におけるMRIの役割について. 第20回日本脊椎外科学会, 1991.
- 3) 大村文敏, 白井康正, 中川 俊：〔一般講演〕腰静脈造影所見からみたLipo PGE₁の効果. 第20回日本脊椎外科学会, 1991.
- 4) 福田憲昭, 白井康正, 南 和文, 中川 俊, 加藤和義, 間瀬泰克, 小林明雄：〔一般講演〕モーターボート走行中に腰椎圧迫骨折を来した2例. 第2回日本臨床スポーツ医学会総会, 1991.
- 5) 千葉由雄, 白井康正, 中川 俊, 南 和文：〔一般講演〕腰部椎間板ヘルニアの臨床像とCTディスコグラムの相関. 第76回中部整形災害外科学会, 1991.
- 6) 藤原 淳, 白井康正, 中川 俊, 南 和文, 大村文敏：〔一般講演〕腰部脊柱管狭窄症のペノグラムとミエログラムの検討. 第22回関東整形災害外科学会, 1991.
- 7) 福田憲昭, 白井康正, 中川 俊, 肥留川道雄, 南 和文：〔一般講演〕橈尺骨癒合症にみられたキーンベック病の1例. 第22回関東整形災害外科学会, 1991.
- 8) 藤原 淳, 白井康正, 南 和文, 大村文敏, 中川 俊：〔一般講演〕腰部脊柱管狭窄症における椎骨静脈叢の静脈圧測定に関する研究. 第14回日本バイオレオロジー学会, 1991.
- 9) 南 和文, 白井康正, 中川 俊, 間瀬泰克：〔一般講演〕スポーツ選手の陥入爪の治療経験. 第16回日本足の外科学会, 1991.
- 10) 南 和文, 白井康正, 中川 俊, 福田憲昭, 加藤和義：〔一般講演〕膝靭帯再建術後に発生したMRSAによるtoxic shock syndromeの1例. 第14回骨・関節感染症研究会, 1991.
- 11) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺 誠, 南 和文, 松尾博由¹⁾, 木村恒雄²⁾(¹⁾松尾医院整形外科, ²⁾日本ヨット協会): 〔一般講演〕ヨットにおけるスポーツ障害について. 第2回日本臨床スポーツ医学会総会, 1991.
- 12) 間瀬泰克, 白井康正, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 池田 亮, 小池竜哉, 吉原 潔, 林 英俊, 上坂真司：〔パネルディスカッション〕前十字靭帯再建後の筋萎縮について. 第83回神奈川整形災害外科医会, 1991.
- 13) 吉原 潔, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 池田 亮, 小池竜哉, 林 英俊, 上坂真司：〔一般講演〕ベルテス病の保存的治療経験; 10年以上の経過例について. 第13回神奈川関節外科学研究会, 1991.
- 14) 吉原 潔, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 池田 亮, 小池竜哉, 上坂真司, 林 英俊：〔一般講演〕当科におけるMRSAの治療経験. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 15) 宮本雅史, 白井康正, 伊藤博元, 中山義人, 元文芳和, 舟越龍也：〔一般講演〕不安定型骨盤骨折に対する創外固定法の治療成績. 第64回日本整形外科学会, 1991.
- 16) 玉井健介, 白井康正, 宮本雅史, 森 淳, 橘田雅美：〔一般講演〕大腿骨転子部骨折に対するCompression Hip

Screw 法の治療成績. 第64回日本整形外科学会, 1991.

- 17) 宮本雅史, 白井康正, 成田哲也, 石川雅人, 柴崎 徹, 沢泉卓哉: [一般講演] 大腿骨骨幹部骨折に対する Brooker-Wills Nail を用いた治療成績について. 第17回日本骨折研究会, 1991.
- 18) 小川ひろみ, 白井康正, 肥留川道雄, 井上惣一郎, 池谷正之¹⁾ (池谷整形外科): [一般講演] キーンベック病における橈骨短縮骨切り術の実験的研究 (II). 第34回日本手の外科学会総会, 1991.
- 19) 千葉由雄, 白井康正, 中川 俊, 南 和文, 藤原 淳: [一般講演] 腰椎椎間板ヘルニア臨床像と CTdiscogram 所見の相関. 第76回中部日本整形外科災害外科学会, 1991.
- 20) 池田龍二, 白井康正, 肥留川道雄, 小川ひろみ, 浦田伸一, 菊地達之¹⁾, 西川英樹²⁾ (田中病院, ²⁾西川整形外科): [一般講演] 示指基節骨に発生した osteoid osteoma の 1 例. 第22回関東整形災害外科学会, 1991.
- 21) 今野俊介, 白井康正, 宮本雅史, 成田哲也, 高山景範: [一般講演] 脊椎手術後に合併した難治性髄液漏をクモ膜下持続カテーテル法を用い治療した 1 例. 第16回日本外科系連合会, 1991.
- 22) 伊藤博元, 白井康正, 横内正直, 柴崎 徹, 高山景範, 藤井信人, 橋口 宏, 井出勝彦: [一般講演] 反復性肩関節脱臼・亜脱臼症例における Postero-Lateral Notch の検索. 第18回肩関節学会, 1991.
- 23) 青木孝文, 白井康正, 松沢 勲, 宮本雅史, 森 淳: [一般講演] 片側肥大症に合併した外反母趾の 1 治療例. 第16回足の外科学会, 1991.
- 24) 松沢 勲, 白井康正, 南野光彦, 今野俊介, 深井靖雄: 頸椎牽引による頸肩腕部痛の鎮痛効果について. 第 3 回日本理学診療医学会, 1991.
- 25) 白井康正: [特別講演] 骨粗鬆症と腰痛. 第 1 回栃木カルシウム代謝研究会, 1991.
- 26) 間瀬泰克, 白井康正, 南 和文, 松尾博由¹⁾ (松尾医院整形外科): [一般講演] アイスホッケー選手の筋腱損傷について. 第17回日本整形外科スポーツ医学会, 1991.
- 27) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 石川雅人, 柴崎 徹, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫, 伊志嶺隆¹⁾ (沖縄第 1 病院): [一般講演] 関注療法によって生じた化膿性膝関節炎の検討. 第20回東日本リウマチの外科研究会, 1991.
- 28) 白井康正: [特別講演] 学生相撲選手の仙腸関節の形態. 第 3 回安比夏期セミナー (岩手医科大学講演), 1991.
- 29) 森 淳, 白井康正, 中山義人, 黒川胤臣, 成田哲也, 高山裕史, 舟越龍也, 元文芳和, 橋田雅美: [一般講演] Augmentation 法による家兎膝前十字靭帯再建実験の組織学的検討 (第 3 報). 第 6 回日本整形外科学会基礎学術集会, 1991.
- 30) 今野俊介, 白井康正, 肥留川道雄, 黒川胤臣, 浦田伸一, 北川泰之, 西川英樹¹⁾ (西川整形外科): [一般講演] 上肢に発症した軟部好酸球性肉芽腫の 1 例. 第40回東日本臨床整形外科学会, 1991.
- 31) 北川泰之, 浅野伍朗¹⁾, 小口直彦¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 塚原佳世子²⁾, 今泉孝敬³⁾, 稲福睦美³⁾ (病理第 2, ²⁾多摩永山病院病理, ³⁾同内科): [報告] 5 重複癌の 1 剖検例. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 32) 北川泰之, 白井康正, 浅野伍朗¹⁾, 中川敬夫²⁾, 前田昭太郎³⁾, 東 敬子³⁾, 百田光弘³⁾, 加藤圭子³⁾ (病理第 2, ²⁾第一病院病理, ³⁾多摩永山病院病理): [報告] 末梢性 primitive neuroectodermal tumor (PNET) の病理組織学的検討 (第 1 報). 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 33) 武内俊次: [海外留学者講演] ヒト腰椎椎間板における核磁気共鳴緩和時間の変性とバイオメカニクス特性に対する相関. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 34) 赤石文洋, 白井康正, 宮本雅史, 肥沼正明, 舟越龍也, 今野俊介: [報告] MRSA を起因菌とした硬膜外膿瘍の 1 例. 第536回関東整形災害外科学会東京地方会, 1991.
- 35) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 森 淳, 橋田雅美, 小林 薫: [一般講演] ヒト再建靭帯の組織学的検討. 第19回日本リウマチ関節外科学会, 1991.
- 36) 橋田雅美, 白井康正, 中山義人, 成田哲也, 舟越龍也, 元文芳和, 森 淳, 橋口 宏, 小林 薫, 立石哲也¹⁾, 白崎芳夫¹⁾ (筑波工業技術院): [一般講演] Augmentation 法による再建前十字靭帯の静力学的研究. 第18回整形外科バイオメカニクス研究会, 1991.

- 37) 橋口 宏, 白井康正, 伊藤博元, 高山景範: [一般講演] 肩鎖関節の生力学的特性. 第18回整形外科バイオメカニクス研究会, 1991.
- 38) 南野光彦, 白井康正, 松沢 勲, 今野俊介, 深井靖雄: [一般講演] 頸肩腕部痛に対する頸椎牽引の筋電図学的検索. 第21回日本脳波・筋電図学会, 1991.
- 39) 今野俊介, 白井康正, 松沢 勲, 南野光彦, 深井靖雄: [一般講演] 脊髄電気刺激により下肢筋より導出される電位について. 第21回日本脳波・筋電図学会, 1991.
- 40) 白井康正: [特別講演] 職業性腰痛について. 第2回職域検診懇談会(上越医師会講演会), 1991.
- 41) 白井康正: [特別講演] 姿勢と腰痛. 労働省中央労働災害防止協会講演会, 1991.
- 42) 小川ひろみ, 白井康正, 肥留川道雄, 井上惣一郎, 池谷正之¹⁾(¹⁾池谷整形外科): [一般講演] キーンベック病における橈骨骨切り術の検討. 第23回関東整形災害外科学会, 1991.
- 43) 松井琴恵, 白井康正, 肥留川道雄, 井上惣一郎, 浦田伸一, 橋田雅美, 池谷正之¹⁾, 西川英樹²⁾(¹⁾池谷整形外科, ²⁾西川整形外科): [一般講演] 手指屈筋建鞘より発生した tenosynovial osteochondromatosis の1例. 第23回関東整形災害外科学会, 1991.
- 44) 舟越龍也, 白井康正, 伊藤博元, 井上惣一郎, 高山景範, 橋口 宏, 赤石文洋, 井出勝彦: [一般講演] 烏口突起骨折を合併した肩峰偽関節の1例. 第23回関東整形災害外科学会, 1991.
- 45) 玉井健介, 白井康正, 渡辺 誠, 高山景範, 安楽尚久¹⁾(¹⁾八王子整形外科医院): [一般講演] 人工骨頭, 人工股関節全置換術後の大腿骨骨折の治療経験. 第23回関東整形災害外科学会, 1991.
- 46) 白井康正: [教育講演] 学生相撲選手の仙腸関節について. 神奈川整形外科研修会(東海大学講演会), 1991.
- 47) 井上眞治, 白井康正, 伊藤博元, 玉井健介, 舟越龍也, 水江史樹, 八百板仁志: [一般講演] 小児肋骨骨髄炎の1例. 第539回関東整形災害外科学会東京地方会, 1992.
- 48) 橋口 宏, 白井康正, 伊藤博元: [一般講演] 肩鎖関節脱臼における関節軟骨の変化. 日本器械学会バイオエンジニアリングシンポジウム, 1992.
- 49) 橋田雅美, 白井康正, 中山義人, 立石哲也, 白崎芳夫¹⁾(¹⁾筑波工業技術院): [一般講演] 家兎を用いた再建前十字靭帯の力学的研究. 日本器械学会バイオエンジニアリングシンポジウム, 1992.
- 50) 小池竜哉, 渡辺 誠, 横内正直, 高山裕史, 小川ひろみ, 間瀬泰克, 池田 亮, 吉原 潔, 林 英俊, 上坂真司: [一般講演] 外傷性両股関節脱臼骨折の1症例. 第14回神奈川関節外科学研究会, 1992.
- 51) 橋田雅美, 白井康正, 中山義人, 成田哲也, 森 淳, 立石哲也¹⁾, 白崎芳夫¹⁾(¹⁾筑波工業技術院): [一般講演] Augmentation 法による再建前十字靭帯の力学的研究. 第13回東京膝関節学会, 1992.
- 52) 高他俊哉, 白井康正, 石原正博, 三浦啓志, 平沼尚和, 森田欣司, 奥秋裕一, 石田 晋: [一般講演] 足舟状骨脱臼骨折の3例. 第541回関東整形災害外科学会東京地方会, 1992.
- 53) Ohmura, F., Shirai, Y. and Nakagawa, T.: [ポスター] Lumbar disc hernia-how further should preoperative testings be done?. 18th Annual Meeting of International Society for the Study of the Lumbar Spine. (Heidelberg Germany), 1991.
- 54) Ohmura, F., Shirai, Y. and Nakagawa, T.: [ポスター] Clinical study of the lumbar degenerative scoliosis. 18th Annual Meeting of International Society for the Study of the Lumbar Spine (Heidelberg Germany), 1991.
- 55) 吉川 昇, 白井康正, 中川 俊, 南 和文, 大村文敏, 小林明雄: [一般講演] 手術用手袋の破損状況. 第13回日本手術部医学会, 1991.
- 56) 吉川 昇, 白井康正, 中川 俊, 南 和文, 大村文敏, 福田憲昭, 加藤和義: [一般講演] 大胸筋皮下断裂の1例. 第540回整形外科集談会東京地方会, 1992.

13. 産婦人科学講座

[付属病院産婦人科]

研究概要

主な研究テーマは①胎児病に関する基礎研究と臨床研究, ②受精, 着床に関する基礎研究と臨床研究, ③癌化学療法に関する基礎研究を中心に活発な活動をしている。

①胎児病に関する基礎研究としては妊娠ヤギを用いた生理的実験モデルを作成し, 胎児の発育機構, 循環機能, 感染機構などに関する研究成果があり, さらに母体発熱時の子宮収縮発来機序に関する研究成果も挙げた。臨床研究では臍帯穿刺法や超音波断層法による胎児の機能評価, 胎児発育, 循環機能などに関する研究成果があった。②受精, 着床に関する研究では選択的卵管通気検査法の臨床的応用による数々の成果の他, 腹腔鏡下超音波断層法の基礎的研究の成果が挙げられた。③癌化学療法に関する研究では薬剤感受性に関する研究成果があった。

研究業績

論文

- 1) 荒木 勤：〔話題〕一卵性双胎における選択的胎内手術へのアプローチ。日医大誌, 58, 252, 1991.
- 2) 小川博康, 進 純郎, 荒木 勤：〔原著〕胎盤・羊水・臍帯。Perinatal Care, 10, 23~32, 1991.
- 3) 長島 真, 荒木 勤：〔原著〕IUGR (胎児発育遅延)。産婦治療, 62, 559~563, 1991.
- 4) 河村 堯, 荒木 勤：〔原著〕胎児, 新生児仮死のモデル実験。周産期医, 21, 495~500, 1991.
- 5) 進 純郎, 小川博康, 加藤寛彦, 荒木 勤：〔原著〕会陰裂傷と腫, 会陰血腫。Perinatal Care, 171~177, 1991.
- 6) 高橋英彦, 荒木 勤：〔原著〕婦人の下腹痛。産婦の実際, 40, 520~523, 1991.
- 7) 磯崎太一, 荒木 勤：〔原著〕下腹部腫瘍。産婦の実際, 40, 524~525, 1991.
- 8) 磯崎太一, 天神尚子, 荒木 勤：〔原著〕DNA 診断の実際; 出生前診断。産婦の実際, 40, 591~601, 1991.
- 9) 小西英喜, 荒木 勤：〔原著〕細胞診の取り方。産婦の実際, 40, 672~675, 1991.
- 10) 波多野久昭, 荒木 勤：〔原著〕コルポスコープの見方。産婦の実際, 40, 676~679, 1991.
- 11) 加藤寛彦, 高橋英彦, 小西英喜, 佐々木茂, 荒木 勤：〔原著〕弛緩出血によってDICをきたし外陰血腫を伴った1例。産婦の実際, 40, 701~704, 1991.
- 12) 小川博康, 進 純郎, 荒木 勤：〔原著〕IUGR と胎児 Well-Being。産婦の実際, 40, 815~823, 1991.
- 13) 石川みずえ, 進 純郎, 荒木 勤：〔原著〕女性の頻尿, 尿失禁の取り扱い方。産婦の実際, 40, 856~859, 1991.
- 14) 大坪保雄, 荒木 勤：〔原著〕下痢と便秘。産婦の実際, 40, 860~863, 1991.
- 15) 木島一洋, 荒木 勤：〔原著〕外陰瘙癢。産婦の実際, 40, 1018~1021, 1991.
- 16) 小川秀臣, 山口 稔, 林 康子, 林 瑞成, 田中幸太郎, 諏訪喜宣, 中山裕樹, 河村 堯：〔原著〕CA-125が高値を示した卵管癌の1例。日産婦東京会誌, 40, 155~157, 1991.
- 17) 小西英喜, 外山和秀, 木島一洋, 加藤寛彦, 石川博臣, 高橋英彦, 荒木 勤：〔原著〕原発性子宮体部扁平上皮癌の1例。日産婦東京会誌, 40, 175~178, 1991.
- 18) 荒木 勤：〔原著〕胎児病; その診断と治療の進歩。日産婦会誌, 43, 897~902, 1991.
- 19) 米山芳雄, 荒木 勤：〔原著〕外陰異常の診断と治療のすすめ方。産婦の実際, 40, 1022~1025, 1991.
- 20) 小川博康, 荒木 勤：〔原著〕術前検査。産婦の実際, 40, 1224~1227, 1991.
- 21) 小西英喜, 荒木 勤：〔原著〕婦人科悪性腫瘍における腫瘍マーカーの選び方。産婦の実際, 40, 1220~1223, 1991.
- 22) 可世木久幸, 明楽重夫, 荒木 勤：〔原著〕子宮鏡下卵管機能検査。産婦の実際, 40, 1145~1150, 1991.

- 23) 岡本 哲, 鴨井 青, 荒木 勤:〔原著〕Mモード心エコー法による胎児心拍出量の算定;胎児心室鋳型を用いた基礎的検討に基づいて. 日新生児会誌, 27, 601~609, 1991.
- 24) 可世木久幸:〔原著〕不妊症の内視鏡手術(その1). 母子保健, 381, 6~7, 1991.
- 25) 可世木久幸:〔原著〕不妊症の内視鏡手術(その2). 母子保健, 382, 6~7, 1991.
- 26) 磯崎太一, 荒木 勤:〔原著〕肥満とるいそう. 母子保健, 40, 1408~1412, 1991.
- 27) 外山和秀, 荒木 勤:〔原著〕排卵障害. 母子保健, 40, 1404~1407, 1991.
- 28) 荒木 勤, 越野立夫, 河村 堯, 進 純郎, 天神尚子, 石川みずえ:〔原著〕アンケート調査からみた女性の尿失禁の現状. 母子保健, 40, 1583~1586, 1991.
- 29) 小西英喜, 荒木 勤:〔原著〕卵巣癌術後化学療法. 母子保健, 40, 1562~1565, 1991.
- 30) 可世木久幸, 荒木 勤:〔原著〕不妊症治療の進め方. 母子保健, 40, 1556~1560, 1991.
- 31) 西島重光, 荒木 勤:〔原著〕早産の分娩管理. 母子保健, 40, 1487~1492, 1991.
- 32) 角田 隆, 荒木 勤:〔原著〕IUGRの管理. 産と婦, 58, 1795~1802, 1991.
- 33) 荒木 勤:〔原著〕双胎の一児死亡例の取扱い. 臨産婦, 45, 1222~1223, 1991.
- 34) 荒木 勤, 進 純郎:〔原著〕胎児病;その診断と治療の進歩. 産婦治療, 63, 402~407, 1991.
- 35) 荒木 勤:〔原著〕女性の排尿障害. 埼玉医会誌, 26, 65, 1991.
- 36) 小川博康, 進 純郎, 高橋英彦, 邵 小光, 荒木 勤:〔原著〕致死性四肢短縮型小人症の1例;Thanatophoric dysplasiaの胎内診断について. 日産婦東京会誌, 40, 378~381, 1991.
- 37) 進 純郎, 小川博康, 荒木 勤:〔原著〕周産期医療におけるインフォームド・コンセントとその限界;胎児採血. 周産期医, 21, 1507~1510, 1991.
- 38) 可世木久幸:〔原著〕月経前症候群. 産婦の実際, 40, 1825~1828, 1991.
- 39) 若麻績佳樹, 藤野容子, 湯原 均, 関谷隆夫, 荒木 勤:〔原著〕IUGRの治療. 産婦の実際, 40, 1647~1653, 1991.
- 40) 田中 彰, 荒木 勤:〔原著〕奇形児分娩. 臨産婦, 45, 1310~1312, 1991.
- 41) 荒木 勤:〔原著〕高年初産の定義. 周産期医, 21, 1763~1765, 1991.
- 42) 明楽重夫, 荒木 勤:〔原著〕中・高年期婦人のホルモン療法. 周産期医, 40, 2094~2097, 1991.
- 43) 五十嵐俊夫, 荒木 勤:〔原著〕避妊指導の実際. 周産期医, 40, 2090~2092, 1991.
- 44) 澤倫太郎, 飯田 啓, 外山和秀, 進 純郎, 三田俊二, 河村 堯, 荒木 勤:〔原著〕母児間輸血症候群の1症例. 周産期医, 40, 2273~2280, 1991.
- 45) 岡本 哲, 荒木 勤:〔原著〕STDの診断と治療のすすめ方. 周産期医, 40, 2264~2268, 1991.
- 46) 進 純郎, 荒木 勤:〔原著〕日医大式 pelvic floor exercise. Modern Physician, 12, 33~35, 1991.
- 47) 荒木 勤, 林 康子:〔原著〕胎児仮死 fetal distress. 周産期医, 21(臨時増刊号), 300~302, 1991.
- 48) 荒木 勤, 山口 稔:〔原著〕Fetal death. 周産期医, 21(臨時増刊号), 303~304, 1991.
- 49) 澤倫太郎, 飯田 啓, 小川博康, 大坪保雄, 天神尚子, 石川みずえ, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔原著〕興味ある胎児心拍モニタリングを示した母児間輸血症候群の1例. 日産婦東京会誌, 43, 424~428, 1991.
- 50) 河村 堯:〔原著〕循環動態. 臨産婦, 45, 1362~1363, 1991.
- 51) 河村 堯:〔原著〕IUGRの病態と治療. 日産婦東京会誌, 43, 522~531, 1991.
- 52) Igarashi, T., Sato, S., Aihara, K. and Araki, T.:〔原著〕Ultrastructure of rat endometrium during sexual cycle. J. Clin. Electron Microscope, 24, 774, 1991.
- 53) 田中幸太郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔速報〕妊娠中の母体および胎児感染時のIL-1産生に関する研究. 産婦治療, 64, 246, 1992.
- 54) 石川みずえ, 荒木 勤:〔原著〕アンケート調査にみられる尿失禁. Modern Physician, 12, 10~12, 1992.
- 55) 朝倉啓文, 水上啓子, 織田利光, 越野立夫, 荒木 勤:〔原著〕出生後, 体温調節過程における新生児褐色脂肪

の熱産生の意義；サーモグラフィーによる検討。臨床体温，12，80～89，1992。

- 56) 可世木久幸，明楽重夫，荒木 勤：〔原著〕ヒトおよび実験動物の卵管内測定法の開発。日本受精着床学会雑誌，9，270～273，1992。
- 57) 進 純郎，荒木 勤：〔原著〕交換輸血法。臨婦産，46，286～288，1992。
- 58) 林 瑞成，磯崎太一，田中 彰，石川博臣，田中純也，楊 玉英，田中幸太郎，諏訪喜宣，佐々木茂：〔原著〕稀な内分泌疾患合併妊娠：Cushing 症候群合併妊娠。日産婦東京会誌，41，63～65，1992。
- 59) 高橋英彦，窪谷 潔，松下径広，三田俊二，小西英喜，飯田 啓，河村 堯，荒木 勤：〔原著〕骨髓異形成症候群合併妊娠の1例。日産婦東京会誌，41，66～70，1992。
- 60) 可世木久幸，明楽重夫，荒木 勤：〔原著〕ヒトおよび実験動物の卵管内圧測定法の開発。日本受精着床学会雑誌，9，270～273，1992。
- 61) Rosenfeld, M.A.¹⁾, Siegfried, W.¹⁾, Yoshimura, K.¹⁾, Yoneyama, K., Fukayama, M.¹⁾, Stier, L.E.¹⁾, Pääkkö, P. K.¹⁾, Gilardi, P.²⁾, Stratford-Perricaudet, L.D.²⁾, Perricaudet, M.²⁾, Jallet, S.²⁾, Pavirani, A.²⁾, Lecocq, J.P.²⁾ and Crystal, R.G.¹⁾ (¹⁾Pulmonary Branch, National Heart, Lung, and Blood Institute, National Institutes of Health, U.S.A., ²⁾Institut Gustave Roussy, Centre National de la Recherche Scientifique Unité Associée, France) : 〔原著〕Adenovirus-mediated transfer of a recombinant α 1-antitrypsin gene to the lung epithelium in vivo. Science, 252, 431～434, 1991.
- 62) Rosenfeld, M.A.¹⁾, Yoshimura, K.¹⁾, Trapnell, B.C.¹⁾, Yoneyama, K., Rosenthal, E.R.¹⁾, Dalemans, W.²⁾, Fukayama, M.¹⁾, Bargon, J.¹⁾, Stier, L.E.¹⁾, Stratford-Perricaudet, L.D.²⁾, Perricaudet, M.³⁾, Guggino, W.B.⁴⁾, Pavirani, A.²⁾, Lecocq, J-P.²⁾ and Crystal, R.G.¹⁾ (¹⁾Pulmonary Branch, National Heart, Lung, and Blood Institute, National Institutes of Health, U.S.A., ²⁾Transgene SA, France, ³⁾Institut Gustave Roussy, France, ⁴⁾Department of Physiology, Johns Hopkins School of Medicine, U.S.A.) : 〔原著〕In vivo transfer of the human cystic fibrosis transmembrane conductance regulator gene to the airway epithelium. Cell, 68, 143～155, 1992.
- 63) 鴨井青龍，土居大祐，宮之原貴徳¹⁾，椿 哲朗¹⁾，神戸知充¹⁾(¹⁾大宮中央総合病院)：〔報告〕穿孔性腹膜炎によって診断された妊娠31週クローン病の1例。日産婦埼玉地方部会誌，21，191～195，1991。
- 64) 土居大祐，鴨井青龍，田村大我¹⁾，小花登代子¹⁾，岩田正晴²⁾(¹⁾大宮市医師会サイトロジセンター病院，²⁾赤羽病院)：〔報告〕集団検診により発見された原発性卵管癌の1例。日産婦埼玉地方部会誌，27，256～258，1991。
- 65) 岡本 哲，鴨井青龍，荒木 勤：〔報告〕M・モード心エコー法による胎児心拍出量の算定；胎児心室鑄型をもちいた基礎的検討に基づいて。日新生児会誌，27，601～609，1991。

著 書

- 1) 荒木 勤：〔分担〕過期妊娠。胎盤；基礎と臨床。(高木繁夫，須川佑一，一條元彦，水野正彦編)。p. 326～331，南江堂，1991。
- 2) 進 純郎，小川博康，荒木 勤，仁志田博司，佐藤喜一：〔分担〕新生児エリテマトーデスの3同胞例。9，p. 103～109，周産期学シンポジウムメジカルビュー社，1991。
- 3) 荒木 勤：〔分担〕POS産婦人科，2。産科編。(編集：野田起一郎)金原出版，1991。
- 4) 荒木 勤：〔分担〕子宮破裂，今日の治療指針，1992(日野原重明，阿部正和監修)。34。医学書院，p. 677，1992。
- 5) 荒木 勤：〔分担〕女性尿失禁の外来治療のコツ。モダンクリニカルポイント産婦人科。(鈴木正彦，水野正彦編集) p. 52～55，金原出版，1992。
- 6) 鴨井青龍：ME 機器とその診断法，助産学大系4，助産診断学。p. 381～435，1991。

学会発表

- 1) 石川みずえ, 天神尚子, 進 純郎, 河村 堯, 越野立夫, 荒木 勤: [一般講演] アンケート調査からみた女性の尿失禁の現状. 第1回産婦人科排尿障害研究会, 1991.
- 2) 磯崎太一, 佐々木茂, 高橋英彦, 飯田 啓, 小西英喜, 加藤寛彦, 荒木 勤: [一般講演] 部分奇胎で化学療法を必要とした1例. 第9回絨毛性疾患研究会, 1991.
- 3) 小川博康, 進 純郎, 高橋英彦, 邵 小光, 荒木 勤: [一般講演] 致死性四肢短縮型小人症の1例, tranatophoric dysplasia の胎内診断について. 第279回日産婦東京地方部会例会, 1991.
- 4) 大坪保雄, 木島一洋, 小川博康, 小西英喜, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 抗 SS-A 抗体陽性を示した胎児完全ブロックの1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 5) 福田 功, 八木 寛, 荒木 勤, 小川 龍: [ワークショップ] 自己血輸血による循環系免疫系の検討. 第1回日本産婦人科新生児血液学会, 1991.
- 6) 小川博康, 進 純郎, 木島洋一, 荒木 勤: [一般講演] Cefotaxime と desacetylcefotaxime の胎内移行および日本医大式選択的帝王切開術における絨毛羊膜炎の予防についての検討. 第9回日本産婦人科感染症研究会, 1991.
- 7) 田中幸太郎, 河村 堯, 加藤寛彦, 荒木 勤: [一般講演] 母体感染による発熱時の子宮収縮のメカニズム. 第9回日本産婦人科感染症研究会, 1991.
- 8) 石川博臣, 高橋英彦, 小西英喜, 大坪保雄, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 帝王切開術後 MRSA 感染のため子宮摘出術を施行した1例. 第9回日本産婦人科感染症研究会, 1991.
- 9) 中山裕樹, 林 瑞成, 小川秀臣, 田中幸太郎, 諏訪喜宣, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 骨盤リンパ節廓清後のドレナージ法の検討. 第81回日産婦関東連合地方部会, 1991.
- 10) 石川博臣, 可世木久幸, 明楽重夫, 外山和秀, 角田 隆, 朝倉啓文, 荒木 勤, 佐々木毅, 松本二郎, 五十嵐俊夫: [一般講演] ダナゾール腔内投与療法の効果. 第81回日産婦関東連合地方部会, 1991.
- 11) 石川みずえ, 高橋英彦, 波多野久昭, 佐々木茂, 荒木 勤: [一般講演] 妊娠中の歯科処置が誘因と思われた感染症心内膜炎合併妊娠の症例. 第81回日産婦学会関東連合地方部会, 1991.
- 12) 木島一洋, 小川博康, 高橋英彦, 進 純郎, 荒木 勤: [一般講演] Cefotaxime 及び desacetyl-cefotaximea 胎児, 胎盤, 羊水, 卵膜への移行に関する検討. 第81回日産婦学会関東連合地方部会, 1991.
- 13) 中井章人, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤, 田中泰博, 大溝道子, 山口 静: [一般講演] 妊婦エアロビクスによる母体, 胎児の血行動態変化に関する検討. 第81回日産婦学会関東連合地方部会, 1991.
- 14) 梅沢勝弘, 西島重光, 山口 稔, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤: [一般講演] 当科における子宮外妊娠の診断法についての統計学的考察. 第81回日産婦学会関東連合地方部会, 1991.
- 15) 加藤寛彦, 澤倫太郎, 田中幸太郎, 朝倉啓文, 河村 堯, 佐藤喜一, 荒木 勤: [一般講演] 実験的胎仔仮死における胎仔脳組織への酸素運搬能の変動. 第81回日産婦学会関東連合地方部会, 1991.
- 16) 諏訪喜宣, 林 瑞成, 小川秀臣, 田中幸太郎, 中山裕樹, 河村 堯, 荒木 勤: [ポスター] 卵巣 immature teratoma の1例. 第81回日産婦学会関東連合地方部会, 1991.
- 17) 小川秀臣, 林 瑞成, 田中幸太郎, 諏訪喜宣, 中山裕樹, 河村 堯, 荒木 勤: [ポスター] 血清 CA19-9値が異常高値を示した卵巣 mature cystic teratoma の1例. 第81回日産婦学会関東連合地方部会, 1991.
- 18) 田中幸太郎, 林 瑞成, 小川秀臣, 諏訪喜宣, 中山裕樹, 河村 堯, 荒木 勤: [ポスター] 双胎; 児胎内死亡2例の管理経験. 第81回日産婦学会関東連合地方部会, 1991.
- 19) 河村 堯, 加藤寛彦, 大坪保雄, 澤倫太郎, 朝倉啓文, 佐藤喜一, 荒木 勤: [一般講演] 臍帯圧迫による胎仔頸動脈酸素濃度差. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 20) 荒木 勤, 進 純郎, 小川博康, 河村 堯: [一般講演] 一絨毛膜性双胎一児死亡例に対する選択的胎内手術の術式. 第27回日本新生児学会総会, 1991.

- 21) 進 純郎, 小川博康, 高橋英彦, 小西英喜, 木島一洋, 河村 堯, 荒木 勤, 兼子和彦:〔一般講演〕一絨毛膜一羊膜性双胎一児死亡例の胎児管理. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 22) 小川博康, 進 純郎, 邵 小光, 加藤寛彦, 大坪保雄, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕一絨毛膜性双胎一児死亡例に対する選択的胎内手術の管理;特に子宮収縮と感染予防について. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 23) 朝倉啓文, 水上啓子, 織田利光, 林 康子, 越野立夫, 荒木 勤, 松本二郎, 佐々木毅:〔一般講演〕新生児熱産生能発現過程の観察. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 24) 織田利光, 朝倉啓文, 竹内久美, 越野立夫, 荒木 勤, 水上啓子, 三科 潤, 小川隆吉, 柳田昌彦:〔一般講演〕早産未熟児の皮膚温分布の特徴. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 25) 横田明重, 角田 隆, 梅沢勝弘, 竹内久美, 林 康子, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉, 稲沢由美, 小川秀子:〔一般講演〕ラット胎仔における多価不飽和脂肪酸の代謝特性. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 26) Ogawa, H., Shin, S. and Araki, T.:〔一般講演〕Distribution of cefotaxime and desacetyl cefotaxime in fetal blood, amniotic fluid, placental tissues and fetal membranes during pregnancy. 17th International Congress of Chemotherapy, 1991.
- 27) Kaseki, H., Akira, S., Ienaga, S. and Araki, T.:〔一般講演〕The measurement of intrafallopian pressure. 7th Annual Meeting of the European Society of Human Reproduction and Embryology. 7th World Congress on In Vitro Fertilization and Assisted Procreations (Paris), 1991.
- 28) Akira, S., Kaseki, H., Araki, T. and C. Lin, Y.:〔一般講演〕Normality of oocytes obtained from adult superovulated rats. 7th Annual Meeting of the European Society of Human Reproduction and Embryology. 7th World Congress on In Vitro Fertilization and Assisted Procreations (Paris), 1991.
- 29) 明楽重夫, 可世木久幸, 荒木 勤:〔一般講演〕子宮鏡が診断に有用であった20歳代子宮体癌の1例. 第31回日本産科婦人科内視鏡学会, 1991.
- 30) 可世木久幸, 明楽重夫, 荒木 勤:〔一般講演〕ヒステロファイバースコープ下レーザー手術による双頸双角子宮形成術. 第31回日本産科婦人科内視鏡学会, 1991.
- 31) 可世木久幸, 明楽重夫, 五十嵐俊夫, 外山和秀, 家永 聡, 荒木 勤:〔一般講演〕子宮鏡を用いるヒト配偶子胚移植 (Hysteroscopic GIFT-ET). 第9回日本受精着床学会, 1991.
- 32) 荒木 勤:〔特別講演〕子宮単純全摘出術. 第1回仙台産科婦人科実地医療研究会, 1991.
- 33) 澤倫太郎, 朝倉啓文, 河村 堯, Power, G.G., 荒木 勤:〔一般講演〕出生直後におけるヒツジ胎仔 plasma adenosine 濃度の変化とその生理的意義. 第15回産婦人科栄養代謝研究会, 1991.
- 34) 進 純郎, 小川博康, 木島一洋, 田中幸太郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕妊娠中毒症により発症した asymmetrical IUGR 児の血液ガス値, 臍帯動脈血流波形と予後の検討. 第12回妊娠中毒症研究会, 1991.
- 35) 梅沢勝弘, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤:〔一般講演〕子宮外妊娠診断困難例の診断法と管理方針. 第32回日本母性衛生学会総会, 1991.
- 36) 石川みずえ, 天神尚子, 進 純郎, 河村 堯, 越野立夫, 荒木 勤:〔一般講演〕アンケート調査からみた女性の尿失禁の現状. 第32回日本母性衛生学会総会, 1991.
- 37) 三田俊二, 澤倫太郎, 大坪保雄, 飯田 啓, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔一般講演〕母児間輸血症候群の管理. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 38) 大坪保雄, 窪谷 潔, 天神尚子, 明楽重夫, 小西英喜, 高橋英彦, 河村 堯, 荒木 勤:〔展示〕男性化を示した顆粒膜細胞腫の1症例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 39) 木島一洋, 松下径広, 天神尚子, 田中幸太郎, 小西英喜, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤, 川口直美¹⁾(¹⁾内科第1):〔展示〕特発性拡張型心筋合併妊娠の1症例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 40) 窪谷 潔, 石川みずえ, 松下径広, 小川秀臣, 小川博康, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤:〔展示〕出生前に診断しえた致死性肢短縮型小人症の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

- 41) Nishijima, S., Hayashi, Y., Nagai, A., Tsunoda, T., Ogawa, T., Wakaomi, Y., Matsumoto, J., Sasaki, T., Koshino, T. and Araki, T. : [一般講演] The relationship between cervical-culture and threatened labor. XIII World Congress of Gynaecology and Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 42) Shin, S., Ogawa, H., Takahashi, H., Kijima, K., Kawamura, T., Kaneko, K. and Araki, T. : [ポスター] Efficacy of cefotaxime and desacetyl-cefotaxime in the treatment of premature rupture of the membranes. XIII World Congress of Gynaecology and Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 43) Oda, T., Asakura, A., Nakai, A., Nishijima, S., Koshino, T. and Araki, T. : [ポスター] Thermographic observation of neonatal thermogenesis after birth. XIII World Congress of Gynaecology and Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 44) Tanaka, K., Kawamura, T., Kato, H., Asakura, H., Shin, S., Sato, K. and Araki, T. : [ポスター] Effects of prostaglandins and cortisol on uterine activity in maternal infection. XIII World Congress of Gynaecology and Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 45) Kaseki, H., Akira, S., Kijima, Y., Kaneko, K. and Araki, T. : [ビデオ] Hysteroscopic fallopian function test; Estimation of fallopian potency. XIII World Congress of Gynaecology and Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 46) Akira, S., Kaseki, H. and Araki, T. : [ビデオ] Hysteroscopic fallopian function Test-II. XIII World Congress of Gynaecology and Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 47) Kaseki, H., Akira, S., Ienaga, S. and Akira, T. : [ポスター] The measurement of intratalloian pressure. VIIth World Congress on IVF and Assisted Procreation (Paris), 1991.
- 48) Nakai, A., Asakura, H., Yamaguchi, S., Tanaka, Y., Ohmizo, M., Nishijima, S., Koshina, T. and Araki, T. : [ポスター] The response of maternal and fetal hemodynamics to aerobic exercise. VIIth World Congress on IVF and Assisted Procreation (Paris), 1991.
- 49) 澤倫太郎, 飯田 啓, 小川博康, 大坪保雄, 天神尚子, 石川みずえ, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤 : [一般講演] 興味ある胎児心拍モニタリングを示した母児間輸血症候群の1例. 第79回産婦科学会東京地方部会例会, 1991.
- 50) 荒木 勤 : [特別講演] 胎児診断あれこれ. 第17回宮城県日母支部パラメディカル講習会, 1991.
- 51) 澤倫太郎, 三田俊二, 松下径広, 窪谷 潔, 河村 堯, 荒木 勤 : [一般講演] 当教室における常位胎盤早期剥離40症例の臨床的検討. 第82回産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 52) 臼井文男, 朝倉啓文, 西島重光, 角田 隆, 越野立夫, 荒木 勤, 松本二郎, 佐々木毅 : [一般講演] 妊婦尿中NAGと胎児発育との関連性. 第82回産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 53) 織田利光, 竹内久美, 佐藤研之, 横田明重, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤 : [一般講演] 混合性結合組織病(MCTD)合併妊娠の1例. 第82回産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 54) 笠原孝之, 西島重光, 吉満恵一, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤 : [一般講演] 振動音刺激に対するIUGR例の胎児心拍数と胎動の変化. 第82回産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 55) 中井章人, 朝倉啓文, 西島重光, 大屋敦子, 神戸 仁, 斉藤守夫, 越野立夫, 荒木 勤 : [一般講演] Yolk sac fetal heart rate 観察による胎児予後判定の試み. 第82回産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 56) 磯崎太一, 石川博臣, 林 瑞成, 小川秀臣, 諏訪喜宣, 佐々木茂, 荒木 勤, 名知仁子¹⁾, 長澤紘一¹⁾ (¹⁾多摩永山病院内科) : [一般講演] 成熟嚢胞性奇形腫に合併した自己免疫性溶血性貧血の1症例. 第82回産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 57) 鈴木俊治, 栗田康一, 篠原継男, 兼子和彦, 澤倫太郎, 飯田 啓, 進 純郎, 荒木 勤 : [一般講演] Feto-maternal transfusion syndrome の2症例. 第82回産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 58) 林 瑞成, 石川博臣, 小川秀臣, 田中幸太郎, 磯崎太一, 諏訪喜宣, 佐々木茂, 荒木 勤 : [ポスター] クッ

- ング症候群合併妊娠の1例。第82回日産婦関東連合地方部会総会，1991。
- 59) 木島一洋，三田俊二，天神尚子，田中幸太郎，加藤寛彦，高橋英彦，川口直美，進 純郎：〔ポスター〕特発性拡張型心筋症による心室頻拍をきたした妊娠例。第82回日産婦関東連合地方部会総会，1991。
- 60) 西島重光，朝倉啓文，中井章人，北川 優，松本二郎，佐々木毅，石原楷輔，越野立夫，荒木 勤：〔ポスター〕経腔超音波断層法による子宮頸管長の客観的評価；正常妊娠例と切迫早産妊娠との比較。第82回日産婦関東連合地方部会総会，1991。
- 61) 大坪保雄，窪谷 潔，松下径広，明楽重夫，小西英喜，高橋英彦，河村 堯，荒木 勤：〔ポスター〕男性化を示した顆粒膜莢膜細胞腫の1症例。第82回日産婦関東連合地方部会総会，1991。
- 62) Asakura, H., Oda, T., Hayashi, Y., Ohya, A., Koshino, T. and Araki, T.: 〔ポスター〕 Significance of brown adipose tissue during thermal adaptation after birth. 1st International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 63) Shin, S., Ogawa, H., Suzuki, S., Ishikawa, M., Otsubo, Y., Kubonoya, K., Kawamura, T., Kaneko, K. and Araki, T.: 〔一般講演〕 Operative management of a monochorionic twin complicated by an ante partum fetal demise. 1st International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 64) Sawa, R., Asakura, H., Kawamura, T., Power, G.G. and Araki, T.: 〔一般講演〕 Possible role of plasma adenosine at birth in thermoregulation of fetal sheep. 1st International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 65) Kawamura, T., Tanaka, K., Kijima, K., Matsushita, M., Sawa, R., Asakura, H., Sato, K. and Araki, T.: 〔一般講演〕 Mechanism of uterine contraction in maternal infectious model injected endotoxin pregnant goat. 1st International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 66) Ogawa, H., Shin, S. and Araki, T.: 〔一般講演〕 The distribution of cefotaxime and desacetyl cefotaxime in utero and its bactericidal effect for novel selective cesarean section. 1st International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 67) Nishijima, S., Nakai, A., Asakura, H., Matsumoto, J., Sasaki, T., Ishihara, K., Koshino, T. and Araki, T.: 〔ポスター〕 Transvaginal ultrasonographic measurement of cervical length to predict cervical incompetence and preterm delivery. 1st International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 68) Suzuki, S., Motoda, S., Kitazawa, S., Kaneko, K., and Araki, T.: 〔一般講演〕 Fetal growth curve of twins. 1st International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 69) 荒木 勤：〔特別講演〕一絨毛膜性双胎一児死亡例に対する選択的胎内手術の試み。第7回新潟産科婦人科手術研究会学術集会，1991。
- 70) 大坪保雄，高橋英彦，三田俊一，松下径広，窪谷 潔，進 純郎，河村 堯，荒木 勤：〔一般講演〕子宮内感染による帝切後，子宮摘出術を行ったMRSAの1例。日本医科大学医学会第75回例会，1991。
- 71) 明楽重夫，可世木久幸，家永 聡，大村 浩，三田俊二，荒木 勤，Lin, Y.C.: 〔一般講演〕 Gossypol のプタ顆粒膜細胞のアロマトラーゼ活性阻害作用。第36回日本不妊学会学術講演会，1991。
- 72) 可世木久幸，明楽重夫，五十嵐俊夫，外山和秀，渡辺美千明，田中幸太郎，荒木 勤，松本二郎，佐々木毅：〔一般講演〕不妊外来に於ける若年性子宮体癌患者スクリーニングの重要性。第36回日本不妊学会学術講演会，1991。
- 73) 荒木 勤：〔特別講演〕胎児医学の現況。第3回岩手産科研究会，1991。
- 74) 荒木 勤，進 純郎，小川博康，河村 堯：〔一般講演〕一絨毛膜性双胎一児死亡例に対する選択的胎内手術の試み。第14回日本産婦人科手術研究会，1991。
- 75) 荒木 勤：〔教育講演〕胎児治療の現況。江東，千葉西ブロック合同卒後研修会，1991。
- 76) 高橋英彦，窪谷 潔，松下径広，三田俊二，小西英喜，飯田 啓，河村 堯，荒木 勤：〔一般講演〕骨髄異形成症候群合併妊娠の1症例。第280回日産婦学会東京地方部会，1991。

- 77) 可世木久幸, 石川博臣, 明楽重夫, 五十嵐俊夫, 外山和秀, 渡辺美千明, 家永 聡, 荒木 勤: [一般講演] 腔内に投与されたダナゾールの組織への移行経路. 第13回エンドメトリオーゼス研究会, 1992.
- 78) 大坪保雄, 小川秀臣, 木島一洋, 松下径広, 小西英喜, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 化学療法後の骨髄機能抑制に対する GCSF の治療効果. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 79) 大坪保雄, 窪谷 潔, 三田俊二, 高田秀一, 木島一洋, 高橋英彦, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 再発乳癌合併妊娠の1例. 第281回日産婦東京地方部会例会, 1992.
- 80) 荒木 勤: [特別講演] これからの胎児診断そして治療. 平成3年度浜松産婦人科医会3月例会, 1992.
- 81) 荒木 勤: [特別講演] The twins. 第203回東母臨床研究会, 1992.
- 82) 朝倉啓文, 澤倫太郎, 大屋敦子, 河村 堯, 越野立夫, 荒木 勤, Powen, G.G.: [一般講演] 酸素供給減少に対する胎児の代謝的適応能; ヒツジ胎仔酸素消費量による検討. 第44回日産婦学会総会, 1992.
- 83) 角田 隆, 朝倉啓文, 梅沢勝弘, 竹内久美, 林 康子, 横田明重, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉, 若麻績佳樹: [一般講演] 妊娠中毒症におけるアラキドン酸およびエイコサペンタエン酸の PGI₂, IXA₂ 産生に与える影響. 第44回日産婦学会総会, 1992.
- 84) 明楽重夫, 可世木久幸, 荒木 勤, Lin, Y.C.: [一般講演] 過排卵処理による妊孕性低下のメカニズム; E₂/ptt の上昇. 第44回日産婦学会総会, 1992.
- 85) 小川博康, 進 純郎, 石川みずえ, 大坪保雄, 窪谷 潔, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 絨毛膜羊膜炎および胎児感染予防に対する抗生物質の選択; Desacetyl cefotaxime の卵膜移行の実証とその有効性. 第44回日産婦学会総会, 1991.
- 86) 土居大祐, 鴨井青龍, 荒木 勤: [一般講演] 内外同時妊娠. 日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
- 87) 鴨井青龍, 土居大祐, 宮之原貴徳¹⁾, 椿 哲朗¹⁾, 神居知亮¹⁾ (¹⁾大宮中央総合病院): [一般講演] 穿孔性腹膜炎によって診断された妊娠31週クローン病の1例. 第39回日産婦埼玉地方部会, 1991.
- 88) 土居大祐, 鴨井青龍, 田村大我¹⁾, 小花登代子¹⁾, 岩田正晴²⁾ (¹⁾大宮市医師会サイトロジーセンター, ²⁾赤坂病院): [一般講演] 集団検診により発見された原発性卵管癌の1例. 第39回日産婦埼玉地方部会, 1991.

[第一病院産婦人科]

研究概要

当教室では以下に示すような周産期の基礎的, 臨床的研究を中心に研究並びに学会発表などを行った.

周産期における基礎研究として, ①ラット胎仔, 新生仔の脂肪酸代謝と ω-3系多価不飽和脂肪酸欠乏による学習能力の変化に関する研究, ②妊娠中毒症ラットの胎仔血清, 肝, 脳などにおける多価不飽和脂肪酸 (PUFA) の動態に関する研究.

周産期における臨床研究として, ①妊娠とスポーツ: 妊婦水泳, 妊婦のエアロビクス (マタニティービクス) の安全性や妊娠分娩に与える影響に関する研究. ②切迫早産・早産の管理: (i) 腔・頸管の細菌感染と切迫早産や絨毛膜羊膜炎との関係, 早産の予防に関する研究, (ii) 経腔超音波断層法による子宮頸管長の評価および切迫早産・早産の予知に関する研究. ③妊娠初期における胎嚢の観察: 胎芽・胎児の心拍数および胎嚢の形態・大きさなどの胎芽・胎児の発育, 予後 (流産) との関係に関する研究, 超音波断層法による新しい胎児発育評価の試みに関する研究, ④ Thermography を用いた新生児の自律神経系発達の評価: 新生児の日齢および Behavioral state の変化による体幹の温度分布の測定と, 自律神経系の発達との関連についての研究, 早産未熟児の皮膚温分布に関する研究, などが本年度の当教室における主な研究である.

第一回国際周産期学会において, 2演題が銀賞を受賞し国際的にも評価された. その他当科で経験した種々のまれな症例に関してはそれぞれ十分検討の上症例報告がなされた. 今後研究施設, 教室員の充実を図りより優れたものにして行きたい.

研究業績

論文

- 1) 山口 暁¹⁾, 牧みどり¹⁾, 大村 浩¹⁾, 宮内裕光¹⁾, 小池敏正¹⁾, 池田久剛²⁾, 佐藤俊彦³⁾ (¹⁾下都賀総合病院産婦人科, ²⁾同小児科, ³⁾独協医科大学放射線科): [総説] 症例: MRI によって出生に診断しえた小眼球症の1例. 産と婦, 58, 686~689, 1991.
- 2) 西島重光, 市川真仁, 山口 稔, 中井章人, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [原著] Indomethacin 療法が奏効した羊水過多症例. 日産婦東京地方会誌, 40, 226~230, 1991.
- 3) 越野立夫, 西島重光: [総説] 胎盤遺残の取扱い方. 日産婦誌, 43, 107~110, 1991.
- 4) Sawa, R., Asakura, H. and Power, G.G.: [原著] Changes in plasma adenosine during simulated birth of fetal sheep. J. Appl. Physiol., 70, 1524~1528, 1991.
- 5) 河合尚基, 臼井文男, 中井章人, 角田 隆, 越野立夫: [原著] 頸管妊娠に対する動注療法の試み. 日産婦東京地方会誌, 40, 309~312, 1991.
- 6) 角田 隆, 荒木 勤: [総説] 産科婦人科領域における医学管理のあり方; IV合併症妊娠 IUGR の管理. 産と婦, 58, 1795~1802, 1991.
- 7) 越野立夫, 西島重光: [総説] 子宮筋腫; こんなときどうするか, 21. 分娩様式; 経膈か帝切か. 臨床産婦, 45, 1186~1187, 1991.
- 8) 笠原孝之: [原著] 振動音刺激に対する胎児応答に関する研究. 日医大誌, 58, 577~586, 1991.
- 9) 西島重光, 荒木 勤: [総説] 特集; 分娩管理 new wave 早産の分娩管理. 産婦の実際, 40, 1487~1492, 1991.
- 10) 荒木 勤, 越野立夫, 河村 堯, 進 純郎, 天神尚子, 石川みずえ: [総説] アンケート調査から見た女性の尿失禁の現状. 産婦の実際, 40, 1583~1586, 1991.
- 11) 荒木 勤, 大屋敦子: [総説] IV胎児; 臨床子宮内胎児発育不全 intrauterin growth retardation; IUGR 周産期医学必修知識 3rd Edition. 周産期医学, 21 (臨時増刊号), 296~299, 1991
- 12) 荒木 勤, 林 康子: [総説] IV胎児; 臨床. 107. 胎児仮死 周産期医学必修知識 3rd Edition. 周産期医学, 21 (臨時増刊号), 300~302, 1991.
- 13) 荒木 勤, 山口 稔: [総説] IV胎児; 臨床. 108. 胎児死亡 周産期医学必修知識 3rd Edition. 周産期医学, 21 (臨時増刊号), 303~304, 1991.
- 14) 竹内久美, 佐藤研之, 横田明重, 織田利光, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [原著] 混合性結合組織病 (MCTD) 合併妊娠の1例. 日産婦東京地方会誌, 40, 429~432, 1991.
- 15) 朝倉啓文, 水上啓子¹⁾, 織田利光, 越野立夫, 荒木 勤 (¹⁾国立小児病院医療センター): [原著] 出生後体温調節過程における新生児褐色脂肪の熟産生の意義; サーモグラフィーによる検討. 臨床体温誌, 12, 80~89, 1992.
- 16) 越野立夫, 西島重光: [総説] 女性のからだとスポーツ; 褥婦とスポーツ. ペリネイタルケア, 11, 73~83, 1992.
- 17) 臼井文男, 横田明重: [総説] 子宮筋腫合併妊娠の管理方針. 日本助産婦会雑誌, 46, 35~40, 1992.
- 18) 中井章人, 朝倉啓文, 大屋敦子, 神戸 仁, 臼井文男, 梅沢勝弘, 市川真仁, 角田 隆, 越野立夫: [原著] 胎児大腿軟部組織観察による発育評価の試み. 日産婦東京地方会, 41, 15~18, 1992.

[前年度追加分]

- 1) Asakura, H., Ball, K.T. and Power, G.G.: [原著] Interdependence of arterial PO₂ and O₂ consumption in the fetal sheep. Journal of Developmental Physiology, 13, 205~213, 1990.
- 2) 中井章人, 横田明重, 梅沢勝弘, 大屋敦子, 朝倉啓文, 越野立夫: [原著] 超音波断層法による胎児腸管観察. 日産婦東京地方会誌, 40, 23~26, 1991.

学会発表

- 1) 亀山信彦, 林 康子, 笠原孝之, 濱野尚和, 高橋 亘: [一般講演] 死胎児症候群の1例. 第91回日本産科婦人科学会茨城地方会例会, 1991.
- 2) 仲沢経夫, 竹内理恵, 太田雄治郎, 加藤久盛, 斉藤千草, 岡島弘幸¹⁾(¹⁾神奈川県立がんセンター): [一般講演] 高度老人性萎縮のため診断が難しかった頸癌と体癌の2例. 第276回日本産科婦人科学会神奈川地方部会例会, 1991.
- 3) 田村高子¹⁾, 中井章人, 横山和子¹⁾(¹⁾第一病院麻酔科): [一般講演] 硬膜外麻酔中に心停止をきたした1例. 第12回日本循環制御医学総会, 1991.
- 4) 河合尚基, 臼井文男, 中井章人, 角田 隆, 越野立夫: [一般講演] 頸管妊娠に対する動注療法の試み. 第278回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1991.
- 5) 竹内久美, 織田利光, 横田明重, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [一般講演] 混合性結合組織病(MCTD)合併妊娠の1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 6) 市川真仁, 西島重光, 中井章人, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [ポスター] 時間胎児尿生成率の異常高値を認めた羊水過多症に indomethacin 療法が奏効した1例. 第81回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1991.
- 7) 梅沢勝弘, 西島重光, 山口 稔, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤: [一般講演] 当科における子宮外妊娠の診断法についての統計学的考察. 第81回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1991.
- 8) 中井章人, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤, 田中泰博¹⁾, 大溝道子²⁾, 山口 静²⁾(¹⁾田中ウイメンズクリニック, ²⁾山口産婦人科): [一般講演] 妊婦エアロビクスによる母体, 胎児の血行動態変化に関する検討. 第81回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1991.
- 9) 朝倉啓文, 織田利光, 梅沢勝弘, 臼井文男, 林 康子, 越野立夫, 荒木 勤, 水上啓子: [シンポジウム] 手術室, ICUにおける体温管理の問題点; 出生後新生児における褐色脂肪による熱産性様式の観察. 第12回臨床体温研究会, 1991.
- 10) 朝倉啓文, 水上啓子¹⁾, 織田利光, 林 康子, 越野立夫, 荒木 勤, 松本二郎²⁾, 佐々木毅²⁾(¹⁾国立小児病院小児医療センター, ²⁾山王クリニック): [一般講演] 新生児熟産生能発現過程の観察. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 11) 織田利光, 朝倉啓文, 竹内久美, 越野立夫, 荒木 勤, 水上啓子¹⁾, 三科 潤²⁾, 小川隆吉²⁾, 柳田昌彦²⁾(¹⁾国立小児病院小児医療研究センター, ²⁾都立築地産院): [一般講演] 早産未熟児の皮膚温分布の特徴. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 12) 越野立夫: [教育セミナー] 女性とスポーツ. 第3回東京都医師会健康スポーツ研究会, 1991.
- 13) 横田明重, 角田 隆, 梅沢勝弘, 竹内久美, 林 康子, 越野立夫, 荒木 勤, 小川隆吉¹⁾, 稲沢由美²⁾, 小川秀子²⁾(¹⁾都立築地産院, ²⁾相模女子大学): [一般講演] ラット胎仔における多価不飽和脂肪酸の代謝特性. 第27回日本新生児学会総会, 1991.
- 14) Takeshita, T., Kozlowski, S., England, R.D., Margulies, D.H. and Berzofsky, J.A.: [一般講演] Quantitative analysis of antigen presentation by purified soluble class I MHC molecule. NCI Metabolism Branch Noon Seminar (Bethesda, U.S.A.), 1991.
- 15) 澤倫太郎, 朝倉啓文, 河村 堯, Power, G.G.¹⁾, 荒木 勤 (¹⁾Loma Linda University): [一般講演] 出生直後におけるヒツジ胎仔 plasma adenosine 濃度の変化とその生理的意義. 第15回産婦人科栄養・代謝研究会, 1991.
- 16) 加藤久盛¹⁾, 竹内理恵¹⁾, 太田雄治郎¹⁾, 仲沢経夫¹⁾, 斉藤千草¹⁾, 中山裕樹¹⁾, 岡島弘幸¹⁾, 神菌光代²⁾, 中村満美子²⁾(¹⁾神奈川県立がんセンター婦人科, ²⁾同検査科): [一般講演] 内膜吸引細胞診で手術に踏み切った卵巣癌の1例. 第10回日本臨床細胞学会神奈川県支部地方会学術集会, 1991.

- 17) Nishijima, S., Hayashi, Y., Nakai, A., Tsunoda, Y. and Ogawa, T.¹⁾, Wakaomi, Y.²⁾, Matsumoto, J.³⁾, Sasaki, T.³⁾, Kashino, T., Araki, T. (¹⁾Metropolitan Tsukiji Maternity Hospital, ²⁾Tokyo Metropolitan Maternity and Child Helth Institute, ³⁾Sanno Clinic) : [一般講演] The relationship between cervical cultures and threatened premature labor. XIIIth World Congress of Gynaecology & Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 18) Oda, T., Asakura, H., Nakai, A., Nishijima, S., Koshino, T. and Araki, T. : [ポスター] Thermographic observation of neonatal thermogenesis after birth. XIIIth World Congress of Gynaecology & Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 19) Nakai, A., Asakura, H., Yamaguchi, S.¹⁾, Tanaka, Y.²⁾, Ohmizo, M.¹⁾, Nishijima, S., Koshino, T. and Araki, T. (¹⁾Yamaguchi Hospital, ²⁾Tanaka Women's Clinic) : [ポスター] The response of maternal and fetal hemodynamics to aerobic exercise. XIIIth World Congress of Gynaecology & Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 20) Nakai, A., Asakura, H., Ohya, A., Nishijima, S., Yamaguchi, M., Hayashi, Y., Koshino, T. and Araki, T. : [ポスター] Clinical significance of human yolk sac observation. 6th World Congress in Ultrasound, Copenhagen (Denmark), 1991.
- 21) Ohya, A., Asakura, H., Nakai, A., Umezawa, K., Usui, F., Ichikawa, M., Koshino, T. and Araki, T. : [ポスター] The effect of aerobic exercise on maternal and fetal hemodynamics. 6th World Congress in Ultrasound, Copenhagen (Denmark), 1991.
- 22) 竹内久美, 佐藤研之, 横田明重, 織田利光, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫 : [一般講演] 混合性結合組織病 (MCTD) 合併妊娠の1例. 第279回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1991.
- 23) 臼井文男, 横田明重, 西島重光, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤 : [一般講演] 子宮筋腫合併妊娠の管理方針. 第32回日本母性衛生学会, 1991.
- 24) 梅沢勝弘, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤 : [一般講演] 子宮外妊娠診断困難例の診断法と管理方針. 第32回日本母性衛生学会, 1991.
- 25) 越野立夫 : [シンポジウム] 妊婦の健康管理と運動; 妊婦水泳教室における諸問題. 第32回日本母性衛生学会, 1991.
- 26) 臼井文男, 朝倉啓文, 西島重光, 角田 隆, 市川真仁, 梅沢勝弘, 越野立夫, 松本二郎¹⁾, 佐々木毅¹⁾ (¹⁾山王クリニック) : [一般講演] 胎児発育が妊婦尿中 NAG と血中 β_2 microglobulin に及ぼす影響. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 27) 大屋敦子, 中井章人, 神戸 仁, 吉満恵一, 佐藤研之, 越野立夫 : [展示] 交通事故を誘因にした妊娠合併イレウスの1例. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 28) 中井章人, 朝倉啓文, 大屋敦子, 梅沢勝弘, 市川真仁, 越野立夫 : [展示] 超音波断層法による新しい胎児発育評価の試み. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 29) 安藤 順¹⁾, 青山俊也¹⁾, 五十嵐義晃¹⁾, 佐藤太志¹⁾, 鴨下 亨¹⁾, 川勝樹夫¹⁾, 関谷敏彦¹⁾, 赤石 健¹⁾, 茂古沼吉宗¹⁾, 横倉稔明¹⁾, 伊藤 正¹⁾, 加藤富三¹⁾, 西島重光, 朝倉啓文, 越野立夫 (¹⁾第一病院放射線科) : [展示] MRI における卵巣腫瘍の術前診断の有用性. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 30) 川辺満彦¹⁾, 飯野靖彦¹⁾, 竹内正至¹⁾, 松信精一¹⁾, 葉山修陽¹⁾, 原 一男¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 中井章人, 越野立夫, 益田律子²⁾, 横山和子²⁾ (¹⁾第一病院人工透析室, ²⁾同麻酔科) : [展示] 慢性維持透析患者における出産の1症例. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 31) 西島重光, 朝倉啓文, 中井章人, 北川 優¹⁾, 松本二郎¹⁾, 佐々木毅¹⁾, 石原楷輔, 越野立夫, 荒木 勤 (¹⁾山王クリニック) : [ポスター] 経腔超音波断層法による子宮頸管長の客観的評価; 正常妊娠例と切迫妊婦との比較. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1991.

- 32) 笠原孝之, 西島重光, 吉満恵一, 朝倉啓文, 越野立夫, 荒木 勤 : [一般講演] 振動音刺激に対する IUGR 例の胎児心拍数と胎動の変化. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1991.
- 33) 臼井文男, 朝倉啓文, 西島重光, 角田 隆, 越野立夫, 荒木 勤, 松本二郎¹⁾, 佐々木毅¹⁾(¹⁾山王クリニック) : [一般講演] 妊婦尿中 NAG と胎児発育との関連性. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1991.
- 34) 中井章人, 朝倉啓文, 西島重光, 大屋敦子, 神戸 仁, 斉藤守夫, 越野立夫, 荒木 勤 : [一般講演] Yolk sac, fetal heart rate 観察による胎児予後判定の試み. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1991.
- 35) 織田利光, 竹内久美, 佐藤研之, 横田明重, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 荒木 勤 : [一般講演] 混合性結合組織病 (MCTD) 合併妊娠の1例. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1991.
- 36) Asakura, H., Oda, T., Hayashi, Y., Ohya, A., Koshino, T., Araki, T. and Mizukami, K : [ポスター] Significance of brown adipose tissue during thermal adaptation after birth. International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 37) Nishijima, S., Nakai, A., Asakura, H., Matsumoto, J., Sasaki, T., Ishihara, K., Koshino, T. and Araki, T. : [ポスター] Transvaginal ultrasonographic measurement of cervical length to predict cervical incompetence and preterm delivery. International Congress of Perinatal Medicine. (Tokyo), 1991.
- 38) Oda, T., Asakura, H., Mizukami, K., Ogawa, T., Mishina, J. and Yanagida, M. : [ポスター] The difference in skin temperature distribution between preterm and term neonates. International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 39) Sawa, R., Asakura, H., Kawamura, T., Power, G.G. and Araki, T. : [一般講演] Possible role of plasma adenosine at birth in thermoregulation of fetal sheep. International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 40) Kawamura, T., Tanaka, K., Kijima, K., Matsushita, M., Sawa, R., Asakura, H., Sato, K. and Araki, T. : [一般講演] Mechanism of uterine contraction in maternal infections model injected endotoxin on pregnant goats. International Congress of Perinatal Medicine (Tokyo), 1991.
- 41) 臼井文男, 横田明重, 中井章人, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫 : [一般講演] 子宮筋腫合併妊娠の帝王切後に難治性腹膜炎を併発した1症例. 日本医科大学医学部第75回例会, 1991.
- 42) 西中健二, 市川真仁, 大塚 茂¹⁾(¹⁾北村山公立病院) : [一般講演] 出生前に診断しえた先天性尿路奇形の1例. 第34回山形県産婦人科集談会, 1991.
- 43) 中山裕樹¹⁾, 太田雄治郎¹⁾, 仲沢経夫¹⁾, 加藤久盛¹⁾, 斉藤千草¹⁾, 岡島弘幸¹⁾, 中村満美子²⁾, 岩撫成子²⁾, 吉田 力²⁾(¹⁾神奈川県立がんセンター, ²⁾同検査第1科) : [一般講演] 当院における内臓細胞診の検討. 第30回日本臨床細胞学会秋期大会学術集会, 1991.
- 44) 林 康子, 亀山信彦, 斉藤守夫, 濱野尚和 : [一般講演] 腹膜偽粘液腫の1例. 第93回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 1991.
- 45) 朝倉啓文, 越野立夫, 中井章人, 大屋敦子, 神戸 仁, 田中泰博¹⁾(¹⁾田中ウイメンズクリニック) : [一般講演] 妊婦エアロビクスにおける子宮循環動態変化. 第5回女性スポーツ医学研究会, 1991.
- 46) 中井章人, 朝倉啓文, 大屋敦子, 神戸 仁, 臼井文男, 梅沢勝弘, 市川真仁, 角田 隆, 越野立夫 : [一般講演] 胎児大腿軟部組織観察による発育評価の試み. 第280回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1991.
- 47) 越野立夫 : [教育セミナー] マタニティスポーツ ; マタニティスイミング. 第3回女性スポーツ医学研究会, 1992.
- 48) 横田明重, 臼井文男, 林 康子, 織田利光, 西島重光, 角田 隆, 朝倉啓文, 越野立夫 : [一般講演] 子宮筋腫合併妊娠における妊娠中絶後の難治性感染. 第5回東母・日産婦東京地方部会合同研修並びに第281回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1992.

[第二病院産婦人科]

研究概要

本年度の業績は主として、経腔超音波診断、子宮峡部と頸管に関する問題、子宮収縮や母体の骨盤も含めて妊娠や分娩に関するもの、その他と4大別することが可能である。

経腔超音波法を使用して、子宮内妊娠は何時頃から確認が可能であり、かつ、正常妊娠であっても、何時頃まで着床が遅延することがあり得るのかを証明した。また、非侵襲的である本法を応用することにより、子宮内膜由来の不妊症の患者を抽出して、その治療を行い、その治療法を確立したのみならず、その妊娠予後の推定までも可能とした。

また、再現性に問題の多い内診によるしか表現法の欠除していた子宮頸管の状態を、本法により、客観的な計測、表現を可能とした。

分娩の3要素として重要でありながら、最近無視される傾向の否定できない骨産道の問題については、進歩の著しい多変量解析の技術を応用することにより、その意義の解明に成功し、一方、当医局の伝統的な研究項目である子宮収縮に関しては、主として妊娠初期・中期の意義について研究を進展させた。

早産の原因は不明なことが多いが、その原因の1つとして従来指摘されながらその変動の意義が不明であった腔内のpHについて、高値を示したものはその予後が不良のことを証明した。

研究業績

論文

- 1) 高橋 通, 山藤泰功, 菊池三郎: [原著] 子宮腔部びらん凍結療法後のソルコセリル®の組織修復促進効果. 産婦の世界, 43, 367~371, 1991.
- 2) 菊池三郎: [原著] 骨盤計測 X 線: 産婦人科画像診断. 産と婦, 58 (増刊号), 493~499, 1991.
- 3) 石原楷輔, 木下叫一, 小畑清一郎, 松尾健志, 菊池三郎: [原著] 低置胎盤と産科異常. 産婦治療, 63, 1~8, 1991.
- 4) 石原楷輔, 木下叫一, 飯田晋也, 小畑清一郎, 田口正男, 菊池三郎: [原著] 妊娠早期胎嚢像の出現時期と臨床的意義. 産婦治療, 63, 599~604, 1991.
- 5) 田中穂積¹⁾, 飯田晋也, 高橋 通, 菊池三郎, 尾形永太郎²⁾(¹⁾住友生命医務部, ²⁾尾形産婦人科クリニック): [原著] 骨盤入口面の数理的解析による記録・表示の一試案. 産婦の実際, 40, 2085~2089, 1991.
- 6) 松尾健志, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] 妊娠中期における前置胎盤診断の再検討; 経腹・経直腸および経腔超音波走査法によるアプローチ. 日産婦会誌, 6, 603~610, 1991.
- 7) 高橋 通: [原著] 臍帯巻絡. 臨婦室, 45, 820~821, 1991.
- 8) 高橋 通, 高木 清: [原著] 腹部腫瘤. 臨婦室, 45, 1459~1461, 1991.
- 9) 関谷隆夫, 若麻積佳樹¹⁾(¹⁾東京都立母子保健院産婦人科): [原著] 妊婦の便秘とその対策. 日本助産婦会誌, 45, 5~9, 1991.
- 10) 関谷隆夫, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] 機能性不妊治療における子宮内膜搔爬術の有用性についての検討. 日超音波医学会59回研究発表会講義集, 59, 895~896, 1991.
- 11) 高木 清, 小西公麿, 飯田晋也, 関谷隆夫, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] 一頸管無力症スコアリングの再評価一; 内子宮口開大像の臨床的意義. 日超音波医学会59回研究発表会講義集, 59, 893~894, 1991.
- 12) 木下叫一, 飯田晋也, 高木 清, 松尾健志, 田口正男, 小畑清一郎, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] GS 像の各パラメーターと血中 β -HCGの関係について. 日超音波医学会59回研究発表会講義集, 59, 869~870, 1991.
- 13) 石原楷輔, 木下叫一, 小西公麿, 高木 清, 松尾健志, 菊池三郎, 尾形永太郎¹⁾(¹⁾尾形産婦人科クリニック): [原著] 前置胎盤発生機序を推測させた2症例. 産婦治療, 64, 120~124, 1992.
- 14) 石原楷輔, 小畑清一郎, 松尾健志, 菊池三郎: [原著] 低置胎盤と分娩時異常出血: 超音波断層法による検討.

日産婦神奈川会誌, 28, 147~150, 1992.

- 15) 石原楷輔, 木下叫一, 飯田晋也, 田口正男, 菊池三郎:〔原著〕超音波経腔走査法による子宮内早期胎嚢像の検出時期とその臨床的意義. 日産婦神奈川会誌, 28, 154~158, 1992.
- 16) 高橋 通, 飯田晋也, 田中穂積¹⁾, 菊池三郎 (¹⁾住友生命医務部):〔原著〕現代日本女性の骨盤形態. 日本助産婦会誌, 46, 18~22, 1992.
- 17) 菊池三郎, 雨宮 章, 浜田 宏, 水口弘司, 藤井明和, 西島正博, 鈴木忠雄, 鈴木健治, 天野 完, 長田久丈, 鈴木直行:〔原著〕産婦人科領域の創傷治癒に関する血液凝固 第 XIII 因子製剤の有効性について. 産婦の世界, 43, 639~646, 1992.

著 書

- 1) 菊池三郎:〔分担〕巨大児とは何なのか. “モダンクリニカルポイント”. p. 204~205, 金原出版, 1991.
- 2) 菊池三郎:〔分担〕切迫産産・切迫早産・前期破水の管理. 周産期医療の実際, p. 45~52, 恩賜財団母子愛育会, 1991.

学会発表

- 1) 菊池三郎, 江川正弥, 米田義典, 山藤泰功, 松本讓二, 島田洋一¹⁾, 関谷政雄²⁾ (¹⁾麻酔科, ²⁾健康管理科):〔シンポジウム〕喫煙と健康. 第23回日本医学会総会, 1991.
- 2) 小畑清一郎, 松尾健志, 石原楷輔, 菊池三郎:〔シンポジウム〕低置胎盤と産科異常. 第275回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1991.
- 3) 木下叫一, 飯田晋也, 高木 清, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎:〔一般講演〕子宮内早期胎嚢像の検出時期と臨床的意義. 第58回日本超音波医学会, 1991.
- 4) 田中純也, 木下叫一, 高木 清, 松尾健志, 高橋 通, 菊池三郎:〔一般講演〕異所性腎を合併した双角子宮妊娠の1例. 第276回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1991.
- 5) 高木 清, 木下叫一, 飯田晋也, 関谷隆夫, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎:〔一般講演〕McDonald's手術の予後から見た頸管無力症スコアリングシステムの試み;分婏予後の予測とスコアの評価. 第81回日本産科婦人科学会関東連合地方会, 1991.
- 6) 木下叫一, 飯田晋也, 高木 清, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 岩崎孝一¹⁾, 久保田繁¹⁾, 菊池三郎 (¹⁾久保田病院):〔一般講演〕子宮内早期胎嚢像の検出時期と臨床的意義;排卵特定群と正常月経周期群の比較検討. 第81回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
- 7) 江川正弥, 小林三平, 米田義典, 松本讓二, 菊池三郎:〔一般講演〕妊婦の腔内 pH. 第277回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1991.
- 8) 菊池三郎:〔一般講演〕Entrapment neuropathy;産婦人科の立場から. 第2回末梢神経学会, 1991.
- 9) 江川正弥, 小林三平, 米田義典, 松本讓二, 菊池三郎:〔一般講演〕妊婦の腔内 pH 値と分婏予後. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 小西公麿, 木下叫一, 高木 清, 松尾健志, 石原楷輔, 尾形永太郎¹⁾, 菊池三郎 (¹⁾尾形産婦人科クリニック):〔展示〕前置胎盤発生機序を推測させる2症例;超音波断層法による観察. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 11) 松島 隆, 石田明彦, 高木 清, 松尾健志, 山藤泰功, 松本讓二, 石原楷輔, 菊池三郎:〔展示〕妊娠に合併した Liver abscess を強く疑わせる1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 12) 恵比須享, 根本芳広, 飯田晋也, 高橋 通, 菊池三郎, 田村良樹¹⁾, 田中穂積²⁾ (¹⁾島田医院, ²⁾住友生命医務部):〔展示〕骨盤入口面と年齢, 身長の関係. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 13) 松尾健志, 松島 隆, 塚田克也, 菊池三郎, 川並汪一¹⁾, 平野滋之²⁾, 田崎達也²⁾, 田崎博也²⁾ (¹⁾病理第1, ²⁾消化器センター):〔展示〕腸管子宮内膜症に直腸ポリープ癌と子内頸部 CIS を疑わせる所見を合併した1例. 第

- 59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 14) 小林三平, 木下叫一, 塚田克也, 石原楷輔, 川並汪一¹⁾, 菊池三郎 (¹⁾病理第1): [展示] 超音波検査で診断し得た正常分娩後の絨毛癌. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 15) 松尾健志: [パネルディスカッション] 外来における妊婦管理. 第278回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1991.
 - 16) Ogata, E.¹⁾, Tanaka, J., Iida, S., Matsumoto, J., Takahashi, T., Kikuchi, S. and Tanaka, H.²⁾ (¹⁾尾形産婦人科クリニック, ²⁾住友生命医務部): [展示] Pelvic inlet classified by multiple regression analysis. XIII World Congress of FIGO (Singapore), 1991.
 - 17) Tanaka, J., Iida, S., Takahashi, T., Kikuchi, S. and Tanaka, H.¹⁾ (¹⁾住友生命医務部): [一般演題] A newly proposed diagnosis of contracted pelvis. XIII World Congress of FIGO (Singapore), 1991.
 - 18) Matsumoto, J., Kinoshita, K., Komeda, Y., Kobayashi, S., Santo, Y., Ogata, E. and Kikuchi, S.¹⁾ (¹⁾尾形産婦人科クリニック): [一般演題] Factors associated with changes in plasma norepinephrine during and after pregnancy. XIII World Congress of FIGO (Singapore), 1991.
 - 19) 高木 清, 木下叫一, 飯田晋也, 関谷隆夫, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 超音波断層像における内子宮口開大像の臨床的意義. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 20) 松本讓二, 米田義典, 江川正弥, 小林三平, 菊池三郎: [一般講演] 妊娠中期子宮収縮の意義. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 21) 木下叫一, 飯田晋也, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎, 岩崎幸一¹⁾, 久保田繁¹⁾ (¹⁾久保田病院): [一般講演] GS 像の各パラメーターと血中 β -HCG の関係について. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 22) 小西公麿, 木下叫一, 高木 清, 松尾健志, 石原楷輔, 菊池三郎: [展示] 前置胎盤発生機序を推測させる2症例; 超音波断層法による観察. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 23) 高橋 通, 飯田晋也, 田村良樹¹⁾, 田中穂積²⁾, 菊池三郎 (¹⁾島田医院, ²⁾住友生命医務部): [一般講演] 現代日本人女性の骨盤入口面形態について. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 24) 飯田晋也, 高橋 通, 田中穂積¹⁾, 尾形永太郎²⁾ (¹⁾住友生命医務部, ²⁾尾形産婦人科クリニック): [展示] 狭骨盤判定の一試案. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 25) 江川正弥, 内木亮介¹⁾, 島田洋一¹⁾, 菊池三郎 (¹⁾麻酔科): [一般講演] 産婦人科手術患者の術前呼吸機能と喫煙. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 26) 松本讓二, 高橋 通: [展示] 神奈川県における絨毛性疾患発生状況; 40歳以上の全妊娠数調査. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 27) 飯田晋也: [展示] 神奈川県における胎児仮死・新生児仮死の臨床. 第82回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
 - 28) 高木 清, 小西公麿, 飯田晋也, 関谷隆夫, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 頸管無力症スコアリングの評価; 内子宮口開大像の臨床的意義. 第59回日本超音波医学会, 1991.
 - 29) 関谷隆夫, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 機能性不妊治療における子宮内膜搔爬術の有用性についての検討. 第59回日本超音波医学会, 1991.
 - 30) 木下叫一, 飯田晋也, 高木 清, 松尾健志, 田口正男, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] GS 像各パラメーターと血中 β -HCG の関係について. 第59回日本超音波医学会, 1991.
 - 31) 関谷隆夫, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 機能性不妊治療における子宮内膜搔爬術の有用性についての検討. 第36回日本不妊学会学術講演会, 1991.
 - 32) Kikuchi, S., Takahashi, T: [一般講演] Expecting mothers who smoke. The 2nd Pan-Pacific Congress of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology (Pusan, Korea), 1991.

- 33) 江川正弥, 高木 清, 小畑清一郎, 松本讓二, 高橋 通, 菊池三郎: [一般講演] 第二病院産婦人科の MRSA. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 34) 小林三平, 江川正弥, 松本讓二, 高橋 通, 石原楷輔, 菊池三郎, 島田洋一¹⁾, 関谷政雄²⁾(¹⁾麻酔科, ²⁾健康管理科): [一般講演] 喫煙と慢性炎症. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 35) 原田雄一¹⁾, 清水由晴¹⁾, 菊池隆介¹⁾, 松原貴規¹⁾, 村沢恒男¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 石田明彦, 菊池三郎, 米山浩英²⁾, 川並汪一²⁾ (¹⁾内科, ²⁾病理部): [一般講演] 妊娠5ヵ月汎血球減少を来し敗血症(MRSA, 真菌)にて死亡した1剖検例. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 36) Takahashi, T., Kikuchi, S. and Ogata, E.¹⁾ (¹⁾Ogata Lady's Clinic): [一般講演] Carpal tunnel syndrome in pregnancy. 国際周産期学会, 1991.
- 37) Takahashi, T., Richard, D., Scheerer.¹⁾ and Katz, M.²⁾ (¹⁾Pacific Medical Center, ²⁾University of California San Francisco): [一般講演] Does indomethacin stop cervical ripening?. 国際周産期学会, 1991.
- 38) Ogata, E.¹⁾, Komeda, Y., Matsumoto, J. and Kikuchi, S. (¹⁾Ogata Lady's Clinic): [一般講演] Pregnancy and driving. 1st International Congress of Perinatal Medicine, 1991.
- 39) 小林三平, 江川正弥, 松本讓二, 高橋 通, 石原楷輔, 菊池三郎, 島田洋一¹⁾ (¹⁾麻酔科): [一般講演] 婦人における喫煙の利害. 第280回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1991.
- 40) 江川正弥, 根本芳広, 石田明彦, 関谷隆夫, 松本讓二, 菊池三郎: [一般講演] 卵管水腫捻捻転の2例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 41) 松島 隆, 塚田克也, 松尾健志, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 腸管子宮内膜症の1例. 第282回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1992.
- 42) 木下叫一, 小西公鷹, 飯田晋也, 高木 清, 松尾健志, 田口正男, 関谷隆夫, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 妊卵着床部位と前置胎盤発生機序. 第283回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1992.

[多摩永山病院産婦人科]

研究概要

平成3年度は当医局の部長に佐々木助教授が就任され, 大学側および大川病院長の配慮を得て病院に組織培養室とDNAの分析が可能な生化学研究室が完成された。研究室では早速 cell culture を中心に基礎, 臨床の両面にわたり, 下記の領域で研究が開始されている。

1. 産科領域では従来部長が付属病院で行ってきた絨毛生検や羊水穿刺に加えて DNA による出生前診断。
 2. 婦人科領域では引き続き絨毛性疾患の悪性化のメカニズムについてがん遺伝子のレベルでの追及。
- とくに, 現在では PCR 法を活用して絨毛癌細胞における細胞増殖の調節機構の解明に精力をそそいでいる。

研究業績

論 文

- 1) 佐々木茂: [原著] 妊婦の体重コントロールとその管理. 日臨栄会誌, 12, 119~123, 1991.
- 2) 林 瑞成, 真能純一, 諏訪喜宣, 田中幸太郎, 小川秀臣, 中山祐樹, 河村 堯: [原著] 頸管胎盤の1例. 日産婦東京会誌, 40, 59~61, 1991.
- 3) 田中 彰, 荒木 勤: [原著] 計画妊娠; 合併疾患への対応. 臨床婦産, 45, 1310~1312, 1991.
- 4) 小川秀臣, 石川博臣, 林 瑞成, 磯崎太一, 諏訪喜宣, 中山祐樹, 佐々木茂: [原著] 意識障害痙攣発作を来した重症妊娠悪阻の1例. 日産婦東京会誌, 40, 3, 1991.
- 5) 林 瑞成, 田中幸太郎, 田中 彰, 石川博臣, 田中純也, 楊 玉英, 磯崎太一, 諏訪喜宣, 佐々木茂: [原著] 稀な内分泌疾患合併妊娠の1例: Cushing 症候群合併妊娠. 日産婦東京会誌, 41, 63~65, 1992.

- 6) 磯崎太一, 佐藤純子, 佐々木茂: [原著] 出生前診断; 羊水穿刺による染色体異常の診断について. 母子保健, No. 394, 1992.

著 書

- 1) 佐々木茂: [分担] 助産学講座 4. 助産診断学. 妊娠分娩と関係の深いその他の疾患. p. 390~420, 医学書院, 1991.

学会発表

- 1) 佐々木茂: [教育講演] 出生前診断; 特に染色体異常児の診断について. 南多摩産婦人科医会臨床研究会, 1991.
- 2) 佐々木茂: [教育講演] 出生前診断; 特に染色体異常児の診断について. 平成3年度第3回町田市産婦人科医会研修会, 1991.
- 3) 佐々木茂: [教育講演] 胞状奇胎; その成因と悪性化の機序について. 南多摩産婦人科医会総会, 1991.
- 4) 佐々木茂: [教育講演] 更年期から予防する成人病; 節目を健やかに過ごす. 八王子保健所成人病研修会, 1992.
- 5) 磯崎太一, 佐々木茂, 加藤寛彦, 飯田 啓, 高橋英彦, 荒木 勤: [一般講演] 部分奇胎で化学療法を必要とした1症例. 第9回絨毛性疾患研究会, 1991.
- 6) 小川秀臣, 石川博臣, 林 瑞成, 磯崎太一, 諏訪喜宣, 中山祐樹, 佐々木茂: [一般講演] 意識障害, 痙攣発作を来した重症妊娠悪阻の1例. 第278回日産婦東京地方部会例会, 1991.
- 7) 磯崎太一, 石川博臣, 林 瑞成, 小川秀臣, 諏訪喜宣, 中山祐樹, 佐々木茂, 名知仁子¹⁾, 長沢紘一¹⁾(¹⁾内科): [一般講演] 成熟嚢胞性奇形腫に合併した自己免疫性溶血性貧血の1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 8) 石川博臣, 高橋英彦, 小西英善, 大坪保雄, 進 純郎, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 帝王切開術後 MRSA 感染のため子宮摘出術を施行した1例. 第9回日本産婦人科感染症研究会, 1991.
- 9) 石川みずえ, 高橋英彦, 波多野久昭, 佐々木茂, 荒木 勤: [一般講演] 妊娠中の歯科処置が誘因と思われた感染性心内膜炎合併妊婦の症例. 第81回日産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 10) 小川秀臣, 林 瑞成, 田中幸太郎, 諏訪喜宣, 中山祐樹, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 血清 CA19-9値が異常高値を示した卵巣 mature cystic teratoma の1例. 第81回日産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 11) 田中幸太郎, 林 瑞成, 小川秀臣, 諏訪喜宣, 中山祐樹, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 双胎一児胎内死亡2例の管理経験. 第81回日産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 12) 中山祐樹, 林 瑞成, 小川秀臣, 田中幸太郎, 諏訪喜宣, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 骨盤リンパ節廓清後のドレナージ法の検討. 第81回日産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 13) 諏訪喜宣, 林 瑞成, 小川秀臣, 田中幸太郎, 中山祐樹, 河村 堯, 荒木 勤: [一般講演] 卵巣 immature teratoma の1例. 第81回日産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 14) 石川博臣, 可世木久幸, 明楽重夫, 外山和秀, 角田 隆, 朝倉啓文, 五十嵐俊夫, 荒木 勤, 松本二郎¹⁾, 佐々木毅 (¹⁾山王クリニック): [一般講演] ダナゾール腔内投与療法の効果. 第81回日産婦関東連合地方部会総会, 1991.
- 15) Tanaka, J., Iida, S., Tanaka, H., Takahashi, T., Kikuchi, S.: [一般講演] A newly proposed diagnosis of contracted pelvis. XIII World Congress of Gynecology & Obstetrics (FIGO) (Singapore), 1991.
- 16) 磯崎太一, 石川博臣, 田中純也, 林 瑞成, 田中 彰, 諏訪喜宣, 佐々木茂, 荒木 勤: [一般講演] 成熟嚢胞性奇形腫に合併した自己免疫性溶血性貧血の1症例. 第82回日産婦関東連合地方部会, 1991.
- 17) 林 瑞成, 石川博臣, 小川秀臣, 田中幸太郎, 田中 彰, 磯崎太一, 諏訪喜宣, 佐々木茂, 荒木 勤: [一般講演] クッシング症候群合併妊娠の1例. 第82回日産婦関東連合地方部会, 1991.
- 18) 林 瑞成, 田中幸太郎, 田中 彰, 石川博臣, 田中純也, 楊 玉英, 磯崎太一, 諏訪喜宣, 佐々木茂: [一般講演] 稀な内分泌疾患合併妊娠の1例; Cushing 症候群合併妊娠. 第280回日産婦東京地方部会例会, 1991.

- 19) 石川博臣, 田中 彰, 諏訪喜宣, 田中純也, 林 瑞成, 磯崎太一, 佐々木茂: [一般講演] 悪性腫瘍との鑑別に苦慮した稀な尿管膿瘍の1例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 20) 田中 彰, 田中純也, 石川博臣, 磯崎太一, 佐藤純子, 諏訪喜宣, 佐々木茂: [一般講演] First trimester に一過性の胎児水腫を呈した18trisomy の1例. 第281回日産婦東京地方部会例会, 1992.

14. 耳鼻咽喉科学講座

[付属病院耳鼻咽喉科]

研究概要

教室の主研究テーマであるアレルギー、耳科学、神経耳科学に関する業績が例年に続いて報告された。

アレルギー関係では、アレルギー発症のメカニズムに関する研究、花粉症の発症や予防に関する研究、鼻粘膜上皮層の細胞成分の研究、鼻アレルギーの治療に関する研究などが進展した。

耳科学関係では、鼓室形成術の成績、突発性難聴や耳鳴の治療に関する臨床的発表などが行われた。

神経耳科学的研究では、世界でも類を見ない眼球運動のコンピュータ画像認識を用いた解析方法による温度眼振の解析などの研究が一層の進展を見せた。身体平衡の維持に対する頸部深部知覚の役割に関する研究も継続的に行われた。内耳局所免疫に関する動物実験、および内耳障害のヒトの血清分析から内耳障害の一部に免疫が関与している可能性について研究がなされ次々に新発見が得られている。

研究業績

論文

- 1) 奥田 稔：〔原著〕鼻アレルギーの病態と抗アレルギー薬。Johns, 7, 183~186, 1991.
- 2) 奥田 稔, 大西正樹, 池田雅一, 矢島 洋¹⁾, 関はるみ^{(1)静岡済生会}：〔原著〕鼻アレルギーに対するレピリナストの臨床評価。耳展, 34, 163~195, 1991.
- 3) 奥田 稔, 市川菊乃, 他61名：〔原著〕通年性鼻アレルギーに対するレピリナストの長期投与試験。耳展, 34, 197~208, 1991.
- 4) 奥田 稔, 大久保公裕, 他50名：〔原著〕通年性アレルギー性鼻炎に対する loratadine の臨床評価。耳展, 34, 673~688, 1991.
- 5) 奥田 稔, 馬場廣太郎¹⁾, 市川菊乃, 大西正樹, 目澤朗憲^{(1)独協医大}：〔原著〕アステミゾールの鼻アレルギーに対する臨床試験。耳展, 34, 295~312, 1991.
- 6) 奥田 稔, 池田雅一, 羽生佐保子, 他42名：〔原著〕通年性アレルギー性鼻炎に対する loratadine の臨床評価；長期投与による有効性安全性の検討。耳展, 35, 13~26, 1992.
- 7) 奥田 稔, 坂井聡子, 服部康夫, 鶴窪一行¹⁾, 他38名^{(1)第二病院耳鼻咽喉科}：〔原著〕WAL 801CL (エピナスチン) 錠の通年性アレルギーに対する臨床初期二相試験。耳展, 35, 61~79, 1992.
- 8) 奥田 稔, 大西正樹, 池田雅一, 他75名：〔原著〕鼻アレルギーに対するノイロトロピン錠の臨床評価。医薬と薬学, 25, 1199~1222, 1991.
- 9) 奥田 稔：〔原著〕喘息を合併するアレルギー性鼻炎の治療。Clinician, 138, 625~656, 1991.
- 10) 戸川 清¹⁾, 奥田 稔^{(1)秋田大}：〔原著〕耳下腺腫瘍の手術分類。頭頸部外科, 1, 163~168, 1991.
- 11) 伊藤幸治¹⁾, 奥田 稔, 大塚博邦, 他14名^{(1)東京大学医学部物療内科}：〔原著〕新しい IgE 抗体測定法, AlaSTAT の有用性の検討。アレルギー, 40, 444~453, 1991.
- 12) 中川武志¹⁾, 奥田 稔, 他17名^{(1)聖マリアンナ医大内科}：〔原著〕FAST による総 IgE および特異 IgE 抗体の測定。アレルギー, 41, 93~105, 1992.
- 13) 宇佐神篤, 奥田 稔, 他：〔総説〕木村病。口腔咽頭科学会誌, 3, 61~68, 1991.
- 14) Ichikawa, K., Okuda, M., Nakada, F. and Yago, H. : 〔原著〕The sources of chemical substance in allergic nasal fluid. Rhinology, 29, 143~149, 1991.
- 15) Okuda, M. : 〔原著〕The practice of allergology in Japan and other Asian countries. Allergy clinical

- Immunol News, 3, 123~125, 1991.
- 16) Xiao, S.F., Okuda, M. and Tanimoto, H.: [原著] Inhibitory effect of half-face masks on inhalation of particles of carbon powder and Japanese cedar pollen. *Am. J. Rhinol.*, 5, 57~60, 1991.
 - 17) Okuda, M. and Pawankar, R.: [原著] Intraepithelial cell population in the allergic nasal mucosa. *Am. J. Rhinol.*, 5, 219~225, 1991.
 - 18) 奥田 稔, 渡辺秀行, 小坂和己, 大西正樹: [総説] 老化(加齢)と鼻アレルギー. *美蕾*, 21, 22~25, 1991.
 - 19) Kobayashi, Y., Kamio, T. and Yagi, T.: [原著] Effects of tonic neck stimulation on caloric nystagmus. *Acta Otolaryngol.*, (Suppl. 481) 315~318, 1991.
 - 20) Tomiyama, S., Nonaka, M., Gotou, Y. and Yagi, T.: [原著] Inner ear damage by local immune response of the endolymphatic sac in the guinea pig. *Acta Otolaryngol.*, (Suppl. 481) 176~178, 1991.
 - 21) Yagi, T., Yamanobe, S., Morizono, S., Taira, S., Kurosaki, S. and Kamio, T.: [原著] Three components analysis of eye movements using computerized image recognition. *Acta Otolaryngol.*, (Suppl. 481) 460~462, 1991.
 - 22) 八木聰明, 馬場俊吉: [原著] 正円窓閉鎖術とその聴力予後. *耳鼻 (Suppl. 4)*, 37, 1058~1061, 1991.
 - 23) 八木聰明, 山口 潤: [原著] 小児めまい症例の特徴; 成人めまい症例との比較による. *耳鼻 (Suppl. 4)*, 37, 1062~1067, 1991.
 - 24) 馬場俊吉, 大河原大次, 八木聰明, 井上英輝: [原著] 血流改善剤による突発性難聴の治療成績. *耳鼻 (Suppl. 4)*, 37, 1068~1072, 1991.
 - 25) 黒崎貞行, 八木聰明: [原著] 家族性に認められた先天性中耳奇形症例. *耳鼻 (Suppl. 4)*, 37, 1090~1094, 1991.
 - 26) 野中玲子, 八木聰明, 野中 学: [原著] 内耳障害と顔面神経麻痺を伴った外傷性鼓膜穿孔の1例. *耳鼻 (Suppl. 4)*, 37, 1103~1105, 1991.
 - 27) 大西正樹, 池田雅一, 大塚博邦, 藤倉輝道, 奥田 稔: [原著] 当教室における特異的減感作療法の副作用. *耳鼻 (Suppl. 4)*, 37, 1073~1078, 1991.
 - 28) 馬場俊吉, 山口 潤, 青木秀治, 佐久間文子, 森園徹志, 山野辺滋晴, 八木聰明: [原著] 聴性脳幹反応と体温の関係. *耳鼻 (Suppl. 5)*, 37, 1117~1122, 1991.
 - 29) 八木聰明, 馬場俊吉: [原著] 鼓室形成術後の聴力変化; 周波数ごとの検討. *耳鼻 (Suppl. 5)*, 37, 1149~1156, 1991.
 - 30) 八木聰明: [原著] 平衡維持に関する頸部入力への役割. *耳鼻 (Suppl. 5)*, 37, 1168~1173, 1991.
 - 31) 相原康孝¹⁾, 小林 謙¹⁾, 神尾友和¹⁾, 羽田達正, 他^{(1)神尾記念病院}: [原著] 下咽頭平滑筋肉腫の1例. *耳鼻 (Suppl. 5)*, 37, 1197~1200, 1991.
 - 32) 馬場俊吉: [原著] 高齢者の耳鳴. *耳鼻 (Suppl. 1)*, 38, 167~171, 1992.
 - 33) 八木聰明: [総説] めまいを起こす疾患; めまいのみかた. *耳鼻咽喉科・頭頸部外科 MOOK*, 21, 18~23, 1992.
 - 34) 野中玲子, 八木聰明, 森園徹志: [原著] 両側急性感音難聴で発症した脳幹梗塞の1例. *Otol. Jpn.*, 1, 19~23, 1991.
 - 35) 富山俊一, 野中 学, 八木聰明: [原著] 内リンパ嚢局所二次免疫反応動物での温度眼振経過とその組織学的検討. *Otol. Jpn.*, 1, 28~35, 1991.
 - 36) 八木聰明: [総説] メニエール病. *JIM*, 1, 768~769, 1991.
 - 37) Namimatsu, H., Okuda, M., Tanimoto, H., et al.: [原著] A new method of the measurement of nasal secretion in guinea pig. *Int. Arch. Allergy Appl. Immunol.*, 95, 29~34, 1991.
 - 38) 奥田 稔: [総説] 鼻アレルギーと好酸球. *治療学*, 25, 435~438, 1991.
 - 39) 森園徹志: [原著] 頸部振動刺激の身体平衡に及ぼす影響. *日耳鼻*, 94, 938~948, 1991.
 - 40) 大西正樹, Pawankar, R., 大塚博邦, 池田雅一, 藤倉輝道, 奥田 稔: [原著] 鼻アレルギー患者鼻粘膜上皮

細胞培養上清中の好塩基性細胞および好酸球分化増殖因子. 日耳鼻, 94, 1280~1287, 1991.

- 41) 野中 学, 富山俊一:〔原著〕内リンパ嚢局所免疫モルモットのの前庭機能障害について. 日耳鼻, 94, 1748~1755, 1991.
- 42) 富山俊一:〔原著〕内リンパ嚢局所免疫における内リンパ水腫の発生機序. 日耳鼻, 94, 1844~1852, 1991.
- 43) 八木聰明:〔原著〕鼓室形成術1,006耳の検討. 耳喉頭頸, 64, 117~121, 1992.
- 44) 馬場俊吉:〔総説〕外来診療マニュアル; 外来治療の実際—私の処方 16 外耳道真菌症. 耳喉頭頸, 63 (11増刊号), 170~171, 1991.
- 45) 馬場俊吉:〔総説〕耳鼻咽喉科領域の異特とその除去法. 耳喉頭頸, 63, 831~835, 1991.
- 46) 馬場俊吉, 大河原大次, 八木聰明, 青木秀治:〔原著〕突発性難聴の子後因子. Audiol. Jap., 34, 401~402, 1991.
- 47) 山野辺滋晴, 富山俊一, 八木聰明, Haris, J.P.:〔原著〕感音難聴患者血清中の内耳特異物自己抗体. Audiol. Jap., 34, 489~490, 1991.
- 48) 大河原大次, 馬場俊吉, 町井一史, 山野辺滋晴, 八木聰明, 神尾友和:〔原著〕岬角電気刺激による耳鳴治療. Audiol. Jap., 34, 547~548, 1991.
- 49) 池園哲郎, 富山俊一, 八木聰明, 後藤祐一, 野中 学:〔原著〕内耳免疫動物の脳電図. Audiol. Jap., 34, 749~750, 1991.
- 50) Sakagami, M., Tomiyama, S., Fukazawa, K., Umemoto, M. and Matsunaga, T.:〔原著〕Capillary permeability of the stria vascularis in experimental hydrops; Comparison between kimamas model and immunologically induced model. J. Clin. Electron Microscopy, 24, 832~833, 1991.

著 書

- 1) Okuda, M.:〔分担〕Nasal provocation testing rhinitis second (Edition, Ed. by G.A. Settupane). p. 325~334, Ocean-Side Pub. Providence, 1991.
- 2) 奥田 稔:〔分担〕アレルギー性鼻炎. 最新薬物療法マニュアル下巻, p. 955~956, 日本臨床社, 1991.
- 3) 奥田 稔:〔分担〕鼻出血. 最新薬物療法マニュアル下巻, p. 1245~1247, 日本臨床社, 1991.
- 4) 八木聰明:〔分担〕耳鳴の治療. モダンクリニカルポイント 耳鼻咽喉科(設楽哲也, 野村恭也編集). p. 74~75, 金原出版, 1991.
- 5) 八木聰明:〔分担〕耳の病気. 家庭医学大全科(中島喜久, 植村恭夫, 高久史麿, 鈴木章夫監修). p. 756~757, 社会保険法規研究所, 1991.
- 6) 八木聰明:〔分担〕耳の外傷. 家庭医学大全科(中尾喜久, 植村恭夫, 高久史麿, 鈴木章夫監修). p. 1369~1370, 社会保険法規研究所, 1991.
- 7) 富山俊一:〔分担〕鼻の病気. 鼻の形の異常. 家庭医科大全科(中尾喜久, 植村恭夫, 高久史麿, 鈴木章夫監修). p. 762~763, 社会保険法規研究所, 1991.
- 8) 馬場俊吉:〔分担〕新・家庭医学大全科, 聴覚の異常.(中尾喜久, 植村恭夫, 高久史麿, 鈴木章夫監修). p. 758~761, 社会保険法規研究所, 1991.
- 9) 八木聰明:〔分担〕症状別検査の選び方, 考え方, 9. 感覚器 今日検査指針 第2版(河合 忠, 橋本信也, 只野壽太郎:総編集). p. 276, 医学書院, 1991.
- 10) 奥田 稔:〔分担〕好酸球の活性化 好酸球(牧野, 石川編). p. 40~46, 国際医学出版, 1991.
- 11) 奥田 稔:〔単著〕鼻アレルギー. p. 1~333, 金原出版, 1992.
- 12) 奥田 稔:〔分担〕慢性副鼻腔炎. 今日の小児治療指針, 9版, p. 630~631, 医学書院, 1992.
- 13) Okuda, M.:〔分担〕Nasal congestion as a symptom of nasal allergy. Progress in allergy and clinical immunology (Ed by Miyamoto T. and Okuda M.). Hogrefe-Huber Pub". Fornts, 1992.

- 14) Okuda, M. et al : [分担] Cellular elements in the nasal epithelium esp-nasal intraepithelial lymphocytes. Immunobiology in Oto-Rhino-Laryng (Ed by Harris J.P.). Kulger Pub. Amsterdam, 1992.
- 15) 八木聡明 : [分担] ENG・実技マニュアル 平衡機能検査の実際 (平衡神経科学会編). p. 329~402, 南山堂, 1992.

学会発表

- 1) Ohkubo, K., Kaulbach, H., Merida, M., Hausfeld, J.N., Okada, H., Erodös, E.G. and Kaliner, M.A. : [一般講演] Carboxypeptidase N (CPN) in the human nasal mucosa and secretions. American Thoracic Society American Lung Association Annual Meeting, 1991.
- 2) 野中 学, 富山俊一, 八木聡明, 後藤裕一, 池園哲郎 : [一般講演] 内リンパ嚢局所免疫動物の平衡機能障害 ; 第2部. 第92回日本耳鼻咽喉科学会, 1991.
- 3) 黒崎貞行, 八木聡明, 山野辺滋晴, 神尾友和 : [一般講演] コンピュータ画像認識による温度眼振の解析 ; 第4報. 第92回日本耳鼻咽喉科学会, 1991.
- 4) 森園徹志, 八木聡明, 山野辺滋晴, 神尾友和, 片山圭一郎, 石川則夫 : [一般講演] コンピュータ画像認識による眼球運動の解析. 第92回日本耳鼻咽喉科学会, 1991.
- 5) 森園徹志 : [一般講演] 当科における鼓室形成術 ; 術後成績の検討. 第32回日本耳鼻咽喉科学会千葉県地方部会, 1991.
- 6) 石川則夫¹⁾, 保坂栄弘¹⁾, 鎗田 勝¹⁾, 八木聡明, 森園徹志, 山野辺滋晴, 片山圭一郎²⁾(¹⁾日本光電, ²⁾フライト) : [一般講演] 回旋成分の定量的解析・記録が可能な眼球運動測定装置の試作. 第30会日本エム・イー学会, 1991.
- 7) 石川則夫¹⁾, 保坂栄弘¹⁾, 鎗田 勝¹⁾, 八木聡明, 森園徹志, 山野辺滋晴, 片山圭一郎²⁾(¹⁾日本光電, ²⁾フライト) : [一般講演] A torsional, horizontal and vertical eye movement analysis system. 16th International Conference on Medical and Biological Engineering 9th International Conference on Medical Physics, 1991.
- 8) Ohnishi, M. : [ファイアースイドカンファレンス] Pathogenesis of nasal polyps. 10th I.S.I.A.N., 1991.
- 9) 八木聡明, 馬場俊吉 : [一般講演] 耳硬化症症例の術後聴力変化 ; 周波数ごとの検討. 第1回日本耳科学会臨床学会, 1991.
- 10) 渡辺秀行, 藤倉輝道, 後藤裕一, 平良晋一, 八木聡明 : [一般講演] van der Hoeve 症候群 ; 母娘の2手術症例. 第1回日本医科学会臨床学会, 1991.
- 11) 馬場俊吉 : [パネルディスカッション] 社会の変化と耳鼻咽喉科 ; 高齢化社会 (2), 第2回医学的側面より 高齢者の耳鳴. 東京都地方部会教育パネルシリーズ (XV), 1991.
- 12) Pawankar, R. and Okuda, M. : [一般講演] Study of Intraepithelial lymphocytes and lamina propria lymphocytes of the human nasal mucosa. 1991 International Congress of Rhinology, 1991.
- 13) Pawankar, R. and Okuda, M. : [一般講演] Study of intraepithelial lymphocytes and lamina propria lymphocytes of the human nasal mucosa in allergy. 1991 International Congress of Allergy and Immunology, 1991.
- 14) 青木秀治 : [海外留学者講演] Ductus reuniens のコンピューター三次元再構築. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 15) 山野辺滋晴 : [海外留学者講演] 自己免疫性感音難聴. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 16) Otsuka, H., Seki, H. and Ohnishi, M. : [一般講演] Mast cell accumulation in nasal polyp. 第30回日本鼻科学会, 1991.
- 17) 阪上雅史¹⁾, 深沢啓二郎¹⁾, 松永 享¹⁾, 富山俊一 (¹⁾大阪大) : [一般講演] 実験的内リンパ水腫における血管条血管の透過性 ; 内リンパ嚢閉塞モデルと内リンパ嚢局所二次免疫反応モデルとの比較. 第23回日本臨床電子顕微鏡学会, 1991.

- 18) Tomiyama, S. : [シンポジウム] Immunoinjury associated with endolymphatic hydrops following secondary immune response of the endolymphatic sac. Sendai Symposium on Inner ear Morphic-pathology (Sendai), 1991.
- 19) Tomiyama, S., Okuda, M. and Ohnishi, M. : [一般講演] Effect of levocabastine, a new H₁ antagonist, on a nasal provocation test with allergen. XIV International congress of Allergology and Clinical Immunology (Kyoto), 1991.
- 20) 大山義雄, 滝沢竜太, 山口 潤, 馬場俊吉, 八木聰明 : [一般講演] 直達外力による外リンパ瘻. 第87回東京都地方部会, 1991.
- 21) Ohkubo, K., Merida, M., Hersh L.B. and Kaliner, M.A. : [一般講演] Enkephalin degrading aminopeptidase in human nasal mucosa and secretions. 14th International Congress of Allergology and Clinical Immunology, 1991.
- 22) 富山俊一 : [特別講演] メニエール病と内耳免疫障害. 第12回北海道耳鼻咽喉科アレルギー懇話会, 1991.
- 23) 阪上雅史¹⁾, 深沢哲二郎¹⁾, 梅本匡則¹⁾, 松永 享¹⁾, 富山俊一 (¹⁾大阪大) : [一般講演] 内リンパ液産生過剰による実験的内リンパ水腫の可能性. 第50回日本平衡神経科学会, 1991.
- 24) 黒崎貞行, 八木聰明, 山野辺滋晴, 神尾友和¹⁾ (¹⁾神尾記念病院) : [一般講演] 温度眼振の三成分解析. 第50回日本平衡神経科学会, 1991.
- 25) 波多野吟哉, 八木聰明, 森園徹志 : [一般講演] 頸部振動刺激時の重心動揺; 一側前庭機能障害例. 第50回日本平衡神経科学会, 1991.
- 26) 相原康孝¹⁾, 中村雅子¹⁾, 神尾友和¹⁾, 八木聰明 (¹⁾神尾記念病院) : [一般講演] 線条刺激とランダムドット刺激による OKN, OKAN. 第50回日本平衡神経科学会, 1991.
- 27) 馬場俊吉, 大河原大次, 八木聰明, 青木秀治 : [一般講演] 突発性難聴の予後因子. 第36回日本聴覚医学会, 1991.
- 28) 大河原大次, 馬場俊吉, 町井一史, 山野辺滋晴, 八木聰明, 神尾友和 : [一般講演] 岬角電気刺激による耳鳴治療. 第36回日本聴覚医学会, 1991.
- 29) 池園哲郎, 富山俊一, 八木聰明, 後藤裕一, 野中 学 : [一般講演] 内耳免疫動物の蝸電図. 第36回日本聴覚医学会, 1991.
- 30) 山野辺滋晴, 富山俊一, 八木聰明, Harris, P. : [一般講演] 感音難聴患者血清中の内耳特異的自己抗体. 第36回日本聴覚医学会, 1991.
- 31) 横島一彦, 大西正樹, 町井一史, 頌彦真賢, 奥田 稔 : [一般講演] 鼻粘膜上皮層肥満細胞の集積機構の一考察. 第11回北関東耳鼻咽喉科アレルギー懇話会, 1991.
- 32) 大久保公務, 大西正樹, 奥田 稔, Kaliner, M.A. : [指定講演] 鼻粘膜ニュートラルエンドペプチデース. 第4回気道病態シンポジウム, 1992.
- 33) 小坂和己, 平良晋一, 山口 潤, 馬場俊吉, 八木聰明 : [一般講演] 急性中耳炎と顔面神経麻痺を伴った伝染性単核球症の1例. 第88回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会, 1992.
- 34) 高橋光明, 北南和彦, 富山俊一 : [一般講演] 内リンパ嚢局所免疫反応における内リンパ嚢周辺骨髄の反応について. 第1回日本耳科学会基礎学会, 1992.
- 35) 阪上雅史, 深沢哲二郎, 梅本匡則, 松永 享, 富山俊一 : [一般講演] 内リンパ嚢局所二次免疫反応による急性内リンパ水腫の成立機序; Kimura's model との比較. 第1回日本耳科学会基礎学会, 1992.
- 36) 青木秀治, Stennert, E. : [一般講演] Ductus reuniens のコンピューター三次元構築. 第1回日本耳科学会基礎学会, 1992.
- 37) 富山俊一 : [一般講演] 内リンパ嚢免疫反応による蝸牛感覚細胞障害. 第1回耳科学会基礎学会, 1992.
- 38) 山野辺滋晴, 富山俊一, Harris, P. : [一般講演] 実験的自己免疫性感音難聴動物でみられる自然寛解. 第1回日本耳科学会基礎学会, 1992.

- 39) 富山俊一：〔一般講演〕内リンパ嚢免疫反応による蝸牛感覚細胞障害。第1回日本耳科学会基礎学会，1992。
- 40) 横島一彦，大西正樹，大久保公裕，池田雅一，奥田 稔：〔一般講演〕鼻 inverted papilloma 組織中の肥満細胞の分布について。第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，1992。
- 41) 山野辺滋晴，富山俊一，Haris, J. P.¹⁾ (¹⁾カルフォルニア大)：〔一般講演〕Western blotting 法による内耳特異的自己抗体のスクリーニング。第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，1992。
- 42) 富山俊一，野中 学，八木聰明，後藤裕一，池園哲郎：〔一般講演〕内リンパ免疫反応による前庭組織障害の発生。第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，1992。
- 43) Pawankar, R., 奥田 稔：〔一般講演〕A study of nasal intraepithelial and lamina propria lymphocytes。第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，1992。
- 44) Shui Fang Xiao, 奥田 稔：〔一般講演〕Histamine release for nasal epithelial mast cells (NSMCS) with eosinophil granule major basic protein。第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，1992。
- 45) 大久保公裕，奥田 稔，Kaliner, M.A.：〔一般講演〕鼻粘膜アンギオテンシン変換酵素。第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，1992。
- 46) 平良晋一，今井幸介，薄井紀夫，大里外誉郎，水野文難，奥田 稔：〔指定講演〕PCR 法による唾液腺腫瘍からの Epstein-Barr ウイルス DNA の検出。第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，1992。
- 47) 大西正樹，肖 水芳，大久保公裕，池田雅一，横島一彦，奥田 稔：〔一般講演〕鼻 inverted papilloma 細胞培養上清中のコロニー刺激活性。第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，1992。
- 48) Ohkubo, K., Lee, C.H., Merida, M., Hausfeld, J.N., Erdös, E.G. and Kaliner, M.A.：〔一般講演〕Nasal mucosa angiotensin converting enzyme (ACE); Location and release. 48th American Academy of Allergy and Immunology Annual Meeting, 1992。
- 49) 羽田達正，奥田 稔：〔一般講演〕頭頸部癌の副咽頭間隙進展に関する臨床的実験的研究。第2回日本頭頸部外科学会，1992。

[第一病院耳鼻咽喉科]

研究概要

現在の主なテーマは，鼻・副鼻腔乳頭腫，耳鳴などの臨床的観察と気道粘膜の異常，損傷気道粘膜の修復過程，鼻粘膜に対する水の影響，実験的高脂血症動物の内耳血管系，聴器の神経分布などの形態的観察である。

鼻・副鼻腔乳頭腫については臨床的観察，特に肉眼的所見の重要性と手術法の選択について検討している。耳鳴では自律神経失調症，神経症や鬱状態との関連性について，心療内科的に追求している。

基礎的研究としては，immotile cilia syndrome を中心に各種気道疾患の鼻腔線毛を電顕的に観察し，線毛の構造異常の検索を行っている。また，実験的気道粘膜損傷の血管系の再生，実験的鼓膜穿孔の修復過程における炎症，高脂血症動物の蝸牛管内血管の病変性細胞の動態，水注入による鼻粘膜への影響などについて光顕および電顕的観察を行っている。さらに聴器に分布する末梢神経系を系解剖学的手法を用いて観察している。

研究業績

論文

- 1) 服部康夫，渡辺雄司¹⁾，奥田 稔¹⁾(¹⁾付属病院耳鼻咽喉科)：〔原著〕鼻粘膜上皮線毛の超微形態的異常；Immotile cilia syndrome を中心として，日耳鼻会報，94，949～962，1991。
- 2) 鈴木 勲，服部康夫，弓削康太¹⁾(¹⁾富士小山病院)：〔原著〕ヒトアブミ骨輪状靭帯の発生ならびに形態に関する電子顕微鏡的観察。耳鼻と臨床，37，999～1012，1991。
- 3) 中嶋慶則¹⁾，服部康夫 (¹⁾第二病院耳鼻咽喉科)：〔原著〕ラット喉頭粘膜創傷治癒過程の電子顕微鏡的観察。耳

鼻と臨床, 37, 1013~1027, 1991.

- 4) 梶本正子¹⁾, 服部康夫^(¹第二病院耳鼻咽喉科): [原著]挿管の気管粘膜におよぼす影響に関する形態学的観察; 血管障害とその再生. 耳鼻と臨床, 37, 1028~1045, 1991.
- 5) 服部康夫, 梶本正子, 鈴木 勲, 弓削庫太¹⁾ (¹富士小山病院): [原著] 実験的鼓膜形成術における筋膜の生着に関する電顕的研究. 耳鼻と臨床, 37, 1046~1057, 1991.
- 6) 鈴木栄一, 鈴木 勲, 中村兼一, 弓削庫太¹⁾ (¹富士小山病院): [原著] 小児の重篤な呼吸困難の2例について. 耳鼻と臨床, 37, 1079~1082, 1991.
- 7) 鈴木 勲, 星 慎一, 柏戸 泉, 鈴木栄一, 弓削庫太¹⁾ (¹富士小山病院): [原著] 当科における慢性中耳炎の手術成績. 耳鼻と臨床, 37, 1083~1089, 1991.
- 8) 中嶋慶則, 服部康夫, 中村兼一, 鶴窪一行, 梶本正子: [原著] 鼻・副鼻腔乳頭腫の臨床的ならびに病理学的検討. 耳鼻と臨床, 37, 1095~1102, 1991.
- 9) 服部康夫: [原著] Ultrafine structure of the nasal papillomas. 日本鼻科学会誌, 30, 1992.

学会発表

- 1) 上野則之, 須藤 光, 頼 徳成, 弓削庫太¹⁾, 宮本孝昌²⁾, 伊藤博信²⁾ (¹富士小山, ²解剖第2): [一般講演] 外耳に分布する神経; ヒトおよびスノクスについて. 第92回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1991.
- 2) 中村兼一, 鈴木栄一, 上野則之, 服部康夫: [一般講演] 成人の咽後膿瘍の1例. 第4回日本口腔咽頭科学会, 1991.
- 3) 柏戸 泉, 鈴木栄一, 中村兼一, 弓削庫太, 服部康夫, 喬 炎¹⁾, 平野敏一¹⁾, 浅野伍朗¹⁾ (¹病理第2): [一般講演] 高脂血症モルモットの内耳の微細構造変化(第2報) vit. E投与の影響について. 第1回日本耳科学会基礎学会, 1992.

[第二病院耳鼻咽喉科]

研究概要

第二病院耳鼻咽喉科は昨年6月服部康夫部長をはじめ数人が第一病院に移られた。そのあとを大塚博邦部長が後を引継いだ。服部部長が中心となって行われてきた形態学的研究を引き続きながら、これとタイアップして細胞機能、免疫学的研究を取り入れることを考えている。しかし、臨床研究、基礎研究の中でこれらを遂行するにあたってはお世辞にも満足な設備と言える状態ではなかった。昨年からようやく研究に必要な備品や器具が揃い、今年から研究を開始したところである。

臨床の研究分野においては、現在難治性といわれる小児渗出性中耳炎の本態を明らかにするため、まず患者背景として、生活環境による因子、上気道炎やアレルギーの関与を調べている。また、この病態を知るためこの患者の上気道、とくに耳管付近の粘膜上皮の変化を電顕学的に調べている。鼻アレルギーにおいては発症に重要なマスト細胞の機能的研究や種々の抗アレルギー剤に対する効果の研究、上皮細胞からの種々のサイトカインに関する研究を行っている。また、減感作療法におけるメカニズムの研究なども手掛けている。頭頸腫瘍患者の治療にあたっては近年再建術が重要となってきた。この中で微小血管吻合術の技術がキーポイントであるが、技術習得のために動物実験を行っている。

研究業績

論文

- 1) 大塚博邦: [総説] 耳鼻咽喉科医が診た花粉症患者. 薬局, 42, 491~493, 1991.
- 2) 大塚博邦: [原著] 鼻茸の成因; マスト細胞との関係について. 日鼻誌, 29, 262~263, 1991.

- 3) 大塚博邦：〔総説〕症例からみたアレルギー疾患治療の実際；耳鼻咽喉科。Progress in Medicine, 11, 1488～1492, 1991.
- 4) 大塚博邦：〔原著〕鼻アレルギーにおけるマスト細胞；特に治療における細胞数の変化。呼吸, 10, 838～842, 1991.
- 5) 中嶋慶則, 服部康夫¹⁾ (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科)：〔原著〕ラット喉頭粘膜創傷治癒過程の電子顕微鏡的観察。耳鼻と臨床, 37, 1013～1027, 1991.
- 6) 梶本正子, 服部康夫¹⁾ (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科)：〔原著〕挿管の気管粘膜におよぼす影響に関する形態学的観察。耳鼻と臨床, 37, 1028～1045, 1991.
- 7) 中嶋慶則, 服部康夫¹⁾, 中村兼一¹⁾, 鶴窪一行, 梶本正子 (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科)：〔原著〕鼻・副鼻腔乳頭腫の臨床的ならびに病理学的検討。耳鼻と臨床, 37, 1095～1101, 1991.
- 8) 大塚博邦：〔総説〕アレルギー検査。JOHNS, 7, 1651～1658, 1991.
- 9) 大塚博邦：〔総説〕花粉症と鼻アレルギー。臨床検査, 12, 100～102, 1991.
- 10) 大塚博邦：〔総説〕花粉症の治療。Medical Practice, 9, 303～305, 1992.
- 11) 大塚博邦：〔総説〕抗アレルギー剤による季節前治療。Modern Medicine, 21, 42～43, 1992.
- 12) 大塚博邦：〔総説〕鼻アレルギー。暮しと健康, 47, 24～26, 1992.

著 書

- 1) 大塚博邦：〔分担〕鼻の病気“家庭医学大全科”（中尾喜久, 植村恭夫, 高久史麿, 鈴木章夫監修）。p. 767～773, 社会保険法規研究会, 1991.
- 2) 大塚博邦：〔分担〕鼻アレルギー“アレルギーの理論とその展開”（木村郁郎編）。p. 206～210, 医薬ジャーナル, 1991.
- 3) 大塚博邦：〔分担〕難治性鼻アレルギー“アレルギーの理論とその展開”（木村郁郎編）。p. 386～391, 医薬ジャーナル, 1991.
- 4) 大塚博邦：〔分担〕急性鼻炎・慢性鼻炎“内科治療のポイント”（森田 寛, 宮本昭正編）。p. 139～140, 日本医事新報社, 1991.
- 5) 大塚博邦：〔分担〕鼻出血“内科治療のポイント”（森田 寛, 宮本昭正編）。p. 140～141, 日本医事新報社, 1991.
- 6) 大塚博邦：〔分担〕急性咽頭炎・慢性咽頭炎“内科治療のポイント”（森田 寛, 宮本昭正編）。p. 141～142, 日本医事新報社, 1991.
- 7) 大塚博邦：〔分担〕扁桃炎, アンギナ, 扁桃肥大“内科治療のポイント”（森田 寛, 宮本昭正編）。p. 142～143, 日本医事新報社, 1991.
- 8) 大塚博邦：〔分担〕喉頭炎“内科治療のポイント”（森田 寛, 宮本昭正編）。p. 143, 日本医事新報社, 1991.
- 9) 大塚博邦：〔分担〕アレルギー性鼻炎“アレルギーマーチ臨床”（馬場 実監修）。p. 138～148, メディカルレビュー社, 1992.
- 10) 大塚博邦：〔分担〕流涙“耳鼻咽喉科診療ハンドブック”（高坂知節編集）。p. 54～56, 南江堂, 1992.
- 11) 大塚博邦：〔分担〕鼻およびその周囲の腫脹“耳鼻咽喉科診療ハンドブック”（高坂知節編集）。p. 57～59, 南江堂, 1992.
- 12) 大塚博邦：〔分担〕くしゃみ・鼻掻痒感“耳鼻咽喉科診療ハンドブック”（高坂知節編集）。p. 60～61, 南江堂, 1992.
- 13) 大塚博邦：〔分担〕鼻痛“耳鼻咽喉科診療ハンドブック”（高坂知節編集）。p. 62～64, 南江堂, 1992.

学会発表

- 1) 國友万由美, 矢島 洋, 長島泰行, 潮建司朗：〔一般講演〕本年度スギ花粉飛散状況について。静岡県中部耳鼻

咽喉科集談会, 1991.

- 2) 大塚博邦：〔会長推薦講演〕鼻アレルギーと mast cell. 第3回日本アレルギー学会春季臨床集会, 1991.
- 3) 稲葉 真, 鶴窪一行, 中嶋慶則, 松生愛彦¹⁾, 服部康夫¹⁾ (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科)：〔一般講演〕実験的鼓膜穿孔の修復過程に関する電子顕微鏡の研究. 第92回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1991.
- 4) 國友万由美：〔一般講演〕スギ花粉飛散の各種測定法の特徴およびその相関. 第6回静岡県耳鼻咽喉科臨床研究会, 1991.
- 5) Otsuka, H.：〔Fireside conference〕Mechanism of effects of immunotherapy ; Immunotherapy for allergic rhinitis. 1991 International Congress of Rhinology (Tokyo), 1991.
- 6) Otsuka, H., Seki, H.¹⁾ and Ohnishi, M.²⁾ (¹⁾下谷病院耳鼻咽喉科, ²⁾付属病院耳鼻咽喉科)：〔一般講演〕Mast cell accumulation in nasal polyp. 1991 International Congress of Rhinology (Tokyo), 1991.
- 7) 渡辺秀行¹⁾, 藤倉輝道, 後藤裕一¹⁾, 平良晋一¹⁾, 八木聡明¹⁾ (¹⁾付属病院耳鼻咽喉科)：〔一般講演〕Van der Hoeve 症候群；母娘の2手術症例. 第1回日本耳科学会臨床学会, 1991.
- 8) 大塚博邦：〔シンポジウム〕ヒト鼻粘膜マスト細胞；マスト細胞とアレルギー反応. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 9) 大塚博邦, 山口 潤, 鶴窪一行, 藤倉輝道, 國友万由美, 稲葉 真：〔一般講演〕減感作による鼻粘膜上皮内マスト細胞のヒスタミン遊離の影響. 第28回臨床アレルギー研究会, 1991.
- 10) 鶴窪一行, 大塚博邦, 服部康夫¹⁾ (¹⁾第一病院耳鼻咽喉科)：〔一般講演〕ラット搔爬気管粘膜の血管系の再生に関する電顕的観察. 第21回創傷治癒研究会, 1991.
- 11) 大塚博邦：〔パネルディスカッション〕アレルギー性鼻炎（医療の需要）. 耳鼻咽喉科パネルシリーズ, 1992.
- 12) 大塚博邦, 山口 潤, 鶴窪一行, 藤倉輝道, 國友万由美, 稲葉 真：〔一般講演〕減感作による鼻粘膜上皮擦過片のヒスタミン遊離能とヒスタミン含有量の影響. 第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1992.
- 13) 藤倉輝道, 國友万由美, 山口 潤, 鶴窪一行, 稲葉 真, 大塚博邦：〔一般講演〕鼻茸組織中の好酸球数とアレルギー素因の関連性. 第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1992.
- 14) 藤倉輝道, 國友万由美, 山口 潤, 鶴窪一行, 稲葉 真, 大塚博邦：〔一般講演〕Mota 固定による下鼻甲粘液中のマスト細胞の標本作成過程における染色性の変化. 第10回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 1992.

[多摩永山病院耳鼻咽喉科]

研究概要

- 1) 咽頭扁桃の経時的変化について
- 2) 麻酔科と共同, 術後患者の疼痛及び気道, 通気度に関する研究について
- 3) 嗄声に於ける疾患分類のコンピューター分析について
- 4) 音声をデジタル操作により低, 中, 高音部に分割し各部の受聴の実態を正常耳と感音難聴耳とで比較検討している.
- 5) 針生検による外来迅速病理のプロトコール作製について

研究業績

学会発表

- 1) 頼 徳成, 添野眞一, 星 慎一, 鈴木 勲, 島田早苗：〔一般講演〕日常診療における副鼻腔悪性腫瘍の問題点. 第10回多摩耳鼻咽喉科臨床研究会, 1991.
- 2) 添野眞一, 鈴木 勲, 頼 徳成, 星 慎一, 島田早苗, 山本 鼎¹⁾ (¹⁾多摩永山病院放射線科)：〔一般講演〕放射線療法直後に起こった感染症の1例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.

15. 泌尿器科学講座

[付属病院泌尿器科]

研究概要

付属4病院の研究分野は、泌尿生殖器悪性腫瘍、泌尿器内視鏡と体外衝撃波結石破碎、経皮的ならびに経尿道的結石破碎除去術、経尿道的前立腺剝離切除術、泌尿生殖器の超微形態学、前立腺炎におけるマクロファージの意義、尿路神経学、腎移植の基礎と臨床、インポテンスの治療、など多分野にひろがっている。

付属病院における業績はつぎの通りである。

- 1) 泌尿生殖器悪性腫瘍：a) 制癌剤感受性テストのうち、腎被膜下移植法の有用性と臨床応用。b) 腎細胞癌に対するIL₂、INF- α 、LAK 3者併用免疫療法の臨床的検討。c) 腎細胞癌原発巣および3転移巣より樹立した4株の基礎的研究。d) 腎細胞癌における上皮性成長因子(EGF)の発現と免疫組織学的研究。e) シスプラチン投与時の腎毒性軽減効果におよぼす硝酸ビスマス誘導メタロチオネインの意義。f) 癌耐性機構におけるメタロチオネインとグルタチオンの役割。g) 尿禁制尿路変向手術：Kock pouchとIndiana pouchの比較検討。h) 前立腺癌培養株のヒト骨芽細胞石灰化に与える影響。i) 多施設共同研究による3種制吐剤の有用性の比較。
- 2) 泌尿器内視鏡学と体外衝撃波結石治療学：a) 各種レーザーを応用した経皮的、経尿道的操作による結石治療。b) 腹腔鏡的リンパ節廓清術。c) 腹腔鏡的膀胱癌深達判定方法の開発。d) ビデオ利用軟性極細尿管鏡による上部尿路疾患の診断。e) 新しい尿路結石体外衝撃波破碎装置(SD-3)の特徴と臨床成績。
- 3) 超微形態学：a) 膀胱移行上皮癌の微細構造上の特徴。b) 腎細胞癌の血管構築とその意義。
- 4) 腎移植：a) 付属病院における腎移植の成功と新展開。b) FK506による腎機能障害の形態学的検索。
- 5) その他：a) 日帰り手術の有用性。b) 前立腺肥大症に対する温熱療法(Thermex IIの応用)。c) インポテンスに対する各種陰茎プロステーシス挿入の基礎的臨床的検討。d) 前立腺マクロファージ活性の特徴。e) 血液浄化併用療法によるシスプラチン動注療法の有用性。

研究業績

論文

- 1) Kondo, Y., Satoh M.¹⁾, Imura, N.¹⁾, and Akimoto, M., (¹⁾Dept of Public Health, School of Pharmaceutical Sciences, Kitasato University) : [原著] Effect of bismuth nitrate given in combination with cis-diamminedichloroplatinum (II) on the antitumor activity and renal toxicity of the latter in nude mice inoculated with human bladder tumor. *Cancer Chemother Pharmacol.*, 29, 19~23, 1991.
- 2) Nishimura, T., Terashima, Y., Hattori, T., Satoh, M., Kondo, Y., Kimura, G., Yoshida, K. and Akimoto, M. : [原著] Recombinant interleukin-2-expanded tumor infiltrating lymphocytes from human renal cell cancer do not exhibit autologous tumor cell-specific cytotoxicity. *Urol. Int.*, 47, (Suppl 1) 83~85, 1991.
- 3) Yoshida, K. : [原著] Development and limitation of semi-disposable thin-ureteronephroscope. *Jap. J. of Endourology and ESWL*, 4, 107, 1991.
- 4) Yoshida, K., Nishimura, T., Tsuboi, N., Hasegawa, J., Kawamura, N., Chorazy, Z.J. and Akimoto, M. : [原著] Clinical application of videoimage flexible ureteronephroscope for the diagnosis of upper urinary tract disease. *J. Urol.*, 146, 809~812, 1991.
- 5) Ozono, S., Okajima, E., Tsukamoto, T., Kumamoto, Y., Nemoto, R., Uchida, K., Koiso, K., Kawamura, N., Akimoto, M., Kakehi, Y., Yoshida, O., Usami, M. and Kotake, T. : [原著] Renal cell carcinoma extending into the vena cava ; A multi-institute study. *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 21, 412~416, 1991.

- 6) 沖 守, 木村 剛, 近藤幸尋, 長谷川潤, 坪井成美, 吉田和弘, 西村泰司, 秋元成太, 小川秀彌:〔原著〕表在性膀胱腫瘍の治療成績. 日医大誌, 58, 454~458, 1991.
- 7) 西村泰司, 中村はるみ¹⁾(¹⁾水町クリニック):〔原著〕紙おむつを用いた排尿時膀胱撮影. 臨泌, 45, 536, 1991.
- 8) 本田 了, 西村泰司, 沖 守, 坪井成美, 吉田和弘, 秋元成太:〔原著〕SD-3による上部尿路結石の治療経験. 泌尿紀要, 37, 985~988, 1991.
- 9) 堀 夏樹, 本田 了, 久保田正充, 小川秀彌:〔原著〕泌尿器科領域における経動脈療法. 通信医学, 43, 93~98, 1991.
- 10) 広瀬始之, 沖 守, 川村直樹, 秋元成太:〔原著〕尿管鏡操作における尿路系への影響; 経尿道的腎尿管結石摘出術の安全性. 日平滑筋会誌, 27, 220~221, 1991.
- 11) 平岡保紀, 原 眞, 秋元成太:〔原著〕膀胱癌の転移経路に関する研究; 膀胱壁内墨汁注射後の墨顆粒の分布. 西日泌尿, 53, 1111~1114, 1991.
- 12) 阿曾佳郎, 本間之夫, 赤座英之, 熊本悦明, 折笠精一, 島崎 淳, 田崎 寛, 橋 政昭, 大島博幸, 岸本 孝, 清滝修二, 秋元成太, 町田豊平, 穂坂正彦, 吉田 修, 西尾恭規, 岡島英五郎, 古武敏彦, 三木恒治, 大森弘之, 松村陽右, 香川 征, 熊澤浄一, 大井好忠, 大橋靖雄:〔原著〕尿路性器癌化学療法時の好中球減少に対する KW-2228の臨床成績(第II相試験). 泌尿外科, 4, 1327~1338, 1991.
- 13) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1):〔原著〕Short-term FK506-induced morphological changes in rat kidneys. Transplantation Proceedings, 23, 3130~3132, 1991.
- 14) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1):〔原著〕FK506投与による腎の形態学的変化(速報) rapid communication. 今日の移植, 4, 353~354, 1991.
- 15) Kimura, G., Sugisaki, Y.¹⁾, Masugi, Y.¹⁾ and Nakazawa, N.²⁾(¹⁾病理第1, ²⁾病理第2):〔原著〕Calcification in human osteoblasts cultured in medium conditioned by the prostatic cancer cell line PC-3 and prostatic acid phosphatase. Urol. Int., 48, 25~30, 1992.
- 16) Ohara, M. and Akimoto, M.:〔原著〕Clinical experience of hyperthermia for benign prostatic hypertrophy using the thermex II. Japanese Journal of Endourology and ESWL, 5, 12~14, 1992.
- 17) 田口鐵男, 古江 尚, 仁井谷久暢, 太田和雄, 塚越 茂, 宮崎 保, 土田正義, 長谷川浩一, 田中憲一, 栗田雄三, 小磯謙吉, 吉田清一, 小黒昌夫, 阿部令彦, 小川一誠, 河合恒雄, 秋元成太, 町田豊平, 平野正美, 白川 茂, 大島駿作, 吉田 修, 酒井克治, 福岡正博, 小山博記, 野田起一郎, 木村郁郎, 小倉 剛, 市丸道人, 薬師寺道明, 赤坂雄一郎, 忽滑谷直孝, 住永雅司, 有吉 寛, 池田正典, 太田 潤:〔原著〕抗悪性腫瘍剤投与による悪心・嘔吐に対する SN-307 (Ondansetron) の抑制効果, 安全性および有用性の検討; Cisplatin 投与患者を対象とした Dose-finding study. 臨床医薬, 8, 647~660, 1992.
- 18) 西村泰司, 小川 龍¹⁾(¹⁾付属病院麻酔科):〔綜説〕外来麻酔法の実際. 臨泌, 45増刊号, 13~16, 1991.
- 19) 西村泰司:〔綜説〕前立腺肥大症の診断と治療. 看護技術, 37, 11~17, 1991.
- 20) 堀内和孝, 秋元成太:〔綜説〕尿検査(処置と手技の study guide〔腎・泌尿器〕). 看護技術, 38, 75~78, 1992.
- 21) 秋元成太:〔綜説〕恥骨後式前立腺摘除術. 泌尿器科手術手技 visual lecture, 19, 1~14, 1991.
- 22) 秋元成太, 杉澤 裕:〔綜説〕尿管皮膚瘻術. OPE Nursing, 6, 36~41, 1991.
- 23) 西村泰司:〔綜説〕産婦人科画像診断, 尿路内視鏡. 産科と婦人科, 58(増刊号), 254~263, 1991.
- 24) 西村泰司:〔綜説〕尿路結石の診断と治療. 東京医師会誌, 44, 547~552, 1991.
- 25) 秋元成太:〔綜説〕前立腺疾患治療における最近のトピックス. 東京医師会誌, 44, 571~577, 1991.
- 26) 西村泰司:〔綜説〕プライマリーケア「尿路外傷」. 小児科, 32, 1467~1473, 1991.
- 27) 坪井成美:〔綜説〕睾丸腫瘍患者と妻との関係. 医学のあゆみ, 158, 417, 1991.
- 28) 小川秀彌, 秋元成太:〔綜説〕膀胱白板症・腺性膀胱炎. Karkinos, 5, 185~190, 1992.
- 29) 杉澤 裕, 佐藤正広, 秋元成太:〔綜説〕高ビリルビン血症. 日本臨床, 50(増刊号), 240~246, 1992.

- 30) 秋元成太, 本田 了, 廣瀬始之: [綜説] 部分的尿管狭窄作成による実験的水腎作成モデル. 腎と透析, 31 (臨時増刊号), 505~509, 1991.
- 31) 秋元成太, 佐藤三洋: [綜説] 尿路結石と妊娠. 産婦人科の実際, 40, 1697~1700, 1991.
- 32) 平岡保紀, 秋元成太: [綜説] 前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺剝離切除術と前立腺バルーン拡張術. 医薬ジャーナル, 27, 2761~2765, 1991.
- 33) 鈴木 央, 山田和彦, 木村 剛, 沖 守, 原 眞, 川村直樹, 平岡保紀, 秋元成太: [報告] 尿管膜管由来印環細胞癌の1例. 泌尿, 37, 633~635, 1991.
- 34) 小川秀彌: [報告] 急性腹症で発症した腎血管筋脂肪腫の1例. 腎と透析, 30, 985~988, 1991.
- 35) 天野康雄¹⁾, 山本 彰¹⁾, 山形健治, 高橋修司¹⁾, 隈崎達夫¹⁾, 秋元成太, 浅野伍朗²⁾, 恵畑欣一¹⁾ (¹⁾放射線科, ²⁾病理第2): [報告] 線維化の著明であった腎細胞癌の1例. 臨放線, 36, 745~748, 1991.

著 書

- 1) 秋元成太: [分担] 精管結紮後症候群. 医科学大事典 Suppl. 9, p. 66~67, 医学書院, 1991.
- 2) 小川秀彌: [分担] 泌尿器・男性性器疾患. 薬剤師のための臨床医学 (澤崎博次, 久保文苗監). p. 222~238, 朝倉書店, 1991.
- 3) 平岡保紀, 秋元成太: [分担] 副腎疾患. 泌尿器科腫瘍学; 図説泌尿器科学講座 (吉田 修編集). p. 210~221, メジカルビュー社, 1991.
- 4) 秋元成太: [分担] 尿路損傷. 今日の治療指針 (日野原重明, 阿部正和監修), p. 28~29, 医学書院, 1992.
- 5) 平岡保紀, 秋元成太: [分担] 後腹膜腫瘍. 泌尿器科腫瘍学; 図説泌尿器科学講座 (吉田 修編集), p. 205~209, メジカルビュー社, 1991.
- 6) 西村泰司: [分担] ノースゲイト SD-3“ESWL ハンドブック” (横山正夫・藤田公生編). p. 53~55, 中外医学社, 1991.

学会発表

- 1) 長谷川潤: [パネルディスカッション] ノードマウス腎被膜下移植法と薬剤耐性におけるメタロチオネインの意義 (主題: 泌尿器科領域における抗癌剤感受性試験の最近の動向). 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 2) Nishimura, T., Tsuboi, N., Oki, Y., Sugizawa, K., Yoshida, K., Akimoto, M. and Ogawa, R.¹⁾ (¹⁾付属病院麻酔科): [パネルディスカッション] Day surgery transurethral resection of the prostate (Thema; Transurethral resection). 3rd World Congress of Video Urology (Hakone), 1991.
- 3) 坪井成美: [パネルディスカッション] 極細ファイバースコープによる嚢胞性腎疾患の診断 (主題: 泌尿器科内視鏡の進歩と新展開). 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 4) 近藤幸尋: [パネルディスカッション] メタロチオネインを指標とした癌化学療法の投与スケジュールの検討 (主題: 癌化学療法の効果増強と副作用対策). 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 5) 服部智任: [シンポジウム] IL-2, IFN α , LAK を用いた併用免疫療法 (主題: 進行性腎細胞癌の治療). 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 6) 堀 夏樹: [シンポジウム: 特別発言] 進行性腎細胞癌の治療 (経動脈化学療法). 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 7) 川村直樹: [卒後教育プログラム] 尿路結石の治療. TUL について. 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 8) 長谷川潤: [卒後・生涯教育プログラム] 陰茎プロステーシス挿入に必要な解剖の知識 (主題: 陰茎プロステーシス挿入手術). 第2回日本インポテンス学会総会, 1991.
- 9) 大原正雄, 秋元成太: [示説] 最近6年間の adrenal incidentaloma. 第3回日本内分泌外科学会総会, 1991.
- 10) 近藤幸尋, 佐藤雅彦¹⁾, 千賀康弘, 山形健治, 永沼 章¹⁾, 井村伸正¹⁾, 秋元成太 (¹⁾北里大・薬): [一般講演]

CDDP による膀胱腫瘍組織中のメタロチオネインの誘導と CDDP 投与スケジュールの検討, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.

- 11) 千賀康弘, 服部智任, 川村直樹, 木村 剛, 秋元成太: [一般講演]腎癌における epidermal growth factor(EGF)の発現に関する免疫組織化学的検討, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 12) 西村泰司, 服部智任, 佐藤三洋, 渡辺 潤, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演]前立腺液中マクロファージの活性持続に関する検討, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 13) 西村泰司, 坪井成美, 川村直樹, 服部智任, 大原正雄, 杉澤 裕, 長谷川潤, 吉田和弘, 秋元成太, 小川 龍¹⁾(¹⁾付属病院麻酔科): [展示]日帰り手術の試み; TUR-P を中心として, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 14) 小川秀彌, 本田 了, 堀 夏樹, 久保田正充, 平岡保紀, 秋元成太: [展示] Intracavitary chemotherapy 381 例中, 治療終了後に自然消失した膀胱腫瘍 8 例について, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 15) 佐藤三洋, 服部智任, 川村直樹, 西村泰司, 秋元成太: [展示] Characterization of primary and metastatic cell lines (hanks) established from a patient with renal cell calctnoma, American Urological Association 86 Annual Meeting(Tronto), 1991.
- 16) Senga, Y., Hattori, T., Kawamura, N., Kimura, G., Nisimura, T. and Akimoto, M.: [展示] Immunohistochemical study on epidermal growth factor in human renal cell carcinoma, American Urological Association 86 Annual Meeting (Toronto), 1991.
- 17) 近藤幸尋, 佐藤雅彦, 永沼 章, 秋元成太, 井村伸正¹⁾(¹⁾北里大・薬): [示説]次硝酸ビスマスークエン酸併用によるメタロチオネイン誘導剤ビスマスの吸収率増大, 第50回日本癌学会, 1991.
- 18) 佐藤雅彦¹⁾, 三田征治¹⁾, 永沼 章¹⁾, 近藤幸尋, 秋元成太, 井村伸正¹⁾(¹⁾北里大・薬): [示説]メタロチオネイン誘導剤の前投与は制癌剤による発癌を抑制する, 第50回日本癌学会, 1991.
- 19) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1): [一般演題] FK506による腎障害; 形態学並びに生化学的検討, 第21回東部腎臓学会, 1991.
- 20) 鈴木 央, 山本史郎, 山田和彦, 沖 守, 長谷川潤, 秋元成太: [一般講演]セミノーマを合併した陰嚢内横紋筋肉腫, 第478回日本泌尿器科学会東京地方会, 1991.
- 21) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M., Yamanaka, N.⁽¹⁾病理第1): [ポスター]Short-term FK506 induced morphological changes in rat kidneys. The 1st Internation Congress on FK506 (アメリカ), 1991.
- 22) Nishimura, T., Tsuboi, N., Oki M., Sugizawa, Y., Yoshida, K., Hiraoka, Y., Akimoto, M. and Ogawa, R.¹⁾(¹⁾付属病院麻酔科): [展示] Day surgery for transurethral resection of the prostate in Tokyo metropolitan area, 22nd Congress Societe Internationale D'Urologie (Sevilla), 1991.
- 23) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1): [一般演題] FK506投与ラット腎の形態学及び生化学的検討; Prostaglandin の関与について, 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 24) 山田和彦, 杉澤 裕, 天谷健二: [展示] Accelerated acute rejection の治療として OKT-3が有効であった生体腎移植の1例, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 25) 杉澤 裕, 山田和彦, 清水宏之, 天谷健二, 堀内和孝, 大原正雄, 長谷川潤, 坪井成美, 西村泰司, 秋元成太, 川村直樹¹⁾, 富田 勝²⁾(¹⁾海老名総合病院, ²⁾第二病院泌尿器科): [展示]当科における腎移植の現況, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 26) 矢島勇臣, 堀 夏樹, 小川秀彌, 本田 了, 近藤幸尋, 秋元成太: [一般講演]膀胱 Nephrogenic adenoma の3例, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 27) 杉澤 裕, 山田和彦, 他: [展示]当科における腎移植の現況, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 28) 本田 了, 坪井成美, 長谷川潤, 広瀬始之, 堀内和孝, 沖 守, 杉澤 裕, 大原正雄, 吉田和弘, 西村泰司, 秋元成太: [ビデオ] Alexantriptor によるレーザー碎石, 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 29) 西村泰司, 坪井成美, 沖 守, 杉澤 裕, 吉田和弘, 秋元成太, 小川 龍¹⁾(¹⁾付属病院麻酔科): [ビデオ]

- 日帰り経尿道的前立腺切除術. 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 30) 大原正雄, 長谷川潤, 坪井成美, 吉田和弘, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 前立腺肥大症に対する経尿道的温熱治療. 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
 - 31) 杉澤 裕, 堀内和孝, 長谷川潤, 原 真, 坪井成美, 吉田和弘, 平岡保紀¹⁾, 西村孝司, 秋元成太, 川村直樹²⁾ (¹⁾多摩永山病院泌尿器科, ²⁾海老名総合病院泌尿器科): [一般講演] Kock 回腸膀胱および Indiana Pouch の臨床的検討. 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
 - 32) 堀 夏樹, 矢島勇臣, 久保田正充, 小川秀彌, 本田 了, 川村直樹, 秋元成太: [一般講演] Advanced renal tumor に対する transarterial chemotherapy の効果. 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
 - 33) 小川秀彌, 秋元成太: [展示] 腎細胞癌に対する術前動注および塞栓術. 第29回日本癌治療学会総会, 1991.
 - 34) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾ (¹⁾病理第1): [一般講演] FK506による腎障害; 経時的形態学的検討. 第27回日本移植学会総会, 1991.
 - 35) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M. and Yamanaka, N.¹⁾ (¹⁾病理第1): [展示] New morphological changes induced by FK506 in short period in rat kidney and the effect of S.O.D. and OKY-406 on them. The 5th European Society of Organ Transplantation (オランダ), 1991.
 - 36) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M. and Yamanaka, N.¹⁾ (¹⁾病理第1): [一般講演] FK506-induced JG hyperplasia and tubular damage in rat kidney-morphological and biological analyses depending on the duration of its administration. The 2nd Congress of Asian Society of Transplantation (台湾), 1991.
 - 37) 広瀬始之, 沖 守, 川村直樹, 秋元成太: [一般講演] 尿管鏡操作における尿路系への影響; 経尿道的腎尿管結石摘出術の安全性. 第33回日本平滑筋学会, 1991.
 - 38) 千賀康弘, 大場修司, 秋元成太: [一般講演] 小児重複腎盂尿管の2例. 第480回日本泌尿器科学会東京地方会, 1991.
 - 39) 大沢秀一, 沖 守, 坪井成美, 広瀬始之, 服部智任, 秋元成太: [一般講演] Fournier's gangrene の1例. 日本医大医学会第75回例会, 1991.
 - 40) 小川秀彌, 本田 了, 堀 夏樹, 平岡保紀, 秋元成太: [一般講演] 膀胱腫瘍に対する抗腫瘍剤の膀胱腔内注入療法; 第7報 MMC+5Fu, ADR, CHRМ 注入による再発予防効果. 第42回通信医学協会総会, 1991.
 - 41) 堀 夏樹, 本田 了, 久保田正充, 小川秀彌: [一般講演] 高進展度腎腫瘍に対する経動脈化学療法の意義. 第42回通信医学協会総会, 1991.
 - 42) 本田 了, 堀 夏樹, 久保田正充, 小川秀彌: [一般演題] 尿失禁を伴わない完全重複尿管尿道開口による巨大水尿管症例. 第42回通信医学協会総会, 1991.
 - 43) 本田 了, 杉澤 裕, 長谷川潤, 坪井成美, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 80歳以上の高齢者における前立腺肥大症手術療法の検討. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
 - 44) Tsuboi, N., Yoshida, K., Hattori, T., Hasegawa, J., Oki, M., Sugizawa, Y., Nishimura, T. and Akimoto, M.: [ビデオ] Laser lithotripsy with alexantriptor. 22nd Congress Societe Internationale D'urologie (Sevilla Spain), 1991.
 - 45) Tsuboi, N., Yoshida, K., Hattori, T., Hasegawa, J., Oki, M., Sugizawa, Y., Oohara, M., Nishimura, T. and Akimoto, M.: [ビデオ] Laser lithotripsy with alexan triptor. 3rd World Congress of Video Urology (Hakone), 1991.
 - 46) Ohara, M., Nishimura, T. and Akimoto, M.: [示説] Transurethral hyperthermia for benign prostatic hypertrophy. Tokyo Symposium on Benign Prostatic Hypertrophy, 1991.
 - 47) 佐藤正広, 久島英二, 富田 勝, 秋元成太: [一般講演] 乳児に対する血漿交換療法の試み. 第29回日本人工心臓器学会, 1991.
 - 48) 矢島勇臣, 堀 夏樹, 小川秀彌: [一般講演] 膀胱異所性前立腺組織の1例. 第43回通信医学協会総会, 1992.

- 49) 山田和彦, 杉澤 裕: [一般講演] Shell Vial 法によって早期診断が可能であった CMV 感染症. 第25回腎移植臨床検討会, 1992.
- 50) 林 昭棟, 平岡保紀, 原 眞, 山田和彦: [一般講演] 平岡式 semi-radical TURP 法による前立腺偶発癌の検討. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 51) 堀内和孝, 杉澤 裕, 本田 了, 大澤秀一, 広瀬始之, 沖 守, 坪井成美, 吉田和弘, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 血液浄化療法併用による CDDP 動注療法の検討. 第481回日本泌尿器科学会東京地方会, 1992.
- 52) 佐藤三洋, 長谷川潤, 川村直樹, 矢島勇臣, 寺島保典, 近藤幸尋, 千賀康弘, 秋元成太: [一般講演] 制酸剤投与中にケイ酸結石の発症をみた慢性維持透析患者の1例. 第482回日本泌尿器科学会東京地方会, 1992.
- 53) Kondo, Y., Satoh, M.¹⁾, Mita, M.¹⁾, Akimoto, M., Naganuma, A.¹⁾ and Imura, N. (¹⁾Pharm Sciences, Kitasato University): [展示] Protective effect of metallothionein induction against carcinogenicity of antitumor drugs in mice. Society of Toxicology 1992 Annual Meeting (Seattle), 1992.
- 54) Kondo, Y., Satoh, M., Naganuma, A.¹⁾, Akimoto, M. and Imura, N.¹⁾ (¹⁾Pharm Sciences, Kitasato University): [展示] Bismuth subnitrate coadministered with citrate efficiently induced metallothionein, a protecting factor against Cisplatin toxicity. Molecular Oncology as a Basis for New Strategies in Cancer Therapy The Second Joint Meeting of the AACR/JCA (Honolulu), 1992.
- 55) 佐藤三洋, 川村直樹, 服部智任, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演] 腎細胞癌パラフィン包埋標本の flow cytometry による DNA 量解析. 第1回泌尿器科細胞解析研究会, 1992.
- 56) 沖 守, 広瀬始之, 大沢秀一, 本田 了, 長谷川潤, 坪井成美, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 腹腔鏡下泌尿器手術の経験. 第1回泌尿器科腹腔鏡下手術研究会, 1992.

[第一病院泌尿器科]

研究概要

第一病院泌尿器科の研究は、尿路性器癌に対する基礎的実験と臨床的研究に大別される。

本年度は、尿路性器癌のなかで、ヒト前立腺癌の基礎と臨床面での研究が主なものである。前立腺癌における治療法として従来の抗男性ホルモン療法に加えて非特異的免疫賦活剤を併用することが、実験的な検討の結果その再燃を防止し、抗腫瘍効果が上昇することが認められ、免疫学的にも組織学的にもその有効性が認められ quality of life の面から有意義な方法と考えられた。

また、前立腺癌の骨転移例の指標として血中オステオカルシン動態について、治療上のマーカーとして意義があることを報告した。

また、実験的にヒト前立腺癌樹立細胞株に対する、抗癌剤の MTT assay による抗腫瘍効果に関する結果、進行性前立腺癌に対する抗癌化学療法のレジメンの開発を行い、それを臨床的に応用、有効な方法と考えられ、試みられる価値があるものと思われた。

また、前立腺癌に対する温熱療法に関する研究を進め、有効性について論じた。

その他、膀胱癌に対し、診断治療についてまた、再発防止のために BRM, OK432 の投与は group study の結果有意差をもってその有効性が確認された。

最近、膀胱癌の治療法として、BCG 膀胱内注入療法が盛んに行われているが合併症として結核性肉芽性前立腺炎がみられ、好んで行われる治療法としては疑問が残るものと警告した報告をし、さらにマウス膀胱癌に対する免疫化学療法の効果について検討を行い膀胱腫瘍の症例と文献的考察を加えた。

尿路悪性腫瘍に対する抗癌化学療法時には一般的に副作用として、主として白血球減少がみられ、それらの副作用の防止対策として免疫グロブリン療法の有効性を group study にて検討した。これらの研究はさらに来年度へと展開し第一病院泌尿器科の研究テーマとして継続していこうと考えている次第である。

研究業績

論文

- 1) 中神義三：〔原著〕膀胱癌の診断と治療。東京医師会誌, 43, 727~733, 1991.
- 2) 中神義三, 松本恵一, 岸本 孝²⁾ (1)昭和大藤が丘, ²⁾日大板橋)：〔原著〕膀胱癌に対する術後再発防止のための免疫療法(OK-432)の検討。Biotherapy, 5, 335~341, 1991.
- 3) 中神義三：〔原著〕非特異的免疫賦活剤(OK432, PSK)の泌尿生殖器癌に対する評価。泌尿器外科, 5, 209~214, 1992.
- 4) 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤, 丹羽直樹：〔原著〕泌尿器科領域における薬剤性胃炎に対するシメチジン細粒の抑制効果。西日泌, 53 (別刷), 1519~1522, 1991.
- 5) 阿部裕行, 中神義三, 伊藤 博, 岡 史篤, 池田一則, 丹羽直樹：〔原著〕進行性前立腺癌に対する血中オステオカルシンの臨床的意義。泌尿紀, 37, 877~880, 1991.
- 6) 丹羽直樹, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤：〔原著〕尿路生殖器癌患者への化学療法施行後の骨髄抑制に対する rhG-CSF 投与時の臨床的評価。Biotherapy, 6, 475~476, 1992.
- 7) 池田一則, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤：〔原著〕実験的マウス前立腺癌モデルにおける免疫ホルモン療法。Biotherapy, 6, 367~368, 1992.
- 8) 池田一則, 丹羽直樹, 岡 史篤, 伊藤 博, 阿部裕行, 中神義三：〔原著〕膀胱頸部に発生した血管平滑筋腫の1例。西日泌, 53, 963~965, 1991.
- 9) 池田一則, 丹羽直樹, 岡 史篤, 伊藤 博, 阿部裕行, 中神義三：〔原著〕鼠径部腫瘍を主訴とした進行性前立腺癌の1例。泌尿紀, 37, 765~767, 1991.

学会発表

- 1) 阿部裕行, 中神義三, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤, 丹羽直樹, 伊藤 正¹⁾, 鴨下 亨¹⁾(¹⁾第一病院放射線科)：〔一般講演〕前立腺癌に対する温熱療法の臨床的検討。第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 2) 伊藤 博, 中神義三, 阿部裕行, 池田一則, 岡 史篤, 丹羽直樹：〔一般講演〕進行性前立腺癌に対するPAQ療法の評価に関する検討(総括)。第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 3) 池田一則, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 篤, 岡 史篤, 丹羽直樹：〔一般講演〕実験的マウス前立腺癌モデルにおける活性化マクロファージの動態に関する検討。第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 4) 岡 史篤, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 池田一則, 丹羽直樹, 野村信夫, 石崎良太郎¹⁾(¹⁾日医大老研)：〔一般講演〕ヒト前立腺癌細胞株における oncogene に関する研究(予報)。第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 5) 丹羽直樹, 中神義三, 池田一則, 岡 史篤, 伊藤 博, 阿部裕行：〔一般講演〕尿路生殖器癌患者に対する抗癌化学療法時の副作用防止対策に関する検討：特に G-CSF の臨床効果について。第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 6) 岡 史篤, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 池田一則：〔一般講演〕ヒト前立腺癌細胞株における oncogene に関する研究(予報)。第50回日本癌学会総会, 1991.
- 7) 阿部裕行, 中神義三, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤, 丹羽直樹：〔一般講演〕ヒト前立腺癌樹立細胞株を用いた温熱療法と化学療法の併用効果に関する検討。第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 8) 池田一則, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 岡 史篤, 丹羽直樹：〔一般講演〕実験的マウス前立腺癌モデルにおける活性化マクロファージの動態に関する検討；第2報 病理組織学的検討。第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 9) 岡 史篤, 丹羽直樹, 池田一則, 伊藤 博, 阿部裕行, 中神義三：〔一般講演〕原発性尿管扁平上皮癌症例とその文献的考察。第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.

- 10) 阿部裕行, 中神義三, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤: [一般講演] 前立腺癌に対する温熱療法の検討. 第29回日本癌治療学会, 1991.
- 11) 伊藤 博, 中神義三, 阿部裕行, 池田一則, 岡 史篤: [一般講演] 進行性前立腺癌に対する PAQ 療法の評価に関する検討 (総括). 第29回日本癌治療学会, 1991.
- 12) 池田一則, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 岡 史篤: [一般講演] 前立腺癌モデルに対する免疫ホルモン療法に関する検討. 第29回日本癌治療学会, 1991.
- 13) Nakagami, Y.¹⁾, Matsumoto, K.¹⁾, Kishimoto, T.²⁾ (1)昭和大藤が丘, 2)日大板橋): [ポスター] Evaluation on immunochemotherapy to prevent postoperative recurrence of superficial bladder cancer patients. 第22回国際泌尿器科学会 (セビリヤ), 1991.
- 14) Niwa, N., Nakagami, Y., Ikeda, K., Oka, F., Ito, H. and Abe, H.: [ポスター] Clinical evaluation on using G-CSF for prevention of adverse reactions in chemotherapy to urogenital cancer patients. 第22回国際泌尿器科学会 (セビリヤ), 1991.
- 15) 池田一則, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 岡 史篤, 丹羽直樹: [一般講演] 実験的マウス前立腺癌モデルにおける免疫ホルモン療法. 第4回 JBRM 学会学術集会総会, 1991.
- 16) 丹羽直樹, 中神義三, 阿部裕行, 伊藤 博, 池田一則, 岡 史篤: [一般講演] 抗癌化学療法 (特に尿路性器癌) 施行後の骨髄抑制に対する G-CSF 投与時の効果・副作用に対する検討. 第4回 JBRM 学会学術集会総会, 1991.
- 17) Abe, H., Ito, H., Oka, F., Ikeda, K., Niwa, N., Nakagami, Y. and Akimoto, M.¹⁾ (1)付属病院泌尿器科): [一般講演] Evaluation on hyperthermia as an adjuvant therapy to advanced prostate cancer patients. The International Urologic Conference of The Republic of China, 1991.
- 18) Ikeda, K., Oka, F., Abe, H., Niwa, N., Itoh, H., Nakagami, Y. and Akimoto, M.¹⁾ (1)付属病院泌尿器科): [一般講演] Evaluation on treatment and its meaning to hypercholesterolemia in urinary tract diseases. The International Urologic Conference of The Republic of China, 1991.
- 19) Oka, F., Ikeda, K., Abe, H., Niwa, N., Itoh, H., Nakagami, Y. and Akimoto, M.¹⁾ (1)付属病院泌尿器科): [一般講演] Evaluated study of antibiotic agent, CPDX-PR (Banan) for urinary tract infection. The International Urologic Conference of The Republic of China, 1991.

[第二病院泌尿器科]

研究概要

- ① 尿路生殖器腫瘍の腫瘍マーカー, 特に血清 BFP (Basic fetoprotein) の臨床的研究.
- ② 尿路上皮腫瘍における尿中 BFP 及び尿細胞診との相関についての研究.
- ③ 尿路感染症の臨床的研究.

研究業績

学会発表

- 1) 大原正雄, 秋元成太¹⁾ (1)付属病院泌尿器科): [示説] 最近6年間の adrenal incidentaloma. 第3回日本内分泌外科学会総会, 1991.
- 2) 佐藤三洋, 長谷川潤¹⁾, 川村直樹¹⁾, 矢島勇臣, 寺島保典¹⁾, 近藤幸尋¹⁾, 千賀康弘¹⁾, 秋元成太¹⁾ (1)付属病院泌尿器科): [展示] Characterization of primary and metastatic cell lines (hanks) established from a patient with renal cell carcinoma. American Urological Association 1991 Annual Meeting, 1991.
- 3) 服部智任: [シンポジウム] IL-2, IFN α , LAK を用いた併用免疫療法. 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 4) 大原正雄, 長谷川潤, 坪井成美¹⁾, 吉田和弘¹⁾, 西村泰司¹⁾, 秋元成太¹⁾ (1)付属病院泌尿器科): [一般講演] 前立

腺肥大症に対する経尿道的温熱治療。第56回日本泌尿器科学会東部総会，1991。

- 5) 木村 剛：〔シンポジウム〕前立腺内腺由来の腺癌の発生原理；特に basal cell の形態的变化について。第56回日本泌尿器科学会東部総会，1991。
- 6) 山田晋介，服部智任，引間規夫，富田 勝：〔一般講演〕第二病院泌尿器科における MRSA 分離症例の検討。日本医科大学医学会第75回例会，1991。
- 7) 引間規夫，服部智任，山田晋介，富田 勝：〔一般講演〕長期間バルンカテーテル留置患者における尿中細菌の臨床的検討。日本医科大学医学会第75回例会，1991。
- 8) 富田 勝，引間規夫：〔一般講演〕水腎症と腎機能検査法についての検討。第41回日本泌尿器科学会中部総会，1991。
- 9) Ohara, M., Nishimura, T.¹⁾, Akimoto, M. (¹⁾付属病院泌尿器科)：〔示説〕Transurethral hyperthermia for benign prostatic hypertrophy. The Tokyo Symposium on Benign Prostatic Hypertrophy, 1991。
- 10) 佐藤三洋，長谷川潤¹⁾，川村直樹¹⁾，矢島勇臣，寺島保典¹⁾，近藤幸尋¹⁾，千賀康弘¹⁾，秋元成太¹⁾(¹⁾付属病院泌尿器科)：〔一般講演〕制酸剤投与中にケイ酸結石の発症をみた慢性維持透析患者の1例。第482回日本泌尿器科学会東京地方会，1992。
- 11) 佐藤三洋，川村直樹¹⁾，服部智任，吉田和弘¹⁾，秋元成太(¹⁾付属病院泌尿器科)：〔一般講演〕腎細胞癌パラフィン包埋標本の flow cytometry による DNA 量解析。第1回泌尿器科細胞解析研究会，1992。

[多摩永山病院泌尿器科]

研究概要

当科は開設して3年になるが研究業績の主なものは次のようなものである。

前立腺肥大症：前立腺肥大症に対する平岡式経尿道的前立腺剝離切除術は1984年に開始して以来900例を越えている。現在、最も優れた前立腺肥大症の手術であり、第13回日本手術部医学会総会にて教育講演を行った。平岡式 TURP 法に関しては原著が3編，学会発表が5回であった。(平岡)

前立腺癌：平岡式経尿道的前立腺剝離切除術は内腺と外腺とを確実に区別して組織が得られるという本法にしかない特徴がある。この特徴を生かして、内腺域と外腺域とを別個に組織を採取することによって、前立腺偶発癌の見落としが少なくなり、外腺領域内の癌の残存の有無まで知ることができるといふ新しい道を開き、これを原著と学会にて発表した。(平岡)今後、この研究は当科の大きなテーマの1つとなろう。

膀胱癌：進行性膀胱癌の転移経路の研究として、平岡らはすでに、組織間隙の存在を示唆し、予後不良原因は微小転移に因るものであると発表している。本年度は膀胱壁内墨汁注射後の墨顆粒の分布の研究から膀胱癌の転移経路としては、脈管系以外に組織間隙性転移経路を発見し、原著にて発表した。(平岡)これを生かして今後の治療法の開発にとりくんでいる。

尿失禁：女子尿失禁に対する内視鏡を利用した尿道吊り上げ術をシンポジウムなどで発表した。(原)

腎移植：免疫抑制剤 FK506 の腎障害に対する、腎の形態学および生化学的研究を原著4編，国際学会3回の発表がある。(山田)

研究業績

論文

- 1) 山田和彦，杉崎祐一¹⁾，秋元成太，山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1)：〔原著〕FK506投与による腎の形態学的変化(速報) rapid communication. 今日の移植，4，353~354，1991。
- 2) 鈴木 央，山田和彦，木村 剛，沖 守，原 眞，川村直樹，平岡保紀，秋元成太：〔症例報告〕尿管由来印環細胞癌の1例。泌尿，37，633~635，1991。

- 3) 平岡保紀, 原 眞, 秋元成太:〔原著〕膀胱癌の転移経路に関する研究;膀胱壁内墨汁注射後の墨顆粒の分布, 西日泌, 53, 1111~1114, 1991.
- 4) 平岡保紀, 秋元成太:〔原著〕前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺剝離切除術と前立腺バルーン拡張術, 医薬ジャーナル, 27, 141~145, 1991.
- 5) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1):〔原著〕Short-term FK506-induced morphological changes in rat kidneys, Transplantation Proceedings, 23, 3130~3132, 1991.
- 6) 平岡保紀, 原 眞, 木村 剛:〔原著〕経尿道的前立腺剝離切除術672例の経験, 西日泌, 54, 11~14, 1992.

著 書

- 1) 平岡保紀, 秋元成太:〔分担〕副腎腫瘍「図説泌尿器科学講座」, (吉田 修編集) p. 210~221, メジカルビュー社, 1991.
- 2) 平岡保紀, 秋元成太:〔分担〕後腹膜腫瘍「図説泌尿器科学講座」, (吉田 修編集) p. 205~209, メジカルビュー社, 1991.

学会発表

- 1) 小川秀弥, 本田 了, 堀 夏樹, 久保田正充, 陳 忠新, 平岡保紀, 私元成太:〔一般講演〕膀胱腫瘍に対する抗腫瘍剤の膀胱内注入療法;第7報 MMC+5Fu, ADR, CHRM 注入による再発予防効果, 第42回通信医学協会総会, 1991.
- 2) 小川秀弥, 本田 了, 堀 夏樹, 久保田正充, 平岡保紀, 秋元成太, 陳 忠新:〔一般講演〕Intracavitary chemotherapy 381例中治療終了後に自然消失した膀胱腫瘍8例について, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 3) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1):〔一般講演〕FK506による腎障害;形態学並びに生化学的検討, 第21回東部腎臓学会, 1991.
- 4) 平岡保紀, 原 眞, 木村 剛, 前田昭太郎¹⁾(¹⁾多摩永山病院病理):〔展示〕経尿道的前立腺剝離切除術を応用した外腺切除法による前立腺偶発癌, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 5) 平岡保紀, 原 眞, 木村 剛, 前田昭太郎¹⁾(¹⁾多摩永山病院病理):〔展示〕経尿道的前立腺剝離切除術を応用した外腺生検切除法による前立腺偶発癌, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 6) 平岡保紀, 原 眞, 木村 剛:〔ビデオ〕経尿道的前立腺剝離切除術を応用した外腺生検切除法, 第79回日本泌尿器科学会総会, 1991.
- 7) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M., Yamanaka, N.¹⁾(¹⁾病理第1):〔ポスター〕Short-term FK506 induced morphological changes in rat kidneys, The 1st Internation Congress on FK506 (アメリカ), 1991.
- 8) 平岡保紀, 原 眞, 木村 剛, 山田光輝, 石原之法, 北村 晶, 天本治夫, 加藤信也:〔一般講演〕経尿道的前立腺剝離切除術施行時に誘発される前立腺被膜の反射性収縮と閉鎖神経ブロックによる予防効果, 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 9) 平岡保紀, 原 眞, 木村 剛, 秋元成太, 小川秀弥:〔一般講演〕経尿道的前立腺剝離切除術による672例の経験, 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 10) 木村 剛, 平岡保紀, 原 眞, 前田昭太郎¹⁾(¹⁾多摩永山病院病理):〔一般講演〕前立腺内腺由来の腺癌の発生病理;とくに basal cell の形態的变化について, 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 11) 杉澤 裕, 堀内和孝, 長谷川潤, 原 眞, 坪井成美, 吉田和弘, 平岡保紀, 西村泰司, 秋元成太, 川村直樹:〔一般講演〕Kock 回腸膀胱および indiana pouch の臨床的検討, 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 12) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾(¹⁾病理第1):〔一般講演〕FK506による腎障害;経時的形態学的検討, 第27回日本移植学会総会, 1991.
- 13) 平岡保紀, 原 眞, 木村 剛, 前田昭太郎¹⁾, 秋元成太(¹⁾多摩永山病院病理):〔展示〕膀胱癌の転移経路と

組織間隙. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

- 14) 原 眞, 木村 剛, 平岡保紀, 山本史郎, 天谷健二, 鈴木 央, 杉澤 裕, 長谷川潤, 秋元成太, 池田一則 :
〔展示〕女子腹圧性尿失禁に対する Gittes 手術. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 15) 原 眞 : 〔シンポジウム〕腹圧性失禁に対する Raz 法と Gittes 法. 第56回日本泌尿器科学会東部総会, 1991.
- 16) 山田和彦, 杉澤 裕, 天谷健二 : 〔ポスター〕Accelerated acute rejection の治療として OKT-3 が有効であった生体腎移植の 1 例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 17) 杉澤 裕, 山田和彦 : 〔ポスター〕当科における腎移植の現況. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 18) 平岡保紀 : 〔教育講演〕経尿道的前立腺剝離切除術. 第13回日本手術部医学会総会, 1991.
- 19) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M. and Yamanaka, N.¹⁾ (1)病理第1) : 〔ポスター〕New morphological changes induced by FK506 in short period in rat kidney and the effect of S.O.D. and OKY-046 on them. The 5th European Society of Organ Transplantation (オランダ), 1991.
- 20) 山田和彦, 杉崎祐一¹⁾, 秋元成太, 山中宣昭¹⁾ (1)病理第1) : 〔一般講演〕FK506投与ラット腎の形態学及び生化学的検討 ; Prostaglandin の関与について. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 21) Yamada, K., Sugisaki, Y.¹⁾, Akimoto, M. and Yamanaka, N.¹⁾ (1)病理第1) : 〔一般講演〕FK506-induced JG hyperplasia and tubular damage in rat kidney ; Morphological and biological analyses depending on the duration of its administration. The 2nd Congress of Asian Society of Transplantation (台湾), 1991.
- 22) 林 昭棟, 平岡保紀, 原 眞, 山田和彦 : 〔一般講演〕平岡式 semi-radical TURP 法による前立腺偶発癌の検討. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 23) 望月 徹, 山下照代, 小野啓資, 富岡譲二, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顯, 山本保博, 木村 剛, 平岡保紀 : 〔一般講演〕肝不全にて敗血症に陥った睪丸腫瘍の 1 例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.
- 24) 林 昭棟, 平岡保紀, 原 眞, 山田和彦 : 〔一般講演〕平岡式 semi-radical TURP 法による前立腺偶発癌の検討. 日本医科大学医学会第76回総会, 1992.
- 25) 山田和彦, 杉澤 裕 : 〔一般講演〕Shell Vial 法によって早期診断が可能であった CMV 感染症. 第25回腎移植臨床検討会, 1992.

16. 眼科学講座

[付属病院眼科・第一病院眼科・第二病院眼科，多摩永山病院眼科]

研究概要

前眼部結膜について，眼アレルギー，アレルギー性結膜炎について，モルモットを用いた実験でその病態の変化を遅発型反応を中心に検討した。また，近年社会的問題となっているスギ花粉症におけるアレルギー性結膜炎について疫学的に検討し，その発症メカニズムについて免疫病理的電顕的に検討した。

白内障について，糖尿病白内障についてアルドース還元酵素阻害剤の効果を研究報告した。

網膜について，網膜と硝子体の移行部の解剖学的構造を形態的に調べている。さらに網膜血管の閉塞が発症した場合にみられる電気生理学的な変化をERG，EOG，網膜律動様小波の変化を調べて，僅かな血管閉塞でも電気的には影響を受けることが判明した。

コンタクトレンズについて，コンタクトレンズ装用時の患者への影響について，特にCO₂の角膜への影響，コンタクトレンズのパターン，フィッティング，トラブルの処理などについて研究発表している。

研究業績

論文

- 1) 清水由規：〔総説〕眼内レンズ。日薬師会誌，44，299～301，1992。
- 2) Saiga, T., Briggs, R.M. and Allansmith, M.R.：〔原著〕Clinical and cytologic aspects of ocular late-phase reaction in the guinea pigs. Ophthalmic Research, 24, 45～50, 1992。
- 3) 南野麻美¹⁾，原 彰²⁾，長友万里子²⁾ (¹⁾多摩永山病院眼科，²⁾第一病院眼科)：〔原著〕錐体ジストロフィーの1症例。眼臨医報，86，112～117，1992。
- 4) 水谷由紀夫，清水由規，他：〔原著〕コンタクトレンズ装用眼のCO₂の角膜に及ぼす影響。日コレ誌，33，234～241，1991。
- 5) Mizutani, Y.：〔原著〕Benefit from fluorescein pattern and computer image. Spectrum/November, 43～45, 1991。
- 6) 水谷由紀夫：コンタクトレンズフィッティングの評価。臨床眼科，45，132～133，1991。
- 7) 水谷由紀夫：コンタクトレンズによるトラブルの処置と患者指導。臨床眼科，45，178～180，1991。
- 8) 清水由規：〔総説〕スギ花粉飛散時期の抗スギ花粉抗体量の変動。アレルギー臨床，133，635，1991。
- 9) 雑賀寿和，中村 健，和田千穂里，清水由規，佐藤 茂：〔原著〕春季カタル結膜組織中のEG2陽性細胞について。好醗球1990年第40回日本アレルギー学会総会ワークショップ，44～45，1991。
- 10) 雑賀寿和，清水由規：〔原著〕結膜アレルギーの診断。アレルギーの臨床，11，21～24，1991。
- 11) 河合史子，禰津直久，雑賀寿和，清水由規：〔原著〕Impression cytology (Luna 染色)を用いたアレルギー性結膜炎の検討。眼科，33，653～656，1991。
- 12) Saiga, T. and Allansmith, M.R.：〔原著〕Tear volume in early and late phase of ocular anaphylaxis in guinea pigs. Ophthalmic Research, 23, 335～341, 1991。
- 13) 清水洋一，宇多重員¹⁾，清水由規 (¹⁾二本松眼科病院)：〔原著〕Pigment dispersion syndrome。眼科，33，1585～1589，1991。

著 書

- 1) 清水由規：〔分担〕モダンクリニカルポイント眼科 カポジ水痘様発疹症と樹枝状角膜炎を併発した春季カタル（野寄喜美春），p. 34～35，金原出版，1991.
- 2) 雑賀寿和：〔分担〕アレルギーの理論とその展開 第1章 アレルギーの発症機序 眼アレルギー，p. 153～156，医療ジャーナル社，1991.
- 3) 原 彰：眼底カメラ，朝日新聞，1992.
- 4) 水谷由紀夫：コンタクトレンズ モダンクリニカルポイント眼科，p. 268～269，金原出版，1991.

学会発表

- 1) 内山幸昌，Than Win，清水由規，関 公¹⁾（¹習志野市）：〔展示〕WBN/KOB 雄ラット白内障におけるAR 阻害剤の検討（その2），第95回日本眼科学会総会，1991.
- 2) Win, T., Uchiyama, Y., Shimizu, Y., Nakahama, K. and Akimoto, T.：〔一般講演〕Therapeutic value of aldose reductase inhibitor on lenses of spontaneously diabetic WBN/Kob rat. 第13回アジア太平洋眼科学会，1991.
- 3) Uchiyama, Y.：〔展示〕Effect of aldose reductase inhibitor on cataract of male WBN/KOB rat (3rd). 第14回国際糖尿病学会ワシントン大会，1991.
- 4) 原 彰，長友万里子：〔展示〕BRVO にみられる EOG L/D 比の低下，第45回日本臨床眼科学会，1991.
- 5) 原 彰¹⁾，百瀬 皓²⁾（¹第一病院眼科，²臨床眼科研究所）：〔一般講演〕網膜硝子体境界面の正常構造，第45回日本臨床眼科学会，1991.
- 6) Saiga, T., Ueno, N. and Shimizu, Y.：〔ポスター〕Deposition of eosinophil cationic protein in conjunctival tissues and tears in vernal keratoconjunctivitis. ARVO 1991, Sarasota, Florida USA, 1991.
- 7) Saiga, T., Ueno, N. and Shimizu, Y.：〔ポスター〕Deposition of eosinophil cationic protein in conjunctival tissues and tears in vernal keratoconjunctivitis. XIII Congress of The Asia-Pacific Academy of Ophthalmology, Kyoto 1991.
- 8) 雑賀寿和：〔シンポジウム〕アレルギー性結膜炎と結膜過敏性について，第95回日本眼科学会総会，1991.
- 9) 雑賀寿和：〔シンポジウム〕スギ花粉症の予防と治療（眼症状），第3回日本アレルギー学会春季臨床集会，1991.
- 10) 雑賀寿和：〔シンポジウム〕I型アレルギー病態の臓器特異性アレルギー性結膜炎，第41回日本アレルギー学会，1991.
- 11) 清水洋一，宇多重員¹⁾（¹二本松眼科病院）：〔一般講演〕Pigment dispersion syndrome 症例の検討，第8回関東眼科学会，1991.
- 12) 清水洋一：〔一般講演〕縁内障眼の眼内レンズ挿入術，第59回日本医科大学医学会総会，1991.
- 13) 河瀬美智代，中込 豊，原 彰：〔一般講演〕自然治癒をみた dural AVF の1例，第660回東京眼科集談会，1991.
- 14) 熊川美代子，岩沢博俊，小林博和，禰津直久，中山滋章，山口 潤，大塚博邦¹⁾（¹耳鼻咽喉科）：〔一般講演〕釘頭部が上眼窩裂に嵌頓した1例，第8回関東眼科学会，1991.
- 15) 南野麻美¹⁾，原 彰²⁾，長友万里子²⁾（¹多摩永山病院眼科，²第一病院眼科）：〔一般講演〕錐体ジストロフィーの1例，第8回関東眼科学会，1991.
- 16) 北村 篤，中山滋章：〔一般講演〕クリスタリン網膜症の1例，第8回関東眼科学会，1991.
- 17) 佐藤和義¹⁾，白井由佳子¹⁾，南野麻美¹⁾，中山義章¹⁾，朝岡 守²⁾（¹多摩永山病院眼科，²相模更生病院眼科）：〔一般講演〕球状水晶体による続発縁内障の1例，第2回日本縁内障学会，1991.
- 18) 高崎佐知子，清水由規：〔一般講演〕外傷により眼球が脱出した2例，第661回東京眼科集談会，1991.
- 19) 富岡義明¹⁾，宇多重員¹⁾，清水洋一（¹二本松眼科病院）：〔一般講演〕IOL を挿入した若年性アトピーの症例，聖

露加眼科集談会, 1991.

- 20) 今岡浩一¹⁾, 井上 栄¹⁾, 宮沢 博²⁾, 西端慎一³⁾, 清水由規 (¹⁾国立公衆衛生院, ²⁾杏林大眼科, ³⁾北里大眼科): [一般講演] スギ花粉症患者における抗スギ花粉抗体量の季節変動. 第14回国際アレルギー臨床免疫学会, 1991.
- 21) 後藤伸彰, タンウイン, 浅野伍朗¹⁾, 高橋 琢²⁾, 宮里和明²⁾, 川野信子³⁾(¹⁾病理第2, ²⁾稲田登戸病院眼科, ³⁾同皮膚科): [一般講演] 眼瞼腫瘍の1例. 第53回神奈川県眼科集談会, 1992.
- 22) 南野麻美¹⁾, 佐藤和義¹⁾, 中山滋章 (¹⁾多摩永山病院眼科): [一般講演] 梅毒性視神経乳頭炎の1例. 第662回東京都眼科集談会, 1992
- 23) 水谷由紀夫: [シンポジウム] コンタクトレンズと眼鏡 ガス透過性ハードCLとDk値. 95回日本眼科学会, 1991.
- 24) 水谷由紀夫, 清水由規: [一般講演] CL装着時, CO₂の角膜におよぼす影響. 第34回日本コンタクトレンズ学会, 1991.
- 25) 水谷 聡¹⁾, 水谷由紀夫 (¹⁾愛知医大眼科): [一般講演] コンタクトレンズと防腐剤の影響について. 第34回日本コンタクトレンズ学会, 1991.
- 26) 坂田実紀¹⁾, 水谷由紀夫 (¹⁾昭和大学眼科): [一般講演] ガス透過性HCLのレンズ規格に対する吸水の影響. 第34回日本コンタクトレンズ学会, 1991.

17. 麻酔科学講座

[付属病院麻酔科]

研究概要

今や教室伝統のテーマとなった「ショックの病態生理の解明と治療の開発」や「硬膜外麻酔の病態生理の解明と臨床応用」を根幹とした研究は本年度も多くが発芽、結実した。種々の外科的侵襲や麻酔により引き起こされる生体の反応は呼吸・循環系、神経系、代謝、体液免疫系など多彩にわたり、生体環境が攪乱されることが判ってきている。従来、手術の麻酔では、表面的には患者の苦痛を和らげ、外科医に良好な術視野を提供することが目的であったが、これからはその内容的に患者の被る侵襲を調整抑止する方向に向けた、より綿密な麻酔方法の模索検討が重要であると考えられる。教授の主導のもと、教室全体としてこの大きな目標に向けての研究の方向づけの意思統一がなされつつあるところである。先ずは、生体反応を詳細に把握することが必要であろう。本年度行われた研究では、麻酔中の生体反応に関して、呼吸系(HPV反応)、循環系(圧受容体反射、低血圧時の脳循環、硬膜外麻酔時の右心機能)、神経系(自律神経機能変化)があり、新たに免疫や体液、代謝系(自己血輸血時や全身麻酔中の変化)が開発された。ショック治療の面では、動物実験による抗酸化剤、高張液輸液、SODなどの応用がある。一方、麻酔中のモニタリングも重要であり、近年は非侵襲的方法が主流になりつつあり、この面での新たな方法の開発や新開発の機器の評価も行われた。

梶本の日米麻酔学会での発表は、本会にて優れた発表に与えられる Kosaka Award を受賞した。

研究業績

論文

- 1) 小川 龍：〔総説〕ショック病態の新知見；免疫系の役割。外科診療, 33, 495~501, 1991.
- 2) 西村泰司¹⁾, 小川 龍 (¹⁾泌尿器科)：〔総説〕外来麻酔の実際。臨泌, 45, 13~16, 1991.
- 3) 斎藤敏之, 石原之法, 山田光輝, 坂本勇二郎, 井上哲夫, 小川 龍：〔原著〕ATP 低血圧のアンドロシスについての血液生化学。麻酔, 40, 936~941, 1991.
- 4) Sakamoto, A., Ohnishi, S.T.¹⁾, Ohnishi, T.²⁾ and Ogawa, R. (¹⁾Philadelphia Biomedical Research Institute, ²⁾Dep. of Biochemistry and Biophysics, Univ. of Pennsylvania)：〔原著〕Relationship between free radical production and lipid peroxidation during ischemia-reperfusion injury in the rat brain. Brain Research, 554, 186~192, 1991.
- 5) Kitamura, A.：〔原著〕Circulatory and metabolic changes in the brain during induced hypotension; Comparison among trimetaphan, glycerin trinitrate and prostagrandin E₁. J. Anesth., 5, 268~275, 1991.
- 6) Saito, T., Yoshikawa, T., Sakamoto, Y., Tanaka, K.¹⁾, Inoue, T. and Ogawa, R. (¹⁾集中治療室)：〔原著〕Sleep apnea in patients with acute myocardial infarction. Crit Care Med., 19, 938~941, 1991.
- 7) 輪嶋善一郎, 井上哲夫, 小川 龍：〔原著〕Valsalva 法による血圧急変時のトノメトリー法による非観血的血圧測定法と観血的血圧測定法の比較。臨床モニター, 2, 339~346, 1991.
- 8) 北村 晶, 小川 龍：〔総説〕低血圧麻酔。現代医療, 23, 2219~2226, 1991.
- 9) 吉河達祐, 輪嶋善一郎, 井上哲夫, 小川 龍：〔症例〕筋萎縮性側索硬化症の麻酔経験。臨床麻酔, 15, 1229~1230, 1991.
- 10) 小川 龍：〔総説〕Lysosomal enzyme と多臓器不全。臨床科学, 27, 1611~1667, 1991.
- 11) Sakamoto, A., Ohnishi, S.T.¹⁾, Ohnishi, T.²⁾ and Ogawa, R. (¹⁾Philadelphia Biomedical Research Institute, ²⁾Dep. of Biochemistry and Biophysics, Univ. of Pennsylvania)：〔原著〕Protective effect a new anti-oxidant

on the rat brain exposed to ischemia-reperfusion injury; Inhibition of free radical formation and lipid peroxidation. Free Radical Biology & Medicine, 11, 385~391, 1991.

- 12) 小川 龍：〔総説〕仙骨麻酔. 泌尿器外科, 4, 1323~1325, 1991.
- 13) 小川 龍：〔総説〕ショックと肝臓. 外科治療, 65, 681~686, 1991.
- 14) 吉河達祐, 小川 龍：〔総説〕小児麻酔時の親の態度; 不安を中心に術前回診のあり方についての検討. 医学のあゆみ, 159, 861, 1991.
- 15) 輪嶋善一郎：〔誌上シンポジウム〕Baroreceptor に及ぼす静脈麻酔薬の影響 (主題: 循環の神経性調節). 循環制御, 12, 389~394, 1991.
- 16) 金 徹, 長坂隆治, 菅原真哉, 井上哲夫, 小川 龍：〔原著〕イソフルレンは脳神経外科手術後の痙攣を誘発するか?. 臨床麻酔, 16, 22~24, 1992.
- 17) 福田 功, 井上哲夫, 小川 龍：〔原著〕希釈式自己血輸血法による循環系, 免疫系の検討. 自己血輸血, 4, 132~135, 1992.
- 18) 井上哲夫：〔誌上シンポジウム〕呼吸系の非侵襲的モニタリング (主題: 非侵襲的モニタリング—現状と将来—). 日手術部医会誌, 13, 21~22, 1992.
- 19) 小川 龍：〔原著〕カテコラミン感受性低下症例に対するメチルプレドニゾロンの効果; 全国多施設臨床試験. 麻酔, 41, 421~433, 1992.
- 20) Ohnishi, S.T.¹⁾, Sakamoto, A., Ohnishi, T.²⁾ and Ogawa, R. (¹⁾Philadelphia Biomedical Research Institute, ²⁾Dep. of Biochemistry and Biophysics, Univ. of Pennsylvania) : 〔原著〕Inhibition of lipid peroxidation by prostaglandin oligomeric derivatives. Prostaglandins, Leukotriens and Essential Fatty Acids, 45, 217~221, 1992.

著 書

- 1) 小川 龍, 藤田達士¹⁾ (¹⁾群馬大学麻酔・蘇生科) : 〔分担〕心性ショック. “心臓病学” (細田達一, 杉本恒明編). p. 880~894, 南江堂, 1991.
- 2) 小川 龍 : 〔分担〕酸・塩基平衡, 水・電解質. “機械的人工呼吸” (天羽敬祐編). p. 32~42, 真興交易医書出版部, 1991.
- 3) 井上哲夫 : 〔分担〕キムラ K-250. “機械的人工呼吸” (天羽敬祐編). p. 388~391, 真興交易医書出版部, 1991.
- 4) 井上哲夫 : 〔分担〕五十嵐 B-5. “機械的人工呼吸” (天羽敬祐編). p. 392~394, 真興交易医書出版部, 1991.
- 5) 井上哲夫 : 〔分担〕IMI ベアー AV-500. “機械的人工呼吸” (天羽敬祐編). p. 395~398, 真興交易医書出版部, 1991.

学会発表

- 1) 福田 功, 井上哲夫, 小川 龍 : 〔一般講演〕希釈式自己血輸血法による輸血節減; 免疫系を中心として. 第4回自己血輸血研究会, 1991.
- 2) 坂本篤裕, 小川 龍 : 〔一般講演〕内臓虚血ショックに対する抗酸化剤の効果. 第6回日本 Shock 学会総会, 1991.
- 3) 輪嶋善一郎 : 〔シンポジウム〕Baroreceptor に及ぼす静脈麻酔薬の影響 (主題: 循環の神経性調節と麻酔). 第12回日本循環制御医学会総会, 1991.
- 4) 蔵持和也, 小川 龍, 輪嶋善一郎, 井上哲夫 : 〔一般講演〕吸入麻酔薬の自律神経機能への影響; 続報. 第12回日本循環制御医学会総会, 1991.
- 5) 武藤 徹, 北村 晶, 井上哲夫, 小川 龍 : 〔一般講演〕麻酔中モニターとしての心機図. 第12回日本循環制御医学会総会, 1991.
- 6) 梶本陽司, 竹田晋浩, 阿部聖孝, 小川 龍 : 〔一般講演〕胸部硬膜外麻酔による循環動態の変動. 特に心機能に

- 及ぼす影響. 第12回日本循環制御医学会総会, 1991.
- 7) Ogawa, R., Bitoh, H. and Ohi, Y. : [一般講演] The effects of human type superoxide dismutase on the survival rate of animals with various types of shock. 2nd International Conference on Shock (Vienna), 1991.
 - 8) Sakamoto, A., Ohnishi, S.T.¹⁾, Ohnishi, T.¹⁾ and Ogawa, R. (¹⁾Philadelphia Biomedical Research Institute) : [展示] Protective effects of antioxidants in splanchnic artery occlusion shock. 2nd International Conference on Shock (Vienna), 1991.
 - 9) Ohi, Y., Biton, H. and Ogawa, R. : [展示] Fluid therapy for superior mesenteric artery occlusion shock in rats. 2nd International Conference on Shock (Vienna), 1991.
 - 10) 福田 功, 井上哲夫, 小川 龍 : [一般講演] 希釈式自己血輸血法による輸血節減; 免疫系を中心として. 第1回産婦人科血液学会, 1991.
 - 11) 吉河達祐, 金 正, 中西一浩, 井上哲夫, 小川 龍, 岩崎康孝¹⁾, 黒澤 尚¹⁾(¹⁾神経科) : [ミニシンポジウム] 小児患者の術前・術後の心身医学的諸問題. 第32回日本心身医学会総会, 1991.
 - 12) 吉河達祐, 輪嶋善一郎, 小倉 明, 金 徹, 池田健次, 井上哲夫, 小川 龍 : [一般講演] 局所麻酔薬の聴性誘発電位 (ABR) に及ぼす影響. 第13回日本麻酔・薬理学会総会, 1991.
 - 13) 竹田晋浩, 尾藤博保, 菅原真哉, 井上哲夫, 小川 龍 : [一般講演] 非細菌性慢性前立腺炎に起因する疼痛に対する星状神経節ブロック. 第25回日本ペインクリニック学会総会, 1991.
 - 14) 角田 健, 北村 晶, 井上哲夫, 小川 龍 : [展示] MRSA を起因菌とした硬膜外膿瘍の1症例. 第25回日本ペインクリニック学会総会, 1991.
 - 15) 坂本篤裕 : [海外留学者講演] 脳虚血再還流障害時の酸素遊離基の発生と抗酸化剤の効果; ESR による研究. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 16) 星野 健, 蔡 明, 吉河達祐, 坂本篤裕, 井上哲夫, 小川 龍 : [一般講演] 顔面・頸部熱傷患者に対する気管内挿管手技. 第31回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1991.
 - 17) 蔡 明, 吉河達祐, 金 徹, 池田健次, 井上哲夫, 小川 龍 : [一般講演] 血圧監視装置 UVISION UV-101 の使用経験. 第31回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1991.
 - 18) 有山 淳, 菅原真哉¹⁾, 阿部聖孝¹⁾, 小川 龍 (¹⁾横須賀共済病院麻酔科) : [一般講演] 筋弛緩モニター下に施行した筋強直性ジストロフィーの麻酔症例. 第31回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1991.
 - 19) 遠藤正宏¹⁾, 小川 龍 (¹⁾関東労災病院麻酔科) : [一般講演] 高齢者の脊椎麻酔における循環動態の変化と麻酔域, 溶液比重などの影響. 第31回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1991.
 - 20) 角田 健, 輪嶋善一郎, 尾藤博保, 大井良之, 池田健次, 井上哲夫, 小川 龍 : [一般講演] 術中, 出血性ショックが遷延するも救命し得た1症例. 第10回日本蘇生学会総会, 1991.
 - 21) 坂本篤裕, 小川 龍 : [一般講演] 脳虚血/再還流障害時の酸素遊離基の測定と抗酸化剤の効果 (ESR による研究). 第10回日本蘇生学会総会, 1991.
 - 22) 吉河達祐, 輪嶋善一郎, 金 徹, 小倉 明, 池田健次, 井上哲夫, 小川 龍 : [一般講演] 陽圧人工呼吸中に気腹をきたした1例. 第10回日本蘇生学会総会, 1991.
 - 23) 井上哲夫 : [シンポジウム] 呼吸系の非侵襲的モニタリング (主題: 非侵襲的モニタリング—現状と将来). 第13回日本手術部医学会総会, 1991.
 - 24) 加藤一実, 結城禎一, 小川 龍, 高岡雅子¹⁾, 矢島浩三¹⁾ (¹⁾中央手術部) : [一般講演] 救急麻酔の現状と対策. 第13回日本手術部医学会総会, 1991.
 - 25) 金 徹, 小倉 明, 福田 功, 坂本篤裕, 井上哲夫, 小川 龍, 江上洋子¹⁾ (¹⁾下谷病院麻酔科) : [フォーラム] 救命し得た劇症悪性高熱症の麻酔経験 (主題: 悪性高熱症 (イソフルレンとセポフルレン)). 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.

- 26) 青木繁政, 金 徹, 菅原真哉, 井上哲夫, 小川 龍:〔展示〕筋ジストロフィー症患者と重症筋無力症患者に対するセボフルレンでの麻酔経験. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 27) 吉河達祐, 輪嶋善一郎, 武藤 徹, 丸山晃一, 池田健次, 井上哲夫, 小川 龍:〔展示〕肥大型閉塞性心筋症(HOCM)の麻酔経験. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 28) 輪嶋善一郎, 吉河達祐, 井上哲夫, 小川 龍:〔展示〕ブトルファノールの圧受容体反射に及ぼす影響; 降圧試験を用いて. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 29) 福田 功, 丸山晃一, 金 徹, 井上哲夫, 小川 龍:〔展示〕血液希釈法における採血法の検討. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 30) 小川 龍:〔特別講演〕虚血性末梢臓器疾患の高圧酸素治療. 第26回日本高気圧環境医学会総会, 1991.
- 31) 輪嶋善一郎, 金 徹, 井上哲夫, 小川 龍:〔一般講演〕集中治療業務における電子手張の有用性; 表計算 IC カードを用いた循環作動薬液作成ワークシート. 第9回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会総会, 1991.
- 32) Ogawa,R.:〔招待講演〕Resuscitative fluid therapy in critically ill patients. 6th Congress of Western Pacific Association of Critical Care Medicine (Bangkok), 1991.
- 33) Bitoh,H., Ohi, Y. and Ogawa, R.:〔展示〕Effects of human SOD on superior mesenteric artery occlusion (SMAO) shock in rats. 6th Congress of Western Pacific Association of Critical care Medicine (Bangkok), 1991.
- 34) Kajimoto, Y., Takeda, S., Abe, K. and Ogawa, R.:〔一般講演〕The effect of epidural blockade on right ventricular hemodynamics and ejection fraction. 2nd America-Japan Anesthesia Congress (Honolulu), 1992.
- 35) 吉河達祐, 蔡 明, 井上哲夫, 小川 龍:〔一般講演〕血圧モニター-UVION UV-101の使用経験. 第3回臨床モニター研究会, 1992.
- 36) 武藤 徹, 井上哲夫, 小川 龍:〔一般講演〕麻酔中モニターとしての心機図. 第3回臨床モニター研究会, 1992.
- 37) 竹田晋浩, 金 徹, 井上哲夫, 小川 龍, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾(¹⁾集中治療室):〔一般講演〕混合静脈血酸素飽和濃度と右室駆出率の同時測定の有用性. 第3回臨床モニター研究会, 1992.
- 38) 吉河達祐, 輪嶋善一郎, 竹田晋浩, 池田健次, 井上哲夫, 小川 龍, 高野照夫¹⁾(¹⁾集中治療室):〔一般講演〕CPR 後に気胸・気腹をきたした2例の検討. 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 39) 竹田晋浩, 金 徹, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 小川 龍(¹⁾集中治療室):〔一般講演〕硬膜外ブロックにより心筋虚血を引き起こし長期術後管理を必要とした食道癌手術の1症例. 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 40) 吉河達祐, 中西一浩, 小倉 明, 井上哲夫, 小川 龍, 黒澤 尚¹⁾(¹⁾神経科):〔一般講演〕術前術後の不安と認知に関する検討. 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 41) 丸山晃一, 竹田晋浩, 田中啓治¹⁾, 高野照夫¹⁾, 小川 龍(¹⁾集中治療室):〔一般講演〕弁置換後に抗凝固療法を行っている患者に外科手術を必要とした2症例. 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 42) 小川 龍(共同研究班代表):〔一般講演〕カテコールアミン長期投与により受容体感受性低下例に対するグルココルチコイドの効果. 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.

〔第一病院麻酔科〕

研究概要

当教室は、多岐にわたる研究内容を持っている。従来より主たる研究テーマとしている脊椎麻酔については、高位脊椎麻酔下での換気動態の変化、脊椎麻酔高と循環動態特に心拍数の変動、0.25%等比重ピピバカインによるRA患者の脊椎麻酔、ペンシルポイント脊麻針による麻酔の拡がり等である。

全身麻酔に関しては、最近話題となっている内視鏡的肺のう胞縫縮術の麻酔管理や、胸部外科手術時の血清カテコ

ラミンの変動を、硬膜外麻酔併用時と比較して検討した。

硬膜外麻酔については、PCAポンプによる術後疼痛管理について検討し、また、稀な合併症についての貴重な報告が多くなされた。

本院の特色であるRA患者の麻酔については前年度に引続き、術前貧血と脊椎麻酔時の循環動態について検討を加えた。

著書としては、横山教授以下教室員の共同執筆で、既刊の「脊椎麻酔」の内容を刷新し改訂新版を著し、また、訳書「局所麻酔ハンドブック」を、同様に横山教授以下教室員の共訳で刊行した。

研究業績

論文

- 1) 横山和子：〔総説〕麻酔薬；透析患者への薬剤。臨床透析，6月号，290～301，1991。
- 2) 植木理子，益田律子，横山和子：〔症例報告〕持続脊椎麻酔となった慢性関節リウマチ患者の1例。臨床麻酔，15，1485～1487，1991。
- 3) 益田律子，横山和子：〔症例報告〕反射性交感神経萎縮症を伴った視疼痛の1症例。ペインクリニック，13，77～80，1992。

著書

- 1) 横山和子：〔監修〕“脊椎麻酔”（改訂新版）。HBJ出版局，1991。
- 2) 横山和子：〔監訳〕局所麻酔ハンドブック。メディカル・サイエンスインターナショナル，1991。
- 3) 横山和子：〔分担〕5. 器具，6. 脊椎麻酔，7. 硬膜外麻酔“局所麻酔ハンドブック”（横山和子監訳）。メディカル・サイエンスインターナショナル，1991。
- 4) 益田律子：〔分担〕8. 仙骨麻酔，9. 肋間神経ブロック，10. 傍脊椎ブロック，11. 交感神経ブロック，12. 腕神経叢ブロック“局所麻酔ハンドブック”（横山和子監訳）。メディカル・サイエンスインターナショナル，1991。
- 5) 田村高子：〔分担〕13. 静脈内局所麻酔法，14. 上肢末神経ブロック，15. 下肢の局所麻酔法，16. 足関節ブロック，17. 気道，18. 顔面および頭部の神経ブロック，19. 頸神経叢ブロック“局所麻酔ハンドブック”（横山和子監訳）。メディカル・サイエンスインターナショナル，1991。
- 6) 近江禎子：〔分担〕20. 産科麻酔，21. 小児局所麻酔，22. 疼痛管理“局所麻酔ハンドブック”（横山和子監訳）。メディカル・サイエンスインターナショナル，1991。
- 7) 小林毅之：〔分担〕1. 局所麻酔薬，2. 局所麻酔薬の臨床的特徴，3. 局所麻酔による合併症，4. 前投薬およびモニタリング“局所麻酔ハンドブック”（横山和子監訳）。メディカル・サイエンスインターナショナル，1991。

学会発表

- 1) 横山和子，松尾千恵美，森田麻記子，半田亜紀子：〔一般講演〕慢性関節リウマチ患者における貧血と脊椎麻酔。第35回日本リウマチ学会総会，1991。
- 2) 益田律子，横山和子：〔一般講演〕The changes of ventilation under high spinal anesthesia；The effect of hypotension. AOSRA Symposium on Regional Anesthesia 第1回国際局所麻酔シンポジウム（台北），1991。
- 3) 松尾千恵美，横山和子，森田麻記子，半田亜紀子：〔一般講演〕Anemia takes no effects on spinal hypotension in RA patients. AOSRA Symposium on Regional Anesthesia 第1回国際局所麻酔シンポジウム（台北），1991。
- 4) 横山和子，松尾千恵美，森田麻記子，半田亜紀子：〔一般講演〕The influence of operative posture on the spread of spinal bupivacaine analgesia. AOSRA Symposium on Regional Anesthesia 第1回国際局所麻酔シンポジウム（台北），1991。
- 5) 横山和子：〔特別講演〕Epidural anesthesia for thoracic surgery. AOSRA Symposium on Regional Anesthesia

第1回国際局所麻酔シンポジウム(台北), 1991.

- 6) 松尾千恵美, 小林毅之, 横山和子, 中山恵二¹⁾, 脊藤陽子¹⁾, 青木雅子¹⁾ (1)第一病院皮膚科): [一般講演] スクラッチテストでアナフラキシーショックを来した1症例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 7) 横山和子: [特別講演] 全身麻酔と硬膜外麻酔の併用. 日本大学医学会第74回例会, 1991.
- 8) 田村高子, 中井章人¹⁾, 横山和子 (1)第一病院産婦人科): [一般講演] 硬膜外麻酔中に心停止を来した1症例. 第12回日本循環制御医学会総会, 1991.
- 9) 森田麻紀子, 横山和子: [一般講演] 硬膜外カテーテルによる脊椎麻酔の発見が遅れた1症例. 第12回日本循環制御医学会総会, 1991.
- 10) 近江禎子, 繁田正毅¹⁾, 横山和子 (1)公立昭和病院麻酔科): [一般講演] 冠スバズムが疑われた1症例. 第12回日本循環制御医学会総会, 1991.
- 11) 森田麻紀子, 益田律子, 横山和子: [一般講演] 術後疼痛管理における硬膜外 PCA の有用性. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 12) 半田亜紀子, 横山和子: [展示] 大量出血時に見られた心筋虚血を思わせる心電図変化. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 13) 河辺満彦¹⁾, 飯野靖彦¹⁾, 竹内正至¹⁾, 松信精一¹⁾, 葉山修陽¹⁾, 原 一男¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 中井章人²⁾, 越野立夫²⁾, 益田律子, 横山和子 (1)第一病院人工透析室, 2)同産婦人科): [展示] 慢性維持透析患者における出産の1症例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 14) 横山和子, 小林毅之: [一般講演] Arterial blood gas and pH during apnea. Third World Congress on Sleep Apnea and Rhonchopathy (東京), 1991.
- 15) 松尾千恵美, 横山和子: [一般講演] ハローベスト装着中患者で硬膜外カテーテルよりの注入が困難になった1症例. 第31回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1991.
- 16) 森田麻紀子, 横山和子: [一般講演] エアータンケットによって駆血しえなかった人工膝関節置換術の1例. 第31回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1991.
- 17) 半田亜紀子, 田村高子, 横山和子: [一般講演] 受傷後43年を経過した巨大外傷性横隔膜ヘルニアの麻酔経験. 第31回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1991.
- 18) 佐藤英記, 横山和子: [一般講演] Epidural anaesthesia and serum catecholamine concentrations during thoracic surgery. 5th International Symposium Endocrinology in Anesthesia and Critical Care Medicine (Berlin), 1991.
- 19) 益田律子, 横山和子, 田村高子: [一般講演] 内視鏡的肺嚢胞縫縮術における麻酔管理. 第13回日本手術部医学会総会, 1991.
- 20) 横山和子: [教育講演] 脊椎麻酔の up to date. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 21) 松尾千恵美, 半田亜紀子, 横山和子: [一般講演] 原発性アルドステロン症の麻酔経験. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 22) 佐藤英記, 横山和子: [一般講演] 0.25%等比重プロピバカインによる RA 患者の脊椎麻酔. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 23) 中村京子, 横山和子: [一般講演] 脊椎麻酔の麻酔高と心拍数の変動について. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 24) 近江禎子, 横山和子, 吉川秀康¹⁾ (1)虎ノ門病院麻酔科): [一般講演] 脊椎麻酔中に気管支喘息発作を起こした1症例. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 25) 横山和子: [一般講演] Pencil point 脊椎麻酔針による麻酔の広がりについて. 第4回局所麻酔研究会, 1991.
- 26) 後藤真弓, 横山和子: [フォーラム] 重症心疾患を合併した高齢者の麻酔経験. 第4回老年麻酔研究会, 1992.

[第二病院麻酔科]

研究概要

硬膜外麻酔および脊椎麻酔における呼吸機能の影響について、特に産科麻酔としての利用から引き続き研究を継続した。

また、若年女性の喫煙率が増加する中で、手術患者としての影響を当院産婦人科手術患者での術前呼吸機能のデータから統計的検討を加えた。

男性の喫煙率は、女性と比べ数倍も多いが、各年代において減少傾向にあるとされている。

一方、女性の年代別喫煙率は、若年女性での増加傾向を示していた。これらにおける呼吸機能の成績は、年齢が高くなるにつれて明らかに喫煙者では悪く、若年者においても同年代の非喫煙者と比べ低下の傾向を示し、麻酔施行上、十分な注意が必要と思われた。

麻酔管理の報告としては、手術により多量のカテコラミンを減少し得た STA-MCA バイパス例や術中ペーシングによる麻酔管理などを報告した。

研究業績

論文

- 1) 紙谷裕昭, 島田洋一: [総説] 帝王切開術の麻酔. 臨床麻酔, 15, 1002~1009, 1991.
- 2) 福代泰彰, 赤羽日出男, 菊池 淳, 鈴木万三, 島田洋一: [報告] 透析患者における術中 ECUM 使用の経験. 臨床麻酔, 5, 1609~1610, 1991.

学会発表

- 1) 菊池三郎¹⁾, 江川正弥¹⁾, 米田義典¹⁾, 山藤泰功¹⁾, 松本譲二¹⁾, 島田洋一, 関谷政雄²⁾(¹⁾産婦人科, ²⁾健康管理科): [シンポジウム] 喫煙と健康. 第23回日本医学会総会, 1991.
- 2) 望月 功¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 麦谷圭一郎¹⁾, 原 亨¹⁾, 土屋喜哉¹⁾, 橋本雅人¹⁾, 関野圭一¹⁾, 杉本季久造 (¹⁾東戸塚記念病院外科): [一般講演] 特発性食道穿孔の2治験例. 第30回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 3) 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 杉本季久造, 島田洋一, 小川 龍¹⁾(¹⁾付属病院麻酔科): [一般講演] STA-MCA バイパス術により外量のカテコラミンを減量し得た1例. 第12回日本循環制御医学会, 1991.
- 4) 江川正弥¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 内木亮介, 島田洋一 (¹⁾産婦人科): [一般講演] 産婦人科手術患者の術前呼吸機能と喫煙. 第82回産科婦人科学会関東連合地方部会, 1991.
- 5) 小林三平¹⁾, 江川正弥¹⁾, 松本譲二¹⁾, 高橋 通¹⁾, 石原楷輔¹⁾, 島田洋一 (¹⁾産婦人科): [一般講演] 喫煙と慢性炎症. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 7) 小林三平¹⁾, 江川正弥¹⁾, 松本譲二¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 島田洋一 (¹⁾産婦人科): [一般講演] 婦人における喫煙の利害. 第280回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1991.
- 8) 赤羽日出男, 木下隆央, 紙谷裕昭, 島田洋一: [展示] 一過性完全左脚ブロックを有する患者に一時的ペーシング・カテーテルを挿入し, 術中, 術後管理をした1症例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 9) 紙谷裕昭, 赤羽日出男, 鈴木万三, 菊池 淳, 杉本季久造, 島田洋一: [展示] 帝王切開時の脊椎麻酔が妊婦の呼吸機能に与える影響について. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.

[多摩永山病院麻酔科]

研究概要

当医局では疼痛に対する研究を主なテーマとしており、三叉神経痛やヘルペス後神経痛等の慢性痛に対しブロック・神経破壊術を積極的に行い、その除痛効果について症例を積み重ねている。

手術後の pain については、小児の術後痛に対する最も有効な除痛法として仙骨ブロックや非麻薬性鎮痛薬坐剤の比較検討を行っている。

また、下部尿路や会陰大腿部に分布する閉鎖神経や座骨神経のブロックを行い、TUR-P 時の電気メス使用による膀胱収縮に与える影響について検討した。同時に簡単で有用な循環指標として末梢静脈圧 (CORRP) を報告したが、これを TUR-P 時の水分吸収の指標として使用し、その変動についても合わせて検討している。

吸入麻酔では、口腔内手術に多用される径鼻挿管の熟練度による手技の差異や笑気が拡散しにくい素材を用いたカフの内圧変化についても検討した。各種薬剤による低血圧麻酔では、筋弛緩剤の作用時間への影響について比較した。

ショックの分野では、カテコラミン長時間使用時における down regulation の抑制について steroid の有効性を臨床的に検討したが、動物モデルによる基礎的な研究も開始した。

研究業績

論文

- 1) Saito, T., Yamada, K., Kitamura, A., Ishihara, Y., Amamoto, H. and Ogawa, R.: [原著] Corticosteroid effect on down regulation in beta adrenergic receptors. Journal of Anesthesia, 6, 226~228, 1992.

学会発表

- 1) 平岡保紀¹⁾, 原 真²⁾, 木村 剛³⁾, 山田光輝, 石原之法, 北村 晶, 天本治夫, 加藤信也: (1)多摩永山病院泌尿器科): [一般講演]経尿道的前立腺剝離切除術施行時に誘発される前立腺被膜の反射性収縮と閉鎖神経ブロックによる予防効果. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 2) 加藤信也, 山田光輝, 石原之法, 天本治夫, 北村 昌: [一般講演]低血圧麻酔がベクロニウムの筋弛緩持続時間に与える影響. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 3) 天本治夫, 加藤信也, 石原之法, 山田光輝: [展示]経鼻挿管手技における麻酔医の熟練度による差異の検討. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.
- 4) 北村 晶, 石原之法, 山田光輝, 小川 龍, 香西 正: [展示]特殊素材を用いたガスバリアーカフの圧変動の検討. 第11回日本臨床麻酔学会総会, 1991.

18. 救急医学講座

〔付属病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター〕

研究概要

「医の原点である救急医療」としての社会的側面を持つことが救急医学が他の診療科目と一線を画する由縁である。また、救急医学としての独自の研究課題のみならず、脳外科領域・胸部外科領域・腹部外科領域および整形外科領域、さらには精神科領域などにまたがる多方向性を持った研究発表と症例報告がなされることも当教室の特徴である。

平成4年よりスタートする救急救命士制度に向けた救急医療システムの将来像、プレホスピタルケアの現在の問題点が発表された。また、難民医療・戦傷者治療の貴重な経験を踏まえて、国際救急災害医療に関する報告がなされた。脳死の病態や脳死判定と臓器移植についての医学的・社会的問題点について、当センターでの解析がいくつか発表された。

重度外傷の初期治療におけるピットフォールや、緊急検査データの評価について教育講演を含む発表があり、緊急画像診断の読影のポイントについてシリーズで発表された。救急蘇生における骨髄内輸液の有効性と有用性がビデオシンポジウムを含め発表された。重症頭部外傷における各種モニタリングの問題点、胸部・心臓血管外傷の病態の解析と治療成績が教育講演を含め、多数発表された。腹部外傷においては、重症肝損傷に対する手術術式の選択を中心にその治療成績が解析された。また、心停止の迫った重症外傷に対するERT(救急室開胸)の治療成績と有効性が多数症例について解析された。多発外傷に合併する重度骨盤骨折は、創外固定・TAEなど集学的治療を要する病態であり、外傷治療におけるその重要性と問題点が解析された。広範囲熱傷の病態の解析と治療(早期植皮術や栄養管理)について教育講演を含め発表された。他施設との共同研究により、院内感染症特にMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)の疫学的検討が発表された。また、当センターに搬入される自殺企図者について、精神医学的観点からの分析が発表された。

研究業績

論文

- 1) 大塚敏文：〔総説〕エディトリアル；外傷外科医の育成を。救急医学，14，1435～1436，1991。
- 2) 大塚敏文：〔総説〕厚生省のめざすプレホスピタルケアの改革とはなにか。医学のあゆみ，156，414，1991。
- 3) 大塚敏文：〔総説〕救急救命士法。治療，73，1404～1405，1991。
- 4) 大塚敏文：〔総説〕edition日本の救急医療。からだの科学，161，35，1991。
- 5) 大塚敏文：〔総説〕日本における救急医療システム。からだの科学，161，34～361，1991。
- 6) 大塚敏文：〔総説〕救急医学教育とこれからのプレホスピタル・ケア。日内会誌，80，1857～1858，1991。
- 7) 大塚敏文：〔総説〕救急救命士養成。理学療法ジャーナル，26，137，1992。
- 8) 柴田泰史¹⁾，上田ひろみ¹⁾，紺野明子¹⁾，佐藤寛之¹⁾，本山三生¹⁾，山下精彦¹⁾，辺見 弘，益子邦洋，安田和弘，横田裕行，大塚敏文^{(1)中央検査部}：〔原著〕外傷患者における凝固線溶系の変動。Kameraden，14，9～13，1991。
- 9) 辺見 弘，川井 真，辻井厚子：〔原著〕早期植皮に関する論点。集中治療，4，265～268，1992。
- 10) 辺見 弘，安田和弘，川井 真：〔原著〕熱傷の水・電解質管理。集中治療，3，869～878，1992。
- 11) 辺見 弘：〔原著〕救急患者の重症度判定，熱傷。救急医学，16，149～154，1992。
- 12) 辺見 弘，安田和弘，川井 真，呉 志宏：〔原著〕コロイドを早期投与しない輸液管理。救急医学，15，1007～1011，1991。
- 13) 辺見 弘，安田和弘，川井 真：〔原著〕熱傷。救急医学，16，149～153，1992。

- 14) 渡辺信夫, 岩崎康孝, 黒澤 尚, 布施理美¹⁾, 大塚敏文 (¹⁾医療管理): [原著]第三次救急施設におけるリエゾンサービス; 第5報 自殺未遂者の転医先. 日救急医学会誌, 12, 598~599, 1991.
- 15) 岩崎康孝, 黒澤 尚: [総説]肺移植の精神医学的側面. 医学のあゆみ, 150, 9~26, 1991.
- 16) 黒澤 尚, 中村加枝¹⁾ (¹⁾神経科): [総説]向精神薬過量服用の救急治療. 神経薬理, 14, 11~123, 1992.
- 17) 渡辺信夫, 黒澤 尚: [総説]集中治療の場における睡眠障害. 治療, 74, 657~660, 1992.
- 18) 岩崎康孝, 黒澤 尚: [総説]うつ病と自殺;重症自殺未遂者の現場から. 医学のあゆみ, 160, 836~839, 1992.
- 19) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑥無気肺. 救急医学, 15, 450~453, 1991.
- 20) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑦特発性食道破裂. 救急医学, 15, 574~577, 1991.
- 21) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑧脾損傷. 救急医学, 15, 694~697, 1991.
- 22) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑨巨大肺嚢胞. 救急医学, 15, 816~819, 1991.
- 23) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑩破裂性腹部大動脈瘤. 救急医学, 15, 952~955, 1991.
- 24) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑪破裂性胸部大動脈瘤. 救急医学, 15, 1090~1093, 1991.
- 25) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑫外傷性横隔膜ヘルニア. 救急医学, 15, 1220~1223, 1991.
- 26) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑬自然気胸. 救急医学, 15, 1692~1695, 1991.
- 27) 益子邦洋: [総説]緊急画像診断;読影のポイント⑭右心室破裂. 救急医学, 15, 1828~1831, 1991.
- 28) 益子邦洋, 大塚敏文: [総説]外科臨床医のための基本手技マニュアル心マッサージ. 外科治療, 64, 706~712, 1991.
- 29) 益子邦洋, 布施理美¹⁾ (¹⁾医療管理): [総説]自殺未遂者;救急医療の現場における諸問題. 救急医学, 15, 655, 1991.
- 30) 益子邦洋, 木村昭夫: [総説]胸部外傷に伴う呼吸不全. 救急医学, 15, 775~783, 1991.
- 31) 長谷川雄二, 益子邦洋: [総説]緊急開胸手術の適応とタイミング. Emergency Nursing, 4, 598~603, 1991.
- 32) 益子邦洋: [総説]救命救急センターの現状と問題点. からだの科学, 161, 81~85, 1991.
- 33) 益子邦洋: [総説]DOAをめぐる諸問題. 東京消防, 10, 30~45, 1991.
- 34) 益子邦洋, 大塚敏文: [総説]救急医療の現状と将来. Medical Risk Management, 44, 2~5, 1991.
- 35) 益子邦洋, 大友康裕: [総説]腎不全・心不全のマネージメント. 診断と治療, 80, 89~93, 1992.
- 36) 益子邦洋: [総説]Don't & Do. ショック. Modern Physician, 12, 462, 1992.
- 37) 益子邦洋, 小関一英, 大塚敏文: [原著]腹部外傷の統計と最近の傾向. 外科, 53, 572~579, 1991.
- 38) 益子邦洋, 小関一英, 大塚敏文: [原著]救命救急ユニットの構成と運営. 総合臨, 40, 2637~2643, 1991.
- 39) 益子邦洋: [原著]心臓血管の外傷. 循環制御, 12, 655~667, 1991.
- 40) 益子邦洋, 小関一英, 加藤一良, 大塚敏文: [原著]最近の胸部外傷. 外科, 54, 118~125, 1992.
- 41) 益子邦洋, 木村昭夫, 上田ひろみ¹⁾, 柴田泰史¹⁾ (¹⁾中央検査部): [原著]挿管・人工呼吸器使用中の患者の感染症. 集中治療, 4, 417~425, 1992.
- 42) 千葉善三, 辺見 弘, 安田和弘, 川井 真, 大塚敏文: [症例報告]出血性ショック離脱時に敗血症, DIC, MOFに陥った多発外傷例. バイオメディカル, 1, 23~28, 1991.
- 43) 大塚敏文, 山本保博, 黒川 顕, 安田和弘, 横田裕行, 牧野敏郎, 木村昭夫, 述井厚子, 西澤健司: [原著]重症患者における胃液分泌に対するシメチジン注の抑制効果の検討. 薬理と治療, 19, 231~241, 1991.
- 44) 黒澤 尚, 岩崎康孝: [総説]救命救急センターに収容された自殺未遂者への対応. 日精病協誌, 10, 50~53, 1991.
- 45) 岩崎康孝, 黒澤 尚: [総説]ピペリデン. 救急医学, 15, 440, 1991.
- 46) 岩崎康孝, 黒澤 尚: [総説]ハロペリドール. 救急医学, 15, 438~439, 1991.
- 47) 岩崎康孝, 黒澤 尚: [総説]心因反応. 救急医学, 15, 931~933, 1991.
- 48) 岩崎康孝, 黒澤 尚: [総説]救急患者にみられる精神症状とその対応. Emergency Nursing, 4, 670~675, 1991.

- 49) 黒澤 尚, 岩崎康孝:〔総説〕救命救急センターに収容された自殺企図者の実態. 救急医学, 15, 651~653, 1991.
- 50) 黒澤 尚, 岩崎康孝, 渡辺信夫, 岸 泰宏¹⁾, 中村加枝¹⁾, 布施理美²⁾ (¹⁾神経科, ²⁾医療管理):〔総説〕救命救急センターに収容された自殺企図者の実態. 精神保健研究, 37, 71~81, 1991.
- 51) 岩崎康孝, 黒澤 尚:〔総説〕救急患者にみられる精神症状とその対策. Emergency Nursing, 4, 670~675, 1991.
- 52) 渡辺信夫, 黒澤 尚:〔総説〕せん妄とは. 集中医療, 3, 1149~1153, 1991.
- 53) 安田和弘:〔総説〕救急看護の基礎技術, 頭蓋内圧. Emergency Nursing, 4, 65~70, 1991.
- 54) 安田和弘:〔総説〕救急患者に続発する感染症, 熱傷による感染. Emergency Nursing, 4, 24~29, 1991.
- 55) 安田和弘:〔総説〕重症患者における intestinal decontamination (特集:消化管と集中治療). 集中治療, 4, 133~138, 1992.
- 56) 安田和弘:〔総説〕各論 I. 難治性感染症対策, MRSA 感染症対策(特集:重症救急患者の感染対策). 救急医学, 16, 293~295, 1992.
- 57) 吉田竜介¹⁾, 森川雅浩¹⁾, 山本保博 (¹⁾亀田総合病院):〔報告〕妊娠31週にて受傷した肺挫傷, 骨盤骨折の1例:妊婦のシートベルト着用のは非に関して. 日外傷研会誌, 5, 185~188, 1991.
- 58) 吉田竜介¹⁾, 辺見 弘 (¹⁾亀田総合病院):〔報告〕出血源検索に難渋した大腿部 non-cavitary hemorrhage の1例. 救急医学, 15, 1224, 1225, 1991.
- 59) 吉田竜介¹⁾ (¹⁾亀田総合病院):〔報告〕大腿部膿瘍および敗血症を伴った閉鎖孔ヘルニアの1例. 救急医学, 15, 1696~1697, 1991.
- 60) 吉田竜介¹⁾, 相星淳一¹⁾, 山本保博 (¹⁾亀田総合病院):〔報告〕医療従事者に対する BLS 講習の経験. 日救急会関東誌, 12, 616~618, 1991.
- 61) 横田裕行, 中沢省三:〔総説〕致命的脳損傷と脳波および脳死の定義. 総合臨, 40, 32~41, 1991.
- 62) 横田裕行, 辺見 弘, 大塚敏文:〔総説〕救急医学; 外傷の画像診断. 頭部外科, 15, 499~505, 1991.
- 63) 横田裕行:〔総説〕緊急画像診断; 読影のポイント. 救急医学, 16, 221~223, 1992.
- 64) 横田裕行, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文:〔総説〕頭部外傷急性期における画像診断. Emergency Nursing, 5, 181~187, 1992.
- 65) 横田裕行, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 矢嶋浩三¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科):〔原著〕Diffuse axonal injury における頭蓋内圧, 聴性脳幹反応測定の意義. 脳神外科, 20, 217~221, 1992.
- 66) 横田裕行:〔総説〕緊急画像診断; 読影のポイント. 救急医学, 16, 353~355, 1992.
- 67) 横田裕行, 辺見 弘, 西澤健司, 加藤一良, 安田和弘, 大塚敏文 (¹⁾薬剤部):〔原著〕Ceftriaxone sodium (CTRX) の髄液内移行について. 救急医学, 16, 359~362, 1992.
- 68) 小関一英, 大塚敏文:〔総説〕複合臓器不全の予防あるいは治療への挑戦と可能性. 集中治療, 3, 1107~1117, 1991.
- 69) 川井 真, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 大塚敏文:〔原著〕創外固定を行った重度骨盤骨折の初期治療の検討. 日救急会関東誌, 12, 26~30, 1991.
- 70) 木村昭夫, 益子邦洋, 加藤一良, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文:〔原著〕鈍的鎖骨下動脈損傷例の検討. 日本外傷研究会誌, 5, 146~150, 1991.
- 71) 勝見 敦, 辻井厚子, 川前金幸, 辺見 弘, 大塚敏文:〔原著〕成人救急患者の骨髄内輸液の検討. 日救急会関東誌, 12, 222~223, 1991.
- 72) 久志本成樹, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 小関一英, 加藤一良, 大塚敏文:〔報告〕劇症肝炎治療における血漿交換の意義. 集中治療, 4, 383~384, 1992.
- 73) Yokota, H., Kurokawa, A., Otsuka, T. and Kobayashi, S.:〔原著〕Significance of magnetic resonance in acute head injury. J. Trauma., 31, 351~357, 1991.
- 74) 横田裕行, 大塚敏文:〔原著〕脳死判定基準; 全国医学部, 医科大学付属病院のアンケート調査から. 医学のあ

- ゆみ, 157, 649~650, 1991.
- 75) 横田裕行, 中沢省三¹⁾, 小林士郎¹⁾, 岡田卓郎¹⁾, 矢嶋浩三¹⁾, 辻 之英¹⁾(¹⁾脳神経外科):〔原著〕頭部外傷軽症, 中等症例における magnetic resonance imaging (MRI) 所見. CT 研究, 13, 55~60, 1991.
- 76) 横田裕行, 辺見 弘, 安田和弘, 益子邦洋, 大塚敏文:〔総説〕脳血管障害; 術後管理. 救急医学, 15, 1677~1681, 1991.
- 77) 大塚敏文, 横田裕行:〔原著〕脳死判定による臓器移植; 本邦における現時点の問題点を中心に. 日外科系連合誌, 24, 43~45, 1991.
- 78) 横田裕行, 安田和弘, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科):〔原著〕Magnetic resonance imaging (MRI) による慢性脳損傷の考察. 脳神経外科, 20, 15~20, 1991.
- 79) 横田裕行, 中沢省三¹⁾, 志村俊郎¹⁾, 木村昭夫, 山本保博, 大塚敏文(¹⁾脳神経外科):〔原著〕脳死患者における視床下部下垂体機能. Neurol. Med. Chir. (Tokyo), 31, 881~886, 1991.
- 80) 中沢省三¹⁾, 横田裕行, 石郷岡聡¹⁾(¹⁾脳神経外科):〔総説〕重症脳障害における頭蓋内圧と脳循環動態. 神経進歩, 36, 271~281, 1992.
- 81) 横田裕行:〔総説〕緊急画像診断; 読影のポイント. 救急医学, 16, 101~104, 1992.
- 82) 岩崎康孝:〔総説〕不安発作. Medical Practice, 1991.
- 83) 岩崎康孝:〔総説〕うつ病と自殺. 医学のあゆみ, 160, 836~839, 1992.
- 84) 岩崎康孝:〔総説〕日本医科大学付属病院救命救急センターに収容された自殺企図者の実態. 救急医学, 15, 626~627, 1991.
- 85) 岩崎康孝:〔総説〕救命救急センターに収容された自殺企図者の実態12施設のまとめ. 救急医学, 15, 651~654, 1991.
- 86) 川並汪一¹⁾, 松田 潔, Yoneyama, H., Ferrans, V. and Crystal, R.G. (¹⁾第二病院病理部):〔原著〕Endothelial fenestration of the alveolar capillaries in interstitial fibrotic lung diseases. Acta Pathologica Japonica, 3, 177~184, 1992.
- 87) 後藤真弓, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 加藤一良, 久志本成樹, 辻井厚子, 大塚敏文:〔報告〕Pedicled pleural flap を修復に用いた特発性食道破裂の1例. 日救急医学会関東誌, 12, 430~432, 1991.
- 88) 渡辺信夫, 黒澤 尚:〔総説〕急性期における精神症状. 集中治療, 4, 321~322, 1992.
- 89) 渡辺信夫, 黒澤 尚:〔総説〕集中治療の場における睡眠障害. 治療, 74, 657~660, 1992.
- 90) 岩崎康孝:〔総説〕けいれん発作. Medical Practice, 1991.
- 91) 渡辺信夫, 黒澤 尚:〔総説〕術後合併症とその対策; 精神症状. 脊椎脊髄ジャーナル, 5, 000~189, 1992.
- 92) 益子邦洋, 大友康裕:〔総説〕体液・電解質マネージメントのチェックポイント; 腎不全, 心不全のマネージメント. 診断と治療, 80, 89~93, 1992.
- 93) 重盛千香¹⁾, 加地正人¹⁾, 勝見 毅¹⁾, 大友康裕¹⁾, 安田和弘, 山本保博, 辺見 弘(¹⁾総合会津中央病院救命救急センター):〔原著〕DPV にて確定診断した右横隔膜損傷の1例; DPL についての有用性の検討. 日救急医学会関東誌, 12, 412~414, 1992.
- 94) 平間久雄, 辺見 弘, 安田和弘, 川井 真, 望月 徹, 添田良知, 大塚敏文:〔原著〕広範囲熱傷患者における凝固線溶系の変化. 日救急医学会関東誌, 12, 232~233, 1991.
- 95) 二宮宣文:〔報告〕アフガニスタン難民に対する赤十字国際委員会の活動. 救急医学, 15, 1819~1822, 1992.
- 96) 川井 真, 安田和弘, 辺見 弘:〔原著〕臓器損傷を伴う開放性骨折の初期治療. 骨・関節・靭帯, 4, 1773~1779, 1991.

著 書

- 1) 大塚敏文:〔共著〕救急医療ファーストエイドマニュアル. メディックジャパン, 1991.

- 2) 大塚敏文：〔共著〕 心臓病学. 10：外傷性心疾患. p. 1362～1365, 南江堂, 1991.
- 3) 大塚敏文：〔編集〕 手術・救急・ICU (医工学治療機器マニュアル), 金原出版, 1991.
- 4) 大塚敏文：〔分担〕 今日の治療指針：救急医療体制の動向. 医学書院, 1992.
- 5) 辺見 弘：〔分担〕 熱傷の局所治療. 今日の治療指針. p. 34, 医学書院, 1992.
- 6) 辺見 弘：〔分担〕 凍結皮膚の臨床. 救急医学テキスト. 医学書院, 1991.
- 7) 黒澤 尚, 西松能子：〔分担〕不安発作；救急を中心として. (高橋 徹編), パニック・デイスオーダー. p. 86～88, ライフ・サイエンス, 1992.
- 8) 黒澤 尚：〔分担〕 突然の不安発作 (日野原重明 阿部正和編) 今日の治療指針 8. 医学書院, 1992.
- 9) 益子邦洋：〔分担〕 フレイルチェスト, 家庭医学大全科 (中尾喜久, 植村恭夫, 高久 麿, 鈴木章夫監修). p. 1380～1381, 社会保険法規研究会, 1991.
- 10) 益子邦洋：〔分担〕 心タンポナーデ, 家庭医学大全科 (中尾喜久, 植村恭夫, 高久 麿, 鈴木章夫監修). p. 1381～1382, 社会保険法規研究会, 1991.
- 11) 大塚敏文, 益子邦洋：〔分担〕外傷性心疾患, 心臓病学(細田嗟一, 杉本恒明編集). p. 1362～1365, 南江堂, 1991.
- 12) 益子邦洋：〔分担〕開胸心マッサージ, 今日の治療指針；1992年版(日野原重明, 阿部正和監修). p. 44, 医学書院, 1992.
- 13) 安田和弘他：〔原著〕救急隊員標準課程テキスト(監修 自治省消防庁救急救助課)(編集 救急隊員用教本作成委員会). へるす出版, 1992.
- 14) 吉田竜介：〔分担〕「咬傷, 刺傷」小外科看護マニュアル(鈴木 忠編). p. 230～231, メヂカルフレンド社, 1991.
- 15) 吉田竜介：〔分担〕「外傷/腸間膜損傷, 消化管損傷, 腹部動静脈損傷, 直腸肛門損傷」家庭医学大全科 (中尾喜久等編). p. 1386～1388, 社会保険法規研究会, 1991.
- 16) 黒澤 尚, 市橋秀夫¹⁾, 皆川邦直¹⁾ (¹⁾東京都精神医学研究所)：〔編集〕精神分裂病. 星和書店, 1991.
- 17) 黒澤 尚：〔分担〕：精神分裂病の自殺未遂, 精神分裂病(黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編). p. 87～94, 星和書店, 1991.
- 18) 黒澤 尚他：〔分担〕各抗精神病薬の特性, 精神分裂病(黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編). p. 163～176, 星和書店, 1991.
- 19) 黒澤 尚：〔分担〕私の処方, 精神分裂病(黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編). p. 183～186, 星和書店, 1991.
- 20) 黒澤 尚：〔分担〕救急医療の場での精神分裂病の自殺未遂者, 精神分裂病(黒澤 尚, 市橋秀夫, 皆川邦直編). p. 263～267, 星和書店, 1991.
- 21) 黒澤 尚：〔分担〕救急精神医療, 自殺, 老年精神医学マニュアル(長谷川和夫, 清水 信編). p. 102～116, 金原出版, 1991.
- 22) 黒澤 尚：〔分担〕救急精神疾患, 日本救急医学会監修, 標準救急医学. p. 410～417, 医学書院, 1991.
- 23) 春日武彦, 黒澤 尚：〔分担〕日本における現状と歴史, コンサルテーション・リエゾン精神医学(岩崎徹也編). p. 15～20, 金原出版, 1991.
- 24) 黒澤 尚：〔分担〕精神障害, 救急隊員標準課程テキスト(自治省消防庁救急救助課監修). p. 202～204, ヘルス出版, 1992.
- 25) 黒澤 尚：〔分担〕ICUで見られる精神症状とその対策, 集中治療における循環管理(細田嗟一編). p. 280～288, ヘルス出版, 1992.
- 26) 二宮宣文：〔分担〕脳挫傷, 頭部外傷後遺症, 外傷性てんかん, 脳振盪(家庭医学大全科). p. 1363～1365, 社会保険法規研究会, 1991.
- 27) 加藤一良：〔翻訳〕公立病院の救急部における診療順番待ちの及ぼす影響について. 13, p. 45～50, JAMA, (日本語版), 1992.

学会発表

- 1) 大塚敏文：〔特別講演〕救急医療システムの問題点と将来像。第8回東海救急医学会，1992。
- 2) 大塚敏文：〔指定発言〕多臓器不全。第92回日本外科学会，1992。
- 3) 柴田泰史¹⁾，上田ひろみ¹⁾，紺野明子¹⁾，佐藤寛之¹⁾，本山三生¹⁾，皆川 彰¹⁾，辺見 弘，益子邦洋，安田和弘，大塚敏文（¹⁾中央検査部）：〔一般講演〕外傷におけるCKアミンの検討。第5回日本外傷研究会，1991。
- 4) 柴田泰史¹⁾，上田ひろみ¹⁾，本山三生¹⁾，山下精彦¹⁾，辺見 弘，安田和弘，小関一英，大塚敏文（¹⁾中央検査部）：〔一般講演〕当救命救急センターにおける全自動血液ガス電解質測定装置 stat profile 5の検討。第32回日本救急医学会関東地方会，1992。
- 5) 後藤真弓，横山和子：〔フォーラム〕重症心疾患を合併した高齢者の麻酔経験。第4回老年麻酔研究会，1991。
- 6) 辺見 弘：〔教育講演〕熱傷治療のトピックス。第19回日本救急医学会総会，1991。
- 7) 辺見 弘：〔シンポジウム〕Prehospital care：救急救命士の問題点。第19回日本集中治療学会，1992。
- 8) 辺見 弘：〔ワークショップ〕臍損傷分類。第5回日本外傷研究会，1991。
- 9) 辺見 弘：〔一般講演〕新しい熱傷の治療。山梨県医師会，日本腹部救急，1991。
- 10) 辺見 弘：〔一般講演〕三次救急施設の現況。東海放射線技師会，日本腹部救急，1991。
- 11) 辺見 弘：〔一般講演〕広範囲熱傷治療。栃木県医師会，日本腹部救急，1992。
- 12) 川井 真，辺見 弘，益子邦洋，安田和弘，山口圭介，相星淳一，大塚敏文：〔一般講演〕骨盤創外固定法による修復の工夫。第31回日本救急医学会関東地方会，1991。
- 13) 大泉 旭，辺見 弘，益子邦洋，安田和弘，川井 真，小坂洋史，添田良知，大塚敏文：〔一般講演〕重篤なMNMSの3症例。第31回日本救急医学会関東地方会，1991。
- 14) 平間久雄，辺見 弘，安田和弘，川井 真，望月 徹，添田良知，大塚敏文：〔一般講演〕広範囲熱傷患者における凝固線溶系の変化。第31回日本救急医学会関東地方会，1991。
- 15) 黒澤 尚，岩崎康孝，長谷川朝穂，渡辺信夫，倉持 穰，山田和男：〔一般講演〕精神科卒後教育における身体医療の研修について。第87回日本精神神経学会総会，1991。
- 16) 吉河達祐，金 正，中西一浩，井上哲夫，小川 龍，岩崎康孝，黒澤 尚：〔シンポジウム〕小児患者の術前・術後の心身医学的諸問題。第32回日本心身医学会総会，1991。
- 17) 渡辺信夫，岩崎康孝，黒澤 尚，大塚敏文：〔一般講演〕救急施設に搬入される服薬自殺未遂者について；第5報 家族構成。第13回日本中毒研究会，1991。
- 18) 広常秀人¹⁾，岩崎康孝¹⁾，飛鳥井望¹⁾，鷓飼 卓¹⁾，黒澤 尚，佐々木仁也¹⁾，篠原 隆¹⁾，堤 邦彦¹⁾，保坂正昭¹⁾，横山雅一¹⁾（¹⁾日本救命医学会精神保健委員会）：〔パネルディスカッション〕自殺未遂者の転医先に関するアンケート調査報告。第19回日本救急医学会総会，1991。
- 19) 岩崎康孝，黒澤 尚，保坂正昭¹⁾，横山雅一¹⁾，飛鳥井望¹⁾，堤 邦彦¹⁾，篠原 隆¹⁾，佐々木仁也¹⁾，鷓飼 卓¹⁾，広常秀人¹⁾（¹⁾日本救命医学会精神保健委員会）：〔一般講演〕せん妄の治療について；全国の高次救命救急医療施設のアンケート調査から。第19回日本救急医学会総会，1991。
- 20) 渡辺信夫，岸 泰宏¹⁾，中村加枝¹⁾，布施理美²⁾，黒澤 尚（¹⁾神経科，²⁾医療管理）：〔一般講演〕第三次救急施設におけるリエゾンサービス；第4報 入室後1週間以内の精神症状。第19回日本救急医学会総会，1991。
- 21) 黒澤 尚，岩崎康孝：〔パネルディスカッション〕Consultation-liaison psychiatry in critical care medical center. Third Annual Meeting of Association of American General Hospital Psychiatrist (Boston)，1992。
- 22) 岸 泰宏¹⁾，高木宏昌¹⁾，竹原 恵¹⁾，黒澤 尚，遠藤俊吉¹⁾，岩崎康孝（¹⁾神経科）：〔一般講演〕救命救急センターから転科した自殺未遂症例の退院後の経過について。第4回日本総合病院精神医学会総会，1991。
- 23) 布施理美¹⁾，渡辺信夫，中村加枝²⁾，黒澤 尚，岩崎 榮¹⁾，遠藤俊吉²⁾（¹⁾医療管理，²⁾神経科）：〔ポスター〕Consultation-Liaison psychiatry 活動における精神科医の時間からみた業務量；第2報 回診・常勤型について。第4回日本総合病院精神医学会総会，1991。

- 24) 長崎文江¹⁾, 中村 稔¹⁾, 北島潤一郎¹⁾, 林 輝男¹⁾, 長岡幾雄¹⁾, 渡辺信夫, 中村加枝¹⁾, 岸 泰宏¹⁾, 黒澤 尚, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文 (¹⁾神経科): [一般講演] 交通事故による傷害者の実態: 第1報 収容機転と重傷度の関係. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 25) 益子邦洋: [教育講演] 心臓血管の外傷. 第12回日本循環制御医学会総会, 1991.
- 26) 益子邦洋: [シンポジウム] 救急医療と胸部外科医: 救急医療における外科医. 第16回日本外科系連合学会学術集会, 1991.
- 27) 益子邦洋, 辺見 弘, 安田和弘, 小関一英, 加藤一良, 木村昭夫, 大友康裕, 久志本成樹, 大塚敏文: [展示] 肺実質損傷に対する外科治療成績: 予後不良と関わる因子の検討を中心に. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 28) 益子邦洋, 辺見 弘, 安田和弘, 横田裕行, 小関一英, 加藤一良, 二宮宣文, 川井 真, 大塚敏文: [ワークショップ] 重度外傷の初期治療における pitfall; 外傷とプライマリーケア. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 29) 益子邦洋: [教育講演] 緊急検査データの評価. 平成4年度救急医学領域医師研修会(日本救急医学会), 1992.
- 30) 益子邦洋, 辺見 弘, 松田 潔, 勝見 敦, 大塚哲生, 大塚敏文: [パネルディスカッション] 救命救急センターへ搬送された急性呼吸障害患者の実態と診療上の問題点(救命一急性呼吸困難の対応). 第2回日本気管食道科学会認定医大会, 1992.
- 31) 益子邦洋, 辺見 弘, 小関一英, 安田和弘, 加藤一良, 木村昭夫, 大友康裕, 久志本成樹, 大塚敏文: [一般講演] 第三次救急医療の立場からみた血管外傷: 特異的病像を中心に. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 32) 安田和弘: [シンポジウム] 熱傷の早期手術. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 33) 小関一英, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 木村昭夫, 久志本茂樹, 長谷川雄二, 大塚敏文: [シンポジウム] 重症外傷例に対する aggressive CPR としての救急室開胸の実際と治療成績(CPRの理論と実際). 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 34) 加藤一良, 高橋良誌, 山口圭介, 木村昭夫, 高田 稔, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文: [シンポジウム] 臓器提供に関する報告: 第一線独立型救急医療施設での個人的経験から. 第27回日本移植学会総会, 1991.
- 35) 加藤一良, 木村昭夫, 小井土雄一, 大塚敏文: [パネルディスカッション] 脳死患者の心肺機能の評価: Swan ganz catheter を用いての検討: 臓器移植に関連した諸問題. 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 36) 加藤一良, 木村昭夫, 小井土雄一, 大塚敏文: [シンポジウム] 大都市型独立型救命救急センターにおける脳死判定と臓器提供. 実情と問題点: わが国における臓器移植の現況と問題点. 第53回日本臨床外科医学会, 1991.
- 37) Kato, K., Henmi, H., Mashiko, K., Koido, Y., Kushimoto, S. and Otsuka, T.: [一般講演] Blunt traumatic rupture of the pericardium. The 8th Congress of the Japan Chapter of the Pan-Pacific Surgical Association. 1991.
- 38) 加藤一良, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 川井 真, 木村昭夫, 久志本成樹, 大塚敏文: [ワークショップ] 多発外傷の治療成績と多部位同時手術に関する検討: 多発外傷. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 39) Ninomiya, M., Otsuka, T., Yamamoto, T., Henmi, H., Kurokawa, K., Yasuda, K. and Yokota, H.: [ポスター] The 15 years activities of NMSECCM center in Japan. 7th World Congress on Emergency and Disaster Medicine, 1991.
- 40) 二宮宣文, 甲斐達郎¹⁾(¹⁾大阪府立千里救命救急センター): [特別講演] ロケット弾による仙骨, 直腸, 膀胱, 尿管損傷の1例: 戦争外傷について. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 41) 二宮宣文, 甲斐達郎¹⁾, 山本保博, 鶴飼 卓¹⁾, 大塚敏文 (¹⁾大阪府立千里救命救急センター): [一般講演] アフガン難民の救急医療の経験. 第6回日本国際保健医療学会, 1991.
- 42) 二宮宣文, 大塚敏文, 甲斐達郎¹⁾(¹⁾大阪府立千里救命救急センター): [一般講演] 腹部戦争外傷手術25例の検討. 第17回日本腹部救急医学会総会, 1991.
- 43) 二宮宣文, 大塚敏文, 甲斐達郎¹⁾(¹⁾大阪府立千里救命救急センター): [一般講演] 戦争外傷外科の特殊性. 第19回日本救急医学会総会, 1991.

- 44) 二宮宣文, 安川隆子, 平山 恵¹⁾, 須藤 明¹⁾, 仲佐 保¹⁾, 上原鳴夫¹⁾, 鶴飼 卓¹⁾, 山本保博, 本多憲児¹⁾, 大塚敏文 (¹⁾国際災害研究会): [一般講演] 21世紀に向けてのわが国の国際救急医療システム. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 45) 川井 真, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 山口圭介, 大泉 旭, 大塚敏文: [一般講演] 重度骨盤骨折における損傷形態別創外固定法の検討. 第5回外傷研究会, 1991.
- 46) 川井 真, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 安田和弘, 加藤一良, 二宮宣文, 大塚敏文: [一般演題] 骨盤骨折創外固定例の検討. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 47) 川井 真, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 安田和弘, 加藤一良, 大塚敏文: [要望演題] 重度骨盤骨折の集学的治療. 第16回外科系連合学会, 1991.
- 48) Kawai, M., Henmi, H., Yamamoto, Y., Masiko, K., Yokota, H. and Otsuka, T.: [一般講演] Treatment by external fixation in level 1 trauma center. 7th World on Emergency and Disaster Medicine (Montreal), 1991.
- 49) 木村昭夫, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 山本保博, 黒川 顕, 大塚敏文: [シンポジウム] 肝損傷の手術術式, 肝損傷分類と手術術式の検討. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 50) 木村昭夫, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 小関一英, 加藤一良, 大塚敏文: [シンポジウム] 肝損傷の治療, 重症肝損傷, 手術治療の問題点; 特に caval shunt 及び packing について. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 51) Kimura, A., Mashiko, K., Henmi, H., Yasuda, K. and Otsuka, T.: [一般講演] Ultrasonographic detection of hemoperitoneum and indications for laparotomy in blunt abdominal trauma. The 37th Congress of the Japanese Section of the International College of Surgeons, 1991.
- 52) 木村昭夫, 五十嵐英夫, 大國寿士, 大塚敏文: [一般講演] 全国国立大学病院より分離検出された黄色ブドウ球菌のコアグラセ型, 毒素産生性及び抗菌剤感受性に関する疫学的研究. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 53) 大塚敏文, 横田裕行: [シンポジウム] 臓器移植をとりまく諸問題; 本邦における現時点の問題点を中心に. 第16回日本外科系連合学会, 1991.
- 54) 添田良知, 辺見 弘, 横田裕行, 二宮宣文, 渡辺信夫, 大塚敏文: [一般講演] Herpes 脳炎を疑われた2剖検例. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 55) 横田裕行, 辺見 弘, 大塚敏文, 粟屋 栄, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [一般講演] 重症頭部外傷の管理と問題点; 持続頭蓋内圧, 経時的聴性脳幹反応の結果から. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 56) 横田裕行, 辺見 弘, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [一般講演] 脳神経外科疾患急性期における magnetic resonance imaging (MRI) の有用性とその展望. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991.
- 57) 横田裕行, 辺見 弘, 大塚敏文: [一般講演] 重症頭部外傷の長期予後; 持続頭蓋内圧・経時的聴性脳幹所見から. 第19回日本救急学会総会, 1991.
- 58) 横田裕行, 加藤一良, 益子邦洋, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文, 粟屋 栄¹⁾, 石郷岡聡¹⁾, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾ (¹⁾脳神経外科): [一般講演] 重症頭部外傷における各種モニタリングの有用性. 第3回臨床モニター研究会, 1992.
- 59) 横田裕行, 粟屋 栄, 加藤一良, 益子邦洋, 山本保博, 辺見 弘, 大塚敏文: [一般講演] 重症頭部外傷における各種モニタリングの意義. 医工学治療研究第4回学術大会, 1992.
- 60) 志賀尚子, 辺見 弘, 横田裕行, 二宮宣文, 粟屋 栄, 石橋 励, 佐藤秀貴, 大泉 旭, 加藤 宏, 大塚敏文: [一般講演] 器質化慢性硬膜下血腫の1例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 61) 布施 明¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 小井土雄一¹⁾, 西 芳徳¹⁾, 山本保博¹⁾, 横田裕行, 大塚敏文 (¹⁾多摩永山病院救命救急センター): [一般講演] 頭部ヨク創4症例の検討. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 62) 宮内雅人, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 横田裕行, 川井 真, 松田 潔, 勝見 敦, 井上潤一, 大塚敏文: [一般講演] Kaneda device のより胸椎前方固定を行った2症例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.

- 63) 安田和弘, 辺見 弘, 川井 真, 大塚敏文:〔パネルディスカッション〕広範囲熱傷患者の栄養管理. 第19回日本集中治療学会, 1992.
- 64) 横田裕行, 戸田茂樹¹⁾, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科):〔一般講演〕頭部外傷の長期予後;入院時意識レベル及び年齢との相関. 第14回日本神経外傷研究会, 1991.
- 65) 星野 茂¹⁾, 戸田茂樹¹⁾, 横田裕行, 小林士郎¹⁾, 矢嶋浩三¹⁾, 中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科):〔一般講演〕スポーツによる頭部外傷. 第14回日本神経外傷研究会, 1991.
- 66) 戸田茂樹¹⁾, 横田裕行, 野手洋治¹⁾, 小林士郎¹⁾, 矢嶋浩三¹⁾, 中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科):〔一般講演〕頭部銃創症例の検討. 第14回日本神経外傷研究会, 1991.
- 67) 横田裕行, 辺見 弘, 布施 明, 大塚敏文, 小林士郎¹⁾, 中沢省三¹⁾(¹⁾脳神経外科):〔一般講演〕頭蓋内圧(ICP), 聴性脳幹反応(ABR)から考察したdiffuse axonal injury(DAI). 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 68) Yokota, H. Henmi, H., Yamamoto, Y. and Otsuka, T.:〔一般講演〕Significance of magnetic resonance imaging (MRI) in evaluation of diffuse axonal injury. 7th World Congress on Emergency and Disaster Medicine Montreal, 1991.
- 69) 横田裕行, 辺見 弘, 大塚敏文:〔一般講演〕脳死患者の家族に対するアンケート調査. 第4回脳死・脳蘇生研究会, 1991.
- 70) 吉田竜介¹⁾, 久代裕史¹⁾, 辺見 弘(¹⁾亀田総合病院):〔一般講演〕重症出血性ショックを伴った大腿部 non-cavitary hemorrhage の2例. 第5回外傷研究会, 1991.
- 71) 吉田竜介¹⁾, 武士昭彦¹⁾, 山本保博(¹⁾亀田総合病院):〔一般講演〕院内職員に対するBLS講習の経験. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 72) 吉田竜介¹⁾, 相星淳一¹⁾, 辺見 弘, 山本保博(¹⁾亀田総合病院):〔ポスター〕院内職員, 及び救急隊員に対するCPR講習の経験. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 73) 木村昭夫, 大塚敏文, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 加藤一良:〔一般講演〕メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症;菌体側及び宿主側からの研究. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 74) 木村昭夫, 五十嵐英夫, 奥住捷子, 小林寛伊:〔一般講演〕全国国立大学より分離された黄色ブドウ球菌のコアグラマーゼ型別, 毒素産生性及び抗菌剤感受性に関する疫学的研究. 第7回日本環境感染学会総会, 1992.
- 75) 木村昭夫, 五十嵐英夫, 潮田 弘, 藤川 浩, 小林寛伊, 奥住捷子, 大塚敏文:〔一般講演〕全国国立大学病院より検出された黄色ブドウ球菌のコアグラマーゼ型, 毒素産生能薬剤感受性に関する調査. 第92回日本外科学会総会, 1992.
- 76) 勝見 敦, 岩間 裕¹⁾, 岡田邦彦, 川前金幸¹⁾, 牧野俊郎, 山本保博(¹⁾福島県立医大麻酔科):〔一般講演〕骨髄内輸液の外傷患者への試み. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 77) 勝見 敦, 岩間 裕¹⁾, 大友康裕, 川前金幸¹⁾, 山本保博, 奥 秋晟¹⁾(¹⁾福島県立医大麻酔科):〔一般講演〕DOA症例に対する骨髄内輸液の有用性. 第10回日本蘇生学会総会, 1991.
- 78) 勝見 敦, 岩間 裕, 大友康裕, 川前金幸¹⁾, 辺見 弘, 山本保博, 安田和弘, 大塚敏文(¹⁾福島県立医大麻酔科):〔一般講演〕救急医療における骨髄内輸液の有用性の検討. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 79) 勝見 敦, 山本保博, 安田和弘, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文, 岩間 裕¹⁾, 大友康裕¹⁾, 川前金幸¹⁾(¹⁾総合会津中央病院救命救急センター):〔ビデオシンポジウム〕緊急時の骨髄内輸液の施行について. 第18回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 80) 勝見 敦, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 安田和弘, 加藤一良, 二宮宣文, 辻井厚子, 大塚敏文:〔一般講演〕上部消化管穿孔の検討;食道破裂5症例の診断, 治療を中心に. 第18回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 81) 久志本成樹:〔海外留学者講演〕外傷救急におけるプレホスピタルケア. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 82) 久志本成樹, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 小関一英, 加藤一良, 大塚敏文:〔一般講演〕劇症肝炎治療における血漿交換の意義. 第2回急性血液浄化研究会, 1991.

- 83) 久志本成樹, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 小関一英, 加藤一良, 木村昭夫, 大塚敏文:〔一般講演〕腹部血管外傷の検討. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 84) 久志本成樹, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 加藤一良, 木村昭夫, 大友康裕, 小井土雄一, 大塚敏文:〔一般講演〕外傷性胸部大動脈断裂の6例. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 85) 久志本成樹, 辺見 弘, 安田和弘, 加藤一良, 川井 真, 本間正人, 重盛千香, 田辺和子, 大塚敏文:〔一般講演〕広範囲深在性熱傷における allograft の有用性. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 86) 長谷川雄二, 木村昭夫, 安田和弘, 益子邦洋, 辺見 弘, 大塚敏文:〔一般講演〕鈍的腹部の開腹適応; 特に関腹既往のある症例の診断に関して. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 87) 長谷川雄二, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 小関一英, 木村昭夫, 大塚敏文:〔一般講演〕気管支鏡検査により術前診断し得た右中葉気管支断裂の1治験例. 第78回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 88) 岩崎康孝, 黒澤 尚, 渡辺信夫:〔一般講演〕第三次救急施設におけるせん妄の発生率について. 第4回日本総合病院精神医学会総会, 1991.
- 89) 岩崎康孝:〔パネルディスカッション〕Critical care; The Japanese model. The American Association of General Hospital Psychiatrists Third Annual Meeting, 1991.
- 90) 岩崎康孝:〔シンポジウム〕Predictors of suicide in the consultation population. Microcare Consortium Annual Meeting, 1992.
- 91) 辻井厚子, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 木村昭夫, 長谷川雄二, 布施 明, 大塚敏文:〔一般講演〕鈍的外傷による右中葉気管支損傷の1例. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 92) 加地正人:〔一般講演〕軟骨化生を伴う炎症性乳癌. 第744回外科集談会, 1991.
- 93) 本間正人, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 加藤一良, 久志本成樹, 松田 潔, 大塚敏文:〔一般講演〕外傷性横隔膜ヘルニアの診断と治療. 第18回日本腹部救急医学会総会, 1992.
- 94) 高橋幸道, 辺見 弘, 山本保博, 益子邦洋, 望月 徹, 重盛千香, 大塚敏文:〔一般講演〕鈍的外傷による右腎動脈完全断裂例に対する血行再建の手術治験. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 95) 松田 潔, 川並汪一¹⁾(¹⁾第二病院病理部):〔一般講演〕気道熱傷症例の気管支肺胞洗浄法(BAL)による気管支肺胞内環境の検討. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 96) 川井 真, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 大塚敏文:〔一般講演〕創外固定を行った重度骨盤骨折初期治療の検討. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 97) 大泉 旭, 辺見 弘, 安田和弘, 川井 真, 大塚敏文:〔一般講演〕Fournier's disease の3症例. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 98) 松園幸雄, 布施理美, 猪鹿倉恭子, 吉野篤人, 篠田光孝, 牧野俊郎, 黒川 頤, 山本保博:〔一般講演〕外傷後17年を経て脳膿瘍を発症し, 急激な経過をたどった重症髄膜炎の1例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 99) 重盛千香¹⁾, 加地正人, 勝見 敦¹⁾, 大友康裕, 安田和弘, 山本保博, 辺見 弘(¹⁾総合会津中央病院救急救命センター):〔一般講演〕DPLにて確定診断した右横隔膜損傷の1例. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 100) 本間久雄, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 小関一英, 横田裕行, 加藤一良, 二宮宣文, 川井 真, 木村昭夫, 久志本成樹, 長谷川雄二, 大塚敏文:〔一般講演〕都市型三次救急施設における中毒症例の年次的推移. 第13回日本中毒研究会, 1991.
- 101) 相星淳一, 木村昭夫, 辺見 弘, 丸山正明, 中村加枝, 大塚敏文:〔一般講演〕刺創による十二指腸単独損傷に対して pyloric exclusion を施行した1治験例. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 102) 渡辺信夫, 岸 泰宏, 中村加枝, 布施理美, 黒澤 尚:〔一般講演〕第三次救急施設におけるリエゾンサービス 第4報 入室後1週間以内の患者の精神状態. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 103) 渡辺信夫, 鈴木克昌, 朝倉智行, 小関一英, 辺見 弘, 大塚敏文:〔一般講演〕劇症肝炎に合併するDIC対策. 第2回バイオメディカルフォーラム, 1991.

- 104) 直江康孝, 辺見 弘, 益子邦洋, 加藤一良, 川井 真, 長谷川雄二, 大泉 旭¹⁾, 福田憲昭¹⁾, 大塚敏文⁽¹⁾第一病院整形外科): [一般講演] Limb salvage 可能であった上肢ガス壊疽の1例. 第32回救急医学会関東地方会, 1992.
- 105) 大友康裕, 重盛千香, 加地正人, 勝見 敦, 牧野俊郎, 安田和弘: [一般講演] 穿通性尿管損傷の2例. 第5回東北救急医学会, 1991.
- 106) 大友康裕, 辺見 弘, 益子邦洋, 安田和弘, 望月 徹, 中村加枝, 大塚敏文: [一般講演] 最近経験した穿通性尿路損傷の2例. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 107) 大友康裕, 安田和弘, 大塚敏文, 神田佳和¹⁾, 吉野芳夫¹⁾ (生化第2): [一般講演] ラット kupffer cell 及び hepatocyte の刺激の相違によるロイコトリエン産生能の変化. 第91回日本外科学会総会, 1991.
- 108) 大友康裕, 神田佳和¹⁾, 辺見 弘, 安田和弘, 柴田泰夫, 大塚敏文⁽¹⁾ (生化第2): [一般講演] 重症熱傷患者の血清レチノール (ヒスタミン) 欠乏. 第17回日本熱傷学会, 1991.
- 109) 大友康裕¹⁾, 勝見 敦¹⁾, 川前金幸¹⁾, 安田和弘, 益子邦洋, 大塚敏文⁽¹⁾ (総合会津中央病院救命救急センター) [一般講演] 穿通性尿管損傷の2例. 第17回日本腹部救急医学会, 1991.
- 110) 大友康裕, 山本保博, 益子邦洋, 牧野俊郎, 川前金幸¹⁾, 小井土雄一, 平間久雄¹⁾, 清水 博¹⁾, 大塚敏文⁽¹⁾ (総合会津中央病院救命救急センター): [ビデオシンポジウム] 診断的腹腔洗浄法 (DPL) のカテーテル注入法について. 第18回腹部救急医学会, 1992.
- 111) 松田 潔, 辺見 弘, 安田和弘, 辻井厚子, 大塚哲生, 大塚敏文, 川並汪一¹⁾ (1) (第二病院病理): [一般講演] 気道熱傷症例の気管支肺胞洗浄法 (BAL) による気管支肺胞内環境の検討. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 112) 松田 潔, 辺見 弘, 安田和弘, 辻井 厚子, 大塚哲生, 大塚敏文: [一般講演] 気道熱傷症例の気管支肺胞洗浄法 (BAL) による気管支肺胞内環境の検討. 第17回日本熱傷学会, 1991.
- 113) 布施 明, 益子邦洋, 辺見 弘, 安田和弘, 木村昭夫, 長谷川雄二, 加藤一良, 大塚敏文: [一般講演] H₂-blocker 使用症例の胃液培養の検討. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 114) 後藤真弓, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 加藤良一, 久志本成樹, 辻井厚子, 大塚敏文: [一般講演] Pedicled pleural flap を修復に用いた特発性食道破裂の1例. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 115) 弥富俊太郎他: [一般講演] 重症結核性髄膜炎の2症例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 116) 宮内雅人, 辺見 弘, 益子邦洋, 小関一英, 横田裕行, 川井 真, 松田 潔, 勝見 敦, 井上潤一, 大塚敏文: [一般講演] Kaneda device により胸椎前方固定を行った3症例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 117) 朝倉智行, 辺見 弘, 小関一英, 安田和弘, 二宮宣文, 木村昭夫, 松田 潔, 大塚哲生, 松園幸雄, 大塚敏文: [一般講演] DOA にて搬送された ectopic pheochromocytoma の1例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 118) 志賀尚子, 辺見 弘, 横田裕行, 二宮宣文, 栗屋 栄, 石橋 励, 佐藤秀貴, 大泉 旭, 加藤 宏, 大塚敏文: [一般講演] 器質化慢性硬膜下血腫の1例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 119) 渡辺信夫, 岩崎康孝, 黒澤 尚, 布施理美, 大塚敏文: [一般講演] 第三次救急施設におけるリエゾンサービス; 第5報自殺未遂者の転医先. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 120) 渡辺信夫, 岩崎康孝, 黒澤 尚, 大塚敏文: [一般講演] 救急施設に搬入される服薬自殺未遂者について; 第5報 家族構成. 第13回日本中毒研究会, 1991.

[多摩永山病院救命救急センター]

研究業績

論文

- 1) 黒川 顕: [原著] 外因性中毒. 救急医学, 15, 1580~1583, 1991.
- 2) 黒川 顕: [原著] 食中毒. 救急医学, 15, 1584~1587, 1991.

- 3) 黒川 顕：〔原著〕脳血管障害：病型分類と成因。救急医学, 15, 1597~1601, 1991.
- 4) 黒川 顕：〔原著〕重症喘息発作・病態と治療；人工呼吸管理 救命センターの立場から。アレルギーの臨床, 11, 748~751, 1991.
- 5) 黒川 顕：〔原著〕患者・家族への上手な病気の説明；呼吸困難。治療, 73, 2157~2161, 1991.
- 6) 黒川 顕：〔原著〕救急医療体制，蘇生法について。小児科臨床, 44, 3073~3084, 1991.
- 7) 須崎紳一郎，山本保博：〔総説〕化学物質等による臓器障害；重金属（腎臓毒）。中毒研究, 4, 355~361, 1991.
- 8) 小井土雄一，山本保博：〔総説〕救急医療に必要なシステム，緊急輸送を含めて。新医療, 9, 50~52, 1991.
- 9) 黒川 顕：〔原著〕集中治療における対応，脳血管障害。Emergency Nursing, (春季増刊号), 136~143, 1992.
- 10) 山本保博：〔総説〕アメリカ東海岸のプレホスピタルケア事情。消防科学と情報, 15, 57~62, 1991.
- 11) 山本保博：〔総説〕我が国の救急医療体制と救急救命士の誕生。消防研修, 50, 69~77, 1991.
- 12) SWA, G., 鶴飼 卓，山本保博：〔総説〕災害医学の学術的論拠。救急医学, 15, 1721~1725, 1991.
- 13) FM, B.Jr., 鶴飼 卓，山本保博：〔総説〕災害被災者トリアージ方法論の進歩。救急, 15, 1767~1772, 1991.
- 14) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29 (4), 37~39, 1991.
- 15) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29 (5), 69~71, 1991.
- 16) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29 (6), 30~32, 1991.
- 17) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29 (7), 72~74, 1991.
- 18) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29 (8), 95~97, 1991.
- 19) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29 (9), 60~61, 1991.
- 20) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29(10), 90~91, 1991.
- 21) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29(11), 34~35, 1991.
- 22) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 29(12), 84~85, 1991.
- 23) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 30(1), 115~116, 1992.
- 24) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 30(2), 50~51, 1992.
- 25) 山本保博：〔総説〕米国プレホスピタルケアの現状と我が国の救急医療体制。近代消防, 30 (3), 36~37, 1992.
- 26) 山本保博，牧野俊郎，須崎紳一郎：〔総説〕熱傷；時間経過に即した治療の実際，意識障害を伴う症例の救急処置（CO中毒を含む）。救急医学, 15, 989~991, 1991.
- 27) 山本保博：〔総説〕泥酔患者の対処法。Medical Practice, 8, 1452~1455, 1991.
- 28) 山本保博：〔総説〕我国の国際災害救急医療の現状と将来。防衛衛生, 38, 291~296, 1991.
- 29) 山本保博：〔総説〕救急蘇生薬。診断と治療, 79, 901~905, 1991.

著 書

- 1) 山本保博：，平田清貴，田中吉子：〔編集〕輸液・輸血・救急薬 TODAY。メディカ出版, 1991.
- 2) 山本保博：〔分担〕薬理学“救急救命士標準テキスト”（厚生省健康政策局指導課監修）。p. 31~41, へるす出版, 1991.
- 3) 山本保博：〔分担〕災害医療“救急救命士標準テキスト”（厚生省健康政策局指導課監修）。p. 232~236, へるす出版, 1991.
- 4) 山本保博：〔分担〕中毒“救急救命士標準テキスト”（厚生省健康政策局指導課監修）。p. 488~493, へるす出版, 1991.
- 5) 山本保博：〔分担〕高齢者“救急救命士標準テキスト”（厚生省健康政策局指導課監修）。p. 562~575, へるす出版, 1991.
- 6) Yamamoto, Y.: 〔分担〕The international medical cooperation by Japanese government on disaster relief and the future of this program; Proceedings of the second workshop por natural disaster reduction (Keiji

- Doi 編). p. 289~292, Japan International Science and Teconology Exchange Center (JISTEC). 1991.
- 7) 大塚敏文, 山本保博: [編集] 医工学治療機器マニュアル6手術・救急・ICU. 金原出版, 1991.
 - 8) 山本保博: [分担] ICU・CCUの温湿度, 清浄度 “医工学治療機器マニュアル6: 手術・救急・ICU” (大塚敏文, 山本保博編). p. 146~154, 金原出版, 1991.
 - 9) 山本保博: [分担] 外傷の分類, 標準救急医学 (日本救急医学会監). p. 215~216, 医学書院, 1991.
 - 10) 山本保博: [分担] 多発外傷, 標準救急医学 (日本救急医学会監). p. 268~270, 医学書院, 1991.
 - 11) 黒川 顕: [分担] 小児プライマリケアマニュアル (白木和夫, 阿部忠良編集). p. 257~258, 南江堂, 1991.
 - 12) 黒川 顕: [分担] 救急医療・ICU “保健・医療・福祉の総合年鑑 WIBA1991” (日本医療企画編). p. 188~189, 日本医療企画, 1991.
 - 13) 黒川 顕: [分担] ICUにおける感染対策 “医工学治療機器マニュアル—作用原理・操作・点検・保守—手術・救急・ICU” (大塚敏文・山本保博編集). p. 185~192, 金原出版, 1991.
 - 14) 黒川 顕: [分担] 応急処置各論, 救急隊員標準過程テキスト (救急隊員用教本作成委員会 財団法人救急振興財団編集). p. 121~140, へるす出版, 1992.
 - 15) 黒川 顕: [分担] 高温による障害 (熱中症) 今日の治療指針1992 (日野原重明, 阿部正和監修). p. 130~131, 医学書院, 1992.
 - 16) 黒川 顕, 大塚敏文: [分担] 意識障害 (昏睡) 症状からみた救急処置; 内科編. (大林完二, 大塚敏文, 木全心一編集). p. 35~52, 医学書院, 1992.

学会発表

- 1) 山本保博: [シンポジウム] 救命救急センターからみた小児傷病者に対するプレホスピタルケアの重要性. 第5回日本小児救急医学研究会, 1991.
- 2) 山本保博: [特別講演] ショックの病態と薬物療法. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 3) 高橋 聡¹⁾, 辻井厚子¹⁾, 石原 哲¹⁾, 原口義座²⁾, 長谷川俊二²⁾, 大澤寛行²⁾, 山本保博 (¹⁾白鬚橋病院, ²⁾東京警察病院): [一般講演] 下部消化管穿孔例の検討. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 4) 小坂洋史, 布施 明, 富岡譲二, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] 頭部外傷後に急性心筋梗塞を合併した1例. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 5) 小井土雄一, 森川雅浩, 山口圭介, 須崎紳一郎, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] 水中毒に高CPK血症を呈した1例. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 6) 須崎紳一郎, 富岡譲二, 山本保博, 仁平 信¹⁾, 林田真喜子¹⁾, 渡辺日章¹⁾(¹⁾法医): [一般講演] 意識障害を呈する救命救急センター入室者における薬毒物スクリーニングの意義. 第13回日本中毒研究会, 1991.
- 7) 黒川 顕, 布施 明, 小井土雄一, 富岡譲二, 高橋 聡, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 山本保博: [展示] 頭部杖創の臨床. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 8) 須崎紳一郎, 富岡譲二, 山本保博, 仁平 信¹⁾, 林田真喜子¹⁾, 渡辺日章¹⁾(¹⁾法医): [一般講演] 意識障害患者に対する包括的中毒スクリーニングの臨床的意義. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 9) 黒川 顕: [セミナー] 指標の読み方, 窒素バランス. 第17回救急医学セミナー, 1992.
- 10) 黒川 顕: [セミナー] ナースに必要な画像情報胸部. 第6回救急看護セミナー, 1992.
- 11) 布施 明, 黒川 顕, 小井土雄一, 西 芳徳, 山本保博, 横田裕行¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学): [一般講演] 頭部杖創4例の検討. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 12) 山下照代, 小井土雄一, 新井正徳, 倉田 潔, 須崎紳一郎, 高橋 聡, 山本保博: [一般講演] 肺胞サーファクタントが奏効した気管支喘息によるARDSの1救命例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.
- 13) 松園幸雄, 布施理美, 猪鹿倉恭子, 吉野篤人, 篠田光孝, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博: [一般講演] 外傷後17年を経て脳膿瘍を発症し急激な経過をたどった重症髄膜炎の1例. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.

- 14) 布施 明, 横田裕行¹⁾, 黒川 顕, 山本保博, 辺見 弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救急医学): [ポスター] 高齢者頭部外傷における病態および長期予後. 第15回日本神経外傷研究会, 1992.
- 15) 望月 徹, 山下照代, 小野啓資, 富岡譲二, 須崎紳一郎, 牧野俊郎, 黒川 顕, 山本保博, 木村 剛¹⁾, 平岡保紀¹⁾(¹⁾泌尿器科): [一般講演] 肝不全にて敗血症に陥った睾丸腫瘍の1例. 日本医科大学医学会第76回例会, 1992.

19. 形成外科学講座

[付属病院形成外科]

研究概要

臨床部門では、新しい皮弁の開発に関する業績が多かった。まず超薄皮弁という新しい概念の皮弁を中国南方病院と共同して再建外科領域に応用し高い評価を得た。われわれの教室で開発した SCA flap, free vascular bundle transfer による secondary vascularized flap, 新しい生着概念をもつ venous flap など多種の皮弁の臨床応用を行い、その有用性は国内外で注目を集めた。さらに下腹壁動静脈を用いた種々の臨床応用を報告した。一方、付属病院放射線科の開発した回転立体デジタルアンギオグラフィーを形成外科領域に応用し、新しい下肢の皮弁の開発を行った。また、ケロイドの術後電子線照射の有効性はケロイドの治療法として注目されるであろう。

基礎部門では、NMR による皮弁エネルギー代謝の研究、埋入異物の分析の研究、生着機序の未だ解明されていない超薄皮弁と venous flap の血行動態の研究、遠隔皮弁の血管新生と切断時期の研究、有限要素法をもちいたコンピュータ解析による simulation surgery の研究と新しい局所皮弁法の開発、アルガトロパンを用いた皮弁生着域拡大の研究等、広範囲な活動を行った。

研究業績

論文

- 1) Akimoto, M., Tamai, J.¹⁾, Hyakusoku, H. and Fumiiri, M. (¹⁾付属病院放射線科)：〔原著〕Three-dimensional CT system using a personal computer. *Aesthetic Plastic Surgery (New York)*, 15, 181~185, 1991.
- 2) 百束比古：〔原著〕腹直筋筋皮弁. *Monthly Book Orthopaedics*, 41, 55~63, 1991.
- 3) 秋元正宇, 百束比古, 大久保正智, 滝沢 康, 文入正敏, 浅野哲雄¹⁾, 五味淵誠¹⁾, 青木見佳子²⁾, 三神 寛³⁾, 久喜邦康⁴⁾ (¹⁾付属病院胸部外科, ²⁾同皮膚科, ³⁾第一病院皮膚科, ⁴⁾病理第2)：〔報告〕11年間に34回の手術を経て死亡に至った悪性線維性組織球腫の1例. *Skin Cancer*, 6, 18~20, 1991.
- 4) 新見やよい¹⁾, 青木見佳子¹⁾, 本田光芳¹⁾, 利根川均, 百束比古 (¹⁾付属病院皮膚科)：〔報告〕Sutton 現象を伴った悪性黒色腫の1例. *Skin Cancer*, 6, 242~246, 1991.
- 5) 星 健二¹⁾, 三神 寛¹⁾, 中山恵二¹⁾, 中村進一¹⁾, 並松茂樹²⁾, 滝沢 康, 片山博徳³⁾, 山本泰一⁴⁾ (¹⁾第一病院皮膚科, ²⁾同中央研究室, ³⁾老人病研究所病理, ⁴⁾順天堂大学病理)：〔報告〕側頭部脂腺癌の1例. *Skin Cancer*, 6, 257~259, 1991.
- 6) 村上正洋, 百束比古, 白井洋司, 山村美和, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科)：〔報告〕Free vascularized vein graft による1期的涙小管再建を施行した内眼角部の隆起性皮線維肉腫の1例. *Skin Cancer*, 6, 113~115, 1991.
- 7) 滝沢 康, 百束比古, 三橋 清, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 本田光芳¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科)：〔原著〕顔面の皮膚悪性腫瘍摘出後再建における静脈皮弁の適応について. *Skin Cancer*, 6, 427~430, 1991.
- 8) 白井洋司, 百束比古, 秋元正宇, 山本 達, 大木更一郎, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 本田光芳¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科)：〔報告〕Radical neck dissection 時に同側浅頭動静脈を吻合血管とした逆行性遊離前腕皮弁により再建した顔面の悪性黒色腫の1例. *Skin Cancer*, 6, 65~68, 1991.
- 9) 百束比古：〔原著〕瘢痕皮弁；とくに健康皮膚の不足する広範囲熱傷患者に対する適用. *医学のあゆみ*, 160, 232~232, 1991.
- 10) 百束比古：〔原著〕小児の熱傷後瘢痕拘縮の形成術；とくに皮弁の適用を中心に. *形成外科*, 34, 1283~1289, 1991.

- 11) 玉井 仁¹⁾, 秋元正宇, 鈴木雅隆²⁾, 真野 勇³⁾ (¹⁾付属病院放射線科, ²⁾昭和大学医学部第2解剖, ³⁾東芝中央病院放射線科): [原著] パソコンによる画像診断支援システム; 電子アトラスと3次元表示システム. 月刊メディック, 18~21, 1989.
- 12) 百束比古, 文入正敏: [原著] ヒトアジュバント病. 手術, 45, 873~880, 1991.
- 13) 村上正洋, 百束比古, 吉田秀也, 滝沢 康, 青木 律, 文入正敏: [原著] Cross-foot medial plantar flap の経験. 整形・災害外科, 34, 1671~1674, 1991.
- 14) 梅田敏彦: [原著] Secondary vascularized skin island flap に関する実験的研究. 日医大誌, 58, 569~576, 1991.
- 15) 秋元正宇¹⁾, 土屋喜哉¹⁾, 望月 功¹⁾, 麦谷圭一郎¹⁾, 原 享¹⁾, 百束比古, 文入正敏(¹⁾東戸塚記念病院外科): [原著] 顔面骨折における3DCTの有用性について. 日救急医学会関東誌, 12, 726~398, 1991.
- 16) 山村美和, 百束比古, 玉井 仁¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科): [原著] MRIによる乳房埋入異物の識別に関する実験的ならびに臨床的研究; 第1報. 日形成外会誌, 11, 483~492, 1991.
- 17) 大木更一郎, 百束比古, 白井洋司, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科): [原著] 頸部郭清術施行例における顔面軟部組織欠損の再建. 日本頭蓋顎顔面外科学会誌, 7, 11~19, 1991.

著 書

- 1) 百束比古: [分担] 乳房埋入異物後遺症の治療“乳房の形成外科”(藤野豊美編). p. 64~73, 克誠堂, 1991.
- 2) Akimoto, M., Hyakusoku, H., Yamamoto, T. and Fumiiri, M.: [分担] Expanded median forehead flap for burned nose “Tissue expansion symposium”(Takehiko Ohura 編). p. 117~119, Sando Inc. (Tokyo), 1991.

学会発表

- 1) 滝沢 康, 百束比古, 山本 達, 大久保正智, 文入正敏, 隈崎達夫¹⁾, 弦間和仁¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科): [一般講演] 回転立体デジタルアンギオグラフィー(CDSA)の形成外科的应用; 第1報. 第160回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 2) 坂田修一, 百束比古, 吉田秀也, 滝沢 康, 村上正洋, 文入正敏: [一般講演] Secondary vascularized tandem island flapによる眉毛再建術. 第160回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 3) 平井 隆¹⁾, 山村美和, 百束比古, 文入正敏 (¹⁾東戸塚記念病院形成外科): [一般講演] われわれの経験した近位血管茎付静脈皮弁の症例. 第160回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 4) 吉田秀也¹⁾, 百束比古, 村上正洋, 坂田修一, 文入正敏 (¹⁾横浜旭中央総合病院形成外科): [一般講演] Long bascular pedicled SCA flapによる下顎部・頬部の再建. 第160回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 5) 星 健二¹⁾, 佐治 宇²⁾, 田口桜子²⁾, 向坂元秀³⁾, 有賀玲子³⁾, 百束比古, 山本 達, 中村進一¹⁾ (¹⁾第一病院皮膚科, ²⁾同薬剤科, ³⁾同中央検査室): [一般講演] 色素剤のMRSAに対する使用経験. 第90回日本皮膚科学会学術集会, 1991.
- 6) 山村美和, 百束比古, 山本 達, 文入正敏, 平川慶子¹⁾, 渡辺日章¹⁾ (¹⁾法医学): [一般講演] NMRを用いた埋入異物の分析法. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 7) 簡野晃次, 百束比古, 文入正敏, 平川慶子¹⁾, 渡辺日章¹⁾ (¹⁾法医学): [一般講演] 皮弁のエネルギー代謝の経時的観察; 31p-MRS法による新しい試み. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 8) 大久保正智, 百束比古, 平井 隆, 滝沢 康, 利根川均, 文入正敏: [一般講演] 踵骨後面再建における distally based T-shaped island sural flap の適用. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 9) 滝沢 康, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] Cross-Leg fasciocutaneous flaps; 第2報 distally based fasciocutaneous flap の有用性について. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 10) 秋元正宇: [展示] 有限要素法による局所皮弁の解析(第4報); 複数皮弁による菱形皮膚欠損被覆法の解析 新

しい皮弁開発法へのアプローチ. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.

- 11) 三橋 清¹⁾, 百束比古, 文入正敏, 青木見佳子²⁾ (1)総合会津中央病院形成外科, 2)付属病院皮膚科): [展示] Vascularized vein graft の実験的研究 (第1報). 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 12) 平井 隆¹⁾, 百束比古, 山村美和, 文入正敏 (1)東戸塚記念病院形成外科: [展示] 近位血管茎付き静脈皮弁の血行動態の検索. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 13) 百束比古, 平井 隆, 滝沢 康, 文入正敏: [展示] 静脈皮弁の分類と臨床適用の可能性についての考案. 第34回日本形成外科学会学術集会, 1991.
- 14) 村上正洋, 百束比古, 大久保正智, 平井 隆, 吉田秀也, 秋元正宇, 滝沢 康, 坂田修一, 山村美和, 山本 達, 文入正敏: [一般講演] 頸部癍痕拘縮の再建における superficial cervical artery skin flap 20皮弁 (14症例) の結果. 第17回日本熱傷学会総会・学術集会, 1991.
- 15) 百束比古, 滝沢 康, 村上正洋, 山村美和, 山本 達, 文入正敏: [一般講演] 人為的熱傷の検討. 第17回日本熱傷学会総会・学術集会, 1991.
- 16) 山本 達, 百束比古, 文入正敏, 川井 真¹⁾, 辺見 弘¹⁾ (1)救命救急センター): [一般講演] 高度広範囲熱傷の1再建例. 第17回日本熱傷学会総会・学術集会, 1991.
- 17) 山村美和, 百束比古, 大久保正智, 青木 律, 文入正敏: [一般講演] 母斑に対する自傷熱傷の1例. 第17回日本熱傷学会総会・学術集会, 1991.
- 18) 白井洋司, 百束比古, 三橋 清, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 梅田敏彦²⁾ (1)付属病院皮膚科, 2)総合会津中央病院形成外科): [一般講演] 義眼床に発生した有棘細胞癌の1例. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
- 19) 滝沢 康, 百束比古, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾, 服部怜美²⁾, 本田光芳¹⁾, 三橋 清³⁾, 平井 隆³⁾ (1)付属病院皮膚科, 2)第二病院皮膚科, 3)東戸塚記念病院形成外科): [一般講演] 顔面の皮膚悪性腫瘍摘出後再建における静脈皮弁 (venous flap) の適用について. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
- 20) 村上正洋, 百束比古, 山村美和, 青木見佳子¹⁾ (1)付属病院皮膚科): [一般講演] Free vascularized vein graft による1期的涙小管再建を施行した内眼角部の隆起性皮膚線維肉腫の1例. 第7回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1991.
- 21) 秋元正宇¹⁾, 土屋喜哉¹⁾, 望月 功¹⁾, 麦谷圭一郎¹⁾, 原 享¹⁾, 百束比古, 文入正敏 (1)東戸塚記念病院外科): [一般講演] 顔面骨骨折における3DCTの有用性について. 第31回日本救急医学会関東地方会, 1991.
- 22) 青木見佳子¹⁾, 矢島 純¹⁾, 本田光芳¹⁾, 百束比古, 簡野晃次, 斎藤 裕²⁾ (1)付属病院皮膚科, 2)斎藤医院): [一般講演] 趾間の有棘細胞癌. 第16回日本皮膚科学会茨城地方会, 1991.
- 23) 滝沢 康, 百束比古, 文入正敏, 平井 隆¹⁾, 高橋 弘²⁾ (1)東戸塚記念病院形成外科, 2)付属病院脳神経外科): [一般講演] Free or island SCA flap による頭頂部前額部の再建. 第161回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 24) 山本 達, 百束比古, 白井洋司, 坂田修一, 文入正敏: [一般講演] Distal saphenous flap. 第162回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 25) 山村美和, 井上幸彦, 百束比古, 文入正敏, 平川慶子¹⁾, 仁平 信¹⁾, 植草協子¹⁾, 渡辺日章¹⁾ (1)法医学): [一般講演] 乳房異物の核磁気共鳴法を用いた分析法の開発. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 26) 三橋 清¹⁾, 百束比古 (1)船橋病院形成外科): [一般講演] 血管柄付血管移植による涙道再建術の開発. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 27) 吉田秀也¹⁾, 百束比古, 滝沢 康, 平井 隆²⁾ (1)横浜旭中央総合病院形成外科, 2)東戸塚記念病院形成外科): [一般講演] SCA flap; その遊離皮弁化の成功. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 28) 簡野晃次¹⁾, 百束比古, 山本 達, 村上正洋, 山村美和, 文入正敏, 平川慶子²⁾, 渡辺日章²⁾ (1)東戸塚記念病院外科, 2)法医学): [一般講演] 31P-MRS を用いた皮弁エネルギー代謝の研究. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 29) 大木更一郎¹⁾, 百束比古 (1)総合会津中央病院形成外科): [一般講演] 脊損患者の褥瘡の形成手術. 第59回日本

医科大学医学会総会, 1991.

- 30) 井上幸彦, 山村美和, 百束比古, 文入正敏, 渡辺日章¹⁾, 仁平 信¹⁾, 平川慶子¹⁾(¹⁾法医学): [展示] 豊胸目的で料理用の油脂を自己注入した男性のヒト・アジュバント病の1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 31) 百束比古, 大久保正智, 秋元正宇, 滝沢 康, 文入正敏, 高橋 弘¹⁾, 矢嶋浩三¹⁾, 中沢省三¹⁾(¹⁾付属病院脳神経外科): [展示] 頭蓋骨外板移植による頭蓋顔面骨再建術. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 32) 秋元正宇: [展示] 局所皮弁のコンピュータ解析法. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 33) 利根川均, 百束比古, 滝沢 康, 山本 達, 文入正敏, 田沼久美子¹⁾, 伊藤博信¹⁾(¹⁾解剖学第2): [展示] 下肢の皮膚栄養動脈の研究; 皮弁外科への応用. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 34) 高 建華, 百束比古, 利根川均, 野中尚子, 文入正敏: [展示] Free arterialized venous flap による指尖部の再建. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 35) 三井聡子, 秋元正宇, 百束比古, 文入正敏, 玉井 仁¹⁾(¹⁾付属病院放射線科): [展示] 3DCT による顔面骨折の診断. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 36) 坂田修一, 白井洋司, 大久保正智, 百束比古, 文入正敏, 宮下次広¹⁾, 堀内淳一¹⁾, 恵畑欣一¹⁾(¹⁾付属病院放射線科): [展示] ケロイド治療における術後電子線照射の効果について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 37) 山本 達, 百束比古, 文入正敏, 川井 真¹⁾, 辺見 弘¹⁾(¹⁾救命救急センター): [展示] 高度広範囲熱傷の1再建例; 遊離腹直筋癒痕皮弁による再建. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 38) 大久保正智, 百束比古, 秋元正宇, 滝沢 康, 文入正敏: [展示] 顔面神経麻痺の動的再建法について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 39) 塩塚正純, 百束比古, 大久保正智, 滝沢 康, 村上正洋, 佐藤善一郎, 五味潤誠¹⁾, 落 雅美¹⁾, 山内仁紫¹⁾(¹⁾胸部外科): [展示] われわれの漏斗胸手術. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 40) 石井和博¹⁾, 百束比古, 文入正敏(¹⁾大浜第一病院形成外科): [展示] 逆行性拇指外転筋皮弁. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 41) 村上正洋¹⁾, 百束比古, 塩塚正純, 坂田修一, 文入正敏, 梅田敏彦²⁾, 三橋 清²⁾, 大木更一郎²⁾(¹⁾第二病院外科, ²⁾総合会津中央病院形成外科): [展示] 皮下気腫を呈した顔面骨骨折の2例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 42) 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 村上正洋¹⁾, 平田知巳¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 平田正信¹⁾, 天野純治¹⁾, 百束比古(¹⁾第二病院外科): [展示] 胸壁全層切除を行った進行; 再発乳癌症例の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 43) Akimoto, M., Hyakusoku, H., Yamamoto, T. and Fumiiri, M.: [一般講演] Expanded median forehead flap for burned nose. The Third International Tissue Expansion Symposium 1991 (Sapporo), 1991.
- 44) Hirai, T.¹⁾, Hyakusoku, H. and Fumiiri, M. (¹⁾Higashitotsuka Memorial Hospital): [一般講演] The facial reconstruction using secondary vascularized flaps. The 1st International Congress of Japanese and Korean Plastic and Reconstructive Surgery (Tokyo), 1991.
- 45) Kanno, K., Hyakusoku, H., Fumiiri, M., Hirakawa, K.¹⁾ and Watanabe, H.¹⁾ (¹⁾法医学): [一般講演] A novel approach to evaluate the state of a flap; by 31P-MRS surface coil method. The 1st International Congress of Japanese and Korean Plastic and Reconstructive Surgery (Tokyo), 1991.
- 46) Tonegawa, H., Hyakusoku, H., Yamamoto, T., Fumiiri, M., Tanuma, K.¹⁾ and Ito, H.¹⁾ (¹⁾解剖学第2): [一般講演] Island fasciocutaneous flaps in the lower leg. The 1st International Congress of Japanese and Korean Plastic and Reconstructive Surgery (Tokyo), 1991.
- 47) Akimoto, M. and Hyakusoku, H.: [一般講演] Computer analysis of local flaps using finite element method. The 3rd International Congress of Japanese and Chinese Plastic and Reconstructive Surgery (Shanghai), 1991.
- 48) Yamamoto, T., Hyakusoku, H., Akimoto, M., Takizawa, Y. and Fumiiri, M.: [一般講演] Usefulness of

- scarred flap for extensive burn surgery. The 3rd International Congress of Japanese and Chinese Plastic and Reconstructive Surgery (Shanghai), 1991.
- 49) Gao, J., Hyakusoku, H., Takizawa, Y. and Fumiiri, M. : [一般講演] SCA flap. The 3rd International Congress of Japanese and Chinese Plastic and Reconstructive Surgery (Shanghai), 1991.
 - 50) Takizawa, Y., Hyakusoku, H., Yamamoto, T., Okubo, M., Fumiiri, M., Kumazaki, T.¹⁾ and Genma, K.¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科) : [一般講演] Application of computerized dynamic stereo angiography for plastic and reconstructive surgery. The 3rd International Congress of Japanese and Chinese Plastic and Reconstructive Surgery (Shanghai), 1991.
 - 51) Hyakusoku, H., Takizawa, Y., Akimoto, M. and Fumiiri, M. : [一般講演] Various reconstruction methods using secondary vascularized flap with free vascular bundle transfer. The 3rd International Congress of Japanese and Chinese Plastic and Reconstructive Surgery (Shanghai), 1991.
 - 52) 平井 隆¹⁾, 百束比古, 文入正敏 (¹⁾東戸塚記念病院形成外科) : [一般講演] 遠隔皮弁の生着に関する実験的研究 ; 特に血管再生の時期について. 第4回形成外科リサーチフォーラム研究集会, 1991.
 - 53) 村上正洋¹⁾, 百束比古, 大久保正智, 竹越昭彦, 文入正敏 (¹⁾第二病院外科) : [一般講演] コラーゲンと思われる異物を注入された陰茎白膜欠損症の1例. 第14回日本美容外科学会総会, 1991.
 - 54) 百束比古, 大久保正智, 白井洋司, 利根川均, 坂田修一, 文入正敏 : [一般講演] 耳介ケロイド5例の治療経験. 第14回日本美容外科学会総会, 1991.
 - 55) 山村美和, 百束比古, 井上幸彦, 文入正敏 : [一般講演] 核磁気共鳴法を用いた埋入異物の検索. 第14回日本美容外科学会総会, 1991.
 - 56) 井上幸彦, 山村美和, 百束比古, 文入正敏 : [一般講演] 乳房内異物自己注入によるヒト・アジュバント病を疑った男性症例の1例. 第14回日本美容外科学会総会, 1991.
 - 57) 秋元正宇, 百束比古, 滝沢 康, 村上正洋, 文入正敏, 青木見佳子¹⁾ (¹⁾付属病院皮膚科) : [一般講演] 顔面の隆起性皮膚線維肉腫6例と手術法の検討. 第9回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 1991.
 - 58) 滝沢 康, 百束比古, 大久保正智, 秋元正宇, 山本 達, 村上正洋, 文入正敏, 吉田秀也¹⁾ (¹⁾横浜旭中央病院形成外科) : [一般講演] SCA flap を用いた頭蓋顎顔面の再建術. 第9回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 1991.
 - 59) 野中尚子, 滝沢 康, 利根川均, 山村美和, 白井洋司, 大久保正智, 山本 達, 百束比古, 文入正敏, 村上正洋¹⁾ (¹⁾第二病院外科) : [一般講演] 形成外科病棟における MRSA 感染症の現況と対策. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
 - 60) 山村美和, 井上幸彦, 百束比古, 文入正敏, 平川慶子¹⁾, 仁平 信¹⁾, 渡辺日章¹⁾ (¹⁾法医学) : [一般講演] 13U 固体 MRS を用いた埋入異物の分析に関する研究 ; IR 法との関連について. 第4回形成外科リサーチフォーラム研究集会, 1991.
 - 61) 利根川均, 百束比古, 滝沢 康, 野中尚子, 文入正敏 : [一般講演] Medial calf f-c flap CDSA による術前アプローチの試み. 第164回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
 - 62) 滝沢 康, 百束比古, 秋元正宇, 文入正敏, 隈崎達夫¹⁾, 弦間和仁¹⁾, 伊藤公一郎¹⁾, 田島広之¹⁾ (¹⁾付属病院放射線科) : [ビデオパネル] 回転立体デジタルアンギオグラフィーによる四肢動脈の立体的観察 microsurgery への応用の可能性について. 第18回日本マイクロサージャリー学会, 1991.
 - 63) 百束比古, 大久保正智, 秋元正宇, 滝沢 康, 山本 達, 村上正洋, 高 建華, 文入正敏 : [一般講演] 下腹壁動静脈血管束を用いた各種再建術. 第18回日本マイクロサージャリー学会, 1991.
 - 64) 山本 達, 百束比古, 文入正敏 : [展示] Excision to fascia を施行された部位に作成した遊離臍筋皮弁による再建. 第18回日本マイクロサージャリー学会, 1991.
 - 65) 百束比古, 大久保正智, 秋元正宇, 滝沢 康, 文入正敏 : [展示] Free superficial cervical artery (SCA) skin flap の経験. 第18回日本マイクロサージャリー学会, 1991.

- 66) 高 建華, 百束比古, 山村美和, 文入正敏 : [一般講演] 超薄皮弁の経験. 第165回日本形成外科学会東京地方会, 1991.
- 67) Murakami, M., Hyakusoku, H., Takizawa, Y., Gao, J. and Fumiiri, M. : [一般講演] Free and long vascular pedicled superficial cervical artery (SCA) flaps. The 6th Asean Congress of Plastic Surgery (Singapore), 1991.
- 68) Takizawa, Y., Hyakusoku, H., Tonegawa, H., Yamamoto, T. and Fumiiri, M. : [一般講演] Versatility of island fasciocutaneous flaps in lower leg. The 6th Asean Congress of Plastic Surgery (Singapore), 1992.
- 69) Yamamura, M., Hyakusoku, H., Okubo, M., Fumiiri, M. and Hirakawa, K.¹⁾(¹⁾法医学) : [一般講演] Research of injected foreign substances using magnetic resonance spectrometry. The 6th Asean Congress of Plastic Surgery (Singapore), 1992.
- 70) Hyakusoku, H., Takizawa, Y., Tonegawa, H., Takekoshi, A., Fumiiri, M. and Kumazaki, T.¹⁾(¹⁾付属病院放射線科) : [一般講演] Computed dynamic stereo angiography (CDSA) ; Its use in plastic and reconstructive surgery. The 6th Asean Congress of Plastic Surgery (Singapore), 1992.
- 71) 山本 達, 百束比古, 三井聡子, 文入正敏 : [一般講演] Argatroban の皮弁生着域拡大効果に関する実験的研究. 第166回日本形成外科学会東京地方会, 1992.

20. 付属病院付置施設等

[付属病院集中治療室]

研究概要

集中治療室（CCU, ICU）は昭和48年の開設以来一貫して急性心筋梗塞をはじめ不安定狭心症、急性心不全、重症不整脈、解離性大動脈瘤、肺塞栓症などの致命的な心血管疾患の治療と研究を行い、その成果を内外を問わず多数報告してきており、本邦における先進的施設の一つとして高く評価されている。さらにICUとして心循環疾患の術後管理、多臓器不全、重症呼吸不全の治療につき臨床的検討を行っている。平成3年度は以下に示すような臨床的研究を発表した。

急性心筋梗塞超早期の冠再灌流療法を通し、心筋梗塞の発症機転とその進展、心筋障害の防止に関し、血管造影による形態学的解析のみならず冠循環、心機能等の研究、心筋生化学、神経内分泌因子、cytokineと血行動態、さらに脂質代謝の側面より検討を行った。特に冠再灌流後の心筋のViabilityとMyocardial stunningの評価につき薬物負荷心エコー、心臓核医学検査を用い検討を重ね、梗塞急性期より慢性期の左室機能を予知し得る結果を得ている。さらに長期的予後を改善すべく様々な問題点（Late reperfusion, Myocardial hibernation）等につき研究を進めている。

重篤な急性心筋梗塞にともなう重症心不全、心原性ショックの病態の解明と治療につき研究を続行し、本年度はさらに新しいIABP（Super Balloon）の開発、経皮的心肺補助装置（PCPS）の発展を進め貴重な成績を発表している。

重症不整脈に関しては非侵襲的（Holter, 加算平均心電図）、侵襲的（電気生理学的検査）により病態の正確な評価を行い薬剤、心臓ペースング、さらに埋め込み型除細動器（AICD）による治療成績を集積している。

当施設は東京都CCUネットワークの事務局として、疫学的分析を報告し社会的に貢献をしている。

なお、日本救急医療研究試験財団による研究助成金（急性心筋梗塞における血中トロポニンTの臨床的検討）、三井生命厚生年金事業団第24回成人病研究助成金（心原性ショックおよび心破裂に対するPTCAの有用性：PCPSとの併用効果も含めて）、東京都医師会奨学金（心不全の病態生理と治療に関する研究）を授与され積極的に研究を進めている。

研究業績

論文

- 1) 中村辰男¹⁾, 清野精彦, 高野照夫, 大竹 稔¹⁾(¹⁾内科第1): [原著] 糖尿病性血管障害に関する臨床的検討; 末梢動脈硬化進展の特徴および皮膚微小循環の異常について. 糖尿病, 34, 301~309, 1991.
- 2) 田中啓治: [総説] 心筋梗塞患者の妻たち. 医学のあゆみ, 157, 182~182, 1991.
- 3) 洪 基哲¹⁾, 高野照夫 (¹⁾内科第1): [総説] 塩酸リドカイン. 救急医学, 15, 402~407, 1991.
- 4) 富田喜文, 大竹 稔¹⁾, 真鍋辰哉¹⁾, 清野精彦, 太田真夫¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [原著] 急性心筋梗塞におけるLp(a)測定の意義. 日臨代謝会, XXVIII, 210~211, 1991.
- 5) 富田喜文, 高野照夫: [総説] 初期治療の有効性と限界(特集: 心臓突然死). 最新医学, 46, 1091~1097, 1991.
- 6) 高野照夫, 富田喜文: [総説] 不安定狭心症(特集: 最新薬物療法). 内科, 67, 1071~1075, 1991.
- 7) 滝口英由子¹⁾, 田中啓治 (¹⁾内科第1): [総説] 集中治療における心エコー法の実際; 第2部 その①コントラスト心エコー法. 集中治療, 3, 657~661, 1991.
- 8) 宗像一雄¹⁾, 安武正弘¹⁾, 大村和子¹⁾, 今泉孝敬¹⁾, 中込明裕¹⁾, 富田喜文¹⁾, 斉藤寛和¹⁾, 高山守正¹⁾, 杉木雄浩¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾(¹⁾内科第1): [原著] アセチルコリンにより梗塞責任冠動脈が顕性化した正常冠動脈を有する急性心筋梗塞の1例. 心臓, 23, 763~767, 1991.

- 9) 滝口美由子¹⁾, 田中啓治 (1)内科第1): [総説] 集中治療室における心エコー法の実際; その②. 集中治療, 3, 761~765, 1991.
- 10) 島井新一郎¹⁾, 哲翁弥生¹⁾, 高野照夫 (1)福生病院): [総説] 心・循環器系疾患における急性腎不全 (特集: 急性腎不全のすべて). 腎と透析, 31, 235~237, 1991.
- 11) 広沢弘七郎¹⁾, 木全心一¹⁾, 高野照夫, 堀 正二²⁾, 桜井恒太郎³⁾ (1)東京女子医大, 2)大阪大, 3)京大): [原著] 慢性心不全に対するフロセキイン (BTS49465) の臨床効果; 用量設定のための多施設共同二重盲検比較試験. 臨床医薬, 7, 1721~1746, 1991.
- 12) Seino, I., Shimai, S., Ibuki, C., Itoh, K., Takano, T. and Hayakawa, H.: [原著] Disturbed secretion of atrial natriuretic peptide in patients with persistent atrial standstill; Endocrinologic silence. JACC, 18, 459~463, 1991.
- 13) 富田喜文, 高野照夫, 中込明裕, 安武正弘, 今泉孝敬, 説田浩一¹⁾, 高田加寿子, 高山守正¹⁾, 清野精彦, 宗像一雄¹⁾, 田中啓治, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [原著] 急性心筋梗塞の血栓溶解療法における薬物補完療法の意義; 特に heparin 持続静注の効果について. Coronary, 8, 144~150, 1991.
- 14) 矢島俊己, 高野照夫: [総説] CCU における循環管理と問題点. 外科治療, 65, 208~214, 1991.
- 15) Tanaka, K., Takano, T., Sasaki, K.¹⁾, Utsunomiya, H.¹⁾, Tanaka, S.¹⁾, Shoji, T.¹⁾, Hayakawa, H. (1)Department of Cardiovascular): [原著] Medical vs surgical treatment of acute aortic dissection in an intensive care unit. Jap. Cir. J., 55, 815~820, 1991.
- 16) 滝口美由子¹⁾, 田中啓治 (1)内科第1): [総説] 集中治療における心エコー法; 超音波による冠動脈血流測定法 その③. 集中治療, 3, 903~907, 1991.
- 17) 高野照夫, 田中啓治, 清野精彦, 桑名壮太郎¹⁾, 大久保照義²⁾, 高橋 厚³⁾ (1)三菱大倉山病院, 2)協栄会大久保病院, 3)愛和病院): [原著] 葛根湯内服液 CS-705a かぜ症候群に対する臨床評価. Prog. Med., 11, 2111~2124, 1991.
- 18) 滝口美由子¹⁾, 田中啓治 (1)内科第1): [総説] 集中治療における心エコー法の実際; 心機能評価手段としての超音波ドプラー法 その④. 集中治療, 3, 1001~1005, 1991.
- 19) 高田加寿子, 矢島俊己, 高野照夫: [総説] 急性心不全および心原性ショックの緊急処置と薬剤の使い方 (特集: 心性緊急時に使用される薬). ハートナーシング, 4, 906~910, 1991.
- 20) 高田加寿子, 田中啓治, 富田喜文, 清野精彦, 高野照夫: [原著] 内服薬治療抵抗性狭心症に対するジルチアゼム点滴静注の効果. 臨床薬理, 23, 41, 1991.
- 21) 滝口美由子¹⁾, 田中啓治 (1)内科第1): [総説] 集中治療における心エコー法の実際; 負荷心エコー図 その⑤. 集中治療, 3, 1129~1133, 1991.
- 22) 田中啓治, 中込明裕, 富田喜文, 高野照夫, 安武正弘¹⁾, 宗像一雄¹⁾ (1)内科第1): [総説] 再灌流療法の適応とその有用性. Therapeutic Research, 12, 3509~3514, 1991.
- 23) 高野照夫, 田中啓治, 広沢弘七郎¹⁾ (1)榊原記念病院): [総説] 東京都 CCU ネットワークの利用状況; 特に急性心筋梗塞の冠動脈再灌流療法について. Ther. Res., 12, 3509~3514, 1991.
- 24) 加藤和三¹⁾, 飯沼宏之¹⁾, 広沢弘七郎²⁾, 細田瑛一³⁾, 新谷博一⁴⁾, 片桐 敬⁴⁾, 杉本恒明⁵⁾, 内田康美⁵⁾, 早川弘一⁶⁾, 岸田 浩⁶⁾, 高野照夫, 長田洋文⁷⁾, 河合忠一⁸⁾, 神原啓文⁸⁾, 平盛勝彦, 深見健一⁹⁾ (1)心臓血管研究所付属病院, 2)東京女子医大, 3)自治医大, 4)昭和大学, 5)東京大学, 6)内科第1, 7)昭和大学藤が丘病院, 8)京都大学, 9)国立循環器病センター): [原著] 不安定狭心症に対する SG-75注持続点滴療法の臨床的検討; 多施設による第II相臨床試験. 臨と研, 68, 3480~3496, 1991.
- 25) 矢原明美, 佐貫由香, 中込明裕, 田中啓治, 高野照夫: [総説] 再灌流療法のリハビリテーションに及ぼす影響. Ther. Res., 12, 3459~3462, 1991.
- 26) Seino, Y., Takita, T., Tanaka, K., Takano, T., Hayakawa, H. and Okumura, H.: [原著] Clinical features

and coronary backgrounds of coexistent peripheral vascular disease in Japanese coronary artery disease patients. *Angiology*, 42, 899~907, 1991.

- 27) 太田真夫¹⁾, 富田喜文¹⁾, 高野照夫^(¹内科第1): [総説] 虚血性心疾患と心臓性急死; 急死の予防を中心に(特集: 心疾患と突然死). *ハートナーシング*, 4, 998~1002, 1991.
- 28) 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (¹内科第1): [原著] 急性心筋梗塞に伴う心自由壁破裂の破裂時期に関する検討. *心臓*, 23, 10~14, 1991.
- 29) 富田喜文, 高野照夫: [総説] 突然死の機序と病態. *日医師会誌*, 106, 1349~1353, 1991.
- 30) 太田真夫¹⁾, 富田喜文, 高野照夫^(¹内科第1): [総説] 虚血性心疾患と心臓性急死; 急死の予防を中心に(特集: 心疾患と突然死②). *ハートナーシング*, 4, 998~1002, 1991.
- 31) 高野照夫: [総説] 急性心筋梗塞治療の進歩. *日医大誌*, 58, 609~614, 1991.
- 32) Saitoh, T., Yoshikawa, T., Sakamoto, Y., Tanaka, K., Inoue T. and Ogawa, R.: [原著] Sleep apnea in patients with acute myocardial infarction. *Critical Care Medicine*, 19, 938~941, 1991.
- 33) 高野照夫, 太田真夫¹⁾ (¹内科第1): [総説] 臨床医に必要な救急の基本; 循環管理(特集: 内科救急医療の臨床). *日内会誌*, 80, 30~35, 1991.
- 34) 広沢弘七郎¹⁾, 木全一心¹⁾, 高野照夫, 堀 正二²⁾, 海老原昭夫³⁾, 桜井恒太郎⁴⁾ (¹東女医大, ²大阪大, ³自治医大, ⁴京都大): [原著] 慢性心不全に対する Flosequinan (BTS 49465) の薬効評価; Placebo を対照薬とする多施設共同二重盲検試験. *医学のあゆみ*, 159, 875~894, 1991.
- 35) 梅森眞理¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 高野照夫^(¹外科第1): [総説] 動静脈圧差を利用した血漿交換, 血漿灌流法. *日本臨床*, 49 (増刊号), 618~623, 1991.
- 36) 高野照夫: [総説] 急性心筋梗塞治療の進歩; 冠動脈血栓溶解療法. *日医大誌*, 58, 727~729, 1991.
- 37) Kobayashi, Y., Katoh, T., Takano, T. and Hayakawa, H.: [原著] Paroxysmal atrial fibrillation and flutter associated with acute myocardial infarction; Hemodynamic evaluation in relation to the development of arrhythmias and prognosis. *Jpn. Circ. J.*, 56, 1~11, 1992.
- 38) 田中啓治: [総説] 静脈採血時の針の刺入法. *日医新報*, 3532, 166~167, 1992.
- 39) 雪吹周生, 田中啓治, 清野精彦, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (¹内科第1): [原著] 急性心筋梗塞における右心機能不全発現機序; 前壁・下壁梗塞症例における比較検討. *心臓*, 24, 3~12, 1992.
- 40) 宗像一雄¹⁾, 横山広行¹⁾, 高野照夫^(¹内科第1): [総説] 心不全の治療; 急性心不全(特集: 心不全治療例). *医薬ジャーナル*, 28, 39~44, 1992.
- 41) 亀井真一郎, 加藤貴雄¹⁾ (¹内科第1): [総説] 心肺蘇生と不整脈(特集: 心肺蘇生をめぐる諸問題). *ハートナーシング*, 5, 171~179, 1992.
- 42) 田中啓治: [総説] 急性心筋梗塞; 私の診断・治療・処方, 効果判定・評価. *治療*, 74, 307~313, 1992.
- 43) 滝口英由子¹⁾, 田中啓治^(¹内科第1): [総説] 集中治療における心エコー法の実際; エコーガイド下心臓穿刺法 その⑥. *集中治療*, 3, 1229~1233, 1992.
- 44) 太田真夫, 高野照夫: [総説] 心筋梗塞. *からだの科学* (増刊), 59~61, 1992.

[前年度追加分]

- 1) 島井新一郎, 高野照夫, 木内 要, 雪吹周生, 高田加寿子, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄: [原著] 急性心筋梗塞における心房性ナトリウム利尿ペプチド (a-hANP) 分泌刺激因子は何か?. *J. Cardiol.*, 20, 839~847, 1991.
- 2) 小坂真一¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 池下正敏¹⁾, 浅野哲雄¹⁾, 田村浩一²⁾, 高野照夫, 田中啓治, 加藤貴雄, 山手 昇³⁾, 庄司 佑¹⁾ (¹胸部外科, ²病理学, ³聖マリアンナ医大): [原著] 急性心筋梗塞後, 左室自由壁破裂の外科治療. *日胸外会誌*, 38, 248, 1990.

- 3) 高野照夫：〔総説〕急性心筋梗塞に伴う心不全，ショックの治療（特集：循環器疾患，プライマリケア），カレントセラピー，9，442～443，1991.
- 4) 田中啓治，黒沢 尚¹⁾(¹⁾神経科)：〔総説〕社会復帰に向けての精神的な再調整，ハートナーシング，4，207～210，1991.

著 書

- 1) 清野精彦，高野照夫：〔分担〕急性左室不全，“心臓病学”（細田磋一，杉本恒明編），p. 864～873，南江堂，1991.
- 2) 高野照夫：〔編集〕急性心筋梗塞の治療と進歩；再灌流療法と重症ポンプ不全の治療，p. 46，世界保健通信社，1991.
- 3) 高野照夫：〔分担〕心原性ショックにおけるIABP，“今日の循環器疾患治療指針”（細田磋一，村山正博，鰐淵康彦，斉藤完靖，竹下 彰編），p. 248～250，医学書院，1992.
- 4) 田中啓治，大林完二：〔分担〕胸痛，“今日の循環器疾患治療指針”（細田磋一，村山正博，鰐淵康彦，斉藤完靖，竹下 彰編），p. 125～130，医学書院，1992.
- 5) 田中啓治，大林完二：〔分担〕血圧の異常，“今日の循環器疾患治療指針”（細田磋一，村山正博，鰐淵康彦，斉藤宗靖，竹下 彰編），p. 136～141，医学書院，1992.
- 6) 田中啓治：〔分担〕心筋梗塞による強心薬の使い方，“今日の循環器疾患治療指針”（細田磋一，村山正博，鰐淵康彦，斉藤完靖，竹下 彰編），p. 306～308，医学書院，1992.
- 7) 高野照夫：〔分担〕心不全におけるECUMの適応，“今日の循環器疾患治療指針”（細田磋一，村山正博，鰐淵康彦，斉藤完靖，竹下 彰編），p. 250～251，医学書院，1992.
- 8) 清野精彦，高野照夫：〔分担〕動悸（心悸亢進），“症状からみた救急処置”一内科編一（大林完二，大塚敏文，木全心一編），p. 139～152，医学書院，1992.
- 9) 高野照夫：〔分担〕緊急ペーキング，“今日の治療指針”（稲垣義明，多賀須幸男，尾形悦郎編），p. 58，医学書院，1992.
- 10) 田中啓治，大林完二：〔分担〕重大な循環器疾患を見逃さないために，“症状からみた救急処置一内科編一”（大林完二，大塚敏文，木全心一編），p. 1～10，医学書院，1992.

学会発表

- 1) 清野精彦，塚本 浩，中村辰男，大木清司，田中啓治，高野照夫，早川弘一：〔一般講演〕各種心不全治療薬の皮膚微小循環，とくにvasomotionに及ぼす作用の分析；心行動態との対比，第11回日本臨床薬理学会，1990.
- 2) 田中啓治，高野照夫，早川弘一：〔一般講演〕急性心筋梗塞に伴う心室中隔穿孔48例の臨床的特徴；自由壁破裂との対比，第88回日本内科学会講演会，1991.
- 3) 清野精彦，塚本 浩，高野照夫，早川弘一：〔一般講演〕骨格筋血流および皮膚微小循環からみた心不全治療の病態生理学的分析，第88回日本内科学会講演会，1991.
- 4) 富田喜文¹⁾，大竹 稔¹⁾，清野精彦，高野照夫（¹⁾内科第1）：〔一般講演〕急性心筋梗塞におけるLp(a)測定の意義，第28回日本臨床代謝学会総会，1991.
- 5) 田中啓治：〔シンポジウム〕解離性大動脈瘤の内科治療とその限界，第36回東京心臓の会，1991.
- 6) 富田喜文¹⁾，大竹 稔¹⁾，真鍋辰哉¹⁾，太田真夫¹⁾，橋本英洋¹⁾，清水順治¹⁾，早川弘一¹⁾，清野精彦，田中啓治，高野照夫（¹⁾内科第1）：〔一般講演〕心筋梗塞合併糖尿病患者におけるLp(a)の検討，第34回日本糖尿病学会年次学術集会，1991.
- 7) 田中啓治：〔シンポジウム〕CCUにおける集中治療（主題：狭心症・心筋梗塞；最新の治療をめぐって），日本医大医学会第1回公開シンポジウム，1991.
- 8) 高野照夫：〔シンポジウム〕心筋梗塞患者の救急搬送（主題：狭心症・心筋梗塞；最新の治療をめぐって），日

本医大医学会第1回公開シンポジウム, 1991.

- 9) 矢島俊己, 田中啓治, 師田哲郎, 亀井真一郎, 富田喜文, 高田加寿子, 清野精彦, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 池下正敏²⁾, 田中茂夫²⁾ (1)内科第1, 2)胸部外科): [一般講演] 経皮的人工心肺装置(PCPS)を用いて救命しえた左室自由壁破裂の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第140回例会, 1991.
- 10) Seino, Y., Nakamura, T., Takano, T., Tomita, Y., Ohta, M., Manabe, T. and Ohtake, M.: [一般講演] Pathophysiological characteristics of coexistent peripheral disease as diabetic macroangiopathy in Japanese coronary artery disease patients. 14th International Diabetes Federation Congress (ワシントン), 1991.
- 11) Seino, Y., Tsukamoto, H., Nakamura, T., Ohki, K., Takano, T. and Hayakawa, H.: [一般講演] Pathophysiological analysis of skin microcirculation in patients with acute heart failure using a laser doppler flow meter. World Congression Medical Physics and Biomedical Engineering (Kyoto), 1991.
- 12) 田中啓治, 高野照夫: [学術講演] うっ血性心不全. 東京保険医会例会, 1991.
- 13) 田中啓治, 高野照夫: [特別講演] 心筋梗塞の初期治療と東京都CCUネットワークの現状. 第1回新潟突然死研究会, 1991.
- 14) 中込明裕, 田中啓治, 今泉孝敬, 説田浩一, 富田喜文, 清野精彦, 高野照夫, 佐藤直樹¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [教育講演] 早期梗塞後狭心症と後期梗塞狭心症の比較; 臨床像, 発作時心電図変化, 心事故, 治療法の選択について. 第39回日本心臓病学会学術集会, 1991.
- 15) 国見聡宏¹⁾, 横山広行¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 内田高浩¹⁾, 藤岡幹雄¹⁾, 笹川 新¹⁾, 酒井俊太¹⁾, 浅井邦也¹⁾, 鈴木郁代¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 説田浩一¹⁾, 安部正弘¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 星野公彦, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文 (1)内科第1): [一般講演] 当院における経皮的冠動脈形成術(PTCA)の現況. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 16) 笹川 新¹⁾, 青木 聡¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 横山広行¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 星野公彦, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文 (1)内科第1): [一般講演] 当科における僧帽弁狭窄症に対する経皮経静脈的僧帽弁交連裂開術の現況. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 17) 横山広行¹⁾, 国見聡宏¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 内田高浩¹⁾, 藤岡幹雄¹⁾, 笹川 新¹⁾, 酒井俊太¹⁾, 浅井邦也¹⁾, 鈴木郁代¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 説田浩一¹⁾, 安武正弘¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 富田喜文, 今泉孝敬, 中込明裕, 星野公彦, 畑 典武²⁾ (1)内科第1, 2)国立横須賀病院循環器科): [一般講演] 経皮的冠動脈形成術(PTCA)再施行群の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 18) 田中啓治: [一般講演] 経皮的心肺補助法(PCPS)施行中に行う人工透析(HD)および血漿交換(PE); 回路の工夫とその実施. 第29回日本人工臓器学会大会, 1991.
- 19) 矢島俊己: [一般講演] 心原性ショックに対する経皮的心肺補助法(PCPS)の応用と将来の展望について. 第29回日本人工臓器学会大会, 1991.
- 20) 田中啓治, 中込明裕, 島井新一郎, 高野照夫, 早川弘一¹⁾: (1)内科第1): [パネルディスカッション] (主題: 不安定狭心症の病態と治療) 早期梗塞後狭心症の重症度判定と難治例に対する冠動脈血行再建術. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 21) 説田浩一, 清野精彦, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞発症早期の動脈血中 Endothelin に関する検討. 第32回日本脈管学会総会, 1991.
- 22) 西田喜久子, 板橋正恵, 三上志津子, 太田久子, 金沢美恵子, 田口吉子, 田中啓治, 高野照夫, 黒沢 尚¹⁾ (1)神経科) [一般講演] 急性心筋梗塞患者における不眠の発現状況とその誘発因子について. 第37回循環器 PSM の会, 1991.
- 23) 今泉孝敬, 中込明裕, 富田喜文, 田中啓治, 高野照夫, 宗像一雄¹⁾, 岸田 浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一

- 般講演] 右冠動脈閉塞における右室梗塞と血栓溶解療法との関係, 第8回日本心電学会学術集会, 1991.
- 24) 高田加寿子, 田中啓治, 富田喜文, 清野精彦, 高野照夫: [一般講演] 内服薬治療抵抗性狭心症に対するジルチアゼムの経静脈投与の効果, 第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 25) 田中啓治, 矢島俊己, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞に伴う心原性ショックに対するカテ先圧, 心電図センサー付完全自動制御型 IABP, 第12回 IABP 研究会, 1991.
- 26) 亀井真一郎, 富田喜文, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫, 井野 威¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 寺田功一²⁾, 新田隆²⁾, 池下正敏²⁾, 田中 茂²⁾, 川井 真³⁾, 田村浩一⁴⁾, 李 慶英⁵⁾ (1)内科第1, 2)胸部外科, 3)救命救急センター, 4)病理第1, 5)東京女子医大): [一般講演] 薬剤抵抗性の反復性心室頻拍, 細動に対し AICD と cryoablation にて治療した若年 ARVD の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第141回例会, 1991.
- 27) 二宮淳一¹⁾, 田中茂夫¹⁾, 池下正敏¹⁾, 落 雅美¹⁾, 小坂真一¹⁾, 矢島俊己¹⁾, 寺田功一¹⁾, 山内仁紫¹⁾, 師田哲郎¹⁾, 杉本忠彦¹⁾, 庄司 佑¹⁾, 田中啓治, 高野照夫 (1)胸部外科): [一般講演] 急性心筋梗塞, 開心術後の重症心不全に対する補助循環, 特に圧補助の意義について, 第44回日本胸部外科学会総会, 1991.
- 28) Seino, Y., Tsukamoto, H., Nakamura, T., Ohki, K., Takano, T. and Hayakawa, H.: [一般講演] Pathophysiological characteristics of cutaneous microcirculation in patients with heart failure; Relationship to cardiovascular hemodynamics and responses to medical treatments. The 10th Asian Pacific Congress of Cardiology (Seoul), 1991.
- 29) 星野公彦, 家所哲夫, 鈴木達也, 塚原理歌, 横山広行, 竹田晋治, 杉本忠彦, 平山悦之, 亀井真一郎, 今泉孝敬, 矢島俊己, 高田加寿子, 富田喜文, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫: [一般講演] 集中治療室における MRSA 感染症の現状とその臨床背景に関する検討. 日本医科大学医学学会第75回例会, 1991.
- 30) 亀井真一郎, 富田喜文, 平山悦之, 今泉孝敬, 安武正弘¹⁾, 高山守正¹⁾, 清野精彦, 宗像一雄¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 家族性 QT 延長症候群に心筋炎によると思われる洞不全症候群を合併し, さらにペーシング不全・心室頻拍症の発生をみた1例. 第13回心筋生検研究会, 1991.
- 31) 富田喜文, 田中啓治, 横山広行, 星野公彦, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 今泉孝敬, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 桜井太郎²⁾, 浅野伍朗 (1)内科第1, 2)病理第2): [パネルディスカッション] 血管内超音波法の有用性と問題点. (主題: 血管内視システムの使用状況と将来構想). 第7回循環器情報処理研究会, 1991.
- 32) 田中啓治, 富田喜文, 矢原明美, 高野照夫: [シンポジウム] 再灌流療法とリハビリテーション; 再灌流療法は早期退院を可能にしているか. (主題: 急性心筋梗塞に対するリハビリテーションの現状と展望). 第11回 CCU 研究会, 1991.
- 33) 富田喜文, 今泉孝敬, 亀井真一郎, 高田加寿子, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾, 長尾 建²⁾, 上松瀬勝男²⁾, 梶原長雄²⁾ (1)内科第1, 2)日本大学駿河台病院): [一般講演] 左房粘液腫からの塞栓症により広範な出血性心筋梗塞を起こした1例. 第142回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1991.
- 34) 今泉孝敬, 中込明裕, 星野裕彦, 矢島俊己¹⁾, 国見聡宏²⁾, 横山広行, 佐々木美典²⁾, 安武正弘, 富田喜文, 高山守正²⁾, 田中啓治, 宗像一雄²⁾, 二宮淳一¹⁾, 高野照夫, 早川弘一²⁾ (1)胸部外科, 2)内科第1): [一般講演] IABP, PCPS 施行下での左優位回施枝起始部完全閉塞による心原性ショックに対する経上腕動脈 PTCA 施行の1例. 第20回日本心血管形成術研究会, 1992.
- 35) 田中啓治, 矢島俊己, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [シンポジウム] 急性心不全に対する最新の治療: 経皮的肺補助法 (PCPS) 及びカテ先圧心電図センサー付完全自動制御型 IABP (スーパーバルーン). (主題: 急性心不全の治療). 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 36) 井野 威¹⁾, 小林義典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 加藤寛雄¹⁾, 早川弘一¹⁾, 亀井真一郎, 高野照夫 (1)内科第1): [シンポジウム] 急性心筋梗塞に合併する頻脈性不整脈の病態, 治療および予後. (主題: 集中治療における不整脈一ベッドサイドにおける診断と治療). 第19回日本集中治療医学会総会, 1992.
- 37) 高野照夫, 田中啓治: [シンポジウム] カテコラミン; その他の強心薬との比較. (主題: Catecholamine 剤,

臨床). 第7回侵襲時の体液・代謝管理研究会, 1992.

- 38) 平山悦之, 今泉孝敬, 亀井真一郎, 矢島俊己, 高田加寿子, 富田喜文, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫, 斎藤寛和¹⁾, 井野威¹⁾, 新博次¹⁾, 加藤貴雄¹⁾, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] ペースメーカー植え込み術を必要とした向精神薬による房室ブロックの2例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第143回学術集会, 1992.
- 39) 星野公彦, 富田喜文, 横山広行, 今泉孝敬, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫, 国見聡宏¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [展示] 急性心筋梗塞における血中トロポニンT測定の有用性. 第56回日本循環器学会総会, 1992.
- 40) 田中啓治, 矢島俊己, 亀井真一郎, 今泉孝敬, 富田喜文, 高野照夫, 二宮淳一¹⁾, 早川弘一²⁾ (1)胸部外科, 2)内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞に伴う極めて重篤な心原性ショックに対する経皮的な心肺補助法(PCPS)の有用性と問題点. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 41) 田中啓治: [パネルディスカッションフロア指定発言] スーパーパルーンと経皮的な心肺補助法. (主題: 心筋梗塞急性期の治療). 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 42) 高野照夫: [ファイアースイドカンファレンス] 心不全治療における強心薬の意義. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 43) 清野精彦, 説田浩一¹⁾, 富田喜文, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞における cytokines modulation に関する分析. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 44) 今泉孝敬, 富田喜文, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫, 草間芳樹¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞(AMI)早期のDobutamine (DOB) 負荷エコー法による左室壁運動障害改善の予知. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 45) 富田喜文, 清野精彦, 中込明裕, 今泉孝敬, 説田浩一, 田中啓治, 高野照夫, 安武正弘¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 心筋梗塞急性期における心のう液貯留の臨床的検討; 特に血栓溶解療法との関連について. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 46) 中込明裕, 田中啓治, 星野公彦, 横山広行, 今泉孝敬, 説田浩一, 富田喜文, 清野精彦, 高野照夫, 国見聡宏¹⁾, 佐々木美典¹⁾, 安武正弘¹⁾, 高山守正¹⁾, 宗像一雄¹⁾, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 梗塞後狭心症(PIA)の発症時期別における病態の違いについて. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 47) 安武正弘¹⁾, 鈴木郁代, 宗像一雄¹⁾, 岸田浩¹⁾, 早川弘一¹⁾, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文, 田中啓治, 高野照夫: [一般講演] 心筋梗塞血栓溶解療法後の予後は急性期冠動脈形態および入院時の臨床像から予測可能か? 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.
- 48) 説田浩一, 清野精彦, 富田喜文, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一¹⁾ (1)内科第1): [一般講演] 急性心筋梗塞における血中 endothelin 上昇の由来と病態生理学的意義; 部位別採血による検討. 第56回日本循環器学会学術集会, 1992.

[付属病院病理部]

研究概要

当部では研究機関としての役割はなかなか果たすのが困難であり, 技師の方は主として細胞診関係, 医師の方は直接当部の仕事にかかわるものよりは, 独自の研究, 特に病理学教室と協同で行われたものが大半を占める.

研究業績

論文

- 1) 松島伸治¹⁾, 田村浩一, 庄司 佑¹⁾, Montefusco C.M.²⁾, Veith F.J.²⁾, (1)外科学第2, 2)Albert Einstein 医科大学外科): [原著] イヌ同種左肺移植後の左房拒絶反応の影響. 胸部外科, 44, 1006~1009, 1991.

- 2) 松原美幸, 渡會泰彦, 鈴木恒道, 浦田伸一¹⁾, 喜村久美子²⁾, 前田昭太郎³⁾ (1)整形外科, 2)病理学第2, 3)多摩永山病院病理部): [報告]Epithelioid sarcoma の再発を細胞診で示唆し得た1症例. 日臨細胞会誌, 30, 558~563, 1991.

著書

- 1) 田村浩一: [翻訳・分担]血液リンパ系疾患患者の看護ケア“看護過程にそった看護実践マニュアル”(庄司 佑, 小島操子, 田中茂夫監訳). p. 111~139, 医学書院, 1991.

学会発表

- 1) 田村浩一, 福田 悠¹⁾, 益田幸成¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (1)病理学第1): [展示]心筋梗塞に伴う僧帽弁腱索断裂に関する病理組織学的研究. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 2) 小川真紀¹⁾, 田村浩一, 山中宣昭¹⁾, 福田 悠¹⁾, 鈴木恒道 (1)病理学第1): [展示]心臓原発悪性線維性組織球腫の1手術例. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 3) 片岡光枝¹⁾, 田村浩一, 松並平晋¹⁾, 新井孝司¹⁾, 若松恭子¹⁾, 小松三恵¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (1)病理学第1): [一般講演]梗塞部心筋の各種特殊染色による検討. 第38回日本臨床病理学会総会, 1991.
- 4) 松並平晋¹⁾, 片岡光枝¹⁾, 新井孝司¹⁾, 若松恭子¹⁾, 小松三恵¹⁾, 益田幸成¹⁾, 田村浩一, 杉崎祐一¹⁾, 山中宣昭¹⁾ (1)病理学第1): [一般講演]電子顕微鏡用PAM染色の検討(第2報). 第38回日本臨床病理学会総会, 1991.
- 5) Kanno, S.¹⁾, Osaka, S.²⁾, Tamura, K., Oka, M.¹⁾ and Shoji, T.²⁾ (1)病理学第1, 2)外科学第2): [一般講演]Histopathological evaluation of arterial graft materials for coronary artery bypass grafting. 10th Biennial Asian Congress on Thoracic and Cardiovascular Surgery (Indonesia), 1991.
- 6) Kobayashi, T.¹⁾, Onda, M.¹⁾, Ucida, E.¹⁾, Yamanaka, Y.¹⁾, Aimoto, T.¹⁾, Yokoyama, T.¹⁾, Sasajima, K.¹⁾, Tajiri, T.¹⁾, Egami, K.¹⁾, Tamura, K. and Yamanaka, N.²⁾ (1)外科学第1, 2)病理学第1): [展示]Cell kinetics of precancerous and cancerous lesions and transplantable carcinoma of the pancreas in hamsters induced by N-Nitro sobis (2-oxopropyl) amine (BOI). American Pancreatic Association INC (Chicago), 1991.
- 7) 小林 匡¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 会田邦晴¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 江上 裕¹⁾, 田村浩一, 山中宣昭²⁾ (1)外科学第1, 2)病理学第1): [展示]ハムスター膵発癌過程および同種継代移植系における細胞動態の検討. 第22回日本膵臓学会, 1991.
- 8) 小林 匡¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山中洋一郎¹⁾, 会田邦晴¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 笹島耕二¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 江上 裕¹⁾, 田村浩一, 山中宣昭²⁾ (1)外科学第1, 2)病理学第1): [展示]ハムスター膵発癌過程および同種継代移植系における細胞動態の検討. 第59回日本医科大学医学部総会, 1991.

[付属病院中央検査部]

研究概要

中央検査部は臨床サイドへの正確, 且つ速やかなる患者情報を提供するサービス業務が最も重要な存在である。

そのため内部における質的向上を常に目指して新・旧測定試薬の見直しと改善, 業務の効率化としての新測定機種への取り組み, さらには導入に基づく新規検査試薬・治験用検査薬の検討評価と共に救急医療をはじめ, 各臨床科との密接なる医療情報の根幹を目的としている。

本年度の活動業績は, ①血液・凝固線溶検査部門では溶血時における血小板への影響, 血中トロンビン・アンチトロンビンIII複合体の検索をはじめとし, FDP など自動化の試み, ②一般検査部門では地域性による糞線虫の検出や培養法の試み, 各腎疾患による微量アルブミンの評価や一連の測定法におけるコンピュータ化の考案, ③血清検査部門では梅毒 TP 抗体の見直しや TP 抗体(IgM)の検索, IgG クラス抗 ss, ds-DNA 抗体や HCV 抗体の検索, hCG, HPL,

E3測定における自動化の試み, ④細菌検査部門では手術室清浄化管理としての細菌検査や多剤耐性菌(MRSA)検出状況のチェック, ⑤生化学部門では自動分析装置の活用は元より, γ -GTP アイソザイム, 血清銅測定法の確立, さらにNH₃回避による尿中尿素窒素の測定や透析患者によるALTの経過観察, ⑥緊急検査部門ではドライケミストリーによる各項目の検索やミオグロビン・CK-MB 検出法の継続課題, ⑦輸血検査部門では輸血時の血液製剤使用量のチェック, 院内におけるMSBOS法確立の試みなどがある。

また, 継続課題である症例別遊離アミノ酸の検索, 院内職員を対象とした健康管理用の検査業務の拡大や卒後教育をテーマとしたMTセミナーの実施など院内, 外共に年毎に, より充実した地道な活動が続けられている。

研究業績

論文

- 1) 柴田泰史, 上田ひろみ, 紺野明子, 佐藤寛之, 本山三生, 山下精彦, 辺見 弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 安田和弘¹⁾, 横田裕行¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救命救急センター): [原著]外傷患者における凝固線溶系の変動. *Kameraden*, 4, 9~13, 1991.
- 2) 町田幸雄, 森本 進, 野本剛史, 本山三生, 皆川 彰: [原著]日立-7150形自動分析装置を用いたCAP・P-LAPの測定. *日臨検自動化会誌*, 17, 21~26, 1992.

著書

- 1) 野本剛史: [編集]第18回臨床検査技師国家試験対策セミナーテキスト. (社)東京都臨床衛生検査技師会, 1992.

学会発表

- 1) 園部一成, 橋本政子, 和田雅子, 野本剛史, 本山三生, 皆川 彰: [展示]モノクローナル抗体を用いた尿中微量hCG, LH半定量法の検討. 第40回日本臨床衛生検査学会, 1991.
- 2) 高木 豊, 太田 綾, 佐藤寛之, 本山三生, 皆川 彰: [展示]FDC-5000を用いたドライケミストリーの基礎的検討. 第40回日本臨床衛生検査学会, 1991.
- 3) 太田 綾, 高木 豊, 佐藤寛之, 本山三生, 皆川 彰: [展示] FDC-800を用いたNa・K・Cl測定の基礎的検討. 第40回日本臨床衛生検査学会, 1991.
- 4) 佐藤寛之, 高木 豊, 本山三生, 皆川 彰: [展示]心疾患におけるCK-MB蛋白質量の有用性について. 第40回日本臨床衛生検査学会, 1991.
- 5) 藤井克彦, 森本 進, 町田幸雄, 野本剛史, 本山三生, 皆川 彰: [展示]尿中尿素窒素測定におけるNH₃回避法の評価; NH₃消去法およびNH₃非測定法との比較を中心として. 第40回日本臨床衛生検査学会, 1991.
- 6) 野本剛史, 重信智津子, 三橋 太, 橋本政子, 本山三生, 皆川 彰: [展示]ELISA法におけるHCV抗体検出法の比較検討. 第40回日本臨床衛生検査学会, 1991.
- 7) 柴田泰史, 上田ひろみ, 紺野明子, 佐藤寛之, 本山三生, 皆川 彰, 辺見 弘¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 安田和弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救命救急センター): [一般講演]外傷におけるCKアイソザイムの検討. 第5回日本外傷研究会, 1991.
- 8) 町田幸雄, 森本 進, 野本剛史, 本山三生, 皆川 彰: [一般講演]日立-7150形自動分析装置を用いたCAP・PLAPの測定. 第23回日本臨床検査自動化学会, 1991.
- 9) 照沼悦子, 三橋 太, 橋本政子, 野本剛史, 本山三生, 山下精彦: [展示]梅毒TP抗原を用いた測定法の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 園部一成, 竹内玲子, 橋本政子, 野本剛史, 本山三生, 山下精彦: [展示]EIA法におけるIgGクラス抗ss-DNA抗体および抗ds-DNA抗体測定の基礎的検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 11) 亀山澄子, 野本剛史, 本山三生, 山下精彦: [展示]当院における血液の使用状況報告; 手術準備血を中心として. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

- 12) 長倉千恵子, 山本信也, 青砥泰二, 伊東民誉, 野本剛史, 本山三生, 山下精彦, 三宅弘一¹⁾ (1)内科第3): [展示] 最近経験した糞線虫症の1例. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 13) 長谷川栄子, 瀬川純子, 佐藤寛之, 本山三生, 山下精彦: [展示] 血中トロンビン・アンチトロンビンIII複合体(TAT)の基礎的検討; 第3報. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 14) 瀬川純子, 皆川 彰, 高山弘平, 小川博康¹⁾, 八木 寛¹⁾, 進 純郎¹⁾ (1)産婦人科): [展示] 妊娠糖尿病における血中アミノ酸測定の意義についての検討; 第3報. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 15) 吉住正和, 瀬川純子, 長谷川栄子, 佐藤寛之, 本山三生, 山下精彦: [展示] 自動分析装置 COBAS MIRA, LPIA 100による血中 FDP の測定. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 16) 高木 豊, 佐藤寛之, 本山三生, 山下精彦: [展示] IMX を用いた CK-MB 蛋白量測定の基礎的検討. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 17) 佐藤寛之, 高木 豊, 本山三生, 山下精彦: [展示] 心疾患におけるミオグロビン定量の有用性について. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 18) 福田高久, 中村祐三, 友田尚子, 橋田和美: [展示] 貧血治療における赤血球粒度分布の変化. 第59回日本医科大学医学学会総会, 1991.
- 19) 佐藤寛之, 亀山雅弥, 本山三生, 皆川 彰, 高岡雅子¹⁾, 矢嶋浩二¹⁾, 池野広幸²⁾ (1)中央手術部, 2)第二病院中央検査室): [一般講演] 手術部における環境管理. 第13回日本手術部医学会, 1991.
- 20) 三橋 太, 園部一成, 橋本政子, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] 全自動免疫化学分析装置 LX-M の評価; 特に産婦人科領域における内分泌機能について. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 21) 三橋 太, 橋本政子, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] 梅毒 TP 抗体価測定の評価; 特に IgM クラスの検出を中心として. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 22) 園部一成, 太田 綾, 三橋 太, 橋本政子, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] HCV 抗体の各検出法における日常検査への導入の試み. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 23) 山本信也, 長倉千恵子, 青砥泰二, 伊東民誉, 野本剛史, 本山三生, 山下精彦, 三宅弘一¹⁾ (1)内科第3): [一般講演] 最近経験した糞線虫症の1例. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 24) 漆澤亜希, 山本信也, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] 全自動免疫化学分析装置 LX-M の評価; 特に尿中微量アルブミン測定について. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 25) 高木 豊, 佐藤寛之, 本山三生, 山下精彦: [一般講演] IMX を用いた CK-MB 蛋白量測定の基礎的検討. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 26) 佐藤寛之, 高木 豊, 本山三生, 山下精彦: [一般講演] 心疾患におけるミオグロビン定量の有用性について. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 27) 町田幸雄, 藤井克彦, 森本 進, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] γ GTP アイソザイムの検討; 特に基質・発色試薬について. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 28) 石野三智男, 町田幸雄, 森本 進, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] 直接比色法による血清銅測定法の評価. 第28回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1991.
- 29) 三橋 太, 園部一成, 太田 綾, 橋本政子, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] 間接凝集法による梅毒 TP 抗体検出法の比較. 第1回医学検査学会, 1992.
- 30) 篠山明宏, 山本信也, 長倉千恵子, 伊東民誉, 青砥泰二, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] 尿一般検査におけるコンピュータ化の試み; 測定から報告書作成まで (II). 第1回医学検査学会, 1992.
- 31) 福田高久, 中村祐三, 橋田和美, 間宮一夫: [一般講演] 血球計数値, 特に血小板数値に及ぼす溶血の影響. 第1回医学検査学会, 1992.
- 32) 森本 進, 町田幸雄, 石野三智男, 下内亮子, 野本剛史, 本山三生: [一般講演] 透析患者における低値血清 ALT の解析. 第1回医学検査学会, 1992.

- 33) 柴田泰史, 上田ひろみ, 本山三生, 山下精彦, 辺見 弘¹⁾, 安田和弘¹⁾, 小関一英¹⁾, 大塚敏文¹⁾(¹⁾救命救急センター): [一般講演] 当救命救急センターにおける全自動血液ガス電解質測定装置 stat profile 5の検討. 第32回日本救急医学会関東地方会, 1992.

[付属病院薬剤部]

研究概要

薬物療法における医薬品の有効性, 安全性の確保, および経済性への貢献は, 薬剤部の最も重要な業務である。

最近, 「良質な医療を, 効率良く国民に提供する」ことを目的とした国の政策が, 急速に進められている。その一環として, 病院からの院外処方せん発行に対する診療報酬を含めた医療環境の整備が進められており, 病院薬剤業務を, 外来患者主体から入院患者主体へ変換することが求められている。つまり, 臨床の現場において, 薬剤師の責任を果たすことが要求されているのである。

当院における病棟薬剤師活動は, 人員の関係から, 救命救急センターと A 棟 8 階の 2 病棟のみで実施しているが, これらの病棟活動を通して, 薬物療法に関する多くの問題点が提起され, それらが当院薬剤部における研究テーマの主体となっている。

救命救急センター関係では, 「クレアチニンクリアランスの基礎的検討」「MRSA の薬剤感受性の変化と血中濃度の問題」「搬入された低血糖患者の検討」「インスリンの輸液バッグへの吸着」など救命救急センターの特色を活かした研究が行われ, A 棟 8 階病棟関係では, 看護部の協力を得て「点眼薬の投与方法」に関する研究が行われた。

その他, 注射補給室では, 輸液の材質の違いによる点滴速度の問題から「各種輸液容器の評価」に関する実験を行い, また薬品管理室では, MRSA との関係から「抗生剤の使用動向」に関する調査結果をまとめ発表した。

以上述べてきたように, 臨床の現場において, 薬剤師が関与し, 解決すべき多くの問題が残されている。今後もこれらの問題を研究テーマとして積極的に取り上げ, 薬物療法における医薬品の有効性, 安全性の確保, および経済性への貢献を薬剤師の立場から進めて行きたいと考えている。

研究業績

論文

- 1) 平野公晟, 森田秋夫, 村田和也: [総説] 処方せんにみる自律神経作用薬の傾向. 薬局, 42, 811~821, 1991.
- 2) 西澤健司, 平野公晟: [論説] 救命救急センターにおける薬剤師の役割; 救急医療と薬剤師のかかわり合い. 日病薬誌, 27, 515~517, 1991.
- 3) 大塚敏文¹⁾, 山本保博¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 安田和弘¹⁾, 横田裕行¹⁾, 牧野俊郎¹⁾, 木村昭夫¹⁾, 辻井厚子¹⁾, 西澤健司(¹⁾救急医学): [原著] 重症患者における胃液分泌に対するシメチジン注の抑制効果の検討. 薬理と治療, 19, 4975~4985, 1991.
- 4) 平野公晟: [論説] 院外処方せん発行; 応需の留意点. 月刊薬事, 33, 2099~2101, 1991.
- 5) 横田裕行¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 加藤一良¹⁾, 安田和弘¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 西澤健司(¹⁾救急医学): [原著] Ceftriaxone sodium (CTRX) の髄液内移行について. 救急医学, 16, 359~362, 1992.

学会発表

- 1) 西澤健司, 伊藤純子, 平野公晟: [一般講演] ICU におけるクレアチニンクリアランスの基礎的検討. 第12回治療薬物モニタリング学術大会, 1991.
- 2) 西澤健司, 平野公晟: [一般講演] 救命救急センターにおける MRSA の薬剤感受性の変化と血中濃度からみた検討. 第1回日本病院薬学会年会, 1991.
- 3) 片山志郎, 佐治名保子, 平野公晟, 杉山浅美¹⁾, 長谷川幸子¹⁾(¹⁾付属病院看護部): [一般講演] 眼科病棟におけ

る服薬指導の現状および点眼薬の投与方法についての検討。関東ブロック第21回学術大会，1991。

- 4) 村田和也，佐治名保子，片山志郎，石原朋子，伊藤純子，菅谷量俊，伊藤義樹，清水 哲，平野公晟：〔一般講演〕当院の注射薬供給（一本渡し）の現状；その2 薬剤師の役割。関東ブロック第21回学術大会，1991。
- 5) 西澤健司，伊東由起子，菅谷量俊，平野公晟，安田和弘¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾（¹⁾救急医学）：〔一般講演〕当院救命救急センターにおける低血糖患者の検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 6) 伊藤義樹，菅谷量俊，村田和也，平野公晟：〔展示〕各種輸液容器の評価。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 7) 中山 健，原田香里，平野公晟：〔展示〕日本医科大学付属病院における抗生剤の使用動向。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 8) 伊藤純子，西澤健司，平野公晟，安田和弘¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾（¹⁾救急医学）：〔一般講演〕MRSA と薬物血中濃度の問題。日本医科大学医学会第75回例会，1991。
- 9) 清水 哲，西澤健司，村田和也，平野公晟：〔一般講演〕高カロリー輸液バッグにおけるインスリン吸着抑制の検討；第3報 日本薬学会第112年会，1992。
- 10) 西澤健司，伊東由起子，菅谷量俊，平野公晟，安田和弘¹⁾，辺見 弘¹⁾，大塚敏文¹⁾（¹⁾救急医学）：〔一般講演〕当院救命救急センターにおける低血糖患者の検討。日本薬学会第112年会，1992。

〔付属病院生理機能センター〕

研究概要

当院生理機能センターでは，多剤耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）に着目し，検査に使用する器具を介して感染する可能性があること，またそれに使用する消毒薬の効果には商品により差があることを報告した。

今後も MRSA を含め，実際の業務に関わる身近なテーマを中心に研究を心掛けたいと考えている。

研究業績

学会発表

- 1) 野原秀明，青木 亘，斉藤公一，竹内良夫¹⁾，早川弘一（¹⁾微生物免疫）：〔一般講演〕当院生理機能センターにおける多剤耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の現状。第59回日本医科大学医学会総会，1991。

21. 第一病院付置施設等

[第一病院人工透析室]

研究概要

1) 腎移植に伴う種々の研究

1989年10月より第一病院においては、人工透析室の腎臓グループと外科学第2教室の協力により、生体腎移植が行われ、現在12例をこえ、何れも生着した。

これらのなかには、ABO血液型不適合例の腎移植、術前のエリスロポエチン連続使用による無輸血手術なども含まれ、これらの症例についての臨床観察、術後の副甲状腺ホルモンの変動およびCa代謝、開発段階の新しい免疫抑制剤による拒絶反応への使用など移植に関連した種々の研究が行われている。

2) 慢性腎不全患者の脳血流動態および脳代謝の研究

この研究はひきつづき行われているが、他の国立の施設の特殊な装置を使用しての研究が含まれるので、種々の制約、困難を伴うが、症例を重ねて検討を加えつつある。

研究業績

論文

- 1) 飯野靖彦：〔総説〕Q & A 偽性バーター症候群。腎と透析，30，742～743，1991。
- 2) 竹内正至，飯野靖彦：〔総説〕高Na血症の是正；輸液療法の実際。Medicina，28，1019～1021，1991。
- 3) 葉山修陽，飯野靖彦：〔総説〕NSAIDs腎症；腎疾患作成モデル。腎と透析，31，472～475，1991。
- 4) 飯野靖彦，丸茂文昭¹⁾，小笠原陽¹⁾，桜井俊一朗¹⁾，井上 篤¹⁾（¹⁾東京医科歯科大学第2内科）：〔原著〕低分子ヘパリン（LHN-I）の血液透析における抗凝固薬としての臨床効果。腎と透析，31，1123～1129，1991。
- 5) 飯野靖彦：〔総説〕Q & A エリスロポエチンと高血圧。腎と透析，32，429～430，1992。
- 6) Iino, Y., Ohzono, E., Kawabe, M., Matsunobu, S., Takeuchi, N., Hayama, N., Hara, K., Terashi, A., Suzuki, S.¹⁾ and Amemiya, H.¹⁾（¹⁾国立循環器病センター）：〔原著〕Improvement of renal function in transplanted kidneys with a new immunosuppressive drug, 15-deoxyspergualin. Transplantation Proceeding, 24, 1381～1382, 1992。
- 7) 塚本雄介¹⁾，飯野靖彦，丸茂文昭²⁾（¹⁾北里大学内科，²⁾東京医科歯科大学第2内科）：〔原著〕保存期慢性腎不全の腎性貧血に対するエポエチンベータの多施設臨床研究。臨床透析，8，123～137，1992。
- 8) 飯野靖彦：〔総説〕腎移植と高血圧。医学のあゆみ，157，229，1991。
- 9) 葉山修陽，飯野靖彦：〔総説〕高カリウム血症周期性四肢麻痺。総合臨床，40，895～898，1991。
- 10) 飯野靖彦：〔総説〕透析液と抗凝固薬の進歩。医学のあゆみ，159，65～68，1991。

著書

- 1) 飯野靖彦：〔分担〕脱水“初心者のための症状から病歴をとるコツ”（黒須康彦編）。p. 119～121，新興医学出版社，1991。
- 2) 飯野靖彦：〔分担〕妊娠と腎“今日の治療指針1992”（日野原重明，阿部正和編）。p. 434，医学書院，1992。
- 3) 飯野靖彦：〔分担〕高カリウム血症“今日の診断指針第3版”（亀山正邦編）。p. 89，医学書院，1992。
- 4) 松信精一，飯野靖彦：〔分担〕腎不全“内科診療ポネットブック”（廣瀬俊一編）。p. 436～442，金原出版，1992。

学会発表

- 1) 松信精一, 飯野靖彦, 大園英一, 鶴岡秀一, 中村 正, 竹内正至, 北村博司, 河辺清彦, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎, 秋丸琥甫¹⁾, 日置正文¹⁾, 家所良夫¹⁾, 松島伸治²⁾, 庄司 佑²⁾, 中島興治³⁾(¹⁾外科第2, ²⁾中島病院): [一般講演] 小腸穿孔を合併した生体腎移植の1例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 2) 竹内正至, 松信精一, 大園英一, 河辺満彦, 葉山修陽, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 山田宜孝, 馬杉洋三¹⁾(¹⁾第一病院病理): [一般講演] Sulfadiazine silver により惹起されたとされるネフローゼ症候群の1症例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 3) 葉山修陽, 河辺清彦, 栗原 怜¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 清水 章²⁾, 山中宣昭²⁾(¹⁾春日部秀和病院, ²⁾病理第1): [一般講演] 経時的腎生検を施行し得た IgA 腎症と膜性腎症の合併例. 第21回日本腎臓学会東部部会, 1991.
- 4) 松信精一, 飯野靖彦, 北村博司, 竹内正至, 大園英一, 河辺清彦, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎, 馬杉洋三¹⁾(¹⁾第一病院病理): [一般講演] 初発時と再発時に LDL apheresis を試みた難治性ネフローゼ症候群の1例. プラズマフェレシス治療研究会(第11回シンポジウム), 1991.
- 5) 河辺満彦, 飯野靖彦, 竹内正至, 松信精一, 大園英一, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎: [一般講演] 1,25(OH)₂D₃ therapy (経口). 第36回日本透析療法学会, 1991.
- 6) 葉山修陽, 松信精一, 竹内正至, 河辺満彦, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎, 栗原 怜¹⁾, 米島秀夫¹⁾, 前田きみ子²⁾, 勝野 浩²⁾(¹⁾春日部秀和病院, ²⁾佼成病院): [一般講演] 脳出血例に CAPD を施行した透析患者の臨床例について. 第36回日本透析療法学会, 1991.
- 7) 飯野靖彦, 大園英一, 松信精一, 竹内正至, 河辺満彦, 葉山修陽, 原 一男, 赫 彰郎, 鈴木盛一¹⁾, 雨宮 浩¹⁾(¹⁾国立循環器病センター): [一般講演] 慢性拒絶反応に対する 15-deoxyspergualin の作用. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 8) 葉山修陽, 竹内正至, 松信精一, 河辺満彦, 飯野靖彦, 原 一男, 赫 彰郎: [一般講演] アドステロンの分泌と cell volume との相互関係について. 第34回日本腎臓学会総会, 1991.
- 9) Iino, Y., Ohzono, E., Kawabe, M., Matsunobu, S., Takeuchi, M., Hayama, N., Hara K., Terashi, A., Suzuki, S.¹⁾ and Amemiya, H.¹⁾(¹⁾国立循環器病センター): [一般講演] Improvement of renal function in transplanted kidneys by new-immunosuppressive drug, 15-deoxyspergualin. The Second Congress of Asian Society of Transplantation (Taipei), 1991.

【第一病院病理部】

研究概要

平成元年病理部が開設され、3年目を迎えた。初年度は、設備の整備、一般業務の着実な施行を図り、パソコンを導入して業務の効率化、省力化を試みた。2年度は専門医により、皮膚病理、腎病理、神経病理部門を充実し、甲状腺、大腸について腺腫と腺癌との鑑別について研究を開始した。また、病理データベースの完成と教育、研究応用に成果を挙げた。以下、3年度の研究概要を述べる。

- 1) 腎移植病理：馬杉名誉教授の指導により、火曜日に腎病理カンファランスを行っており、また、これまでの本学の移植例について病理所見をまとめて発表した。
- 2) 肝移植病理：外科学第2秋丸助教授の指導により、スタッフを米国ピッツバーグ大学へ派遣し将来の臓器移植に備えた。
- 3) 神経病理：臨床診断から解剖、CPCまで多数の症例について詳細な検討が行われた。
- 4) 甲状腺の病理：腺腫、異型腺腫、濾胞癌の鑑別について新しい知見が得られた。
- 5) 大腸早期癌の病理：腺腫の悪性化について、良悪性の診断基準を確立し、新しい大腸生検グループ分類を提唱した。

- 6) 乳癌の病理：細胞像，組織像，ホルモンレセプターの相関性に着目し，乳癌組織型分類の再評価を試みた。
- 7) 子宮頸部境界病変の病理：HPV感染による細胞像の変化を詳細に観察することにより dysplasia の診断基準を再検討した。
- 8) ビタミン A 欠乏症：結膜捺印細胞診による診断手技を確立し，タイ国において実践した。
- 9) PCNA の検討：細胞増殖因子として注目されている PCNA について，固定，染色性につき，基礎的検討が行われた。
- 10) その他：中国白求恩医科大学より技師を受け入れ，教育，研修を行った。

研究業績

論文

- 1) 花牟礼康生¹⁾，児玉朱音¹⁾，大島 博¹⁾，山田宣孝¹⁾(¹⁾第一病院内視鏡科)：〔報告〕下行結腸に発生したいわゆる reactive lymphoreticular hyperplasia の 1 例。消化器内視鏡の進歩，38，370～373，1991。
- 2) 松本光司，佐藤春明，山田宣孝，浅野伍朗¹⁾，今野 肇²⁾(¹⁾病理第 2，²⁾サンテレホン KK)：〔原著〕R；BASE PRO を使用したパソコンによる病理診断のデータ処理について。医療とコンピュータ，4，745～750，1991。
- 3) 松本光司，佐藤春明，大塚俊司，山田宣孝，浅野伍朗¹⁾(¹⁾病理第 2)：〔臨床医のために〕パソコンによる病理診断のデータ処理について。日医大誌，59，75～80，1992。

学会発表

- 1) 松本光司，竹田数章，山本英希，山田宣孝¹⁾，浅野伍朗¹⁾(¹⁾病理第 2)：〔一般講演〕組織診および細胞診の情報処理，特に病理診断のデータ取扱いについて。第80回日本病理学会総会，1991。
- 2) 竹田数章，山本英希，山田宣孝，前田昭太郎¹⁾，浅野伍朗²⁾(¹⁾多摩永山病院病理，²⁾病理第 2)：〔展示〕神経原発が疑われる後腹膜腫瘍の 1 剖検例。第80回日本病理学会総会，1991。
- 3) 北 俊典¹⁾，平野敏一¹⁾，山田宣孝，浅野伍朗¹⁾(¹⁾病理第 2)：〔展示〕胃癌の間質における血管の増生とその役割。第80回日本病理学会総会，1991。
- 4) 酒井欣男¹⁾，森 秀樹¹⁾，陳 光永¹⁾，高橋 望¹⁾，竹田裕之¹⁾，天神敏博¹⁾，北 俊典¹⁾，山田宣孝，庄司 佑¹⁾(¹⁾外科第 2)：〔一般講演〕マイクロカプセルを用いた癌間質反応の研究。第91回日本外科学会総会，1991。
- 5) 長浜亮二¹⁾，清水一雄¹⁾，渡辺秀裕¹⁾，山田宣孝，北 俊典¹⁾，庄司 佑¹⁾(¹⁾外科第 2)：〔一般講演〕モノクローナル抗体 HISL-19 による消化管腫瘍の組織化学的検討。第 3 回日本内分泌外科学会総会，1991。
- 6) 大塚俊司，佐藤春明：〔シンポジウム〕軟部腫瘍の診断における技術的検討(細胞学的，組織学的，免疫組織学的，電顕的)〔病理：非上皮性腫瘍における病理組織学的・細胞学的検索〕。第40回日本臨床衛生検査学会，1991。
- 7) 佐藤春明，早澤久美，仲原昌子，村瀬幸宏，大塚俊司：〔展示〕病理部門におけるパーソナルコンピュータを用いた情報処理。第40回日本臨床衛生検査学会，1991。
- 8) 松島伸治¹⁾，星野有哉¹⁾，山本英希¹⁾，岩瀬和泉¹⁾，家所良夫¹⁾，日置正文¹⁾，山田宣孝，庄司 佑¹⁾(¹⁾外科第 2)：〔一般講演〕肺原発性 malignant fibrous histiocytoma の 1 手術例。第 8 回日本呼吸器外科学会総会，1991。
- 9) 佐藤春明，村瀬幸宏，大塚俊司，山田宣孝，秋丸琥甫¹⁾，江連 司¹⁾，渡辺秀裕¹⁾，小山寿雄¹⁾，大場英巳¹⁾，庄司佑¹⁾，中川敬夫²⁾，前田昭太郎²⁾(¹⁾外科第 2，²⁾外摩永山病院病理)：〔展覧〕術前に穿刺吸引細胞診にて診断し得たアポクリン癌の 1 例。第32回日本臨床細胞学会総会，1991。
- 10) 有田 淳²⁾，秋丸琥甫¹⁾，小熊将之¹⁾，小山寿雄¹⁾，大場正巳¹⁾，矢野正雄¹⁾，渡辺一彦¹⁾，庄司 佑¹⁾，佐藤春明，村瀬幸宏，大塚俊司，山田宣孝，伊藤 正²⁾，中川敬夫²⁾，前田昭太郎³⁾(¹⁾外科第 2，²⁾放射線科，³⁾多摩永山病院病理)：〔展示〕乳癌の穿刺吸引細胞診にて診断された T₀微小乳癌(篩状癌)の 1 例。第32回日本臨床細胞学会総会，1991。
- 11) 竹田数章，大塚俊司，佐藤春明，松本光司，山田宣孝，浅野伍朗¹⁾，中村兼一²⁾(¹⁾病理第 2，²⁾耳鼻咽喉科)：〔一

- 般講演] 甲状腺濾胞腔性病変の病理組織学的診断に関する研究；第2報 接 PCNA 抗体を用いた濾胞性病変の鑑別。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 12) 大塚俊司，早澤久美，仲原昌子，村瀬幸宏，佐藤春明，竹田数章，山本英希，松本光司，山田宣孝：〔展示〕抗 PCNA 抗体による増殖細胞の染色性について；固定液および染色性の検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 13) 矢島幹久¹⁾，成田 稔¹⁾，川津邦雄²⁾，山田宣孝，浅野伍朗³⁾(¹⁾多摩全生園，²⁾国立多摩研究所，³⁾病理第2)：〔展示〕ハンセン病治療後に癌腫の発現をみた7剖検例。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 14) 松本光司，大塚俊司，山本英希，山田宣孝：〔展示〕乳癌症例とホルモンレセプターの検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 15) 村瀬幸宏，佐藤春明，仲原昌子，早澤久美，大塚俊司，松本光司，山田宣孝：〔展示〕乳腺穿刺細胞診像からみた乳癌組織分類の再検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 16) 早澤久美，大塚俊司，佐藤春明，仲原昌子，村瀬幸宏，山本英希，松本光司，山田宣孝：〔展示〕乳腺手術材料の取扱いに関する提案。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 17) 佐藤春明，村瀬幸宏，仲原昌子，早澤久美，大塚俊司，松本光司，山田宣孝：〔展示〕子宮頸部境界病変の細胞学的診断について；第1報 HPV 感染と dysplasia の検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 18) 山田宣孝，佐藤春明，大塚俊司，松本光司，清水一雄¹⁾，庄司 佑¹⁾，竹田数章²⁾，山本英希²⁾，浅野伍朗²⁾(¹⁾外科第2，²⁾病理第2)：〔展示〕甲状腺濾胞性病変の病理組織学的診断に関する研究；第1報 異型腺腫，濾胞癌の血管侵襲像について。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 19) 中川敬夫¹⁾，加藤圭子¹⁾，東 敬子¹⁾，百田光弘¹⁾，前田昭太郎¹⁾，佐藤春明，村瀬幸宏，仲原昌子，竹田数章，山田宣孝，清水一雄²⁾，庄司 佑²⁾，北村 裕³⁾(¹⁾多摩永山病院病理，²⁾外科第2，³⁾伊藤病院)：〔展示〕甲状腺疾患の細胞診断学的特徴；濾胞腺腫，濾胞癌の鑑別点。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 20) 角田誠之¹⁾，児玉朱音¹⁾，伊藤正秀¹⁾，大島 博¹⁾，馬越正通²⁾，山田宣孝(¹⁾内視鏡科，²⁾第一病院消化器科)：〔展示〕家族性大腸ポリポージス症例；組織内オルニチン脱炭酸酵素活性値の検討を含めて。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 21) 山本英希¹⁾，浅野伍朗¹⁾，大塚俊司，松本光司，山田宣彦，庄司 佑²⁾(¹⁾病理第2，²⁾外科第2)：〔展示〕大腸早期癌の病理組織学的診断に関する研究；第1報 生検グループ分類，核 DNA 量・PCNA の発現の相関について。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 22) 仲原昌子，佐藤春明，山田宣孝，清水由規¹⁾(¹⁾眼科)：〔展示〕結膜捺印細胞診断の臨床的応用；眼球乾燥症，とくにビタミン A 欠乏症について。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 23) 岡村憲子，松本光司，山田宣孝，馬杉洋三，葉山修陽¹⁾，飯野靖彦¹⁾，秋丸琥甫²⁾，庄司 佑²⁾(¹⁾内科第2，²⁾外科第2)：〔展示〕第一病院で行われた腎移植症例の病理学的検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 24) 山田宣孝：〔シンポジウム〕Conjunctival imprint cytology and vitamine A deficiency. The First Symposium of Nippon Medical School and Chiangmai Medical School (Chiangmai)，1991。
 - 25) 陳 光永¹⁾，酒井欣男¹⁾，北 俊典¹⁾，須田浩充¹⁾，天神敏博¹⁾，高橋 望¹⁾，高橋真佐司¹⁾，井出道巳¹⁾，清水一雄¹⁾，渋谷哲男¹⁾，庄司 佑¹⁾，山田宣孝，森 秀樹²⁾(¹⁾外科第2，²⁾日下部病院)：〔一般講演〕培養胃癌細胞被包マイクログラブセルを用いた癌間質反応の研究(第2報)。第29回日本癌治療学会総会，1991。
 - 26) 松島伸治¹⁾，鈴木成治¹⁾，吉川 晃¹⁾，江連 司¹⁾，山本英希¹⁾，陳 光永¹⁾，酒井欣男¹⁾，家所良夫¹⁾，日置正文¹⁾，秋丸琥甫¹⁾，庄司 佑¹⁾，山田宣孝(¹⁾外科第2)：〔展示〕胸腺癌3例の臨床病理学的検討。第32回日本肺癌学会総会，1991。
 - 27) 渡辺 淳¹⁾，右田 真¹⁾，川上康彦¹⁾，金子清志¹⁾，山本正生¹⁾，松本光司(¹⁾第一病院小児科)：〔展示〕急激な経過をたどった肺原発腫瘍の1乳児例。第7回日本小児がん学会，1991。

[第一病院中央検査室]

研究業績

学会発表

- 1) 中野一博¹⁾, 内山明美¹⁾, 秋丸琥甫²⁾, 新宅孝征, 永積 惇³⁾(¹⁾第一病院血液センター, ²⁾外科第2, ³⁾内科第2):
〔一般講演〕全血輸血療法の検討；特に使用基準を中心に. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 2) 内山明美¹⁾, 中野一博¹⁾, 秋丸琥甫²⁾, 新宅孝征, 永積 惇³⁾(¹⁾第一病院血液センター, ²⁾外科第2, ³⁾内科第2):
〔展示〕濃厚血小板の有用性と使用基準について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 3) 菊地 淳, 向坂元秀, 戸早玲子, 新宅孝征, 永積 惇¹⁾, 佐治 守²⁾, 田口桜子²⁾(¹⁾内科第2, ²⁾同薬剤科):〔一般講演〕消毒剤の殺菌効果. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

22. 第二病院付置施設等

[第二病院消化器センター]

研究概要

当科は、平成3年4月第二病院外科教室の医局員が、消化器病センターに所属を移して独立した診療科となり、消化器疾患の診療、研究、教育を行うことを目的としている。

研究概要

- 1) 胆石、胆汁の微量元素分析、とくにタイ人の胆石と本邦との比較検討。
- 2) 肝胆膵疾患の内視鏡的検査、閉塞性黄疸（悪性腫瘍）の保存的治療、肝の免疫機能。
 - i) イレウスの病態と治療。
 - ii) 大腸癌の臨床病理学的研究および集管的治療。
 - iii) 消化管の重複癌。
 - iv) 感染症、とくにMRSA腸炎。

研究業績

論文

- 1) 原 一郎¹⁾、山口裕史¹⁾、平井真実¹⁾、三樹 勝¹⁾（¹⁾第二病院外科）：〔報告〕下血を初発症状としたカンピロバクター腸炎。日医大誌，58，342～344，1991。
- 2) 原 一郎、馬越正通、難波 亨¹⁾、久吉隆郎¹⁾（¹⁾第二病院外科）：〔報告〕肝切除に優先して転移性胸壁腫瘍切除を施行した肝硬変合併肝癌の1症例。第18回日本超音波医学会講演論文集，250，1991。

学会発表

- 1) 馬越正通、渋谷哲男¹⁾、大場英己¹⁾、秋丸虎甫¹⁾、庄司 佑¹⁾（¹⁾外科第2）：〔一般講演〕腸閉塞の治療方針；保存療法の適応。第91回日本外科学会総会，1991。
- 2) 内藤英二、田崎達也、三樹 勝、永井 俊¹⁾、田中幹夫¹⁾（¹⁾化学教室）：〔一般講演〕日本人およびタイ人の胆石中、胆汁中の微量元素の定量；特にヨウ素含有量について。第91回日本外科学会総会，1991。
- 3) 平田知巳、天野純治、桜井蔚生¹⁾、久吉隆郎¹⁾、難波 亨¹⁾、木本洋一郎¹⁾、松本光司²⁾（¹⁾第二病院外科，²⁾第一病院病理）：〔一般講演〕乳腺原発 adenoid cystic carcinoma の1例。第741回外科集談会，1991。
- 4) 赤岩 順、馬越正通、吉田 宏、荒川 薫、内藤英二、久吉隆郎¹⁾、天野純治¹⁾（¹⁾第二病院外科）：〔一般講演〕大腸癌イレウス、緊急手術例の検討。第17回日本腹部救急医学会総会，1991。
- 5) 原 一郎、青木 律、山口裕史、馬越正通、渡部英之¹⁾、三樹 勝²⁾（¹⁾第二病院放射線科，²⁾大仁病院）：〔一般講演〕超音波誘導下経皮胆嚢ドレナージ法（RTGBD）が有用であった急性腹症の1症例。第17回日本腹部救急医学会総会，1991。
- 6) 原 一郎、的場康徳、大久保哲行、荒川 薫、内藤英二、吉田 宏、山口裕史、田崎達也、田崎博也、赤岩 順、馬越正通：〔一般講演〕肝切除症例の検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 7) 木本洋一郎¹⁾、桜井蔚生¹⁾、久吉隆郎¹⁾、難波 亨¹⁾、平田知巳¹⁾、村上正洋¹⁾、天野純治¹⁾、大久保哲行（¹⁾第二病院外科）：〔展示〕乳癌におけるレーザー血流計による局所表層循環血液量とサーモグラフィとの比較検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 8) 久吉隆郎¹⁾、難波 亨¹⁾、村上正洋¹⁾、平田知巳¹⁾、木本洋一郎¹⁾、平田正信¹⁾、赤岩 順、天野純治¹⁾、百束比古²⁾（¹⁾第二病院外科，²⁾形成外科）：〔展示〕胸壁全層切除を行った進行・再発乳癌症例の検討。第59回日本医科大学

医学会総会, 1991.

- 9) 松尾健志¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 平野滋之, 田崎達也, 田崎博也, 川並汪一²⁾, 松島 隆³⁾, 塚田克也³⁾ (¹⁾第二病院産婦人科, ²⁾同病理, ³⁾病理第1): [展示] 腸管子宮内膜症に直腸ポリープ癌と子宮頸部 CIS を疑わせる所見を合併した1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 角田誠之¹⁾, 児玉朱音¹⁾, 伊藤正秀¹⁾, 大島 博¹⁾, 馬越正通, 山田宣孝²⁾ (¹⁾内視鏡科, ²⁾第一病院病理): [展示] 家族性大腸ポリーポージスの2症例; 組織内オルニチン脱炭酸酵素活性値の検討を含めて. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 11) 久吉隆郎¹⁾, 村上正洋¹⁾, 難波 亨¹⁾, 天野純治¹⁾, 馬越正通 (¹⁾第二病院外科): [一般講演] ステンレスメッシュによる胸壁再建の1例; 87歳子宮癌胸壁転移. 第79回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1991.
- 12) 赤岩 順, 馬越正通, 吉田 宏, 内藤英二: [一般講演] 血中 CEA 高値により発見されたIIa型早期結腸癌の1例. 第71回神奈川県臨床外科医学会集談会, 1991.
- 13) 赤岩 順, 馬越正通, 吉田 宏, 内藤英二, 荒川 薫, 平田知巳, 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾ (¹⁾第二病院外科): [一般講演] 緊急手術を行った大腸癌症例の臨床的検討. 第46回日本大腸肛門病学会総会, 1991.
- 14) 原 一郎, 馬越正通, 難波 亨¹⁾, 久吉隆郎¹⁾ (¹⁾第二病院外科): [一般講演] 肝切除に優先して転移性胸壁腫瘍切除を施行した肝硬変合併肝癌の1症例. 第18回日本超音波医学会総会, 1991.
- 15) 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 松本光司¹⁾, 天野純治¹⁾, 山口裕史, 赤岩 順, 松原貴規²⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾同内科): [展示] 胃と乳腺の重複癌に単球性白血病を合併した1例. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 16) 赤岩 順, 馬越正通, 吉田 宏, 大久保哲行, 内藤英二, 平田知巳, 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾ (¹⁾第二病院外科): [展示] 傍食道型裂孔ヘルニアの縦隔内脱出部に発生したBorrmann 2型胃癌の1切除例. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 17) 天野純治¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知巳¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 的場康徳, 赤岩 順 (¹⁾第二病院外科): [一般講演] アンケート調査より見た胃十二指腸穿孔に対する大網引き入れ充填術の検討. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991.
- 18) 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田正信¹⁾, 天野純治¹⁾, 赤岩 順, 山口裕史 (¹⁾第二病院外科): [一般講演] Marlex Meshによる胸壁再建症例の検討. 第53回日本臨床外科医学会, 1991.
- 19) 内藤英二, 田崎博也, 田崎達也, 山口裕史, 大久保哲行, 原 一郎, 赤岩 順, 馬越正通, 難波 亨¹⁾ (¹⁾第二病院外科): [一般講演] 術後重篤に陥ったMRSA腸炎症例の検討. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 20) Srisukho, S.¹⁾, Matoba, Y.²⁾, Prathnadi, P.¹⁾, Miki, M.²⁾, Suprasert, S.¹⁾, Naito, E.²⁾, Tasaki, T.¹⁾ and Hilata, T.²⁾ (¹⁾Chiang Mai Univ, ²⁾2nd Hosp. G.I. Center Dept. of Surgery): [シンポジウム] Quantitative analysis of mercury contained in Thai and Japanese gallstone. 25th Anniversary Symposium of Chiang Mai Univ. and Nippon Medical School Medical Research Team (Chiang Mai), 1991.
- 21) 原 一郎, 青木 律, 山口裕史, 馬越正通, 渡辺英之¹⁾, 三樹 勝 (¹⁾第二病院放射線科): [一般講演] 経胆囊経胆嚢管的に胆道鏡下取石術を施行した総胆管結石の1例. 第42回日本消化器内視鏡学会, 1991.
- 22) 大久保哲行, 赤岩 順, 荒川 薫, 吉田 宏, 馬越正通: [一般講演] 粘膜下腫瘍様の増殖を示した結腸低分化型腺癌の1例. 第24回神奈川県消化器病医学会, 1991.
- 23) 原 一郎, 吉田 宏, 馬越正通, 久吉隆郎¹⁾, 高橋政之²⁾, 渡部英之²⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾同放射線科): [一般講演] Multiple lymphomatous polyposis (MPL) の1例. 第53回日本消化器内視鏡学会, 1991.
- 24) 高橋政之¹⁾, 佐藤雅史¹⁾, 高岩成光¹⁾, 疋田史典¹⁾, 山岸嘉彦¹⁾, 久吉隆郎²⁾, 吉田 宏 (¹⁾第二病院放射線科, ²⁾同外科): [一般講演] Multiple lymphomatous polyposis (MPL) の1症例. 第387回日本医学放射線学会関東地方会, 1991.
- 25) 久吉隆郎¹⁾, 天野純治¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知巳¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 大久保哲行, 氏家茂樹²⁾ (¹⁾第二病院外科, ²⁾淵野辺病院外科): [パネルディスカッション] 極めてまれな内ヘルニアの3例. 第18回日本腹部救急医学会, 1992.

- 26) 天野純治¹⁾, 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 平田知巳¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 的場康徳¹⁾, 村上正洋¹⁾, 平野滋之¹⁾(¹⁾第二病院外科): [一般講演] 胃十二指腸潰瘍例の経験, 特に穿孔に対する大網充填手術々式と遠隔成績. 第18回日本腹部救急医学会, 1992.
- 27) 原 一郎, 的場康徳, 山口裕史, 馬越正通: [一般講演] 急性胆嚢炎に対する早期手術と待期手術の検討; 検査成績を中心として. 第39回日本消化器外科学会総会, 1992.
- 28) 久吉隆郎¹⁾, 村上正洋¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 平田知巳¹⁾, 難波 亨¹⁾, 天野純治¹⁾, 赤岩 順 (¹⁾第二病院外科): [一般講演] 最近の重複癌の動向と問題点. 第9回川崎市医師会医学会, 1992.
- 29) 内藤英二, 馬越正通, 赤岩 順, 原 一郎, 山口裕史, 大久保哲行, 的場康徳, 田崎達也: [一般講演] 術後重篤に陥ったMRSA 腸炎の検討. 第9回川崎市医師会医学会, 1992.

[第二病院リハビリテーションセンター]

研究概要

リハビリテーション科における研究は, 医師の他理学療法士, 作業療法士, 言語療法士, ソシアルワーカーなど多職種が関わり, 対象疾患, 対象領域も多岐にわたる.

今年度は過去の研究成果を踏まえ「ねたきり」「排泄」「地域リハビリテーション」その他の総説をまとめると共に概略下記のような研究を行った.

1. 姿勢動作解析, 身体的活動性に関する研究
2. リウマチ患者を主とする整形外科的疾患のリハビリに関する研究
3. ADL (日常生活動作) に関する研究
4. 脳血管障害に対する神経心理学的研究
5. 摂食一口腔機能に関する研究
6. 症例報告

以上の他に著書として, 編著, 分担を含め4冊の書物が発刊された.

研究業績

論文

- 1) 竹内孝仁: [総説] QOL を考えた医療福祉をめざして. 月刊総合ケア, 1(1), 18~30, 1991.
- 2) 竹内孝仁: [総説] 「ねたきり」を起こす. 家庭介護, 4~5, 1991.
- 3) 竹内孝仁: [総説] おむつの人間学. 月刊総合ケア, 1(48), 18~23, 1991.
- 4) 新貝尚子: [総説] 純粹失読例における letter-by-letter reading の経過. 第28回日本リハビリテーション医学会, 1991.
- 5) 竹内孝仁: [総説] 閉じこもり症候群とそのアプローチ. 保健同人生活教育, 35, 9~19, 1991.
- 6) 飯盛仁志: [総説] Heberden 結節と Bouchard 結節. リウマチ科, 6, 50~55, 1991.
- 7) 飯盛仁志: [報告] 26年経過した下腿軟部腫瘍の摘出後の病理所見で初めて確定診断された悪性黒包腫の1例. 整形災害外科, 34, 1683~1686, 1991.
- 8) 竹内孝仁: [総説] グループの効用; 「集団」のリハの意味. 理学療法, 8, 245~248, 1991.
- 9) 竹内孝仁: [原著] 地域リハビリテーション; 我々は何を“治そう”としているのか. 作業療法ジャーナル, 24, 244~249, 1991.
- 10) 宗近真理子: [総説] 右頭頂葉病変により左手に奇異な運動を呈した1例. 第15回日本神経心理学会総会, 1991.
- 11) 竹内孝仁: [原著] 動脈硬化性疾患とリハビリテーション; QOL. 現代医療, 24, 472~475, 1991.
- 12) 新貝尚子: [総説] 仮名逐次読みを呈する症例間の失読および関連症状の異変. 第15回日本失語症学会, 1991.

- 13) 竹内孝仁, 寺岡加代, 永井晴美, 柴田 博, 岡田昭五郎:〔原著〕高齢者における摂食機能の身体活動への影響, 口腔衛生学会雑誌, 42, 2~6, 1992.
- 14) 小関 務:〔総説〕Physical fitness (1) 概念, 理学療法の歩み, 1992.
- 15) 小原眞知子:〔総説〕痴呆性老人の家族介護の実態と課題; アルツハイマー型痴呆者の事例研究を通して, 日本女子大学社会福祉学科機関誌, 1992.

著 書

- 1) 竹内孝仁:〔分担〕療養態度, “21世紀の医療への招待”(山崎久美子編), p. 51~57, 誠信書房, 1991.
- 2) 竹内孝仁:〔分担〕老化による機能障害者, ニーズとその評価 “改訂介護福祉養成講座リハビリテーション論”(福祉士養成講座編集委員会編集), p. 72~96, 中央法規出版, 1991.
- 3) 竹内孝仁, 川村次郎:〔編集〕義肢装具学, 医学書院, 1992.
- 4) 竹内孝仁:〔分担〕QOL とケア; 高齢者の体と心, “寝たきり老人の QOL 向上をめざして”(山中克己, 鈴木俊夫編), p. 30~32, 永末書店, 1992.

学会発表

- 1) 宗近眞理子:〔一般講演〕病棟内のしている ADL; 食事・排泄の姿勢・動作から, 第25回日本作業療法士学会, 1991.
- 2) 宗近眞理子:〔一般講演〕当院におけるリハビリテーションの現状と問題点, 日本社会保険学会, 1991.
- 3) 飯盛仁志:〔一般講演〕高齢者における前傾姿勢が歩行に与える影響について, 第28回日本リハビリテーション医学会学術集会, 1991.
- 4) 飯盛仁志:〔一般講演〕26年経過した下腿軟部腫瘍に発生し術後病理検査で診断された悪性黒包腫の1例, 第536回整形外科集団会東京地方会, 1991.
- 5) 飯盛仁志:〔一般講演〕スポーツ活動度よりみた TKR 後の慢性関節リウマチ患者の QOL, 第29回神奈川リハビリテーション研究会, 1991.
- 6) 竹内孝仁:〔一般講演〕通所リハビリ施設の利用状況について, 第66回関東地方リハビリテーション医学懇話会, 1991.
- 7) 田島圭輔:〔一般講演〕リハ科入院患者の活動量, 第67回関東地方リハビリテーション医学懇話会, 1991.
- 8) 古野 薫:〔一般講演〕MRSA 感染後に巨大な石灰化を併発した大腿切断, 第68回関東地方リハビリテーション医学懇話会, 1992.

〔第二病院病理部〕

研究概要

日常の病理組織ならびに細胞についての診断業務の間に, 気管支肺胞洗浄法を実施してきた。内科, 放射線科, 外科さらに千駄木の救命救急センターとの共同研究を推進した。これらは, 熱傷, 間質性肺炎, カリニ肺炎, 肺癌などの項目で発表し, 前2者から合計3編の論文を作成した。

日本赤十字医療センターとの共同研究は, 今年度分として一編まとまり, 他2論文が書き終った。

間質性肺炎の毛細血管内皮に関しては, 余り注目されていないが, NIH との共同研究により一編が完成した。

同じ趣旨で内皮の変化を実験的に追求すべく, シリカ投与により一連の実験を継続中である。学会発表のまとめに入ったものの, 論文の完全にはさらに数カ月を要すと思われる。

現在 DNA-レベルでの研究を開始して1年を経たところである。PCR 法, in situ hybridization 法が技術的に軌道に乗ったところであり, 成果は平成4年4月の学会で発表予定であり, 来年度はこの分野を開拓する準備中である。

研究業績

論文

- 1) 尾見徳弥, 川並汪一, 本田光芳¹⁾, 赤松 洋²⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾日赤医療センター新生児・未熟児科): [原著] ヒト胎生期の皮膚気道系上皮の発達とマスト細胞. アレルギー, 40, 1407~1414, 1991.
- 2) Kawanami, O., Matsuda, K., Yoneyama, H., Ferrans, V. and Crystal, R.G., : [原著] Endothelial fenestration of the alveolar capillaries in interstitial fibrotic lung diseases. Acta Pathologica Japonica (JSP), 42, 177~184, 1992.
- 3) 川並汪一: [原著] 喘息と肺の細胞. 喘息, 3, 2~5, 1990.

著書

- 1) 川並汪一: [分担] 肺疾患と超微形態学的診断; 顕微鏡サイエンスの展望. (編集 外崎 明), p.105~108. 第36回日本電子顕微鏡学会シンポジウム, 1991.

学会発表

- 1) 松田 潔, 川並汪一: [一般講演] 気道熱傷症例の気管支肺胞洗浄法 (BAL) による気管支肺胞内環境の検討. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 2) 米山浩英, 臼杵二郎, 川並汪一, 大網 弘¹⁾ (¹⁾老人病研究所病理部門): [一般講演] Silicosis ラットの気管支肺胞洗浄法 (BAL) 逆投与による健常肺への線維化形成能. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 3) 尾見徳弥, 川並汪一: [一般講演] ヒト胎生期の皮膚気道系におけるマスト細胞の出現と環境要因. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 4) 塚田克也, 川並汪一, 関谷隆夫¹⁾, 菊池三郎¹⁾ (¹⁾第二病院産婦人科): [一般講演] 月経周期に随伴する子宮内膜のマスト細胞と間質細胞の超微形態学的変遷. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 5) 松田 潔¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 安田和弘¹⁾, 辻井厚子¹⁾, 大塚哲生¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 川並汪一 (¹⁾日本医科大学救急医学科・救命救急センター): [一般講演] 気道熱傷症例の気管支肺胞洗浄法 (BAL) による気管支肺胞内環境の検討. 第17回日本熱傷学会, 1991.
- 6) 鈴木 攻¹⁾, 本多由幸¹⁾, 知念正人¹⁾, 増田康文¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 渡部英之²⁾, 米山浩英, 川並汪一 (¹⁾第二病院内科, ²⁾同放射線科): [一般講演] 咳嗽を主訴として発症し, 胸部CT像とTBLBより“Histiocytosis X”と診断した1例. 第400回日本内科学会関東地方会, 1991.
- 7) 菊地隆介¹⁾, 原田雄一¹⁾, 関 純一¹⁾, 倉田文秋¹⁾, 嶋崎 讓¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 川並汪一, 佐藤雅史²⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同放射線科): [一般講演] 胸部レ線に特徴的陰影を呈し TBLBにてBOOPと診断, RAの合併が考えられる1例. 日本医科大学医学会第74回例会, 1991.
- 8) 関 純一¹⁾, 原 文男¹⁾, 米山浩英, 川並汪一, 臼杵二郎²⁾, 古田知行²⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾付属病院呼吸器科): [一般講演] 実験的珪肺病における肺胞洗浄中の細胞と組織学変化との対比. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 9) 久吉隆郎¹⁾, 難波 亨¹⁾, 村上正洋¹⁾, 平田知巳¹⁾, 木本洋一郎¹⁾, 平田正信¹⁾, 天野純治¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 正田史典²⁾, 渡部英之²⁾, 島田洋一³⁾, 杉本季久造³⁾, 浮谷勝郎³⁾, 倉田文秋⁴⁾, 嶋崎 讓⁴⁾, 原 文男⁴⁾, 川並汪一 (¹⁾第二病院外科, ²⁾同放射線科, ³⁾同麻酔科, ⁴⁾同内科): [一般講演] 切除肺癌100例の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 原田雄一¹⁾, 嶋崎 讓¹⁾, 藤井裕介¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 渡部英之²⁾, 米山浩英, 川並汪一 (¹⁾第二病院内科, ²⁾同放射線科): [展示] TBLB, BALFにてカリ=肺炎と診断した1例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.

- 11) 松尾健志¹⁾, 菊池三郎¹⁾, 平野滋之²⁾, 田崎達也²⁾, 田崎博也²⁾, 川並汪一, 松島 隆¹⁾, 塚田克也¹⁾ (¹⁾第二病院産婦人科, ²⁾同消化器センター): [一般講演]腸管子宮内膜炎に直腸ポリープ癌と子宮頸部 CIS を疑わせる所見を合併した 1 例. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 12) 尾見徳弥, 川並汪一, 本田光芳¹⁾, 武村民子²⁾, 赤松 洋³⁾ (¹⁾付属病院皮膚科, ²⁾日赤医療センター病理部, ³⁾同新生児・未熟児科): [一般講演] ヒト胎生期の皮膚気道系マスト細胞の発達. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 13) 塚田克也, 川並汪一, 石原楷輔¹⁾, 菊池三郎¹⁾ (¹⁾第二病院産婦人科): [一般講演] 子宮内膜におけるマスト細胞の動態. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 14) 米山浩英, 古田知行, 川並汪一, 留目優子¹⁾, 大国寿士¹⁾, 大網 弘²⁾ (¹⁾老人病研究所免疫部門, ²⁾同病理部門): [一般講演] 珪肺症ラットの気管支肺胞洗浄液逆投与による健常肺への影響. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 15) 原田雄一¹⁾, 清水由晴¹⁾, 菊地隆介¹⁾, 松原貴視¹⁾, 村沢恒男¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 石田明彦²⁾, 菊池三郎²⁾, 米山浩英, 川並汪一 (¹⁾第二病院内科, ²⁾同産婦人科): [一般講演] 妊娠5カ月に汎血球減少を来たし, 敗血症 (MRSA, 真菌) にて死亡した 1 例. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 16) 松田 潔¹⁾, 辺見 弘¹⁾, 安田和弘¹⁾, 辻井厚子¹⁾, 大塚哲生¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 川並汪一 (¹⁾日本医科大学救急医学科・救命救急センター): [一般講演] 気道熱傷症例の気管支肺胞洗浄法 (BAL) による気管支肺胞内環境の検討. 第19回日本救急医学会総会, 1991.
- 17) 原田雄一¹⁾, 嶋崎 讓¹⁾, 藤井裕介¹⁾, 上田征夫¹⁾, 原 文男¹⁾, 佐藤雅史²⁾, 渡部英之²⁾, 川並汪一 (¹⁾第二病院内科, ²⁾同放射線科): [一般講演] TBLB, BAL にてカリニ肺炎と診断した HIV 症の 1 例. 第407回日本内科学会関東地方会, 1992.
- 18) 川並汪一, 田中 満¹⁾ (¹⁾慶応大学放射線診断部): [国際シンポジウム] Findings of Japan-China-Korea Joint Study in International Symposium on the Health Effects of Low Exposure to Fibrous Materials. (Kitakyushu), 1991.

[第二病院中央検査室]

研究概要

当検査室における主な研究目的は、臨床検査学の発展に伴う各種検査の精度管理、検査方法および迅速性について、日常、臨床との関連と意義を考察し、日々の検査をみつめ検査の質の向上と確立に主眼をおいている。

研究業績

学会発表

- 1) 池野廣幸, 菅原 通, 田村朋美, 本間登志江, 野本恵子, 原 文男: [一般講演] アミノグリコシド系抗生物質 arbekacin (ABK) の MRSA に対する抗菌力の評価 (第 1 報); 臨床分離株 200 株について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 2) 池野廣幸, 野本恵子, 菅原 通, 田村朋美, 本間登志江¹⁾, 西沢善樹, 小代博之, 小泉要介, 林 毅陸, 永井雄一, 太田耕造, 藤田武久, 品川洋一, 太田秀穂²⁾ (¹⁾第二病院中央検査室, ²⁾同小児科): [一般講演] 当院における過去 3 年間の検出細菌の検討; 非独立単位病棟における一般小児病棟と未熟児室との比較. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 3) 田村朋美, 野本恵子, 菅原 通, 本間登志江, 池野廣幸, 原 文男: [展示] 臨床分離菌に対する各種抗生物質の抗菌力について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 4) 菅原 通, 田村朋美, 本間登志江, 野本恵子, 池野廣幸, 原 文男: [展示] 院内感染防止のための環境細菌検

査について、第59回日本医科大学医学会総会、1991.

- 5) 菅原 通, 田村朋美, 本間登志江, 野本恵子, 池野廣幸, 原 文男: [展示]尿定量培養における CLED 培地単独化について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 6) 井上雅則, 隠岐和美, 荒井誠一, 野本恵子, 池野廣幸, 原 文男: [展示]全自動免疫化学分析装置 EL-1200における BMG, AFP, フェリチン測定についての基礎的検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 7) 隠岐和美, 井上雅則, 荒井誠一, 野本恵子, 池野廣幸, 原 文男: [展示]血液製剤の有効利用の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 8) 菊地英子, 佐々木ひとみ, 重川明子, 池野廣幸, 原 文男: [展示]便潜血反応において化学的検査にて強陽性を呈したにもかかわらず免疫法にて陰性であった3例について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 9) 小伊藤保雄, 福田節子, 中島由美子, 津金香代子, 池野廣幸, 原 文男: [展示]サイトグラムレポートを臨床に報告しての経験. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 10) 村山和美, 山賀節子, 平野美子, 玉手ひさ子, 池野廣幸, 原 文男: [展示] Vector magnitude 法による late potential 検査の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 11) 鈴木憲康, 畑 哲, 越谷美由紀, 鈴木久幸, 池野廣幸, 原 文男: [展示] 特異 IgE 抗体測定における CAP syste 法の有用性の検討. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
- 12) 池野廣幸, 菅原 通: [一般講演] 機器管理 (第1報); 気管支ファイバースコープからの非定型抗酸菌の検出と問題点. 第13回日本手術部医学会総会, 1991.
- 13) 池野廣幸, 佐藤寛之¹⁾, 亀山雅弥¹⁾, 本山三生¹⁾, 皆川 彰¹⁾, 高岡雅子²⁾, 矢島浩三²⁾ (¹⁾付属病院中央検査部, ²⁾同中央手術部): [一般講演] 手術部における環境管理. 第13回日本手術部医学会総会, 1991.
- 14) 本間登志江, 菅原 通, 田村朋美, 野本恵子, 池野廣幸, 原 文男: [一般講演] アミノグリコシド系抗生物質 Arebekacin (ABK) の MRSA に対する抗菌力の評価 (第2報); 臨床分離株375株について. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 15) 田村朋美, 菅原 通, 本間登志江, 野本恵子, 池野廣幸, 原 文男: [一般講演] MRSA 感染症に有効と思われる抗生物質10種の薬剤感受性の評価; 臨床分離株200株について. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.

[第二病院薬剤科]

研究概要

当薬剤科はここ数年調剤, 製剤, DI 等円滑かつ効率的な業務の確立に努力してきた.

1990年, 入院調剤技術基本料 (400点業務) の施設基準適合病院の認定を取得したのを契機に, 少しずつではあるが臨床の場に目を向けている. すでに TDM (薬物血中濃度測定) に於ては, 抗てんかん剤を中心に 8 薬剤を測定, 解析しており, 臨床家から高い評価を得, 学会, 分化学会からも発表を通しその業績が認められつつある. また, 近年社会問題にまでなった MRSA 感染症に端を発した院内感染防止対策にも積極的に取り組み, 医療従事者を中心に消毒剤の意義を講演や第二版使用マニュアルを作成, 配布を通して認識させ, 一応の効果を上げている. 今年度も, さらに医療チームの一員として「薬剤師による薬物療法」を基本 concept に臨床薬学実践に向け挑戦していきたい.

研究業績

学会発表

- 1) 菊池有道: [シンポジウム] 当院における院内感染防止への取り組み. 第6回院内感染を考えるシンポジウム横浜, 1991.
- 2) 小坂好男: [一般講演] テオフィリンの TDM. 薬物治療モニタリング研究会, 1991.
- 3) 菊池有道: [一般講演] 院内感染と消毒剤. 神奈川県病薬第2回ミニシンポジウム, 1991.

- 4) 小坂好男, 伊藤桂子, 菊池有道, 村澤恒男¹⁾, 品川洋一²⁾, 池野広幸³⁾ (¹⁾第二病院内科, ²⁾同小児科, ³⁾同中央検査室): [一般講演] 薬剤服薬時の飲水量と血中濃度値との関係. 関東ブロック第21回学術大会, 1991.

23. 多摩永山病院付置施設等

[多摩永山病院病理部]

研究概要

病理部では①病理組織部門，②免疫組織化学部門，③電子顕微鏡部門，④細胞診断部門の4部門に分け，それぞれの部門を充実させることによって，診断，教育と同時に研究内容の向上に努めている。

特に今年度からは，研究室（組織培養，生化学）が充実したことにより，腫瘍の組織培養を行い，特に染色体分析を中心に研究を行うことにしている。その中でも，Ewing肉腫と primitive neuroectodermal tumor (PNET) について組織培養による検索，免疫組織化学的検索，電子顕微鏡的検索を行い，Ewing肉腫の組織発生ならびに Ewing肉腫と PNET との関係を解明していく計画を立てている。

研究業績

論文

- 1) 前田昭太郎：〔総説〕軟部腫瘍に対する迅速細胞診。病理と臨床，9，503～504，1991。
- 2) 松原美幸¹⁾，渡会泰彦¹⁾，鈴木恒道¹⁾，浦田伸一²⁾，喜村久美子³⁾，前田昭太郎⁽¹⁾付属病院病理部，²⁾同整形外科，³⁾病理学第2)：〔報告〕Epithelioid sarcoma の再発を細胞診で示唆し得た1症例。日臨細胞会誌，30，558～563，1991。
- 3) 前田昭太郎，塚原佳世子，岩名敦子²⁾，今泉孝敬¹⁾，哲翁弥生¹⁾，片山 勲³⁾ (¹⁾多摩永山病院内科，²⁾同中央検査室，³⁾埼玉医科大学第1病理)：〔報告〕アミラーゼ産生性若年型肺癌の1例。Medicina，28，1089～1093，1991。
- 4) 横山宗伯¹⁾，鈴木恒道²⁾，五味潤誠³⁾，前田昭太郎，山本 鼎⁵⁾，鈴木仁子⁴⁾，長澤紘一⁴⁾，浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2，²⁾付属病院病理部，³⁾胸部外科，⁴⁾多摩永山病院内科，⁵⁾同放射線科)：〔報告〕診断に難渋した肺重癌の1例。日臨細胞会誌，30，1204～1205，1991。

著書

- 1) 前田昭太郎，他：〔分担〕その他耳鼻科，皮膚科領域の口腔病変の細胞診（監修・沢田勤也，編集・山本 浩，竹田泰典，田中陽一）。p. 181～189，永末書店，1991。

学会発表

- 1) 北川泰之¹⁾，小口直彦¹⁾，今泉孝敬²⁾，稲福睦美²⁾，浅野伍朗¹⁾，塚原佳世子，前田昭太郎⁽¹⁾病理学第2，²⁾多摩永山病院内科)：〔一般講演〕5重複癌の1剖検例。第80回日本臨床病理学会総会，1991。
- 2) 小口直彦¹⁾，北川泰之¹⁾，百田光弘，中川敬夫，前田昭太郎，佐藤知枝²⁾，柴田明佳²⁾，佐藤直美²⁾，酒井艶枝²⁾，浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2，²⁾多摩永山病院中央検査室)：〔一般講演〕剖検例の細菌学的検索。第3報；呼吸器感染症。第80回日本臨床病理学会総会，1991。
- 3) 前田昭太郎，東 敬子，小口直彦²⁾，北川泰之²⁾，向後俊昭¹⁾，上砂光裕³⁾，平山恒夫³⁾，直江史郎⁴⁾ (¹⁾多摩永山病院小児科，²⁾病理学第2，³⁾付属病院小児科，⁴⁾東邦大学医学部付属大橋病院病理学研究室)：〔一般講演〕系統的増殖性動脈炎（非定型的川崎病？）の1剖検例。第80回日本臨床病理学会総会，1991。
- 4) 竹田数章¹⁾，山本英希¹⁾，山田宣孝²⁾，前田昭太郎，浅野伍朗¹⁾ (¹⁾病理学第2，²⁾第一病院病理部)：〔一般講演〕神経原発が疑われる後腹膜腫瘍の1剖検例。第80回日本臨床病理学会総会，1991。
- 5) 有田 淳¹⁾，秋丸琥甫¹⁾，小熊将之¹⁾，小山寿雄¹⁾，大場英己¹⁾，矢野正雄¹⁾，渡辺一彦¹⁾，庄司 佑¹⁾，佐藤春明²⁾，村瀬幸宏²⁾，大塚俊司²⁾，山田宣孝²⁾，伊藤 正³⁾，中川敬夫，前田昭太郎⁽¹⁾第一病院外科，²⁾同病理部，³⁾同放射

- 線科)：〔展示〕術前の穿刺吸引細胞診にて診断された To 微小乳癌(篩状癌)の 1 例。第32回日本臨床細胞学会総会，1991。
- 6) 佐藤春明¹⁾，村瀬幸宏¹⁾，大塚俊司¹⁾，山田宣孝¹⁾，秋丸琥甫²⁾，江連 司²⁾，渡辺秀裕²⁾，小山寿雄²⁾，大場英己²⁾，庄司 佑²⁾，中川敬夫，前田昭太郎^(¹⁾第一病院病理部，²⁾外科学第 2)：〔展示〕術前に穿刺吸引細胞診にて診断し得たアポクリン癌の 1 例。第32回日本臨床細胞学会総会，1991。
 - 7) 大國真一¹⁾，鈴木隆晴¹⁾，栗原広孝¹⁾，杉木雄治¹⁾，鈴木 健¹⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長澤紘一¹⁾，前田昭太郎^(¹⁾多摩永山病院内科)：〔一般講演〕多発性筋炎に橋本病を合併した 1 例。第402回日本内科学会関東地方会，1991。
 - 8) 松本智司²⁾，吉岡正智²⁾，中島米治郎²⁾，橋本正好²⁾，谷口善郎²⁾，高田月彦²⁾，氏原康之²⁾，小川芳雄²⁾，高井 淳²⁾，松田 健²⁾，木村美保²⁾，田中洋介¹⁾，前田昭太郎，中川敬夫，加藤圭子，樋口勝美³⁾，恩田昌彦³⁾^(¹⁾多摩永山病院消化器科，²⁾同外科，³⁾外科学第 1)：〔一般講演〕乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の役割。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 9) 川上康彦¹⁾，丸山和男¹⁾，土屋正己¹⁾，飛田正俊¹⁾，岡部俊成¹⁾，向後俊昭¹⁾，橋本 清¹⁾，高田月彦³⁾，田中洋介³⁾，吉岡正智³⁾，飯田英次²⁾，山本 鼎²⁾，前田昭太郎^(¹⁾多摩永山病院小児科，²⁾同放射線科，³⁾同外科)：〔展示〕大量出血によるショック症状を呈し，注腸造影により診断しえたメッケル憩室の 1 乳児例。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 10) 前田昭太郎，百田光弘，東 敬子，加藤圭子，中川敬夫，島田早苗¹⁾^(¹⁾多摩永山病院耳鼻咽喉科)：〔展示〕耳鼻咽喉科領域の腫瘍に対する細胞診の有用性；総論的考察。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 11) 加藤圭子，中川敬夫，東 敬子，百田光弘，前田昭太郎，外山和秀¹⁾，北川泰之¹⁾，佐々木茂²⁾^(¹⁾病理学第 2，²⁾多摩永山病院産婦人科)：〔展示〕検体処理法による子宮体内膜細胞診の比較検討。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 12) 北川泰之，百田光弘，東 敬子，加藤圭子，中川敬夫，前田昭太郎，浅野伍朗¹⁾，白井康正²⁾^(¹⁾病理学第 2，²⁾付属病院整形外科)：〔展示〕Primitive neuroectodermal tumor (PNET) の病理組織学的検討。；第 1 報ユーイング肉腫と神経芽細胞腫の鑑別上の問題点。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 13) 平岡保紀¹⁾，原 眞¹⁾，木村 剛²⁾，前田昭太郎，秋元成太²⁾^(¹⁾多摩永山病院泌尿器科，²⁾付属病院泌尿器科)：〔展示〕膀胱癌の転移経路組織間隙。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 14) 中川敬夫，加藤圭子，東 敬子，百田光弘，前田昭太郎，佐藤春明¹⁾，村瀬幸宏¹⁾，仲原昌子¹⁾，竹田数章¹⁾，山田宣孝¹⁾，清水一雄²⁾，庄司 佑²⁾，北村 裕³⁾^(¹⁾第一病院病理部，²⁾外科学第 2，³⁾伊藤病院)：〔展示〕甲状腺疾患の細胞診断学的特徴；濾胞腺腫，濾胞癌の鑑別点。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 15) 横山宗伯¹⁾，浅野伍朗¹⁾，鈴木恒道²⁾，五味潤誠³⁾，前田昭太郎，山本 鼎³⁾，鈴木仁子⁴⁾，長澤紘一⁴⁾^(¹⁾病理学第 2，²⁾付属病院病理部，³⁾胸部外科，⁴⁾多摩永山病院内科，⁵⁾同放射線科)：〔展示〕診断に難渋した肺 3 重癌の 1 例。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
 - 16) 中島米治郎²⁾，吉岡正智²⁾，高田月彦²⁾，橋本正好²⁾，高井 淳²⁾，小川芳雄²⁾，氏原康之²⁾，松田 健²⁾，松本智司²⁾，木村美保²⁾，田中洋介¹⁾，沖浜裕司¹⁾，和田雅世¹⁾，前田昭太郎，恩田昌彦³⁾^(¹⁾多摩永山病院消化器科，²⁾同外科，³⁾外科学第 1)：〔一般講演〕原発性早期十二指腸球部癌の 1 例。第216回日本消化器病学会関東支部例会，1991。
 - 17) 山中博之¹⁾，平山悦之¹⁾，杉木雄治¹⁾，鈴木 健¹⁾，大津文雄¹⁾，針谷吉人¹⁾，長澤紘一¹⁾，前田昭太郎，壇 和夫²⁾，早川弘一³⁾^(¹⁾多摩永山病院内科，²⁾内科学第 3，³⁾内科学第 1)：〔一般講演〕洞結節近傍に形質細胞の浸潤を認めた多発性骨髄腫の 1 例。日本循環器学会関東甲信越地方会第141回例会，1991。
 - 18) 山中博之¹⁾，佐野純子¹⁾，大津文雄¹⁾，鈴木 健¹⁾，杉木雄治¹⁾，小宮山徹三¹⁾，子島 潤¹⁾，田中 隆¹⁾，洪 芳樹¹⁾，長澤紘一¹⁾，前田昭太郎^(¹⁾多摩永山病院内科)：〔一般講演〕剖検時血液培養陽性例の検討。日本医科大学医学会第75回例会，1991。
 - 19) 樋口勝美¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，橋本正好¹⁾，谷口善郎¹⁾，小川芳雄¹⁾，氏原康之¹⁾，高井 淳¹⁾，高田月彦¹⁾，

- 吉村和泰¹⁾，前田昭太郎，恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科，²⁾外科学第1)：〔一般講演〕乳癌手術症例の臨床的検討；穿刺吸引迅速細胞診を中心として。第53回日本臨床外科医学総会，1991。
- 20) 谷口善郎¹⁾，吉岡正智¹⁾，田中洋介¹⁾，中島米治郎¹⁾，橋本正好¹⁾，松田 健¹⁾，松本智司¹⁾，木村美保¹⁾，前田昭太郎，中川敬夫，樋口勝美²⁾，恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科，²⁾外科学第1)：〔一般講演〕乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の有用性。第1回日本乳癌検診学会，1991。
- 21) 谷口善郎¹⁾，吉岡正智¹⁾，中島米治郎¹⁾，松田 健¹⁾，松本智司¹⁾，木村美保¹⁾，前田昭太郎，樋口勝美²⁾，恩田昌彦²⁾ (¹⁾多摩永山病院外科，²⁾外科学第1)：〔展示〕乳癌診断における穿刺吸引迅速細胞診の意義。第55回乳癌研究会，1992。
- 22) 前田昭太郎：〔教育講演〕骨・軟部腫瘍の細胞診。第21回細胞検査士教育セミナー，1992。
- 23) 中川敬夫，東 敬子，百田光弘，加藤圭子，前田昭太郎，横山宗伯¹⁾，北川泰之¹⁾，角田 隆¹⁾ (¹⁾病理学第2)：〔一般講演〕喀痰細胞診で肺癌との鑑別に難渋した器質化肺炎の1症例。日本医科大学医学会第76回例会，1992。
- 24) 横沢俊一¹⁾，田村浩一¹⁾，渡會泰彦¹⁾，浅川一枝¹⁾，鈴木恒道¹⁾，前田昭太郎 (¹⁾付属病院病理部)：〔一般講演〕細胞診断上，癌との鑑別が困難であった燕下性肺炎の1例。日本医科大学医学会第76回例会，1992。
- 25) 小口直彦¹⁾，横山宗伯¹⁾，浅野伍朗¹⁾，百田光弘，東 敬子，加藤圭子，中川敬夫，角田 隆¹⁾，北川泰之¹⁾，前田昭太郎，佐藤知枝²⁾，柴田明佳²⁾，佐藤直美²⁾，酒井艶枝²⁾ (¹⁾病理学第2，²⁾多摩永山病院中央検査室)：〔一般講演〕剖検例における細菌学的検索。第4報；悪性腫瘍と呼吸器感染症。日本医科大学医学会第76回例会，1992。

〔多摩永山病院中央検査室〕

研究概要

当検査室では、業務内容や諸設備上から系統的な研究は余り出来ないが、日常行われている検査業務の中からのテーマを中心に心掛けている。診療各科と共同して臨床検査の技術と知識を向上させていきたい。

研究業績

学会発表

- 1) 柴田明佳，木原麻奈美，佐藤知枝，飯野幸永，畝本賜男¹⁾，村田正弘¹⁾，北村誠一²⁾，福岡イツ子³⁾，鹿田あき子³⁾，政次富美子³⁾，針谷吉人⁴⁾，田中洋介⁵⁾，大川共一⁵⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科，²⁾同放射線科，³⁾同看護部，⁴⁾同内科，⁵⁾同消化器科，⁵⁾同外科)：〔一般講演〕多摩永山病院における定期的細菌検査について；第3報。第59回日本医科大学医学会総会，1991。
- 2) 柴田明佳，佐藤知枝，木原麻奈美，飯野幸永，畝本賜男¹⁾，村田正弘¹⁾，福岡イツ子²⁾，鹿田あき子²⁾，政次富美子²⁾，針谷吉人³⁾，田中洋介⁴⁾，大川共一⁵⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科，²⁾同看護部，³⁾同内科，⁴⁾同消化器科，⁵⁾同外科)：〔一般講演〕当院に於ける院内環境調査；特に手術室を中心として (第1報)。第13回日本手術部医学会，1991。
- 3) 井口輝彦，奥田朗夫，茶谷千歳，森 文子：〔展示〕多摩輸血研究会のコントロールサーベイにおけるモノクローナル抗体の問題点。第40回日本臨床衛生検査学会，1991。
- 4) 井上 淳，高橋由美子，恩田怜子，飯野幸永，針谷吉人¹⁾ (¹⁾多摩永山病院内科)：〔展示〕BNA における低濃度 IgA，IgM 測定的基础検討。第40回日本臨床衛生検査学会，1991。
- 5) 柴田明佳，佐藤知枝，木原麻奈美，飯野幸永，畝本賜男¹⁾，村田正弘¹⁾，北村誠一²⁾，福岡イツ子³⁾，鹿田あき子³⁾，政次富美子³⁾，田中洋介⁴⁾，大川共一⁵⁾ (¹⁾多摩永山病院薬剤科，²⁾同放射線科，³⁾同看護部，⁴⁾同消化器科，⁵⁾同外科)：〔一般講演〕当院における院内感染対策の検討 (第2報)；細菌検査ならびに測定法について。第7回日本環境感染学会，1992。

[多摩永山病院薬剤科]

研究概要

当薬剤科は病院薬剤師の本来実施すべき薬剤師職能を追及することを目標として、実践実務に直結したテーマを中心に研究を行っている。臨床各科と共同で、分析、合成、情報評価など薬剤師の技術、知識を活かせる領域を対象にしていきたい。

臨床薬学実践を通じて薬物療法を患者個人別に効率化するための試行を重ね、その成果を発表してきた。TDM(薬物の体液内濃度測定)や患者への服薬指導など医療の効率アップに貢献することが明らかとなっている。また、最近問題化している院内感染防御のため、臨床、基礎医学、企業研究者と協力し実践可能な対策を提供するまでになった。製剤に関しても院内製剤の検討を続けるとともに、市販各種製剤の比較検討を実施した。中毒対策に関して救命救急センターとの共同で地域医療の一環としての体制づくりを急ぎたい。

医療法改正、診療報酬改定等にも薬剤師の医療での貢献が期待されている。今後も臨床に密着した研究を目指していく。

研究業績

論文

- 1) 村田正弘：〔原著〕毒性資料と drug information. 薬局, 42, 1291~1298, 1991.
- 2) 田崎みどり, 村田正弘：〔原著〕シメチジン製剤の製剤学的検討(2)；添付文書記載項目に関する検討を含めて。医薬ジャーナル, 27, 2723~2728, 1991.
- 3) 宿前貴子：〔原著〕薬はなぜ水でのむの？. ファルマシア, 28, 52~55, 1992.
- 4) 中原保裕, 吉岡優子, 村田正弘, 栗原広孝¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長沢紘一¹⁾ (¹⁾多摩永山病院 内科)：〔原著〕Theophylline 血清中濃度に対する lomefloxacin の影響。臨床薬理, 23, 109~110, 1992.
- 5) 中原保裕：〔総説〕入院患者に対する服薬指導11. クリニカルファーマシー, 27, 73~75, 1991.
- 6) 中原保裕：〔総説〕入院患者に対する服薬指導12. クリニカルファーマシー, 28, 66~69, 1991.
- 7) 中原保裕：〔総説〕入院患者に対する服薬指導13. クリニカルファーマシー, 29, 71~73, 1992.
- 8) 椎野元裕, 稲本正之, 田崎みどり, 宿前貴子, 村田正弘：〔原著〕注射薬調剤における製品の分割使用の問題点。病院薬学, 18, 60~65, 1992.

著書

- 1) 村田正弘, 中原保裕, 浜田康次：〔分担〕プロ薬剤師へのステップ。広川書店, 1991.
- 2) 宿前貴子：〔分担〕副作用に関する問合せ“今日の医療情報・第XIII集”(堀岡正義監修)。p.208~211, 薬事新報社, 1991.

学会発表

- 1) 浜田康次, 村田正弘：〔一般講演〕病院薬局製剤の技術、業務の算定基準に関連して；第5報 新薬価収載と製剤フィーの乗離についての一考察。第1回病院製剤研究会, 1991.
- 2) Nakahara, Y., Yoshioka Y. and Murata M.：〔一般講演〕Impact of pharmacist intervention on treatment of acute bronchial asthma attacks. Pan Pacific VI Conference (Honolulu), 1991.
- 3) 中原保裕, 吉岡優子, 村田正弘, 栗原広孝¹⁾, 鈴木 健¹⁾, 大津文雄¹⁾, 針谷吉人¹⁾, 長澤紘一¹⁾ (¹⁾内科)：〔一般講演〕Theophylline 血清中濃度に対する lomefloxacin の影響。第12回日本臨床薬理学会, 1991.
- 4) Nakahara, Y., Yoshioka, Y., Tasaki, M., Kameyama, M., Hamada, K., Yadomae, T. and Murata, M.：〔展示〕Alternative pharmacist's professional and clinical services for in-patient based on new insurance

reimbursement system. 26th ASHP Midyear Clinical Meeting (New Orleans), 1991.

- 5) 中原保裕, 村田正弘: [一般講演]薬剤師による医師向け TDM 教育プログラムの有用性の検討. 日本薬学会112年会, 1992.
- 6) 椎野元裕, 稲本正之, 田崎みどり, 宿前貴子, 村田正弘: [課題研究発表]注射薬調剤における製品の分割使用の問題点. 日本薬学会第112年会病院薬局協議会, 1992.
- 7) 佐藤光行¹⁾, 中島あかね¹⁾, 中平和男¹⁾, 寺山博行¹⁾, 亀田えり子, 村田正弘 (1)SBS・研究所): [一般講演]制吐剤塩酸グラニセトロン注射液の配合変化 (1). 日本薬学会112年会, 1992.
- 8) 佐藤光行¹⁾, 松本孝幸¹⁾, 吉井優子¹⁾, 佐々木力¹⁾, 寺山博行¹⁾, 亀田えり子, 村田正弘 (1)SBS・研究所): [一般講演]制吐剤塩酸グラニセトロン注射液の配合変化 (2). 日本薬学会第112年会, 1992.
- 9) 笹津備規¹⁾, 柴田義之¹⁾, 野口雅久¹⁾, 河野 恵¹⁾, 村田正弘 (1)東京薬大): [一般講演]MRSA の消毒剤感受性について. 日本薬学会第112年会, 1992.
- 10) 畝本賜男, 宿前貴子, 村田正弘, 松園幸雄¹⁾, 布施 明¹⁾, 富岡譲二¹⁾, 須崎紳一郎¹⁾, 牧野俊郎¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 山本保博¹⁾ (1)多摩永山病院救命救急センター): [一般講演]メフェナム酸中毒患者における血中濃度の検討. 第6回日本中毒研究会東日本部会, 1992.
- 11) 畝本賜男, 村田正弘, 黒川 顕¹⁾, 山本保博¹⁾, 大川共一²⁾ (1)多摩永山病院救命救急センター, 2)同外科): [一般講演]院内感染防御方法の検討. ティッシュ式消毒法の開発と効果. 第6回日本環境感染学会総会, 1992.
- 12) 畝本賜男, 渋谷正則, 村田正弘, 田中洋介¹⁾, 吉岡正智¹⁾ (1)多摩永山病院消化器科): [一般講演]在宅治療可能化への薬剤師職能の再考 (1). 潰瘍性大腸炎に対する5-アミノサリチル酸浣腸剤の検討と効果. 日本病院薬剤師会関東ブロック第21回学術大会, 1991.

[多摩永山病院看護部]

研究概要

- 1) 予防衣の汚染状況と使用回数および作業内容との関係を細菌検査により調査し, 予防衣の交換頻度を検討した.
- 2) 長時間の手術の際の手指の清潔がどの程度保持されているのかを知るため, 手術前後の細菌検査とゴム手袋のピンホール発生状況の調査を行い, 3時間毎の手袋交換が必要であるとの知見を得た.
- 3) 突発的な事故, その他により搬送される患者と同様, その家族は精神的危機状況にあると考えられる. そこで「家族係」を設定し, 家族が危機状況に対応出来るよう, マニュアルを作成し, 援助を行った.
- 4) 都市部の私立大学病院の特性として, 経験の浅い看護婦が多く, 調査の結果では申し送りに時間がかかる要因として, 「情報処理能力の未熟さ」がクローズアップされた. 強化対策として, 基準の見直しと変更, 評価チェックリストによる判断力の訓練. 各セクションに合った方法等を実施することにより, 効果的な意識づけを行うことが出来た.
- 5) 手術室看護婦の健康管理の面から, タイムスタディにより, 職員配置および業務内容の適正化を検討した. 手術室業務の中で本来の看護業務と助手に委譲出来る業務が明確に分類された. また, 看護記録の簡略化, 申し送り, 連絡等の時間の短縮, リネンのディスポ化等で業務を合理化し, 間接的に超過勤務を縮小できることが明らかにされた.

研究業績

論文

- 1) 鹿田あき子, 西山弘子, 政次富美子: [報告]申し送り時間短縮の強化月間を実施して. ヘッドナース, 6, 24~34, 1991.
- 2) 大川共一, 政次富美子, 西山弘子: [報告] OP ナースの業務分析とスタッフの健康管理. OPE nursing, 6, 1010~1016, 1991.

学会発表

- 1) 大力和子：〔一般講演〕 予防衣の細菌汚染と交換について，第17回日本看護研究学会総会，1991.
- 2) 宮田 忍，福岡イツ子，西山弘子：〔一般講演〕 手術中における手指の清潔保持の検討，第13回日本手術部学会総会，1991.
- 3) 上床明子，野崎良重，緋田雅美：〔一般講演〕 救急センターにおける入院初期の家族への対応についての一考察，第32回救急学会関東地方会，1992.

〔4〕付置研究施設

1. 老人病研究所

研究概要

老化の生物説は固体を構成している各組織および臓器の機能低下とその要因のすべてを老化の原因としてとりあげてを許容する。age-related change が、今日なお広汎に追跡されている理由もここにある。動脈、脳、骨および各組織の経年変化はそれらが動脈硬化、脳血管障害、梗塞、痴呆や骨粗鬆症およびガンなど老年期に多発する疾患との関連で重要である。老研各部門はそれらを病理学的、生化学的、免疫学的、分子生物学的に追跡すると共に個々の臓器の経年変化と固体の機能低下との関わり合いについても総合的に検索を進め、老化抑制を目標に研究する。疫学部門は以上の老年期疾患を疫学的、社会学的にとりあげ研究する。また、新設された臨床部門では、人間ドック外来患者を中心に、①ガンおよび骨粗鬆症の早期診断法の比較検討、②今日のニーズに答えるためのドックのあり方などの研究を行っている。

各部門の上述の観点に立って、従来の研究とともに重点の一つを「痴呆」に定めて研究している。

1) 動脈硬化関連：①同一老人(10名)の血清脂質および cholesterol dynamics を8年間追跡、さらに継続中。②八丈島民の脳梗塞発生の低率を、血中ホモステイン量と食事 V.B₆ 含量を中心に追跡中。③ホモステインの血管、骨、脳その他の組織への害作用を細胞内 ATP の減少との関連で検索。④ストレスの効果が高 TC 状態で増幅される要因を TXA₂/PGI₂ 以外 (EDRF など) にも求めて追跡中。⑤ホモステインの血管害作用を independent risk として確認。

2) 胸部交感神経節の冠動脈血流量に及ぼす影響についての実験的研究。

3) 痴呆関連：①ホモステインと脳梗塞、脳動脈硬化および骨粗鬆症との関連(メチオニン食飼育により大動脈脂質沈着、骨量の減少、脳障害の発生を確認)。②アルミニウム脳症の実験的研究。③アルコールの脳に及ぼす影響。

4) 遺伝子関連：① transgenic mice を利用して、oncogene の腫瘍形成能について研究中。②ガン遺伝子 *fos*, *myb* の関連遺伝子の単離とその機能の解析。

5) ①慢性関節リウマチの実験モデルの作製を介しての自己免疫疾患の成立機転の解明。②老化における常在細菌叢由来成分の意義。③ストレプトキナーゼによるプラスミノゲン活性機構の分子レベルでの解明。④川崎病の病因としての口腔細菌種の検索。

6) 疫学的検索：①高齢者のインフルエンザ死亡率の高値を HI 抗体の保有とワクチン接種による HI 抗体産生能を中心に検索中。②モデル地域を設定し、高齢社会に対応する保険・福祉対策のあり方について検討中。③労働者の高齢化に伴う職業関連疾患および障害の変化と予防対策を検討中。

研究業績

論文

- 1) Ohkuni, H., Todome, Y., Yoshimura, K.¹⁾, Yamamoto, T.²⁾, Suzuki, H., Yokomuro, K.³⁾, Johnston, K.H.⁴⁾ and Zabriskie, J.B.⁵⁾ (¹⁾外科第1, ²⁾小児科, ³⁾微生物免疫, ⁴⁾Louisiana 大, ⁵⁾Rockefeller 大): [原著] Detection of nephritis strain-associated streptokinase by monoclonal antibodies. J. Medical, Microbiol., 35, 60~63, 1991.
- 2) 高橋修和: [総説] 老人福祉対策の現状とその将来. 日医大誌, 58, 160~164, 1991.
- 3) Nomura, N., Zhao, M.-J.¹⁾, Nagase, T.¹⁾, Maekawa, T.¹⁾, Ishizaki, R.²⁾, Tabata, S.³⁾ and Ishii, S.¹⁾ (¹⁾理研・筑波センター・分子遺伝, ²⁾日獣大分子腫瘍, ³⁾名大・理・分子生物): [原著] HIV-EP2, a new member of the gene family encoding the human immunodeficiency virus type 1 enhancer-binding protein comparison with HIV-EP1/PRDII-BF1/MBP-1. J. Biol. Chem., 266, 8590~8594, 1991.
- 4) Supawadee, J.¹⁾, Suprasert, S.¹⁾, Suzuki, H., Yamazi, Y.²⁾ and Takeuchi, Y. (¹⁾Chiang Mai University, ²⁾

- Microbiology & Immunology, Nippon Medical School, ³⁾Chiba Prefectural Serum Institute): [速報] Field work of rubella attenuated live vaccine in Thailand. 日医大誌, 58, 350~352, 1991.
- 5) 中島信治, 西楨貴代美, 長谷川卓志: [総説] アレルギーと EDRF. 日医大誌, 5, 464~469, 1991.
- 6) Fujii, M.¹⁾, Niki, T.¹⁾, Mori, T.¹⁾, Matsuda, T.¹⁾, Matsui, M., Nomura, N. and Seiki, M.¹⁾ (¹⁾金沢大学・がん研): [原著] HTLV-Tax induces expression of various immediate early serum responsive genes. Oncogene, 6, 1023~1029, 1991.
- 7) Kunieda, T.¹⁾, Matsui, M., Nomura, N. and Ishizaki, R.²⁾ (¹⁾動繁研, ²⁾日獣大・分子腫瘍): [原著] Cloning of an activated human *ret* gene with a novel 5' sequence fused by DNA rearrangement. Gene, 107, 323~328, 1991.
- 8) 清水 一, 大網 弘: [総説] 老年痴呆とその背景. 薬局, 42, 1991.
- 9) Nomura, N., Masai, H.¹⁾, Inuzuka, M.²⁾, Miyazaki, C.³⁾, Ohtsubo, E.³⁾, Itoh, T.⁴⁾, Sasamoto, S., Matsui, M., Ishizaki, R.⁵⁾ and Arai, K.²⁾ (¹⁾DNA 研, USA., ²⁾福井医大・生化, ³⁾東大・応微研, ⁴⁾阪大・理・遺伝, ⁵⁾日獣大・分子腫瘍): [原著] Identification of eleven single-strand initiation sequences (*sis*) for priming of DNA replication in the F, R6K, R100 and ColE2 plasmids. Gene, 108, 15~22, 1991.
- 10) 福田正彦¹⁾, 大川裕子¹⁾, 山田範幸¹⁾, 田辺一成²⁾, 小林 裕²⁾, 片山博徳, 河合俊明³⁾(¹⁾戸田中央臨床検査研究所病理, ²⁾同泌尿器科, ³⁾防衛医科大学校第1病理): [症例] 精巣鞘膜に発生した Adenomatoid tumor の1例; その捺印細胞像を中心に. 日臨細胞会誌, 30, 1164~1168, 1991.
- 11) Anai, T.¹⁾, Hasegawa, K.¹⁾, Watanabe, Y.²⁾, Uchimiya, H.³⁾, Ishizaki, R.⁴⁾ and Matsui, M. (¹⁾鹿児島大・教養・理, ²⁾帝京大・バイオサイエンス, ³⁾東大・応微研, ⁴⁾日獣大・分子腫瘍): [短報] Isolation and analysis of cDNA encoding small GTP-binding proteins of *Arabidopsis thaliana*. Gene, 108, 259~264, 1991.
- 12) Hasegawa, T., Koyama, J., Takagi, S., Nishimaki, K., Morita, K. and Nakajima, S.: [原著] Plasma homocysteine levels in rabbits fed a high cholesterol diet. 動脈硬化, 20, 57~60, 1992.
- 13) Ohkuni, H., Todome, Y., Suzuki, H., Mizuse, M., Kotani, N.¹⁾, Horiuchi, K.¹⁾, Shikama, N.¹⁾, Tsugita, A.¹⁾ and Johnston, K.H.²⁾ (¹⁾理科大・生命研, ²⁾Louisiana 大): [原著] Immunochemical studies and complete amino acid sequence of the streptokinase from *Streptococcus pyogenes* (group A) M type 12 strain A374. Infect. Immun., 60, 278~283, 1992.
- 14) 神原礼文¹⁾, 福生吉裕¹⁾, 羽田和正¹⁾, 長谷川卓志, 赫 彰郎¹⁾(¹⁾内科第2): [原著] 音波ストレスの脂質代謝および動脈硬化に及ぼす影響について. 動脈硬化, 20, 159~163, 1992.
- 15) Sudo, T.¹⁾, Ozawa, K.¹⁾, Soeda, E.¹⁾, Nomura, N. and Ishii, S.¹⁾ (¹⁾理研・筑波センター): [原著] Mapping of the human gene for the human immunodeficiency virus type 1 enhancer binding protein HIV-EP2 to chromosome 6q23-q24. Genomics, 12, 167~170, 1992.
- 16) Hasegawa, T., Takagi, S., Nishimaki, K., Morita, K. and Nakajima, S.: [原著] Impairment of L-arginine metabolism in spontaneously hypertensive rats. Biochemistry International, 26, 653~659, 1992.

著 書

- 1) Ohkuni, H., Todome, Y., Suzuki, H., Mizuse, M., Yokomuro, K.¹⁾, Kimura, Y.¹⁾, Kotani, N.²⁾, Tsugita, A.²⁾, Johnston, K.H.³⁾ and Zabriskie, J.B.⁴⁾ (¹⁾微生物免疫, ²⁾理科大・生命研, ³⁾Louisiana 大, ⁴⁾Rockefeller 大): [分担] The sequence analysis of a common epitope among streptokinases produced by streptococci. In "New Perspectives on Streptococci and Streptococcal Infections" (Orefici, G. ed.). p. 230~233, Gustav Fischer, (Stuttgart), 1992.
- 2) 横田 隆, 服部隆史¹⁾, 小山美弥, 大石一二三, 大網 弘 (¹⁾協同乳業研究所): [分担] ラット croton oil 足趾急性炎症モデルにおける NTX(抗酸化物)の抗炎症作用. "ビタミン E 研究の進歩 II". p. 200~206, 共立出版,

学会発表

- 1) 服部隆史¹⁾, 大石一二三, 横田 隆, 大網 弘 (¹⁾協同乳業研究所): [一般講演] 納豆由来フリーラジカルスカベンジャーの抗炎症作用とその精製. 日本農芸化学会1991年度大会, 1991.
- 2) 廣中貴宏¹⁾, 山内康生¹⁾, 大石一二三 (¹⁾協同乳業研究所): [一般講演] Kefir grain 由来糖蛋白質のマクロファージ活性化作用. 日本農芸化学会1991年度大会, 1991.
- 3) 谷 久典¹⁾, 服部隆史¹⁾, 桐原 修¹⁾, 板川聖子, 大網 弘, 大石一二三 (¹⁾協同乳業研究所): [一般講演] リパーゼインヒビターの抗高脂血症及び抗肥満作用. 日本農芸化学会1991年度大会, 1991.
- 4) 小山美弥, 片山博徳, 横田 隆, 枝川聖子, 清水 一, 中島信治, 大石一二三, 大網 弘: [示説] メチオニン投与の骨および軟骨におよぼす影響. 第80回日本病理学会総会, 1991.
- 5) 清水 一, 大網 弘: [一般講演] 老年者脳中アルミニウム量と形態学的変化及びグリコサミノグリカン成分との関連について. 第32回日本神経病理学会総会, 1991.
- 6) Takano, M.¹⁾, Izumi, Y.¹⁾, Kamei, Y.¹⁾, Ueda, Y.¹⁾, Miyanaga, Y.¹⁾, Todome, Y. and Ohkuni, H. (¹⁾東京女子医大・眼科): [一般講演] Eliciting mechanisms of endogeneous uveitis due to *Streptococcus sanguis*. XIII Congress of the Asia-Pacific Academy of Ophthalmology (Kyoto), 1991.
- 7) 大国寿士: [シンポジウム] Streptokinase の一次構造について. Dr. J. Rotta メモリアルシンポジウム, 1991.
- 8) 長谷川卓志, 小山潤三, 西楨貴代美, 中島信治: [一般講演] 糖尿病患者における血中 Homocysteine 濃度について. 第23回日本動脈硬化学会総会, 1991.
- 9) 長谷川卓志, 小山潤三, 西楨貴代美, 中島信治: [一般講演] 高コレステロール食家兎におけるアルギニン負荷試験について. 第23回日本動脈硬化学会総会, 1991.
- 10) 西楨貴代美, 長谷川卓志, 小山潤三, 森田恵子, 片山博徳, 清水 一, 枝川聖子, 大網 弘, 中島信治: [一般講演] Methionine 多量投与の脳および血管系に及ぼす影響についての研究(II). 第23回日本動脈硬化学会総会, 1991.
- 11) Fujii, M., Tsuchiya, H., Niki, T., Matsui, M., Nomura, N. and Seiki, M.: [一般講演] Cellular AP-1 proteins mediate transactivation of HTLV-1 gene expression by TAXI. CSH Meeting (Cold Spring Harbor, New York), 1991.
- 12) Fujii, M., Niki, T., Tsuchiya, H., Matsui, M., Nomura, N. and Seiki, M.: [一般講演] HTLV-1 Tax induces expression of various immediate early serum responsive genes. 7th Annual Meeting of Oncogenes (Frederick, Maryland), 1991.
- 13) 永島幹夫¹⁾, 福生吉裕¹⁾, 神原礼文¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 松井 南, 野村信夫, 石崎良太郎 (¹⁾内科第2): [一般講演] RT-PCR 法による PDGF mRNA の検出. 第23回日本動脈硬化学会総会, 1991.
- 14) 永島幹夫¹⁾, 福生吉裕¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 松井 南, 野村信夫, 石崎良太郎 (¹⁾内科第2): [一般講演] 単球性株細胞の PDGF mRNA 発現に及ぼす cAMP の影響について. 第23回日本動脈硬化学会総会, 1991.
- 15) 米山浩英¹⁾, 川並汪一¹⁾, 白杵二郎¹⁾, 大網 弘, 留目優子, 大国寿士 (¹⁾第二病院病理部): [一般講演] 実験的珪肺症の BAL 濃縮液の逆投与による肺病変の形成. 第12回日本炎症学会総会, 1991.
- 16) 横田 隆, 服部隆史¹⁾, 大石一二三, 小山美弥, 大網 弘 (¹⁾協同乳業研究所): [一般講演] croton oil 足腫浮腫における NTX (抗酸化物質) の抗炎症作用. 第12回日本炎症学会, 1991.
- 17) 関谷政雄, 原 敦子¹⁾, 山田記道 (¹⁾健康管理科看護部): [一般講演] 健康者と思われる人間ドック者の有病率; 8年間の統計を通して. 第32回日本人間ドック学会総会, 1991.
- 18) 木山輝郎¹⁾, 恩田昌彦¹⁾, 徳永 昭¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 奥田武志¹⁾, 水谷 崇¹⁾, 西 恵吾¹⁾, 松倉則夫¹⁾, 古川清憲¹⁾, 田中宣威¹⁾, 山下靖彦¹⁾, 浅野伍朗²⁾, 留目優子, 大国寿士 (¹⁾外科第1, ²⁾病理第2): [一般講演] 消化器癌悪液

- 質患者における血清中 CEA, IAP および抗 TNF 抗体の測定意義. 第50回日本癌学会総会, 1991.
- 19) 仁木健雄, 藤井雅寛, 野村信夫, 松井 南, 清水元治¹⁾ (1)金沢大・がん研): [一般講演] HTLV-1 *tax* による *fos*, *jun* 関連遺伝子群の発現誘導. 第50回日本癌学会, 1991.
 - 20) 藤井雅寛¹⁾, 土屋晴生¹⁾, 仁木健雄²⁾, 松井 南, 野村信夫, 清水元治¹⁾ (1)金沢大, がん研): [一般講演] AP-1 family による HTLV の1の転写制御. 第50回日本癌学会, 1991.
 - 21) 岡 史篤¹⁾, 中神義三¹⁾, 阿部裕行¹⁾, 伊藤 博¹⁾, 池田一則¹⁾, 石崎良太郎 (1)第一病院泌尿器科): [示説] ヒト前立腺癌細胞株における *oncogene* に関する研究 (予報). 第50回日本癌学会, 1991.
 - 22) 小林三平¹⁾, 江川正弥, 松本譲二, 高橋 通, 石原楷輔, 菊池三郎, 島田洋一²⁾, 関谷政雄 (1)第二病院産婦人科, 2)同麻酔科): [一般講演] 喫煙と慢性炎症. 第75回日本医科大学医学会例会, 1991.
 - 23) 高木信一, 長谷川卓志, 中島信治, 福生吉裕¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 瀬田健一²⁾, 中島克行³⁾, 斎藤俊光³⁾ (1)内科第2, 2)博慈会老人病研究所付属病院, 3)日本抗体研究所): [展示] 慢性期脳梗塞患者における血中 remnant like particles の動態について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 24) 森田恵子, 石橋佳朋, 長谷川卓志, 中島信治: [展示] メチオニンおよびタウリンの Ca 代謝に及ぼす影響. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 25) 西槇貴代美, 長谷川卓志, 森田恵子, 中島信治: [展示] Methionine 多量投与の脳および血管系に及ぼす影響についての研究 (II). 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 26) 石橋佳朋, 長谷川卓志, 西槇貴代美, 中島信治: [展示] ストレス刺激の含流アミノ酸に及ぼす影響について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 27) 清水 一, 片山博徳, 横田 隆, 枝川聖子, 小山美弥, 大網 弘: [展示] 老年者脳中 AI 量と形態学的変化及び GAG 成分との関連について. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 28) 横田 隆, 服部隆史¹⁾, 大石一二三, 小山美弥, 清水 一, 枝川聖子, 片山博徳, 大網 弘 (1)協同乳業研究所): [展示] crotonoil 急性炎症における NT-150 の scavenge 作用. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 29) 水瀬 学, 留目優子, 大国寿士, 穴井豊昭, 松井 南, 野村信夫, 石崎良太郎 [展示] 組み換え大腸菌を用いたヒト Hsp70 の発現誘導. 第59回日本医科大学医学会総会, 1991.
 - 30) 大国寿士: [シンポジウム] 川崎病患者の咽頭並びに歯面から分離されるグラム陽性, カタラーゼ反応陰性球菌の性状について (主題: 再び, 川崎病の病因をめぐって). 第11回日本川崎病研究会, 1991.
 - 31) Matsui, M., Anai, T., Hasegawa, K.¹⁾, Watanabe, Y.²⁾, Uchimiya, H. and Ishizaki, R. (1)鹿児島大・教養・理, 2)帝京大・理工, 3)東大・応微研): [一般講演] Isolation and molecular analysis of small GTP-binding proteins of *Arabidopsis thaliana*. 1991 Meeting Molecular Biology of Signal Transduction in Plants (Cold Spring Harbor, N.Y.), 1991.
 - 32) Matsui, M., Anai, T., Hasegawa, K.¹⁾, Watanabe, Y., Uchimiya, H. and Ishizaki, R. (1)鹿児島大・教養・理, 2)帝京大・理工, 3)東大・応微研): [ポスター] Isolation and molecular analysis of small GTP-binding proteins of *Arabidopsis thaliana*. 3rd International Cong. The Internat. Soci. for Plant Mol. Biol. (Tucson, Arizona), 1991.
 - 33) Nagashima, M.¹⁾, Matsui, M., Fukuo, Y.¹⁾, Muramatsu, T.¹⁾, Nomura, N., Ishizaki, R. and Terashi, A.¹⁾ (1)内科第2): [一般講演] TNF induced expression of PDGF-B mRNA in human macrophage; Analysis by RNA polymerase chain reaction. 9th International Symposium of Atherosclerosis (Chicago, USA), 1991.
 - 34) Takagi, S., Fukuo, Y.¹⁾, Kobayashi, Y.¹⁾, Terashi, A.¹⁾, Seta, K.¹⁾ and Nakazawa, Y.¹⁾ (1)Second Department of Internal Medicine): [展示] The trial of EPA-rich tubal alimentation on atherosclerosis cerebro-vascular disease. The 9th International Symposium on Atherosclerosis. (Chicago.), 1991.
 - 35) 尾沢ますみ, 黒沢純夫, 鈴木 博, 田口 真¹⁾, 高橋修和 (1)本田技研健康管理センター): [展示] 高齢者健康・生活実態調査. その1, 健康について. 第50回公衆衛生学会総会, 1991.

- 36) 黒沢純夫, 尾沢ますみ, 鈴木 博, 田口 真¹⁾, 高橋修和 (1)本田技研健康管理センター): [展示] 高齢者健康・生活実態調査. その2, 介護について. 第50回公衆衛生学会総会, 1991.
- 37) 鈴木 博, 黒沢純夫, 田口 真¹⁾, 尾沢ますみ, 高橋修和 (1)本田技研健康管理センター): [展示] 山梨県の山間部で集団発生した肝炎の解明. 第50回公衆衛生学会総会, 1991.
- 38) 浦沢价子¹⁾, 谷口孝喜¹⁾, 浦沢正三¹⁾, 長谷川斐子²⁾, 鈴木 博, 山地幸雄³⁾, 井上 栄⁴⁾ (1)札幌医大・衛生, 2)予研, 3)微生物・免疫, 4)公衆衛生院): [一般講演] タイ国における下痢症患児より分離されたユニークなウイルス株の性状. 第39回日本ウイルス学会総会, 1991.
- 39) 米山浩英¹⁾, 古田知行¹⁾, 川並汪一¹⁾, 留目優子, 大国寿士, 大網 弘 (1)第二病院病理部): [一般講演] 珪肺症ラットの気管支肺胞洗浄液逆投与による健常肺への影響. 第41回日本アレルギー学会総会, 1991.
- 40) Takagi, S., Fukuo, Y.¹⁾, Kobayashi, Y.¹⁾, Terashi, A.¹⁾, Seta, K.¹⁾ and Nakazawa, Y.¹⁾ (1)Second Department of Internal Medicine): [一般講演] The trial of EPA-rich tubal alimention on prevention of recurrence of stroke. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology. (Yokohama), 1991.
- 41) Hasegawa, T., Koyama, J., Nishimaki, K., Fukuo, Y.¹⁾, Terashi, A.¹⁾ and Nakajima, S. (1)Second Department of Internal Medicine): [一般講演] Long term effects of a high methionine and cholesterol diet on the progeesion of atherosclerosis in the rabbit. The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (Yokohama), 1991.
- 42) 長谷川卓志, 小山潤三, 森田恵子, 西楨貴代美, 福生吉裕¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 中島信治 (1)内科第2): [一般講演] 八丈島住民における血中ホモシステイン値, その老若差について. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
- 43) 西楨貴代美, 長谷川卓志, 森田恵子, 中島信治: [一般講演] Methionine 多量投与の脳および血管系に及ぼす影響についての研究 (II). 第33回日本老年医学会総会, 1991.
- 44) 高木信一, 福生吉裕¹⁾, 赫 彰郎¹⁾, 中島克行²⁾, 齊藤俊光²⁾ (1)内科第2, 2)日本抗体研究所): [一般講演] 慢性期脳梗塞患者における血中 remnant like particles の動態について. 第33回日本老年医学会総会, 1991.
- 45) 清水 一, 小山美弥, 大網 弘: [一般講演] 老年者脳の形態学的変化とアルミニウム量と GAG 成分の関連について. 第32回日本老年医学会総会, 1991.
- 46) 木村 昭¹⁾, 大塚敏文¹⁾, 五十嵐英夫²⁾, 大国寿士 (1)救急医学, 2)都衛研・微生物): [一般講演] 全国国立大学病院より分離検出された黄色ブドウ球菌のコアグラゼ型, 毒素産生性及び抗菌剤感受性に関する疫学的研究. 日本医科大学医学会第75回例会, 1991.
- 47) 山上哲史¹⁾, 南波智之¹⁾, 穴井豊昭²⁾, 徳原 緑, 原元 宣³⁾, 永島幹夫⁴⁾, 福生吉裕⁴⁾, 石崎良太郎, 松井 南 (1)日獣大・病理, 2)鹿児島大・教養・理, 3)麻布大, 4)日医大・内科第1): [一般講演] スカベンジャーレセプター (SRCR) 関連遺伝子の単離とその機能解析. 平成3年度日本動脈硬化学会冬季大会, 1991.
- 48) 中越英樹¹⁾, 野村信夫, 石井俊輔¹⁾ (1)理研・筑波セ): [示説] *myb* 関連遺伝子産物の機能ドメイン解析. 第14回分子生物学会年会, 1991.
- 49) 藤井雅寛¹⁾, 土屋晴生¹⁾, 中条達也¹⁾, 松井 南, 野村信夫, 清水元治 (1)金沢大・がん研): [示説] HTLV-1 Tax トランス活性化における AP-1 family の役割. 第14回分子生物学会年会, 1991.
- 50) 田中克典¹⁾, 酒井 裕¹⁾, 櫛木智裕¹⁾, 日浅 洋¹⁾, 野村信夫, 駒野 徹¹⁾ (1)京大・農・農化): [示説] G4型-本鎖上 DNA 合成開始 (ssi) シグナルの機能領域の検索. 第14回分子生物学会年会, 1991.
- 51) 長瀬隆弘¹⁾, 野村信夫, 石井俊輔¹⁾ (1)理研・筑波セ): [示説] Ski 遺伝子産物の複合体形成. 第14回分子生物学会年会, 1991.
- 52) 穴井豊昭¹⁾, 松井 南, 渡辺雄一郎²⁾, 野村信夫, 内宮博文³⁾, 石崎良太郎 (1)北大・理, 2)帝京大・理工, 3)東大・応微研): [示説] *Arabidopsis thaliana* の *ras* 関連遺伝子 (III). 第14回分子生物学会年会, 1991.
- 53) Kotani, S.¹⁾, Ohkuni, H., Todome, Y., Igarashi, H.²⁾, Takada, H.³⁾, Tamura, M.³⁾, Kawabata, Y.³⁾, Uchiyama, T.⁴⁾, Ezaki, T.⁵⁾, Harada, K.⁶⁾, Takeda, T.⁷⁾ and Kohsaka, T.⁷⁾ (1)大阪医療技術, 2)都衛研, 3)鹿児島大・歯, 4)

女子医大, ⁵⁾岐阜大・医, ⁶⁾大阪公衆衛生研, ⁷⁾国立小児医療センター): [シンポジウム] Possible etiological role in Kawasaki disease of viridans group streptococci producing erythrotoxicin; Report of project study, the research committee on Kawasaki disease, Japan Heart Foundation. IVth International Symposium of Kawasaki Disease (Hawaii), 1991.

- 54) 黒沢純夫, 前原直樹¹⁾ (¹⁾労働科学研): [一般講演] 高齢就業者の疲労感について. 第65回日本産業衛生学会総会, 1992.
- 55) 留目優子, 水瀬 学, 大国寿士, 橋本安弘¹⁾, 江崎孝行¹⁾, 五十嵐英夫²⁾, 小谷尚三³⁾ (¹⁾岐阜大・医, ²⁾都衛研, ³⁾大阪医療技術): [一般講演] 川崎病患者の咽頭並びに歯面より分離させれる緑色レンサ球菌群の性状に関する研究. 第65回日本細菌学会総会, 1992.
- 56) 五十嵐英夫¹⁾, 宇佐美博幸¹⁾, 今西健一²⁾, 内山竹彦²⁾, 大国寿士, 川畑俊一郎³⁾, 岩永貞昭³⁾ (¹⁾都衛研, ²⁾女子医大, ³⁾九大・理): [一般講演] *Streptococcus pyogenes* 18が産生する発熱性毒素の精製とその性状について. 第65回日本細菌学会総会, 1992.

2. ワクチン療法研究施設

研究概要

昭和47年の当施設開設以来、20年を経過、1992年5月26日、SSM（結核菌体抽出物質）使用登録悪性腫瘍患者累積数は、288,869名を算した。本年3月6日の丸山千里所長の御逝去後も、日に新患50名前後、再来、郵送含め、500名もの多数の紹介患者を迎え、従来からの2万数千名にのぼる共同治験医師に、さらに、新しい協力医療機関の参入がみられ、世界に先がけて、非特異的癌免疫療法を唱導された故丸山千里先生の丸山ワクチンという偉大な遺産が、進行末期癌の治療に於て、さらに定着しつつある。

SSMの臨床比較の対照試験には、既報の如く、東海地区SSM共同研究班によるもの、二重盲検法によるSSMの効果の検討には、東北地区SSM研究会によるものなど、アメリカに於ける丸山ワクチン物質特許成立要件にもなり得た優れた臨床研究があるが、現在、SSMの産婦人科領域の悪性腫瘍の放射線療法併用時に於ける臨床効果について全国の大学、国公立病院等に於いて、治験がすすめられている。1979年から92年3月末までの13年間の患者累積数は、186,844名で、胃癌52,821、肺癌25,549、腸癌20,977、乳癌10,521、胆道癌5,693、卵巣癌4,476、肝癌12,633、膀胱癌8,880、子宮癌6,987、食道癌4,270、悪性リンパ腫1,886、白血病533名等で、17,063例(9.13%)が3年以上の長期SSM加療例であった。

BRMであるSSMは、悪性腫瘍治療における全身療法として、重責を果たしており、疾患別に治療状況を報告している。現在は膀胱癌、肺癌、肝癌、胃癌、腸癌、悪性リンパ腫等について調査を進めている。

また、分子レベルでは、SSM長期使用例に対して、HLA型との関連を検討中である。

研究業績

著書

- 1) 藤田敬四郎：〔編集〕丸山ワクチンの癌の臨床（第2版）。新興医学出版社、1992。

学会発表

- 1) 藤田敬四郎、平井敏之、後藤博一、新井愛彦、岩城弘子、飯田和美、仲地紀良、宮崎定活、丸山千里、松村康一¹⁾（¹⁾東条病院）：〔展示〕当施設における結核菌体抽出物質（SSM）使用登録癌患者の現況と長期加療進行癌の症例。第59回日本医科大学医学会総会、1991。
- 2) 藤田敬四郎、平井敏之、後藤博一、新井愛彦、仲地紀良、飯田和美、宮崎定活、岩城弘子、丸山千里：〔示説〕当施設における結核菌体抽出物質（SSM）使用登録癌患者の現況（第13報）。第29回日本癌治療学会総会、1991。
- 3) 葉山泉¹⁾、諫山照刀¹⁾、藤田敬四郎、飯田和美（¹⁾福岡大学整形外科）：〔示説〕興味ある経過をとっている大腿骨Ewing肉腫の1例。第29回日本癌治療学会総会、1991。
- 4) 藤田敬四郎、新井愛彦、平井敏之、丸山千里、飯田智博¹⁾、与那嶺京子¹⁾、野坂啓介¹⁾、石島明¹⁾、林和彦¹⁾、星恵子²⁾（¹⁾聖マリアンナ医大産婦人科、²⁾川崎市立向丘診療所）：〔一般講演〕試験開腹時の巨大悪性腫瘍が短期の化学、長期の免疫療法により消退、健存する1例。第5回東母・日産婦東京地方部会合同研修会並びに第281回日産婦東京地方部会例会、1992。

あ と が き

平成3年4月1日より平成4年3月31日までに公刊された論文、発表された学会報告が本年報に掲載されている。各教室の研究活動の状況は「研究概況」にのせられている。本報も年々その厚みを増し、中でも学問をやる者が最も重視する原著論文が、その厚みに大きく寄与していると思われる。

この2、3年大学人のあり方を問う著書(例として;産経新聞社会部編,「大学を問う, 荒廃する現場からの報告」)や論文(例として;山崎茂明, 論文発表からみた日本の生命科学, 科学;1991;61(8):544-547)が目につく。特に後者は、いわゆる impact factor 値の高い科学誌に日本の科学者とくに医学研究者の原著論文が、どのように載せられているかを論じている。各大学の講師以上の教員数に対し、Excerpta Medica に抄録された、その大学で書かれた論文数の比を大学別に比べている部分がある。1~25位まで順位をつけているが、1位は九大医学部1.53論文/(講師以上の教員)で、25位は、横浜市大医0.35であった。この25位までに私立大学は1つも入っていない。このような情報はフロッピーディスクに入ったものが市販されているから、すぐに明るみに出てしまう。このような数字は少くともその大学からノーベル賞学者が1名であれば、例えランクが100位以下でも許容できるであろうと思う。因みにノーベル賞学者を多数出している京大や東大はどうであろうか。京大医は2位(1.00)、東大医は8位(0.52)であった。現実態としてはやや遅れをとる私立大学、少くとも本学は、可能態としては、国公立大学にまけない充分の力をもっていると思われる。可能態(高ポテンシャル)を現実態にするには今後の努力が期待される。中国のことわざに百年植人とある。人材を育てるのに百年は要る。科学者を育てる環境は、少くとも本学の基礎医学の研究環境は、他学と比べてスペース、機材、予算面で劣っていない。臨床医学方面の研究環境は、それに見合うものが要るかもしれない。そして、最も重要なことは、現在の研究スタッフ(私も含めての)が、研究とは何かを知って、真理の探究と、人類の福祉に向けて、まっすぐに進むこととも思われる。但し、学者馬鹿を目指す必要はないとも思われる。

平成5年1月

研究委員会委員長 南 正 康

平成5年 1 月 25 日 印 刷

平成5年 2 月 5 日 発 行

発 行 日 本 医 科 大 学
研 究 委 員 会

〒113 東京都文京区千駄木 1-1-5

TEL 03 (3822) 2131

印 刷 株 式 会 社 杏 林 舎

〒114 東京都北区西ヶ原 3-46-10

TEL 03 (3910) 4321~5

